

厚生労働科学研究費補助金
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業

「性感染症に関する特定感染症 予防指針に基づく対策の 推進に関する研究」

(H27-新興行政-一般-001)

平成 29 年度 総括・分担研究報告書

研究代表者

荒川 創一

平成 30(2018)年 3 月

研究班班員名簿

研究代表者

荒川 創一 神戸大学大学院医学研究科 客員教授

研究分担者

砂川 富正 国立感染症研究所感染症疫学センター 第二室長
中瀬 克己 岡山大学医療教育統合開発センターGIM センター部門 教授
釜菴 敏 日本医師会 常任理事
濱砂 良一 産業医科大学医学部泌尿器科 非常勤医師
余田 敬子 東京女子医科大学東医療センター耳鼻咽喉科 准教授
三嶋 廣繁 愛知医科大学感染症科 教授
川名 敬 日本大学医学部産婦人科学分野 教授
白井 千香 枚方市保健所 保健所長／大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学
伊藤 晴夫 千葉大学 名誉教授
石地 尚興 東京慈恵会医科大学皮膚科学講座 教授
高橋 聡 札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 教授

研究協力者

有馬 雄三 国立感染症研究所感染症疫学センター 主任研究官
山岸 拓也 国立感染症研究所感染症疫学センター 主任研究官
金井 瑞恵 国立感染症研究所細菌第一部 協力研究員
高橋 琢理 国立感染症研究所感染症疫学センター 研究員
錦 信吾 国立感染症研究所感染症疫学センター 実地疫学専門家養成コース
加納 和彦 国立感染症研究所感染症疫学センター 研究員
大西 真 国立感染症研究所細菌第一部 部長
谷畑 健生 神戸市保健福祉局健康部予防衛生課 医務担当課長
五十嵐辰男 聖隷佐倉市民病院 泌尿器科部長
出口 隆 岐阜大学医学部附属病院泌尿器科 教授
安田 満 岐阜大学医学部附属病院泌尿器科 講師
金山 博臣 徳島大学大学院医歯薬学研究部泌尿器科学分野 教授
細井 舞子 大阪市健康局 係員
高野つる代 横浜市旭区福祉保健センター センター長
中谷 友樹 立命館大学文学部地理学教室 教授
山岸 由佳 愛知医科大学感染症科 教授（特任）
岩室 紳也 ヘルスプロモーション推進センター〔オフィスいわむろ〕 代表
種部 恭子 女性クリニック We! TOYAMA 院長／産婦人科
野々山未希子 自治医科大学看護学部 教授
渡會 睦子 東京医療保健大学医療保健学部看護学科 准教授
秋元 義弘 岩手県立二戸病院 産婦人科長
武島 仁 龍ヶ崎済生会病院 副院長／泌尿器科科長
渡部 享宏 NPO 法人子宮頸がんを考える市民の会 事務局長
重村 克己 神戸大学医学部附属病院泌尿器科・神戸大学大学院保健学研究科 准教授

目 次

I. 総括研究報告書

- 性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究1
荒川 創一

II. 分担研究報告書

1. 感染症発生動向調査からみた国内の性感染症の動向・先天梅毒の調査6
砂川 富正・他
2. 性感染症に関するサーベイランスの改善・強化・確立に関する研究38
中瀬 克己・他
3. 性感染症予防啓発ツールの開発・検査体制と医療ネットワーク構築に関する研究77
白井 千香・他.
4. 性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究86
ーセンチネルサーベイランスの施行についてー
谷畑 健生・他
5. 梅毒病態の研究165
三嶋 廣繁・他
6. HPV ワクチンの適切な勧奨への提言・子宮がん撲滅作戦に関する研究176
川名 敬
7. 咽頭梅毒に関する研究193
余田 敬子
8. マイコプラズマ・ジェニタリウムの薬剤耐性遺伝子解析201
濱砂 良一
9. 梅毒の診断治療に関する全般的研究 梅毒の治療に関するアンケート調査212
石地 尚興
10. 性感染症全般の診断・治療の適正化に関する研究219
高橋 聡

III. 研究成果の刊行に関する一覧表228

性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究

【研究代表者】 荒川 創一（神戸大学大学院医学研究科）

研究要旨

継続した性感染症発生動向の監視・把握・対策が重要である。とりわけ、アウトブレイク中の梅毒においては、先天梅毒の発生も含め、直近の発生動向の把握、定期的に広く情報還元する事、そして効果的な対策に繋げる事が重要である。さらに急増している梅毒の拡散に歯止めをかけるためにも治療が確実である筋注剤の導入が望まれる。性感染症への自治体レベルでの有効な対応の普及には自治体人材の強化が必要である。予防啓発ツールの普及には、配布方法や対象に合わせた情報量や質の整理が必要である。若年者の性感染症の罹患が多いことも明らかになった。また妊婦健診より梅毒・性器クラミジア感染症感染妊婦が少なからず発見された。基本的スクリーニング検査としての梅毒抗体の結果を確実に評価する診療体制の構築が重要である。HPV ワクチン接種啓発は、ツールとともにわかりやすい内容で、できれば公的機関からの発信が必要である。咽頭梅毒は感染力の高い第2期病変であることから、咽頭梅毒患者のすべてが適切に診断・治療されるべく咽頭梅毒に関する情報を広く臨床医に発信して啓発することは、有効な梅毒蔓延防止対策の一つとなる。我が国で検出される *M. genitalium* 遺伝子は、マクロライド耐性、MFLX 耐性が増加し、さらに滞在耐性化していることが明らかとなった。迅速核酸増幅法による検出においても、従来の核酸増幅法に劣らない結果が得られ、今後の改良された診断法に寄与すると考えられた。淋菌に対するカルバペネム系のメロペネムの感受性は良好であり、今後の治療の可能性が期待された。

A. 研究目的

- ① 感染症法に基づく感染症発生動向調査における性感染症定点把握4疾患（性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス、尖圭コンジローマ、淋菌感染症）の直近の状況を精査する。また、2011年以降急増している梅毒について、先天梅毒児の臨床像・治療実態および児の親の梅毒感染・治療に関連する背景を明らかにする。
- ② 性感染症対策における自治体の3つの課題に関して研究を行なう。
 1. 全国自治体のサーベイランスとその活用への進展（アンケートの解析）
 2. 自治体間 STI サーベイランス情報共有への働きかけ
 3. 自治体担当者、性感染症治療に関わる医療者および国民への情報還元
- ③ 予防啓発スライド普及活用に加えて、大人向けの性感染症予防啓発資料としてのQ&A集の作成する。
- ④ センチネルサーベイランスにより4県の産婦人科・泌尿器科・皮膚科・性病科を標榜する医療機関を受診した性感染症全数調査（梅毒、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、非淋菌非クラミジア感染症、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ）を行い、わが国における性感染症の蔓延状況を人口10万人当たり人年法で推計する。
- ⑤ 病院でのスクリーニング検査（基本的検査）における梅毒血清学的検査からみた梅毒流行状況を推定する。
- ⑥ 妊婦に注目した梅毒の実態を調べることにした。
- ⑦ 梅毒患者の急増が始まった2013年以後、現在までに経験した咽頭梅毒患者4症例について、とくに臨床経過と咽頭所見に焦点を当てて検討することにより、今後発信する梅毒に関する啓発情報に加えるべき咽頭梅毒の診断・治療上の注意点を喚起する。
- ⑧ 薬剤耐性が進行している *Mycoplasma genitalium* について、その薬剤耐性の頻度、薬剤耐性の機序について検討する。

- ⑨ 梅毒の治療は世界的には持続型ベンザチンペニシリン G 筋注製剤の一回注射が主流である。同薬が認可されていないわが国における梅毒治療の標準化に当たり、梅毒治療ペニシリン内服療法の現状を把握する。
- ⑩ クラミジア・トラコマティスと淋菌の検出が可能な迅速核酸増幅法の臨床研究を行う。ファロペネム (FRPM)、カルバペネムの淋菌感受性を測定し、新規治療法の開発の可能性を探る。

B. 研究方法

- ① 感染症発生動向調査については、国立感染症研究所において感染症サーベイランスシステム (National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases : NESID) から抽出し、同所内で解析をおこなった。先天梅毒の調査においては、対象は、主治医および母親に同意が得られた 13 症例とした。
- ② アンケートの解析：アウトブレイクの把握、積極的調査と介入（パートナー健診）、自治体間の STI 情報の共有岡山地域の性感染症情報の積極的把握学術雑誌や自治体担当職員が参加する研究会およびホームページにおいて研究成果を公表した。
- ③ 教職員や親または大人が、学校や地域で生徒の相談や指導、医療機関等への受診勧奨に役立つための指導ツールを作り、性感染症予防啓発の効果的なアプローチ方法を探った。
- ④ 千葉県・岐阜県・兵庫県・徳島県の 4 県産婦人科・泌尿器科・皮膚科・性病科（本年は徳島県の全泌尿器科も調査対象とした）を標榜する医療機関に症状があつて受診した以下の感染症全数調査を行い（梅毒、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、非淋菌非クラミジア感染症、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ）、あらかじめ送付した調査票（別紙）に診療・診断した医師に記入をお願いした。調査期間は平成 29 年 10 月 1 日から 31 日とし、地区責任者（千葉大学・岐阜大学・神戸大学・徳島大学）が回収督促を 2 回行った。本研究は各県医師会の協力があった。
- ⑤ 2014 年から 2016 年の間に愛知医科大学病院で梅毒 RPR 定性・TPLA 定性検査が実施された症例を後方視的に調査した。
- ⑥ 梅毒合併妊婦についての発見の契機、進行期、治療の有無、治療時期、先天梅毒の有無、児の予後について調査した。
- ⑦ 咽頭梅毒 4 症例の臨床経過、受診時の主訴、初診時の咽頭所見、性器及び皮膚病変の有無、病期、感染経路について後ろ向きに検討する。
- ⑧ 研究分担者が保有する *M. genitalium* 株 20 株に、近年我々が尿道炎患者の尿から分離培養した 3 株の計 23 株の薬剤感受性およびマクロライド耐性関連遺伝子変異（23S rRNA の domainV における変異）、ニューキノロン耐性関連遺伝子変異（gyrA および parC における quinolone-resistance determining region; QRDR における変異）を検討した。
- ⑨ 梅毒の治療にあたっている日本性感染症学会員に対しアンケート調査を行い、現在行われている治療の内容と問題点を明らかにする。
- ⑩ Xpert CT/NG と従来の方法との結果の診断一致率を算定した。淋菌感受性測定は寒天平板希釈法によった。

（倫理面への配慮）これらの研究で用いたデータには個人情報が含まれず、データ解析上も、倫理上の問題が発生する恐れはない。

C. 研究結果

- ① 発生動向調査から見た 5 類定点把握疾患の動向については、概ね例年並みであった。男女ともに、定点把握 4 疾患の中では性器クラミジア感染症の報告数が最も多く、報告数は横ばいであった。性器ヘルペスは男女とも増加していた。尖圭コンジローマは、男性では概ね横ばい、女性では 2014 年以降微減少していた。淋菌感染症は、男女ともに近年減少傾向であった。先天梅毒児の母親の妊婦健診受診歴は、未受診が 3 例、不定期受診が 3 例、定期受診が 7 例であった。未受診例の 3 例は飛び込み分娩もしくは墜落分娩で、分娩時に梅毒と診断された。不定期受診例の 3 例のうち 1 例は、妊娠中期で初回受診し梅毒スクリーニング検査（以後、スクリーニング検査）で梅毒感染を疑われたが、治療開始が検討されていた次の受診日前に分娩に至った

ため分娩後に治療開始となった。他の2例は妊娠中期もしくは後期に初診後に梅毒の診断に至り、妊娠31週からアンピシリン、もしくは妊娠26週からアセチルスピラマイシンによる内服治療が開始されたが、いずれの症例も治療経過が不良であった。定期受診例の7例中4例は、妊娠初期のスクリーニング検査は陰性であった。このうち3例は、その後の妊娠中に早期梅毒症状と考えられる発熱、咽頭炎、発疹、陰部症状等を認めたことを自覚しており、妊娠中に感染したと考えられた。

- ② アウトブレイクの把握：性感染症の集団発生の把握は梅毒を主として増加し、大都市部に止まらず全国の2割以上の自治体で把握している。梅毒について、68%の自治体が医療機関等に追加調査を行っており（H28年度調査）対策の充実が望まれる。動向分析や感染経路調査は一部に止まる。積極的調査と介入（パートナー健診）：多くの自治体が受検者を通してパートナーへの情報提供を依頼しており、その実施割合は増加していた。自治体間のSTI情報の共有：梅毒の増加は広く認識されているが、その対策にNESID（感染症発生動向調査システム）や各種委員会等の仕組みは不十分でこれからの課題である。性感染症治療に関わる医療者および国民への情報還元：ホームページ（<http://www.std-shc.net>）において研究成果の公表。
- ③ 専門家でなくても大人がこどもに聞かれたらどのように答えるか、研究協力者が実際に学校の啓発活動で対応している資料をもとに、参考となるQ&A集を作った。
- ④ 男性梅毒は罹患率が低いが観察6年間で著増した。また配偶者無しに多かった。県別には兵庫・岐阜の順に多かった。女性梅毒は罹患率が高くなり、観察6年間で著増した。また配偶者無しに多かった。県別には岐阜・兵庫の順に多かった。
- ⑤ RPR陽性率は2014年0.7%、2015年1.1%、2016年1.5%、TPLA陽性率は2014年0.9%、2015年1.1%、2016年1.6%とともに年々増加傾向であった。
- ⑥ 妊娠期梅毒166名のうちで、20名の先天

性梅毒が発生していた。梅毒合併妊婦も、その後に発生した先天性梅毒も、2014、2015年に集中しているおり、近年の梅毒流行が妊婦まで及んできていることが浮き彫りとなった。先天梅毒20例のうち、6例は死亡か後遺症が残っている。

- ⑦ 4症例の特徴と経過とを詳述。
- ⑧ マクロライド耐性は2005-2009年では4.8%であったが、2010-2016年には42.3%に増加していた。キノロン耐性は2005-2009年では9.5%であったが、2010-2016年には26.9%に増加していた。さらに、マクロライド、キノロンに耐性を示すものは、2010-2016年には19.4%となっていた。
- ⑨ 91.5%が日本性感染症学会のガイドラインに沿った治療を行っていた。19.2%が治療不成功例を経験しており、その要因としては患者がきちんと内服しなかったことが最も多かった。88.7%がペニシリン筋注製剤の導入を希望した。
- ⑩ Xpert CT/NGと従来の方法との結果の一致率は男性尿と女性尿ではほぼ100%、女性スメアでも98%程度であった。淋菌に対するMEPMのMIC90は0.12 μ g/mLと良好であったが、他のカルバペネム、FRPMではMIC90は、1~2 μ g/mLと高めであった。

D. 考察

- ① 報告数の増減を考えると、現行の感染症法のもとでの定点把握がどれだけ実態を反映しているかが重要である。2011年2月に「性感染症に関する特定感染症予防指針」が告示され、地方自治体での定点設定に各診療科の割合を反映させることや長期にわたって報告実績のない医療機関についての見直しなどが求められた。その結果、2012年から2013年にかけて、毎年10を超す都道府県で性感染症定点の変更が行われていた。今後も、地方自治体が地域で性感染症患者を多く診療している医師や医療機関を把握し、より良い定点設定、或はその他の情報も用いた発生動向把握等に向けて地域医療機関や医師会と協議していくことが期待される。先天梅毒の発生は、妊娠中の性感染対策の不備の表れとして重要である。2017年の先

梅毒報告数 9 例は、2016 年の 15 例と比較し、減少しているが、先天梅毒に対する注意は引き続き欠かせない。妊婦の未受診、妊娠中の感染、適切な治療を受け、治療効果判定がされているか、など先天梅毒の詳細な情報収集・把握を継続して行い、適切な対策を行っていく必要がある。

- ② この 5 年間に性感染症の集団発生の把握は梅毒を主として増加し、大都市部に止まらず全国の 2 割以上の自治体で把握している。把握時の対策は啓発、情報提供は普及しているが、動向分析や感染経路調査は一部に止まる。
梅毒については 68%の自治体が医療機関等に追加調査を行っているが、自治体間 STI サーベイランス情報の共有と積極的な対応は地域により異なる。
- ③ スライドや Q & A 集の普及：資料に対象者がタイムリーにアクセスできる方法と情報を差し替えていく方法をシステム化すること。予防啓発資料の効果を評価する指標や方法論を検討する必要がある。
- ④ 性感染症は若年層に多く、配偶者なしに多い。平均婚姻年齢までの性行動が活発時期に淋菌感染症と性器クラミジア感染症が極めて多い。男の性行動は女より活発である。妊婦健診で性器クラミジア感染症が発見される。
- ⑤ 基本的検査としての RPR・TPLA とともに陽性の割合が増加傾向にあることが判明した。
- ⑥ 妊婦まで梅毒が蔓延してきている実態を把握できたことから、次世代への影響も懸念され始めていることが窺える。
- ⑦ 咽頭梅毒には、粘膜斑や butterfly appearance といった他の疾患ではみられない特徴的な病変があるため、この所見を多くの臨床医にむけて啓発することは、咽頭痛や発熱といった一見咽頭炎のように発症する咽頭梅毒患者が、安易な抗菌薬投与により梅毒の診断・治療の機会を逸して新しい感染源になることを防ぐことにつながる。と考える。
- ⑧ 臨床株ではマクロライド耐性、MFLX 耐性株の割合は、2010 年以降、著明に増加しており、多剤耐性化が認められた。
- ⑨ 多くの医師がガイドラインに則ったペニシ

リン内服療法を行っているが、内服療法の成否が患者のアドヒアランスに左右されるため治療不成功例があると考えられた。

- ⑩ 迅速診断法の有用性が検証された。既存薬で淋菌感染症に有望であるのは MEPM である。

E. 結論

- ① 引き続き継続した性感染症発生動向の監視・把握・対策が重要である。とりわけ、アウトブレイク中の梅毒においては、先天梅毒の発生も含め、直近の発生動向の把握、定期的に広く情報還元する事、そして効果的な対策に繋げる事が重要である。
- ② 有効な対応の普及には自治体人材の強化が必要である。
- ③ 予防啓発ツールの普及には、配布方法や対象に合わせた情報量や質の整理が必要である。
- ④ 若年者の性感染症の罹患が多いことが明らかになった。また妊婦健診より梅毒・性器クラミジア感染症感染妊婦が少なからず発見された。
- ⑤ 基本的スクリーニング検査としての梅毒抗体の結果を確実に評価する診療体制の構築が重要である。
- ⑥ HPV ワクチン接種啓発は、ツールとともにわかりやすい内容で、できれば公的機関からの発信が必要である。
- ⑦ 咽頭梅毒は感染力の高い第 2 期病変であることから、咽頭梅毒患者のすべてが適切に診断・治療されるべく咽頭梅毒に関する情報を広く臨床医に発信して啓発することは、有効な梅毒蔓延防止対策の一つとなる。
- ⑧ 我が国で検出される *M. genitalium* 遺伝子は、マクロライド耐性、MFLX 耐性が増加し、さらに多剤耐性化していることが明らかとなった。
- ⑨ 急増している梅毒の拡散に歯止めをかけるためにも治療が確実である筋注剤の導入が望まれる。
- ⑩ 迅速核酸増幅法による検出においても、従来の核酸増幅法に劣らない結果が得られ、今後の改良された診断法に寄与すると考えられた。淋菌に対するカルバペネム系のメロペネムの感受性は良好であり、今後の治

療の可能性が期待された。

F. 健康危険情報

性感染症は少なくないこと。特に若年層では罹患率が非常に高い。女性の淋菌感染症は無症状であることから、本研究版の疫学解析では男性の半分ではあるが、実際はさらに高率であると推定できること。これら国として性感染症予防が必要である。

男性尿道炎から分離される *M. genitalium* のマクロライド、キノロン耐性化が著明に増加しており、今後、尿道炎の治療困難症例が増加する可能性が高い。

G. 研究発表

1. 論文発表

- (1) 荒川創一、白井千香：思春期男子への性教育. 小児科 59(4 月臨時増刊)：801-808, 2018
- (2) 荒川創一：健康 ZOOM UP 性感染症②. 神戸市医師会だより 健康と笑顔 第 33 号：4-5, 2017.
- (3) 清田 浩、荒川創一、余田敬子：性感染症の最近の問題点—淋菌の薬剤耐性と梅毒の蔓延—. 感染症 47 (3)：12-19, 2017
- (4) 荒川創一：特集 中・高生の性 子どもたちの性にかかわる Q&A 中・高生の性感染症の悩みについて. 性の健康 16 (2)：22-25, 2017
- (5) 荒川創一、石川清仁、清田 浩、坂田 宏、重村克巳、高橋 聡、濱砂良一、速見浩士、三嶋廣繁、村谷哲郎、安田 満、山本新吾、渡邊豊彦：尿路性器感染症に関する臨床試験実施のためのガイドライン—第 2 版—. 日本化学療法学会雑誌 64(3)：479-49, 2016
- (6) Osawa K, Shigemura K, Nukata Y, Kitagawa K, Yamamichi F, Yoshida H, Shirakawa T, Arakawa S, Fujisawa M: penA, ponA, porB1, and mtrR Mutations and Molecular Epidemiological Typing of *Neisseria gonorrhoeae* with Decreased Susceptibility to Cephalosporins. *Antimicrob Agents Chemother.* 2017 Jul 25;61(8). pii: e01174-17. doi: 10.1128/AAC.01174-17

2. 学会発表

- (1) 荒川創一：梅毒を含めた性感染症の発生動向と最新の治療ガイド. 第 14 回川崎 S T I 研究会 2018. 2. 17
- (2) 荒川創一：尿路感染症における 薬剤耐性菌の問題と 性感染症に関する最近の話題について. 第 33 回奈良県感染症研究会 2018. 1. 27
- (3) 荒川創一：JAID/JSC 尿路性器感染症治療ガイドライン、急増している梅毒の診断、院内感染対策について. 第 310 回日本泌尿器科学会岡山地方会 2017
- (4) 荒川創一：厚生労働科学研究センチネルサーベイランスで分かってきたこと. 日本性感染症学会第 30 回学術大会 2017
- (5) 荒川創一：増えている梅毒の診断・治療. STI 治療研究会 (郡山市) 2017
- (6) 荒川創一：話題の感染症「梅毒」. 日本感染症学会感染症サマースクール 2017
- (7) 荒川創一：感染症を巡る 2 つの話題：尿路カテーテルと院内感染予防／急増している梅毒の実態. 名古屋掖済会病院必修講習会 2017
- (8) 荒川創一：急増している梅毒の疫学と病変写真. 第 22 回兵庫県性感染症 (STI) 研究会/第 6 回日本性感染症学会関西支部総会 2017
- (9) 荒川創一：増え続ける梅毒の診断・治療. 川西市医師会学術講演会 (川西市保健センター) 2017

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得
無し
2. 実用新案登録
無し
3. その他
無し

感染症発生動向調査からみた国内の性感染症の動向・先天梅毒の調査

【研究分担者】 砂川富正（国立感染症研究所感染症疫学センター）
【研究協力者】 有馬雄三（同上）
山岸拓也（同上）
金井瑞恵（同上）
高橋琢理（同上）
錦 信吾（同上）
加納和彦（同上）

研究要旨

近年、我が国における性感染症の報告の減少傾向が停滞、或は増加しており、その発生動向の把握と効果的な対策が重要である。対策の立案や評価に用いるための情報を提供するために、代表的な性感染症である性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症及び梅毒について、直近の感染症発生動向調査の結果をまとめた。また、近年梅毒の報告が継続して増加している為、梅毒の発生動向に注目し、2016年度に開始した「児の臨床像・治療実態および児の親の梅毒感染・治療に関連する背景を明らかにする研究」の暫定結果を報告する。

発生動向調査から見た5類定点把握疾患の2017年の動向は概ね例年通りであった。年齢に関しては、男性では、性器クラミジア感染症と淋菌感染症は20歳代前半が最も多く、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳代後半から40歳代、尖圭コンジローマは20歳代後半から30歳代が多かった。女性では、性器クラミジア感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマは20歳代前半が最も多く、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳代後半が最も多かった。性器クラミジア感染症は男女とも20歳代前半の微増が認められ、特に男性では例年最も多かった20歳代後半の報告数を20歳代前半の報告数が上回った。性器ヘルペスウイルス感染症に於いては、男性は40歳代前半、女性は40歳代後半で増加傾向であった。尖圭コンジローマは、2014年以降10歳代後半から20歳代の女性において減少傾向であったが、HPVワクチンとの関係は慎重に検討する必要がある。2017年に認められた20歳代前半男女における性器クラミジア感染症の報告数の微増は動向注視が必要であり、若年層を含む梅毒症例の増加も近年有る事から、若年者での性感染症対策強化を検討すべきである。

梅毒は2011年以降急増しており、2017年は5819例（男性3925、女性1894）で、男女とも増加が著しかった。2017年の人口10万当たり報告数は全体で4.58、男性が6.36、女性が2.91であった。2017年の病期別報告数は、無症候1578例（27%）、早期顕症Ⅰ期2106例（36%）、早期顕症Ⅱ期2001例（34%）、晩期顕症125例（2%）、先天梅毒9例であり、2017年は男女ともに特に早期顕症Ⅰ期が増加していた。性別は、男性では40～44歳の報告が最も多かったが、2014年以降引き続き幅広い年齢で増加しており、特に20～39歳の増加が目立った。女性は依然として20～24歳の報告が最も多かった。感染経路は、男性では感染経路が報告されていた3629例（全体の92%）でみると、3608例（99%）が性的接触であり、内訳は同性間679例（性的接触による3608例の中で19%）、異性間2344例（同65%）、異性間/同性間30例（同1%）、性的接触の詳細不明555例（8%）であった。女性では感染経路が報告されていた1737例（全体の91%）の中で1719例（99%）が性的接触であり、内訳は異性間1541例（性的接触による1719例の中で90%）、同性間10例（同1%）、異性間/同性間0例（0%）、性的接触の詳細不明168例（同9%）であった。2017年には、同性間性的接触の報告は減少したが、異性間性的接触に

よる報告数は依然と増加傾向を認め、公衆衛生上緊急事態である。医療従事者や行政担当者の間で危機感を共有するために、それら関係者に対して梅毒増加について周知を図ること、20～40歳代の男性や20歳代女性というハイリスク集団に対して梅毒増加と予防法について情報提供を行い、患者のパートナーに検査を進めるなどの対策を、各関係者が行っていくことが今後重要である。

先天梅毒の調査（n=13）においては、先天梅毒児の母親は、若年妊娠、未婚、他の性感染症の既往・合併、性産業従事歴有り、妊婦健診の受診が未受診もしくは不定期である、等の背景を持ち、これらは本邦においても先天梅毒発生のリスクと考えられた。一方、妊婦健診を定期受診していた妊婦からの先天梅毒の発生も認めた。梅毒感染の既往を認める妊婦において初期のスクリーニング検査結果の解釈が困難であった症例や、妊娠中に感染し適切な診断・治療に至らなかった症例等を認め、先天梅毒の発生予防における重要な課題であると考えられた。これらの結果から、先天梅毒の発生予防のためには、引き続き妊娠中の性感染症予防知識の啓発を行っていくことが重要である。また、医療従事者に向けたガイダンス/ガイドライン等を作成すること等によって、先天梅毒発生のリスクと考えられる背景を有する妊婦の診療や、先天梅毒の診療に関する包括的な情報を提供していくことが重要であると考えられた。個人（母親とパートナー）、2）医療従事者、および3）システムの各レベルにおける課題に対する多面からの公衆衛生学的アプローチが必要であると考えられた。

A. 研究目的

近年国内では、性感染症が減少してきているといわれているが、疾患や年齢によっては報告が増加に転じているものもあり、梅毒等、顕著に増加しているものもある。これらの性感染症対策を行っていくうえで、その発生状況の定期的な把握と情報還元が重要である。

平成11年（1999年）4月に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、感染症法）のもとで、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症（以下性器ヘルペス）、尖圭コンジローマ、淋菌感染症は5類定点把握疾患として、梅毒は5類全数把握疾患として、保健所を介して国に報告されることになった

（<http://www.mhlw.go.jp/topics/2005/04/tp0411-1.html>）。定点把握4疾患は都道府県知事が定めた性感染症定点医療機関から毎月1回報告されている。性感染症定点医療機関は、産婦人科、産科若しくは婦人科（産婦人科系）、性感染症を組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標榜する医療機関（主として各々の標榜科の医療を提供しているもの）が指定されており、その数は、保健所地域ごとに管内人口～7.5万人までは0（ゼロ）、管内人口7.5万人～では1+（人口-7.5万人）/13万人とされている。また、梅毒は診断した医師が診断から7日以内に報告することとされている。

性感染症の現状把握とその対策の評価や立案に役立つ情報提供のために、感染症発生動向調査における性感染症定点把握4疾患（性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス、尖圭コンジロ

ーマ、淋菌感染症）の直近の状況を精査し、記述した。近年梅毒の継続した増加を認めている為、梅毒に注目した。また、とりわけ梅毒においては、若い女性の梅毒報告数が増加しており、先天梅毒の発生が懸念されている。先天梅毒は *Treponema pallidum* が母子伝播することにより発生し、母体が無治療の場合には児が死に至る可能性のある重篤な疾患である。梅毒感染妊婦に対しては、病期に応じた適切な抗菌薬治療を分娩4週間前までに完遂することで、先天梅毒の発生を予防することが可能である。先天梅毒発生の危険因子として、既報では妊婦健診の未受診もしくは不定期受診、若年妊娠、経済的困窮、低学歴、他の性感染症の既往・合併、薬物・アルコール摂取歴、性産業従事歴等の母親の背景要因が報告されているが、本邦におけるそのような情報はなく、また、先天梅毒の届出項目にも含まれていない。そこで、これらの情報や児の臨床経過を収集し、先天梅毒の発生を予防するための対策立案に繋げることを目的に、2016年度に開始した（2016年3月に承認）、「児の臨床像・治療実態および児の親の梅毒感染・治療に関連する背景を明らかにする研究」を実施し、これまでの暫定結果を報告する。

B. 研究方法

感染症発生動向調査の1987～2017年の定点把握4疾患と梅毒のデータ（2016年までのデータは感染症発生動向調査年報、2017年のデータは2018年2月19日時点の暫定報）と人口動態統計（毎年10月1日基準）を用いた。データは国立感染症研究所において感染症サーベイランスシステム（National Epidemiological Surveillance of

Infectious Diseases : NESID) から抽出し、同所内で解析をおこなった。年齢群は5歳間隔とし、10歳未満や高齢者など、症例数が少ない年齢群は統合した。なお、NESID データは今後各自治体の届出修正により変更される可能性がある。

1. 性感染症定点把握 4 疾患の動向

性感染症定点把握 4 疾患の感染症発生動向調査の記述結果をまとめた。定点当たり報告数の推移及び季節性、性別・年齢群別定点当たり報告数の推移、定点数の推移、都道府県別定点数を調べた。また、1999 年以降の性感染症定点医療機関数(年平均)の推移と、2017 年 12 月の診療科別分布を都道府県毎にまとめた。

2. 梅毒の動向

感染症発生動向調査のデータを用いて、梅毒の報告数の推移、人口 10 万当たり報告数推移、年齢群別報告数推移、感染経路別報告数推移、年齢群別感染経路分布、都道府県別報告状況を調べた。なお、感染経路では性的接触を含む複数の経路によるものは、各感染経路それぞれを 1 例として重複集計した。

3. 先天梅毒の研究

先天梅毒の調査においては、対象は、2016 年 3 月～2017 年 10 月に感染症発生動向調査に報告された先天梅毒 17 例のうち、2017 年 12 月までに主治医および母親に同意が得られた 13 症例とした。尚、うち 5 例は主治医のみ同意が得られたため、感染症発生動向調査に基づく情報とそれに関する主治医への聞き取り調査に限定されている(選択除外基準：先天梅毒児の母親の追跡が不可能なもの、及び研究参加について、調査対象者と主治医の同意が得られなかったもの)。方法は、自治体了承の元、自記式質問紙の記入を主治医および母親に依頼し、児の臨床情報、親の背景情報等を収集した。質問様式は国内外での報告等や、新生児科もしくは小児科等の臨床医の意見を参考に作成した。質問様式により以下の情報を収集した：1)母親の妊娠出産歴、妊婦健診の受診歴、梅毒の診断・治療状況と病期等、母親の届出状況、母親の背景情報[国籍、居住地(都道府県)、性産業従事歴、婚姻状況、経済的問題の有無、薬物・アルコール歴、精神疾患の既往、学歴、梅毒以外の性感染症の既往・合併、梅毒・先天梅毒・妊婦健診に関する知識]、2)児の父親の診断・治療歴、年齢、国籍、職業、3)児の周産期歴、診断・治療経過、予後、後遺症の有無、療育状況、3)母親と児の検査結果の推移。

同意が得られた母親には対面式インタビューも行い、結果を記述した。インタビューでは、先

天梅毒の予防、検査、治療の継続等についての詳細な所見について聴取した。インタビューの実施に当たっては、研究開始前にインタビューガイドを作成し、模擬患者を対象にインタビューガイドを用いた予備的な調査を行い、修正を加えた上で定型化した。また、各調査員が行うインタビューの内容や方法は均一となるようにした。質的アプローチを用いてその過程について記述をし、共通する背景の有無などを考察した。

(倫理面への配慮) 本研究で用いた感染症発生動向調査のデータには個人情報が含まれず、データ解析は国立感染症研究所内で行われ、倫理上の問題が発生する恐れはない。

先天梅毒の研究においては、国立感染症研究所の倫理委員会で承認された。詳細なプライベートな情報を扱う為、倫理面へは十分配慮した。まず、感染症発生動向調査から先天梅毒児の情報を収集し、自治体に連絡の上で、先天梅毒児の報告医へ本調査への参加および母親もしくは代諾者等(以下、調査対象者)への研究内容の説明を依頼した。参加に同意した報告医または主治医(以下、主治医)により、調査対象者に説明が行われた。調査対象者から同意が得られた場合には、日程を調整の上、調査員は直接病院へ出向き、主治医を通して調査対象者にお母様用質問様式への記入を依頼した。調査対象者による記入にあたっては、プライバシーの保たれた場所で行った。記入後の質問様式は調査対象者自身が封筒等に入れ密封し、主治医が内容を確認できないようにした。主治医はカルテから臨床情報を収集し、主治医用質問様式に記入した。調査対象者および主治医により記入されたそれぞれの質問様式を調査員が主治医から回収した。調査員は、回収した質問様式を封書等に入れ密封し、プライバシーの保たれた状態でデータ解析機関である国立感染症研究所感染症疫学センターへ運び、保管を維持している。

先天梅毒児は治療目的に少なくとも数週間程度の入院期間を要すると考えられる為、調査員はできる限り入院中や外来受診日などに病院へ出向く予定とし、調査対象者への負担が最小限となるようにした。調査対象者のうちインタビューの同意も得られる場合には、同日に調査員からインタビューも実施した。

本研究においては児の母親の情報を得ることが重要であるため、代諾者からインフォームド・コンセントを得る必要がある場合であっても研究対象とした。代諾者の選定方針は、母親の代弁の権利を有する者(血縁者等)から選定すること

とした。母親が16歳未満の未成年者である場合、中学校に相当する課程を修了していない場合、研究を実施することに関する判断能力を十分に有しないと判断する場合のいずれかに該当する場合には、代諾者等からインフォームド・コンセントを得ることとした（ただし、代諾者等からインフォームド・コンセントを受けた場合、母親自身も研究を実施することについて自らの意向を表すことができると判断される場合には、母親からもインフォームド・アセントを得るよう努めることとした。）

また、16歳以上の未成年でありかつ研究を実施されることに関する十分な判断能力を有すると判断される母親の場合には、母親本人からインフォームド・コンセントを得るが、その場合には研究の目的や情報の取扱いを含む研究の実施についての情報を公開し、本研究の実施について母親の親権者もしくは未成年後見人が拒否できる機会も保障することとした。

本研究で使用する質問には個人的な情報を含むため、主治医および調査対象者には十分研究の意義と重要な情報の取り扱いを説明し、研究に参加しなかった場合にも不利益がない旨伝えた。国立感染症研究所の倫理委員会を通して承認されたが、当該病院での倫理審査も必要に応じて行うこととした。

情報提供者の個人情報、情報提供医療機関において削除され、対応表も作成しないため使用する情報は個人を特定できないものであった。主治医は同意書を先天梅毒児のカルテとともに保管した。データを取扱うのは本研究に参加する研究者のみとし、本研究以外の目的には使用していない。研究用データベースは、施錠できる室内に置かれたコンピューターのハードディスクに保管され、コンピューター及びハードディスクはパスワードにて保護されている。研究で収集したデータは、研究終了後5年間保管し、その後、廃棄する。印刷資料、電子媒体データなどいずれの資料も物理的に内容の読取りが不可能な状態にした後で廃棄する。研究成果の公表に際しては、個人が特定されることのないよう配慮した。

本研究は、調査対象者の同意を得た上で、質問様式を用いて臨床情報・検査結果等の情報を主治医及び調査対象者から収集をする研究であり、また参加の任意性および撤回についてもあらかじめ調査対象者に説明した上で研究を行うことから、侵襲や健康に対する不利益を伴うことはない。また、先天梅毒児が入院中もしくは外来受診時に合わせて調査員が病院へ出向いて行う研究であ

り、調査対象者においては研究参加のために来院する負担や経済的出費は伴わない。質問様式やインタビューの回答に要すると考えられる時間はそれぞれ10分～30分を想定しており、研究参加前に予め調査対象者に説明し、同意を得た。本研究に参加することによる調査対象者およびその先天梅毒児への即座の診療上の利益はないが、本研究により得られた知見は今後の先天梅毒の診断治療の向上、予防のために役立つと期待される。研究参加者（主治医および、母親もしくは代諾者等）にはクオカード1000円分を謝品として渡した。

C. 研究結果

1. 性感染症定点把握4疾患の動向

1) 定点当たり報告数推移（図1，2）

発生動向調査から見た5類定点把握疾患の動向については、概ね例年並みであった。男女ともに、例年通り定点把握4疾患の中では性器クラミジア感染症の報告数が最も多かった。性器クラミジア感染症は男女ともに近年概ね報告数は横ばいであった。また、例年同様、性器クラミジア感染症は、5月から10月の春～秋にかけて報告数が多い傾向が見られた。性器ヘルペスは男女とも値の揺れがあるものの近年増加していた。尖圭コンジローマは、男性では概ね横ばい、女性では2014年以降微減少していた。淋菌感染症は、男女ともに近年減少傾向であった。

2) 性別・年齢群別定点当たり報告数推移（図2，3）

性器クラミジア感染症

2017年は男女ともに20～24歳の報告が最も多く、男性では例年最も多かった25～29歳の報告数を20～24歳の報告数が上回った。女性でも2017年は20～24歳の報告が増加していた。この20代前半での増加は男女とも北海道、神奈川県、大阪府で多かった。10歳代後半の女性では、2013年以降減少傾向であった。

性器ヘルペス

2017年は、例年同様、男性と比べ女性の年齢分布の方が若く、男性は25～49歳の報告が多いのに対して、女性は20歳代が多く、特に20歳代後半の報告が最も多かった。過去約10年を見ると男女とも40歳代で増加傾向であった。再燃との区別が特に難しい60歳以上の報告は男女とも解釈が困難である。

尖圭コンジローマ

2017年は、例年同様、男性と比べ女性の年齢分布

の方が若く、男性は 25～34 歳の報告が多いのに対して、女性は 20 代が多く、特に 20 歳代前半の報告が最も多かった。また、女性では 15～29 歳では減少傾向であった。

淋菌感染症

2017 年は、男女ともに 20～24 歳の報告が最も多く、男性では例年最も多かった 25～29 歳の報告数と 20～24 歳の報告数がほぼ同程度であった。近年男女ともに多くの年齢層で報告数は減少傾向である。

3)性感染症定点医療機関数(図 4、表 1)

2017 年性感染症定点医療機関数の平均は 988

(2018 年 2 月 19 日現在

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2005/04/tp0411-1.html>)

と近年微増傾向が続いており、2017 年 12 月(総数 987)に報告した定点医療機関の内訳は産婦人科(産科、婦人科、産婦人科の合計) 476 (48%)、泌尿器科 415 (42 %)、皮膚科 85 (9%)、性病科 11 (1%) であった。2017 年 12 月の定点医療機関数を都道府県別にみると、産婦人科系と泌尿器科との比は岐阜県の 3/9 や愛媛県の 2/6 から岡山県の 14/3 や山形県の 8/2 まで幅広かった。

2. 梅毒の動向

1)報告数推移(図 5、6)

梅毒の総報告数は、2017 年は 5819 例で 2000 年以降最も多かった(2018 年 3 月 8 日現在)。2011 年以降の増加は男女ともに認められており、2017 年は男性では 3925 例、女性では 1894 例で、どちらも 2000 年以降最も多かった。2017 年の報告数で男女比(報告数の男性/女性)をみると、2.1 であり、過去 4.0 前後で推移していたことを踏まえると、2016 年に引き続き、男女比が減少している[2011 年(3.7)、2012 年(3.8)、2013 年(4.2)、2014 年(3.4)、2015 年(2.5)、2016 (2.3)]。

2017 年の病期別報告数は、無症候 1578 例(27%)、早期顕症Ⅰ期 2106 例(36%)、早期顕症Ⅱ期 2001 例(34%)、晩期顕症 125 例(2%)、先天梅毒 9 例であった。2017 年の病期別報告割合は概ね 2016 年と同様の傾向であったが、早期顕症Ⅰ期の割合の増加がみられた。男女別にみると、男性では無症候 828 例(21%)、早期顕症Ⅰ期 1734 例(44%)、早期顕症Ⅱ期 1257 例(32%)、晩期顕症 102 例(3%) であった。男性の早期顕症Ⅰ期梅毒の報告が増加し、特に 40～44 歳を除く 20 歳～49 歳の幅広い年齢で 2016 年より報告数が多かった。女性では無症候 750 例(40%)、早期顕症Ⅰ期 372 例(20%)、早期顕症Ⅱ期 744 例(39%)、晩期顕症 23 例(1%)

であった。女性の無症候症例はほぼ全ての年齢群で増加が見られたが、特に 20～24 歳代の報告が多かった(2016 年:160 例、2017 年:220 例)。また、早期顕症梅毒も 15 歳～69 歳代で増加しており、特に 20 歳～24 歳代、35～54 歳代の増加が認められた。先天梅毒は 2017 年には男児 4 例、女児 5 例であった。先天梅毒の報告数は、2013 年に 4 例、2014 年に 10 例(先天梅毒と報告された成人例 1 例を含む)、2015 年に 13 例、2016 年に 15 例と増加傾向にあったが、2017 年は減少がみられた。

2)人口 10 万当たり報告数の推移(図 7)

2017 年の人口 10 万当たり報告数は全体で 4.58、男性が 6.36、女性が 2.91 であった。男女とも増加が著しかった。

3)年齢群別報告数の推移(図 8)

男性は 2017 年も 2016 年に引き続き 15～65 歳の幅広い年齢で増加しており、特に 20～39 歳代の増加が目立った。女性は 2016 年に引き続き 20～24 歳の報告が最も多かった。一方、2017 年は 15～50 歳の幅広い年齢で報告数が増加していた。

4)感染経路(図 9、10)

男性では 2017 年の感染経路が報告されていた 3629 例(92%:複数感染経路の報告はそれぞれを 1 例とみなす。以下同様)でみると、3608 例(99%)が性的接触であり、内訳は同性間 679 例(性的接触による 3608 例の中で 19%)、異性間 2344 例(同 65%)、異性間/同性間 30 例(同 1%)、性的接触の詳細不明 555 例(15%) であった。感染経路不明は 302 例(8%) であった。6 例が複数の感染経路として重複報告されていた。2011 年以降、男性の同性間性的接触による感染の報告が急増していたが、2015 年以降は異性間性的接触による報告が増加し、2017 年にかけて、性的接触の報告に占める割合も増加している。

女性では 2017 年の感染経路が報告されていた 1737 例(全体の 91%)の中で 1719 例(99%)が性的接触であり、内訳は異性間 1541 例(性的接触による 1719 例の中で 90%)、同性間 10 例(同 1%)、異性間/同性間 0 例、性的接触の詳細不明 168 例(同 10%) であった。感染経路不明は 163 例(全体の 9%) であった。6 例が複数の感染経路として重複報告されていた。2011 年以降、女性の異性間性的接触の報告が急増している。

年齢群別にみると、男性では 2012 年～2014 年までは同性間性的接触による報告が異性間を上

回っていたが 2015 年以降は異性間性的接触による感染が同性間性的接触を上回り、20～60 歳代の幅広い年齢群で増加が著しかった。女性では 20 歳代の異性間性的接触による感染が多かったが、増加率では 30 歳代、40 歳代、50 歳代においても増加がみられた。

なお、感染経路の報告には確定以外に推定が含まれていた。

5)都道府県別報告数(図 1 1)

2017 年の報告は、東京都 1777 例、大阪府 840 例、愛知県 339 例、神奈川県 322 例などであった。2016 年は東京都 1671 例、大阪府 591 例、愛知県 259 例、神奈川県 290 例であった。2015 年と比べ、東京都は 1.1 倍、大阪府では 1.4 倍、愛知県で 1.3 倍、神奈川県では 1.1 倍であった。東京都と大阪府の報告は多いものの、2016 年との比較では 2 倍を下回った。また、2017 年においても、東京都が、絶対数、人口当たりの報告率共に最多であったが、東京都以外の地域での報告数及び人口あたり報告率の増加がみられ、東京都以外が占める割合が増加した。

3. 先天梅毒の研究

先天梅毒 13 例の臨床情報について、11 例が新生児期に診断され、他 2 例はそれぞれ生後 1 か月と 2 か月に診断された。出生週数(不明 3 例)は中央値 35 週(範囲 28-40 週)、出生体重(不明 1 例)は中央値 2,208g(範囲 677-2,956g)であった。4 例は無症状で、9 例は、肝脾腫、腹水、肝腎機能障害、貧血、血小板減少、播種性血管内凝固症候群、炎症反応高値、低血糖、遷延性肺高血圧症、脳室拡大等の非特異的な複数の症状・所見を認めた。検査診断は主に *T. pallidum* を抗原とする IgM 抗体(FTA-ABS IgM 抗体)検査でなされたが、胎盤の PCR 検査で診断に至った症例、および児と母親の臨床所見から総合的に診断された症例を各 1 例認めた。血清カルジオリピン抗体価が母親の抗体価よりも 4 倍以上高値を示した症例は 2 例のみであった(不明 1 例)。治療は、13 例中 11 例がベンジルペニシリン(PCG)静注でなされた(投与期間: 5 例は 10 日間、1 例は 12 日間、4 例は 14 日間、1 例は 35 日間)。うち 1 例は、外来加療への移行のためアジスロマイシン内服も併用された。13 例中 2 例は、アンピシリン(ABPC)14 日間静注で治療がなされたが、うち 1 例は再燃したため、PCG 10 日間静注で追加治療が実施された。調査時点の転帰は全例が生存であった。

患児の母親 13 例の年齢中央値は 25 歳(範囲

18-40 歳)で、10 代が 2 例であった。国籍は 12 例が日本であった(不明 1 例)。背景情報として、8 例が妊娠時に未婚であり、4 例に性産業従事歴を認めた(不明 2 例)。また 2 例に生活保護受給歴を認めた(不明 2 例)。最終学歴は大学・大学院卒が 1 例、高卒が 7 例であった(不明 5 例)。他の性感染症の合併を 5 例で認め、うちクラミジア感染症が 4 例、クラミジアと淋菌感染症の合併が 1 例であった(不明 4 例)。

妊婦健診受診歴は、未受診が 3 例、不定期受診が 3 例、定期受診が 7 例であった。未受診例の 3 例は飛び込み分娩もしくは墜落分娩で、分娩時に梅毒と診断された。不定期受診例の 3 例のうち 1 例は、妊娠中期で初回受診し梅毒スクリーニング検査(以後、スクリーニング検査)で梅毒感染を疑われたが、治療開始が検討されていた次の受診日前に分娩に至ったため分娩後に治療開始となった。他の 2 例は妊娠中期もしくは後期に初診後に梅毒の診断に至り、妊娠 31 週からアンピシリン、もしくは妊娠 26 週からアセチルスピラマイシンによる内服治療が開始されたが、いずれの症例も治療経過が不良であった。定期受診例の 7 例中 4 例は、妊娠初期のスクリーニング検査は陰性であった。このうち 3 例は、その後の妊娠中に早期梅毒症状と考えられる発熱、咽頭炎、発疹、陰部症状等を認めたことを自覚しており、妊娠中に感染したと考えられた。定期受診例のうち他の 3 例は、いずれも梅毒感染の既往があり、初期のスクリーニング検査で活動性の判断が困難であり診断・治療に至らなかった症例や、初期のスクリーニング検査では非活動性の結果であったが、病院の方針による妊娠 35 週でのルーチンの梅毒検査で活動性の梅毒感染が判明した症例、また、初期のスクリーニング検査で梅毒の診断に至り、速やかにサワシリンによる内服加療が開始されたが、妊娠悪阻により内服困難である状況が持続し、治療経過が不良であった症例が含まれた。

母親へのインタビューの結果、学校教育やメディア・雑誌、妊婦健診等のいずれの情報源からも、妊娠中に気を付けるべき性感染症の情報を得ていた症例はなかった。また、梅毒の胎児への影響や、反復感染のリスク、パートナーの治療の必要性等の情報が欲しかったとの意見があった。情報提供方法は、母子健康手帳交付時に配布されるパンフレットや育児アプリ等によると良いとの意見があった。主治医からは、梅毒および先天梅毒の診療に関する知識と経験の不足、感染症発生動向調査における先天梅毒の届け出基準の複雑さ、妊娠中期・後期のスクリーニング検査の実施を含

む、国内における先天梅毒の診療に関するガイドライン/ガイドラインの必要性に関して意見が聞かれた。

D. 考察

1. 性感染症定点把握 4 疾患の動向

性感染症定点からの報告によると、性器クラミジア感染症と淋菌感染症では男女ともに 20 歳代の報告が多く（男性は 20 歳代前半と後半が同程度だが、女性は 20 歳代前半がより多い）、性器ヘルペスと尖圭コンジローマにおいては、女性症例の年齢分布の方が若かった。

性器クラミジア感染症は男女共に、依然として最も多く報告される性感染症であった。2017 年には男女とも 20 歳代前半の報告数が微増しており、男女とも北海道、東京周辺の関東の都道府県、大阪近辺で増加が目立っていた。今後の動向注視と若年者での啓発強化が重要である。また、夏季にかけて報告数が多い傾向が例年通り見られる為

（<https://www.niid.go.jp/niid/ja/10/2097-monthlygraph/1663-01chlamydt.html>）、季節的な啓発も検討する事が考えられる。淋菌感染症では男性で 20 歳代の報告数が最多であったが、引き続き男女とも減少傾向であった。性器ヘルペスは、人口を反映してか、男女とも 40 歳代で微増傾向であった。尖圭コンジローマは、10 歳代後半から 20 歳代の若年女性で 2014 年以降減少してきているが、2013 年 4 月からヒトパピローマウイルスワクチンの定期接種化による 4 価ワクチン接種の影響かどうかは不明であり、引き続き若年者での動向、特に人口当たりの報告数を注意深く見ていく必要がある。

報告数の増減を考えると、現行の感染症法のもとでの定点把握がどれだけ実態を反映しているかが重要である。2011 年 2 月に「性感染症に関する特定感染症予防指針」が告示され、地方自治体での定点設定に各診療科の割合を反映させることや長期にわたって報告実績のない医療機関についての見直しなどが求められた。その結果、2012 年から 2013 年にかけて、毎年 10 を超す都道府県で性感染症定点の変更が行われていた。今後、地方自治体が地域で性感染症患者を多く診療している医師や医療機関を把握し、より良い定点設定、或はその他の情報も用いた発生動向把握等に向けて地域医療機関や医師会と協議していくことが期待される。

感染症発生動向調査の結果を解釈する際には、いくつかの点に注意が必要である。まず、性器ク

ラミジア感染症、淋菌感染症は無症候の症例が見逃されている可能性がある。両疾患とも咽頭感染が感染拡大の一つの原因とされているが、本調査では把握が出来ない。また、年齢群でみた定点当たり報告数の増減は、年次推移や性別年齢群毎の把握等には有用だが、各年齢群の人口構成を加味していないため、罹患率の評価は行えない。若年者人口の減少を考慮する為に、若年者だけの解析も還元しており（IDWR 月報においては、若年層における性感染症の年別・月別推移を表記している）、年齢調整等を考慮する必要がある。また、定点当たり報告数は定点設定に大きく依存しているが、性感染症は居住地外のクリニックを受診することも多く、人口当たりで定められている定点は必ずしもその地域の住民の性感染症発生状況を反映していない。更に、定点当たり報告数の診療科別内訳は、都道府県によって大きく異なる為（表 1）、都道府県別の比較等の解釈には制約がある。

また、近年性感染症の郵送検査が普及してきており、その様な社会背景によって、検査・受診行動も影響を受けることが考えられる。よって、感染症発生動向調査の年次推移等の解釈については、注意が必要であり、検査数・陽性率の推移、妊婦健診の結果等、その他の調査や情報とあわせて解釈するのが重要であると考えられる。

2. 梅毒の動向

梅毒は 2011 年から男女ともに増加傾向であり、人口 10 万当たりの報告数をみると、2013 年までは男性での増加、2014 年からは女性の増加が著しく、その傾向は継続している。近年、感染経路として男性の同性間性的接触が多数を占めていたことから、男性と性交をする男性（Men who have sex with men : MSM）の間で梅毒が流行していると推定されていたが、男女とも異性間性的接触の報告が引き続き増加しており、梅毒による負荷の大半が異性間性的接触による伝播に変化したと考えられる。一方、2016 年と 2017 年の報告数増加率に着目すると、2017 年には増加率減少の傾向が見られた。この傾向が継続するか今後の動向を注視する事が重要である。

病期では、男女とも早期顕性 I 期が特に増加していた。早期顕性症例の増加は真の梅毒罹患率の増加を反映している可能性がある。無症候症例の増加（また、女性においては、気づきにくい早期顕性 I 期の増加）は、受診行動・検査行動の動きを反映している可能性があるが、検査数、陽性率等の推移を把握していない為、発生動向調査では

発見の契機が不明であり、解釈が困難である。

年齢に関しては、男性では20歳代から40歳代が多く、女性では20歳代の増加が著しかった。米国でも2001年から梅毒が増加してきているが、流行の中心はMSMである。しかし、近年米国でも、女性と先天梅毒の増加を認めており、若い女性に増加がみられていることは緊急事態と捉えられる。

男性の梅毒は感染経路が報告されたもののうち、2017年は19%が同性間性的接触で、異性間性的接触は65%であった。異性間性的接触による報告数及び報告の割合が増加している。大半が異性間性的接触であった女性の梅毒の報告数も同様に大きく増加しており、異性間性的接触の動向を引き続き監視することが重要である。2016年と比較し、同性間性的接触の報告は減少しているが、今後の動向を注視し、MSMにおける伝播への注意も欠かせない。

検査方法に関しては、これまで行われてきたRPRカードテスト、凝集法、ガラス板法に代わり、自動化法（自動分析器による測定）を用いた測定値を採用する医療機関が増えつつある。なお、ガラス板法、凝集法は検査キットの国内流通最終ロットの使用期限が2014年12月時点ですぎているため、信頼性に疑いが生じる。感染症発生動向調査では自動化法を用いた測定については、梅毒の正確な発生動向の把握のためには、多岐にわたる梅毒検査方法とその解釈を臨床医と行政担当者に適切に理解してもらうことが重要であり、届出基準の周知はその第一歩であると考えられた。

小児の先天梅毒は2017年には9例が報告された。先天梅毒の発生は、妊娠中の性感染対策の不備の表れとして重要である。2017年の先天梅毒報告数9例は、2016年の15例と比較し、減少しているが、先天梅毒に対する注意は引き続き欠かせない。妊婦の未受診、妊娠中の感染、適切な治療を受け、治療効果判定がされているか、など先天梅毒の詳細な情報収集・把握を継続して行い、適切な対策を行っていく必要がある（以下、「3. 先天梅毒の研究」参照）。また、児の母親の妊娠前から妊娠中の梅毒感染・治療に関連する社会的背景についての情報も、先天梅毒の発生予防の為の対策立案に繋がる可能性もあり、検討すべきである（以下、「3. 先天梅毒の研究」参照）。

梅毒の発生動向調査結果の解釈では過小評価の可能性を考える必要がある。梅毒は診断した全症例の届出が法律で義務付けられているが、このことは全ての医師に周知されていない可能性がある。一方、近年の梅毒急増は緊急事態であり、

医療従事者や行政担当者の中で危機感を共有されつつある。それら関係者に対して梅毒増加について周知を図ること、20～40歳代の男性、男性と性交をする男性、20歳代女性というハイリスク集団に対して梅毒増加と予防法について情報提供を行うこと、そして患者のパートナーに検査を進め、感染の可能性のあるパートナーへの医療の提供を図っていくことなどの対策を、各関係者が行っていくことが引き続き重要である。

3. 先天梅毒の研究

先天梅毒児の母親は、諸外国等からの既報と同様に、若年妊娠、未婚、他の性感染症の既往・合併、性産業従事歴、妊婦健診が未受診もしくは不定期受診である等の背景を持っており、これらは本邦においても近年の先天梅毒発生のリスクに関連した要因であると考えられた。一方、妊婦健診を定期受診していた母親においても先天梅毒が発生していることが確認され、梅毒感染の既往を認める妊婦における初期のスクリーニング検査結果の解釈の困難さや、妊娠中に感染に至り適切な診断・治療に至らなかった症例を認めたことは重要な課題であると考えられた。

また本結果から、先天梅毒の発生を予防するためには、1) 個人（母親とパートナー）、2) 医療従事者、および3) システムの各レベルにおける課題に対する多方面からの公衆衛生的アプローチが必要であると考えられた。1) 個人レベルにおいては、未受診妊婦（特にハイリスクの妊婦）および梅毒を含む性感染症に対する認識の不足が課題であると考えられた。2) 医療従事者レベルにおいては、梅毒および先天梅毒の診療に関する知識の不足や、パートナー健診の徹底や再感染の注意に関する患者とのコミュニケーションの不足が課題であると考えられた。これらの課題に対し、引き続き、一般市民への性感染症予防知識の普及（例：2016年10月感染症研究所一般公開で「妊娠と梅毒」の展示等）と、医療従事者への啓発が必要であると考えられた（例：「先天梅毒児の臨床像及び母親の背景情報（暫定報告）」（IASR）. Vol. 38. No. 3 (No.445). 2017.3.等）。一般市民への情報提供においては、母子手帳交付時に広く配布されるパンフレットや、アプリなどを利用することも有用であると考えられた。3) システムレベルにおいては、先天梅毒の届け出基準の複雑さや、妊娠中期・後期の梅毒スクリーニング検査の実施を含めた診療に関する指針の不足が課題であると考えられた。この課題に対し、医療従事者等へ向けた診療に関するガイダンス/ガ

イドライン等の作成を通じて情報提供を行っていくことが重要であると考えられた。これらには、先天梅毒発生のリスクに関連した背景要因を有する妊婦における、スクリーニング検査結果の慎重な解釈の必要性、妊娠中期・後期のスクリーニング検査の考慮、および、妊婦のみでなく児においても、梅毒の流行状況や母親の背景要因を考慮に入れ先天梅毒を鑑別に挙げることの必要性を含めることが重要である。本結果から得られた知見を、先天梅毒の発生予防のための対策立案に役立てていくことが望まれる。本研究にご協力いただいた患者、医療機関の主治医を初め、発生動向調査に関わる全ての医療機関及び自治体関係者の皆様に深謝する。

E. 結論

近年、我が国における性感染症の報告の減少傾向が停滞、或は増加している。人口減少に伴い、若年層が減少しているなか、この様な現状は、公衆衛生上懸念であり、引き続き継続した性感染症発生動向の監視・把握・対策が重要である。とりわけ、アウトブレイク中の梅毒においては、先天梅毒の発生も含め、直近の発生動向の把握、定期的に広く情報還元する事、そして効果的な対策に繋げる事が重要である。

参考文献

1. 国立感染症研究所：病原微生物検出情報 (IASR)：本邦における先天梅毒発生予防に向けて—感染症発生動向調査報告症例におけるリスク因子の検討—。34：113-114, 2013
2. 国立感染症研究所：病原微生物検出情報 (IASR)：先天梅毒の動向（2011～2014 年）。36：230, 2015
3. IASR「先天梅毒児の臨床像及び母親の背景情報（暫定報告）」(IASR)。Vol. 38. No. 3 (No.445). 2017.3.
4. Bowen V, Su J, Torrone E, Kidd S, Weinstock H. Increase in incidence of congenital syphilis - United States, 2012-2014. MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2015 Nov 13;64(44):1241-5. doi:

10.15585/mmwr.mm6444a3.

5. Congenital Syphilis-CDC Fact Sheet (<https://www.cdc.gov/std/syphilis/stdfact-congenital-syphilis.htm>)
6. Alexander JM, et al.: Efficacy of treatment of syphilis in pregnancy. Obstet Gynecol. 93 : 5-8, 1999
7. Workowski KA, Bolan GA; Centers for Disease Control and Prevention: Sexually transmitted diseases treatment guidelines, 2015. MMWR Recomm Rep. 64: 1-137, 2015
8. Celeste Souza Rodrigues, et al.: Missed Opportunities for congenital syphilis and HIV perinatal transmission prevention. Rev Saude Publica. 42 : 851-8, 2008
9. Qin J.B. et al.: Synthesized prevention and control of one decade for mother-to-child transmission of syphilis and determinants associated with congenital syphilis and adverse pregnancy outcomes in Shenzhen, South China. Eur J Clin Microbiol Infect Dis. ; 33(12) : 2183-98, 2014
10. 水主川 純 他：梅毒感染妊婦 7 例の周産期予後に関する検討。日本周産期・新生児医学会雑誌 46 : 1263-1266, 2010
11. 有馬雄三 錦真吾 山岸拓也：わが国における性感染症の発生動向。日本医師会雑誌 146 : 2469-2473, 2018

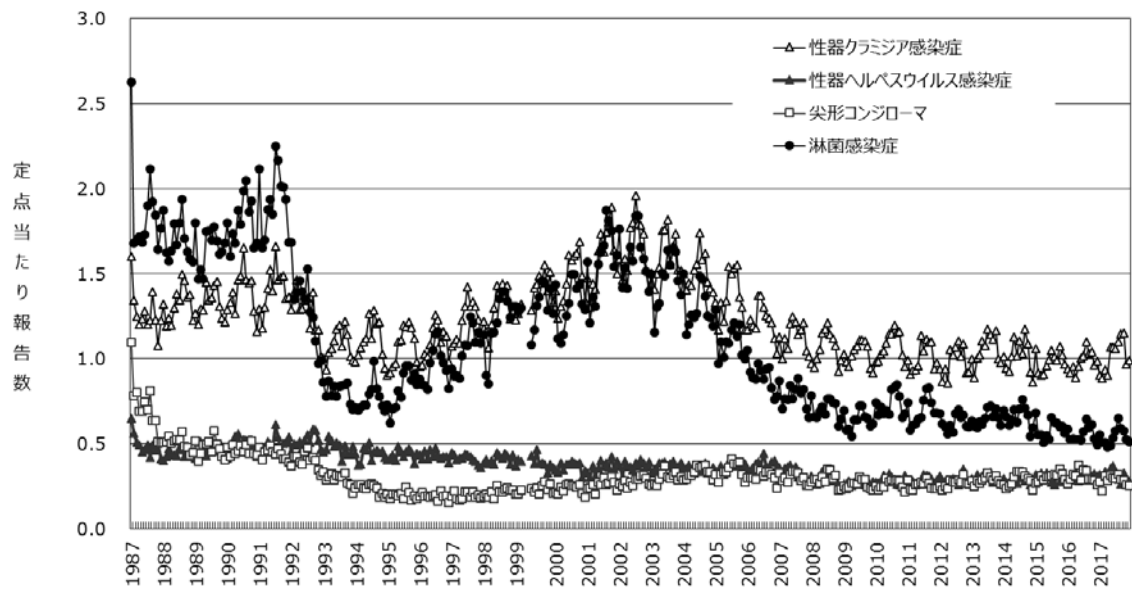
G. 研究発表

1. 論文発表
無
2. 学会発表
無

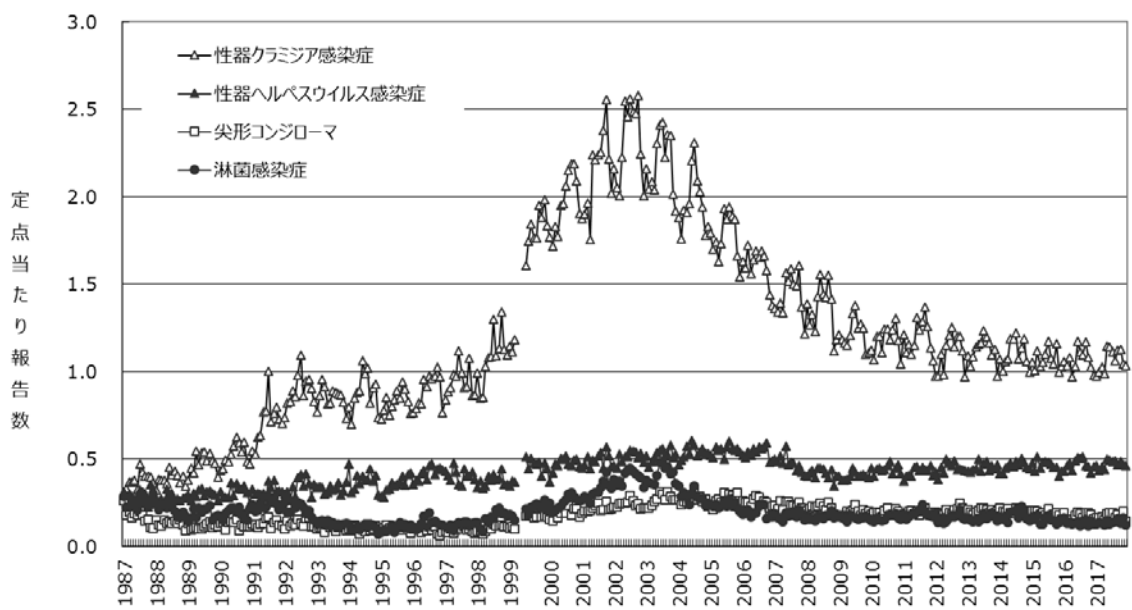
H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
無
2. 実用新案登録
無
3. その他
無

図1. 性感染症定点把握4疾患の定点当たり報告数の月次推移、1987～2017年
男性

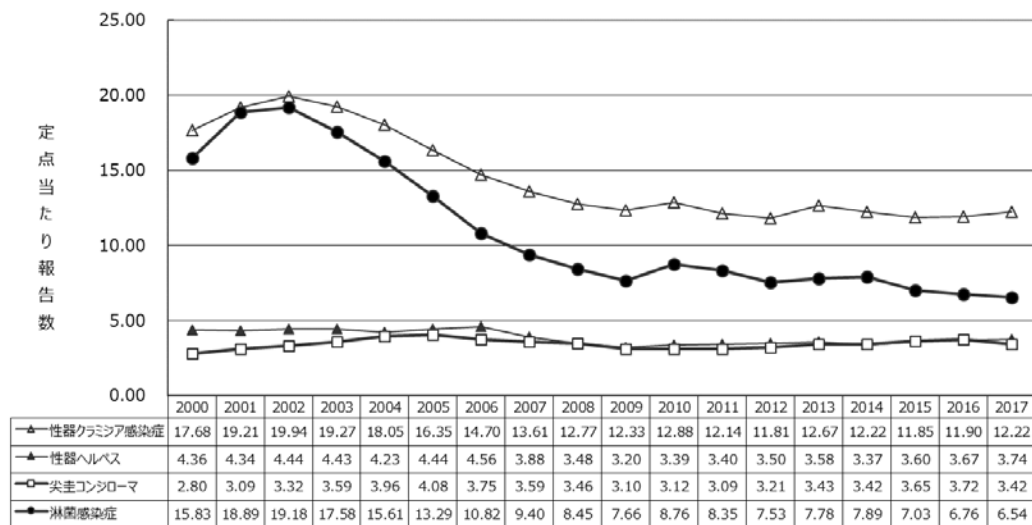


女性



2018年2月16日現在

図2．性感染症定点把握4疾患の定点当たり報告数の年次推移、2000～2017年
男性



女性

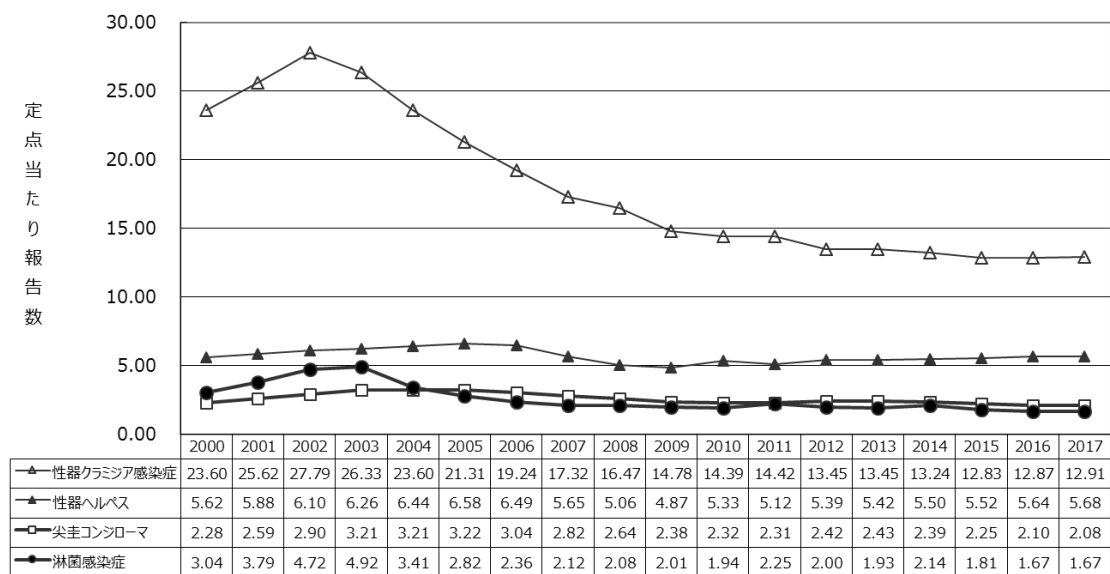
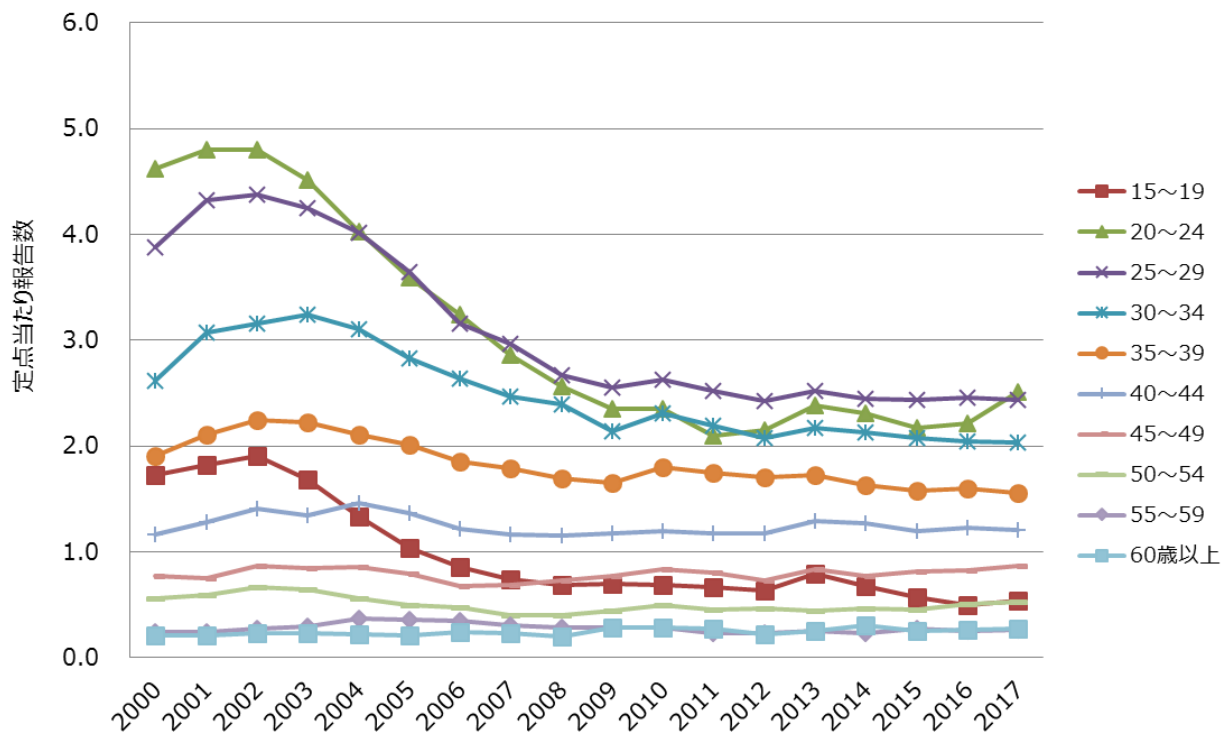


図 3. 性感染症定点把握 4 疾患の年齢別定点当たり報告数の年次推移、2000～2017 年

図 3-1. 性器クラミジア感染症

男性



女性

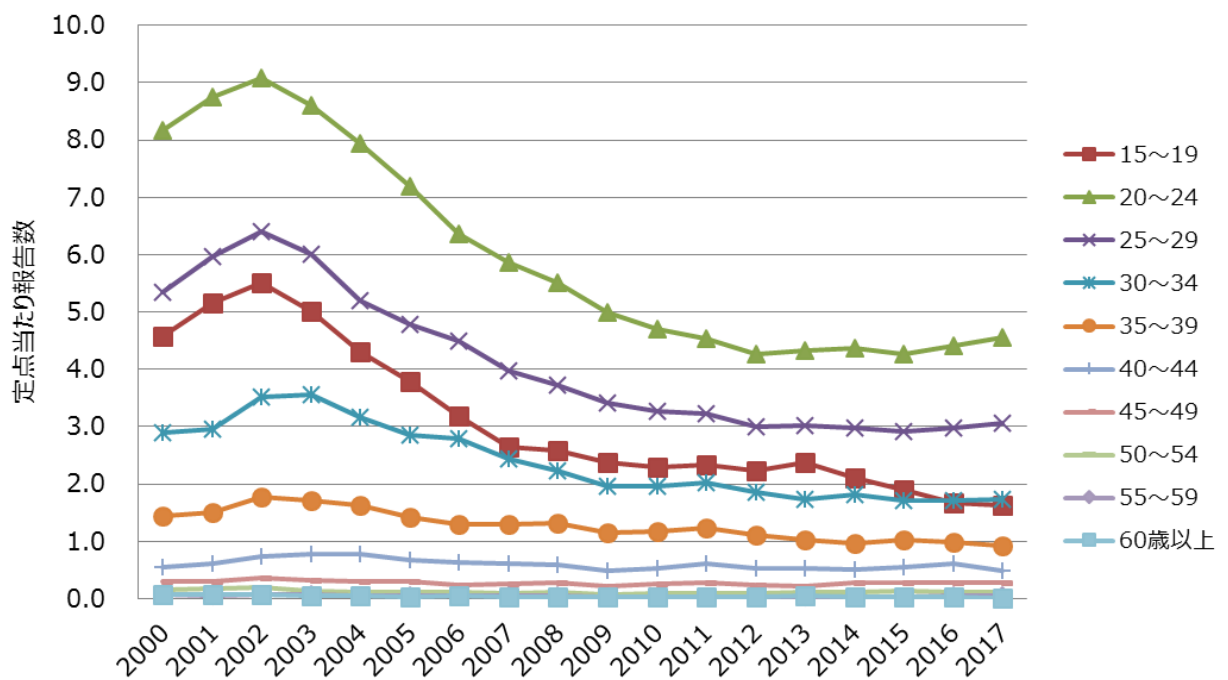
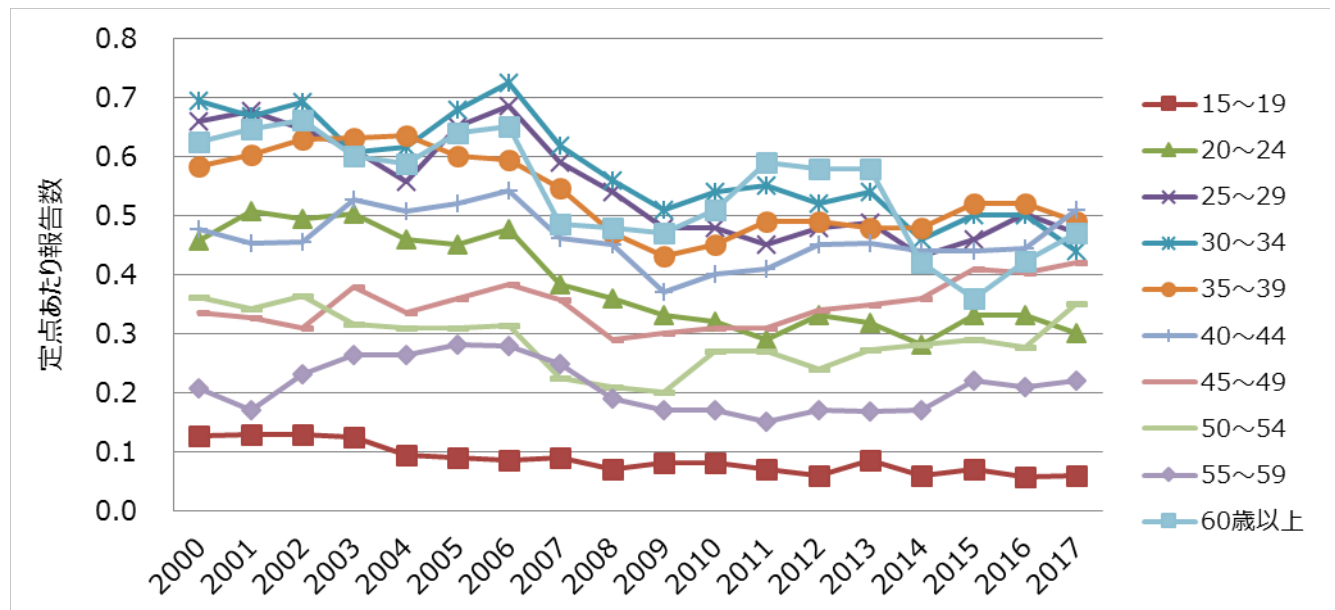


図 3-2. 性器ヘルペスウイルス感染症
男性



女性

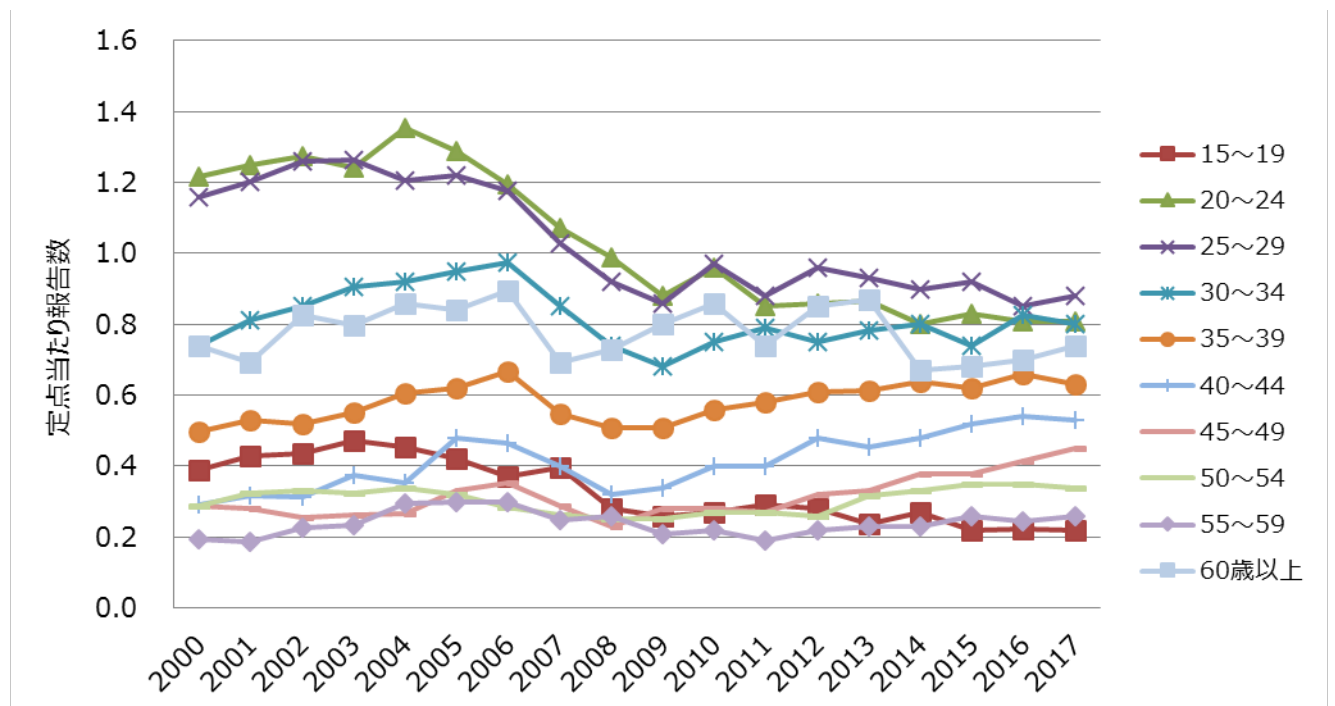
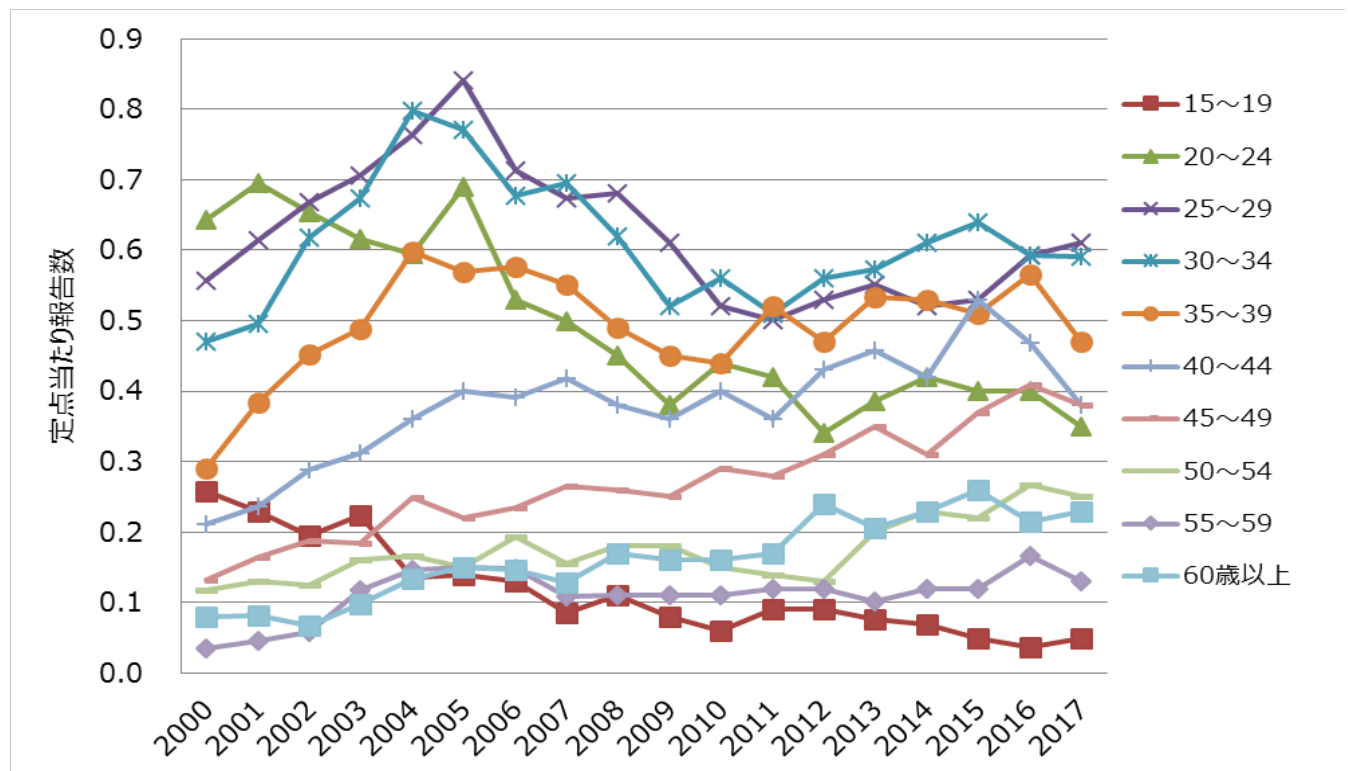


図 3-3. 尖圭コンジローマ

男性



女性

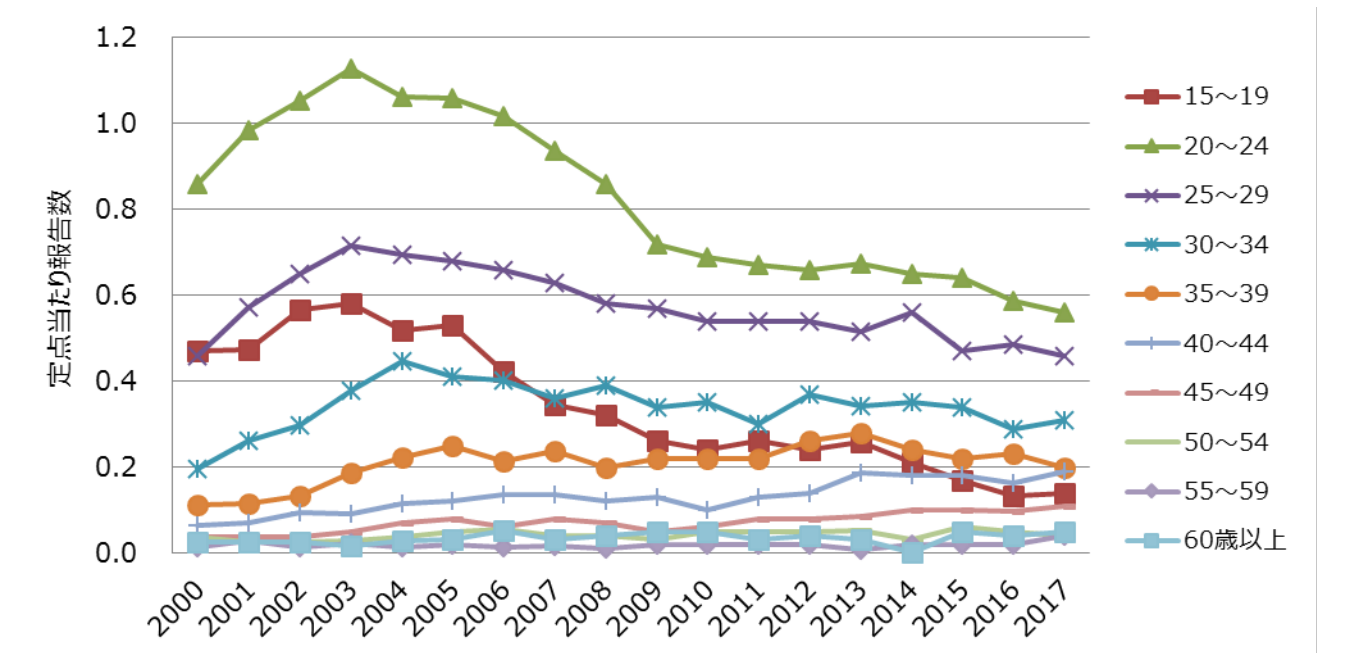
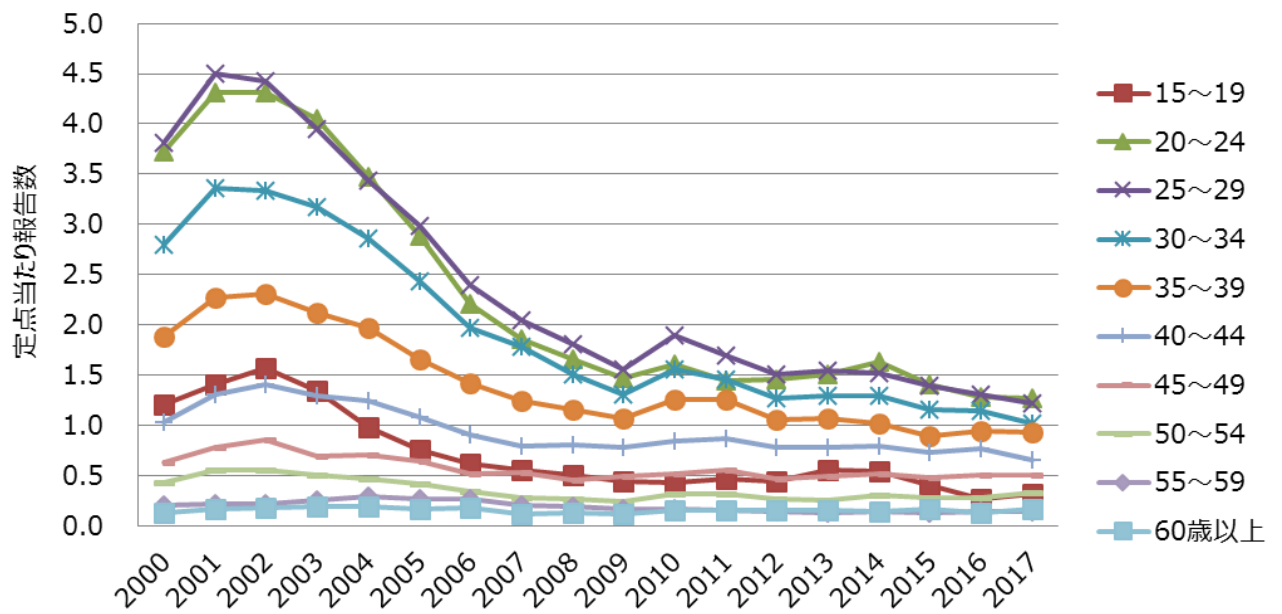


図 3-4. 淋菌感染症

男性



女性

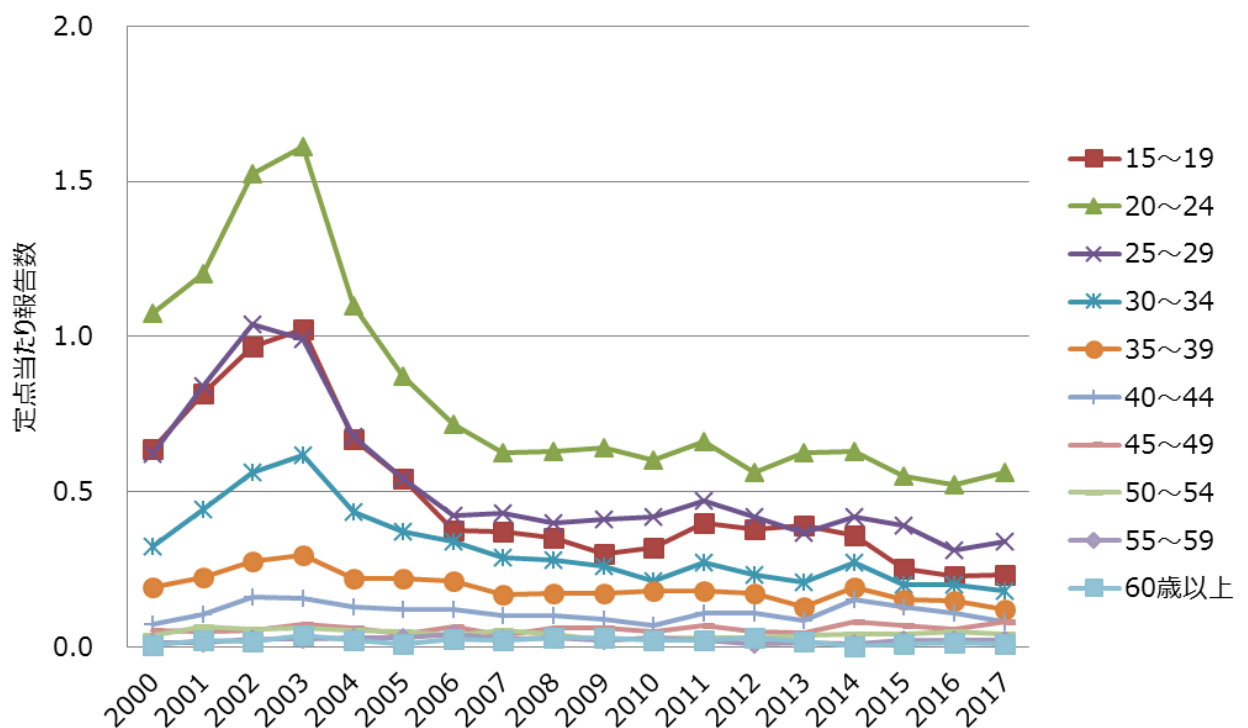


図4．性感染症定点医療機関数の年次推移、1999～2017 年

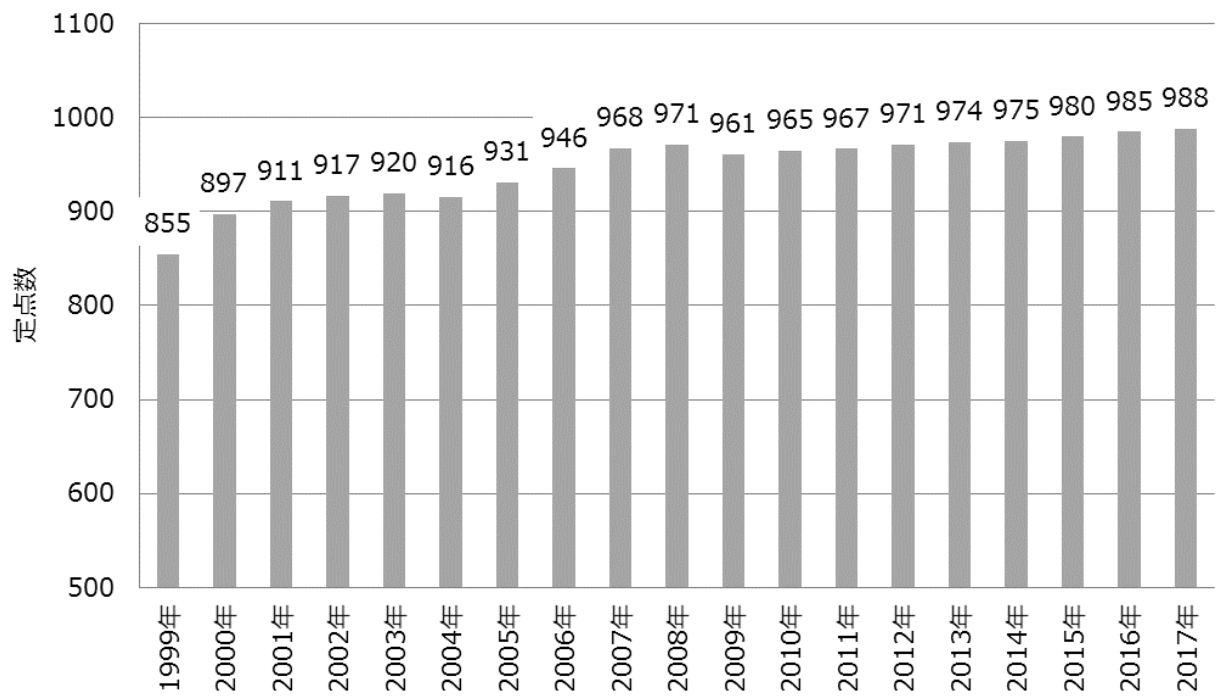


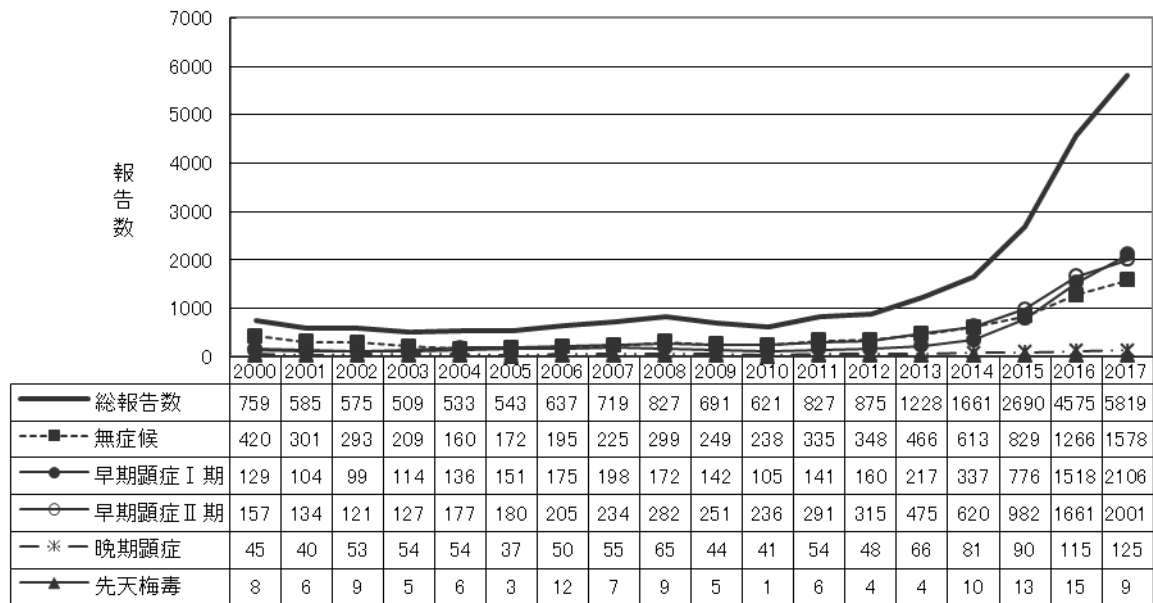
表 1. 診療科別・都道府県別性感染症定点数、2017 年 12 月

都道府県	産科・婦人科・産婦人科	泌尿器科	皮膚科	性病科	総計
北海道	20	19	2	1	42
青森県	5	7	1	0	13
岩手県	11	4	0	0	15
宮城県	9	7	0	0	16
秋田県	8	6	0	0	14
山形県	8	2	0	0	10
福島県	7	8	0	0	15
茨城県	12	7	0	3	22
栃木県	9	7	1	0	17
群馬県	12	11	1	0	24
埼玉県	33	21	4	0	58
千葉県	22	12	9	0	43
東京都	28	22	5	0	55
神奈川県	23	39	5	1	68
新潟県	6	6	3	0	15
富山県	5	4	1	0	10
石川県	4	5	1	0	10
福井県	2	3	0	0	5
山梨県	6	3	0	0	9
長野県	8	3	3	0	14
岐阜県	3	9	3	0	15
静岡県	19	9	2	0	30
愛知県	26	33	6	0	65
三重県	8	5	4	0	17
滋賀県	4	5	0	0	9
京都府	13	4	6	0	23
大阪府	28	25	10	4	67
兵庫県	24	21	1	0	46
奈良県	5	6	0	0	11
和歌山県	3	2	2	0	7
鳥取県	4	3	0	0	7
島根県	3	3	0	0	6
岡山県	14	3	0	0	17
広島県	6	15	1	0	22
山口県	6	4	2	0	12

徳島県	3	3	0	0	6
香川県	7	7	0	0	14
愛媛県	2	6	3	0	11
高知県	3	3	0	0	6
福岡県	20	13	4	0	37
佐賀県	4	3	0	0	7
長崎県	6	4	0	0	10
熊本県	6	10	0	0	16
大分県	4	4	1	1	10
宮崎県	6	4	2	1	13
鹿児島県	5	10	1	0	16
沖縄県	6	5	1	0	12
総計	476	415	85	11	987

2018年2月19日現在

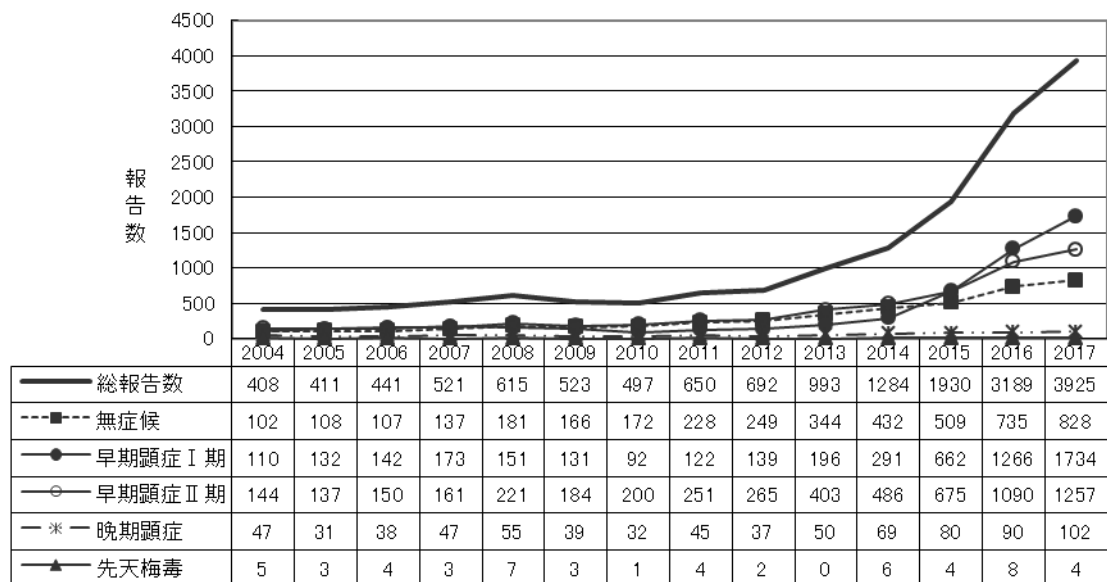
図5. 梅毒 報告数の推移、2000～2017年



2018年3月8日現在

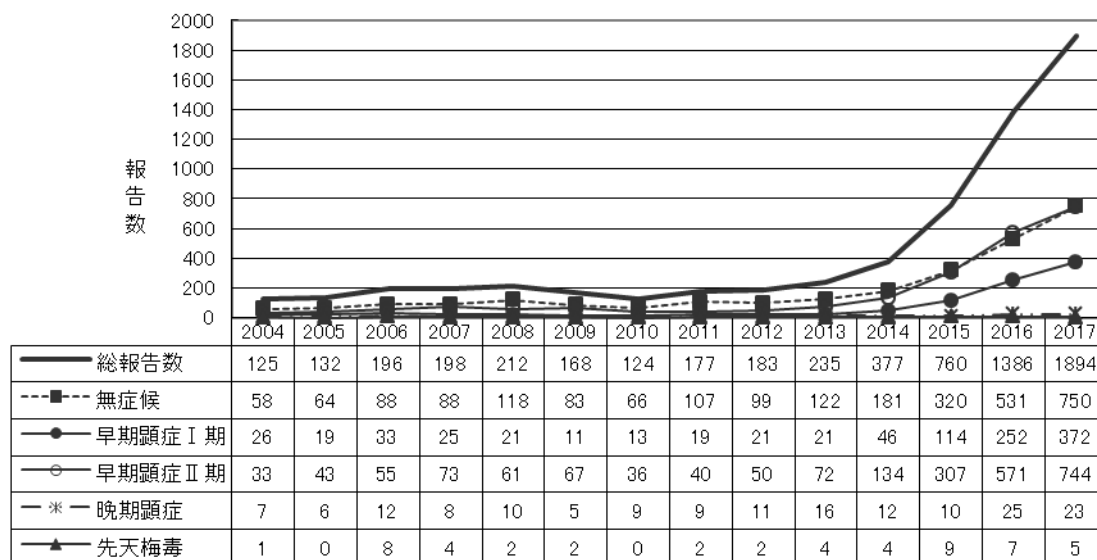
図6. 梅毒 男女別報告数の推移、2004～2017年

男性



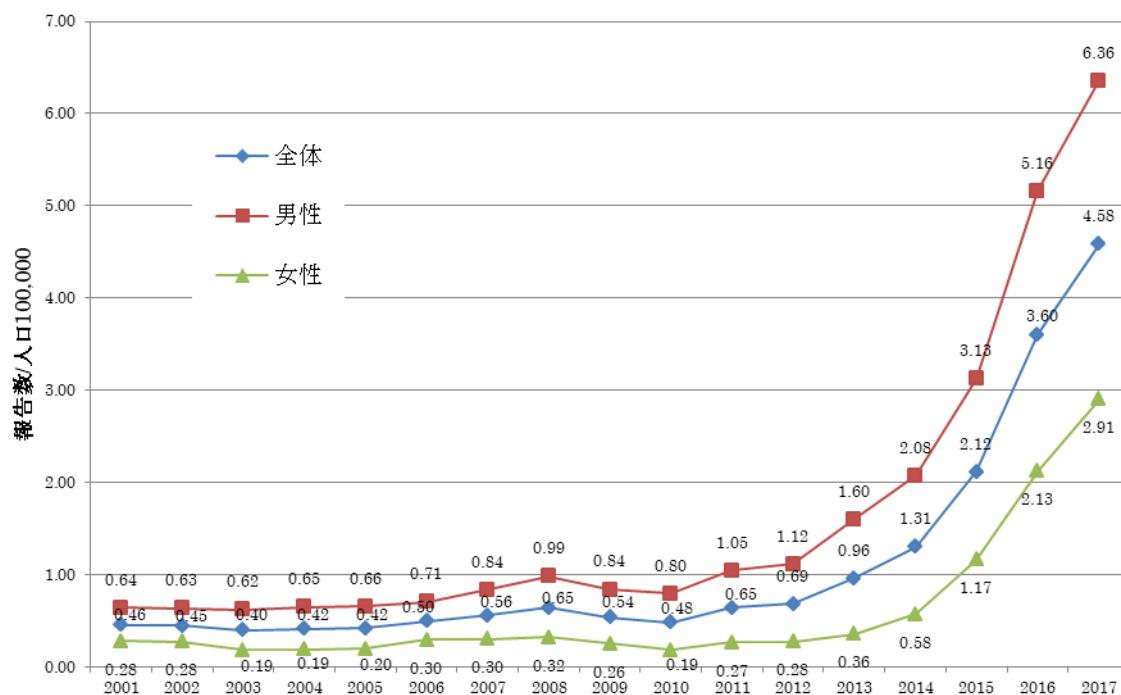
2018年3月8日現在

女性



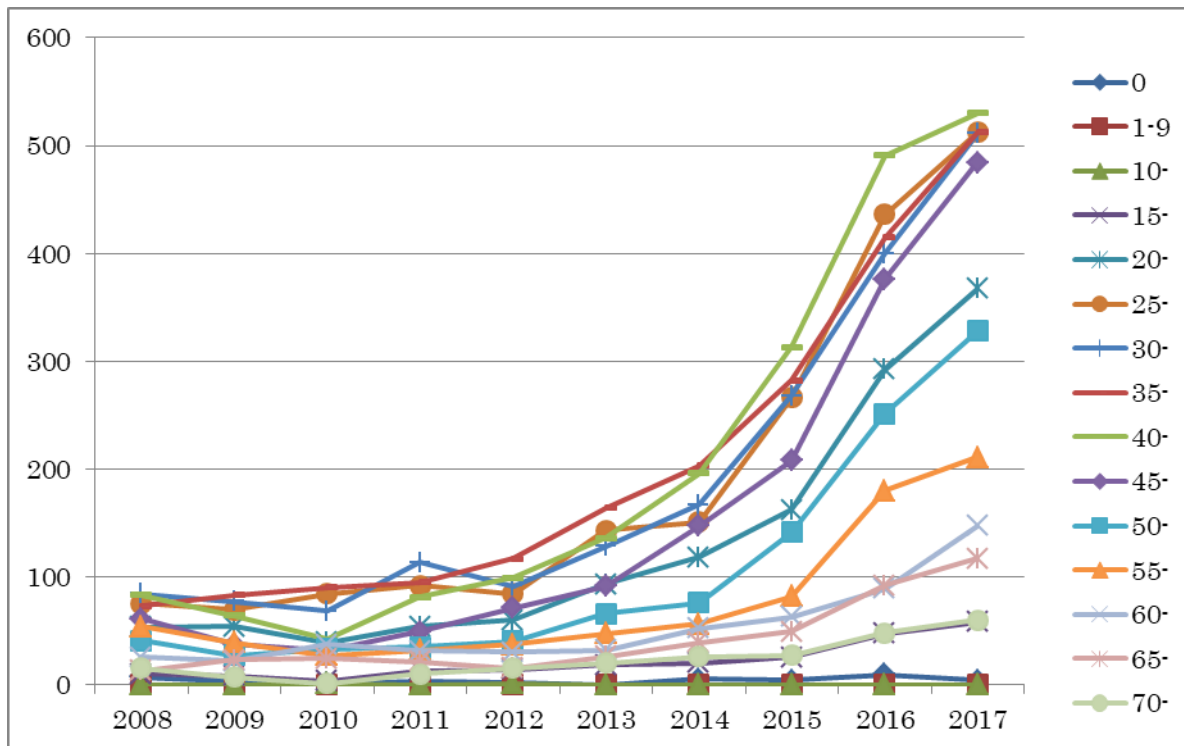
2018 年 3 月 8 日現在

図 7. 梅毒 人口 10 万当たり報告数の推移、2001～2017 年

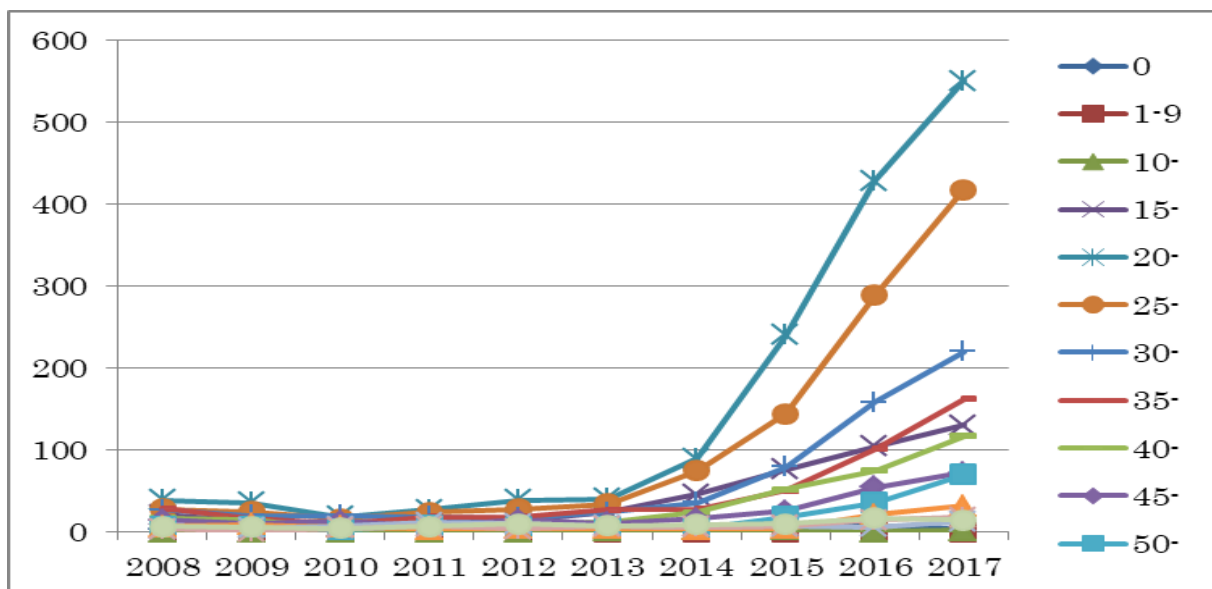


2018 年 3 月 8 日現在の感染症発生動向調査と人口動態統計（毎年 10 月 1 日基準）を使用

図 8. 梅毒の年齢群別報告数の推移、2008～2017 年
男性

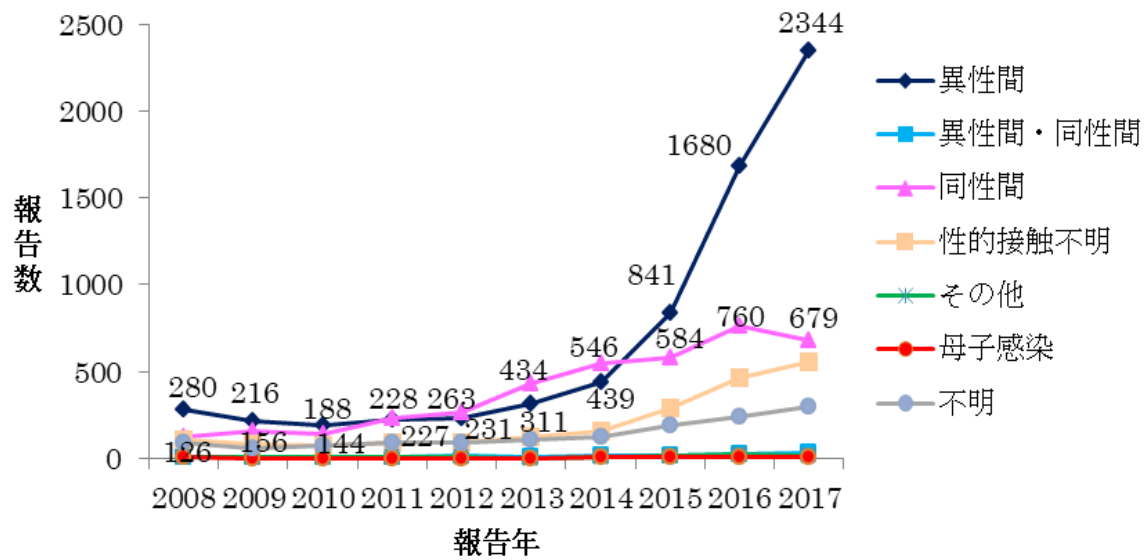


女性

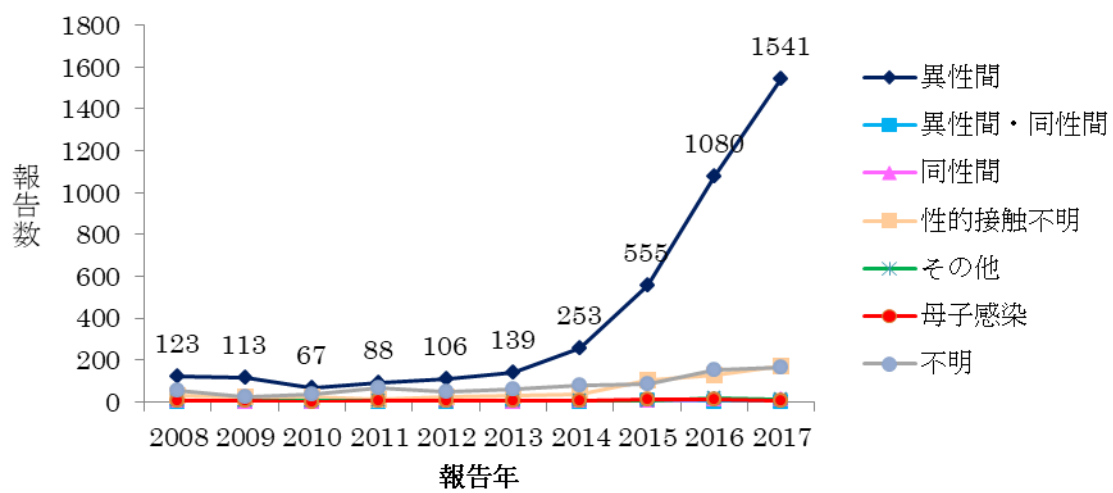


2018 年 3 月 8 日現在

図9．梅毒の感染経路別報告数の推移、2008～2017 年
男性



女性

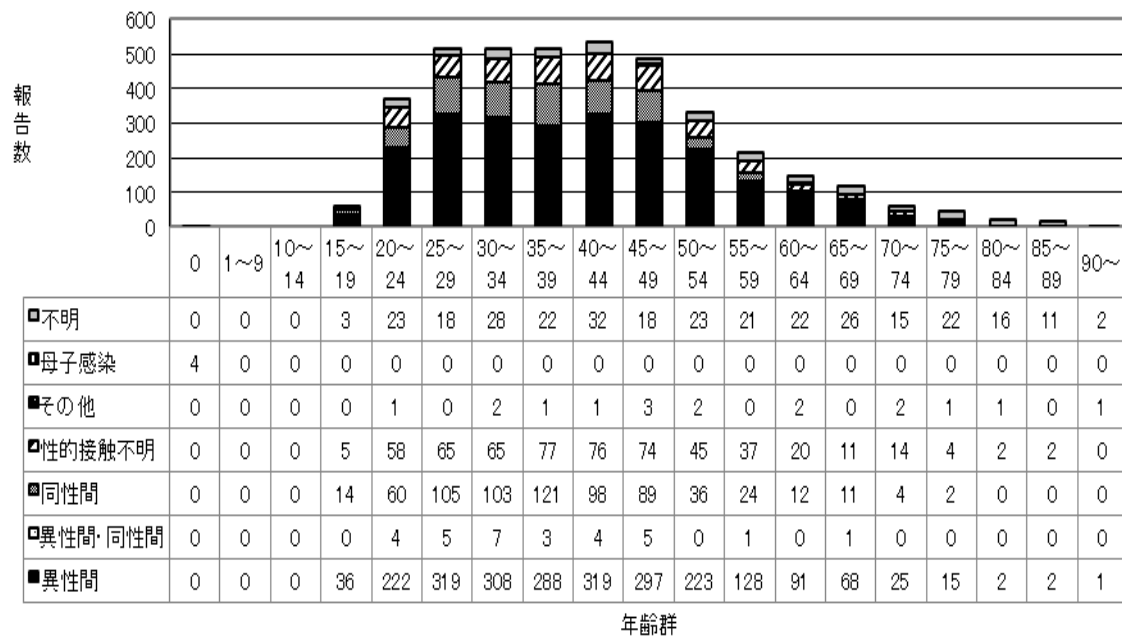


2018 年 3 月 8 日現在

図 1 0 . 梅毒の年齢群別感染経路分布、2017 年

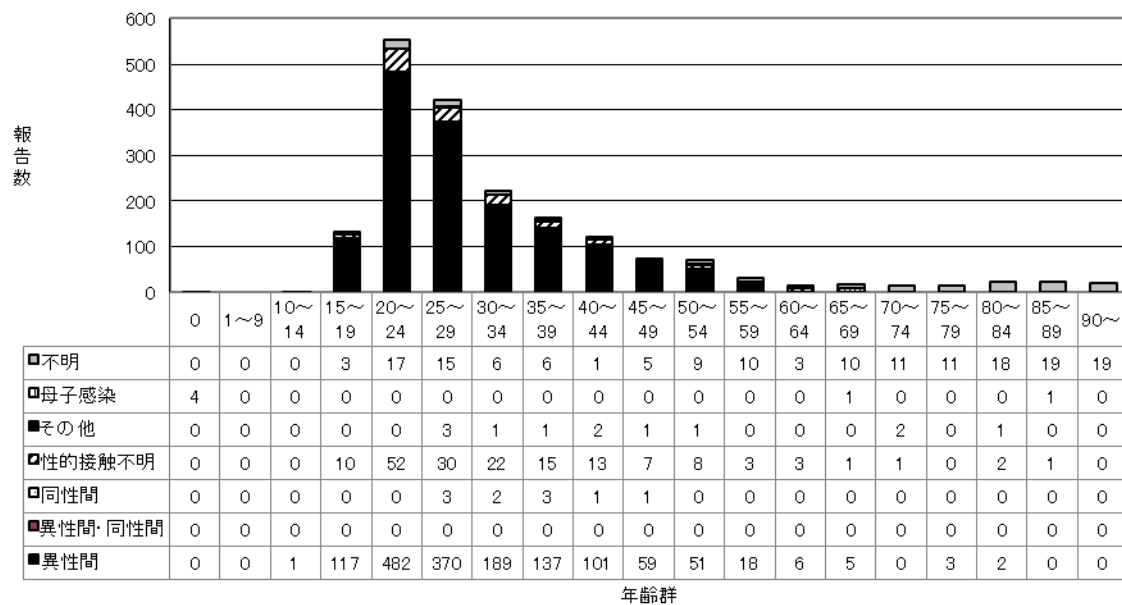
男性

n=3925



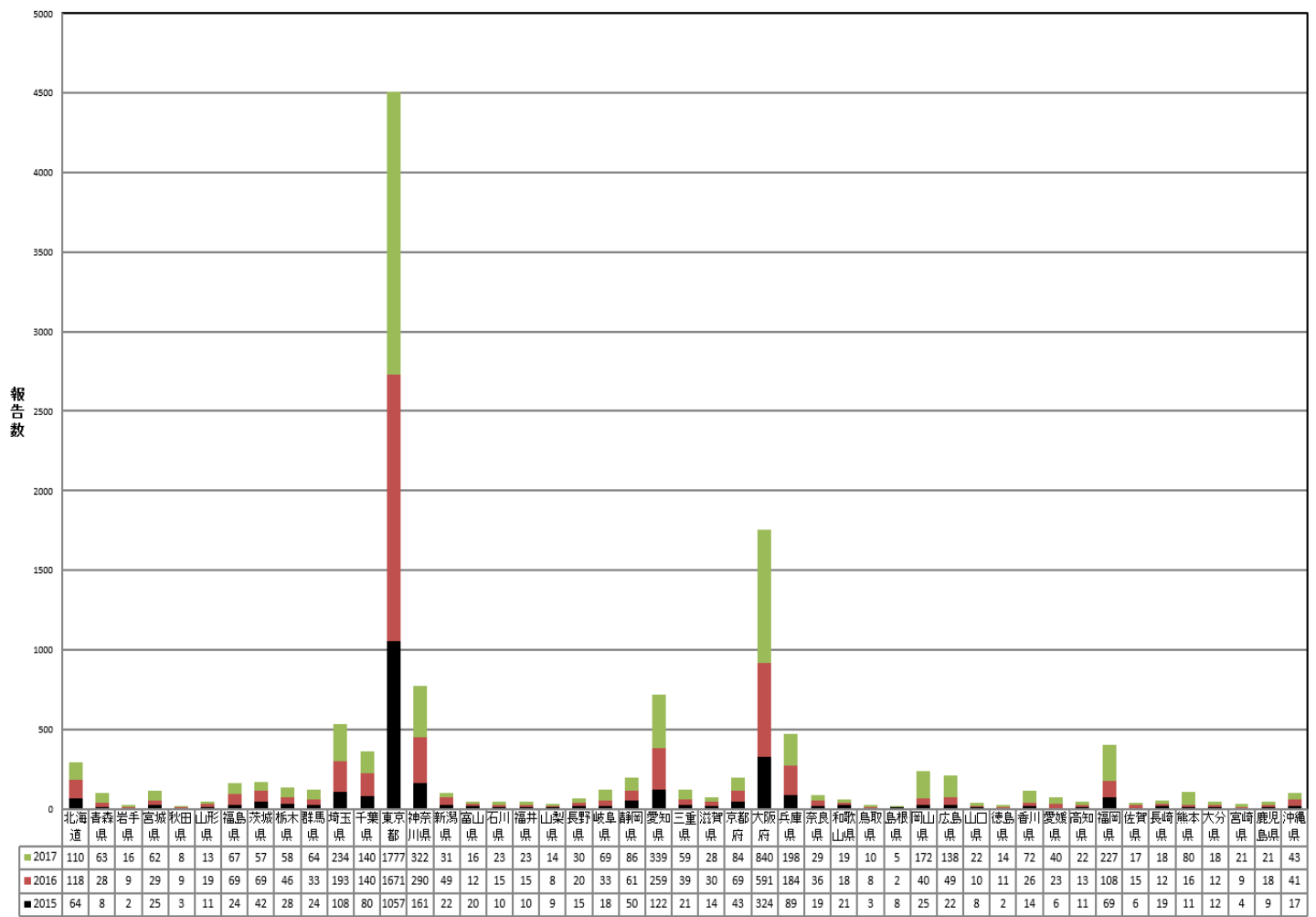
女性

n=1894



2018 年 3 月 8 日現在

図 1 1 . 梅毒の都道府県別・年別報告数、2015～2017 年 (n=13, 084)



2018 年 3 月 8 日現在

梅毒を中心とした感染症発生動向調査から見た性感染症の動向について

感染症研究所感染症情報センター

山岸拓也、金井瑞恵、有馬雄三、高橋琢理、錦信吾、
加納和彦、砂川富正

背景・方法

背景

近年国内では性感染症の報告が減少・低レベルで推移しているが、疾患や年齢によっては増加に転じているものもある。性感染症対策をしていくうえで、その発生状況の把握・記述疫学が重要。継続して梅毒の報告数の増加を認めている為、梅毒を中心とした性感染症の動向について記述。梅毒の増加に伴い先天梅毒の報告の増加も認め、先天梅毒の調査を実施した。

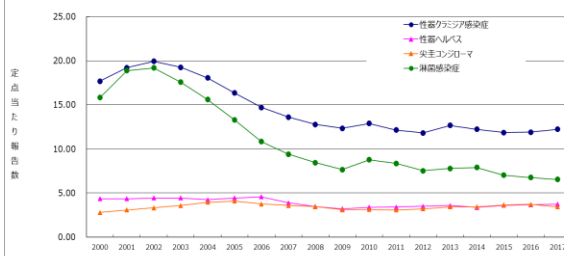
方法

- 感染症発生動向調査データ（2000年～2017年）
 - 性感染症定点把握4疾患（性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス、尖圭コンジローマ、淋菌感染症）の動向
 - 梅毒の記述疫学
- 「先天梅毒について、児の臨床像・治療実態および児の親の梅毒感染・治療に関連する背景を明らかにする研究」（2016年～2017年）

性感染症定点把握 4疾患の定点当たり 報告数推移

男性

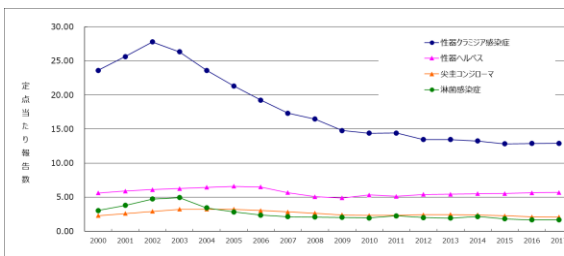
(性器クラミジア感染症が微増、
他は概ね横ばい)



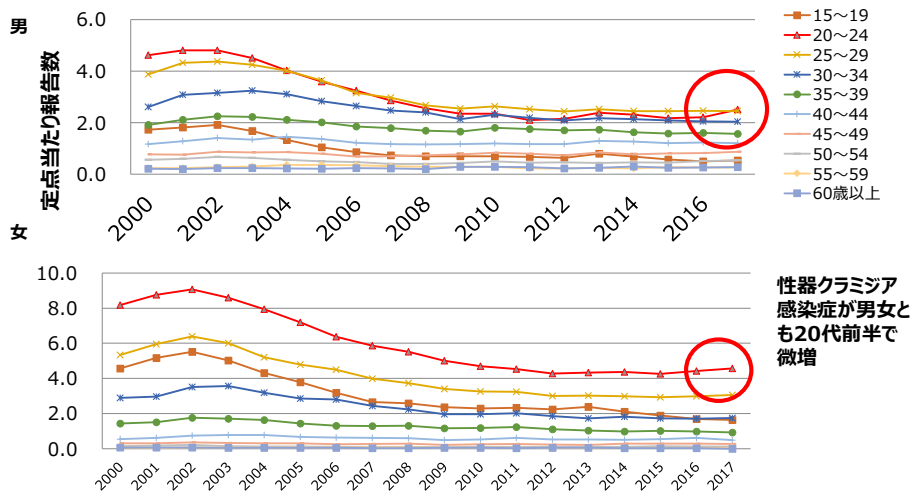
女性

4疾患ともほぼ横ばい

クラミジアの報告が男女
共に継続して多い



年齢階級別定点当たり報告数、2000-2017 性器クラミジア感染症



梅毒：感染経路別報告数、2012-2017 (早期I期II期)

男性

同性間 < 異性間

女性

異性間

先天梅毒：

2012 (4)

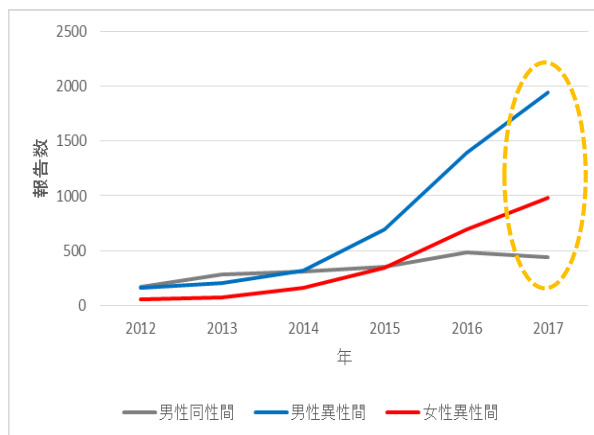
2013 (4)

2014 (10)

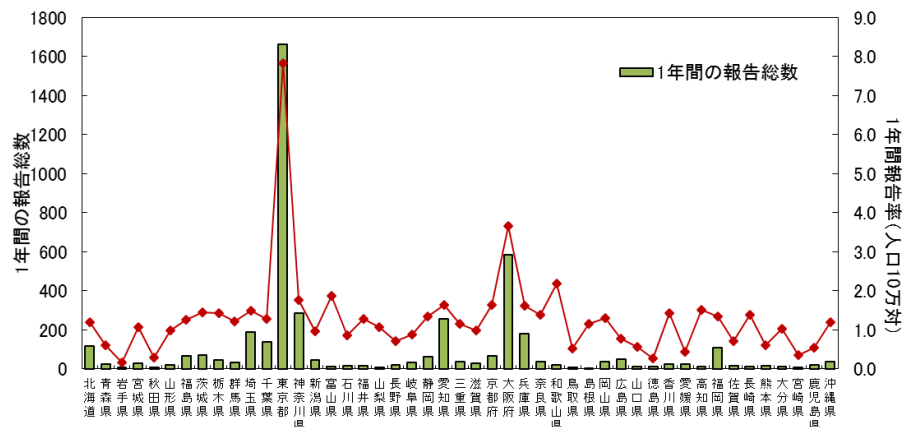
2015 (13)

2016 (15)

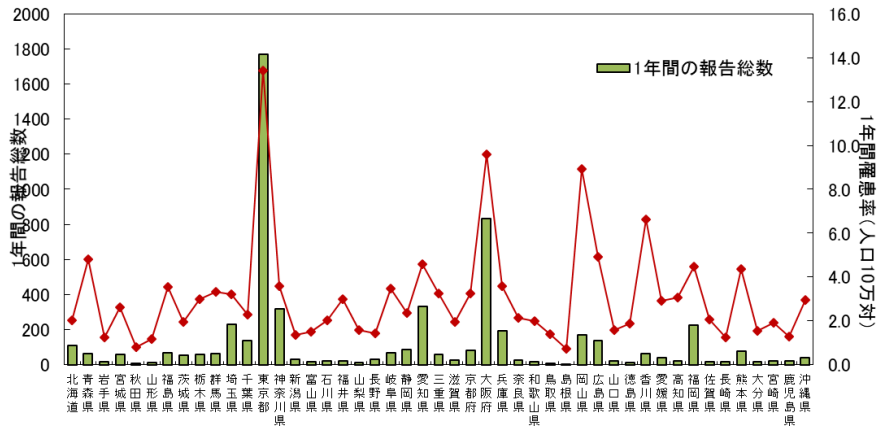
2017 (9)



梅毒：報告数、人口10万対報告率、 都道府県別、2016年



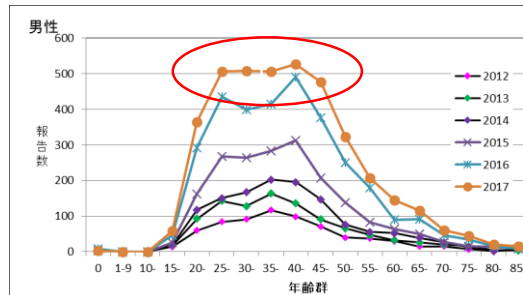
梅毒：報告数、人口10万対報告率、都道府県別、2017年



梅毒：年齢群別報告数、2012-2017年

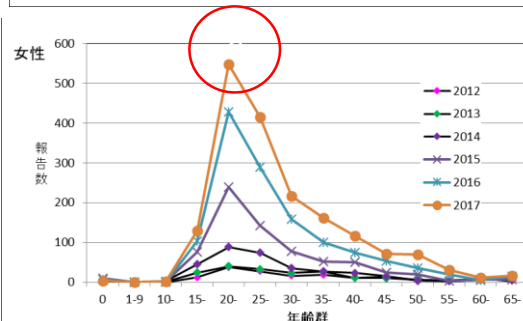
男性

20-40歳代
継続傾向



女性

20-24歳
継続傾向



先天梅毒児の臨床像及び母親の背景情報を明らかにする研究

目的

先天梅毒児の臨床像・治療実態および、児の親の梅毒感染・治療に関連する背景を明らかにする

対象

- 2016年3月から2017年10月までに、感染症発生動向調査に報告された先天梅毒17例のうち、同意が得られた13例

※うち5例は、主治医のみ同意が得られたため、感染症発生動向調査に基づく情報とそれに関する主治医への聞き取り

方法

- 主治医による、自己記入式質問紙の記入
→ 先天梅毒の臨床情報、親の背景情報等
- 母親による、自己記入式質問紙の記入
- 同意が得られた母親に対する対面式インタビュー

先天梅毒児の臨床情報 (n=13)

		症例数(%)
性別	男児	7 (54)
診断時月齢	0か月	11 (85)
	1か月	1 (8)
	2か月	1 (8)
症状	あり	9 (69)
出生週数 *	中央値 35週	(範囲 28-40)
出生体重 **	中央値 2,208g	(範囲 677-2,956g)
転帰 (調査時点)	死亡	0

*不明の3例除く

**不明の1例除く

母親の背景情報 (n=13)

		症例数(%)	備考
年齢	中央値 25歳	(範囲18-40)	10代 2例
国籍	日本	12 (92)	不明1例
最終学歴	高卒	7 (54)	
	大学・大学院卒	1 (8)	不明5例
婚姻状況	未婚	8 (62)	離婚後のシングルマザー1例
性産業従事歴	あり	4 (31)	不明2例
他の性感染症の合併	あり	5 (38)	クラミジア感染症単独4例 クラミジアと淋菌合併1例
	なし	4 (31)	不明4例
生活保護受給	あり	2 (15)	不明2例
妊婦健診受診歴	未受診	3 (23)	
	不定期な受診※	3 (23)	※妊娠中期・後期で初診
	定期受診	7 (54)	

考察

既報と同様、本邦における先天梅毒の発生に関連すると考えられる要因

- ✓ 若年妊娠
- ✓ 未婚
- ✓ 性産業従事歴
- ✓ 妊婦健診が未受診もしくは不定期受診
- ✓ 性感染症の既往および合併

課題：妊婦健診を定期受診していた7例の妊婦の内、4例が妊娠初期の梅毒検査が陰性であった。

- 梅毒流行期は、ハイリスクの妊婦に対する妊娠中期や後期の梅毒スクリーニング検査の実施を考慮する必要性

インタビュー結果から見えてきた課題

3つのレベルにおける課題、多方面からの 公衆衛生学的アプローチの必要性

個人レベル（母親とパートナー）

- ・ 未受診妊婦の存在（特にハイリスクの妊婦）
- ・ 梅毒を含む性感染症に関する認識の不足（特に妊娠中に於いて）

医療従事者レベル

- ・ 梅毒および先天梅毒の診療に関する知識・経験の不足
- ・ パートナー健診徹底に関する患者とのコミュニケーション

システムレベル

- ・ 先天梅毒の届け出基準の複雑さ
- ・ 妊娠中期・後期の梅毒スクリーニング検査実施に関するガイダンス/
ガイドラインの不足
- ・ 診療に関するガイダンス/ガイドライン等の包括的情報の不足

梅毒：情報発信、啓発

医療従事者に対して梅毒増加について周知を図る事、ハイリスク集団に対して梅毒増加と予防法について情報提供を行う事、或いは患者のパートナーに検査を進める事、等の対策のエビデンスベースとなっている。

関連学会向け注意喚起

- ・ 性感染症学会（2016年4月）http://jssti.umin.jp/pdf/baidoku_cyuikanki160412.pdf
- ・ 産婦人科学会（2016年3月）：http://www.jsog.or.jp/news/pdf/20160315_baidoku.pdf

自治体、公衆衛生従事者、国民に対して

- ・ 注目すべき感染症：梅毒 2015年4月までの報告数増加と疫学的特徴。IDWR 2015年第18・19合併号。
- ・ 注目すべき感染症：梅毒 2015年10月までの報告数増加と疫学的特徴。IDWR 2015年第44号。
- ・ 注目すべき感染症：梅毒 2015年第1～53週と2016年第12週までの疫学的特徴。IDWR 2016年第12号。
- ・ 注目すべき感染症：梅毒 2016年第1～47週までの疫学的特徴。IDWR 2016年第48号。
- ・ IASR「先天梅毒の動向（2011-2014年）」(IASR Vol. 36 p. 230: 2015年11月号)
- ・ IASR「先天梅毒児の臨床像及び母親の背景情報（暫定報告）」(IASR Vol. 38 p.61-62: 2017年3月号)
- ・ IASR: 大阪府、大阪市、福島県。。。

海外向け情報発信：

- ・ Increase in syphilis notifications and characteristics of reported cases, as of October 2015.
<http://www.nih.go.jp/niid/en/survei/2292-idwr/idwr-article-en/6203-idwrc-1544-en.html>)(2016年1月)
- ・ PRO/EDR> Syphilis - Japan: increased incidence, comment. 2016-02-01 07:09:33.
<http://www.promedmail.org/post/3982647>

対策・対応：治療＆予防＆啓発＆サーベイランス

- 梅毒感染の連鎖を断ち切るためには
 - 感染が疑われる症状がみられた場合には、**早期に医師の診断・治療**を受ける
 - 梅毒と診断した場合には、**届出**を行う
 - **必要に応じたパートナーに対する教育・啓発、検査等**
 - **特にリスクが高い集団**に対する啓発活動
 - 不特定多数の人との性的接触はリスクと考えられ、その際にコンドームを適切に使用しないことがリスクを高めること、オーラルセックスやアナルセックスでも感染すること、梅毒は終生免疫を得られず再感染する
 - **自治体等と連携しながら発生動向に注意し、継続したモニタリング、情報還元・発信、啓発**
 - 時、場所、人情報
 - 先天梅毒増加の実態調査の還元

謝辞

- 感染症発生動向調査にご協力いただいている
地方感染症情報センター、保健所、衛生研究所、医療機関等の関係者皆様のご協力に深く感謝致します。

性感染症に関するサーベイランスの改善・強化・確立に関する研究

- 【研究分担者】 中瀬克己（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科）
【研究協力者】 細井舞子（大阪市健康局）
高野つる代（横浜市旭区福祉保健センター）
白井千香（枚方市保健所）
砂川富正（国立感染症研究所）
有馬雄三（国立感染症研究所）
中谷友樹（立命館大学）

研究要旨

「性感染症に関する特定感染症予防指針」に基づく対策の現状把握とその推進および性感染症対策に役立つ感染症発生動向調査およびサーベイランスの改善を目的に以下の検討を行なった。

1. 全国自治体のサーベイランスとその活用の進展（アンケートの解析）：全国の自治体が行う性感染症発生動向調査の運用や対応の変化・改善を急増している梅毒を含め把握した。梅毒アウトブレイクの把握は大都市にとどまらず増加し 22%に上るが、動向分析や感染経路調査は一部に止まる。担当職員の経験年数は短く研修等も少なく、有効な対応の普及には人材の強化が必要である。
2. 自治体間 STI サーベイランス情報共有と対応への働きかけ：岡山地域は市、県が積極的な追加情報の把握・分析やその取り組みの共有を行なっている。東京圏に次ぐ大都市圏である関西地域にある複数の自治体担当者に STI 情報の共有を働きかけた。関西地域では自治体により対策やその進展度が異なっており、直ちに情報共有等の取り組みを進めるのは困難な状況と思われた。
3. 自治体担当者、性感染症治療に関わる医療者および国民への情報還元：研究成果を直接サーベイランス及び対策担当者の集まる研究会、学会等によって自治体職員や性感染症治療に関わる医療者に還元するとともに HP において広く国民全般に情報提供した。

A. 研究目的

性感染症対策に役立つ感染症発生動向調査およびサーベイランスの改善を目的に以下の 3 つの課題に関して研究を行なった。

1. 全国自治体のサーベイランスとその活用の進展（アンケートの解析）
2. 自治体間 STI サーベイランス情報共有への働きかけ
3. 自治体担当者、性感染症治療に関わる医療者および国民への情報還元

B. 研究方法

1. 全国自治体のサーベイランスとその活用の進展（アンケートの解析）
- アウトブレイクの把握：本研究において自治体

（全国の都道府県、政令指定都市、保健所設置市、特別区の性感染症対策担当者および一部年度で地方感染症情報センター担当者）を対象に調査した質問紙調査結果を用いた平成 27、28 年度の結果、および同様の平成 22、23 年度の調査結果とを比較した。

- 積極的調査と介入（パートナー健診）：同様に平成 22 年度と 28 年度との結果を比較した。
 - 自治体間の STI 情報の共有：性感染症対策担当者を対象に 2017 年 1 月に電子メールあるいは郵送により 2016 年の状況に関し質問紙を送付回収し、分析した。
2. 岡山地域の性感染症情報の積極的把握・解析状況を岡山市保健所を通じて把握した。また、関西地域の自治体に情報共有の会議を開催した。
 3. 自治体担当者、性感染症治療に関わる医療

者および国民への情報還元

学術雑誌や自治体担当職員が参加する研究会およびホームページにおいて研究成果を公表する。

（倫理面への配慮）本研究には、個人情報および人や動物への介入を行う内容は含まれていない。

C. 研究結果 D. 考察

研究の概要を別添 1 に示した。

1. 全国自治体のサーベイランスとその活用の進展

アウトブレイクの把握に関しては、別添 2 にしめすが結論は以下の通りであった。学会発表（4）

- この 5 年間に性感染症の集団発生は把握は梅毒を主として増加し、大都市部に止まらず全国の 2 割以上の自治体で把握している。
- 把握時の対策は啓発、情報提供は普及し、動向分析や感染経路調査は一部に止まる。
- 梅毒については 68% の自治体が医療機関等に追加調査を行っており（H28 年度調査）対策の充実が望まれる。

積極的調査と介入（パートナー健診）に関しては、別添 3 に示すが結論は以下の通りであった。学会発表（3）

- 多くの自治体を受検者を通してパートナーへの情報提供を依頼しており、その実施割合は増加していた。
- 性感染症/HIV 感染症両方について受診勧奨の手順や要領を定めている割合は 28 年度においても全体の 4 分の 1 以下であった。
- パートナーへの受診勧奨の結果を把握している割合は 1 割と介入効果の評価が十分に行われていない。
- パートナーに対する介入を推進するためには手順や要領の策定や評価の実施に関連する要因を明らかにする必要がある。

自治体間の STI 情報の共有に関しては、別添 4 に示すが結論は以下の通りであった。学会発表（1）

- 梅毒の増加は広く認識されているが、その対策に NESID（感染症発生動向調査システム）や各種委員会等の仕組みは十分機能しておらず、関係機関との連携も十分とは言えない。
- 対策の充実、標準化のためには担当者の育成や強化が必要である。

2. 自治体間 STI サーベイランス情報共有への働きかけ

岡山県内では、岡山市が梅毒報告の際に積極的に追加情報を把握・分析しており倉敷市、岡山県とも情報共有を行い、平成 30 年より共有および分析を行う予定となっていることを岡山市保健所より把握し、分析結果の情報提供を受けた。

関西圏の自治体に情報共有に関する会議を依頼した（別添 5）。その結果、大阪府、大阪市、枚方市、堺市のサーベイランス担当者が集まる機会に、時間を設けて、前項目の自治体間の STI 情報共有の現状と課題および増加する梅毒情報の積極的な把握事例（岡山市、県等）やその共有に関する情報提供を行なった。

関西地域では増加する梅毒の積極的な情報把握や自治体間の情報共有に関しては、地域により進展度が異なっており、直ちに取り組みを進めるのは困難な状況と思われた。なお、京都市は参加の意向があつたが担当者の時間が合わず参加できなかった。

3：自治体担当者、性感染症治療に関わる医療者および国民への情報還元

日本性感染症学会への論文掲載 3 題、同総会発表 3 演題、日本性感染症学会中四国地方会における特別報告 1、自治体の感染症情報担当者の全国研究会である公衆衛生情報研究協議会において 1 演題を報告するとともに以下のホームページにおいて研究成果の公表を行なった。

<http://www.std-shc.net>

E. 結論

- この 5 年間に性感染症の集団発生は把握は梅毒を主として増加し、大都市部に止まらず全国の 2 割以上の自治体で把握している。
- 把握時の対策は啓発、情報提供は普及しているが、動向分析や感染経路調査は一部に止まる。
- 梅毒については 68% の自治体が医療機関等に追加調査を行っているが、自治体間 STI サーベイランス情報の共有と積極的な対応は地域により異なる。
- 有効な対応の普及には自治体人材の強化が必要である。

G. 研究発表

1. 論文発表

(1) 中瀬克己、高野つる代、細井舞子、白井千

- 香. 全国自治体における性感染症発生動向調査の運営と活用. 日本性感染症学会誌、28(1), 125-130 2017
- (2) 高野つる代、中瀬克己、細井舞子、尾本由美子、白井千香. 地方感染症情報センターにおける性感染症発生動向調査の現状と課題. 日本性感染症学会誌、28(1), 131-132 2017
- (3) 細井舞子、奥町彰礼、中瀬克己. 大阪市における梅毒の発生状況 (2007～2016 年). 日本性感染症学会誌、28(1), 111-117、2017

2. 学会発表

- (1) 中瀬克己、高野つる代、細井舞子、梅毒等に関し自治体が行う調査や関係機関と連携した対策の現状、日本性感染症学会第30回学術大会 2017. 12. 2. 札幌京王プラザホテル
- (2) 中瀬克己、金山博臣、荒川創一、耳鼻咽喉科における性感染症の診断 2016 徳島県全数調査、日本性感染症学会第30回学術大会 2017. 12. 2. 札幌京王プラザホテル
- (3) 細井 舞子、中瀬 克己、自治体が実施する性感染症/HIV 感染症検査において感染が判明した者のパートナーに対する介入の変化と課題、日本性感染症学会第30回学術大会 2017. 12. 2. 札幌京王プラザホテル
- (4) 中瀬克己、高野つる代、細井舞子、自治体による性感染症アウトブレイク対応の進展、第31回公衆衛生情報研究協議会総会・研究会 H30. 1. 25-26 和光市 国立保健医療科学院
- (5) 中瀬克己、全国および中国四国地区における梅毒等性感染症の動向と対策、日本性感染症学会中国四国支部総会、2018. 1. 13. 岡山市 岡山コンベンションセンター

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

平成29年度厚生労働科学研究費補助金
(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業)

「性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策
の推進に関する研究」

性感染症のサーベイランスの改善・強化・確立に関する研究

研究分担者 中瀬克己(岡山大学医療教育
統合開発センター)

高野つる代:横浜市磯子区福祉保健センター
、細井舞子:大阪市健康局、白井千香:枚方
市保健所、砂川富正、有馬雄三:国立感染症
研究所、中谷友樹(立命館大学)

H29年度研究項目

1. 全国自治体のサーベイランスとその活用の進展(アンケートの解析):
アウトブレイクの把握、積極的調査・介入、情報共有
2. 自治体間STIサーベイランス情報共有・対応への働きかけ
岡山地域の情報把握、関西地域の自治体に情報共有の会議開催
3. 情報還元
 1. 日本性感染症学会 論文掲載 2題、総会発表 3演題、同中四国地方会 特別報告
 2. 公衆衛生情報研究協議会 1演題
 3. HPIにおける研究成果の公表

H27研究結果、反応から見た課題

- 認識、対応に自治体によるバラツキが大きい
- 梅毒届出医療機関に対する積極的疫学調査の普及、充実が必要
- 対象(MSM、妊娠可能期)に合わせた啓発が必要
- 梅毒検査結果陽性者のパートナー向け資材充実
- 自治体間で連携した普及啓発及び検査体制整備
 - STDは広域対応の必要性が高い(例、大阪市梅毒感染地市外 男49%、女41%)
 - 届出項目(居住地、国籍など)の充実
 - 自治体間情報共が可能なシステム制限の緩和

2017日本性感染症学会第30回学術大会

耳鼻咽喉科における性感染症の 診断 2016 徳島県全数調査

日本性感染症学会投稿予定

2017.12.2.

中瀬克己:岡山大学大学院医療教育統合開発センター

金山博臣:徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学

荒川創一:三田市民病院

結果

- 回答率は98%(41/42)であった。
- 性感染症に関する検査
実施医療機関は4箇所
検査件数は梅毒0、淋菌2、クラミジア5
件であった。
- 性感染症の診断件数は0件であった。

結論

- 徳島県状況を全国に普遍化するには限界があるが、現時点で全国的に耳鼻咽喉科を性感染症
定点医療機関に加えるのは早いと考えられる。
- 引き続き耳鼻咽喉領域における検査、医療の動向
を注視する必要がある。

謝辞

- 徳島大学大学院耳鼻咽喉科教授及び日本耳鼻咽喉科学会徳島県地方部会会長武田憲昭先生、徳島県耳鼻咽喉科医会会長高石司先生には調査にあたり多大なご尽力を頂き感謝申し上げます。

2017日本性感染症学会第30回学術大会

梅毒等に関し自治体が行う調査や 関係機関と連携した対策の現状

2017.12.2.

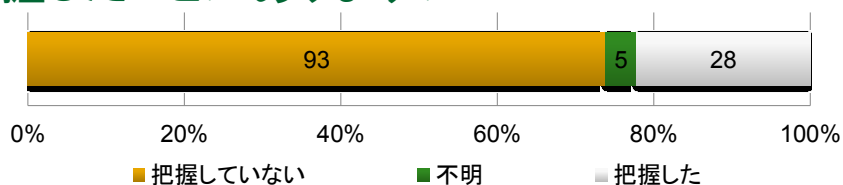
中瀬克己:岡山大学大学院医療教育統合開発センター

高野つる代:横浜市旭区福祉保健センター

細井舞子:性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策
の推進に関する研究班

梅毒動向とアウトブレイクの把握

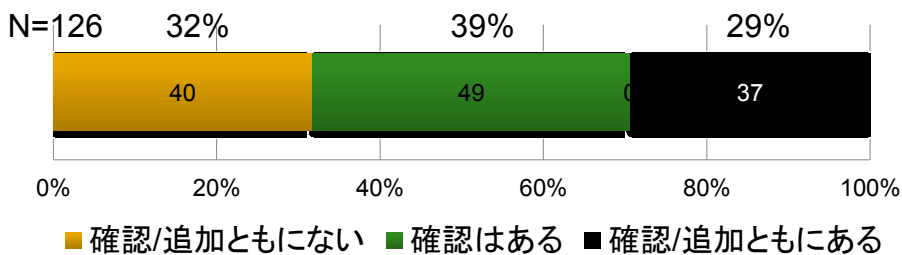
Q.性行為による感染症の集団発生や通常
以上の増加及びその疑いを平成28年に把
握したことがありますか



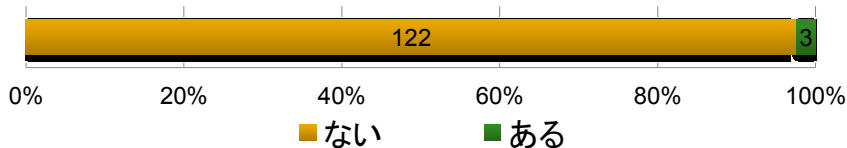
前年の16件より増加
疾患 梅毒26:8県,5指定市,10市,3区
A型肝炎,B型肝炎,HIV感染症 各1

梅毒に関する積極的疫学調査

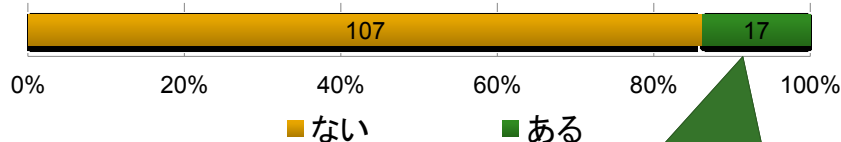
Q. 梅毒報告に関して、記載事項の確認や追加情報を得るために医療機関に問い合わせた、あるいは医療機関や患者等への問い合わせを保健所に依頼または指示した事がありますか



Q. 近隣自治体の公開情報を利用したことがありますか

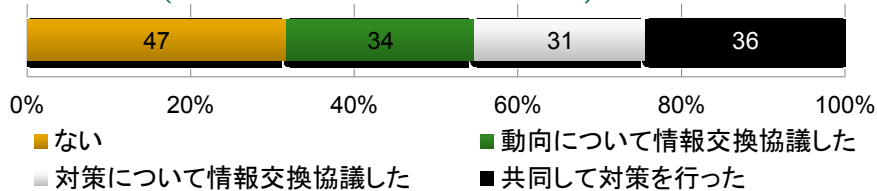


Q. 近隣自治体と、公開情報以外に情報を共有したことはありますか

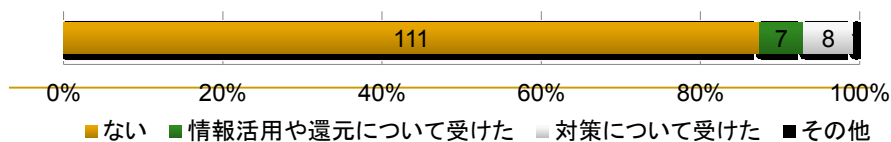


内、NESID(感染症発生動向調査システム)を利用したのは8自治体

Q.周辺等の他自治体、対策を行うNPO、専門家(大学)等と梅毒、HIV等に関して連携したことがありますか(20件の重複回答を含む)



Q.感染症発生動向調査委員会から梅毒/STIに関し提案を受けたことが (2件の重複回答を含む)



結論

- 梅毒の増加は広く認識されているが、その対策にNESID(感染症発生動向調査システム)や各種委員会等の仕組みは十分機能しておらず、関係機関との連携も十分とは言えない。
- 対策の充実、標準化のためには担当者の育成や強化が必要である。

自治体による性感染症アウトブレイク対応の進展

○中瀬克己1)、高野つる代2)、細井舞子3

■ 方法

全国の都道府県、政令指定都市、保健所設置市、特別区の性感染症対策担当者および一部年度で地方感染症情報センター担当者を加えて対象とし、平成22、23年度と平成27、28年度に電子メールおよびメールアドレスが公表されていない場合には郵送により自記式質問紙を送付し回収した。

(結論)

- この5年間に性感染症の集団発生の把握は梅毒を主として増加し、大都市部に止まらず全国の2割以上の自治体で把握している。
- 把握時の対策は啓発、情報提供は普及し、動向分析や感染経路調査は一部に止まる。
- 梅毒については68%の自治体が医療機関等に追加調査を行っており(H28年度調査)対策の充実が望まれる。

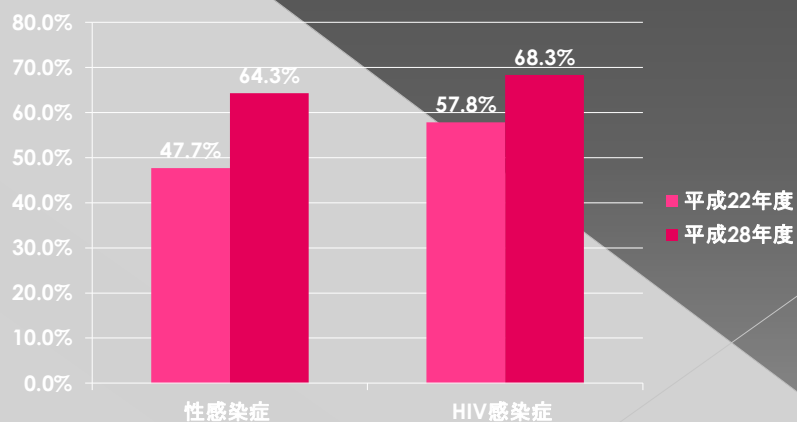
2017日本性感染症学会第30回学術大会

自治体が実施する性感染症/HIV感染症検査 において感染が判明した者のパートナーに 対する介入の変化と課題

性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく
対策の推進に関する研究班
細井 舞子、中瀬 克己

日本性感染症学会投稿予定

◎ 受検者全員にパートナーへの情報提供依頼



考察

- 多くの自治体が受検者を通してパートナーへの情報提供を依頼しており、その実施割合は増加していた。
- 性感染症/HIV感染症両方について受診勧奨の手順や要領を定めている割合は若干の増加が見られるものの、28年度においても全体の4分の1以下であり、受診勧奨の結果を把握している割合は全体の10分の1程度と、一貫した対応に必要と考えられる手順や要領の策定や介入効果の評価が十分に行われていない現状が明らかとなった。
- パートナーに対する介入を推進するためには介入の評価に関連する要因を明らかにする必要がある。

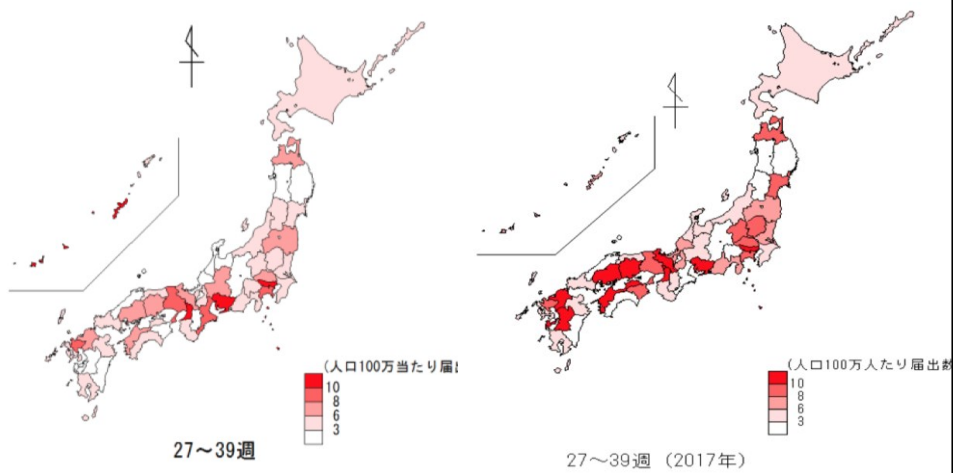
日本性感染症学会中国四国支部総会

全国および中国四国地区における梅毒等性感染症の動向と対策

2018.1.13.

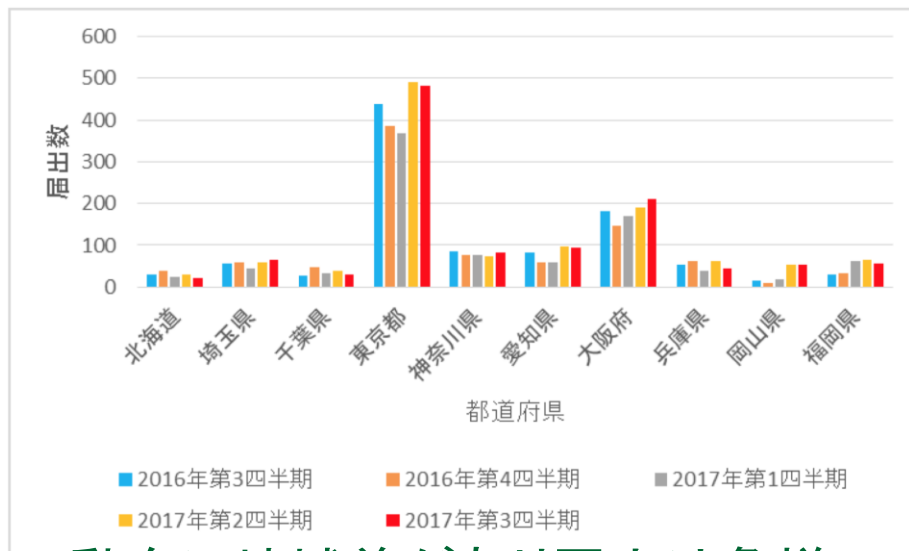
岡山大学医療教育統合開発センター
中瀬克己

梅毒報告の推移 2016,17第三四半期



IDSCのHPより引用

図2. 都道府県別届出数、2016年第3四半期から2017年第3四半期（四半期毎）
（届出数上位10位を抜粋）



動向に地域差があり岡山は急増

岡山市保健所より提供

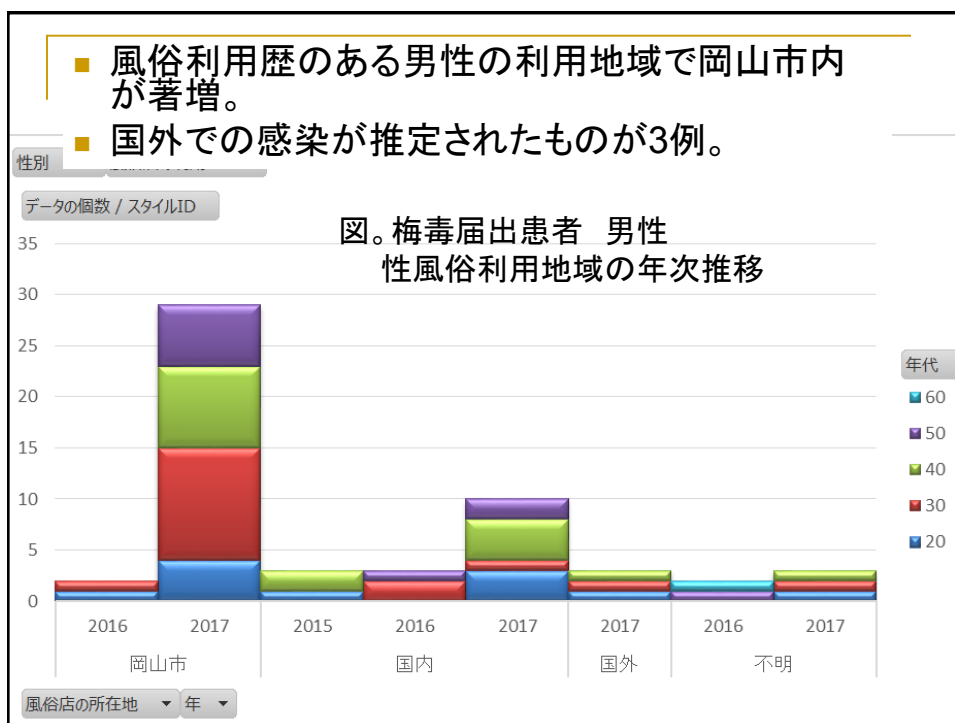
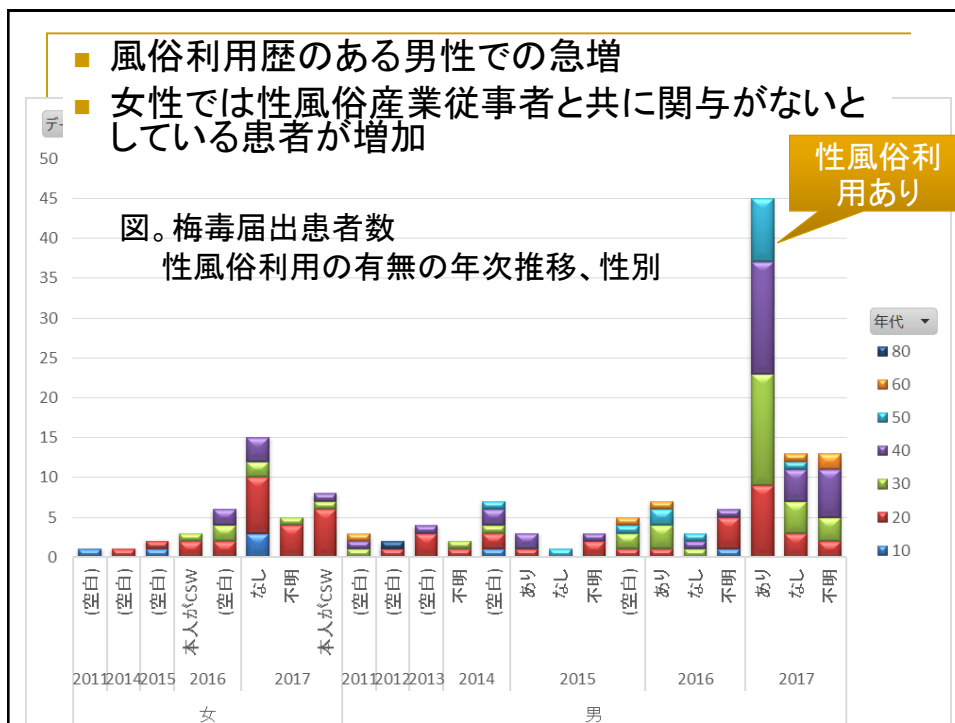
2017年の岡山市における 梅毒の発生動向について

岡山済生会総合病院 臨床研修医
大谷 天人

2017.12.9

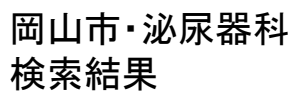
梅毒報告状況 岡山市2017年47週

- 全届出数は100例（1例詳細未）
 - 昨年比4倍（2016年：25例）。
 - 女性が約3倍（9例→28例）
 - 男性が4.5倍（16例→72例）
30代男性約5倍（4人→21人）、40代男性12倍（2人→24人）が顕著
- 男性同性間 昨年比2.5倍（2例→5例）と14年と同等
- 83例は異性間、12例詳細不明。



有用だが医療
機関の負担が
大きい

泗阳县统一样式





日本性感染症学会
Japanese Society for Sexually Transmitted Infections

学会認定医・認定士制度について

メニュー

- ▶ ホーム
- ▶ ニュース
- ▶ 学会のご案内
- ▶ 理事・監事・幹事・代議員
名誉会員・顧問 一覧
- ▶ 各種委員会活動
- ▶ 支部情報
- ▼ 学会認定医・認定士制度について
- ▶ ICD
- ▶ 学術大会
- ▶ 入会・退会・変更
- ▶ マイページ(会員専用)
- ▶ リンク

1. 認定制度の発足時の経緯
2. 資格取得者一覧
3. 認定制度規則、認定制度施行細則
4. 【新規申請】資格取得希望者の方へ

患者が受診の参考
となるようにすればどうか？

1. 認定制度の発足時の経緯 (2016年9月) (PDF)

2. 資格取得者一覧

認定医 一覧 (2017年10月 更新) (PDF)

認定士 一覧 (2017年10月 更新) (PDF)

3. 認定制度規則、認定制度施行細則

認定制度規則 (2016年9月20日 改定) (PDF)

認定制度施行細則 (2016年9月20日 改定) (PDF)

4. 【新規申請】資格取得希望者の方へ

一般社団法人
日本性感染症学会事務局



[このページのトップに戻る](#)

性感染症情報の自治体間共有と活用について(依頼)

■ 議題・検討課題

- 現在の性感染症対策における課題の共有、特に情報に関して
- 現在得られている性感染症情報の共有と活用の展望
- 解析によって得られる可能性がある知見 地理的解析の例示

■ 場所 大阪健康安全基盤研究所

■ 日時 2018.1.17.

■ 参加自治体:大阪府、大阪市、堺市、東大阪市

情報共有の依頼

■ 関西の自治体に対し依頼

自治体性感染症対策および発生動向担当者殿

新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業
「性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究」
性感染症に関するサーベイランスの改善・強化・確立
分担研究者 中瀬克己（岡山大学）

平成 29 年 12 月 12 日

性感染症情報の自治体間共有と活用について（依頼）

平素より公衆衛生の向上への取組みに敬意を評します。

さて、私共は表記の厚生労働科学研究費の補助を得て、性感染症に関するサーベイランスの改善・強化・確立に関する研究を行なっております。今回以下のような背景を踏まえ、会議を開催したいのでご参加、ご協力をお願いいたします。

議題・検討課題

- 現在の性感染症対策における課題の共有、特に情報に関して
- 現在得られている性感染症情報の共有と活用の展望
- 解析によって得られる可能性のある知見 地理的解析の例示

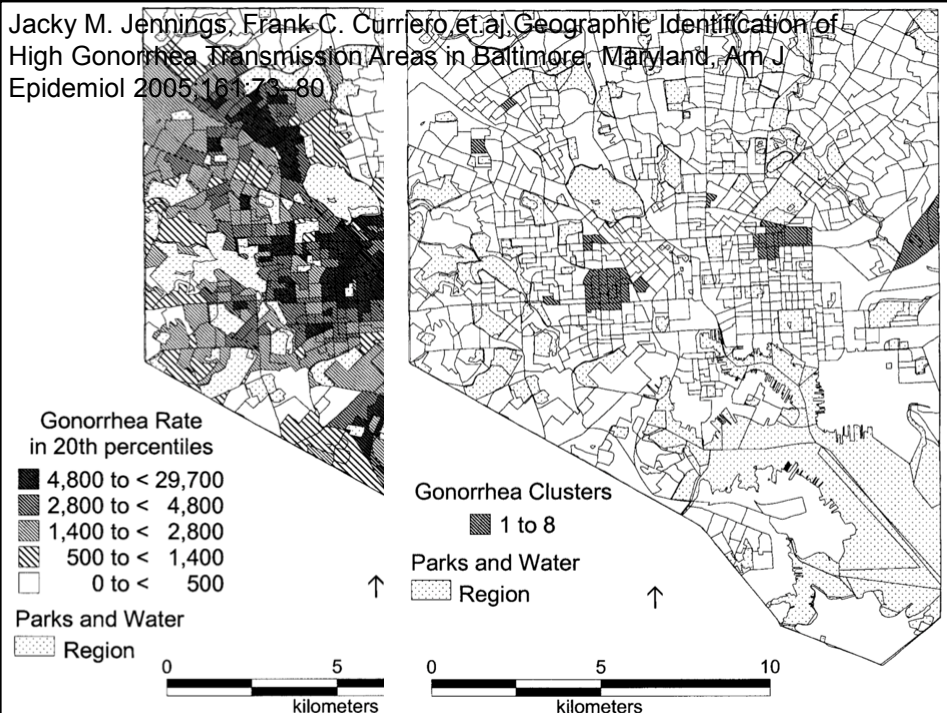
日時 平成 29 年から 30 年 2 月頃に 1、2 回開催 各自治体等のご都合に合わせて決定させて頂く予定です。

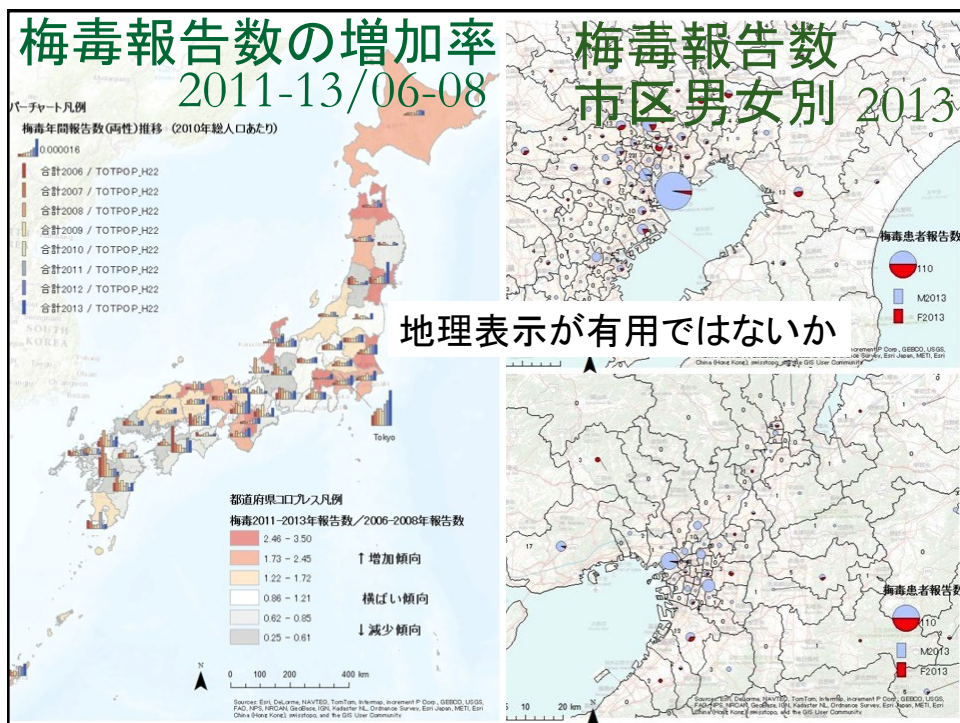
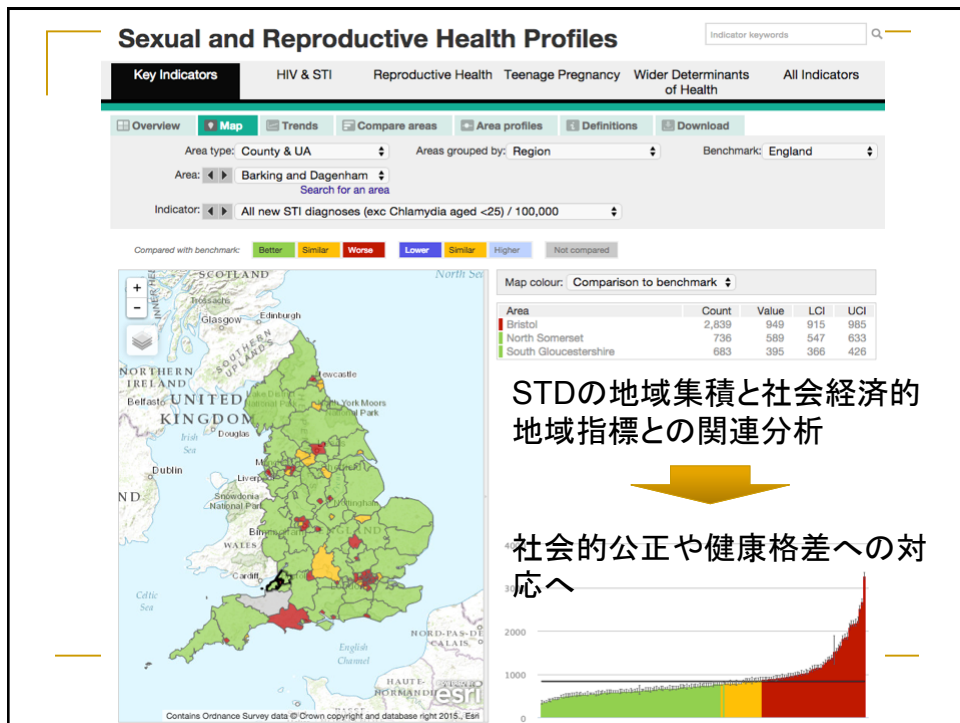
場所 大阪市内など

参加依頼自治体

大阪府、大阪市、京都市、神戸市、枚方市、堺市等の性感染症サーベイランスおよび対策担当者

研究班の分担研究者および研究協力者（中瀬：岡山大学、中谷：立命館大学等）





結論

- この5年間に性感染症の集団発生の把握は梅毒を主として増加し、大都市部に止まらず全国の2割以上の自治体で把握している。
- 把握時の対策は啓発、情報提供は普及しているが、動向分析や感染経路調査は一部に止まる。
- 梅毒については68%の自治体が医療機関等に追加調査を行っているが、自治体間STIサーベイランス情報の共有と積極的な対応は地域により異なる。
。
- 有効な対応の普及には自治体人材の強化が必要である。

今後の継続課題

- 梅毒アウトブレイク対応の効果評価にサーベイランスを活用する
- 梅毒アウトブレイクへの対応に地域差があることから、サーベイランス活用を普及する
- 全数調査個別データの解析の検討
- 口腔を介したSTI感染動向の把握の現状と改善

自治体による性感染症アウトブレイク対応の進展

○中瀬克己¹⁾、高野つる代²⁾、細井舞子³⁾

¹⁾ 岡山大学、²⁾ 横浜市旭区福祉保健センター、³⁾ 感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究班

背景 サーベイランスの目的の一つにアウトブレイクの早期発見がある。性感染症に関しても欧米では梅毒、HIV感染症を中心に多くのアウトブレイク事例の報告がなされている。一方、我が国では性感染症アウトブレイクに関する報告例は近年まで少なかったが梅毒の急増を反映して報告例がみられるようになった。

目的 地方自治体における性感染症アウトブレイクおよびその疑いの認知と対応の進展を明らかにする。

方法 全国の都道府県、政令指定都市、保健所設置市、特別区の性感染症対策担当者および一部年度で地方感染症情報センター担当者を加えて対象とし、平成22、23年度と平成27、28年度に電子メールおよびメールアドレスが公表されていない場合には郵送により自記式質問紙を送付し回収した。

結果および考察

回答率 H22, 23, 27, 28年度の回答者数及び回答率は92, 68%, 114, 83%、113, 80%、124, 87%であった。

集団発生の把握 H22年23年に「感染症法施行以降に性感染症の集団発生及びその疑いを把握したことがある」との回答は共に3自治体で、その疾患はHIV感染症、梅毒で両年同じ自治体であった。他はC型肝炎と記載なしであった。把握の経緯は、HIV感染症は医療機関からの情報提供及び患者本人からの情報提供であった。梅毒は医療機関からの情報提供及び感染症発生動向調査の結果、C型肝炎は医療機関からの情報提供であった。探知における医療機関情報の重要性を示すものと考えられる。

把握した際の対策は、HIV感染症は接触者集団への受診勧奨、梅毒はマスコミを通じた情報提供、C型肝炎は保健所におけるウイルス抗体検査であった。感染経路特定の調査や拡大防止策としてパートナー健診を報告した自治体は無かった。

H27年度にはH26年1月からH27年11月まで、H28年度にはH27年1月から12月の期間に限定して尋ねた。「性感染症の集団発生及びその疑いを把握したことがある」との回答は、H27年度16、H28年度は28自治体と増加しておりH28年度は回答自治

体の23%に上った。把握した自治体の内訳はH27年度は3都道府県、3指定市、5保健所設置市、5特別区、H28年度は各々10、5、10、3の順であり大都市部に限らず地方でも集団発生やその疑いが把握されていた。その疾患はH27年はアメーバ赤痢およびA型肝炎が1箇所では梅毒、またH28年度はA型B型肝炎およびHIV感染症が各1箇所では全て梅毒であった。

把握した際の対策は、啓発や情報提供が最も多くH27年度が11、H28年度が24自治体が行なったとしており、更に分析4、6、感染経路等調査4、4自治体を実施し対策の内容が広がってきている。また、上記以外の対策としてH28年度には保健所での梅毒検査や即日検査など3件があった。「梅毒報告に関して医療機関や患者へ確認や追加の調査を行うあるいはその指示をした」自治体はH28年度で68%あり積極的疫学調査の充実が望まれる。

対策担当者 対策担当者の経験年数はH22, 23年度平均で2年未満が67%、2-4年が26%、H27, 28年度が同じく56, 32%と大きく変わっていない。また、H29年調査ではサーベイランスの運用や対策への活用に関する研修へ参加したことがあるのは27%に止まっていた。地方感染症情報センターの担当年数は、H27年度で2年未満が32%、2-4年が43%と対策担当より長く、部門間の情報交換や協働しての対策が有用であろう。

結論 この5年間に性感染症の集団発生の把握は梅毒を主として増加し、大都市部に止まらず全国の2割以上の自治体で把握している。把握時の対策は啓発、情報提供に加え、動向分析や感染経路調査は一部に止まり、梅毒については医療機関等に追加の調査を行う自治体が68%に上ることを考えると対策の充実が望まれる。

本研究は平成22、23年度厚生労働科学研究費補助金「我が国の感染症サーベイランスシステムの改善・強化に関する研究」平成27, 28年度新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究」の補助を得て行った。

自治体が実施する性感染症/HIV感染症検査 において感染が判明した者のパートナーに 対する介入の変化と課題

性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく
対策の推進に関する研究班

細井 舞子

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

医療教育統合開発センター

中瀬 克己

日本性感染症学会第30回学術大会 COI開示

発表者 細井舞子

演題発表内容に関連し、筆頭発表者ならびに筆
頭発表者の配偶者、一親等の親族及び生計を共
にする者に開示すべき利益相反（COI）関係
にある企業などはありません。

背景

- ◎ 性感染症感染が判明した者の性的パートナーは最も性感染症感染リスクの高い集団であり、諸外国においては、性感染症対策におけるパートナーを対象とした健診は標準化・制度化が進んでいる。
- ◎ 我が国では性感染症/HIV感染症感染が判明した者の現在及び過去の性的パートナーに対して早期診断機会を提供するための健診の制度は整備されていない。

- ◎ 「性感染症に関する特定感染症予防指針」では「当該受診者の性的接触の相手方にも必要な情報提供等の支援を行い、必要な場合には、医療に結び付け、感染拡大の防止を図ることも重要である。」と性的パートナーに対する支援を行い、医療につなげる必要性が示されている。

目的

- ◎ 自治体が実施する性感染症/HIV感染症検査において感染が判明した者のパートナーに対する介入の変化と課題を明らかにする。

方法

- ◎ 全国の都道府県、政令市、保健所設置市、特別区の性感染症担当者を対象に平成22年度、28年度に電子メール等により自記式質問紙を送付し回収した。

結果

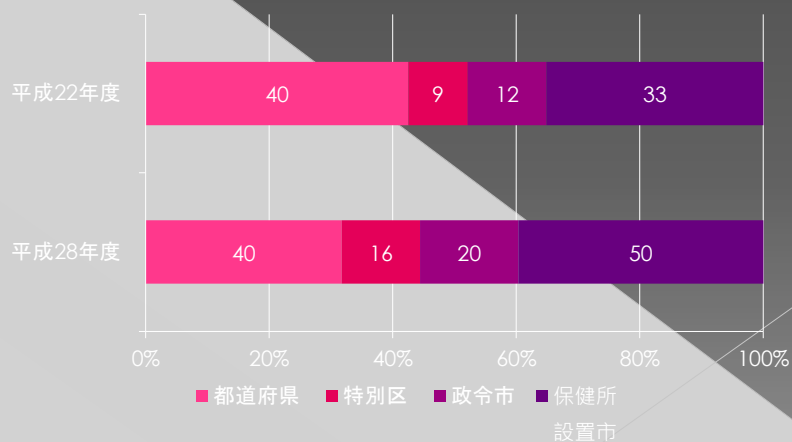
○ 質問紙送付数および回収数

年度	送付数	回収数	回収率
平成22年度	135	94	69.6%
平成28年度	142	126	88.7%

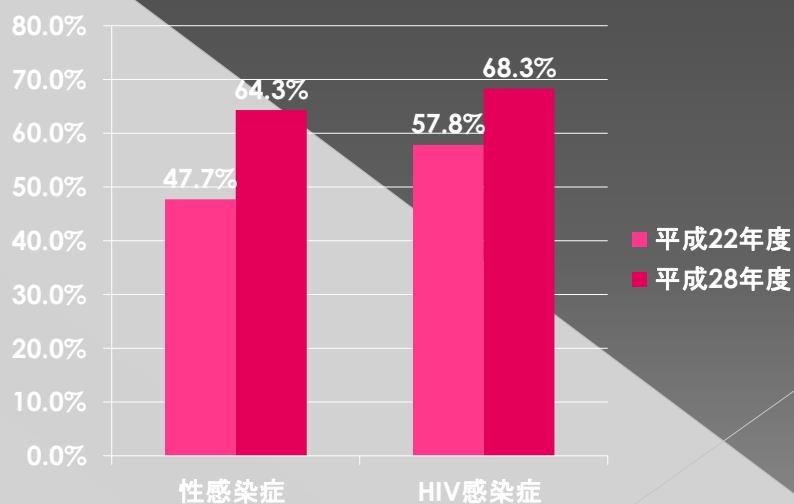
○ 自治体種別毎の送付数/回収数（回収率）

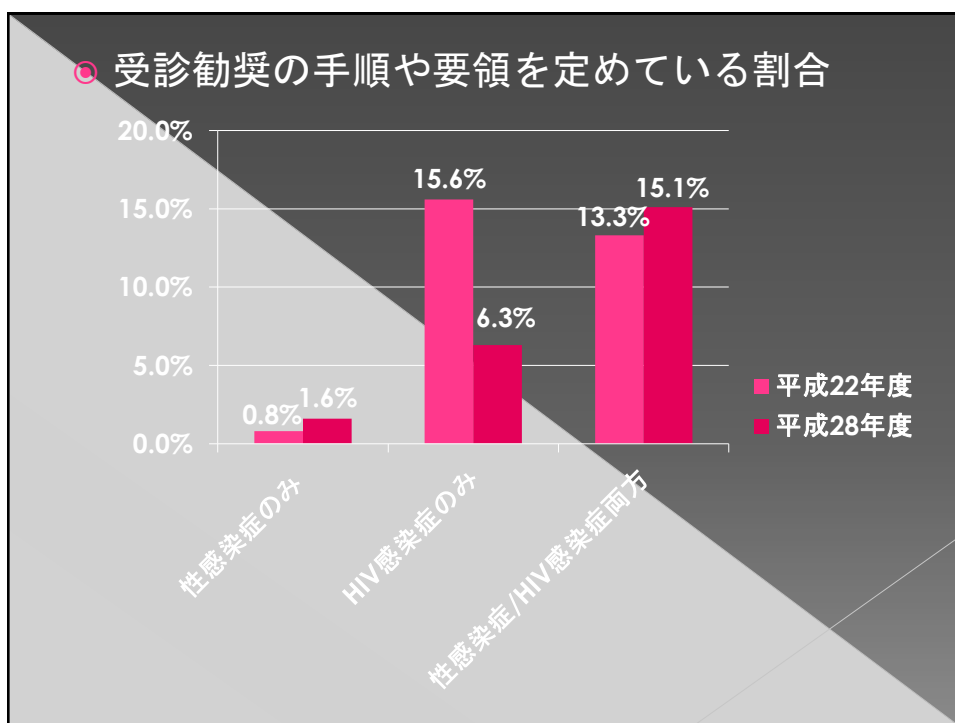
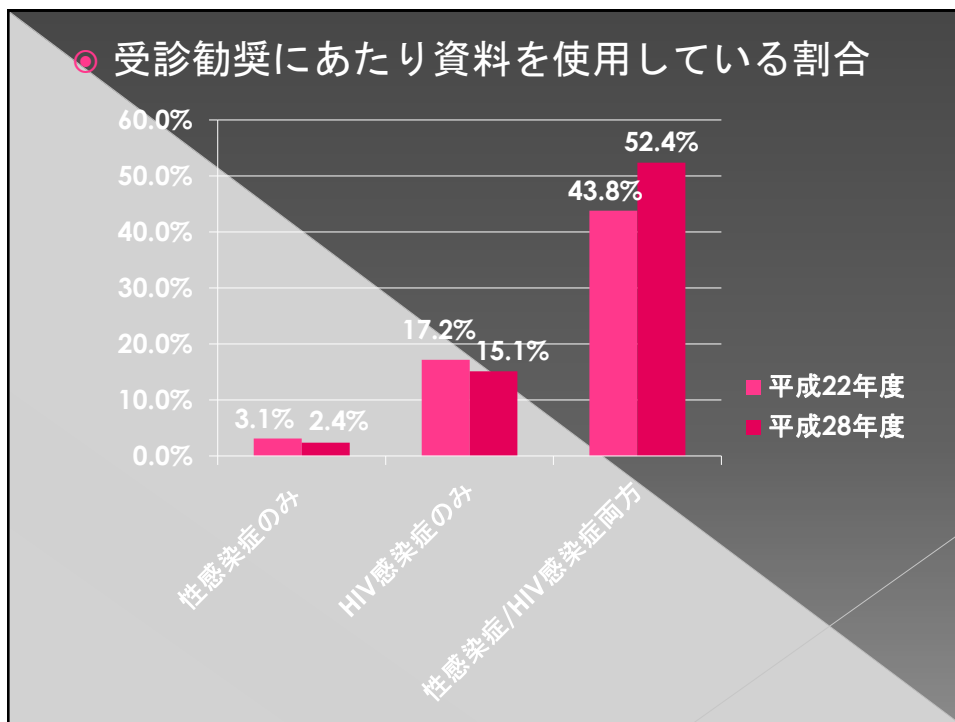
年度	都道府県	特別区	政令市	保健所 設置市	計
平成22年度	40/47 (85.1%)	9/23 (39.1%)	12/17 (70.6%)	33/48 (68.8%)	94/135 (69.6%)
平成28年度	40/47 (85.1%)	16/23 (69.6%)	20/20 (100.0%)	50/52 (96.2%)	126/142 (88.7%)

◎ 回答のあった自治体種別割合

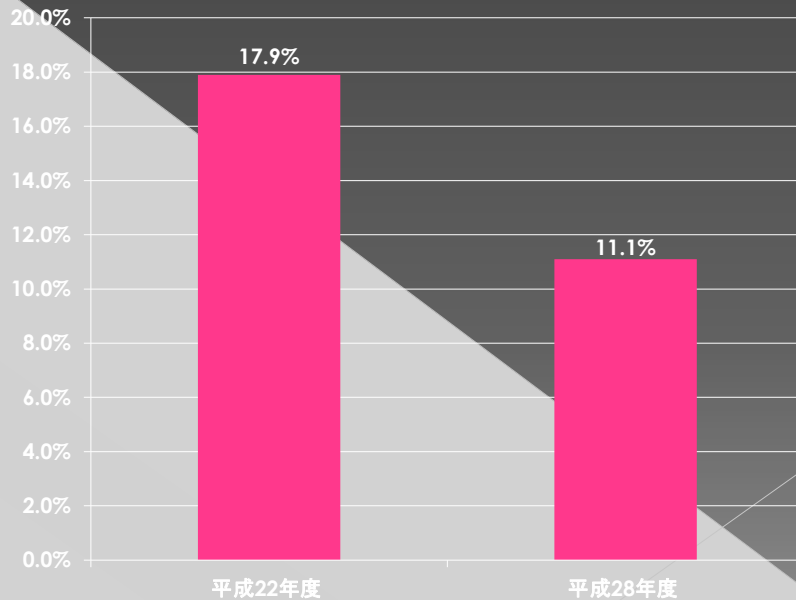


◎ 受検者全員にパートナーへの情報提供を依頼した割合





◎ 受診勧奨の結果を把握している割合



考察

- ◎ 多くの自治体が受検者を通してパートナーへの情報提供を依頼しており、その実施割合は増加していた。
- ◎ 性感染症/HIV感染症両方について受診勧奨の手順や要領を定めている割合は28年度においても全体の4分の1以下であった。
- ◎ パートナーへの受診勧奨の結果を把握している割合は1割と介入効果の評価が十分に行われていない。
- ◎ パートナーに対する介入を推進するためには手順や要領の策定や評価の実施に関連する要因を明らかにする必要がある。

2017日本性感染症学会第30回学術大会

梅毒等に関し自治体が行う調査や 関係機関と連携した対策の現状

2017.12.2.

中瀬克己:岡山大学大学院医療教育統合開発センター

高野つる代:横浜市旭区福祉保健センター

細井舞子:性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策
の推進に関する研究班

目的

- 梅毒等性感染症に関し自治体が行う調査や関係機関と連携した対策及び性感染症担当者の現状を明らかにする。

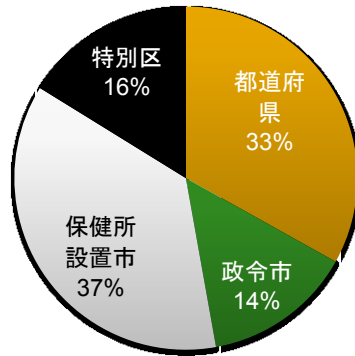
方法

- 都道府県／保健所設置市区の性感染症対策担当者を対象に2017年1月に電子メールあるいは郵送により2016年の状況に関し質問紙を送付回収した。

回答率

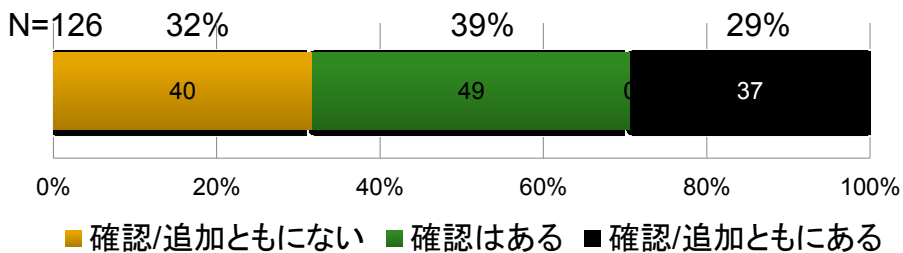
	配布数	回答数	回答率
都道府県	47	40	85.1%
政令指定都市	20	20	100.0%
保健所設置市	52	50	96.2%
特別区	23	16	69.6%
全体	142	126	88.7%

■ 回答自治体の内訳



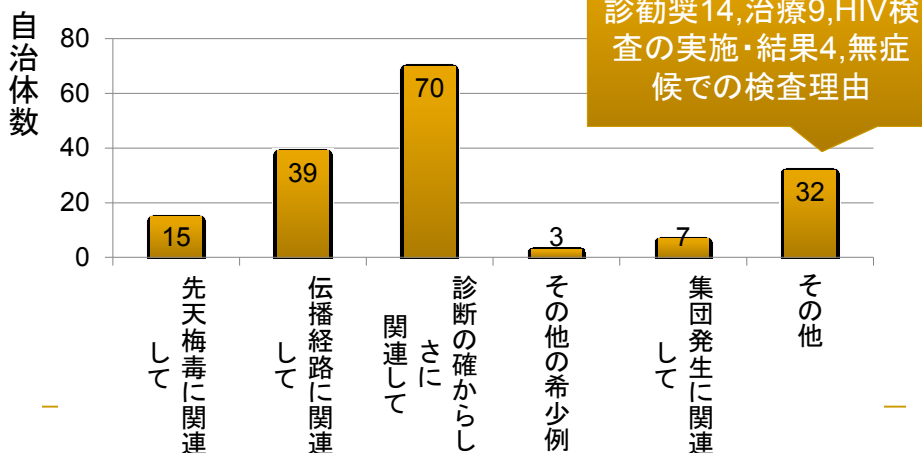
梅毒に関する積極的疫学調査

Q. 梅毒報告に関して、記載事項の確認や追加情報を得るために医療機関に問い合わせた、あるいは医療機関や患者等への問い合わせを保健所に依頼または指示した事がありますか



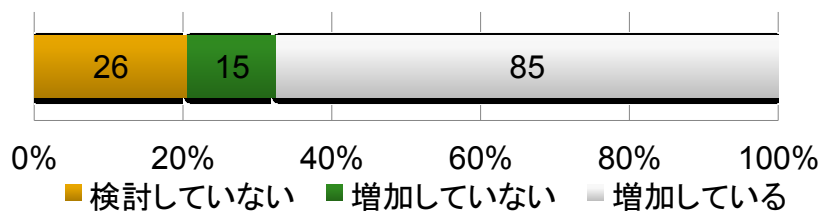
梅毒に関する積極的疫学調査

Q.問い合わせた対象／内容は以下のどれに当たりますか



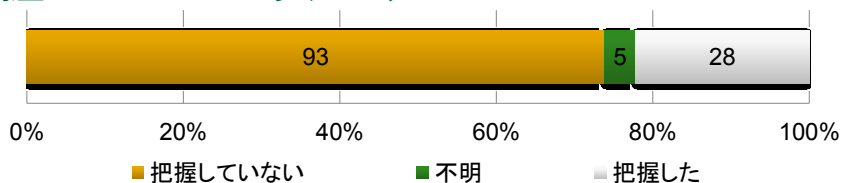
梅毒動向とアウトブレイクの把握

Q.貴自治体では梅毒報告の増加について検討されましたか



梅毒動向とアウトブレイクの把握

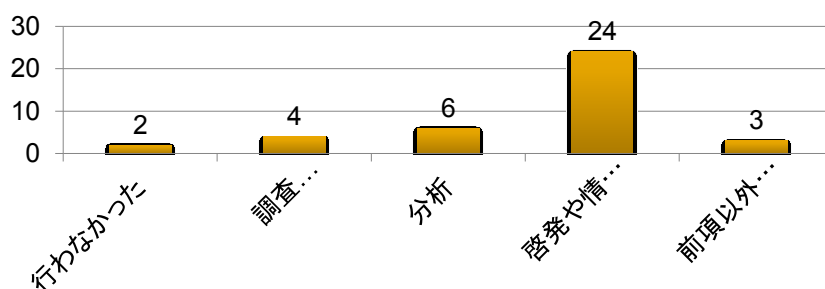
Q.性行為による感染症の集団発生や通常以上の増加及びその疑いを平成28年に把握したことがありますか



前年の16件より増加
疾患 梅毒26:8県,5指定市,10市,3区
A型肝炎,B型肝炎,HIV感染症 各1

アウトブレイクの把握と対応

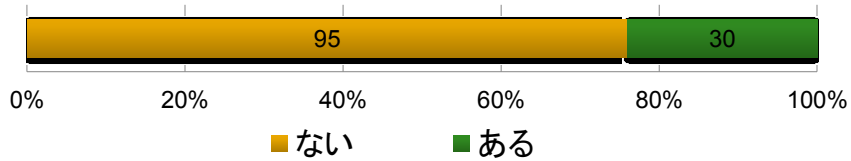
Q.その際、何らかの対応を行いましたか



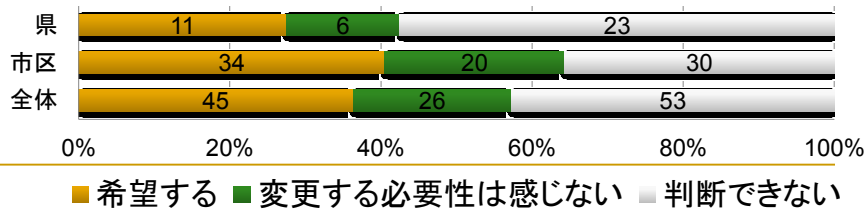
梅毒: 接触者調査、調査のための有識者会議、
保健所での迅速梅毒検査

B型肝炎: 検体遺伝子分析 など

Q.梅毒発生届けの情報不足が動向の分析/還元
や対策において支障となったことがありますか

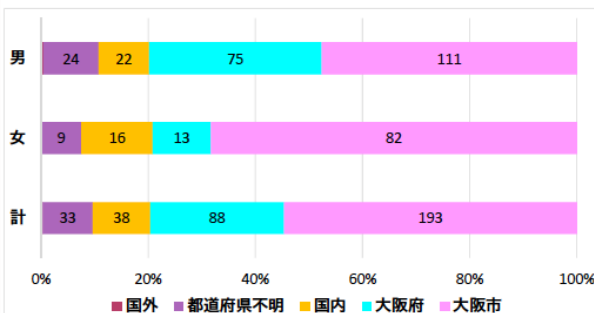


Q.梅毒発生届けに項目の追加や変更を希望しますか



性感染症対策 広域協力の必要性

感染地域 推定を含む) N=353

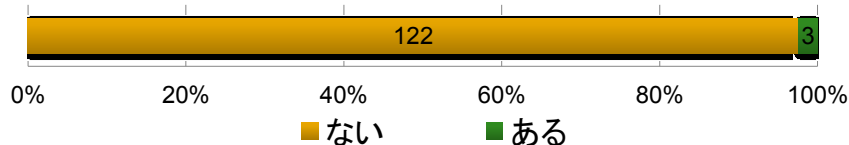


※ 大阪府には大阪府かどうか不明を、国内には大阪府かどうか不明を含む

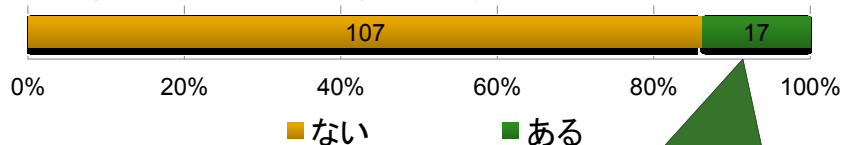
大阪市における梅毒推定感染地
半数近くが
大阪府外

2016年日本性
感染症学会報
告 細井らによる

Q.近隣自治体の公開情報を利用したことがありますか

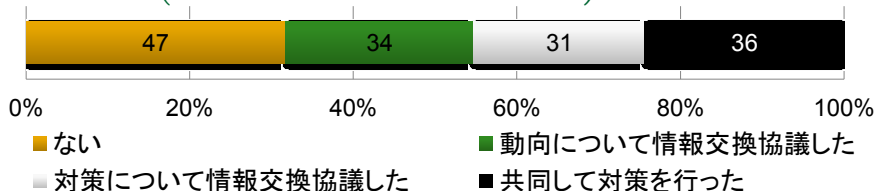


Q.近隣自治体と、公開情報以外に情報を共有したことはありますか

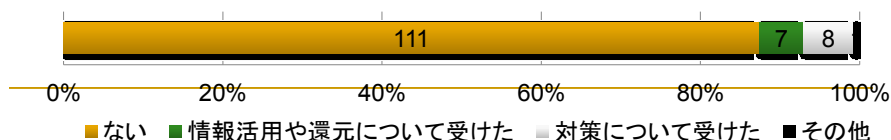


内、NESID(感染症発生動向調査システム)を利用したのは8自治体

Q.周辺等の他自治体、対策を行うNPO、専門家(大学)等と梅毒、HIV等に関して連携したことがありますか(20件の重複回答を含む)



Q.感染症発生動向調査委員会から梅毒/STIに関し提案を受けたことが (2件の重複回答を含む)



英国健康保護局の 標準対応

STI outbreak guidance

SHPBAproved031110

■ 通常よりの増加

■ 初期対応

- 増加と意義の確認
- チーム形成 関連部局と連携

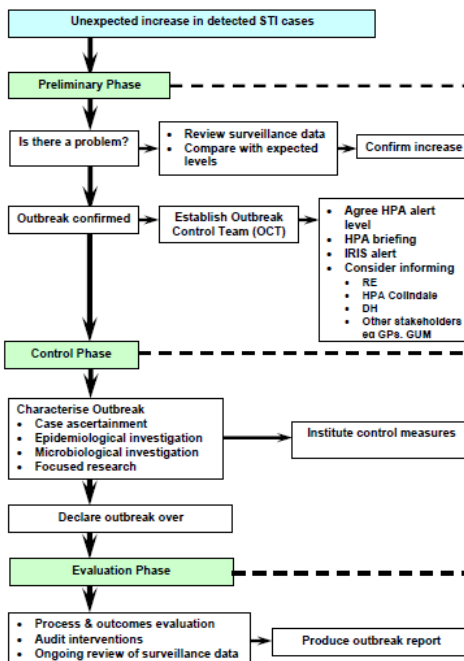
■ コントロール

- 疫学、微生物学的調査
- 介入

■ 評価

collaboration with the British Association for Sexual Health and HIV (BASHH) and the Public Health Medicine Environmental Group (PHMEG).

Figure Management of local STI outbreaks



地方自治体における感染症発生動向調査関連業務の 改善を目的とした性感染症発生動向調査活用ガイド ラインについて

Guidelines for making the best use of the national sexually transmitted infection surveillance system by local governments in Japan

山岸拓也¹⁾

Takuya YAMAGISHI

白井千香⁴⁾

Chika SHIRAI

堀 成美⁶⁾

Narumi HORI

尾本由美子²⁾

Yumiko OMOTO

高野つる代⁵⁾

Tsuruyo TAKANO

山内昭則⁷⁾

Akinori YAMAUCHI

川畑拓也³⁾

Takuya KAWAHATA

多田有希¹⁾

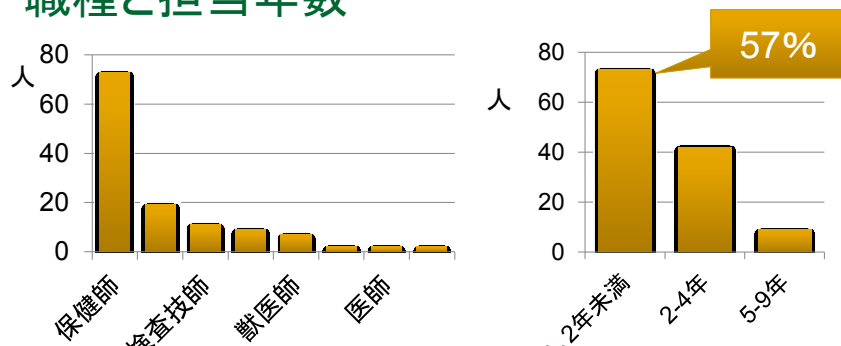
Yuki TADA

中瀬克己⁸⁾

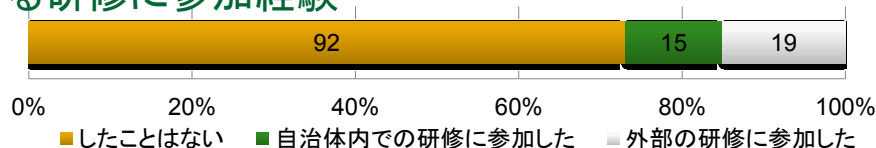
Katsumi NAKASE

日本性感染症学会誌 vol.24, No.1, 57-62, 2013

Q. 地方自治体におけるSTI対策担当者の職種と担当年数



Q. サーバイランスの運用や対策への活用に関する研修に参加経験



結論

- 梅毒の増加は広く認識されているが、その対策にNESID(感染症発生動向調査システム)や各種委員会等の仕組みは十分機能しておらず、関係機関との連携も十分とは言えない。
- 対策の充実、標準化のためには担当者の育成や強化が必要である。

自治体性感染症対策および発生動向担当者殿

新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業
「性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究」
性感染症に関するサーベイランスの改善・強化・確立
分担研究者 中瀬克己（岡山大学）

平成 29 年 12 月 12 日

性感染症情報の自治体間共有と活用について（依頼）

平素より公衆衛生の向上への取組みに敬意を評します。

さて、私共は表記の厚生労働科学研究費の補助を得て、性感染症に関するサーベイランスの改善・強化・確立に関する研究を行なっております。今回以下のような背景を踏まえ、会議を開催したいのでご参加、ご協力をお願いいたします。

議題・検討課題

- 現在の性感染症対策における課題の共有、特に情報に関して
- 現在得られている性感染症情報の共有と活用の展望
- 解析によって得られる可能性がある知見 地理的解析の例示

日時 平成 29 年から 30 年 2 月頃に 1、2 回開催 各自治体等のご都合に合わせて決定させて頂く予定です。

場所 大阪市内など

参加依頼自治体

大阪府、大阪市、京都市、神戸市、枚方市、堺市等の性感染症サーベイランスおよび対策担当者

研究班の分担研究者および研究協力者（中瀬：岡山大学、中谷：立命館大学 等）

背景

近年梅毒報告が急増しており報告例が多い都市部では効果的な対策が望まれる。一方都市部では自治体をまたいだ住民の移動が多く、梅毒報告例の罹患地と診断地とが異なる割合が高い。このことから、自治体が協同して梅毒に限らず性感染症対策を行うと効果的であることが想像される。しかし、具体的に自治体が協同した対策の例はわが国ではほとんど報告されておらず、対策やその効果の評価が蓄積されていない。

欧米では性感染症報告例の居住地や人種情報を用いて罹患状況を地図表示するなど、検査等の働きかけを効果的に行う地域や集団を明確化する試みが報告されている。また、我が国の梅毒報告例の地理的集積に関する試行的な解析は当研究班として行なった経験がある。

大阪府、大阪市、堺市等大阪府下の自治体では既に NESID システムにて、性感染症に関しても互いに一部情報の閲覧が可能なように設定している。この状況を踏まえ、効果的な対策の立案や評価に有用な性感染症に関して共有する情報や解析について検討を行いたいのでご参加を御願います。

本研究班の研究成果は以下ページにて公開しておりますので、よろしければご参照下さい。

<http://std-shc.net>

性感染症予防啓発ツールの開発・検査体制と医療ネットワーク構築に関する研究

- 【研究分担者】 白井千香（枚方市保健所）
【研究協力者】 岩室紳也（ヘルスプロモーション推進センター〔オフィスいわむろ〕）
種部恭子（女性クリニック We! TOYAMA）
野々山未希子（自治医科大学看護学部）
渡會睦子（東京医療保健大学医療保健学部）

研究要旨

若者向けの性感染症予防啓発ツールを開発し、試行することで、性感染症予防に効果的な方法論を探る。性行動が活発な年齢層として当事者である若者が利用しやすい情報元は、イラストを活用したスライド（PDF）で、スマートフォンに対応したサイトを立ち上げることにした。また、小学生から高校生までのこどもが、性に関して疑問を持った時に、随時大人が答えられるような Q&A 集を作成し、Web 上での閲覧を意図した。

効果的な内容と普及方法について、予防啓発ツールを普及するためには配布方法を工夫し対象に合わせた情報量や質の整理が必要である。

A. 研究目的

- (1) H27 年度の成果物として作成した予防啓発スライド「**性感染症ってなァに**」解説テキスト付 の普及活用の具体的な方法論について検討する。
- (2) 大人向けの性感染症予防啓発資料として、Q&A 集をつくる。
学校や地域で性感染症予防啓発資料に参考になるものとして、おとなが性感染症の予防にどのような背景や知識を得て、こどもたちの疑問に答えられるか、を意図した。この Q&A 集から一部抜粋して、財団法人学校保健会が 10 数年ぶりに改定する、「（仮）エイズおよび性感染症予防のための指導の手引き」に、反映させる。

B. 研究方法

教職員や親または大人が、学校や地域で生徒の相談や指導、医療機関等への受診勧奨に役立つための指導ツールを作り、性感染症予防啓発の効果的なアプローチ方法を探った。

- ・研究協力者が学校へ外部講師として使ったオリジナルの資料を持ち寄って、対象別（小学校高学年・中高生むけなど）に Q&A を整理した。
 - ・学校保健会で作成する「（仮）エイズおよび性感染症予防のための指導の手引き」を改訂する作業に協力した。
- （倫理面への配慮）個人を特定する情報収集や

情報発信は研究の範囲になく、予防啓発ツールの活用が、個人に不利益となるものではないため、特段の配慮は不要とした。

C. 研究結果

H29 年度は、教職員や大人向けの性感染症予防啓発資料の作成を手掛けた。初年度から、こどもたちに影響を与えるおとなたちの性感染症予防ツールが必要ではないかと検討してきた。

学校での性教育において、感染症予防（特に性感染症）の比重は多くなく、こどもたちによる性感染症の罹患やその不安に答えられる立場の大人は、養護教諭でも一部などごく少ない。また、泌尿器科や産婦人科の医師、助産師、保健師など外部講師を活用して講演会や授業で性感染症を取り上げたり、ピア活動を導入したり、工夫されている学校もあるが、対応方法は外部講師個人に委ねられていることもあり、内容が平準化しているとは限らない。今年度は、専門家でなくても大人がこどもに聞かれたらどのように答えるか、研究協力者が実際に学校の啓発活動で対応している資料をもとに、参考となる Q&A 集を作った。

対象別 Q&A

性と生に関する Q&A（小学生の Q に答える大人の答え方：例）

<性の成長や生殖などについて>

Q：男の人の持っている精子と女の人が持っている卵子は、くっつくんですか？くっつくときどんなふうにくっつくのですか？精子が子宮にどのようにして入って、どのようにして卵子と交ざるのですか？

A：精子と卵子は、同じ場所にいると自然にくっつくようにできています。精子の先っぽには、糊のようなものがついていて、卵子のカラにくっつきます。カラにくっつくと、その場所に穴ができて、精子は卵子のカラをとかしながら、中に入っていきます。一つの精子がカラに穴をあけて中に入ると、カラはかたまってしまい、次の精子は入れなくなります。卵子があるところに精子を届けるしくみについては、中学校に進学したら学びます。楽しみにしててください。

Q：こどもを生むとき、生む前に男の子か女の子かわかるのですか？

A：はい、わかります。超音波診断装置という機械で、おかあさんのおなかの外から中の様子をみることができます。妊娠6か月ぐらいになれば、赤ちゃんの性器が見えますので、男の子か女の子かがわかります。

でも、男の子かな？女の子かな？というワクワクした気持ちを楽しんで、生まれた時により大きく感動したいという理由で、生まれる前には性別を知りたくないというお父さん・お母さんもいますよ。

・性感染症Q&A 大人版（思春期の若者のQに答える大人の回答例） <性行為と性感染症>

Q：「初めてのセックス」はいつがいいのですか。
なぜ性交などをするのですか。

A：セックスは「性的なふれあい」とも言い換えられます。大切な人と、愛情を深めるためのふれあいでもありますし、赤ちゃんを産むためのふれあいでもあります。でも、もしもどちらかに性感染症とよばれる病気が1つでもあれば、相手に移ることもあります。高校生になったら感染を防止する方法も学ぶでしょう。移ったかどうかは検査をしないとわかりません。病気の種類によって、血液検査だったり、綿棒で組織をこすって調べたりと、検査方法が違います。将来、大切な人と出会ってセックスするときがくる前に、感染を防止する方法や、どんなときに検査が必要なのかを学んでおきましょう。
(以上、Q&Aの一部例示)

D. 考察及び課題

予防啓発は資料の作成のみならず、それをど

のように普及し活用するかによって効果が期待できる。医学的に正確な情報は、信頼できるかもしれないが、必ずしも対象者に届くわけではない。特に印刷物に頼るのみでは、インパクトに乏しい。また、効果をどのように評価するのも課題である。

課題

- (1) スライドやQ&A集の普及（費用負担も含めて）は、学会主導だけでは一般的に広がらないので、この資料に対象者がタイムリーにアクセスできる方法をシステム化すること。
- (2) 予防啓発資料の内容について、タイムリーな情報を差し替えていくこと。
- (3) 啓発資料の影響により、行動変容や医療機関受診行動へつながったかどうかを予防啓発資料の効果として評価する指標や方法論を検討する必要がある。

E. 結論

予防啓発ツールの普及には、配布方法や対象に合わせた情報量や質の整理が必要である。

G. 研究発表

1. 論文発表

- (1) 白井千香. 性感染症予防啓発の現状と課題. 日医雑誌 2018 : 146 (12) ; 2615-2518.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

性と生に関する Q&A （小学生の Q に答える大人の答え方：例）

小学校における性に関する教育は「生きる力」を育む保健教育の中に含まれ、**体育科を中心に特別活動、総合的な学習の時間**に行われます。

学校における保健教育では、子どもの「健やかな体」の向上それ自体に貢献するばかりでなく、子ども自身が、保健教育で身に付けた資質や能力を活用して、生涯にわたって主体的に健康や体力を保持増進するために、自らの課題について考え、行動することができる「確かな学力」の育成を目指しています。

また、保健教育では、年齢に伴う心の発達への理解、良好な人間関係の構築等の心の健康、けがや病気のある他者を思いやる心の醸成など、「豊かな心」の育成につながる指導の実践も求められます。

学校での**性に関する指導**においては、何よりも子どもたちの心身の調和的発達を重視する必要があります。そのためには、子どもたちが心身の成長発達について正しく理解することが不可欠となっています。近年、性情報の氾濫など、子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化してきており、子どもたちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっていることから、小学校においては、体の発育・発達や心身の健康などに関する知識について体育科保健領域を中心に確実に身に付けることを重視するとともに、特別活動等で生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することに留意する必要があります。

本 Q&A には、その中の、**性に関する指導**の心身の調和的発達を家庭で子どもとお話できるようまとめました。おうちで活用いただければと思います。

小学校での性に関する保健教育の項目

第4学年「育ちゆく体とわたし」（思春期の体の変化）

体の発育・発達思春期の体の変化① 思春期の体の変化② 体をよりよく発育・発達させるための生活

第5学年「心の健康」（心の発達）

心の発達、心と体の相互の影響、不安や悩みへの対処の仕方について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解する

1. 「育ちゆく体とわたし」（思春期の体の変化）

体の発育・発達思春期の体の変化

★目標：二次性徴の発現を肯定的に受け止められるようにしましょう。

★からだの発育・発達に伴って起こる、不安や悩みを解決できるようにしていきましょう。

Q：身長が伸びて体重も増えてきたよ。なんだか嫌だな。

A：じゃあ、一緒に体の勉強をしようね。

○体の発育

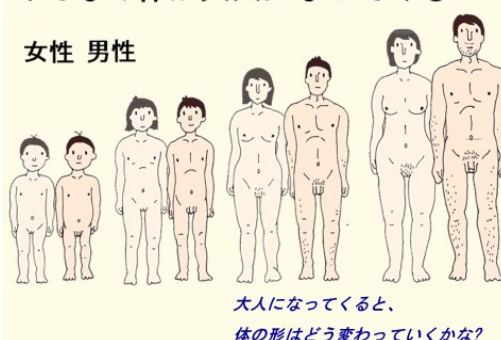
身長や体重は、年齢が大きくなると変わってくるよ。あなたはどのあたりかな？

みんな、体が大人に向かって成長していくんだよ。

〇〇ちゃんが、大人に近づいて成長していることをうれしく思っているよ。

*ご家族と赤ちゃんの頃からの成長と一緒に

みんなの体が大人になってくる



振り返ってみましょう。

例：

- ・赤ちゃんの頃の服や靴を見る。
- ・身長を示した柱や、1年ごとの身長の伸びを示した紙テープを準備し気付いたことを聞いてみる。

○ 体の変化の個人差

Q：身長が伸びてきて、(同性・異性の)友達と違ってきたよ。なんだか恥ずかしい。

A：四年生くらいになると女の子のほうが男の子よりも早く成長し、早く思春期を迎えるよ。

背がぐんと伸びてきて、男の子を追い越すようになるよ。男の子と女の子には発育に差があるんだね。女の子同士、男の子同士でも大きくなる早さは違うよ。男同士、女同士でも成長には差があることを、個人差というよ。ひとりひとりの成長の早さがあるので、ゆっくり見ていこうね。

＊早発思春期・遅発思春期が見られたら、小児科に相談しましょう

女の子男の子同士でも
大きくなるはやさがちがうよ



男同士女同士でも成長には差があるよ。
成長には、**個人差**があります。
ひとりひとりの成長のはやさがあるんだよ。

思春期遅発症：13歳までになんらかの2次性徴が出現しない。

■ 思春期早発症の主な症状 ■



男の子の主な症状

- 9歳までに精巣(睾丸)が発育する
- 10歳までに陰毛が生える
- 11歳までにわき毛、ひげが生えたり、声変わりがみられる



女の子の主な症状

- 7歳6ヵ月までに乳房がふくらみ始める
- 8歳までに、陰毛、わき毛が生える
- 10歳6ヵ月までに生理が始まる

日本小児内分泌学会 HP より

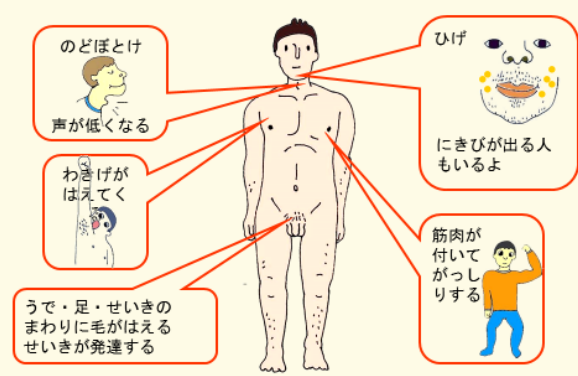
Q：身長と体重以外にも体が変わってきたみたい。これってみんなと違うの？

A：(思春期には変声や発毛、初経や精通が起こること等、同性異性の両方の発達を肯定的に教えましょう。)

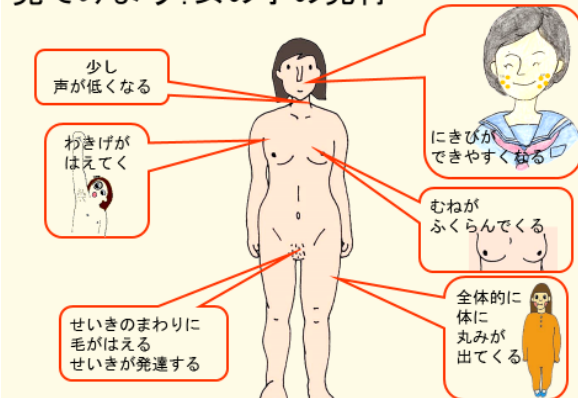
大人になると、体はどう変わってくると思う？

みんな体が成長ながら大人に近づいていくよ。絵にあるような成長を二次性徴というよ。そしてこの小学校高学年から高校生くらいの変化がある時期を思春期といいます。今が一番、体が変わる時期。人間の成長って、とても不思議で素晴らしいね。

見てみよう!男の子の発育



見てみよう!女の子の発育



ここに書いてある以外に、女の子は初めての月経である初経、男の子は初めての射精を経験する精通があるよ。

○精通・初経について

Q：月経ってなあに？

A：生理は正式には月経、初めての月経を初経と言います。

思春期を迎えると体は、大人になるための準備を始めます。女性には卵子という赤ちゃんのもとになる卵があります。赤ちゃんは女性の子宮の中で育ちます。

女性の子宮の中は、赤ちゃんがいつやってくるか待っています。子宮の内側を血や栄養でふかふかにして赤ちゃんを守ります。

赤ちゃんがおなかでできないときは、この子宮の内側の血や栄養が膣を通して出てきます。それを月経と言いますが、1ヶ月に一回赤ちゃんがおなかにいないなとわかったら、この子宮の内側の血や栄養が膣を通して出てきます。色は血と同じ赤い色をしています。28-31日くらいの間隔で月経になる人が多いですが、個人差があります。初めのうちは、決まった間隔で来ないことも多いです。

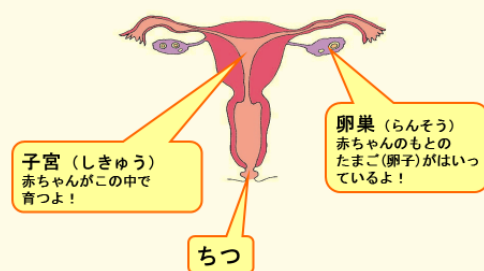
使い終わったナプキンは、紙や、ナプキンが包んであった袋にくるんで、トイレのナプキン捨てに入れます。あまり汚れていなくても、汗などで汚れている場合もあります。2~3時間に1回は必ず替えましょう。

Q：精通ってなあに？

A：男の子も思春期を迎えると体は、大人になるための準備を始めます。

男の子の睾丸には、赤ちゃんのもとになる精

思春期をむかえると体は、大人になるための準備を始めよう！



女の子の月経

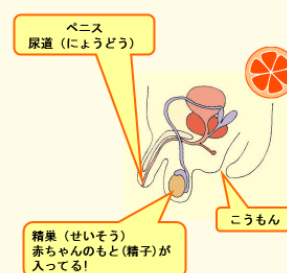
月経のときは・・・

パンツが汚れないように、ナプキンをあてます。



ナプキンをパンツにあて、月経の血液がナプキンに吸収されるようにします

男の子も思春期をむかえると体は、大人になるための準備を始めよう！



子が作られます。

男子のペニスからは白い液が出ることがあります。これを射精といいます。初めての射精を精通といいます。この液には、男の子が赤ちゃんの元である精子が混ざっています。将来、お父さんお母さんになる準備を体がしています。

Q：月経や精通はいつ頃くるの？

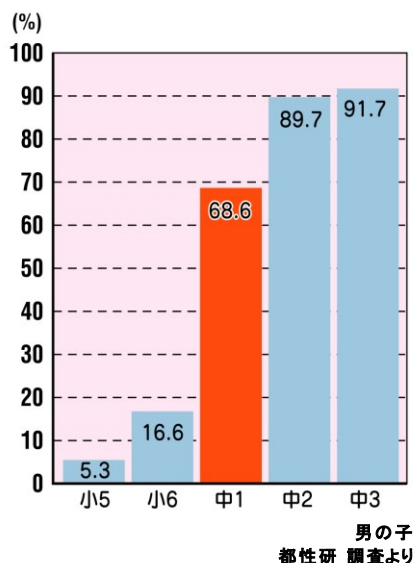
A：成長には、二次性徴でも見たように、個人差があります。

女の子

小学5年生以降に始まる人が多く、小学3年生から中学校3年生くらいの間になる人が多いようです。

男の子

小学校6年生から中学2年生くらいの間に経験する人が多いようです。



Q：体をよく発達させるためには何が必要？

A：体をよりよく発育・発達させるためには、生活の仕方が関係しているよ。

家族が、きちんとした生活をするようにお話するのも、成長に関係しているんだよ。

*調和のとれた食事、運動、休養及び睡眠などの必要性を成長に絡めて説明しましょう
おうちの食事・給食の献立から、よりよく発育・発達させるための調和の取れた食事の必要性を一緒に考えましょう。

Q：好きな人を見るとドキドキするよ

A：体が二次性徴をむかえる思春期には、異性への関心も芽生えます。好きな人ができるのも正常な発達だよ。

一人ひとり大切な成長している存在だよ。
いくら好きでも相手の気持ちを考えずにさわったり、「下着で隠れているところの写真を見せて、さわらせて」といってしまうことは、その相手を大切に思っていない証拠にもなってしまうよ。

逆に、「下着で隠れているところの写真が見たい、さわりたい」といわれても、「嫌だよ」とはっきりと断ろうね。

好きな相手も自分も大切にしようね。

みんなの周りの、親や先生、
しせつの先生の本当の気持ち

もしも、
あなたが望んでいないのに、
プライバシーゾーン（下着でかくれるところ）を、
人にさわられたら、悲しいよ。

もしも、
あなたが望んでいない人の、
プライバシーゾーン（下着でかくれるところ）を、
勝手にさわったら、悲しいよ。

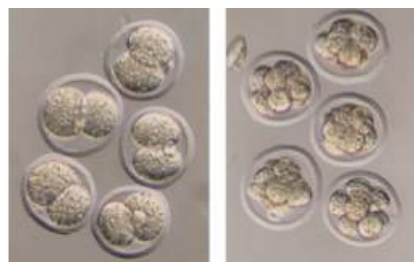


- 1) 渡會睦子、於：松本清一、田能村祐麒監修.小学生向け性教育教材 CD-ROM:【小学生向け】生きるための心の教育（性教育）.東京都:日本家族計画協会 2006; 1-200.
- 2) 渡會睦子.【紙芝居型教材 小学生向け】伝えたい「生」と「性」～生きるための心を学ぶ～.初版.東京都:日本家族計画協会,2015;1-110.

<性の成長や生殖などについて>

- Q. 成人になる前に、子どもを産む人はどうして早いんですか？
大人になる前になぜ赤ちゃんを産むことができるの？という意味でしょうか。
- A. 声変わりや月経などの二次性徴が始まったら、命のもとである精子や卵子が準備されます。成人するより前に、すでにおとなの体になっているので、妊娠・出産する人もいます。
- Q. 高齢出産で一番高い年齢は（何歳くらいまで産めますか）？
- A. 最高年齢は60歳くらいだったと思います。しかし、このような人たちは、自然に妊娠したわけではなく、他人から卵子をもらって妊娠したものです。女性の卵子は35歳くらいを過ぎると徐々に老化し、50才を過ぎたごろには、使いはたして卵子がなくなったり、赤ちゃんとして成長していくことが難しくなります。自然に妊娠して出産した最高年齢は47才くらいだったと思います。
- Q. 出産したら（赤ちゃんを産んだ後）太るのでしょうか？
- A. 出産で太ることはありません。妊娠中は赤ちゃんを産んだ後におっぱいをあげるための準備として、たくさんのエネルギーを脂肪としてためておくので、体重が増えます。
- Q. 子どもを生むとき、生む前に男の子か女の子かわかるのですか？
- A. はい、わかります。超音波診断装置という機械で、おかあさんのおなかの外から中の様子をみることができます。妊娠6か月くらいになれば、赤ちゃんの性器が見えますので、男の子か女の子かがわかります。
でも、男の子かな？女の子かな？というワクワクした気持ちを楽しんで、生まれた時により大きく感動したいという理由で、生まれる前には性別を知りたくないというお父さん・お母さんもいますよ。

- Q. 妊娠中に薬を飲むと赤ちゃんに障がいがありますか？
- A. 妊娠に気が付かないくらい早い時期に飲んだ薬で、赤ちゃんに影響することはほとんどありません。妊娠中に飲んだ薬でも、赤ちゃんの臓器や手足などに悪さをするのがわかっている一部の薬以外では、ほとんど問題になる薬はありません。妊娠中の薬を飲むときには、お医者さんに相談してください。



- Q. 妊娠中に放射線を受けると、どうなりますか？
- A. 原発施設の事故のような大量の放射能を浴びた場合には、妊婦さんやお腹の赤ちゃんに影響があります。私たちが普通に検査で受ける胸や歯のレントゲン写真や、CT検査、飛行機に乗って空から浴びる放射能は、量が少ないため妊婦さんや赤ちゃんへの問題にはなりません。アメリカでは、障がいをもつ人のことを「The challenged（ザ・チャレンジド）」と呼びます。チャレンジしている人、または

チャレンジする資格を与えられた人、という意味です。何にチャレンジしているか、だれに資格を与えられたか、考えてみてね。

Q. 男の人の持っている精子と女の人を持っている卵子は、くっつくんですか？くっつくときどんなふうにくっつくのですか？ 精子が子宮にどのようにして入って、どのようにして卵子と交ざるのですか？

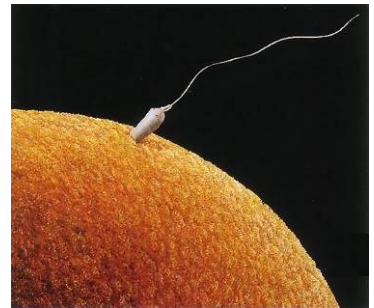
A. 精子と卵子は、同じ場所にいると自然にくっつくようにできています。精子の先っぽには、糊のようなものがついていて、卵子のカラにくっつきます。カラにくっつくと、その場所に穴ができて、精子は卵子のカラをとかしながら、中に入っていきます。一つの精子がカラに穴をあけて中に入ると、カラはかたまってしまい、次の精子は入れなくなります。卵子があるとところに精子を届けるしくみについては、中学校に進学したら学びます。楽しみにしててください。

Q. 出産のとき、産む（赤ちゃんが出てくる）まで何時間ぐらいかかるのですか？

A. 一人目の赤ちゃんを産むのには、10～15 時間ぐらいかかります。二人目の赤ちゃん（きょうだい）を産むときは、6～8 時間ぐらいです。赤ちゃんの通り道が一人目で 1 回広がったことで、次からは広がりやすくなるため、二人目の出産は短い時間ですみます。

Q. ふたごの場合、後から出てくる赤ちゃんは産みやすいということは、姉妹や兄弟でも同じですか？

A. そうです。赤ちゃんが「ちつ」を押し広げて生まれたあと、広がった「ちつ」は、時間がたつともとの広さに戻りますが、もう一度広げるのが簡単になります。姉妹（兄弟）の場合、妹（弟）が生まれるのに必要な時間は、姉の場合より短くなります。1 人目の赤ちゃんを産むときは 10～15 時間ぐらいかかりますが、2 人目の赤ちゃん（妹や弟ですね）を産むときは 6～8 時間ぐらいです。



Q. 月経がちゃんと来たり遅れたりするのはどうしてですか？

A. 初めての月経（初経）が起こってから 3～4 年は、練習期間です。子宮の中の「赤ちゃんのためのベッドのシート」を厚くして、はがして作り直す、という練習をしているだけなので、そのスピードがバラバラなのです。

初経から 3～4 年たつと、卵子が育つようになります。卵子のリズムと子宮の準備のリズムが合うようになると、おとなと同じように毎月きちんと月経が来るようになることが多いです。高校生ぐらいになるまでは、月経が来るのがバラバラでも大丈夫です。それでも心配なことがあったら、保健室の先生に相談しましょう。

Q. 精子や卵子が強い衝撃をうけるとどうなるのですか？

A. 揺さぶったりしても、こわれません。しかし、つぶしたりすれば、こわれます。

Q. 卵子はどのようなときに使うのか（赤ちゃんをつくるタイミング）？

- A. 卵子を使おうとしなくても、だいたい月に1回、勝手に出てきます。卵子が勝手に出てきたときに、ちょうど精子が近くにいれば受精して命がスタートします。赤ちゃんをつくる時に卵子を使うわけです。
- Q. 赤ちゃんは普通に息をするのではなく、泣きながら息をするのですか？
- A. どうしてかはわかりませんが、赤ちゃんは生まれてすぐに泣くようにできています。泣くためには、息を吸わないと泣き声は出せませんから、自然に最初の息を吸って肺に空気が入ってくれます。しばらく泣き続けた（泣くために息を吸ったりはいたりします）あとは、泣くのをやめて普通の息をするようになります。
- Q. 女の人には生まれた時から卵子の中に遺伝子があると聞きました。古い遺伝子が入っているのですか？
- A. 胎児のとき、心臓や脳のうに、卵巣が作られます。このときすでに卵巣の中には卵子が作られて、将来のために保管されています。卵子の中の遺伝子は、この時すでに卵子の中に入っているのです。たとえば20歳の女性が持つ卵子の中の遺伝子は、20年前につくられたもの、ということになります。
- Q. 卵子から赤ちゃんらしい状態になるには、何か月かかるのですか？
- A. 2か月ぐらいで、座高3cmぐらいのミニチュアの人間になります。のこりの7か月で身長50cmぐらいまで大きくなります。
- Q. 双子や三つ子はいるけど、何つ子までいるんですか？
- A. 自然にこどもができる場合は、三つ子までです。最近是不妊治療という人工的に妊娠をさせる治療があり、その場合は五つ子ぐらいになることがあります。しかし、三つ子以上の時、赤ちゃんがたくさんいても子宮の大きさは決まっているため、栄養の取りあいをして、赤ちゃんが育たなくなります。栄養が足りなくなるので10か月までおなかの中にいることができず、8か月ぐらいで産まなくてはなりません。だから、不妊治療をするときに、できるだけ一人か双子ぐらいになるように注意をしています。
- Q. もし家族に病気の人がいなくても、自分が産む子どもが病気になる可能性はあるのか？
- A. あります。遺伝子の異常や、妊娠中の異常などで、障がいを持って生まれてくることもあります。でも、障害を持って生まれてきても、お母さんをやめた人はいません。どんな子であっても、お母さんは子どもがかわいいのです。
- Q. 子どもがおなかにいる時にビールやタバコをすったらどんな悪いことになるのでしょうか？
- A. ビールを大量に飲むと、赤ちゃんの脳の発育に異常が起こり、知能の障がいが起こります。タバコをすうと、流産したり、早産（10か月より前に生まれてしまうこと）して赤ちゃんに障がいが起こったり、赤ちゃんの発育がおくれるため生まれた時の体重が小さくなったりします。

性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究 —センチネルサーベイランスの施行について—

【研究協力者】	谷畑 健生	(神戸市保健福祉局)
【研究協力者】	伊藤 晴夫	(千葉大学)
	五十嵐辰男	(聖隷佐倉市民病院)
	三嶋 廣繁	(愛知医科大学感染症科)
	安田 満	(岐阜大学医学部附属病院泌尿器科)
	金山 博臣	(徳島大学大学院医歯薬学研究部泌尿器科)

研究要旨

平成 29 年度の 4 県産婦人科・泌尿器科・皮膚科・性病科を標榜する医療機関を受診した以下の感染症全数調査を行った。梅毒、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、非淋菌非クラミジア感染症、性器ヘルペス、尖圭コンジローマを対象とした。疫学解析は実測値を人年法により安定化させ、男女比較などあらゆる比較を可能とした。

本年度調査では梅毒は著しく増加したことがトピックである。性感染者は配偶者が無い者は配偶者がある者に比べて著しく多かった。一方で男女年齢階級 15-19 歳及び 20-24 歳の淋菌感染症及び性器クラミジアの動向特異な変化を見せ、感染者は極めて多いことがわかった。女性の淋菌感染症及び性器クラミジア感染症は男性の半数程度を示したが、この二つの感染症に感染した女性はほとんど無症状であることから、本研究で示した結果よりもさらに多くの女性が感染していることを示唆できる。

本研究は国の定点動向調査報告をトレンドだけではなく、男女・年齢階級間比較等が可能な自由度の高い調査報告が出来る基礎的な疫学研究である。また本研究は国の性感染症分析と互いに補完するものであり、わが国の性感染症蔓延の実態を示すことを可能な研究である。

A. 研究目的

本研究は千葉県・岐阜県・兵庫県・徳島県の 4 県における産婦人科・泌尿器科・皮膚科・性病科を標榜する医療機関を症状があつて受診した患者のうち以下の感染症全数調査を行い（梅毒、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、非淋菌非クラミジア感染症、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ）、わが国における性感染症の蔓延状況を明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法

性年齢階級・県別で比較できるように本研究を設計した。

調査票は感染者の性別・年齢・感染疾患（梅毒・淋菌感染症・性器クラミジア感染症・非淋菌非クラミジア感染症・性器ヘルペス・尖圭コンジローマ）、受診日、住所地を調査項目とした

さらに検査陽性率を求めるため、梅毒・性器クラミジア感染症は妊婦健診と性行為による全検

査数、陽性数を調査項目とした。淋菌感染症は全検査数・陽性数を調査項目とした。

千葉県・岐阜県・兵庫県・徳島県の 4 県産婦人科・泌尿器科・皮膚科・性病科（本年は徳島県の実泌尿器科も調査対象とした）を標榜する医療機関に症状があつて受診した以下の感染症全数調査を行い（梅毒、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、非淋菌非クラミジア感染症、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ）、あらかじめ送付した調査票（別紙）に診療・診断した医師に記入をお願いした。調査期間は平成 29 年 10 月 1 日から 31 日とし、地区責任者（千葉大学・岐阜大学・神戸大学・徳島大学）が督促を 2 回行った。本研究は各県医師会の協力があつた。

4 県の調査票の回収、電子化は個人情報が含まれていることから、平成 28・29・30 年度全省庁統一資格において「役務の提供等 B 又は C の等級に格付けされ、かつ財団法人日本情報処理開発協会の認定するプライバシーマーク（JISQ15001）を取得した調査会社とし、一般財団法人中央調査

社を本研究の調査票の送付・回収・電子化の役務を担った。これは個人情報保護を目的としたものである。

調査票は一般社団法人中央調査社に送られ、電子化した。谷畑は電子化したデータを結果にあるとおり、判りやすいように男女・年齢階級（5歳）の性感染症罹患率（Incidence rate）を人年法で示した。すべてのグラフの縦軸の単位は人年である。

本報告書では重要な感染症である梅毒・淋菌感染症（男性尿道炎・女性頸管炎）・性器クラミジア感染症（男性尿道炎・女性頸管炎）を取り上げた。

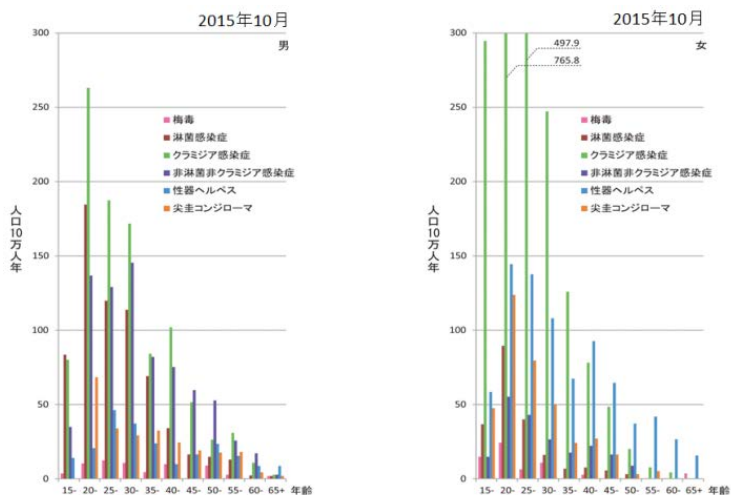
比較方法は4県罹患率合計、前回の研究班で性感染症罹患率の高かった千葉県及び兵庫県と岐阜県及び徳島県を比較し、さらに各県の比較も行った。

比較は本研究班の前期研究平成24年から今回の平成29年までの6年間とした。

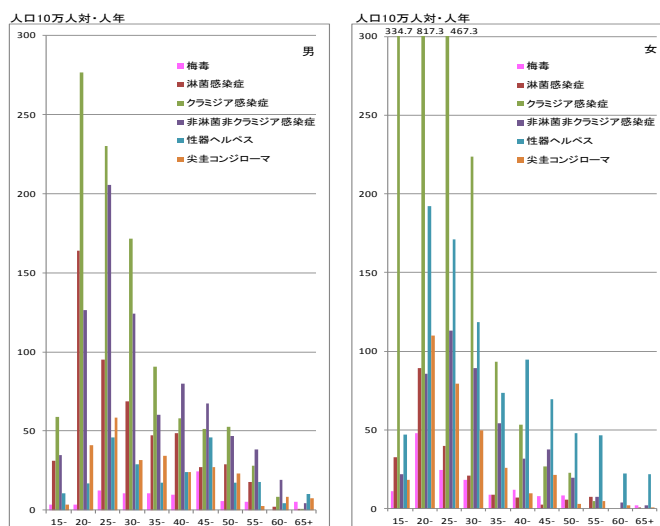
またすべてのグラフ縦軸の単位は人年法を用い、10万人年とした。

C. 研究結果

(1) 梅毒、淋菌、性器クラミジア等罹患率比較（単位人年）

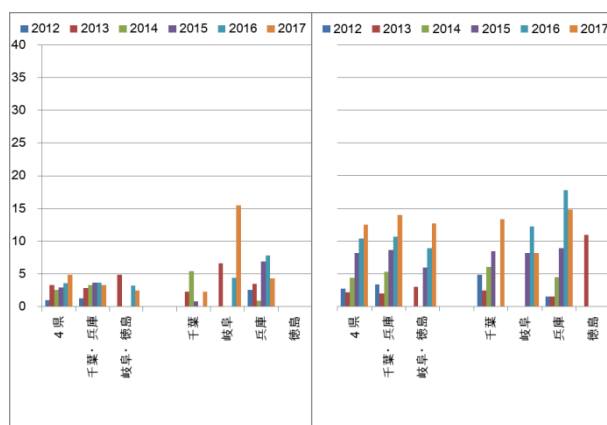


平成27年度調査結果(男左, 女右)



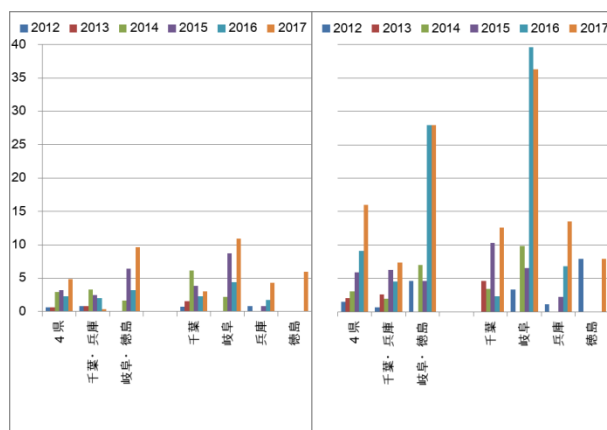
平成29年度調査結果(男左・女右)

本年度の基礎的なデータを示した。最も罹患率が高いのは20-24歳であり、性器クラミジアが多いことがわかった。前回の研究班に比べて梅毒が著増した。



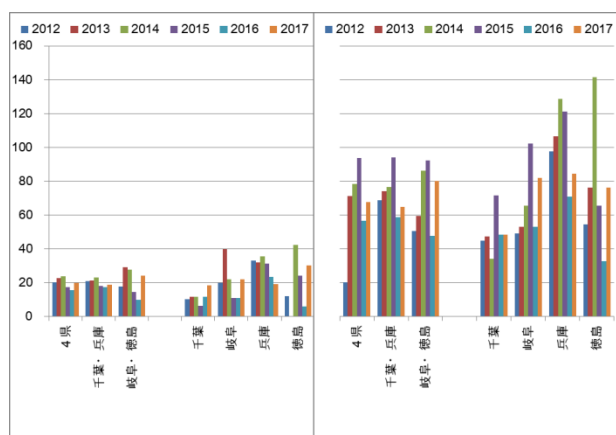
梅毒男 左配偶者あり・右配偶者なし 全年齢

男梅毒は罹患率が低いが観察5年間で著増した。また配偶者無しに多かった。県別には兵庫・岐阜の順に多かった。



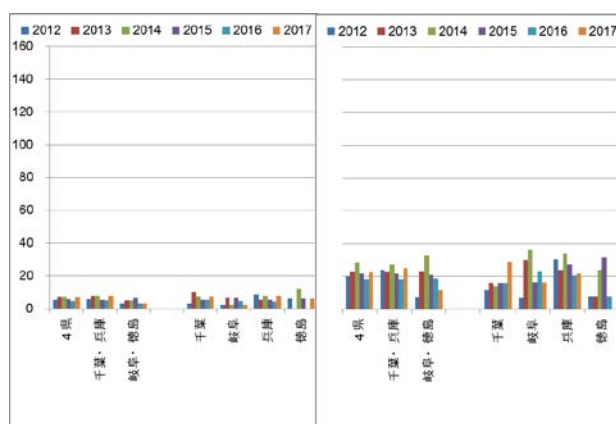
梅毒女 左配偶者あり・右配偶者なし 全年齢

女梅毒は罹患率が高くなり、観察6年間で著増した。また配偶者無しに多かった。県別には岐阜・兵庫の順に多かった。



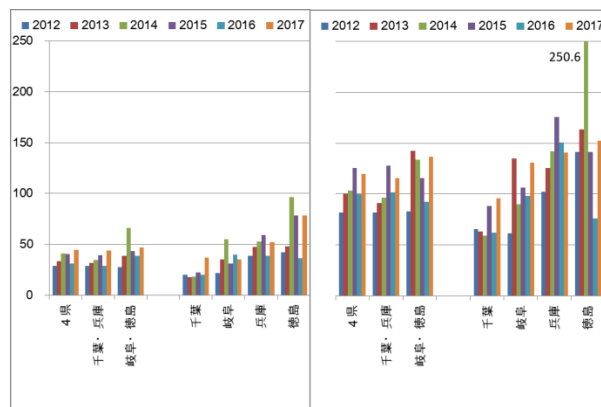
淋菌感染症男 左配偶者あり・右配偶者なし 全年齢

男淋菌感染症（全年齢）は兵庫・岐阜の順に多く、「配偶者なし」は「配偶者有り」に比べて3倍以上感染者が多かった。淋菌感染症が減少しているとはいえない。



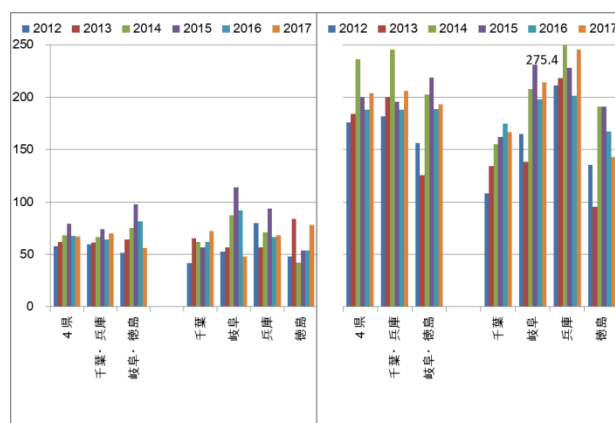
淋菌感染症女 左配偶者あり・右配偶者なし 全年齢

女淋菌感染症罹患者は男の半分以下である。また兵庫・岐阜の順に多く、「配偶者なし」は「配偶者有り」に比べて3倍以上感染者が多かった。淋菌感染症は男に多い感染症といえる。



性器クラミジア感染症男 左配偶者あり・右配偶者なし 全年齢

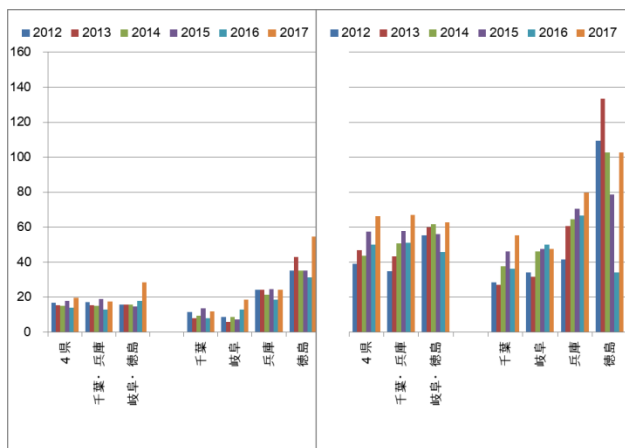
男性器クラミジア感染症罹患者は2017年度において徳島・兵庫・岐阜の順に多く、「配偶者なし」は「配偶者有り」に比べて2倍以上感染者が多かった。



性器クラミジア感染症 女 左配偶者あり・右配偶者なし 全年齢

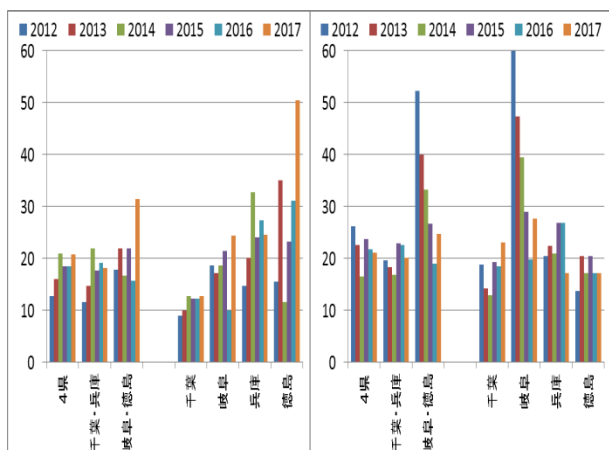
女の性器クラミジア感染症罹患者は兵庫・岐阜の順に多く、「配偶者なし」は「配偶者有り」に比べて約4倍程度感染者が多かった。

男と比べて「配偶者なし」は若干高いが、「配偶者あり」は2倍程度多かった。性器クラミジアは女の感染が多い感染症であるといえる。



性器ヘルペス感染症 全年齢 左男 右女

性器ヘルペスは男に比べて女に多く、全年齢では増加した。

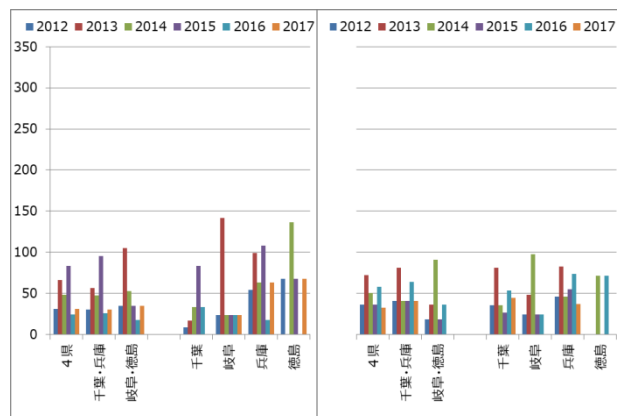


性器ヘルペス感染症 15-19 歳 左男 右女

性器ヘルペスは男に比べて女に多く、全年齢では増加した。

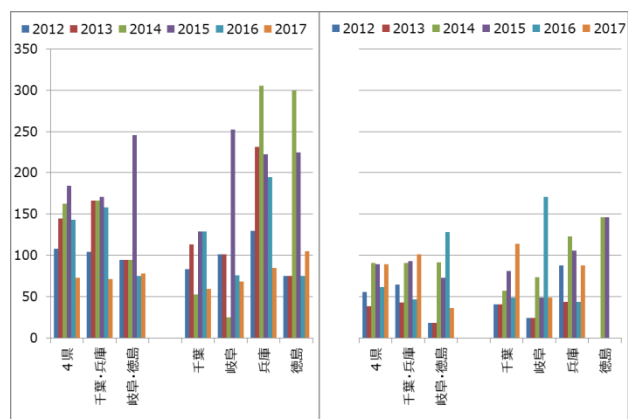
(2) 早期青年層（15-19 歳、20-24 歳）

早期青年層（15-19 歳、20-24 歳）を比較する。



淋菌感染症 15-19 歳 左男 右女

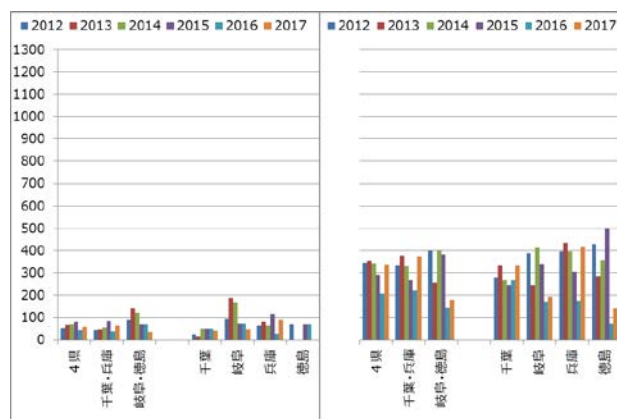
15-19 歳の淋菌感染症は男の千葉・兵庫が岐阜徳島に比べて多いが、4 県で観察すると、女に淋菌感染症が多かった。



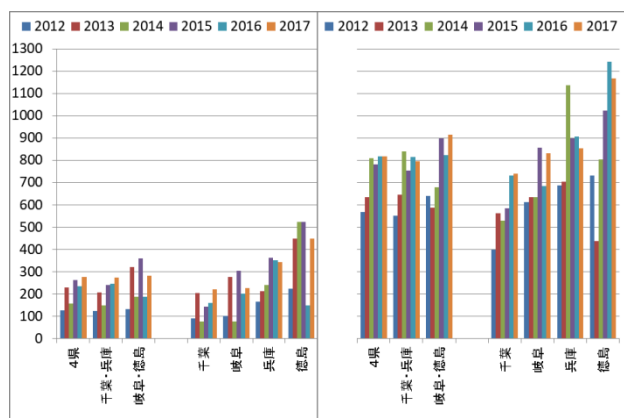
淋菌感染症 20-24 歳 左男 右女

20-24 歳では男の淋菌感染症は女に比べて非常に高くなった。15-19 歳と 20-24 歳はわずか 5 年の開きではあるが、男の感染者が著増した。

次に性器クラミジアを比較観察した。

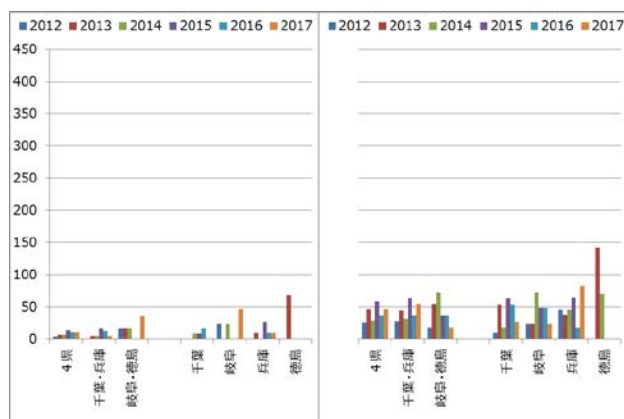


性器クラミジア感染症 15-19 歳 左男 右女



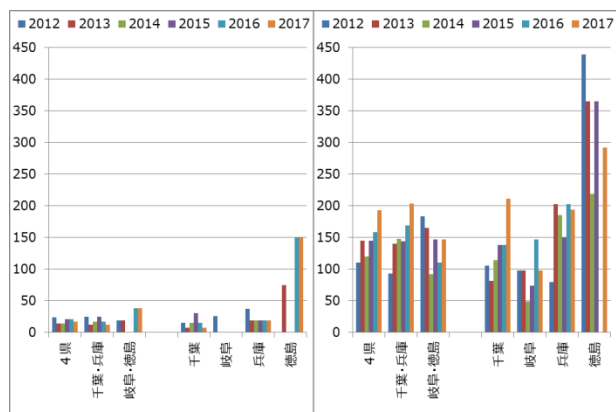
性器クラミジア感染症 20-24 歳 左男 右女

20-24 歳は 15-19 歳よりも男女ともに 2 倍以上増加した。



性器ヘルペス 15-19 歳 左男 右女

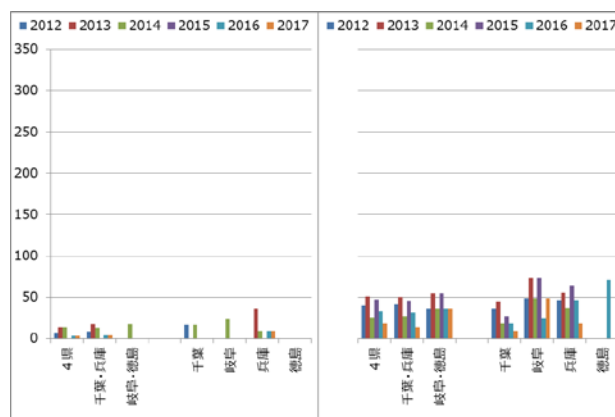
性器ヘルペスは、男は散見する程度ではあるが、女性はこの年齢層でも多く、増加傾向である。



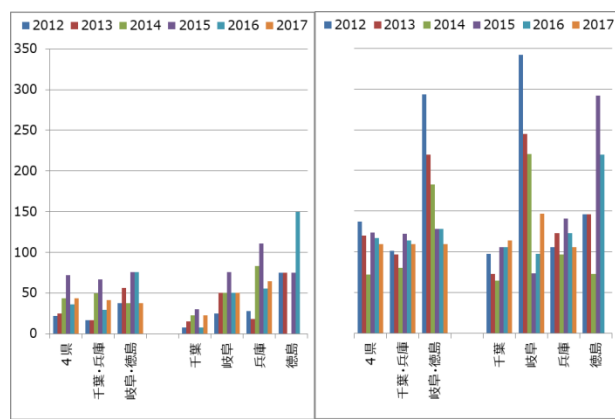
性器ヘルペス 20-24 歳 左男 右女

性器ヘルペスの 15-19 歳と 20-24 歳のグラフでは縦軸は前者に比べて後者は 3 倍であることに注意を要するが、20-24 歳においても男は

散見する程度であるが、女は感染者が多く、増加傾向にある。



尖圭コンジローマ 15-19 歳 左男 右女

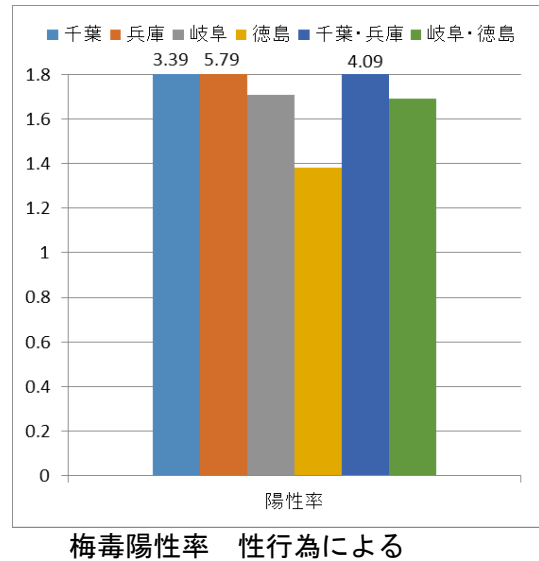
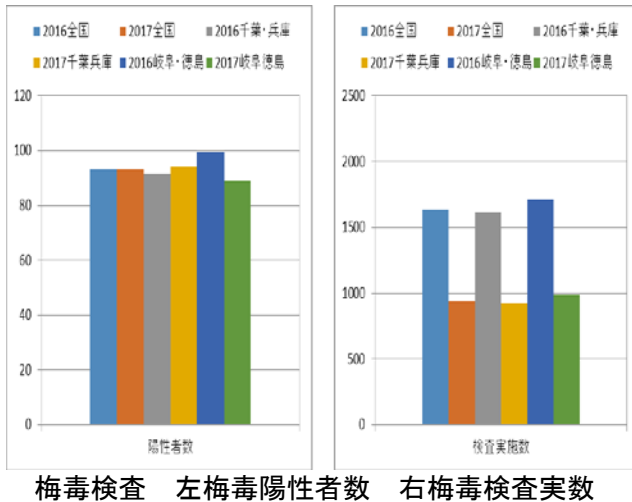


尖圭コンジローマ 20-24 歳 左男 右女

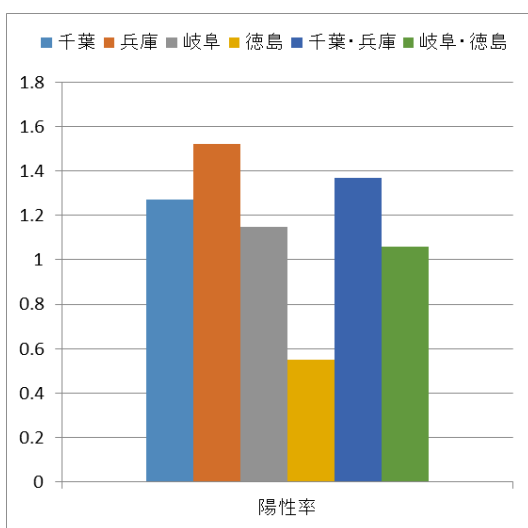
尖圭コンジローマも性器ヘルペスの 15-19 歳と 20-24 歳のグラフでは縦軸は前者に比べて後者は 2.5 倍であることに注意を要する。15-19 歳と 20-24 歳で比較すると男の感染者罹患率の増加に比べて女の増加がはるかに大きい。

(3) 梅毒、淋菌感染症、性器クラミジア感染症の検査 2016 年と 2017 年の比較

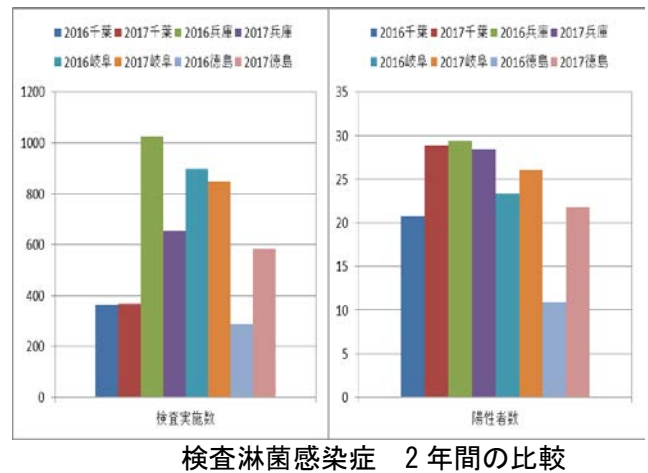
梅毒の検査はカルジオリピンを抗原とした梅毒血清反応（RPR 等）で 16 倍以上（自動測定法では 16 単位/ml 以上）とした。



梅毒検査実数は2016年に比べて2017年は少ないが、陽性者率は2016年に比べて2017年は高い。梅毒の検査で陽性率は低い、検査で約10%は陽性と診断される。

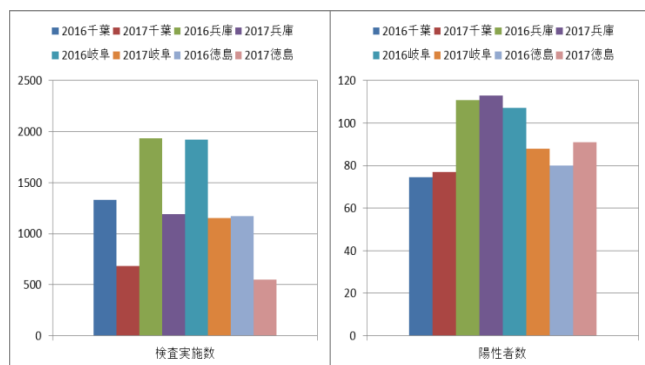


また妊婦健診で梅毒と診断されることは少ないが皆無とはいえなかった。

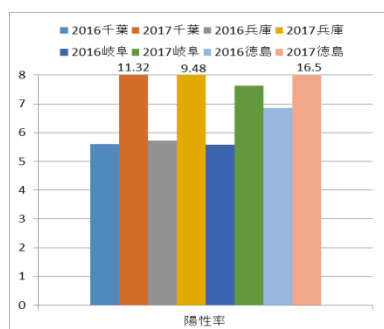


検査を行った地域差は大きかった。また淋菌感染症検査陽性はきわめて低く、2年間に大きな違いは無かった。

クラミジアの検査は、性器に感染を認め、クラミジアの抗原（EIA法・PCR法又はSDA法・TMA法によりクラミジアを確認した症例

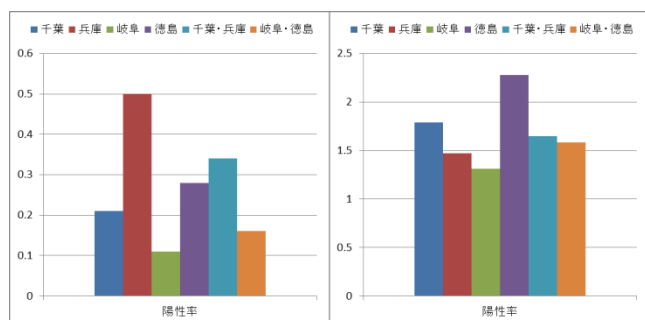


検査性器クラミジア実施者数と陽性者数2年比較



検査性器クラミジア陽性者率

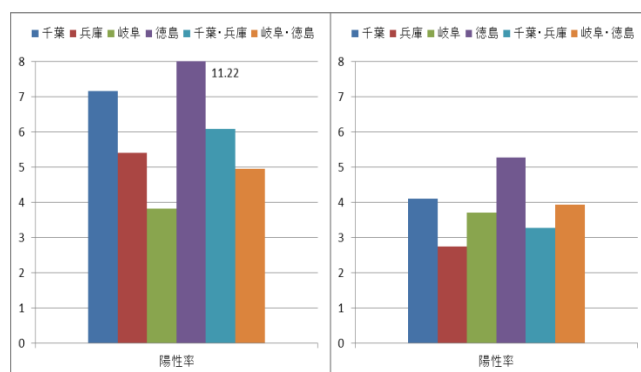
性器クラミジア検査数は2016年と2017年で変わりはないが、2017年陽性率が高かった。



2017年妊婦性器クラミジア健診感染症陽性率
左症候性 右無症候性

妊婦健診時に医師がクラミジアとして診断したものうち、症候性のある陽性率は無症候に比べて低かった。しかし無症候ではあるが、検査をすることによって約1.5%の妊婦が性器

クラミジアに感染していることが判った。また症候性陽性者を加えると約2%の妊婦が性器クラミジアに感染していることが判った。



性器クラミジア陽性率 性交後陽性率
左症候性 右無症候性

性行為を行った後検査を行ったところ症候性のある者の陽性率は無症候性に比べて明らかに高い。性行為後性感染症に不安でアルなら積極的に検査を行うべきと考えられる。

D. 考察

(1) 性感染症は若年層に多い

これまでの疫学調査と同様、性感染症は20-24歳と25-29歳の若年層に極めて多い。男性に比べ、女性性器クラミジア感染症罹患率が30-34歳以降著明に下落することから、女性の性行動は同年代以降下がると考えられる。罹患率を観察すると男性の性行動は45-49歳まで活発と考えられる。

(2) 配偶者なしに多い

婚姻は性感染症罹患の強い足かせとなっていると考えられる。特に女性の罹患率は低くなる。しかし男性の性行動45-49歳まで活発で、婚姻家庭外での性感染が多いと考えられる。

(3) 平均婚姻年齢までの性行動が活発時期に淋菌感染症と性器クラミジア感染症が極めて多い

観察したところ、平成22年人口動態統計特殊報告より女性の婚姻年齢は20-29歳まで性感染症罹患者が多く、性行動が活発であることがわかった。

淋菌感染症・性器クラミジア感染症は女に無症状であることが多く、このため感染していても医療機関に受診することは無いと考えられる。

一方で20-29歳までの性行動が活発な年代では、特に男女ともに感染罹患率は極めて高いことが明らかになった。

女性の淋菌感染症・性器クラミジア感染症は無症状であることからⁱ、性行動が活発な年代では本疫学調査よりも罹患率は高いと言える。

(4) 男の性行動は女より活発である

男性は45-49歳まで活発であり、先に述べたとおり、婚姻家庭外での性感染が多いと考えられる。

現在わが国では性行為のあるソープランド、フェラチオのみのファッションヘルス、ピンサロは都道府県警察の強い規制を受けており、この形態による性感染は減少していると考えられる。しかし警察による規制に難しい、デリバリーヘルス、出会い系サイト等での個人売春は増加しているⁱⁱことから、男性の性感染症が減少し難いと考えられる。

(5) 本研究のサーベイランスから見える男女の性行動

15-19歳の淋菌罹患率は男女変わらないが、20-24歳の男は女に比べて非常に多くなっている。淋菌感染症については、推測となるが、20-24歳の男は性交渉が出来る場に出かけることによって感染し、同世代以下の女性に感染させている可能性が考えられる。

一方性器クラミジアの動向は淋菌感染症とは異なり、20-24歳の女はより年上の男から感染し、同世代以下の男に性器クラミジアを感染させていると考えられる。この傾向は性器ヘルペス、先圭コンジローマと同じであると考えられる。ただ女の淋菌感染症は自覚症状がないことから実のところ淋菌感染症に罹患しながらも医療機関にかかっていないことが推測される。このことによって淋菌感染症のコントロールは非常に難しいと考えられる。

(6) 梅毒・淋菌感染症・性器クラミジア感染症の陽性率が低い

規定された検査方法で検査陽性となることは10%にも満たない。多くは臨床医の臨床診断による治療が主流と考えられる。

一方で多くの淋菌感染症は薬剤耐性となっておりⁱⁱⁱ一般的な淋菌検出だけでなく、

薬剤耐性にかかる検査も必要であると考えられる。

(7) 妊婦健診で性器クラミジア感染症が発見される

約2%とはいえ、通常に行われる性器クラミジア感染症が発見された。性器クラミジア感染症の多くは新生児に障害を残すことは無いにしても、安全とはいえない。

また梅毒も妊婦健診で発見されている。梅毒が増加していることから、健診でも注意を要する。

妊婦健診で積極的に性感染症の発見と治療、さらに妊婦のパートナーにも性感染症の診察及び検査は必要であると考えられる。

(8) 本研究の全数届出と国の調査

本研究の特長は、いわゆる大都市を含む県ではないが、本研究は性器に症状があつて医療機関を受診している。

本研究は症状がある患者が医療機関にかかっており、4県ではあるがその4県全ての患者を把握していることから sentinel surveillance と考えられる。国は定点調査による surveillance であるが、本研究では定点ではないが積極的に本研究に参加し、患者報告をする医療機関が多く、定点では計測出来ない患者が多数含まれていると考えられる。

一方で本研究は東京都・大阪府・愛知県を含んでいないことから、推定罹患率は、わが国の実態よりも低い値であるといえる。

性器クラミジア感染症は女性に多い性感染症であるにもかかわらず、東京都の定点報告は女性よりも男性に多いと報告されている。これは定点の選択に問題があると考えられる。

わが国の性感染症の実態を把握するためには、国と補完しながら、より正しい実態把握が必要であり、可能である。本研究はごく少数の「県」の調査であるが、国（国立感染症研究所）とデータを相互に共有しながら、より正しいわが国の性感染症の実態を明らかにしていく必要に迫られていると考えられる。

ⁱ Bennett JE, et al. Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases: 2-Volume Set, 8e. 2014. Elsevier.

ⁱⁱ坂爪真吾. 性風俗のいびつな現場 (ちくま新書) 新書. 2016.

ⁱⁱⁱ Trembizki E, et al. The Molecular Epidemiology and Antimicrobial Resistance of *Neisseria gonorrhoeae* in Australia: A Nationwide Cross-Sectional Study, 2012. Clin Infect Dis. 2016 ;63(12):1591-1598.

E. 結論

本研究により，若年者の性感染症の罹患が多いことが明らかになった。また妊婦健診より梅毒・性器クラミジア感染症感染妊婦が少なからず発見された。

本研究は国（国立感染症研究所）とデータを相互に補完しつつ，より正しいわが国の性感染症の実態を明らかにすることが可能であり，必要である。

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

なし

性感染症（STI）全数把握調査用紙（2017年）

（ ） 県調査

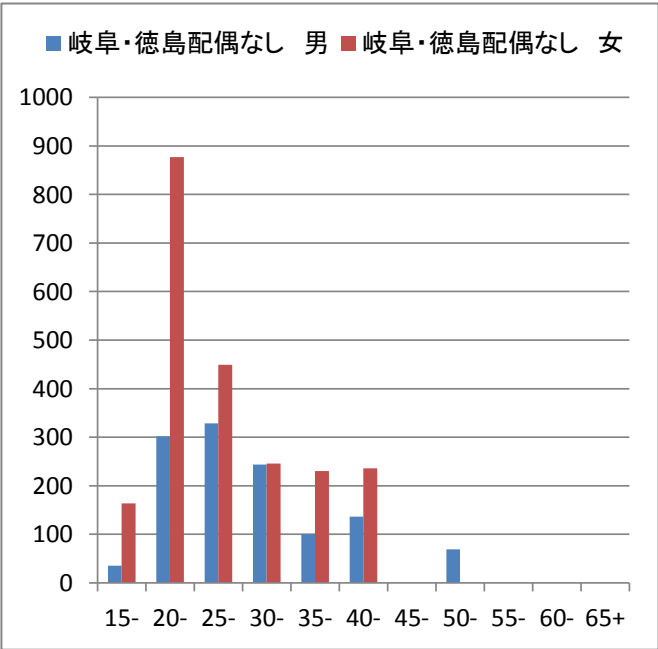
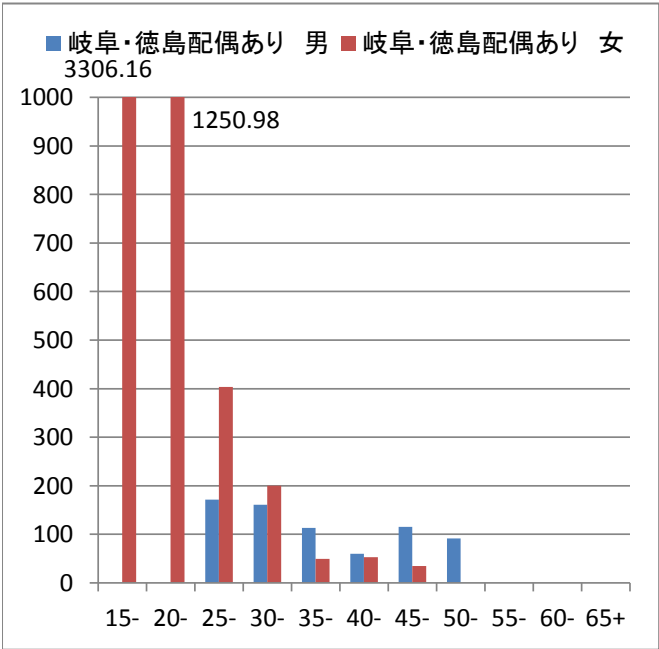
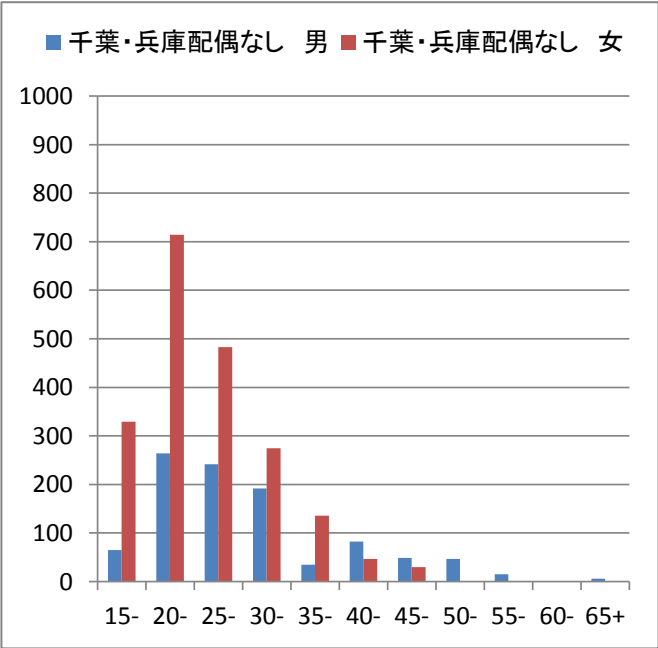
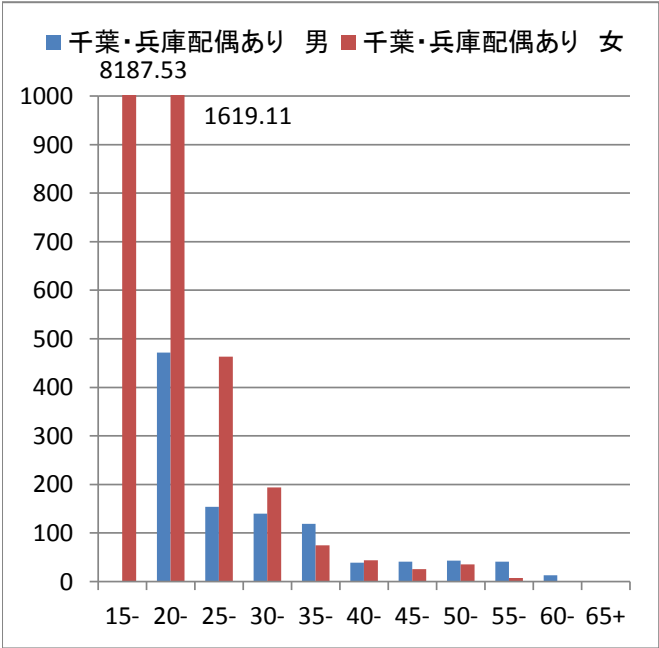
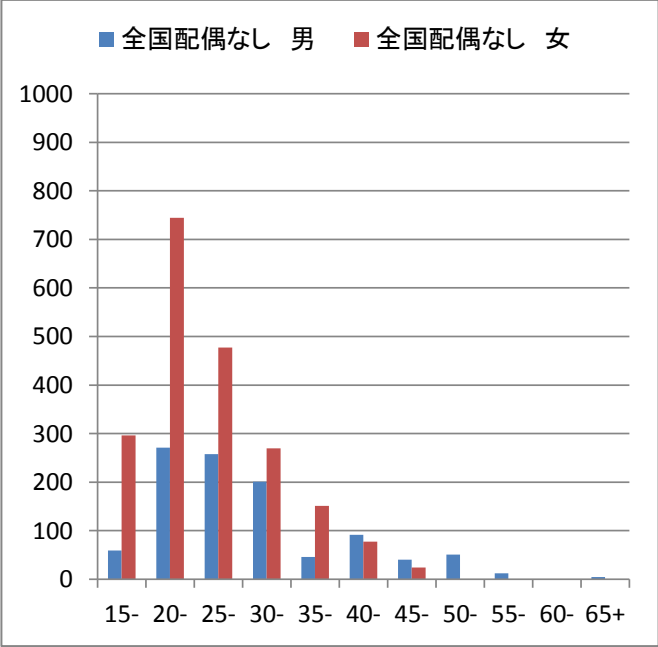
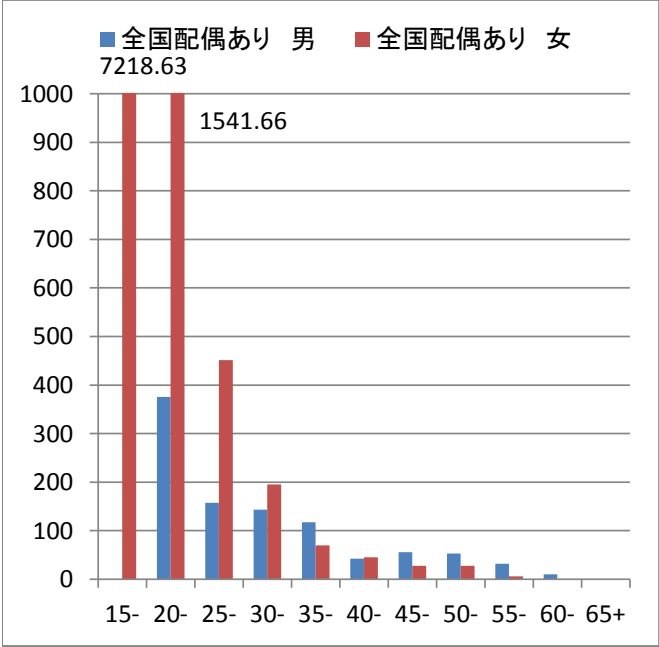
医療施設名			定点施設	非定点施設	(いずれかを○で囲む)
所在地			記入医師名		
連絡先	TEL	- -	FAX	- -	
標榜科	産婦人科 ・ 泌尿器科 ・ 皮膚科 ・ 性病科 ・ その他（ ）				

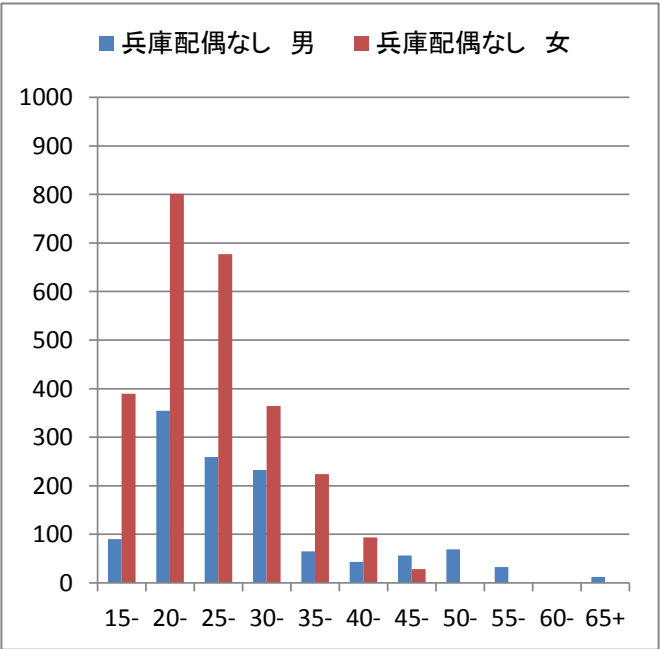
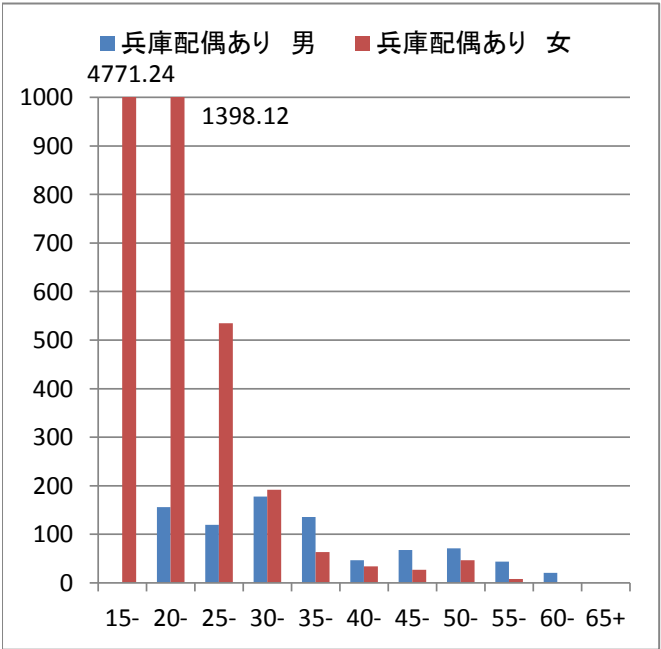
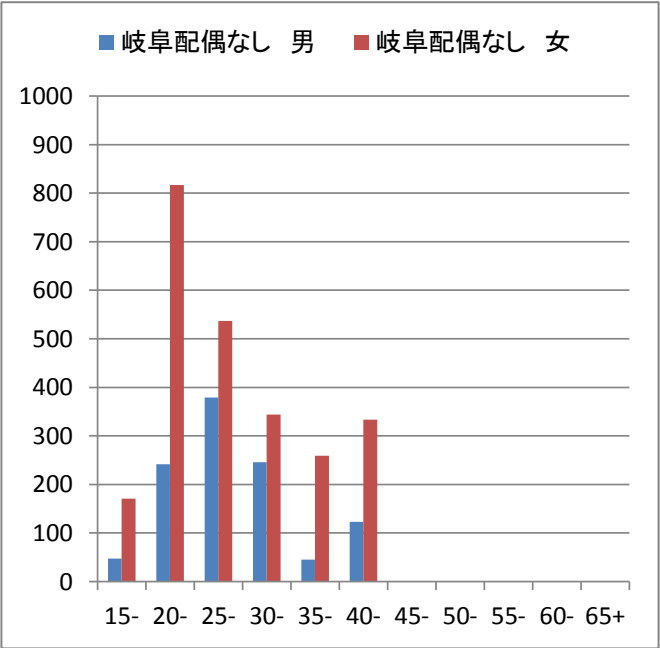
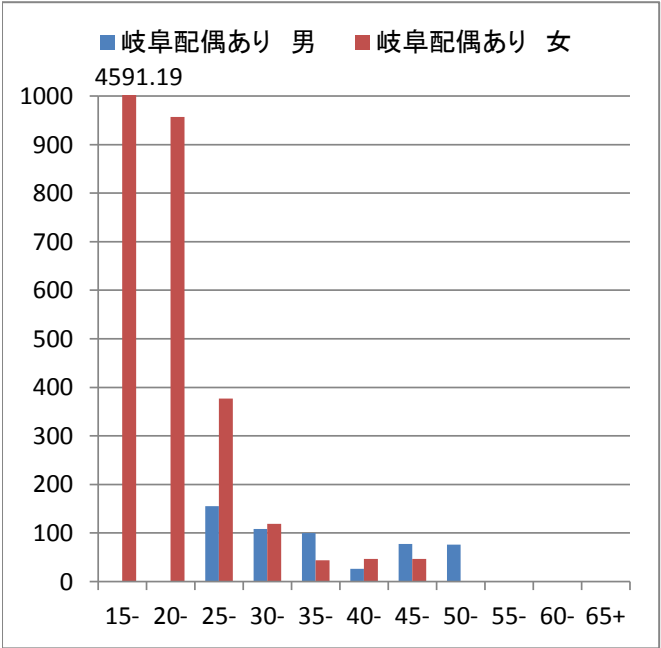
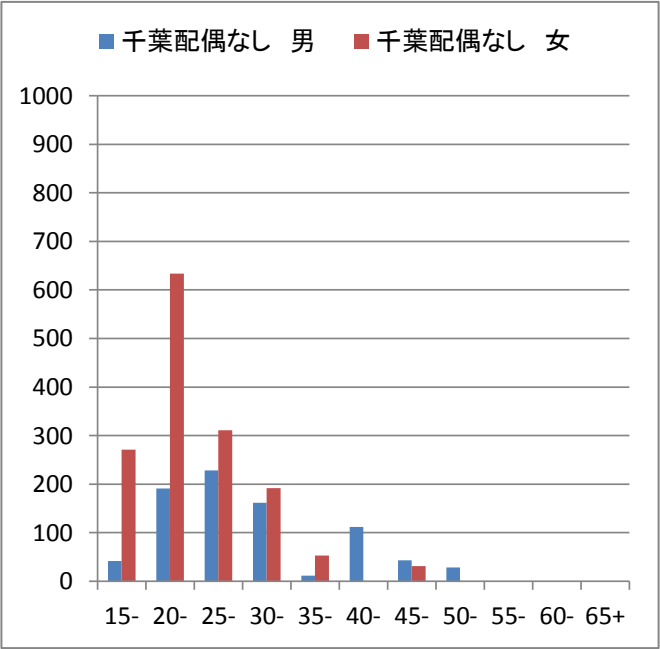
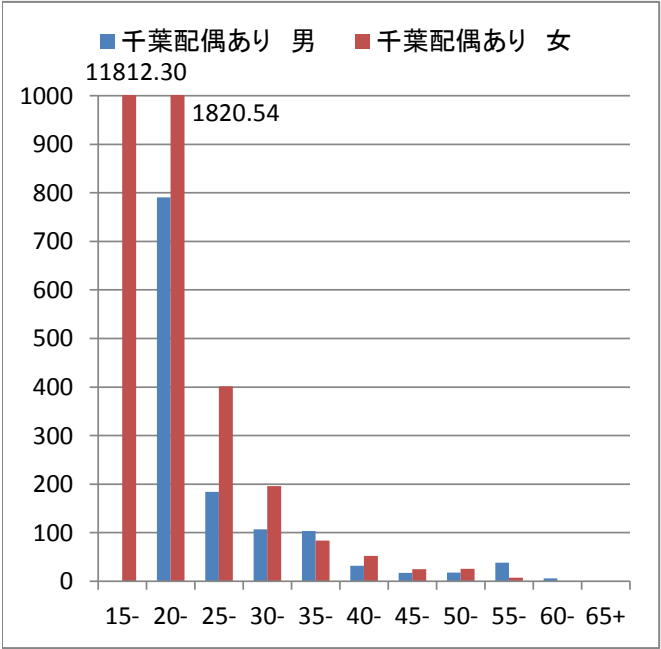
検査数		両方ご記入ください		症例件数																																																																																																																																																																																																																																																											
2017年10月1日～31日に実施した検査数(人数)と陽性数(検査していない場合は、分母に(0)をご記入ください) 陽性数 1か月間の検査実施数 (10月1日～31日) <table border="1"> <tr> <td>梅毒血清反応</td> <td>妊婦検診</td> <td>性感染症診断のための検査</td> </tr> <tr> <td colspan="3">無症状病原体保有者ではRPRで16倍(自動測定法では16単位/ml)以上</td> </tr> <tr> <td>陽性()</td> <td>陽性()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検査実施数()</td> <td>検査実施数()</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">前記検査を含まない</td> </tr> </table>		梅毒血清反応	妊婦検診	性感染症診断のための検査	無症状病原体保有者ではRPRで16倍(自動測定法では16単位/ml)以上			陽性()	陽性()		検査実施数()	検査実施数()		前記検査を含まない			2017年10月1日～31日に診断した性感染症症例 あり ・ なし 1症例1行として該当疾患名の略語を○で囲む。重複感染例は複数疾患名を○で囲む。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">症例番号</th> <th rowspan="2">妊婦検診で診断された場合は、○</th> <th rowspan="2">月/日</th> <th rowspan="2">居(市郡の地)</th> <th rowspan="2">年齢</th> <th rowspan="2">性別</th> <th rowspan="2">配偶者</th> <th colspan="3">④梅毒</th> <th colspan="2">男性尿道炎</th> <th colspan="2">女性子宮頸炎</th> <th rowspan="2">⑤クラミジア性</th> <th rowspan="2">⑥淋菌性</th> <th rowspan="2">⑦非淋菌性</th> <th rowspan="2">⑧ヘルペス</th> <th rowspan="2">⑨尖コンジローマ</th> </tr> <tr> <th>I期</th> <th>II期</th> <th>III期以上</th> <th>④クラミジア性</th> <th>⑤淋菌性</th> <th>⑥淋菌性</th> <th>⑦非淋菌性</th> <th>⑧ヘルペス</th> <th>⑨尖コンジローマ</th> </tr> <tr> <td>例</td> <td>○</td> <td>10/1</td> <td>〇〇市</td> <td>23</td> <td>男・女</td> <td>有・無</td> <td>梅II</td> <td>梅無</td> <td>梅III</td> <td>淋</td> <td>ク症</td> <td>ク無症</td> <td>非淋非ク</td> <td>ヘ</td> <td>コ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td>10/</td><td></td><td></td><td>男・女</td><td>有・無</td><td>梅II</td><td>梅無</td><td>梅III</td><td>淋</td><td>ク症</td><td>ク無症</td><td>非淋非ク</td><td>ヘ</td><td>コ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td>10/</td><td></td><td></td><td>男・女</td><td>有・無</td><td>梅II</td><td>梅無</td><td>梅III</td><td>淋</td><td>ク症</td><td>ク無症</td><td>非淋非ク</td><td>ヘ</td><td>コ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td>10/</td><td></td><td></td><td>男・女</td><td>有・無</td><td>梅II</td><td>梅無</td><td>梅III</td><td>淋</td><td>ク症</td><td>ク無症</td><td>非淋非ク</td><td>ヘ</td><td>コ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td>10/</td><td></td><td></td><td>男・女</td><td>有・無</td><td>梅II</td><td>梅無</td><td>梅III</td><td>淋</td><td>ク症</td><td>ク無症</td><td>非淋非ク</td><td>ヘ</td><td>コ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td>10/</td><td></td><td></td><td>男・女</td><td>有・無</td><td>梅II</td><td>梅無</td><td>梅III</td><td>淋</td><td>ク症</td><td>ク無症</td><td>非淋非ク</td><td>ヘ</td><td>コ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td>10/</td><td></td><td></td><td>男・女</td><td>有・無</td><td>梅II</td><td>梅無</td><td>梅III</td><td>淋</td><td>ク症</td><td>ク無症</td><td>非淋非ク</td><td>ヘ</td><td>コ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td>10/</td><td></td><td></td><td>男・女</td><td>有・無</td><td>梅II</td><td>梅無</td><td>梅III</td><td>淋</td><td>ク症</td><td>ク無症</td><td>非淋非ク</td><td>ヘ</td><td>コ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td>10/</td><td></td><td></td><td>男・女</td><td>有・無</td><td>梅II</td><td>梅無</td><td>梅III</td><td>淋</td><td>ク症</td><td>ク無症</td><td>非淋非ク</td><td>ヘ</td><td>コ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td>10/</td><td></td><td></td><td>男・女</td><td>有・無</td><td>梅II</td><td>梅無</td><td>梅III</td><td>淋</td><td>ク症</td><td>ク無症</td><td>非淋非ク</td><td>ヘ</td><td>コ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td>10/</td><td></td><td></td><td>男・女</td><td>有・無</td><td>梅II</td><td>梅無</td><td>梅III</td><td>淋</td><td>ク症</td><td>ク無症</td><td>非淋非ク</td><td>ヘ</td><td>コ</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		症例番号	妊婦検診で診断された場合は、○	月/日	居(市郡の地)	年齢	性別	配偶者	④梅毒			男性尿道炎		女性子宮頸炎		⑤クラミジア性	⑥淋菌性	⑦非淋菌性	⑧ヘルペス	⑨尖コンジローマ	I期	II期	III期以上	④クラミジア性	⑤淋菌性	⑥淋菌性	⑦非淋菌性	⑧ヘルペス	⑨尖コンジローマ	例	○	10/1	〇〇市	23	男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ				1		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ				2		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ				3		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ				4		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ				5		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ				6		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ				7		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ				8		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ				9		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ				10		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ			
梅毒血清反応	妊婦検診	性感染症診断のための検査																																																																																																																																																																																																																																																													
無症状病原体保有者ではRPRで16倍(自動測定法では16単位/ml)以上																																																																																																																																																																																																																																																															
陽性()	陽性()																																																																																																																																																																																																																																																														
検査実施数()	検査実施数()																																																																																																																																																																																																																																																														
前記検査を含まない																																																																																																																																																																																																																																																															
症例番号	妊婦検診で診断された場合は、○	月/日	居(市郡の地)	年齢	性別	配偶者	④梅毒			男性尿道炎		女性子宮頸炎		⑤クラミジア性	⑥淋菌性	⑦非淋菌性	⑧ヘルペス	⑨尖コンジローマ																																																																																																																																																																																																																																													
							I期	II期	III期以上	④クラミジア性	⑤淋菌性	⑥淋菌性	⑦非淋菌性						⑧ヘルペス	⑨尖コンジローマ																																																																																																																																																																																																																																											
例	○	10/1	〇〇市	23	男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ																																																																																																																																																																																																																																																
1		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ																																																																																																																																																																																																																																																
2		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ																																																																																																																																																																																																																																																
3		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ																																																																																																																																																																																																																																																
4		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ																																																																																																																																																																																																																																																
5		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ																																																																																																																																																																																																																																																
6		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ																																																																																																																																																																																																																																																
7		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ																																																																																																																																																																																																																																																
8		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ																																																																																																																																																																																																																																																
9		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ																																																																																																																																																																																																																																																
10		10/			男・女	有・無	梅II	梅無	梅III	淋	ク症	ク無症	非淋非ク	ヘ	コ																																																																																																																																																																																																																																																

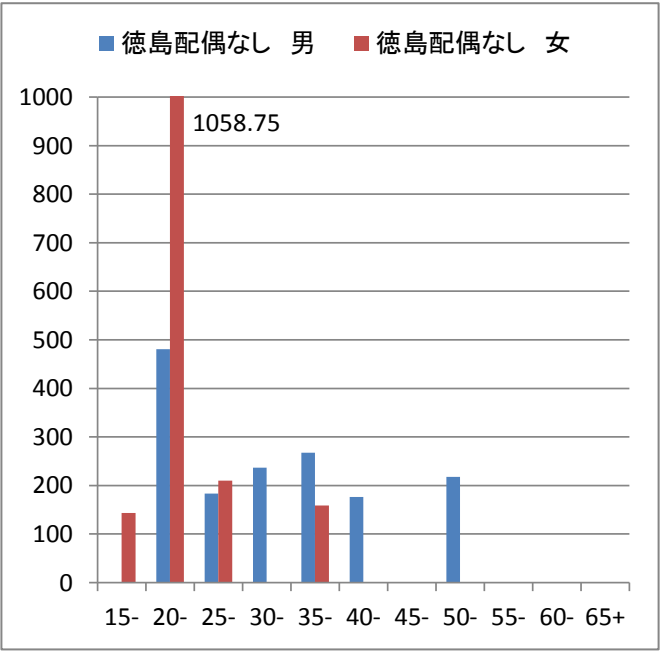
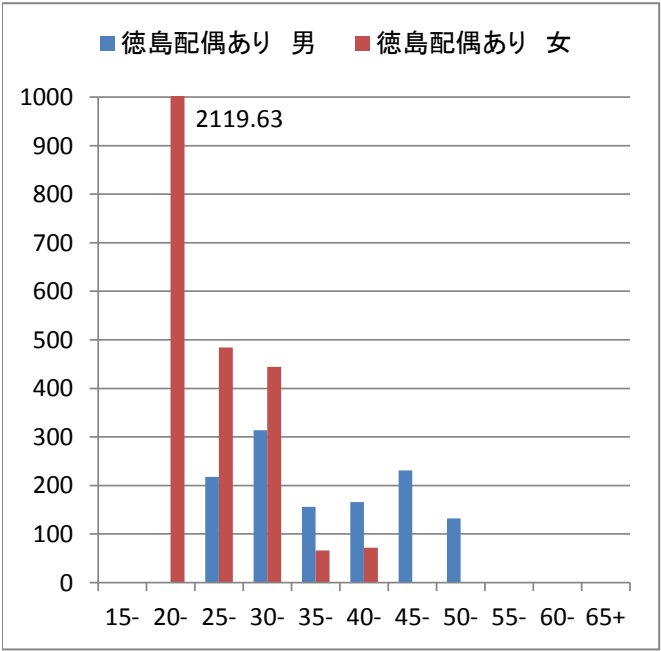
提出期限は、2017年11月末日です。病院の場合、診療科ごとに1枚調査用紙をご提出ください。診療所は合計して1枚に記載しご提出ください。該当患者がない場合でも、性感染症症例「なし」を○で囲むと共に、左欄に検査数を記入し、ご提出ください。 ※記載欄が足りない場合は、用紙をコピーしてご記入ください。

クラミジア

クラミジア性尿道炎・頸管炎（縦軸：人口10万人年、横軸：年齢階級）



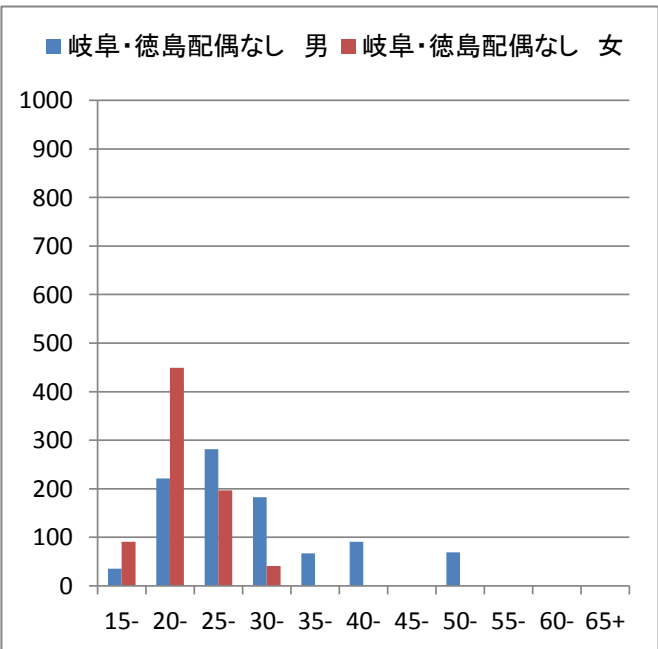
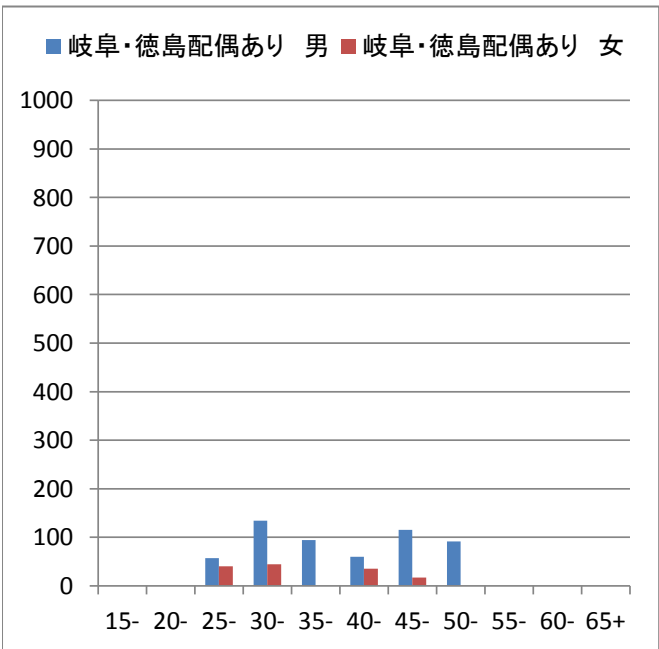
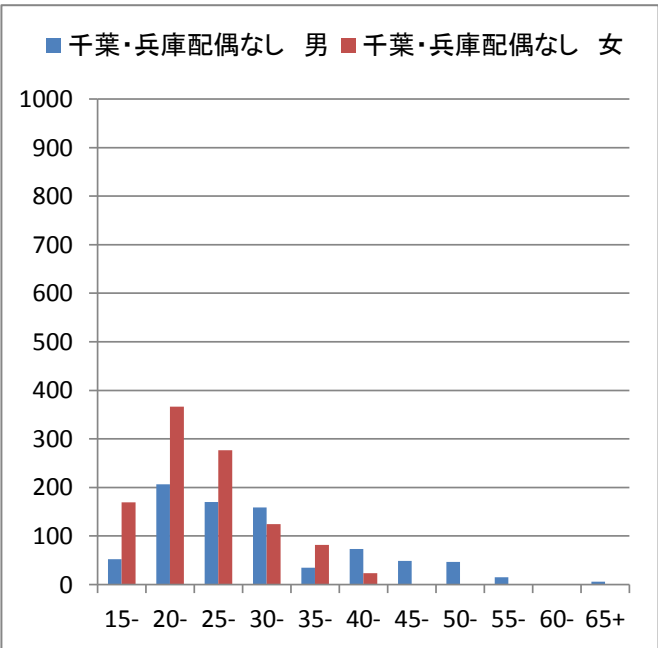
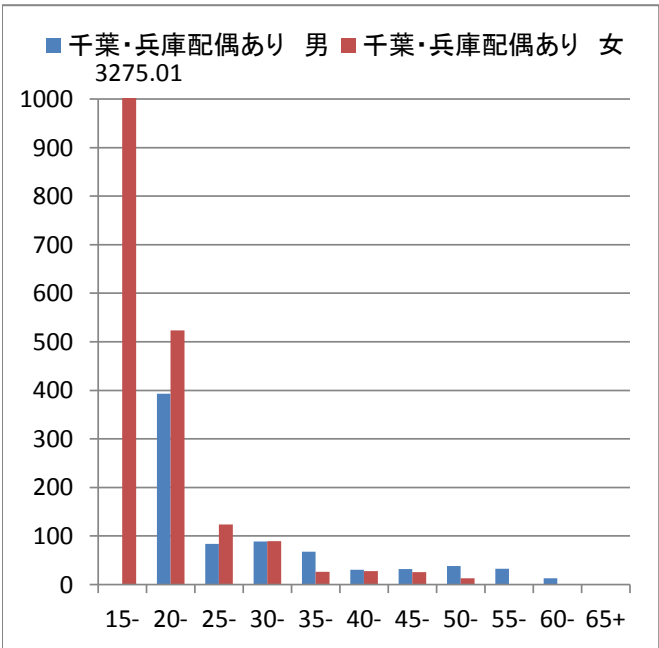
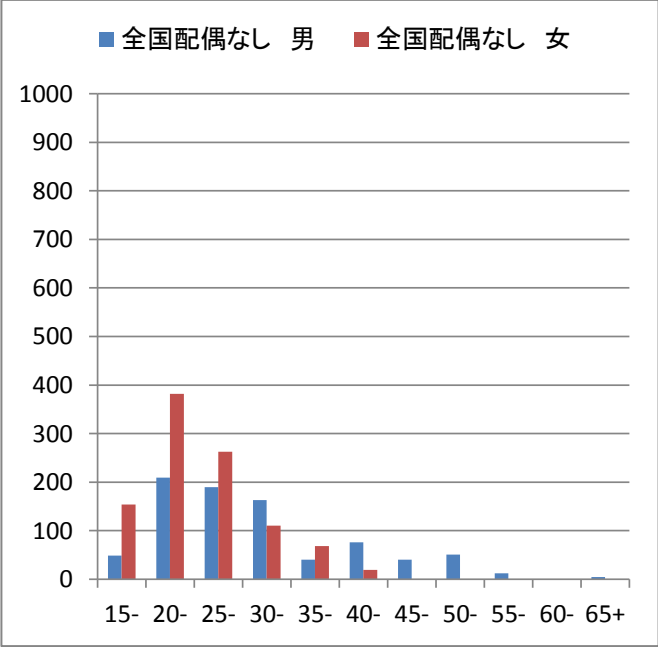
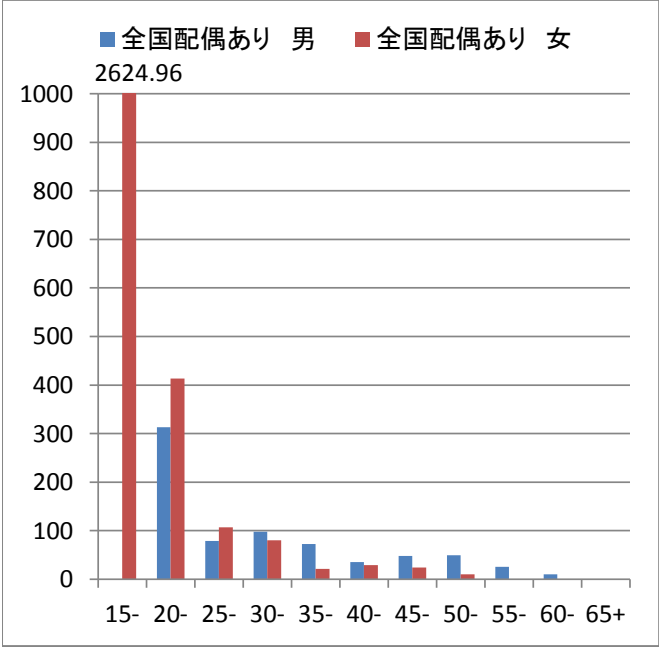




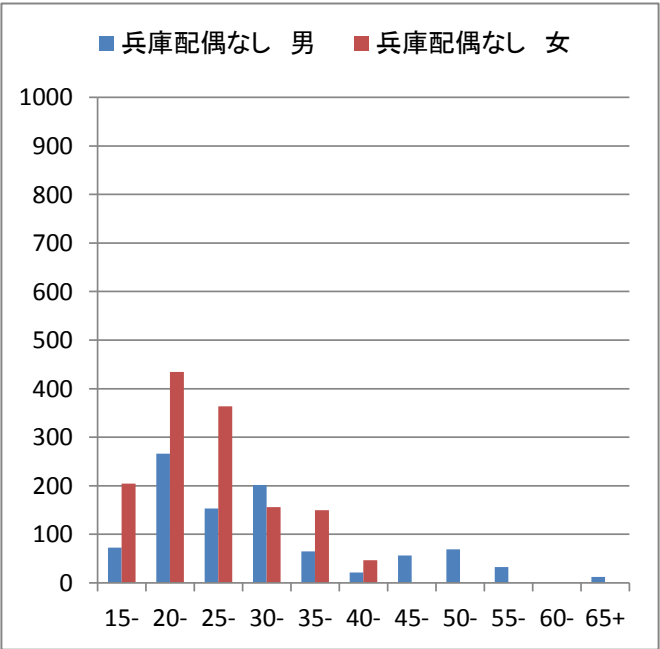
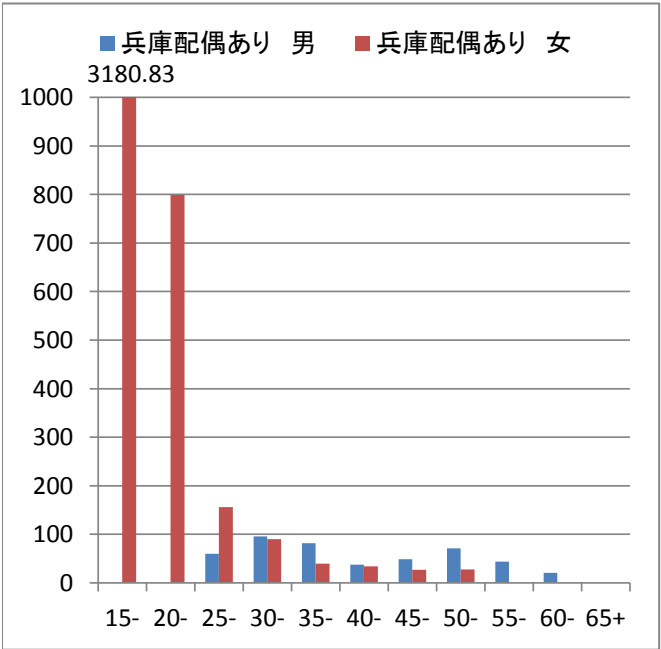
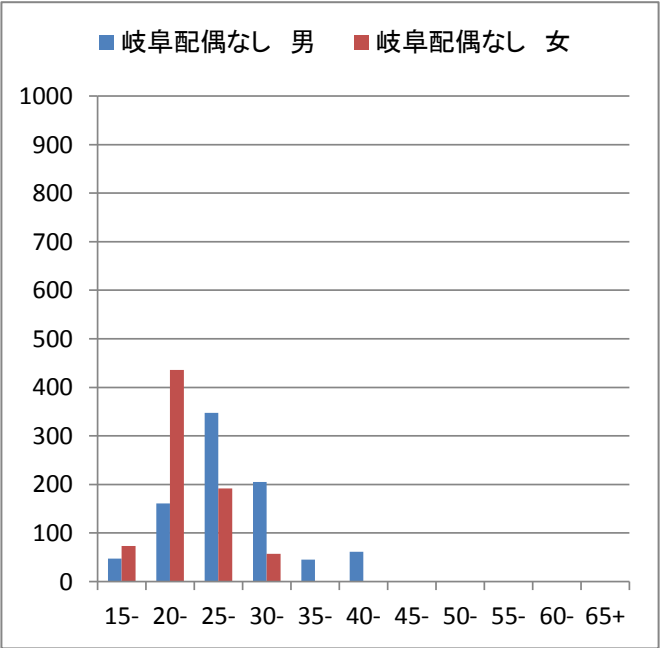
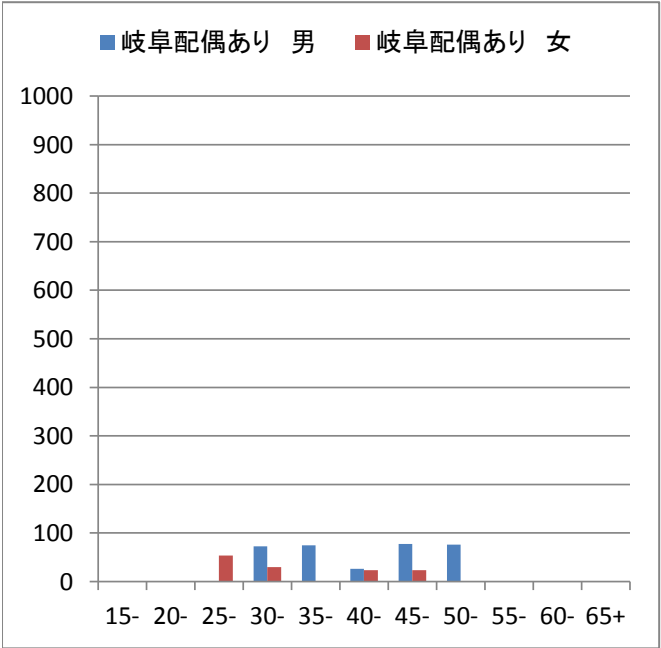
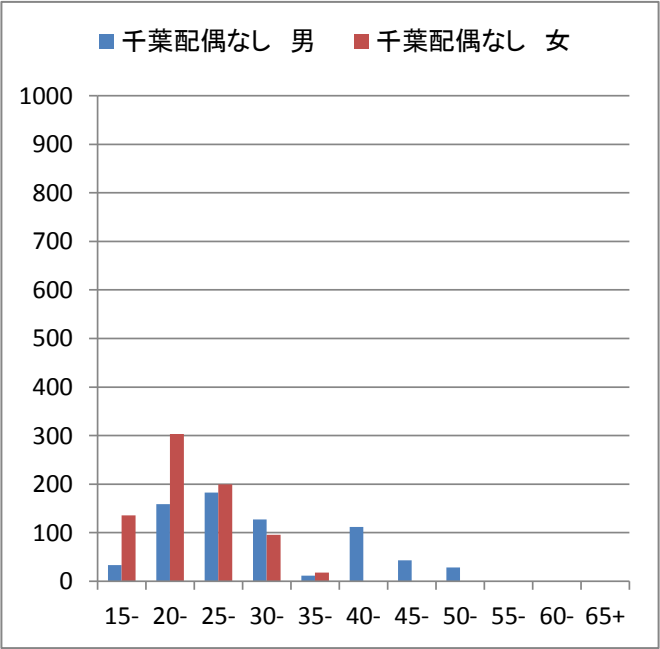
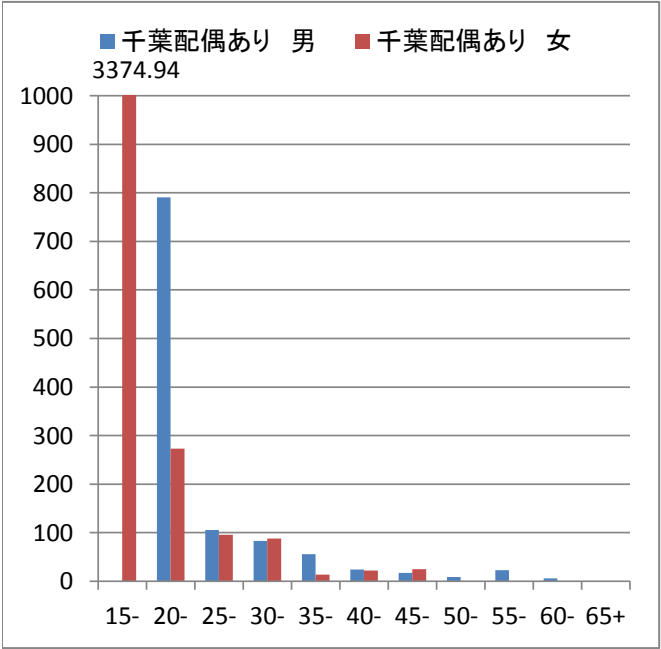
縦軸は人年

クラミジア_症候性

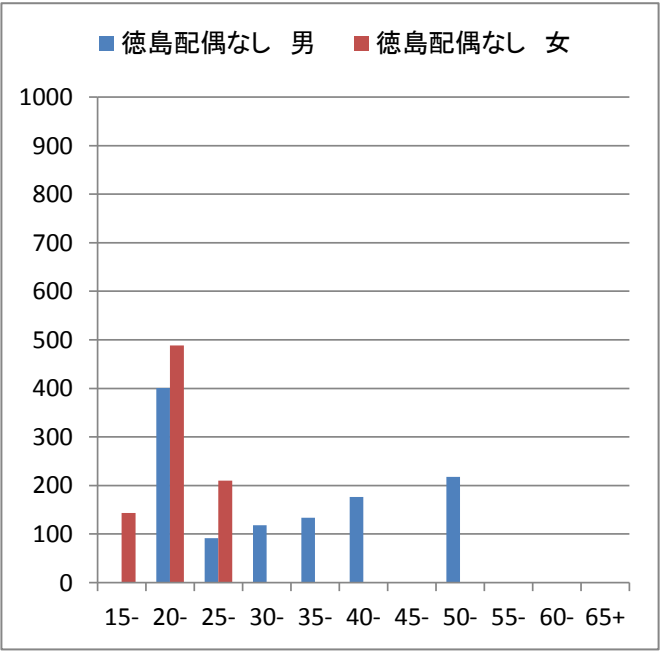
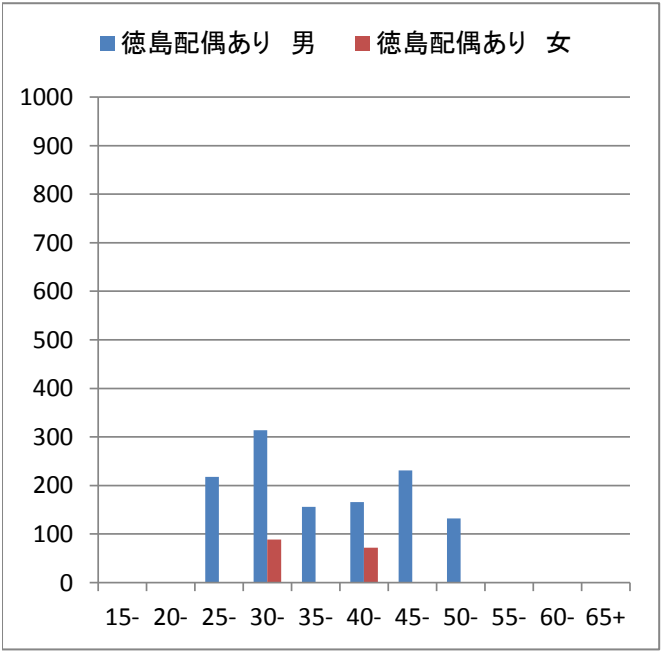
クラミジア性尿道炎・頸管炎 症候性 （縦軸：人口10万人年、横軸：年齢階級）



クラミジア_症候性



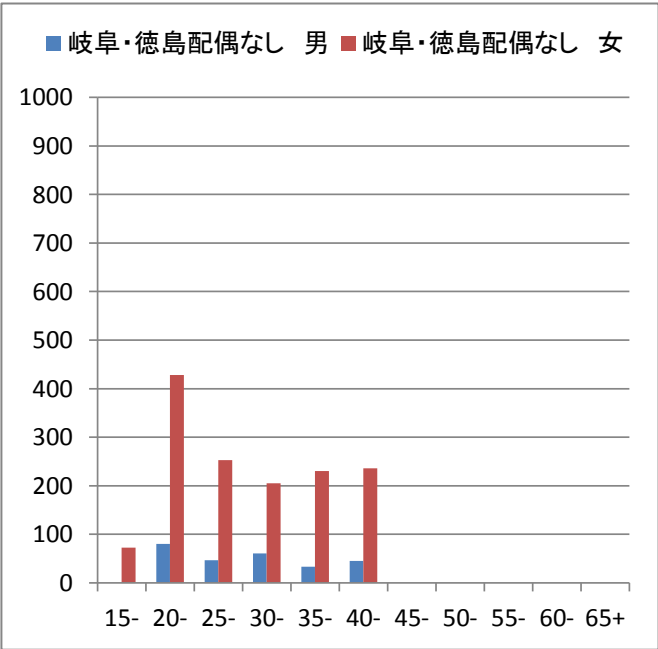
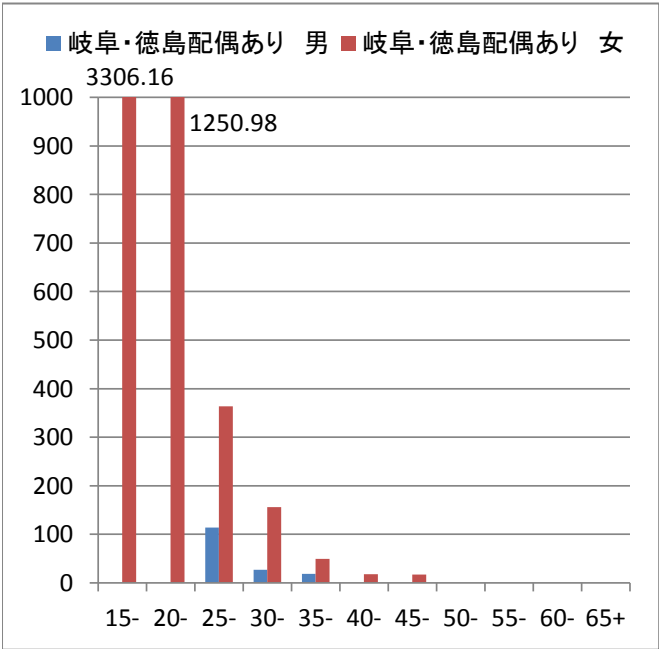
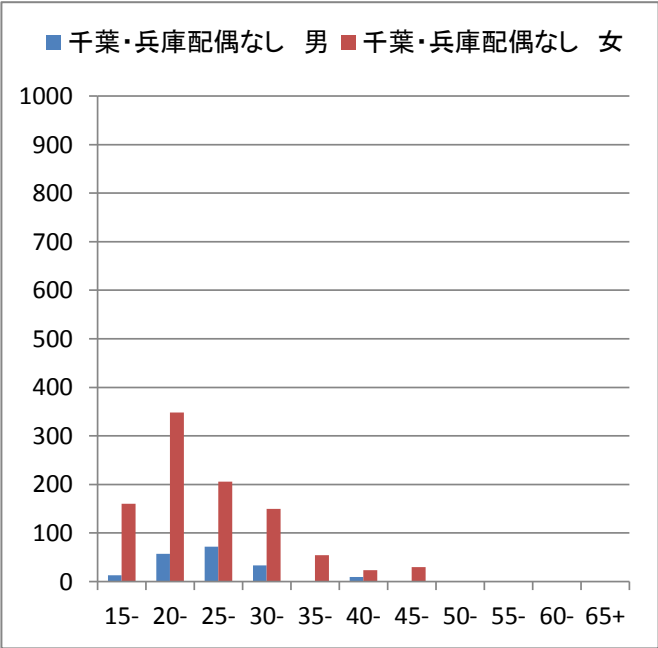
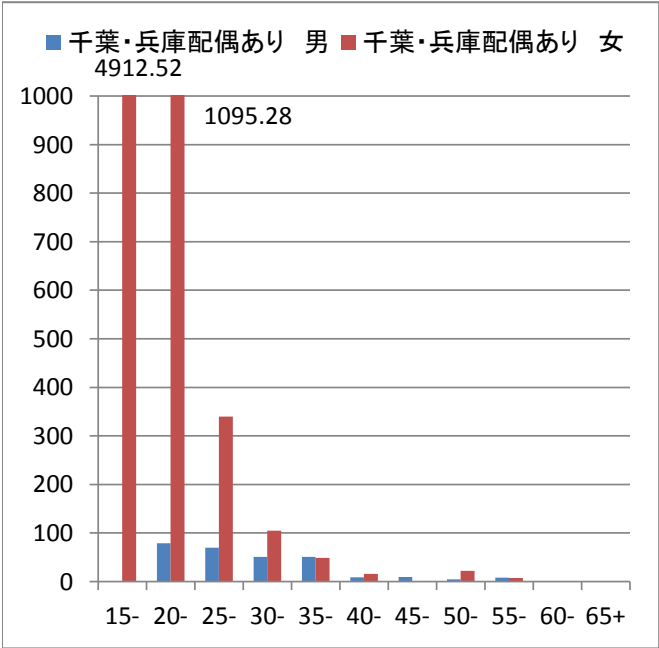
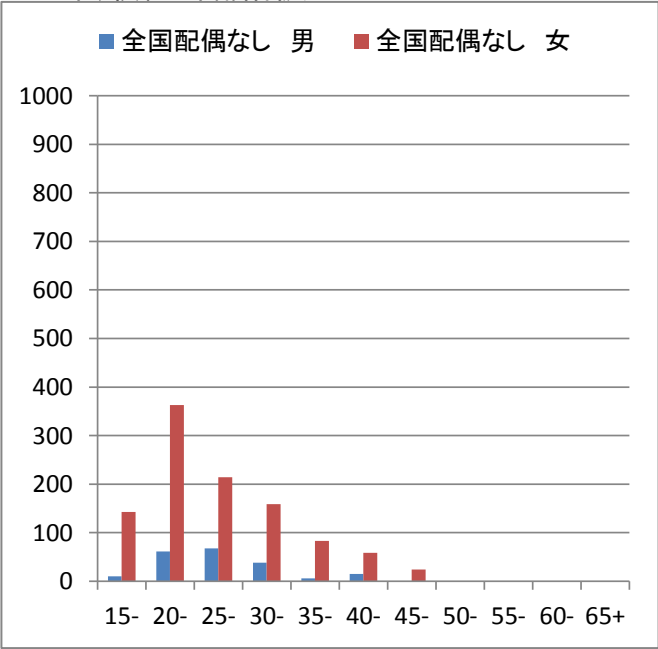
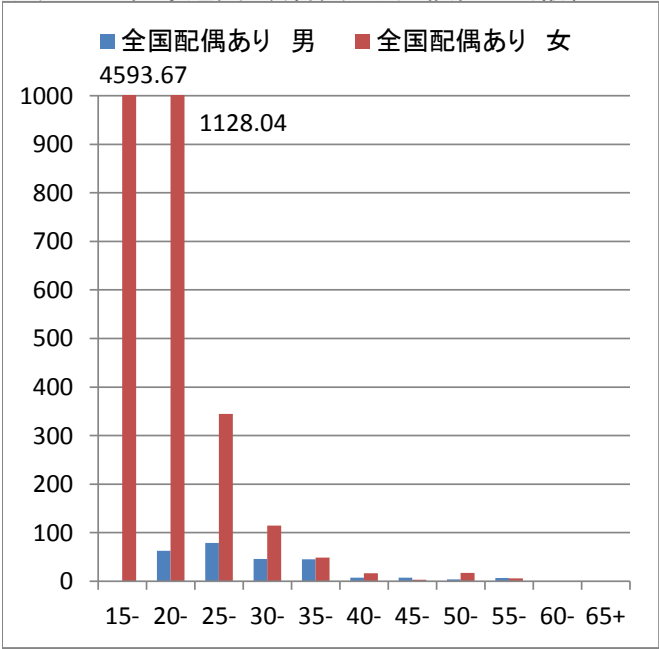
クラミジア_症候性



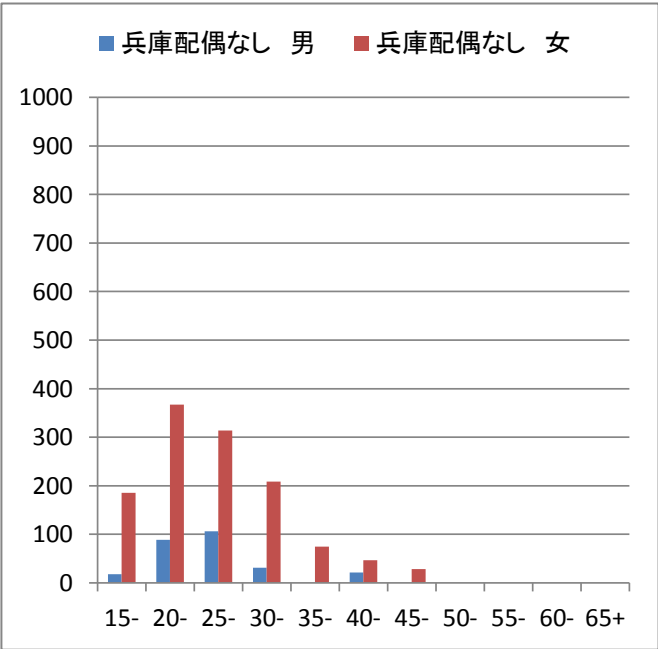
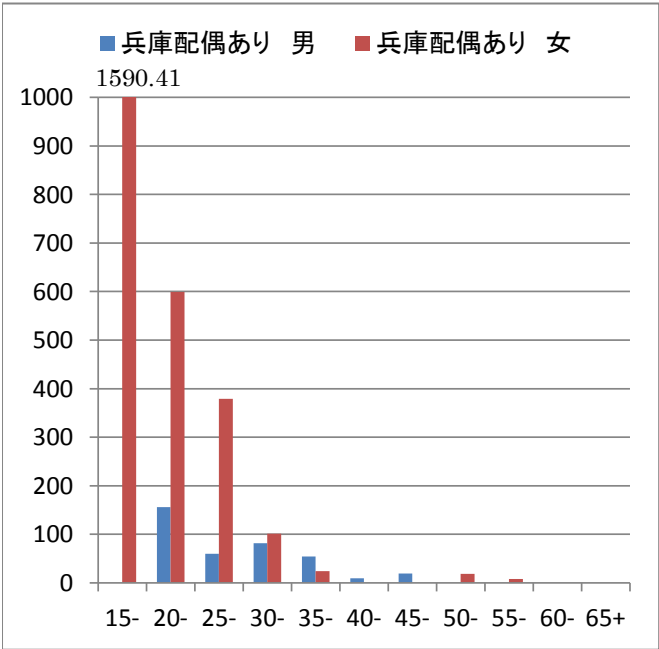
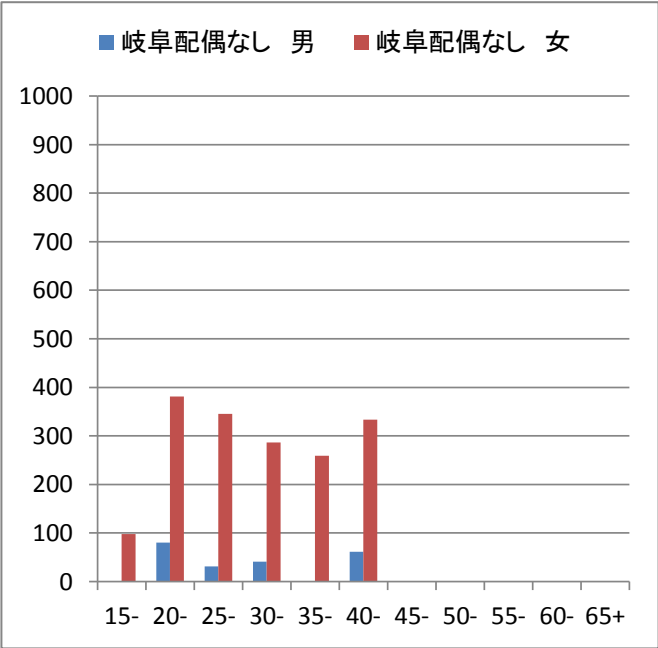
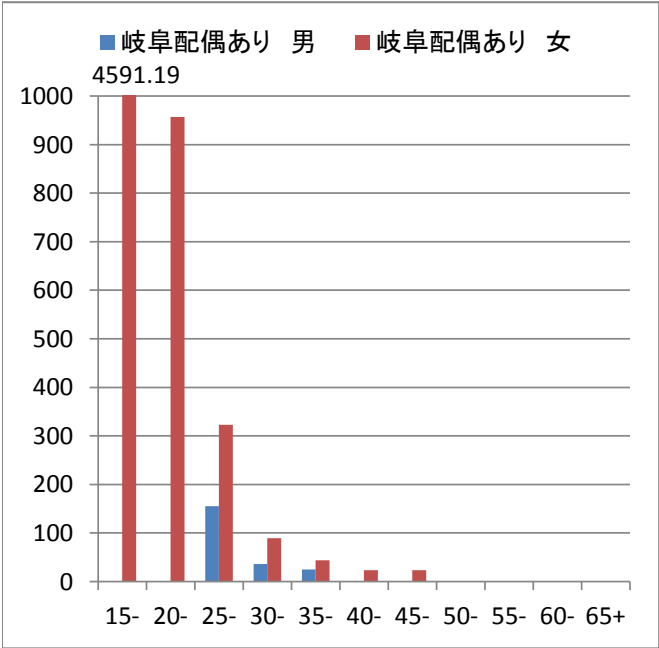
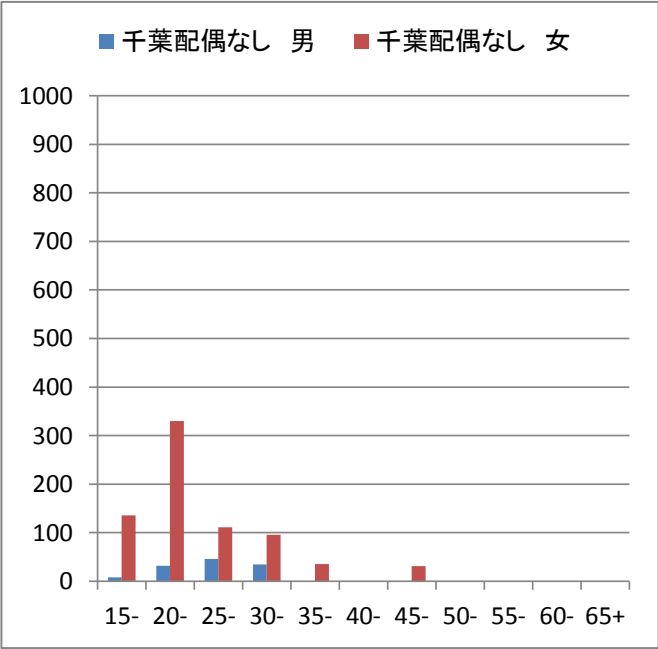
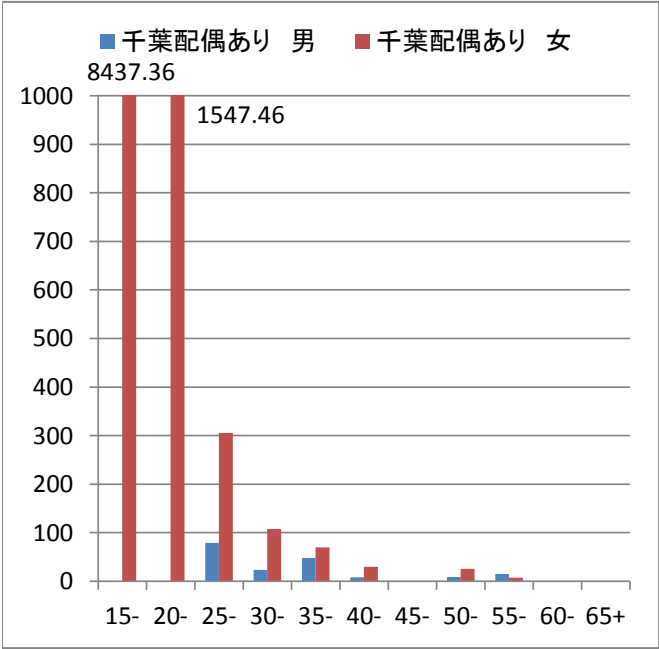
縦軸は人年

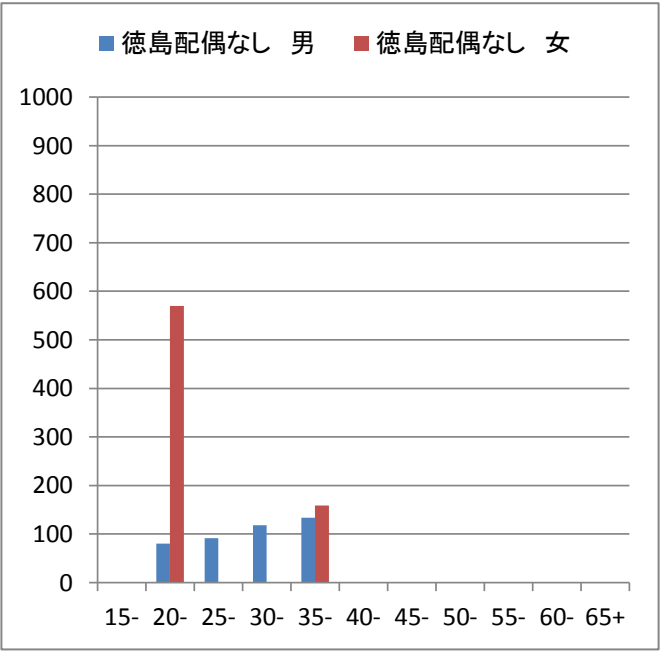
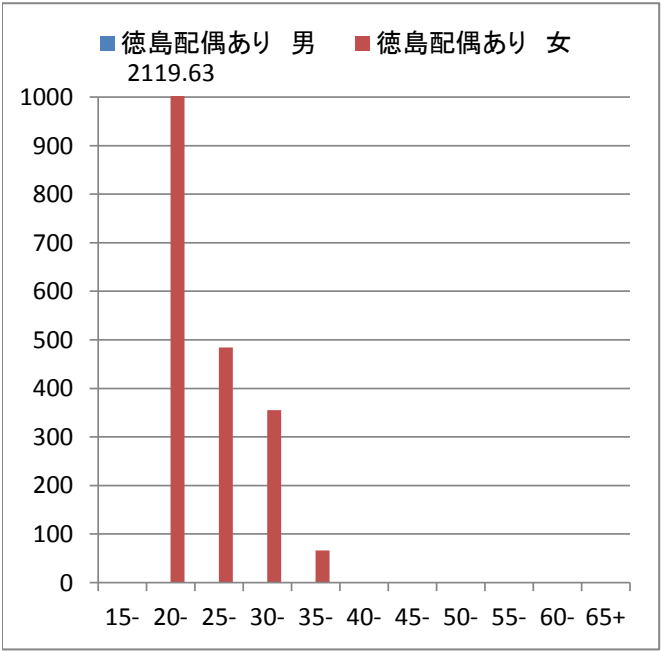
クラミジア_無症候性

クラミジア性尿道炎・頸管炎 無症候性 （縦軸:人口10万人年、横軸:年齢階級）



クラミジア_無症候性

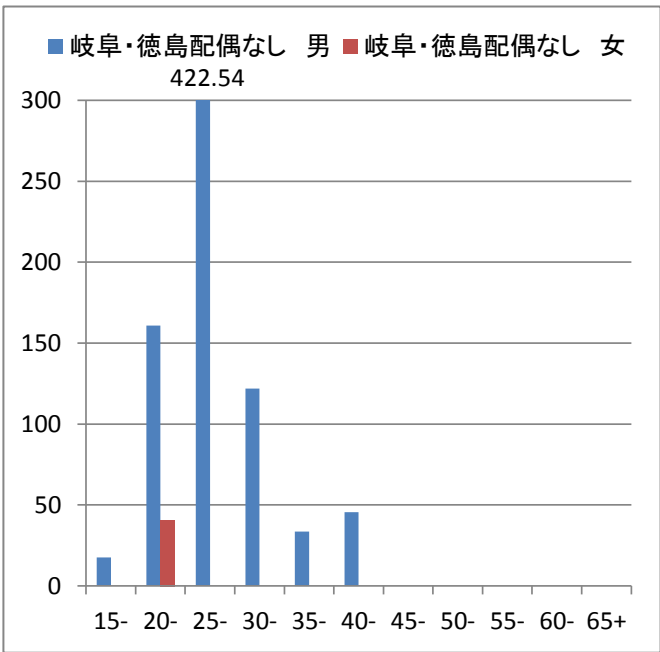
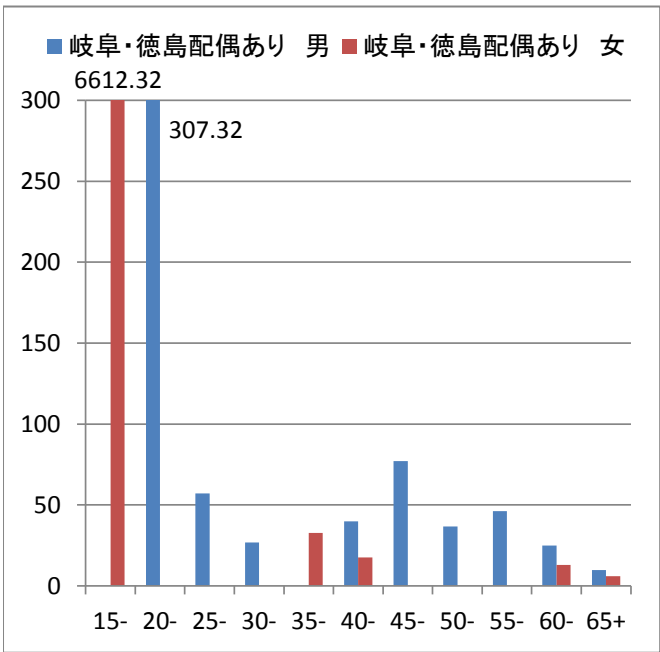
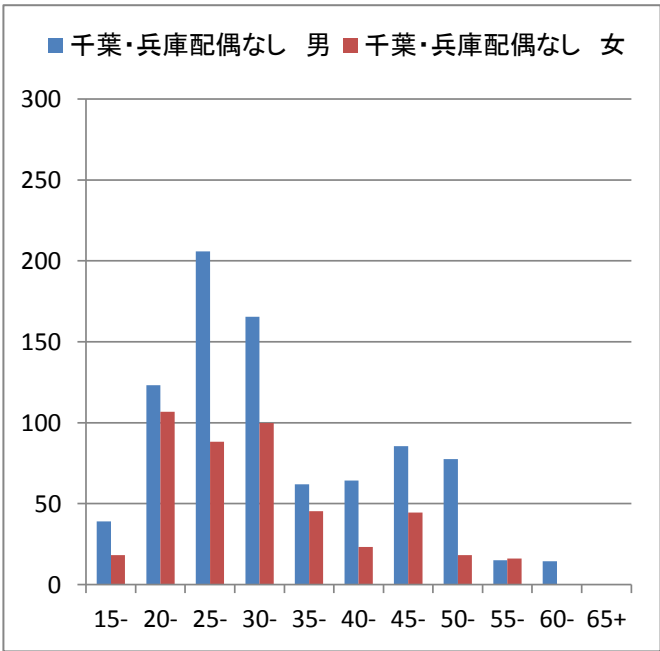
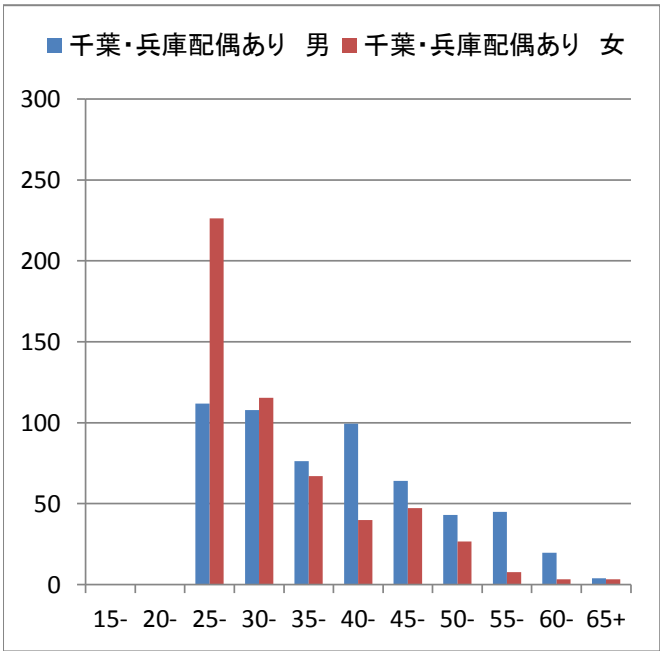
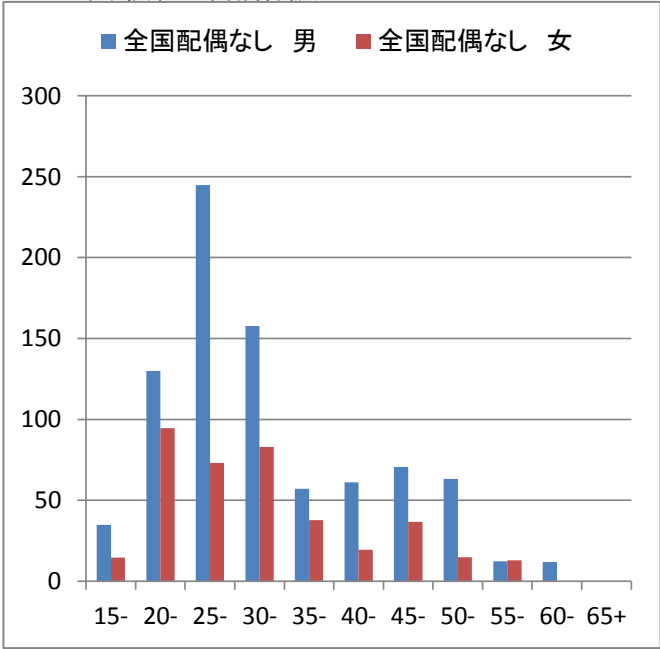
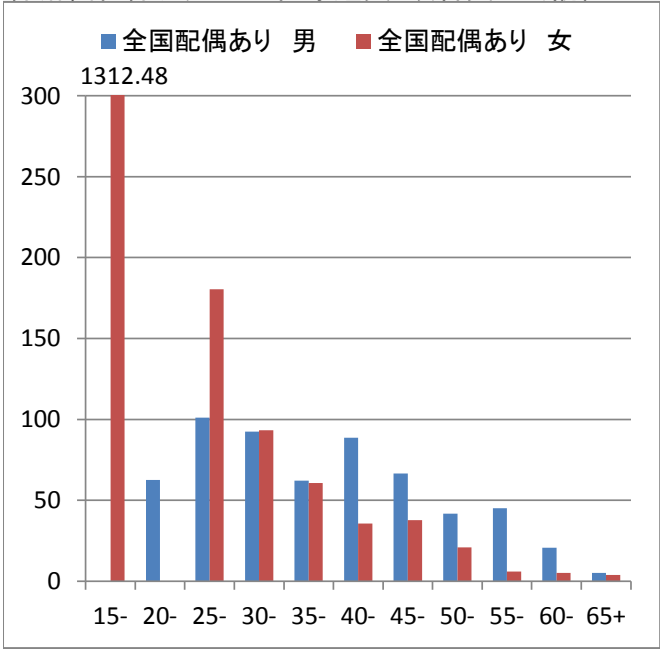




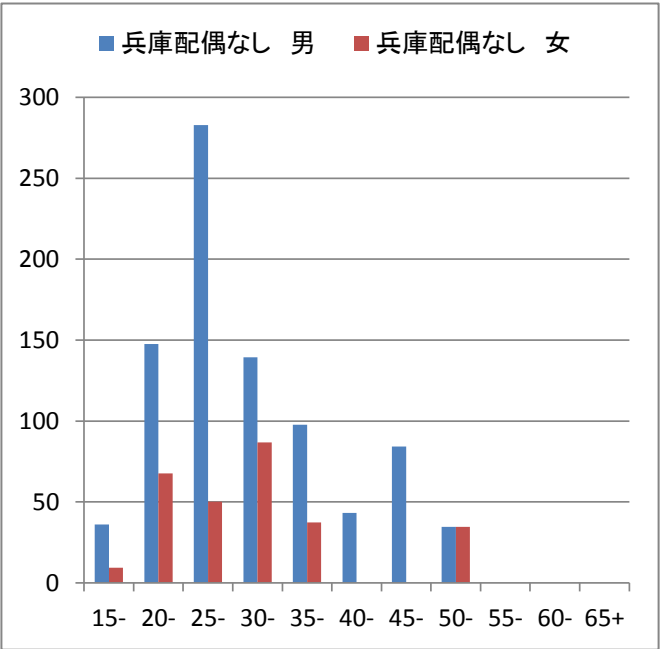
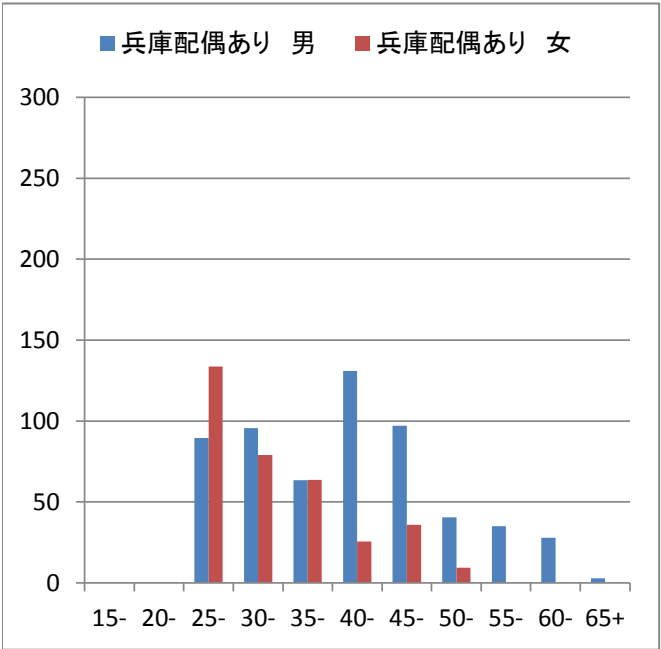
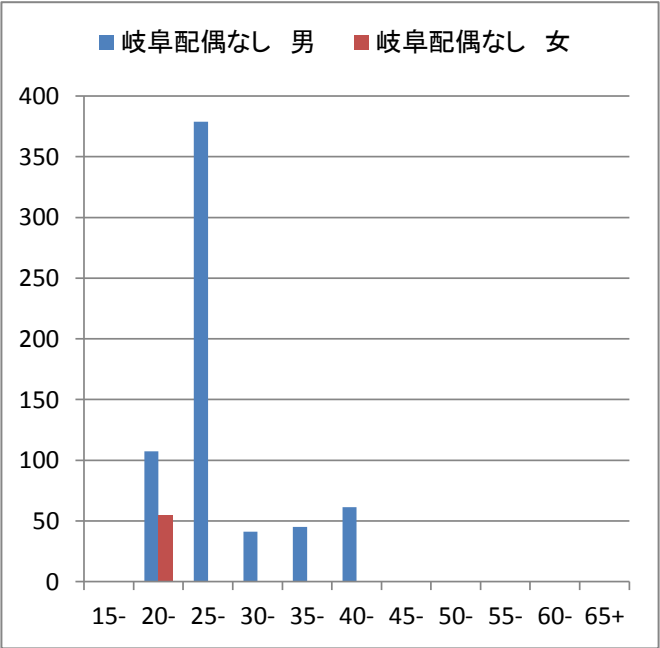
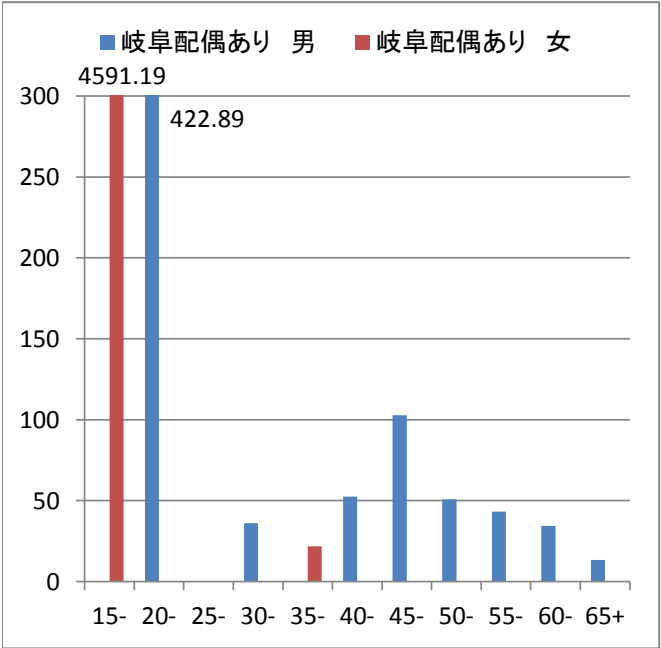
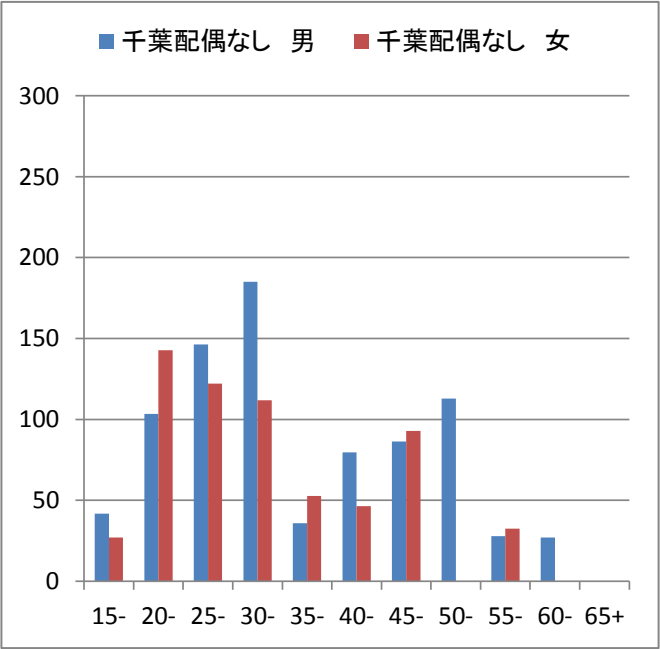
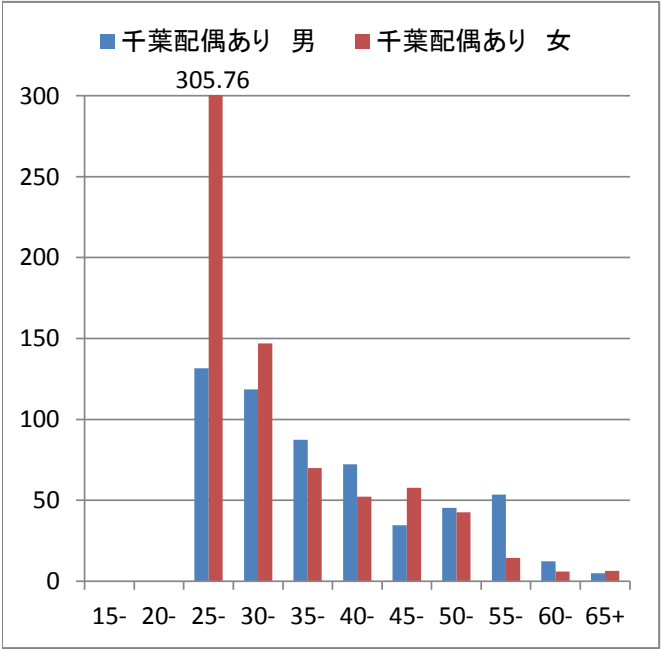
縦軸は人年

非淋菌性非クラミジア性尿道炎・頸管炎

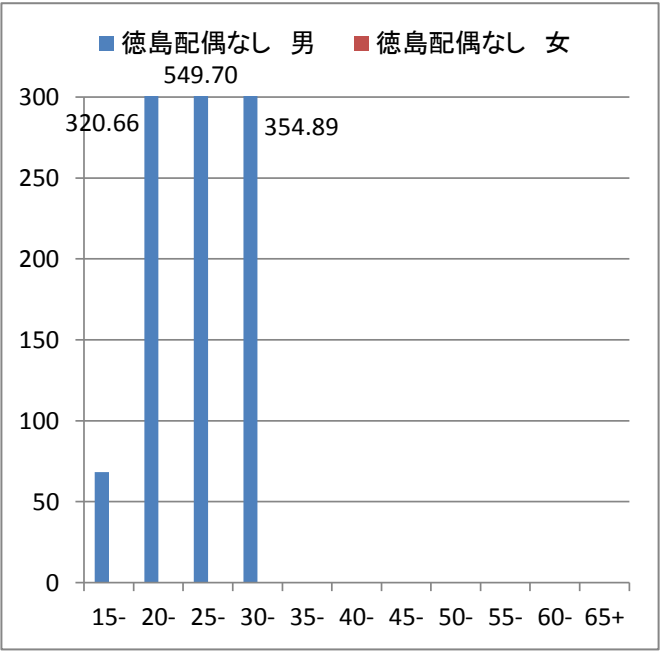
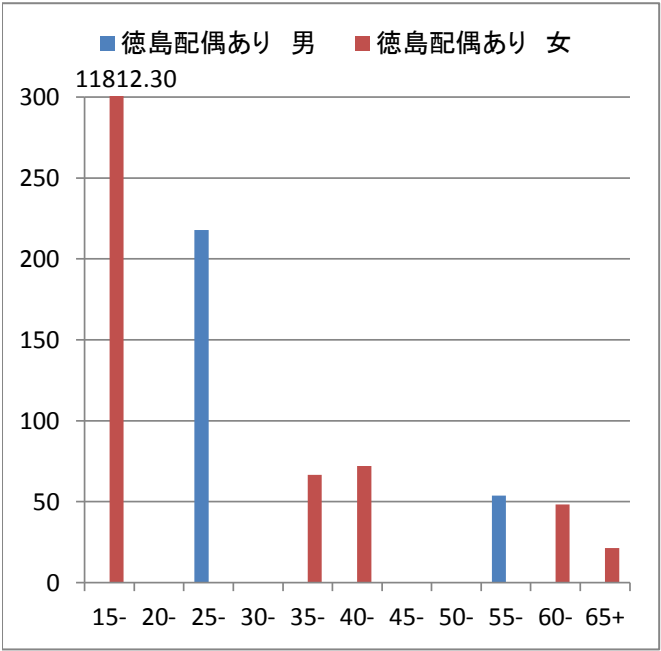
非淋菌性非クラミジア性尿道炎・頸管炎 （縦軸:人口10万人年、横軸:年齢階級）



非淋菌性非クラミジア性尿道炎・頸管炎



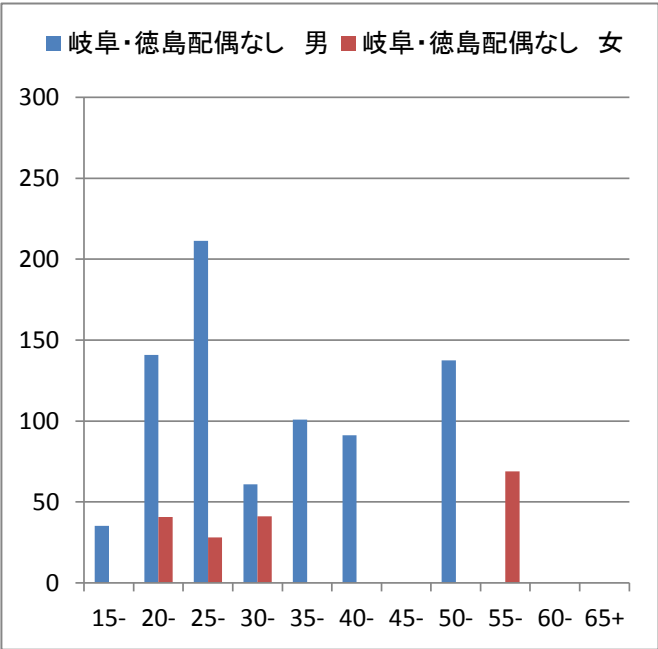
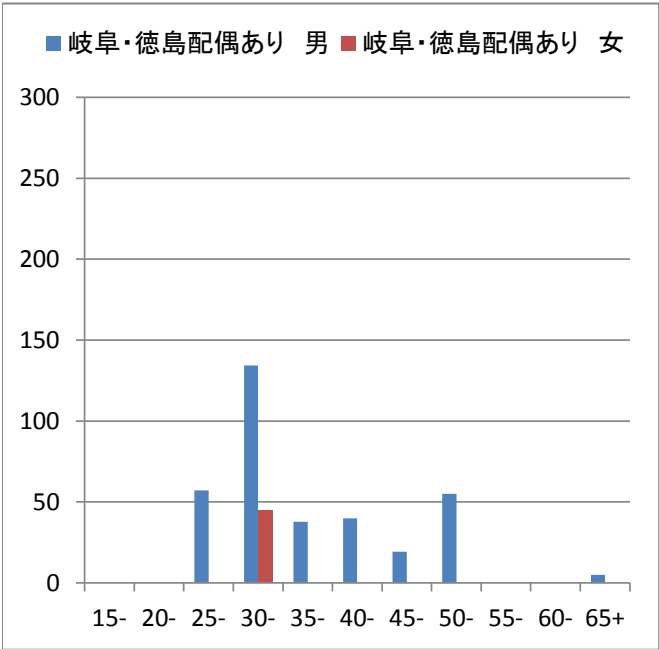
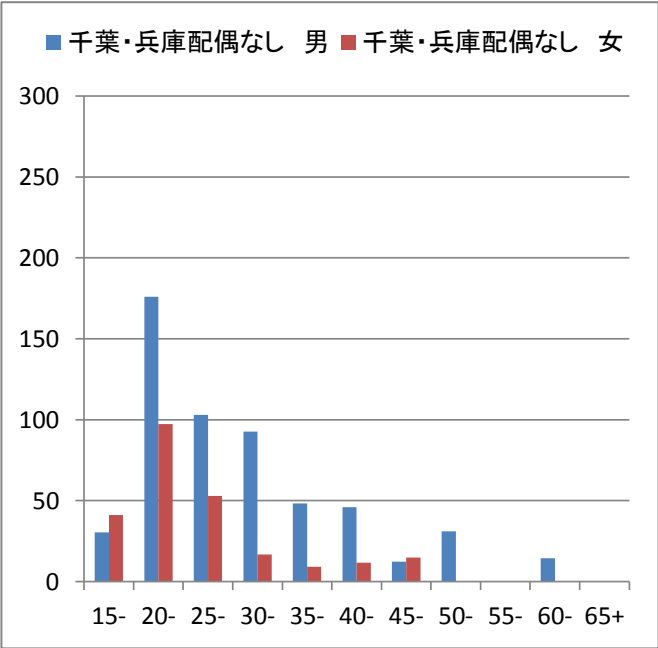
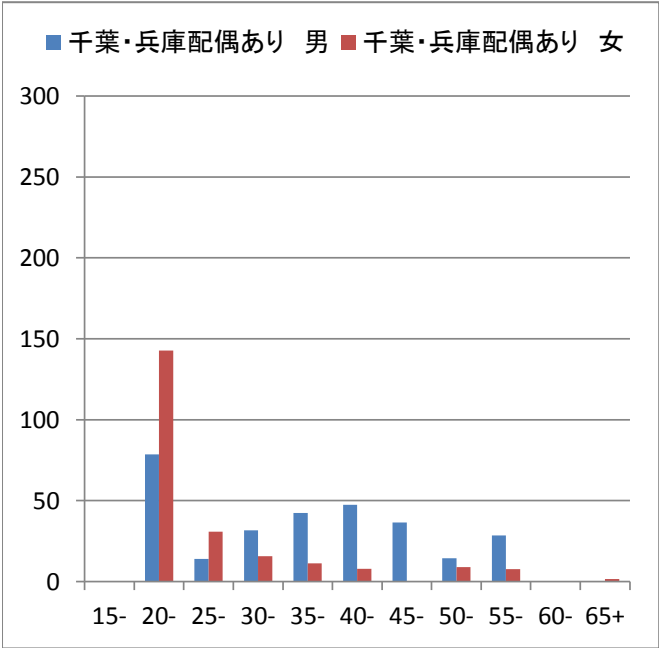
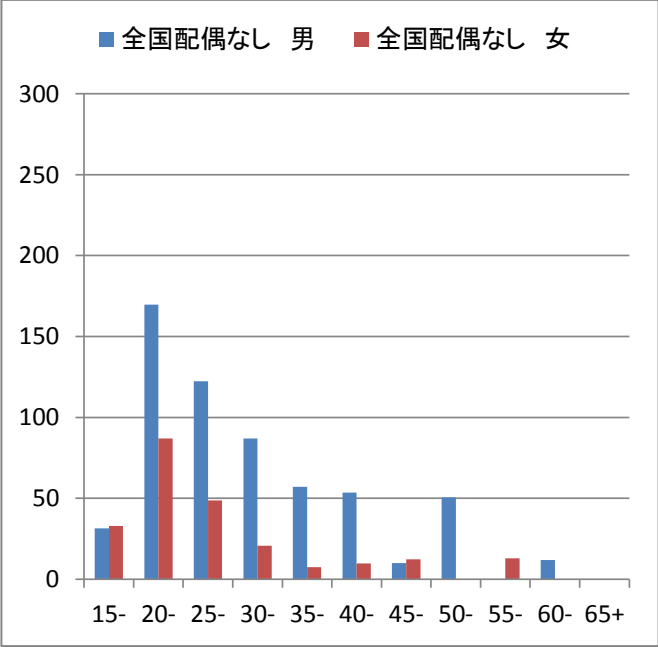
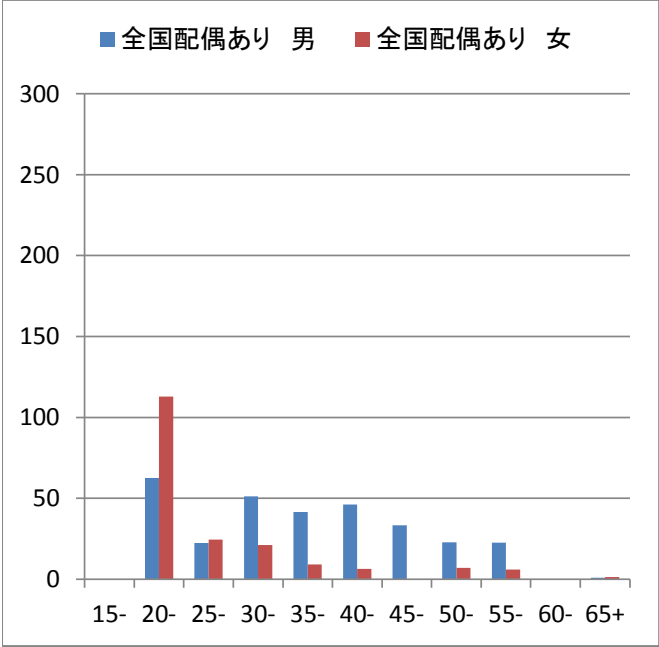
非淋菌性非クラミジア性尿道炎・頸管炎



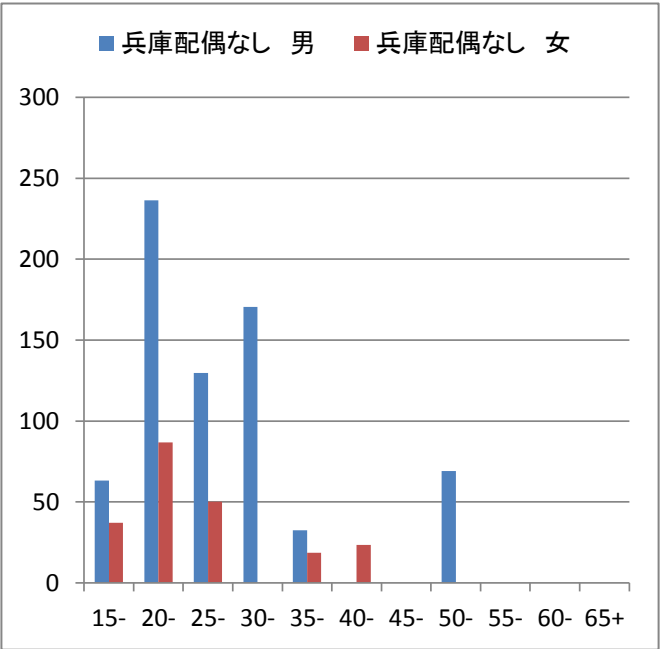
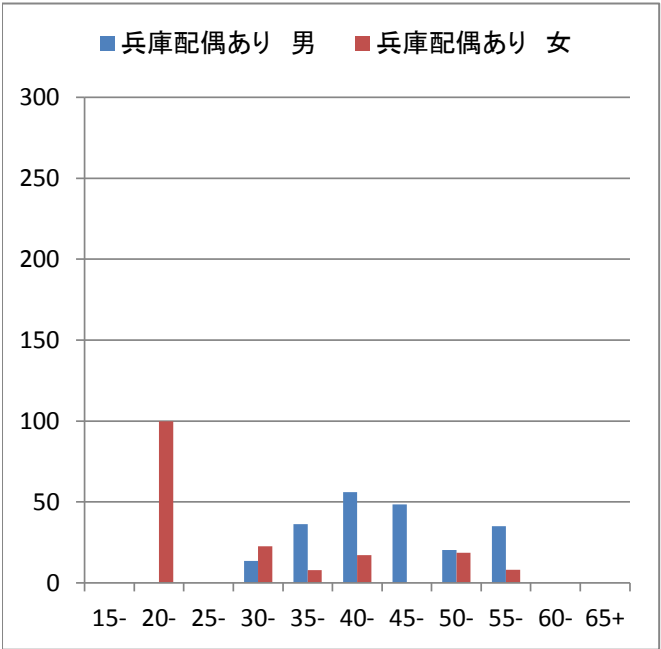
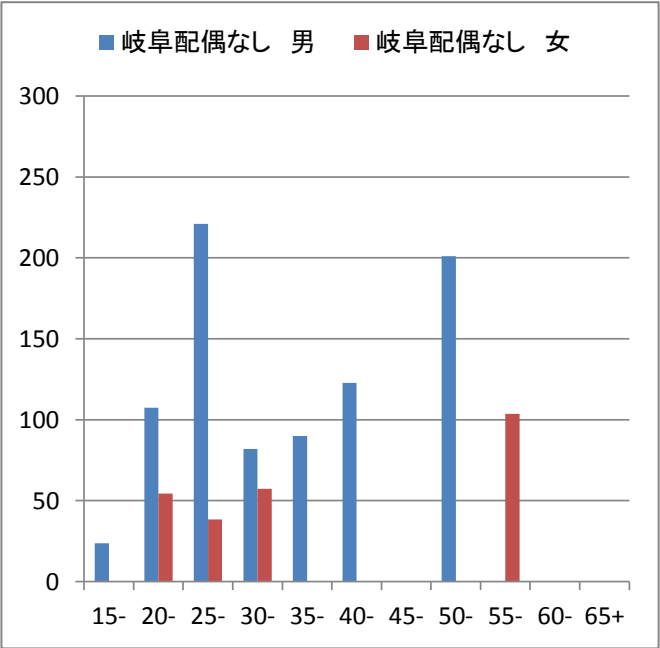
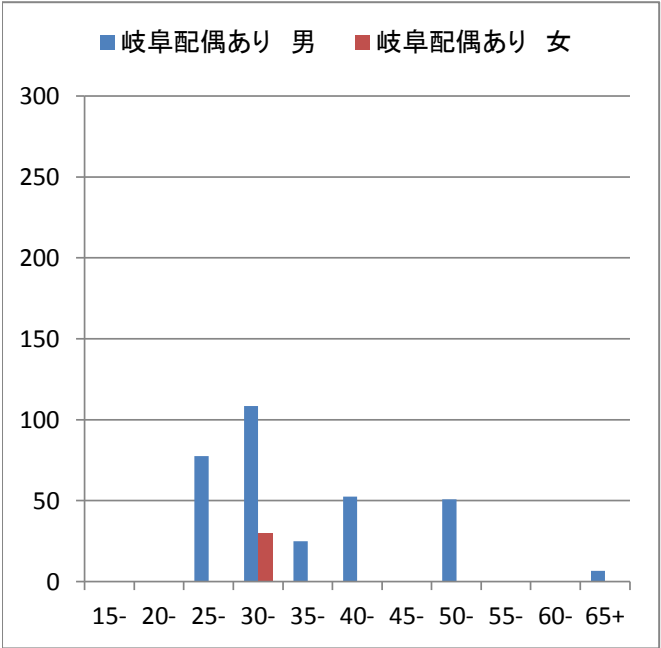
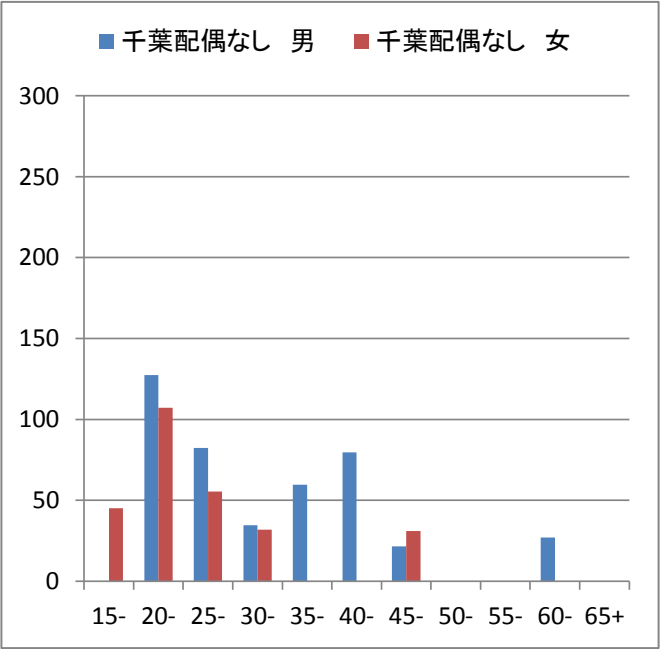
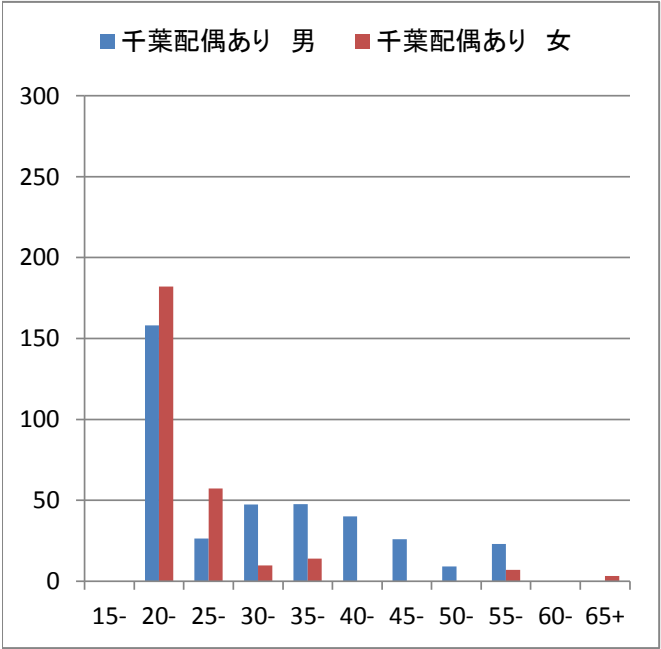
縦軸は人年

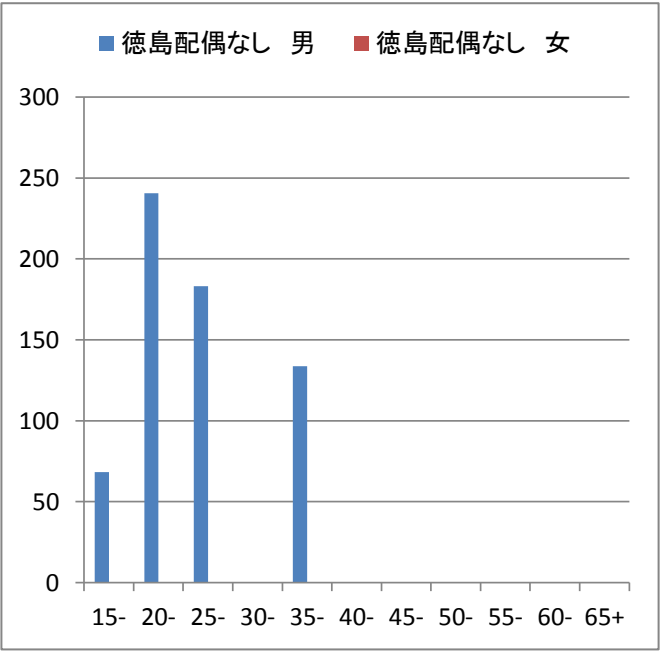
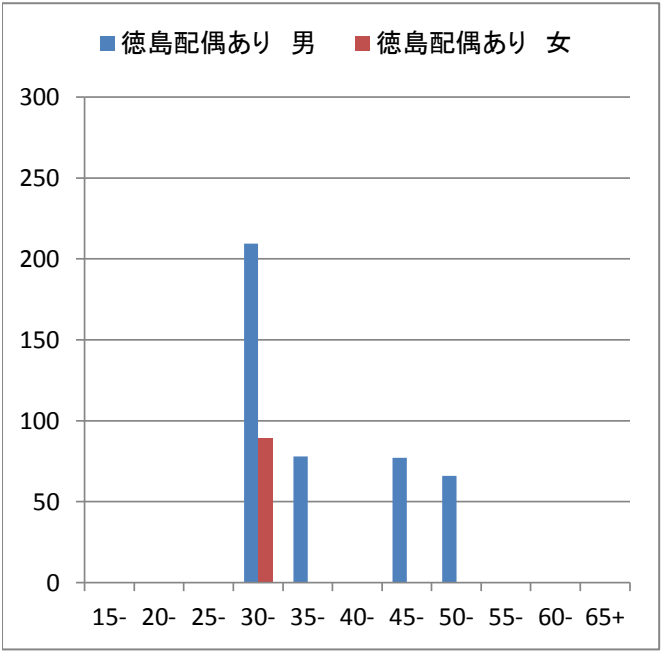
淋菌性尿道炎・頸管炎

淋菌性尿道炎・頸管炎（縦軸：人口10万人年、横軸：年齢階級）



淋菌性尿道炎・頸管炎

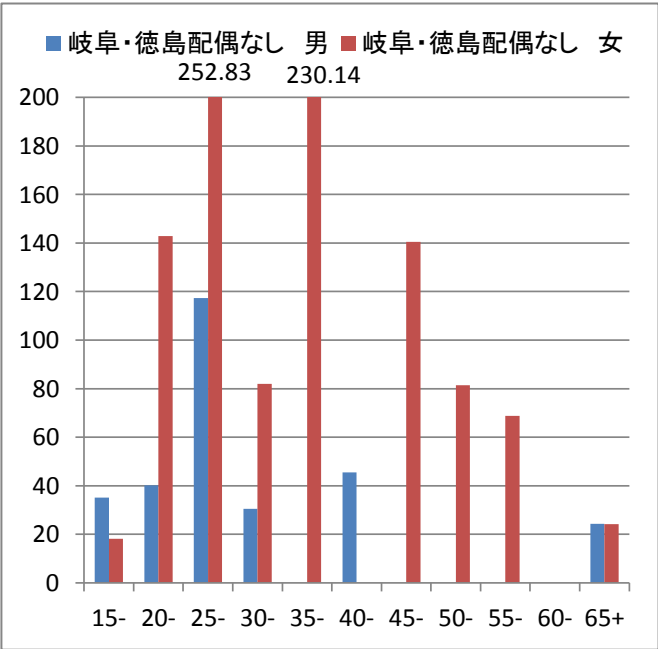
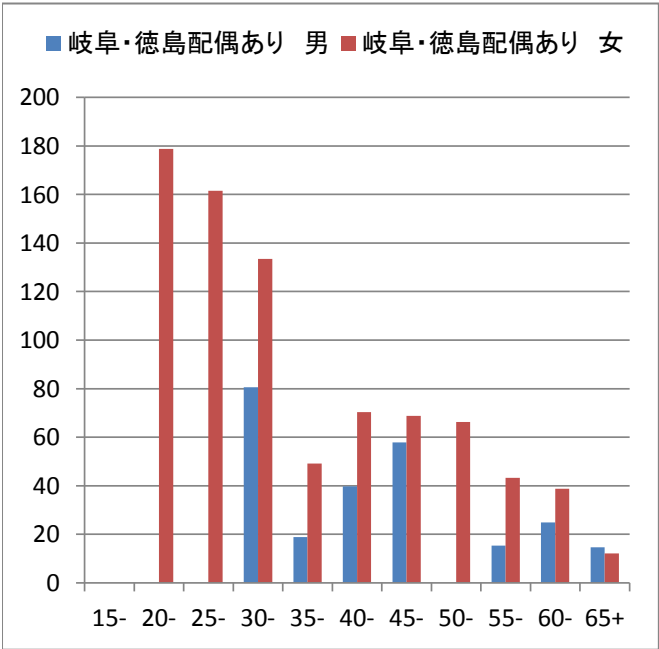
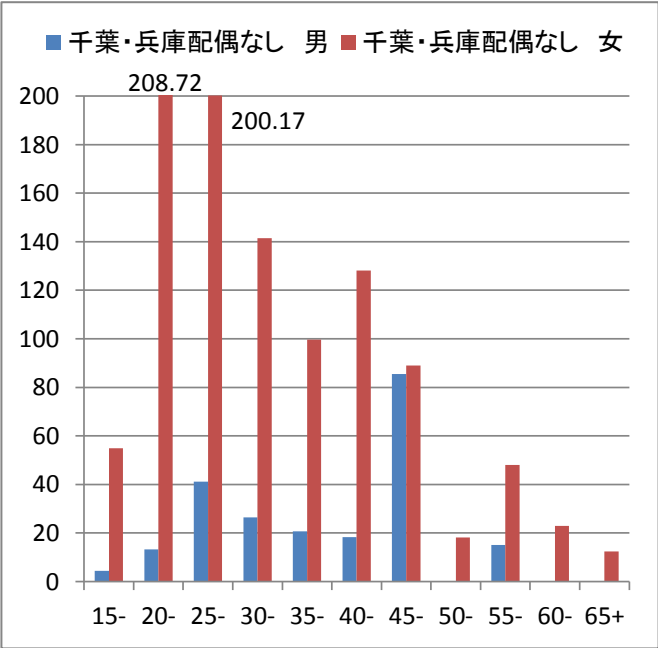
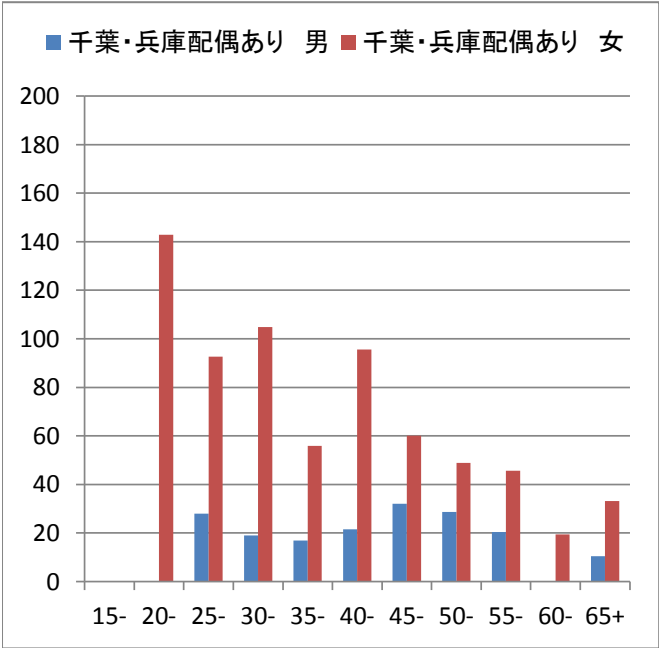
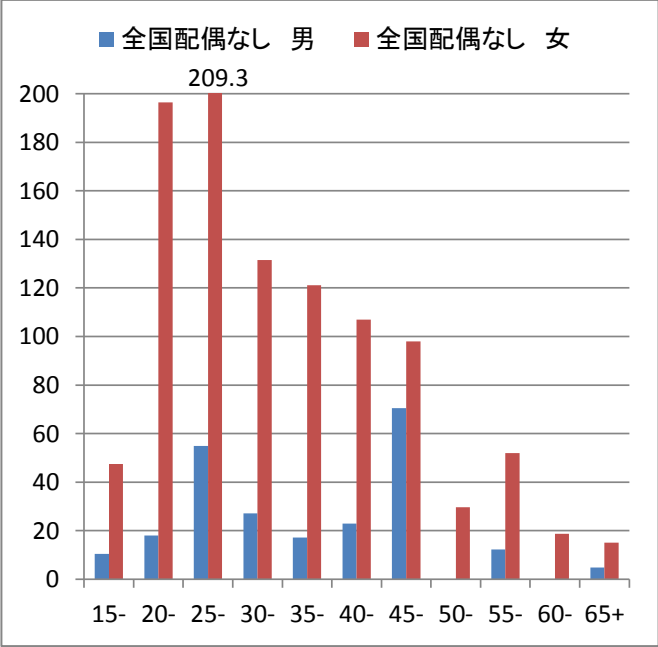
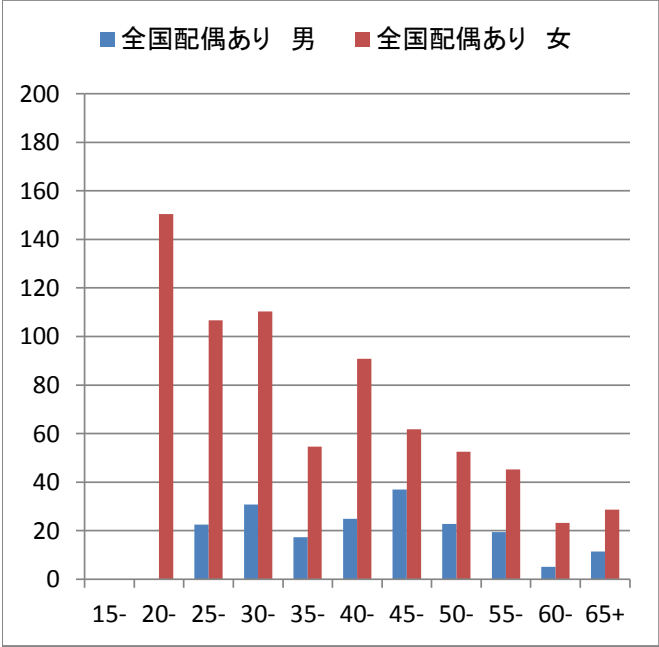


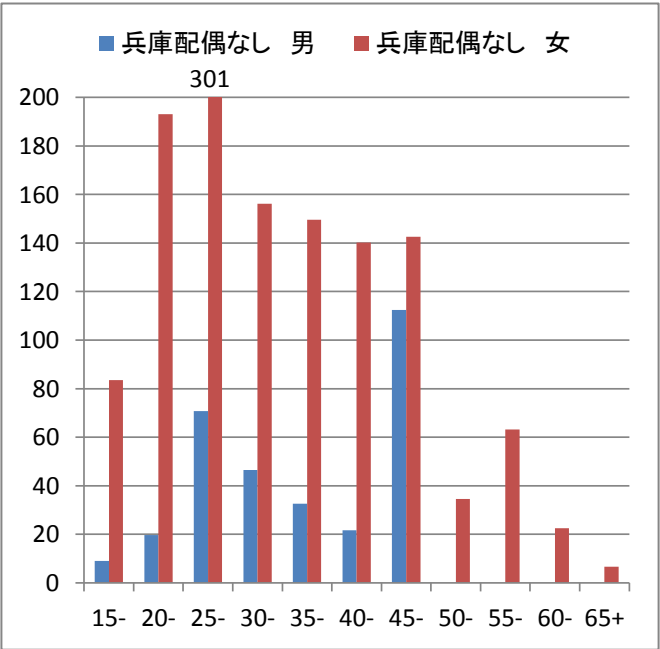
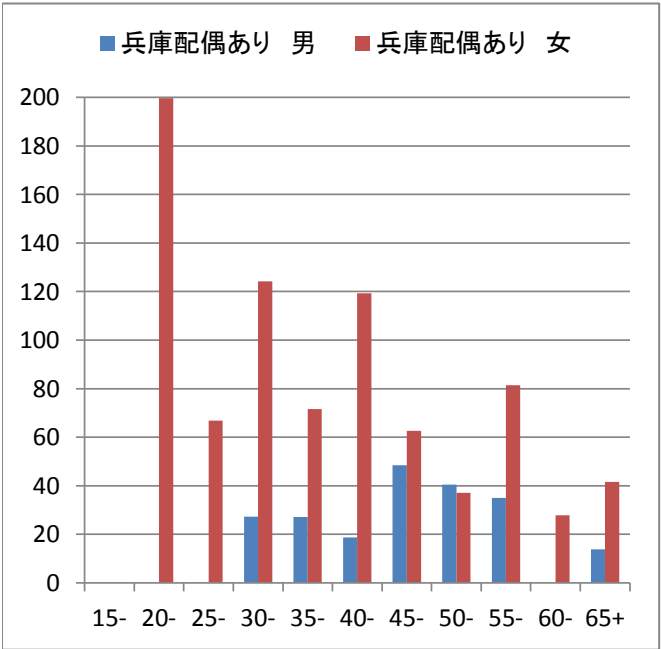
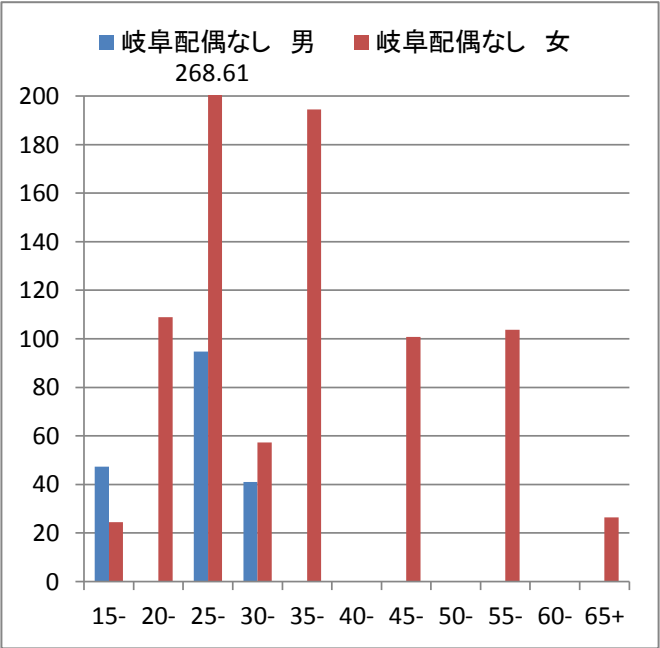
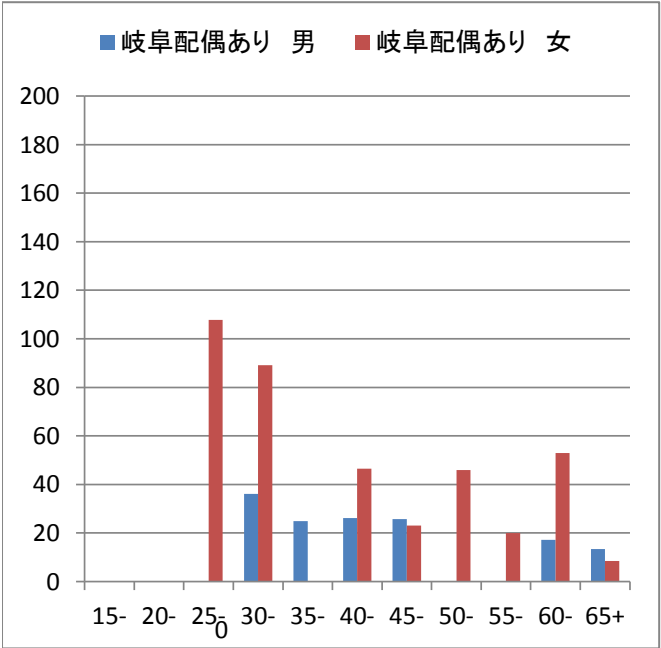
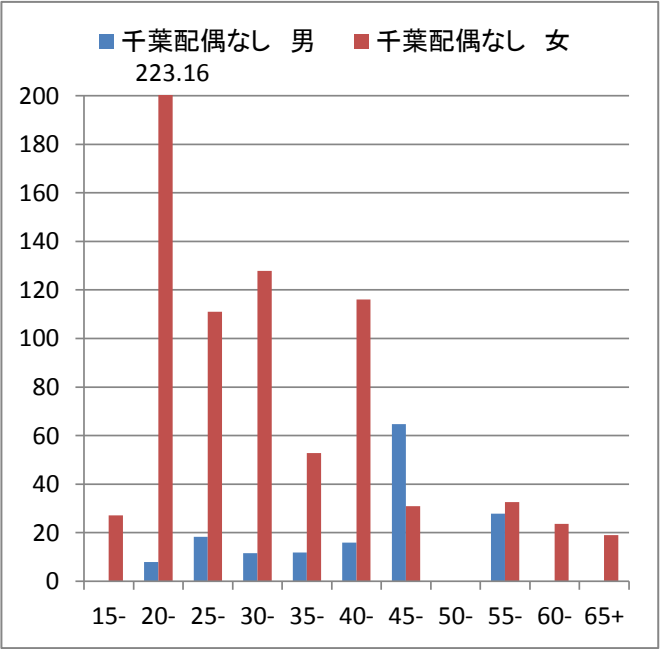
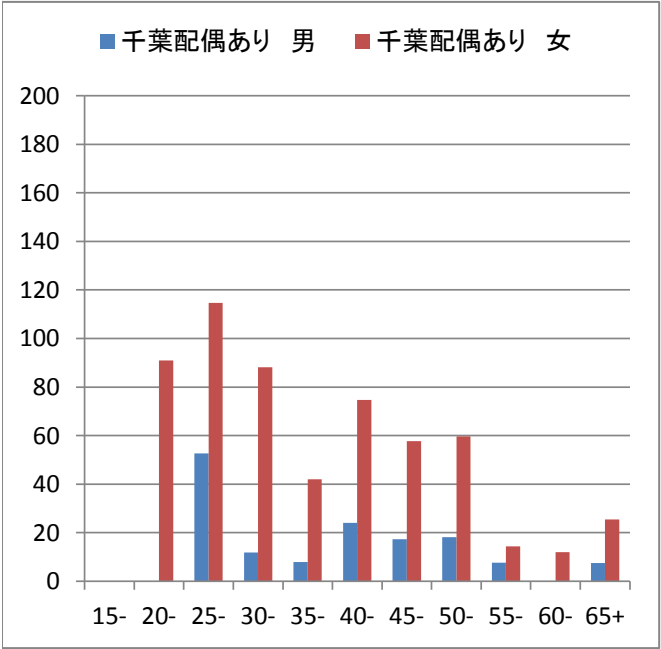


縦軸は人年

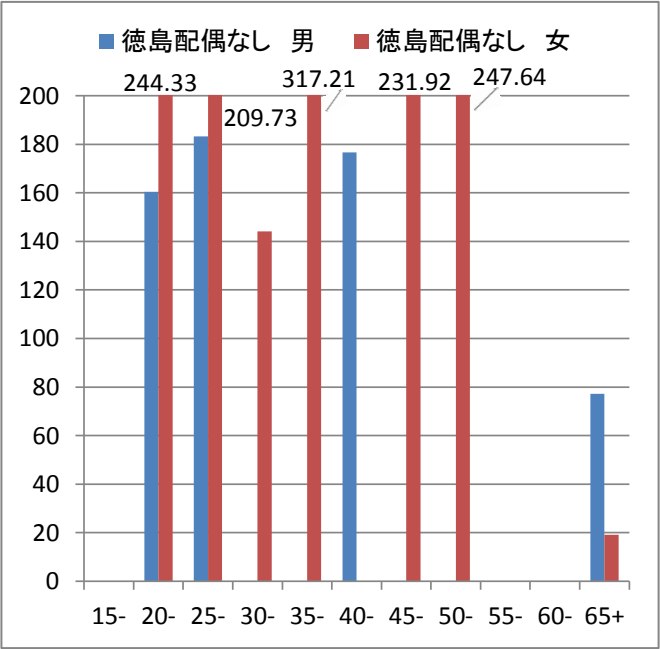
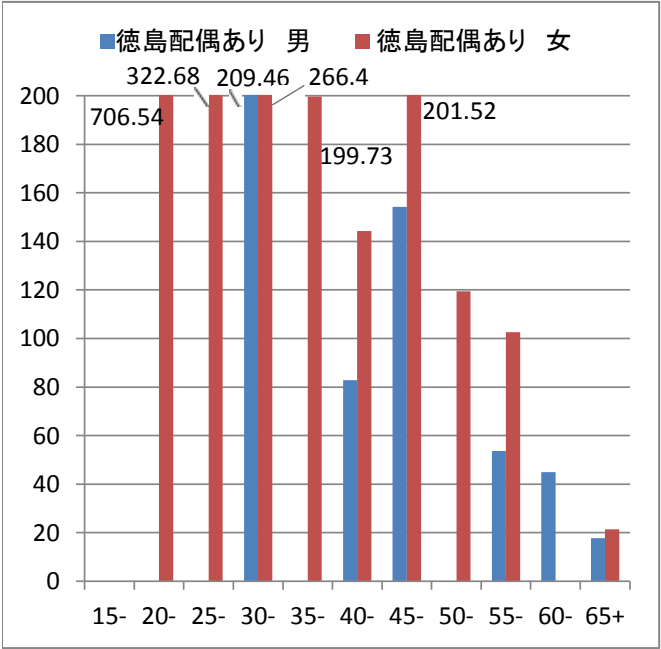
性器ヘルペス

性器ヘルペス （縦軸：人口10万人年、横軸：年齢階級）





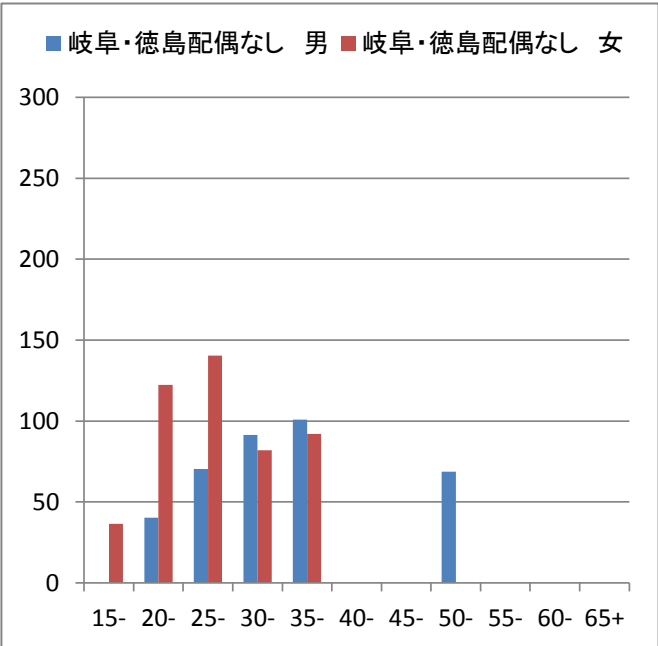
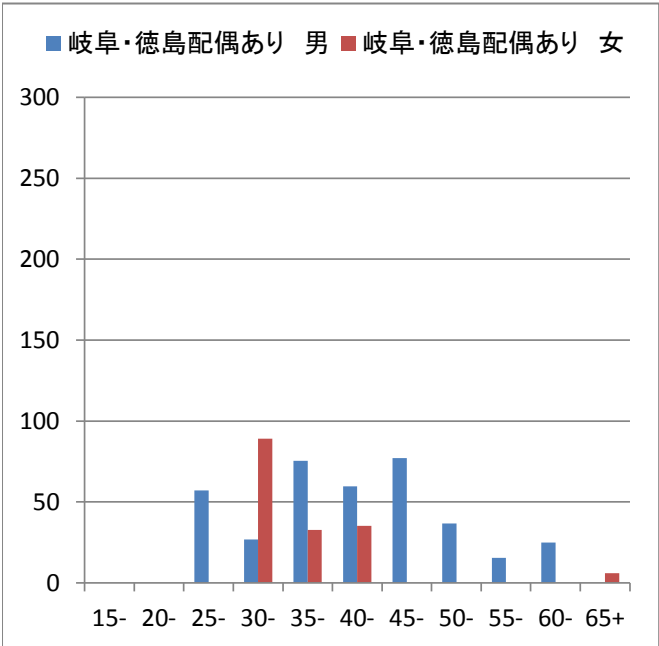
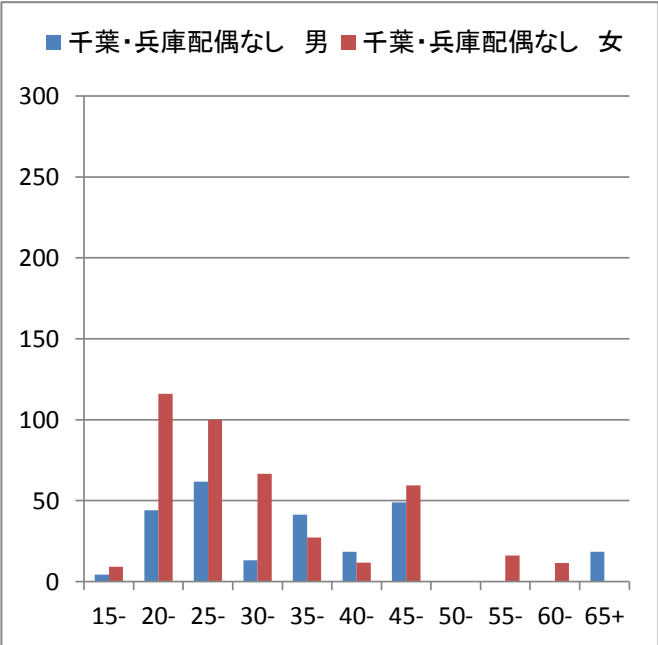
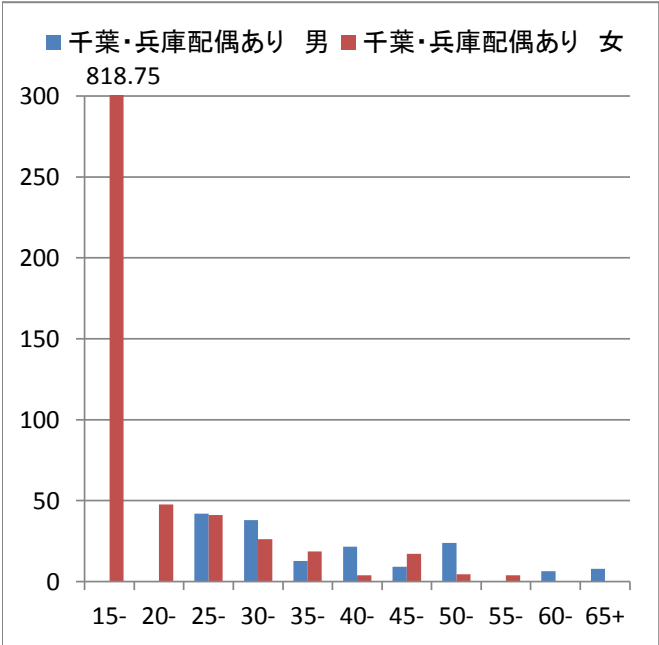
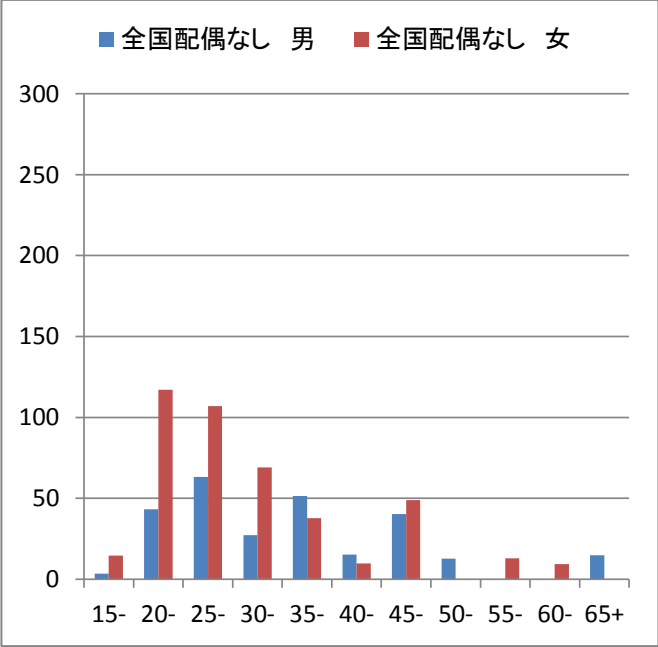
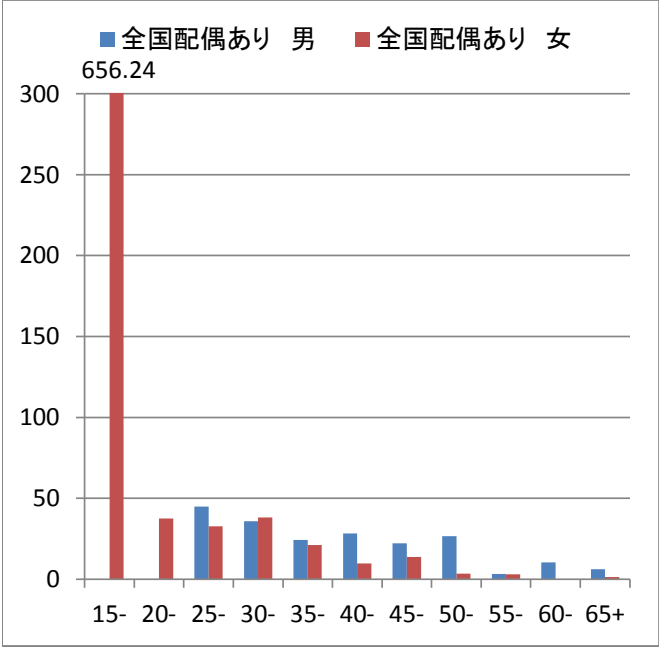
性器ヘルペス

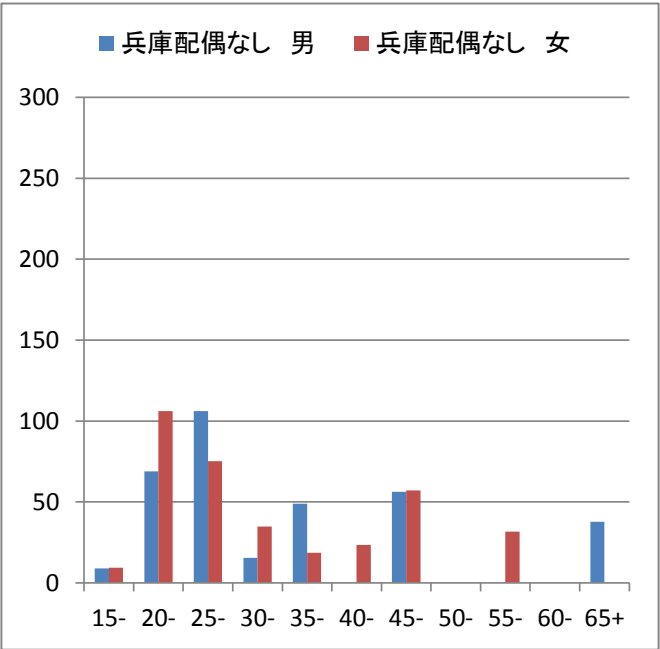
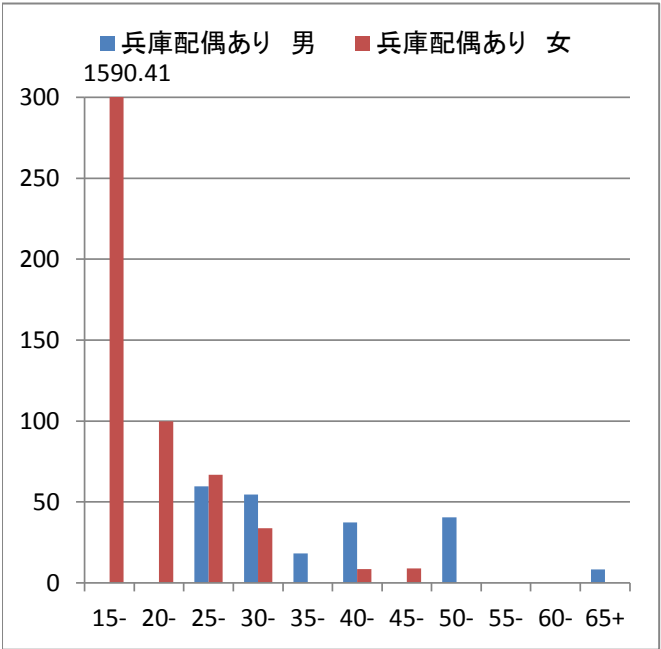
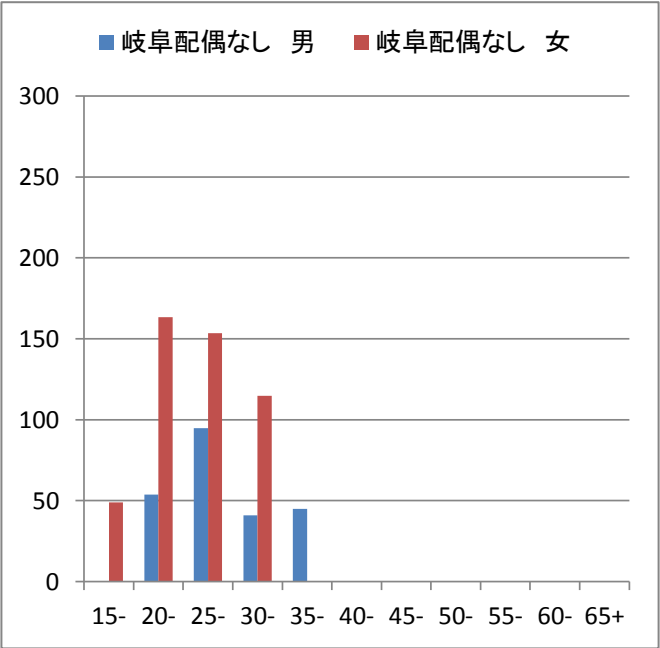
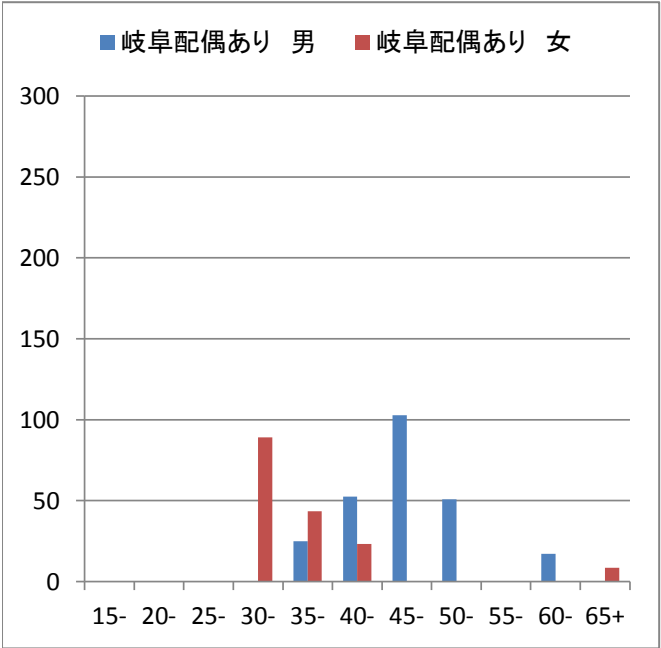
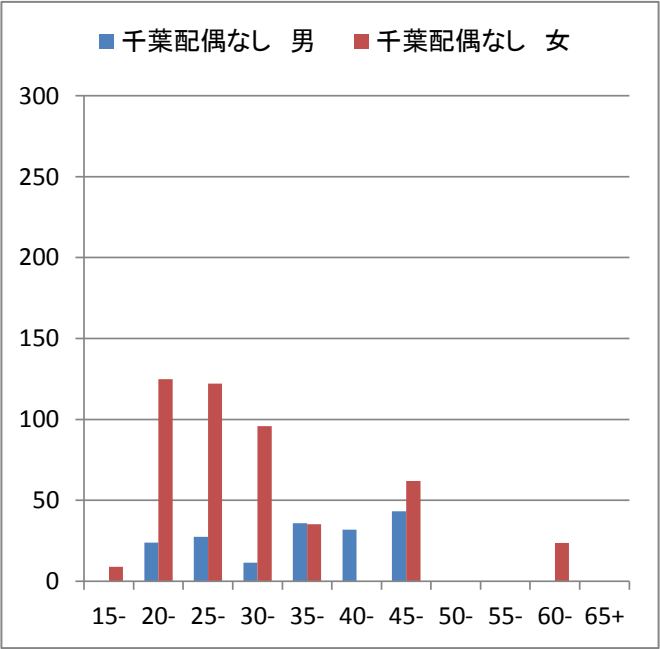
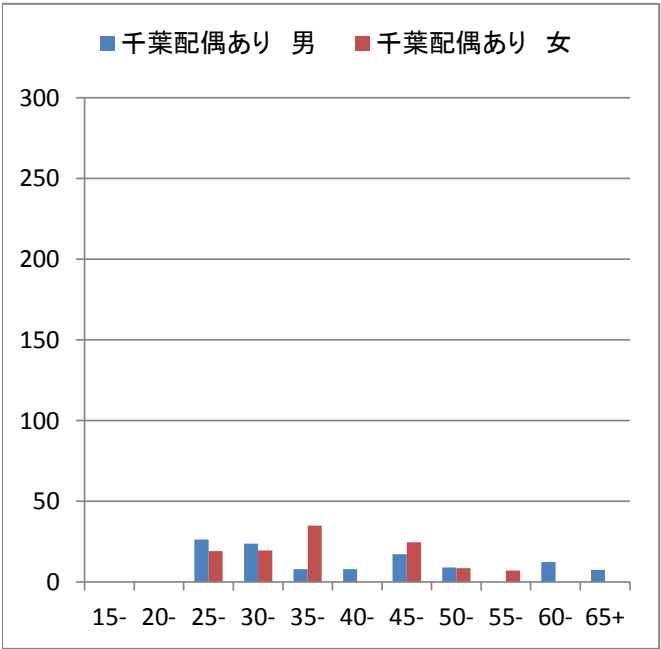


縦軸は人年

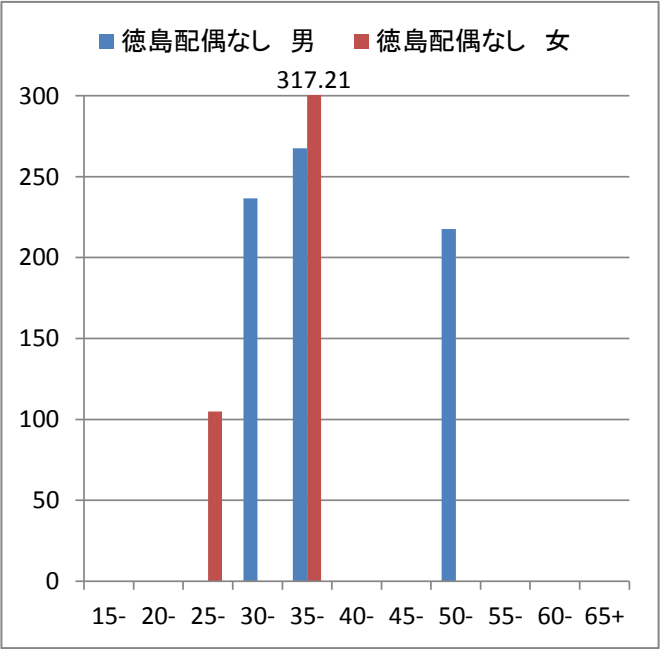
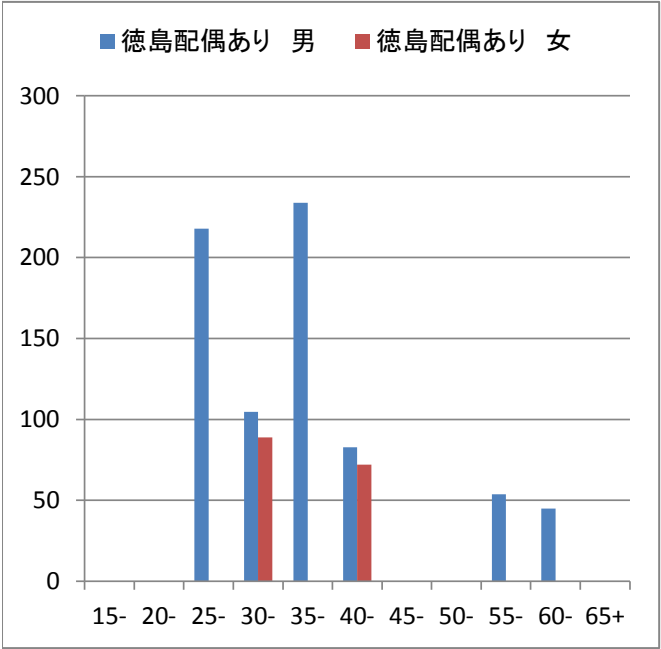
尖圭コンジローマ

尖圭コンジローマ（縦軸：人口10万人年、横軸：年齢階級）





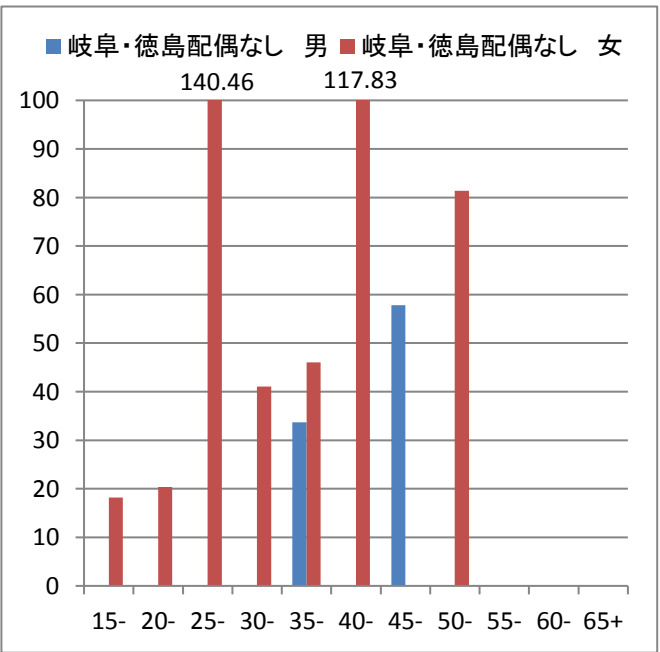
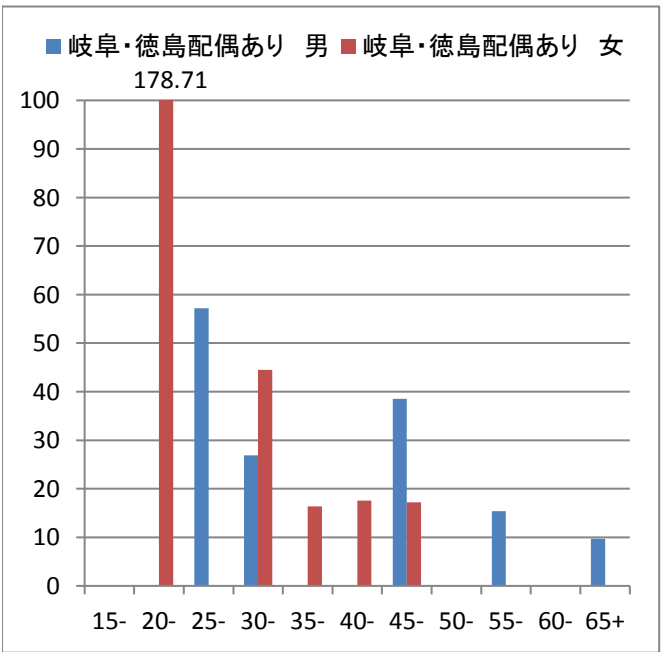
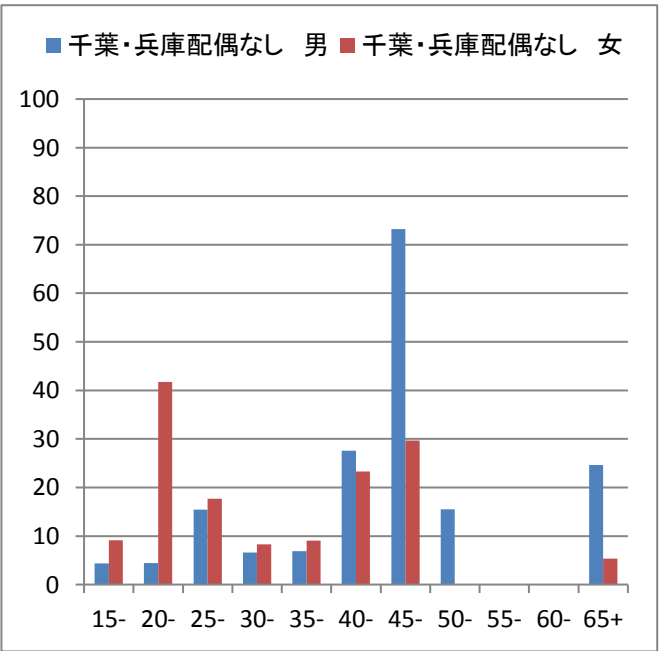
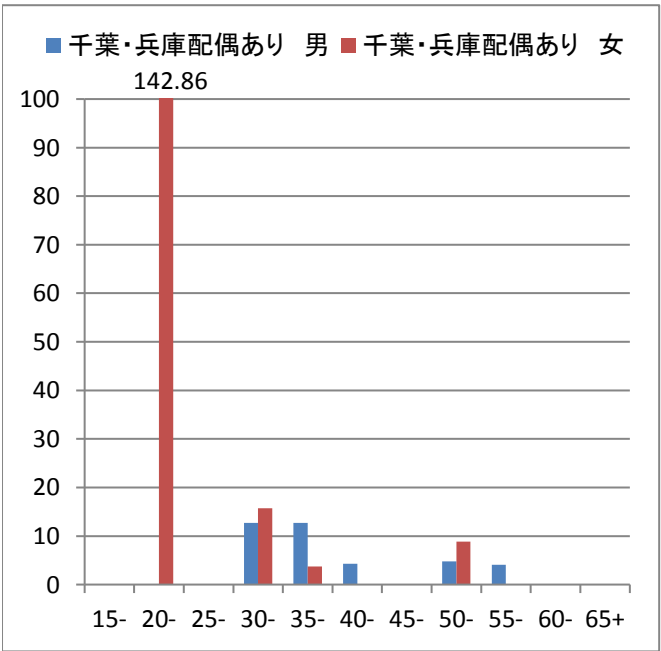
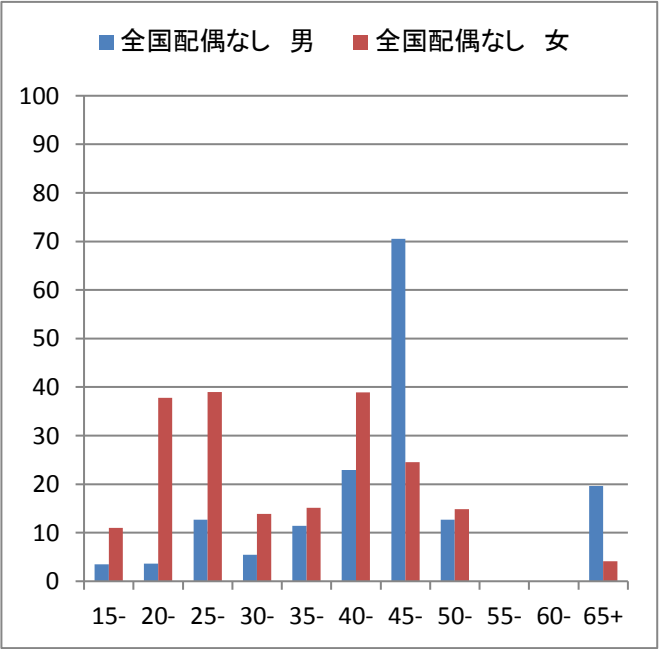
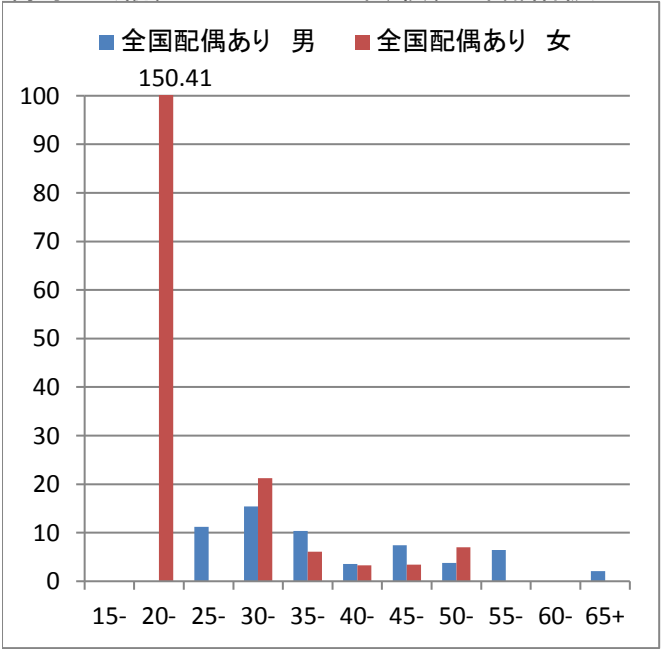
尖圭コンジローマ

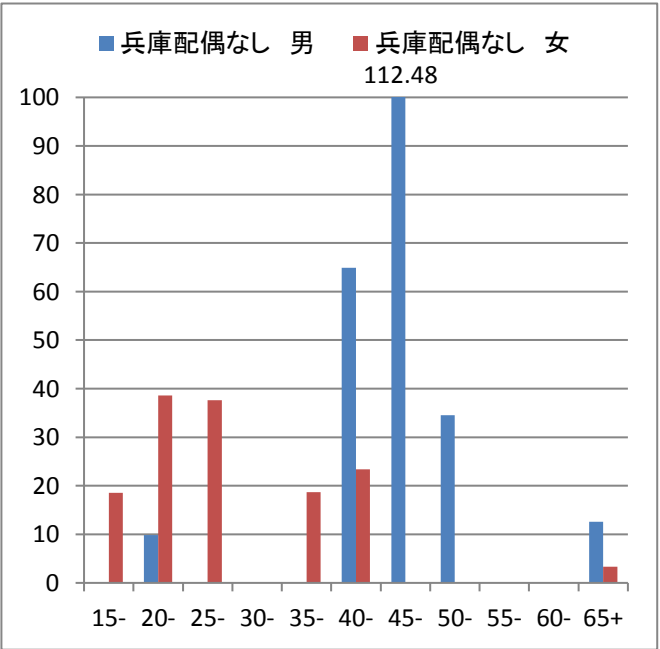
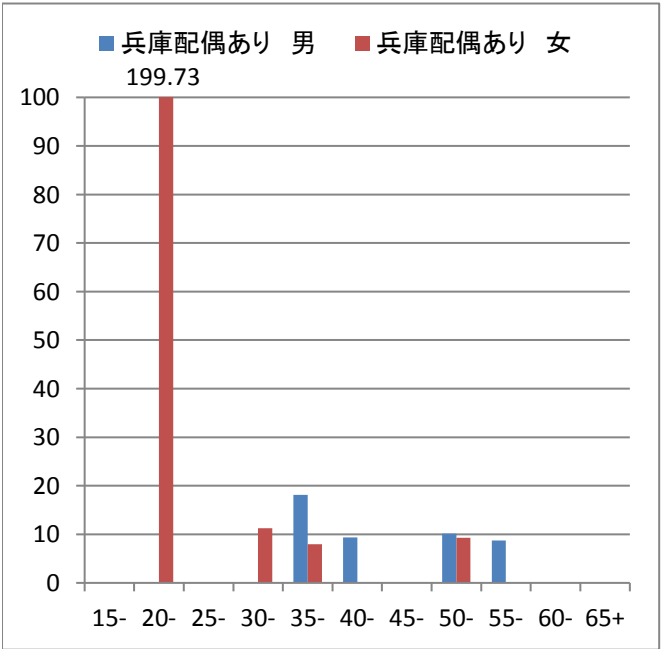
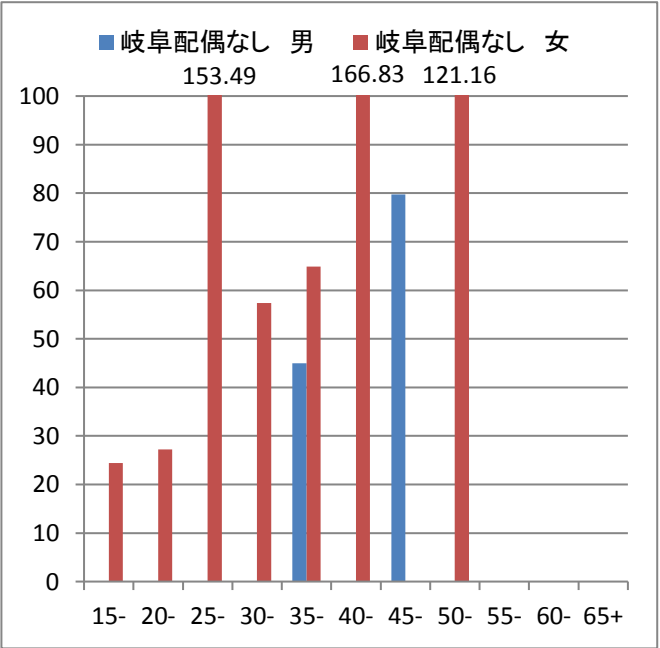
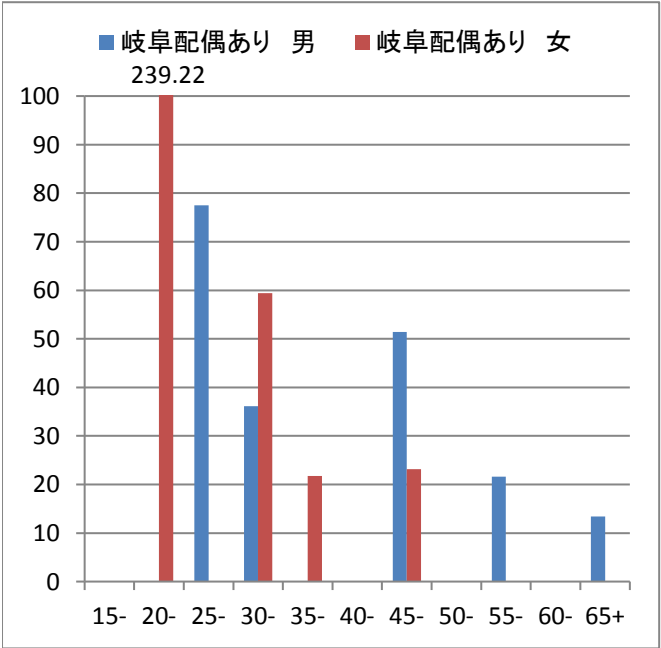
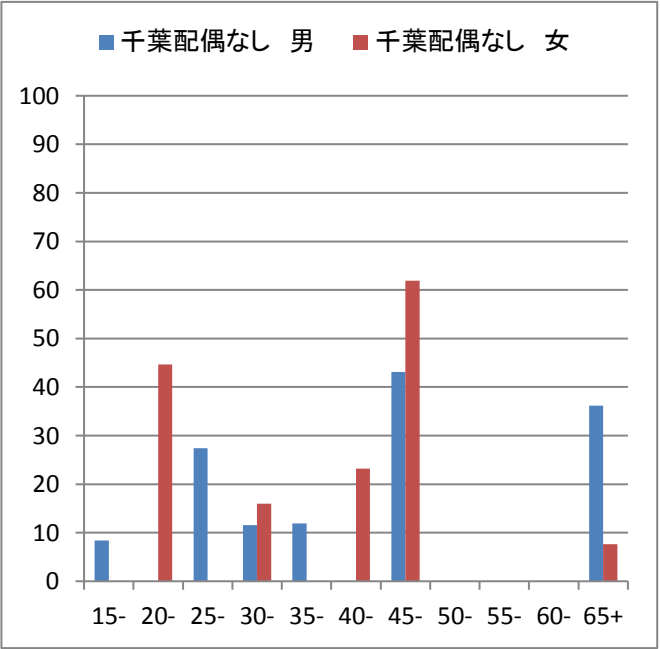
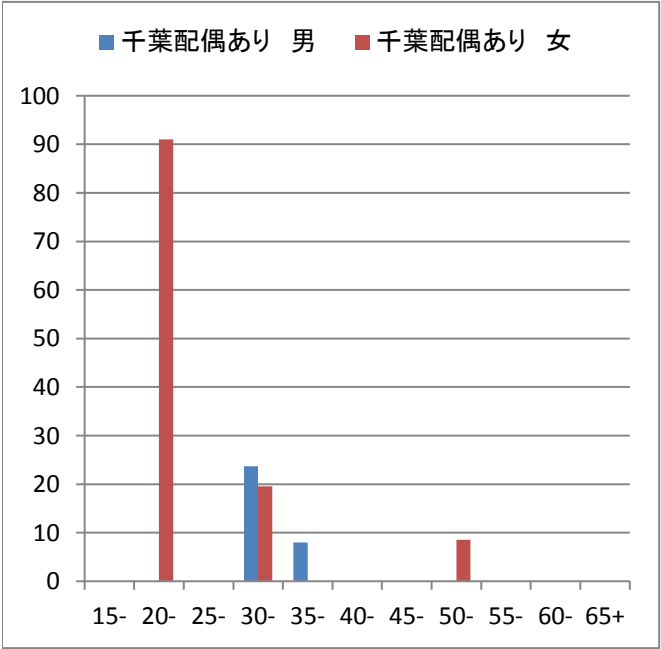


縦軸は人年

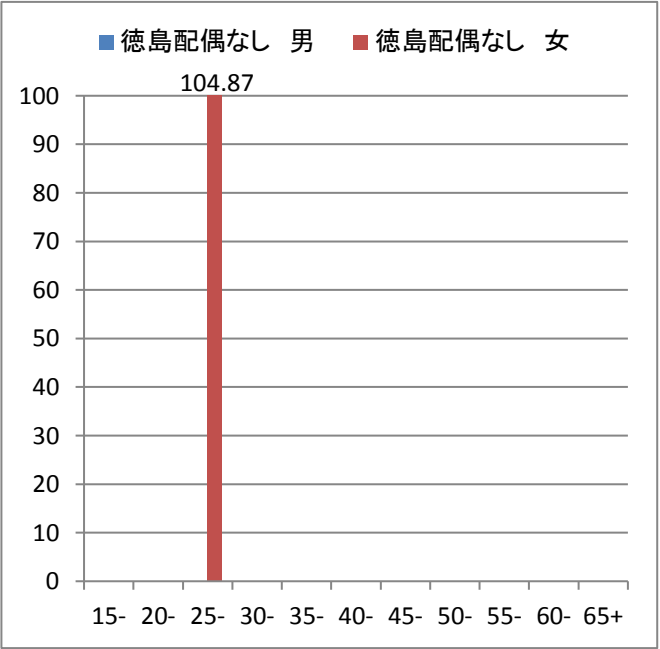
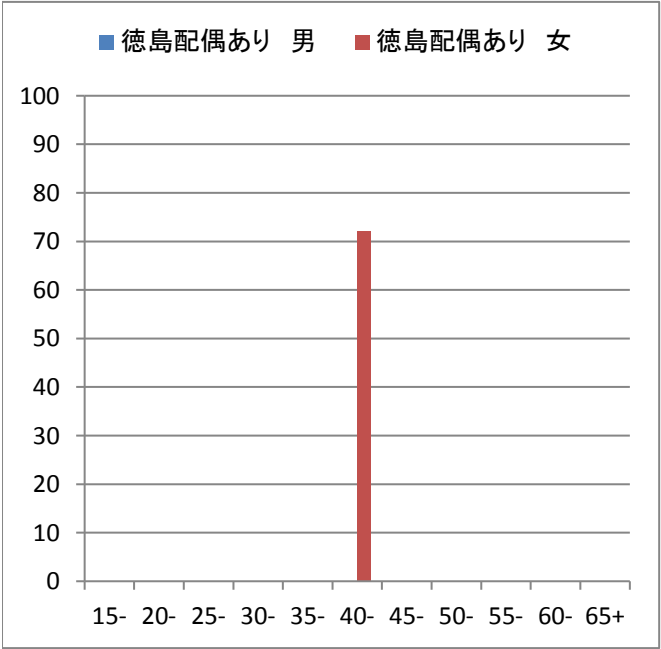
梅毒

梅毒（縦軸：人口10万人年、横軸：年齢階級）





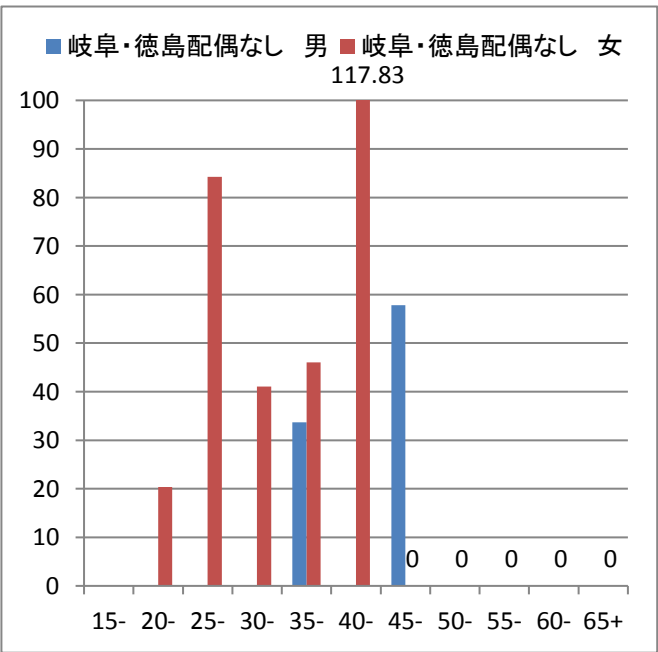
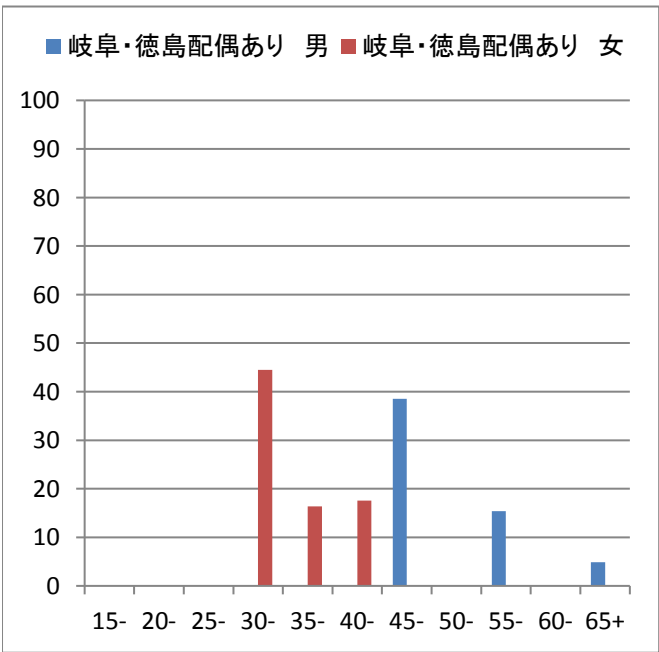
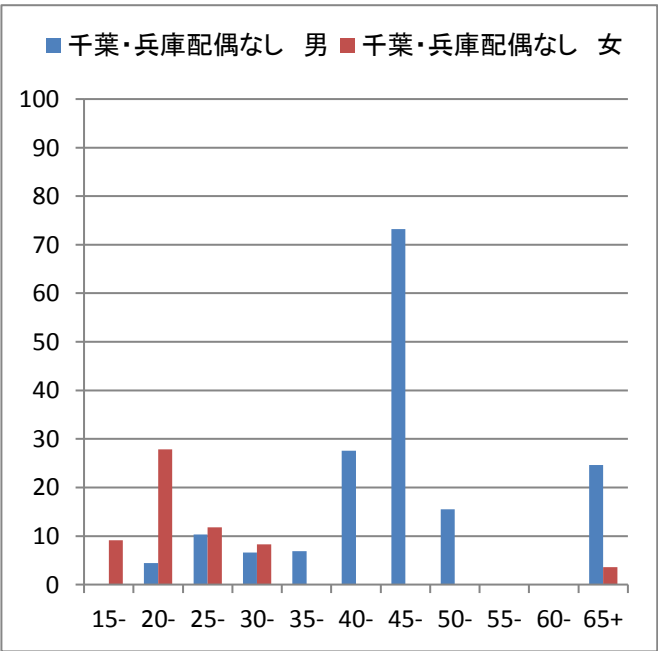
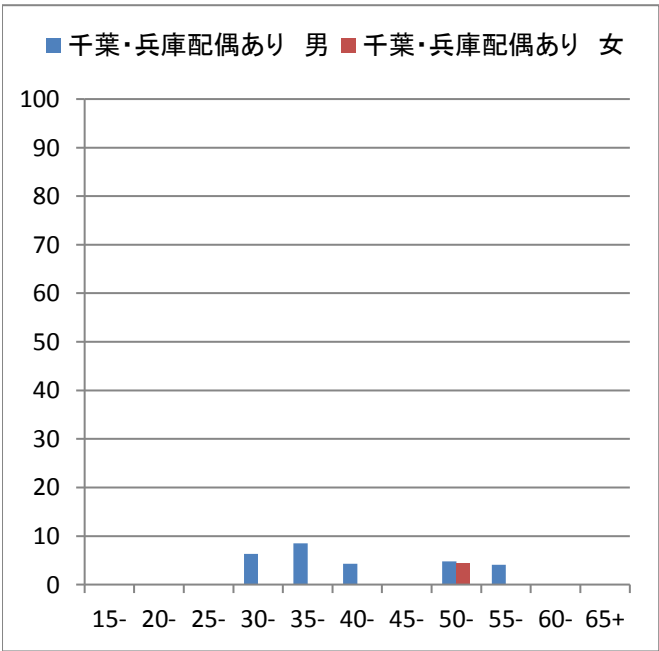
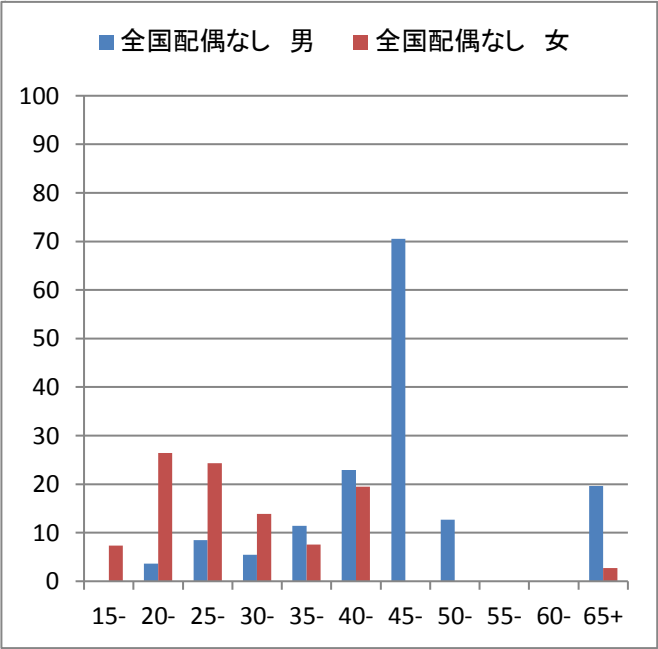
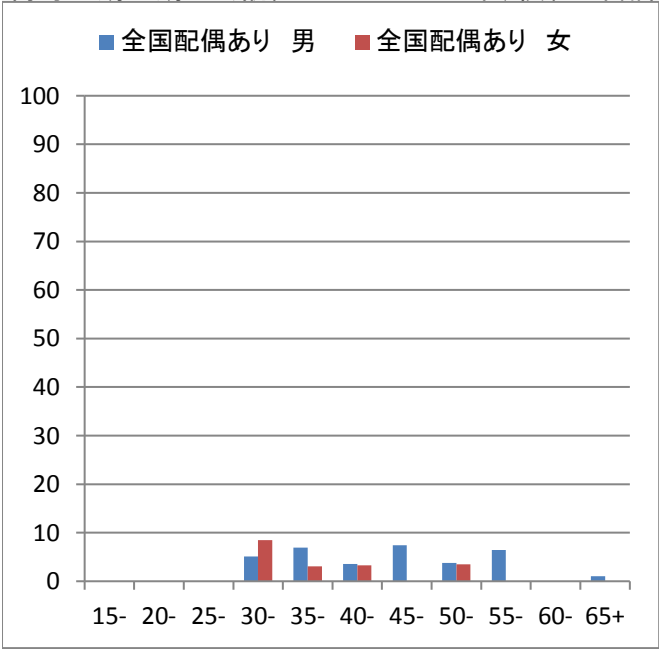
梅毒

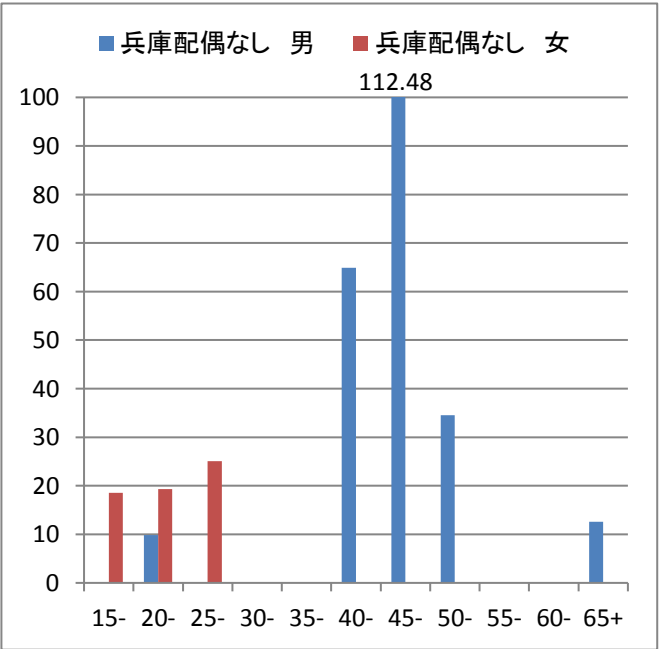
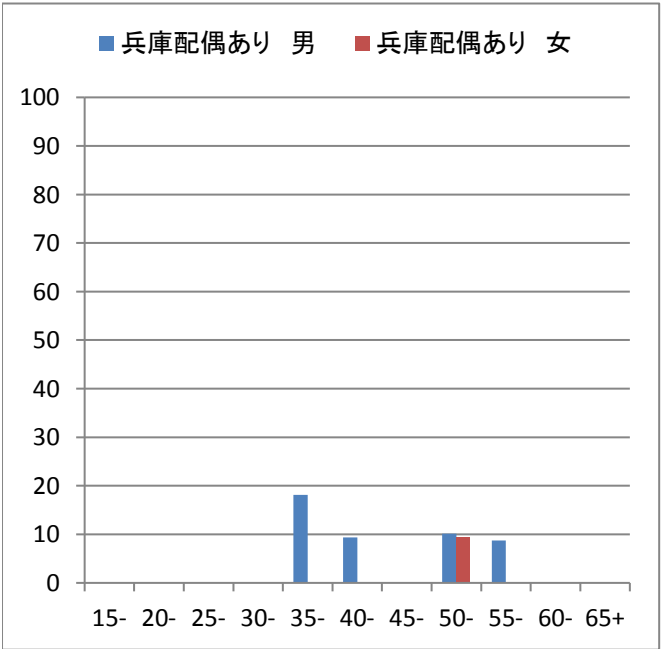
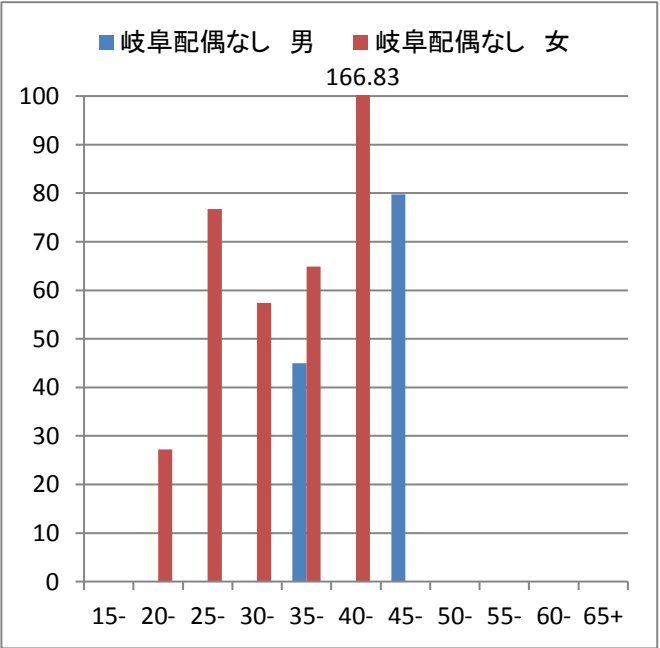
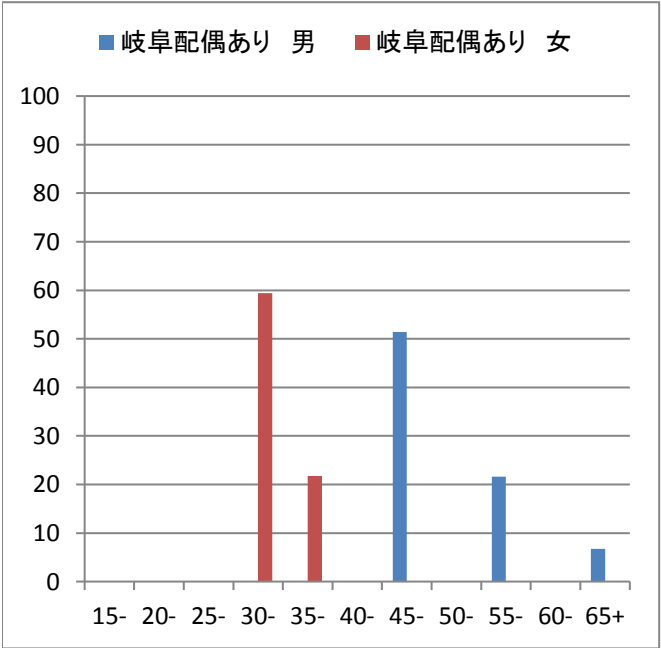
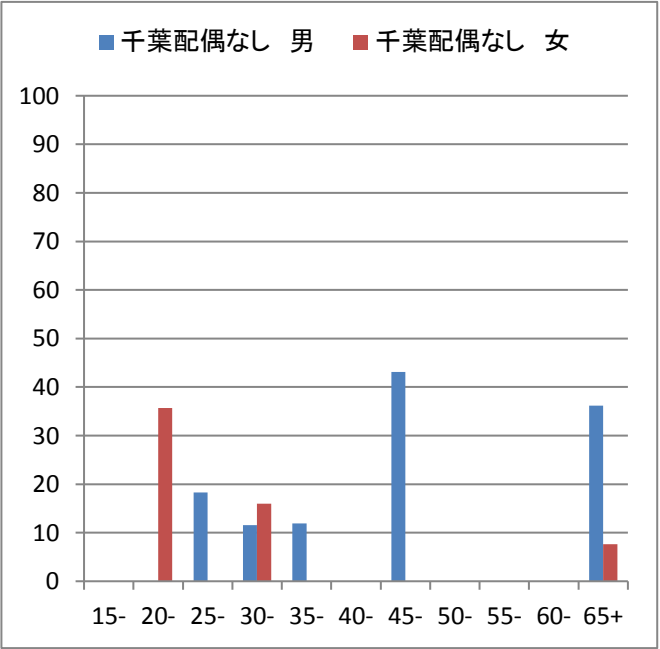
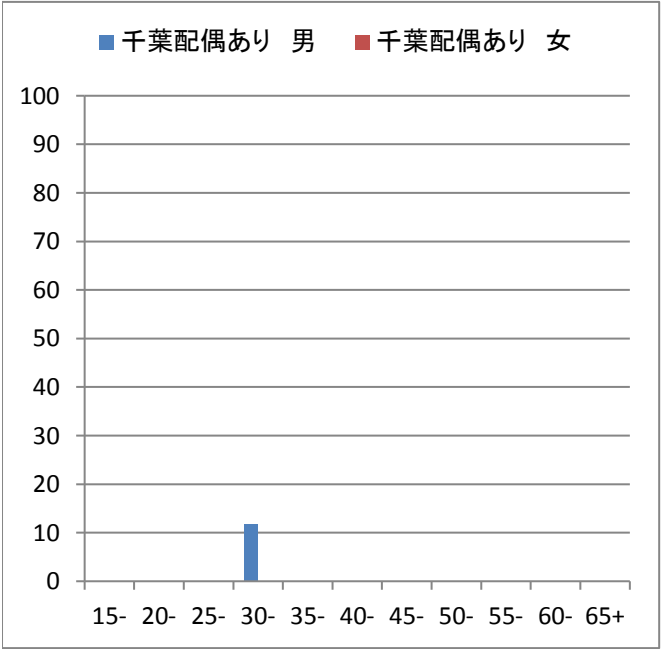


縦軸は人年

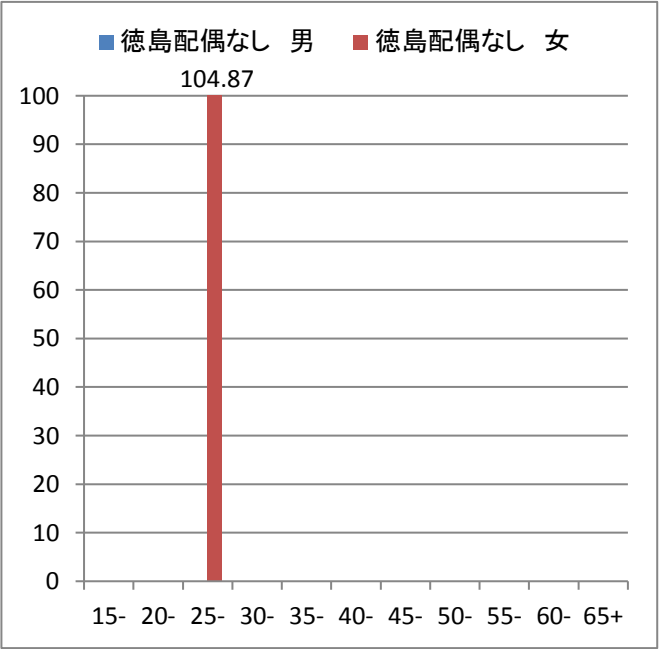
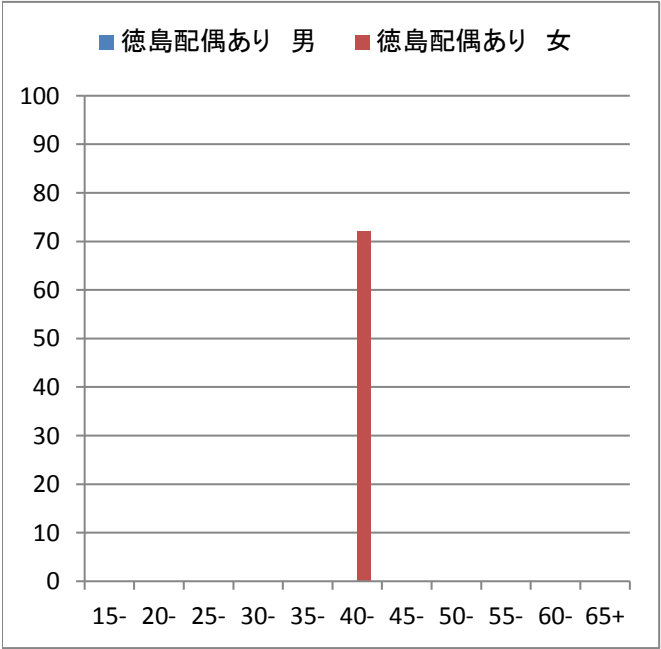
梅毒Ⅰ期Ⅱ期

梅毒Ⅰ期Ⅱ期（縦軸：人口10万人年、横軸：年齢階級）





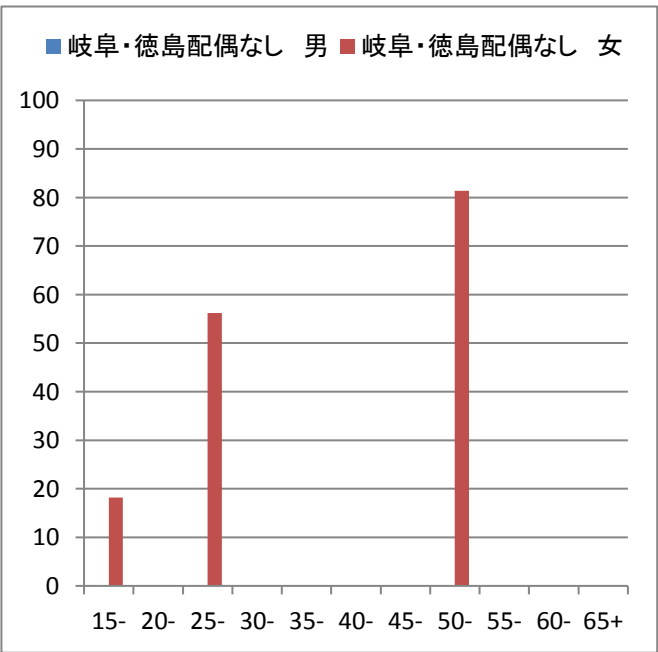
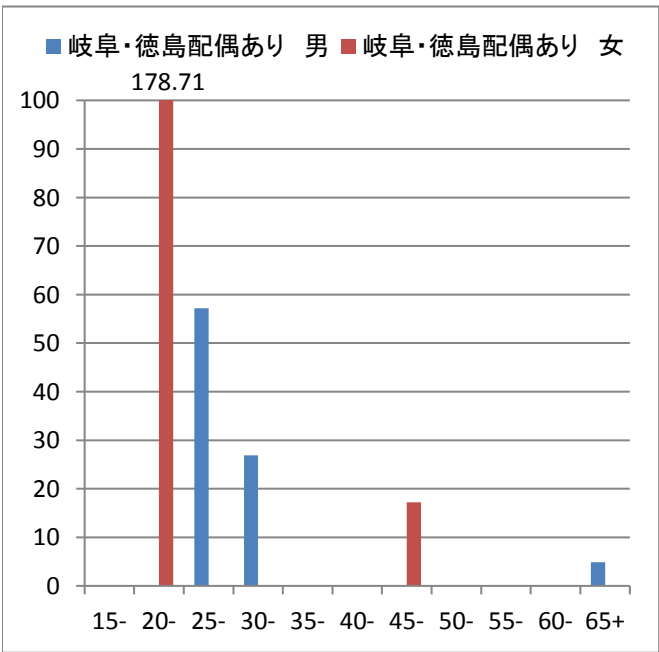
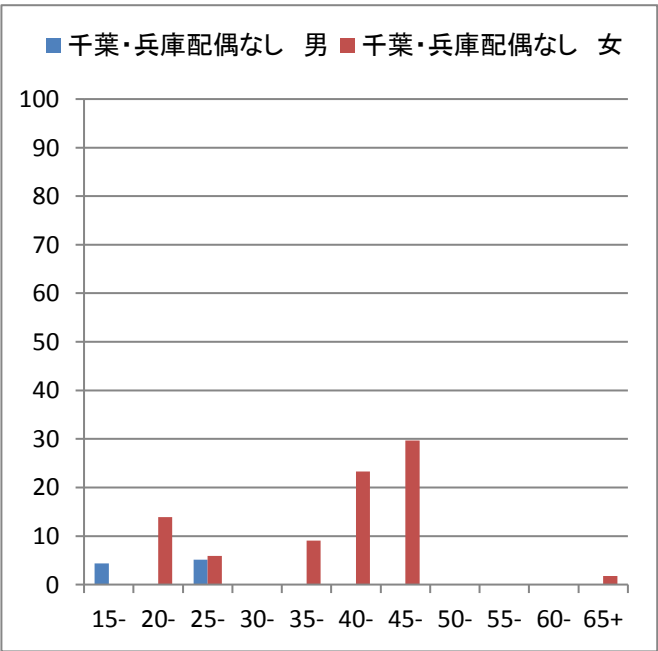
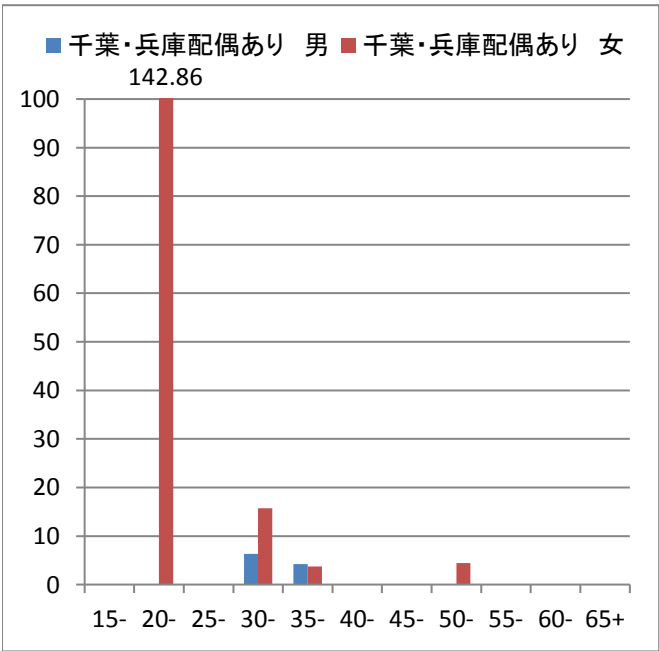
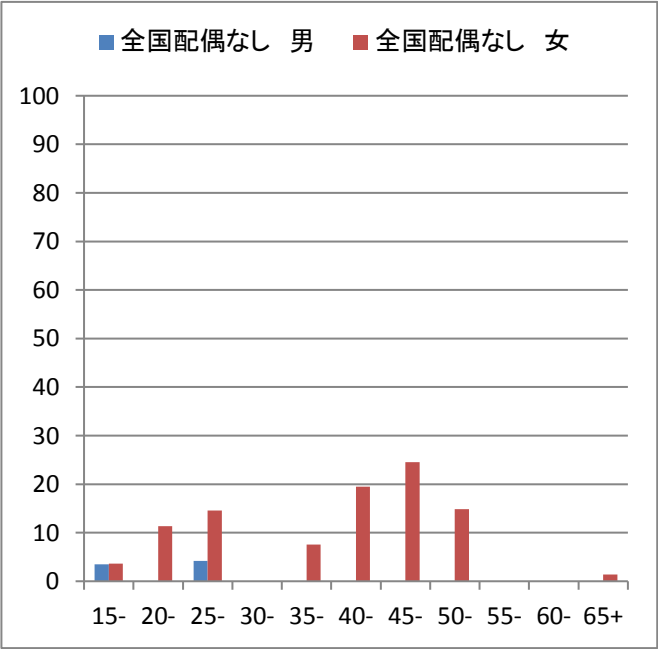
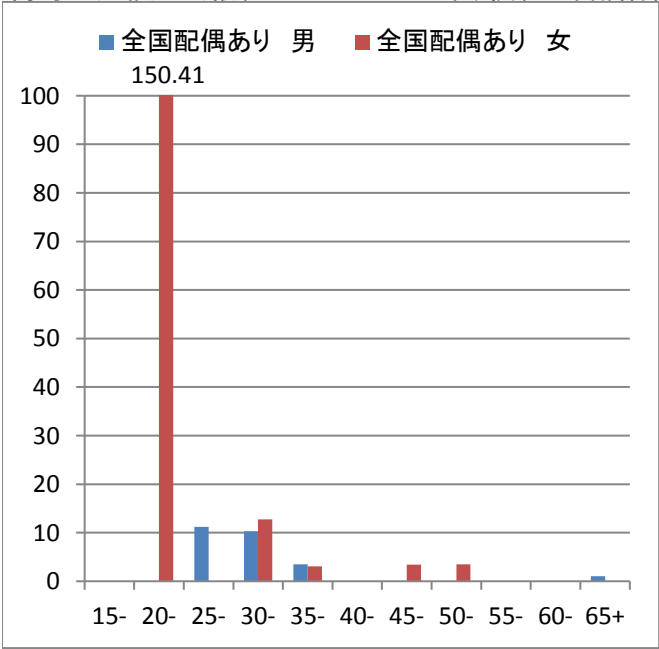
梅毒Ⅰ期Ⅱ期



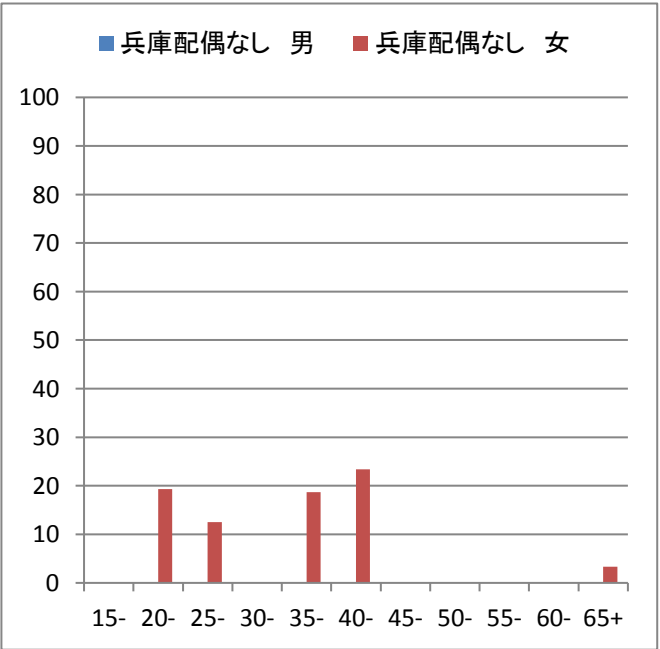
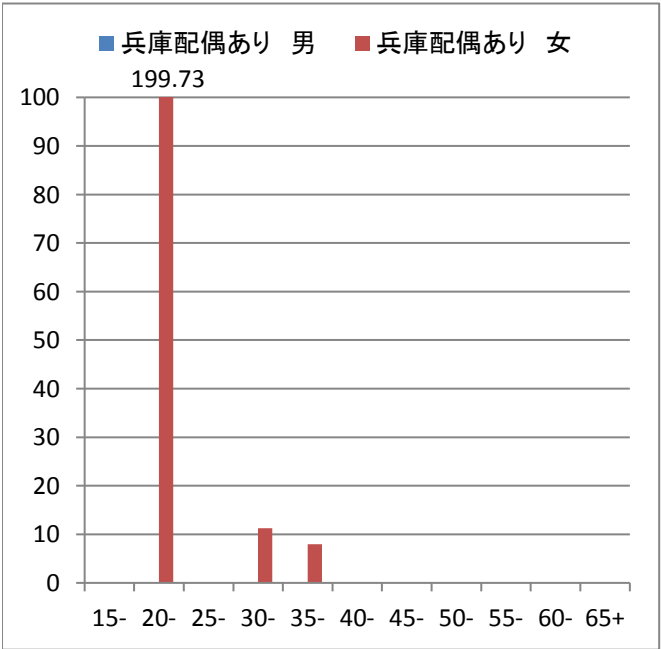
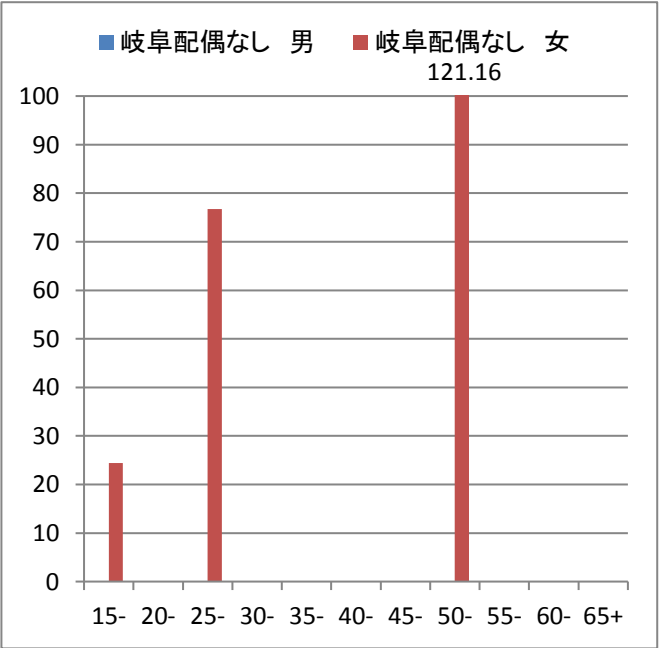
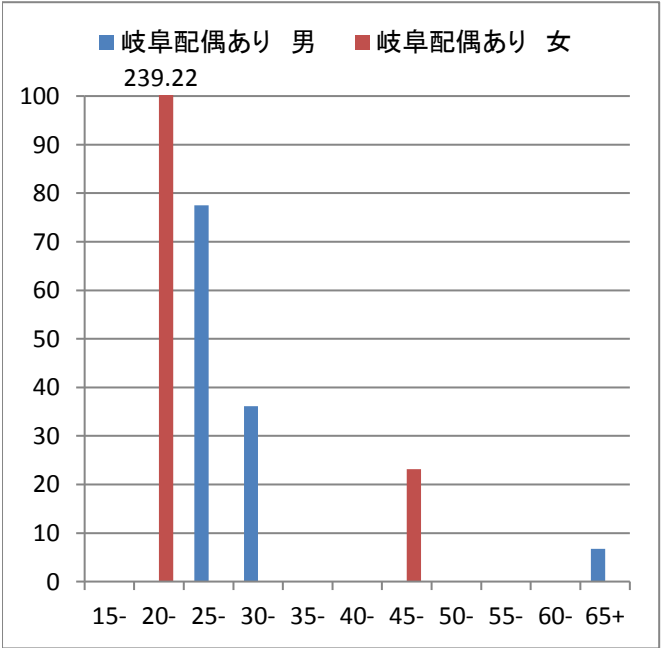
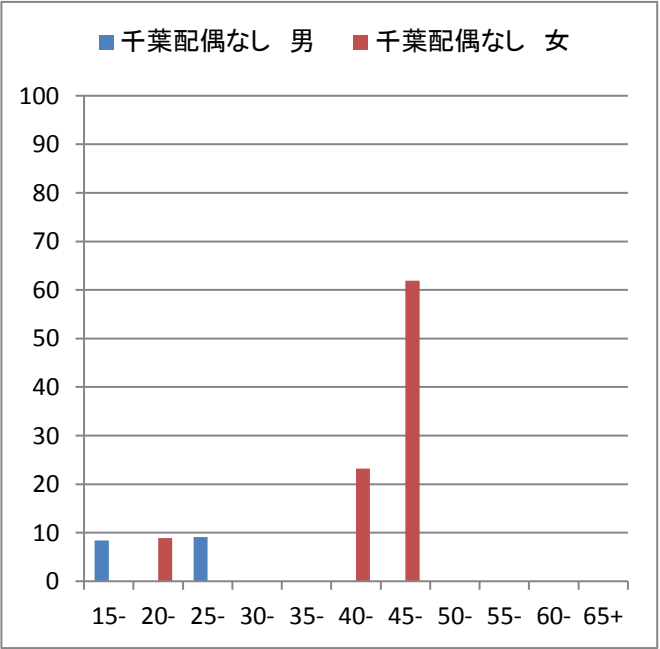
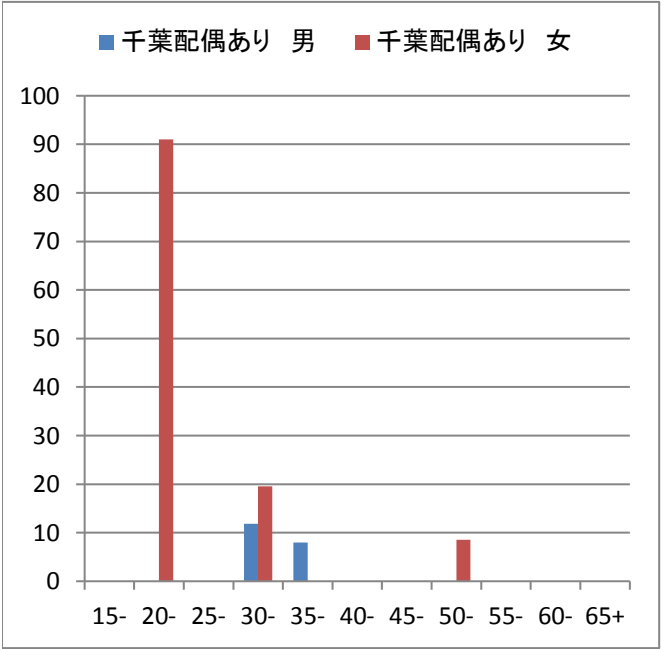
縦軸は人年

梅毒無症候

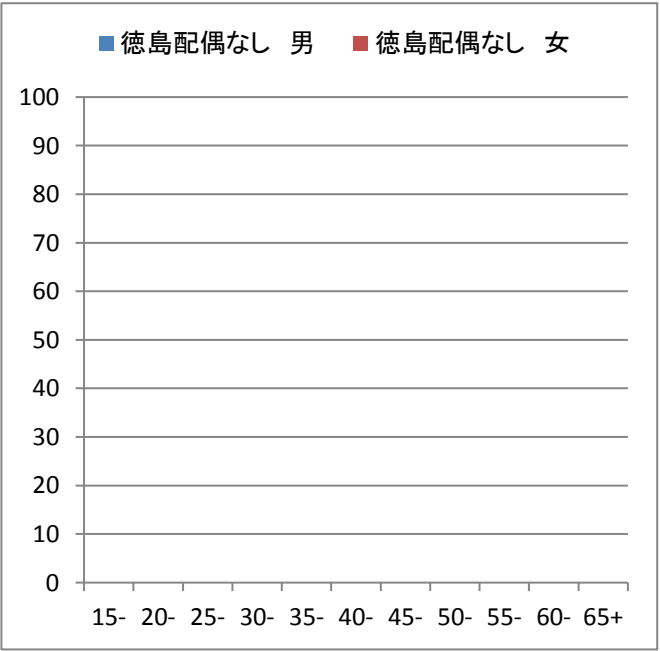
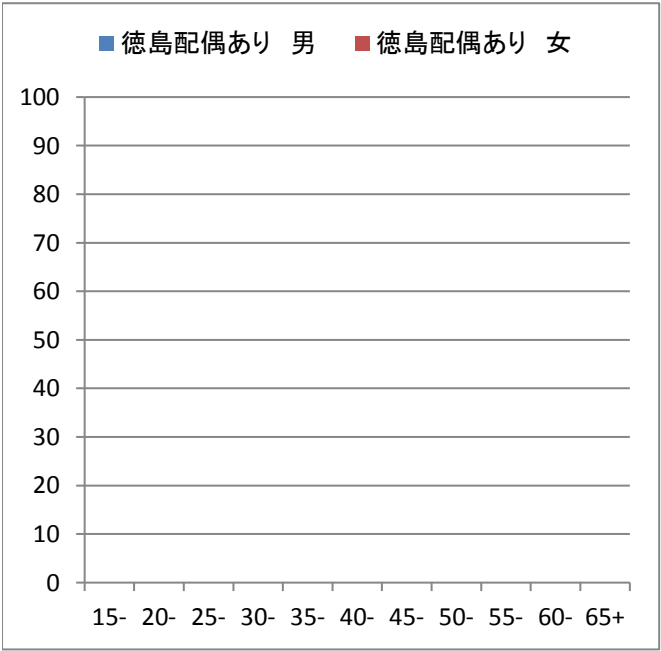
梅毒無症候（縦軸：人口10万人年、横軸：年齢階級）



梅毒無症候



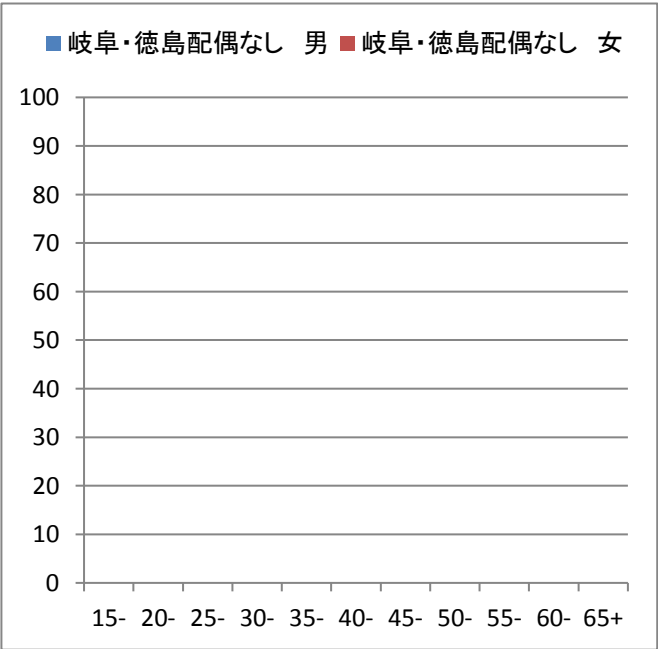
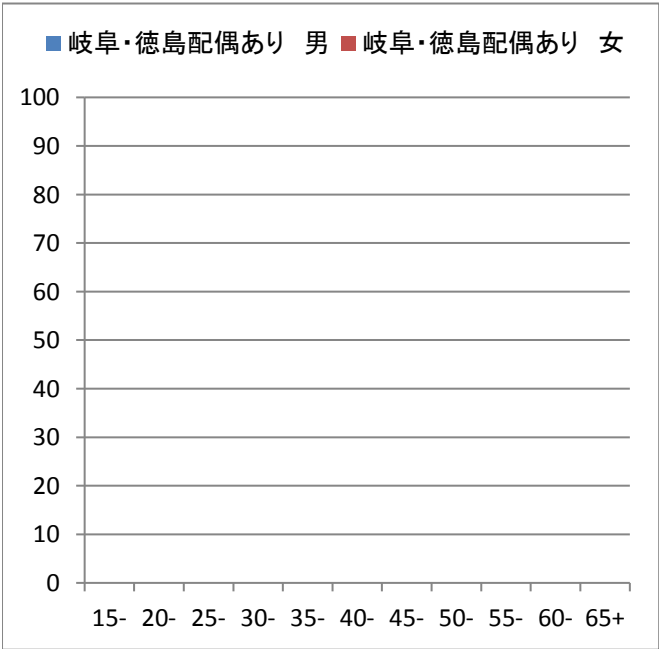
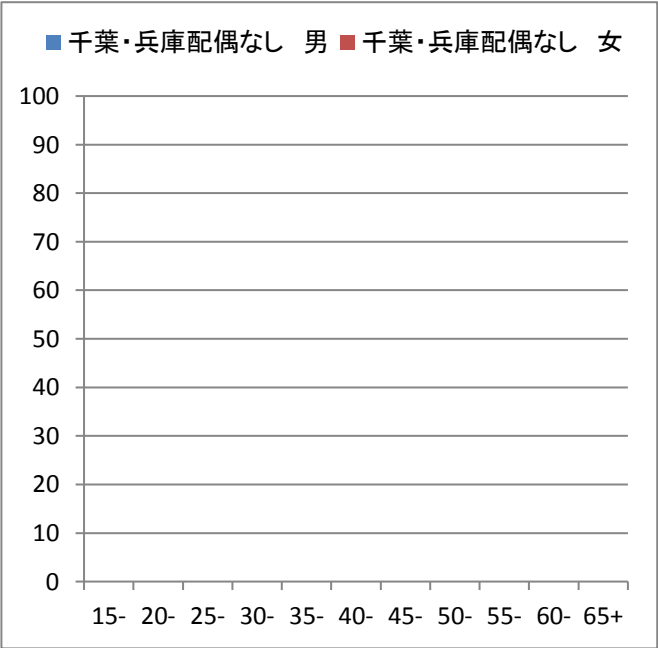
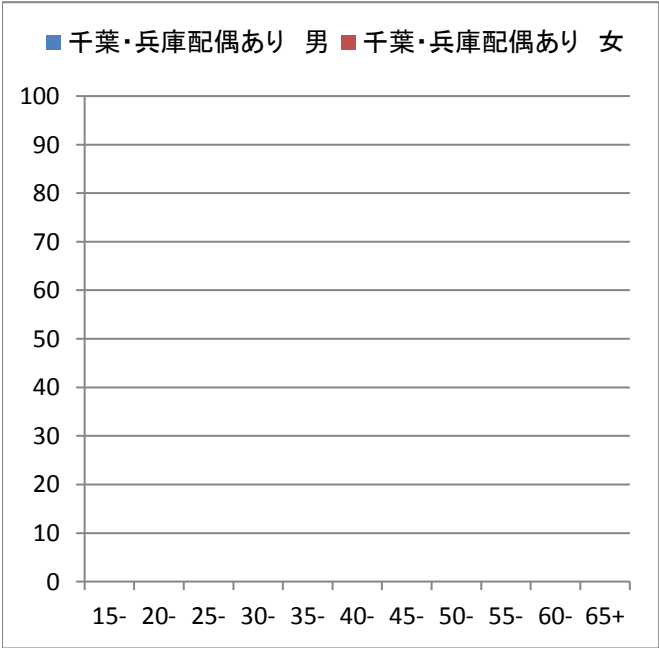
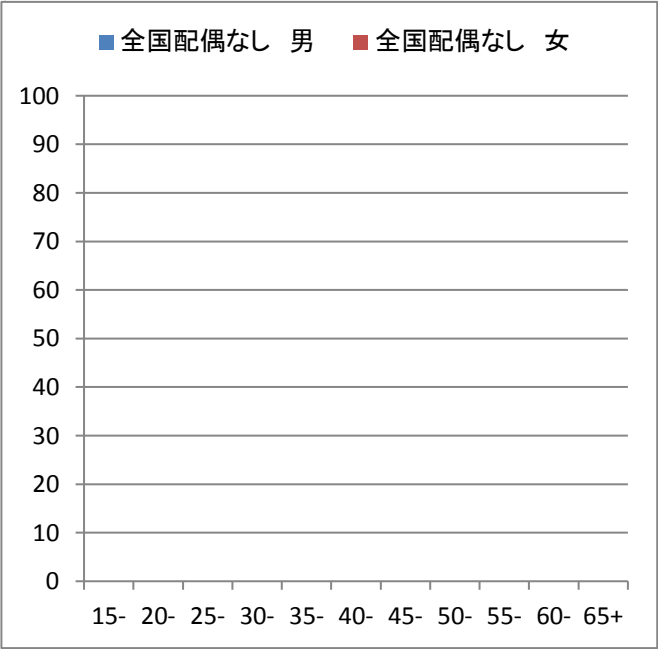
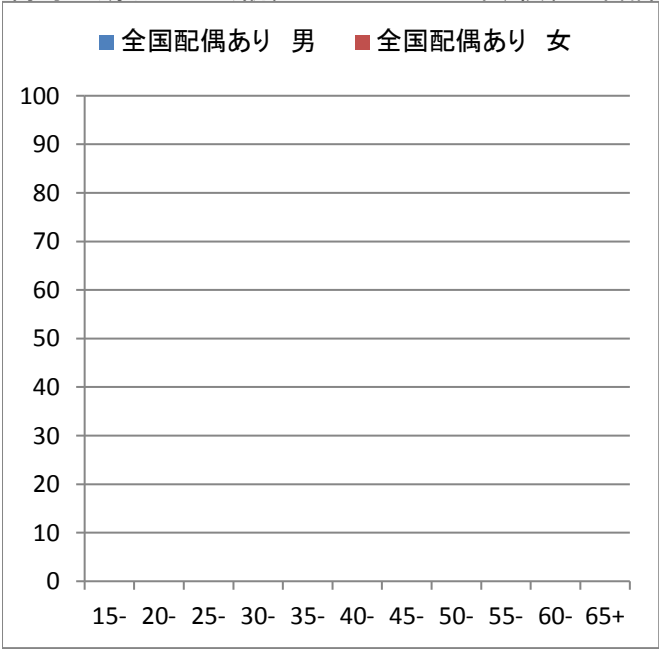
梅毒無症候



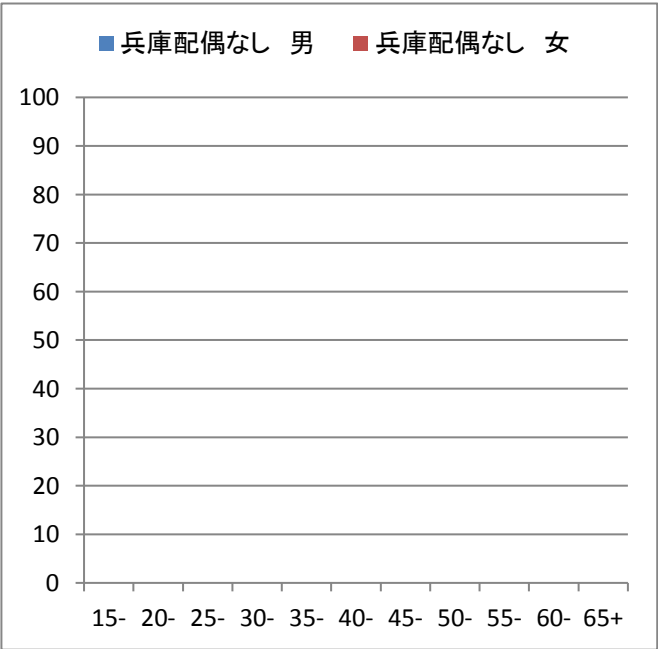
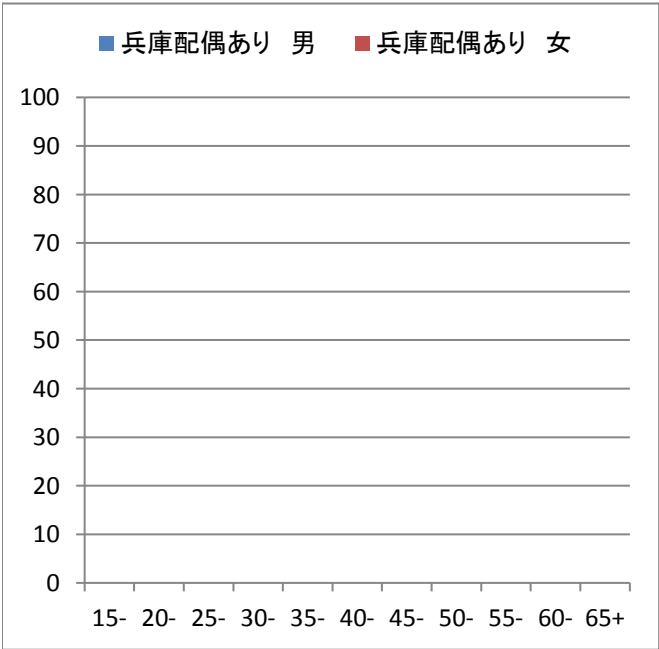
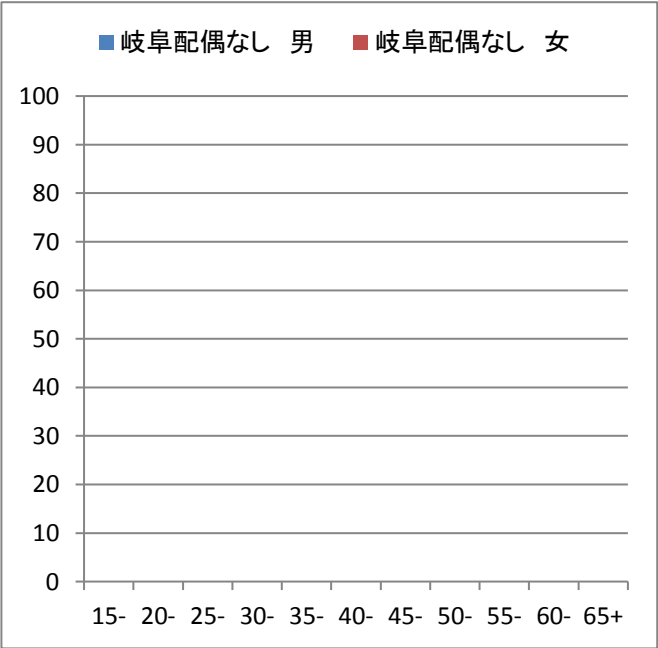
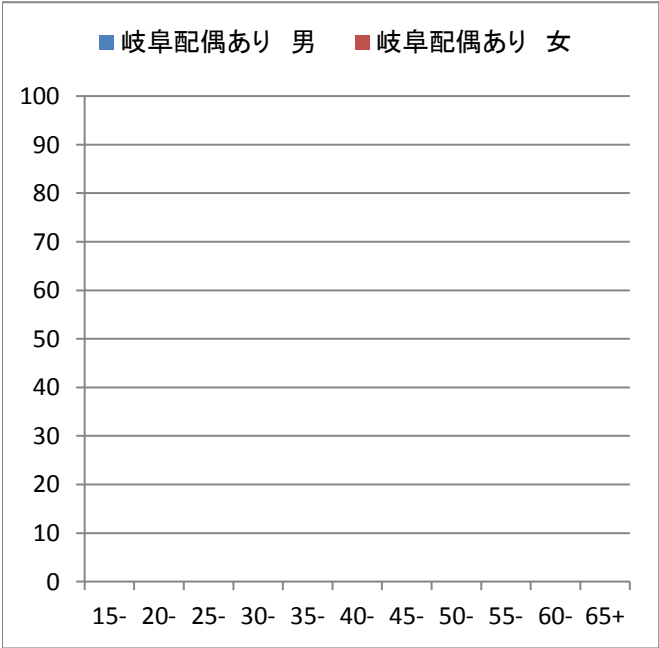
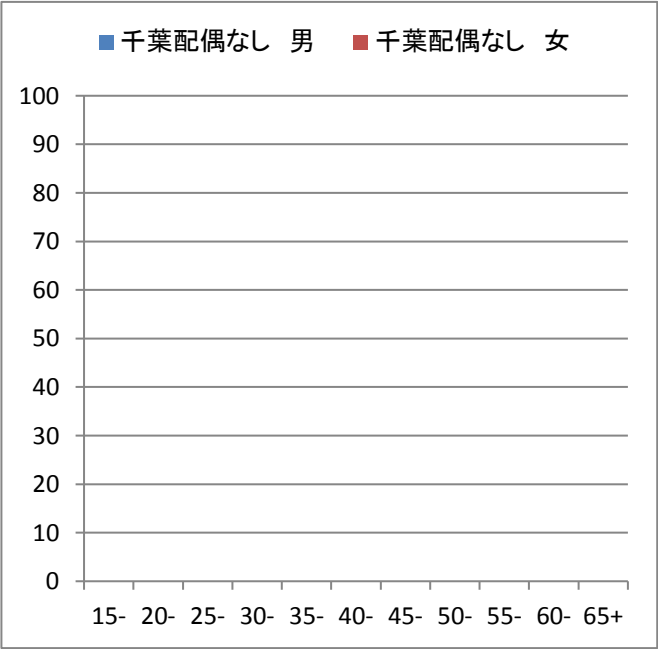
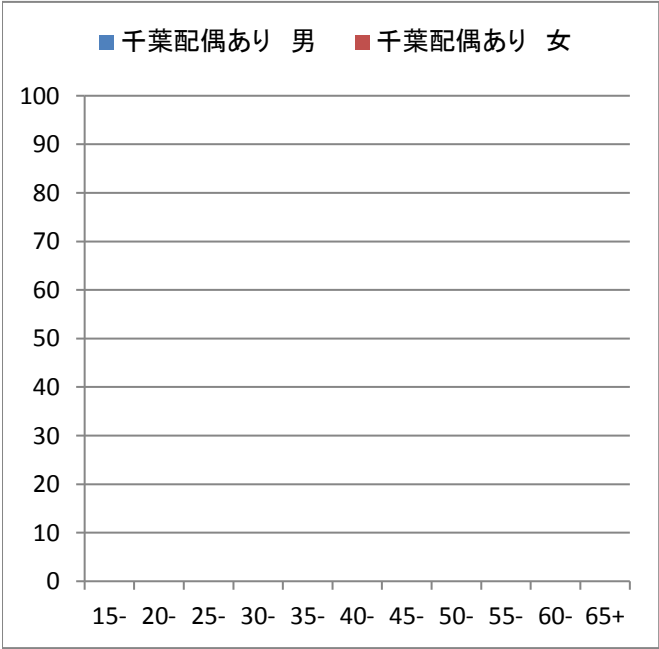
縦軸は人年

梅毒Ⅲ期以上

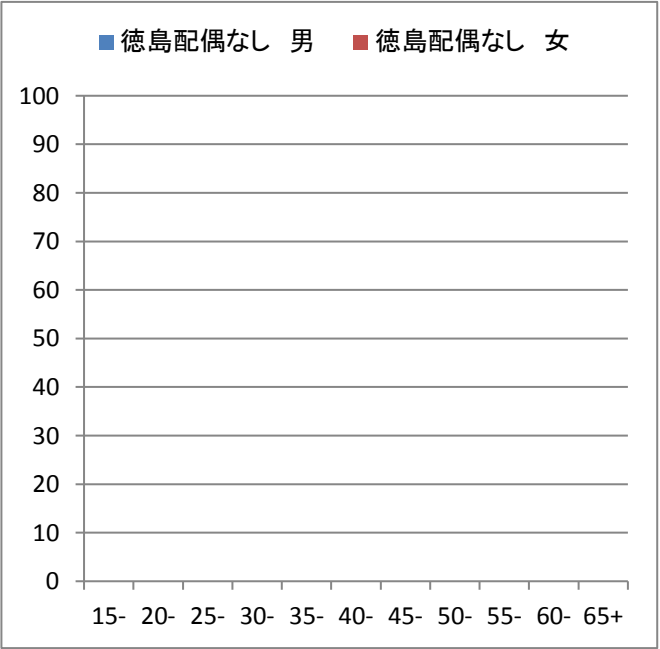
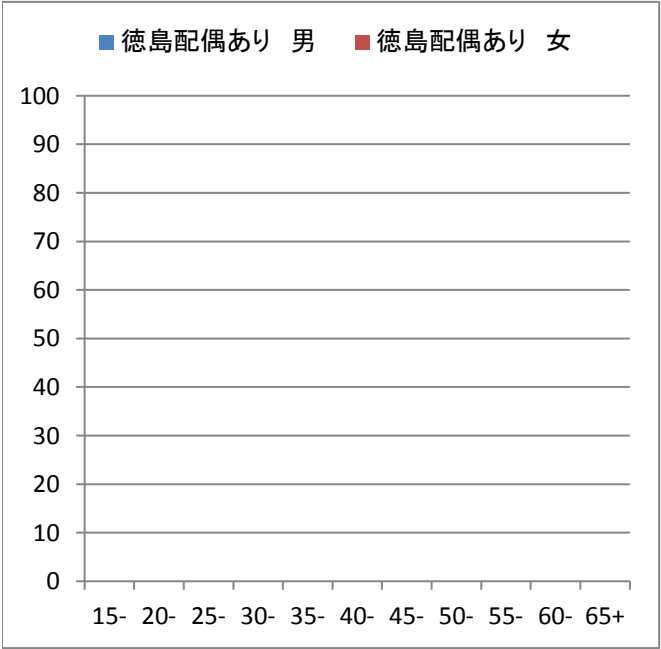
梅毒Ⅲ期以上（縦軸：人口10万人年、横軸：年齢階級）



梅毒Ⅲ期以上



梅毒Ⅲ期以上



縦軸は人年

表1-1（縦軸:10万人年）

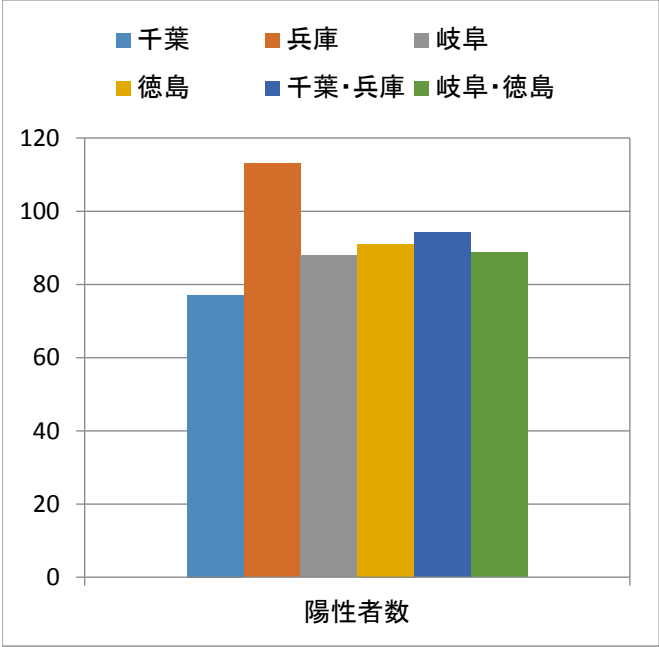


表1-2（縦軸:10万人年）

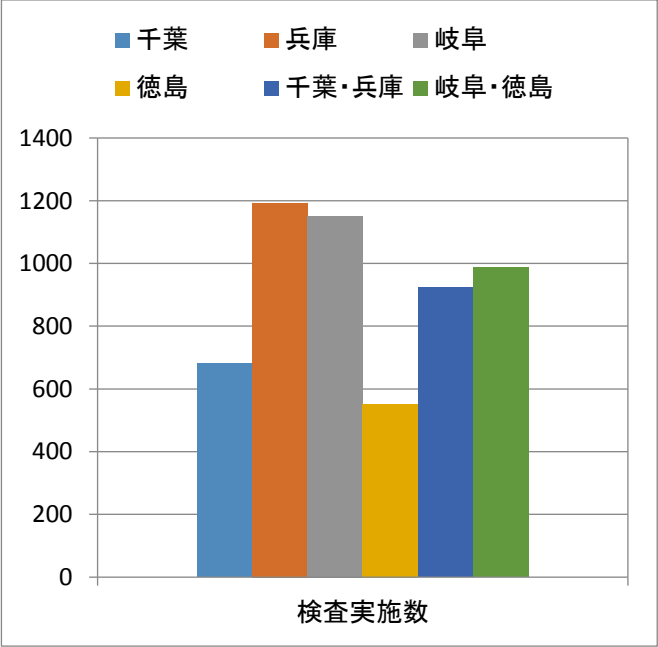


表1-3（縦軸:陽性率）

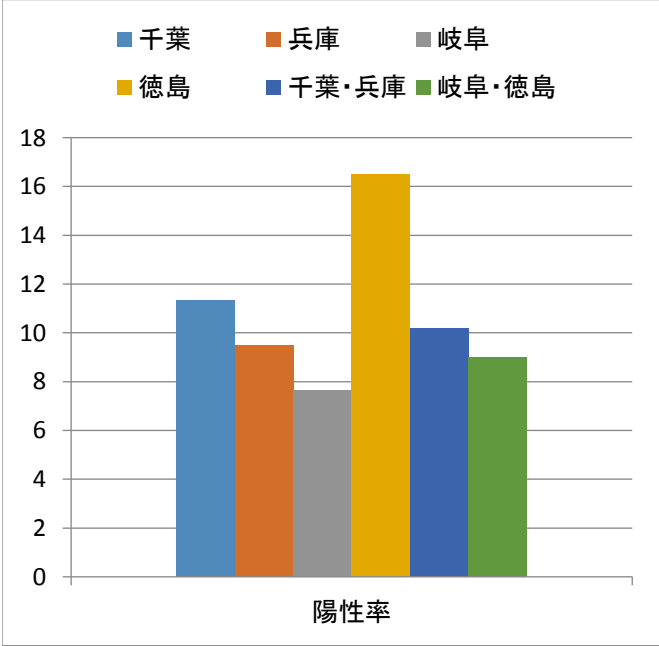


表1-4（縦軸:調整陽性率）

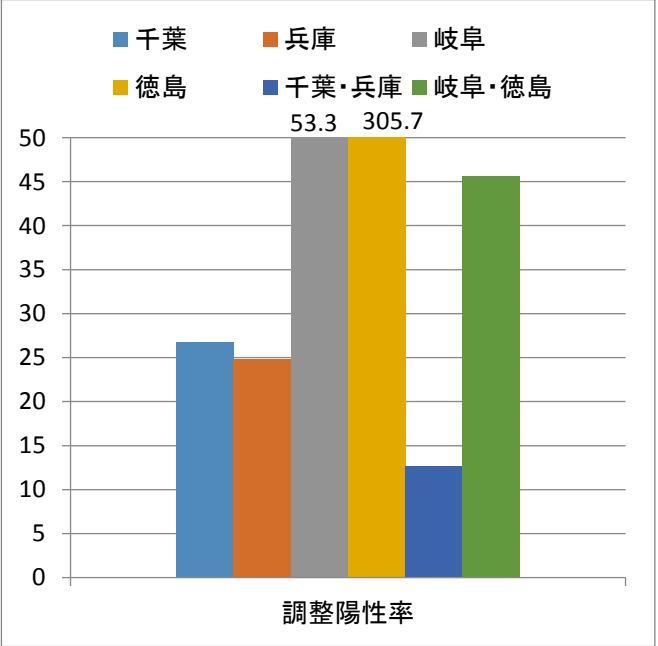


表2-1（縦軸:10万人年）

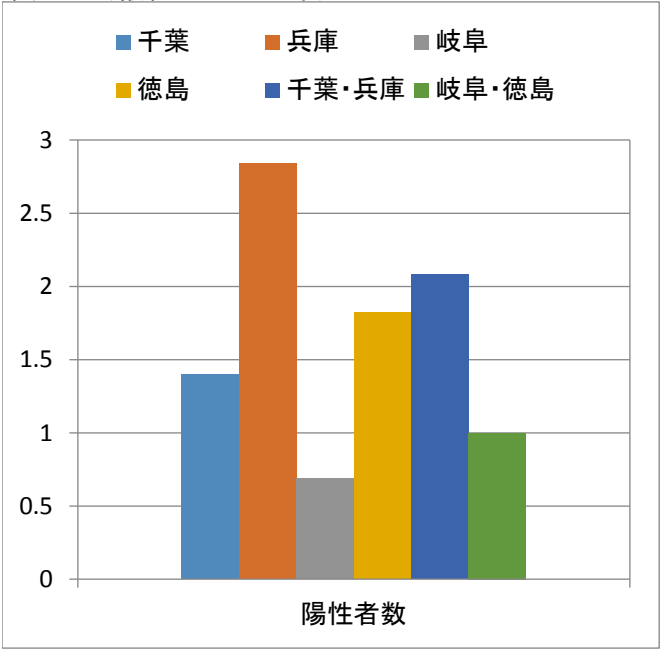


表2-2（縦軸:10万人年）

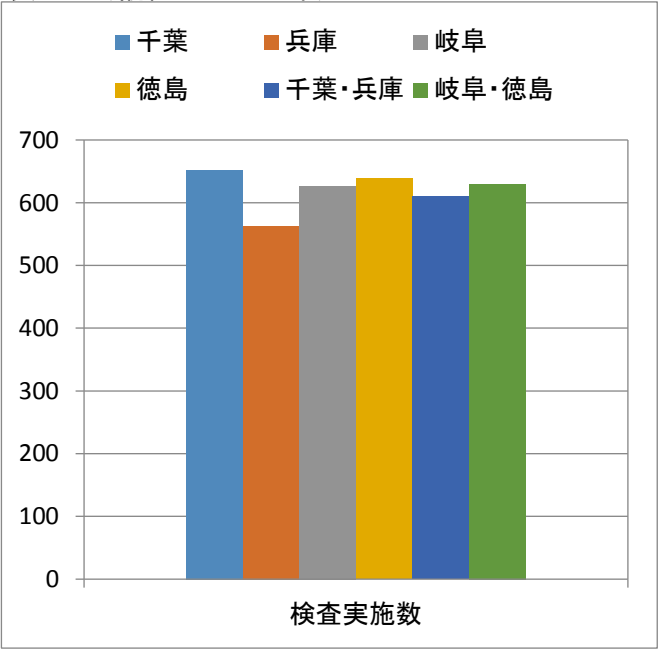


表2-3（縦軸:陽性率）

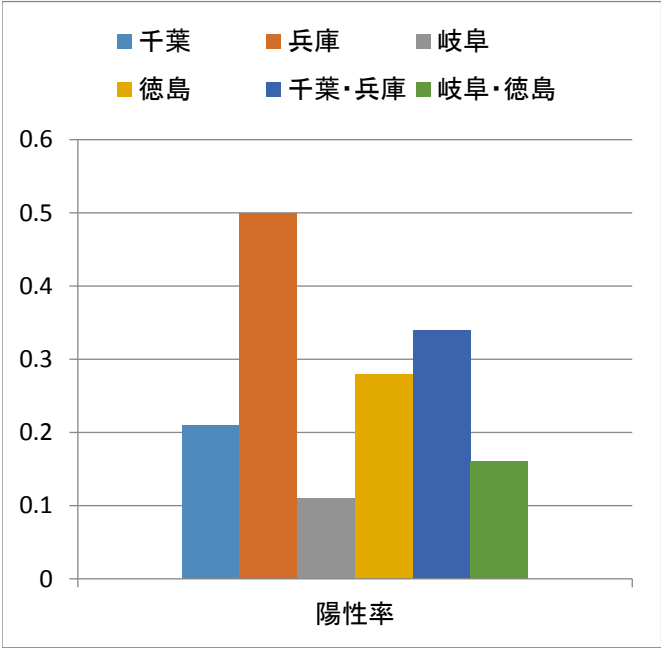


表2-4（縦軸:調整陽性率）

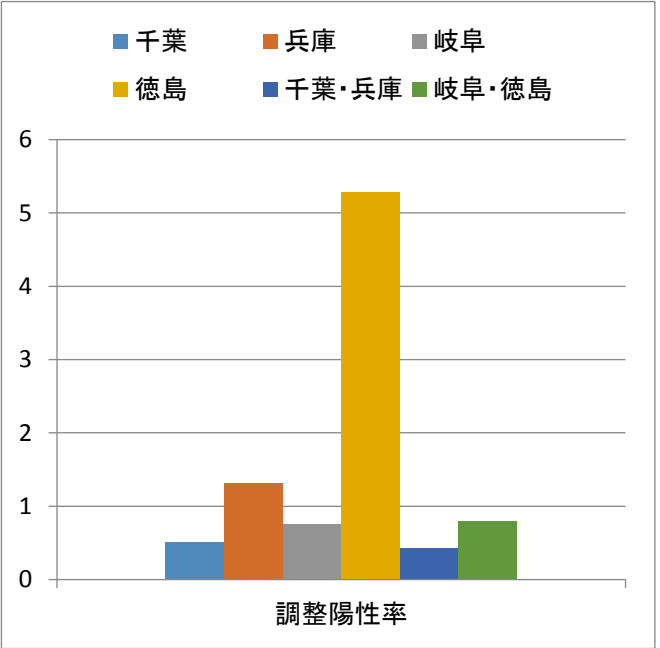


表3-1（縦軸:10万人年）

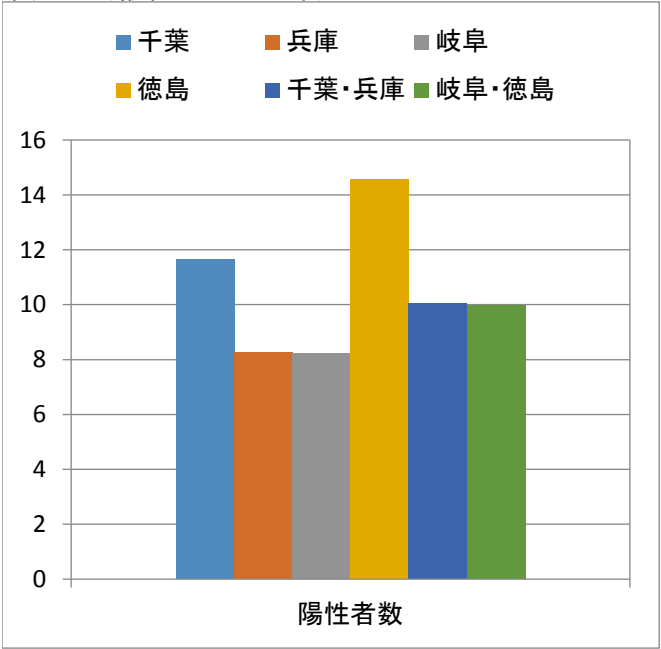


表3-2（縦軸:10万人年）

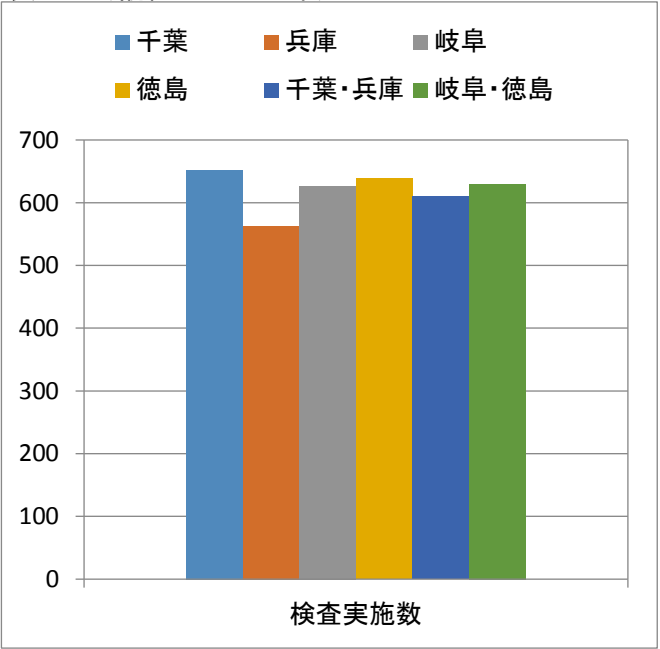


表3-3（縦軸:陽性率）

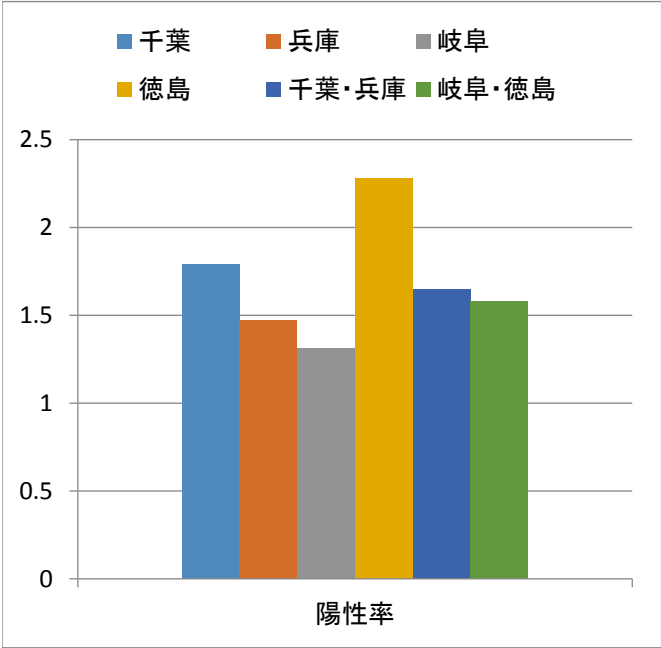


表3-4（縦軸:調整陽性率）

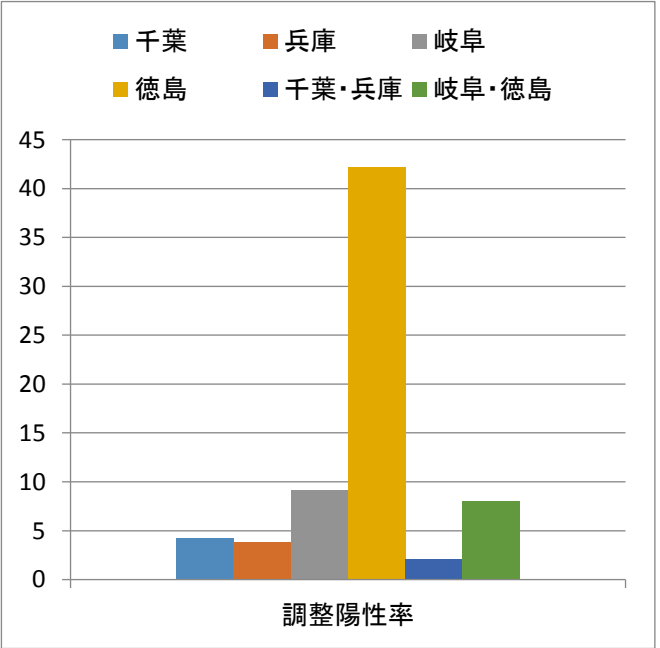


表4-1（縦軸:10万人年）

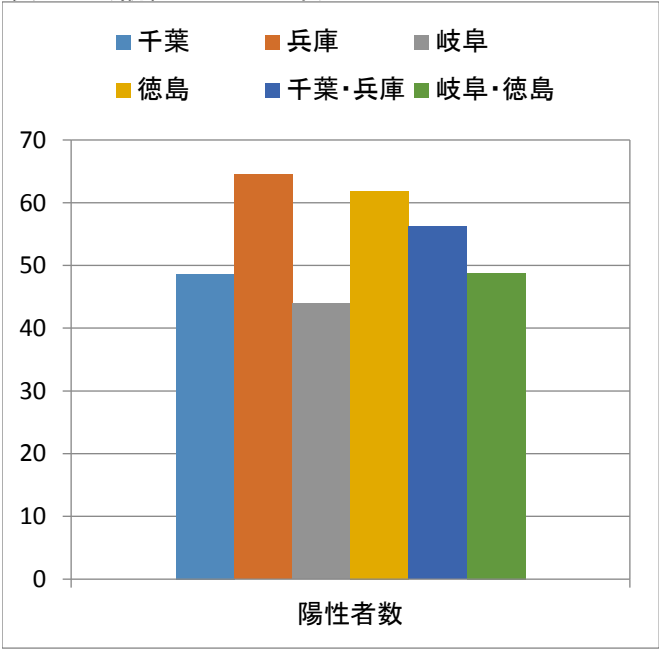


表4-2（縦軸:10万人年）

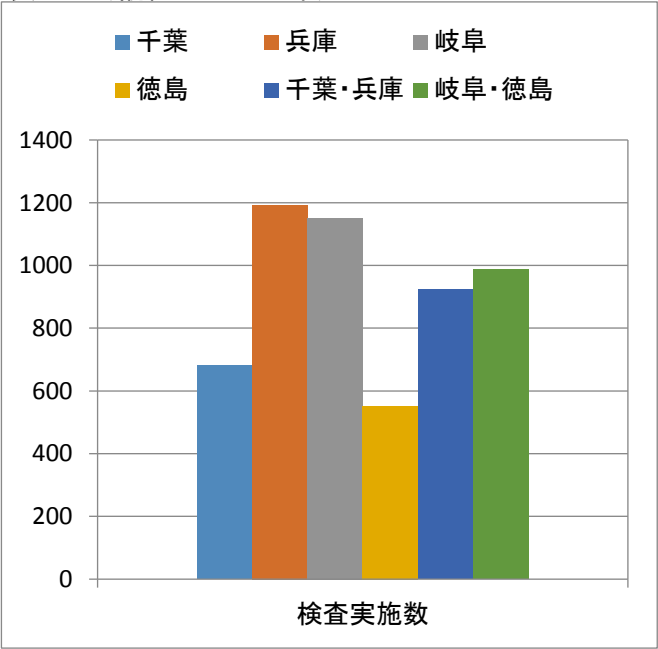


表4-3（縦軸:陽性率）

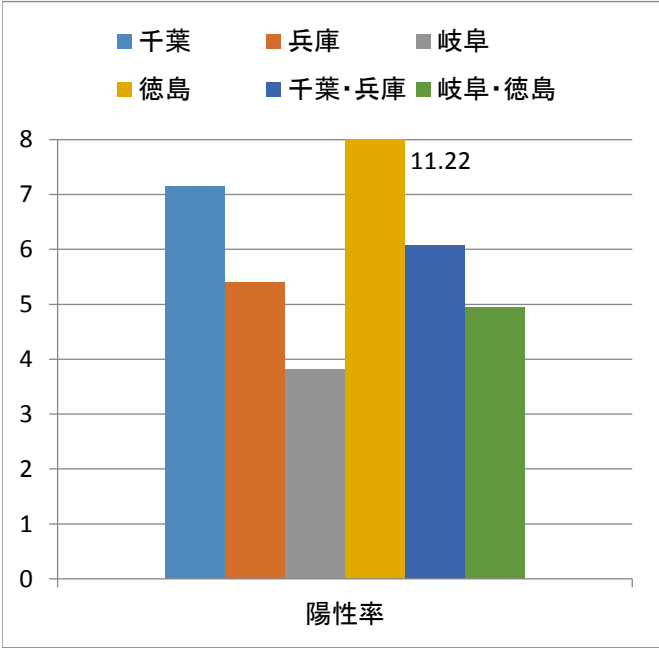


表4-4（縦軸:調整陽性率）

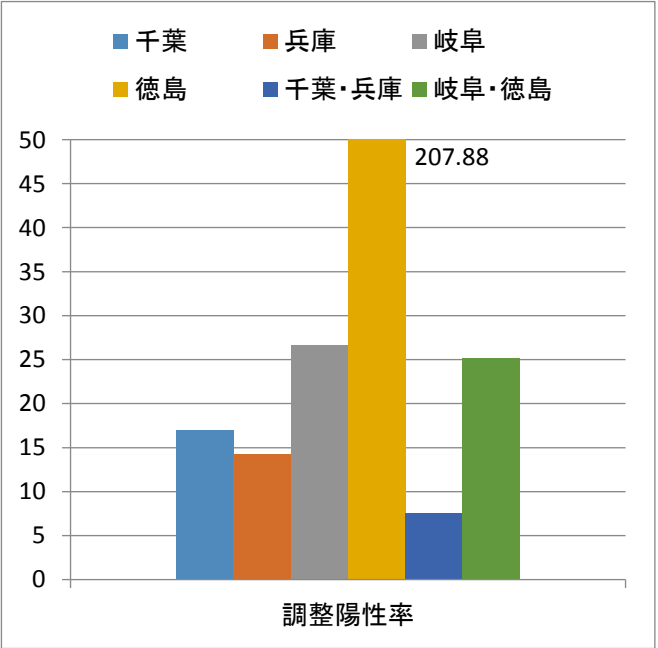


表5-1（縦軸:10万人年）

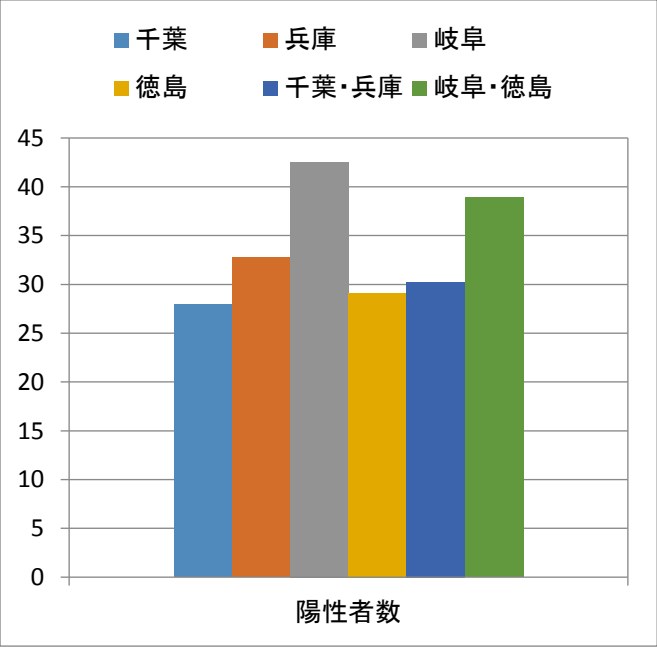


表5-2（縦軸:10万人年）

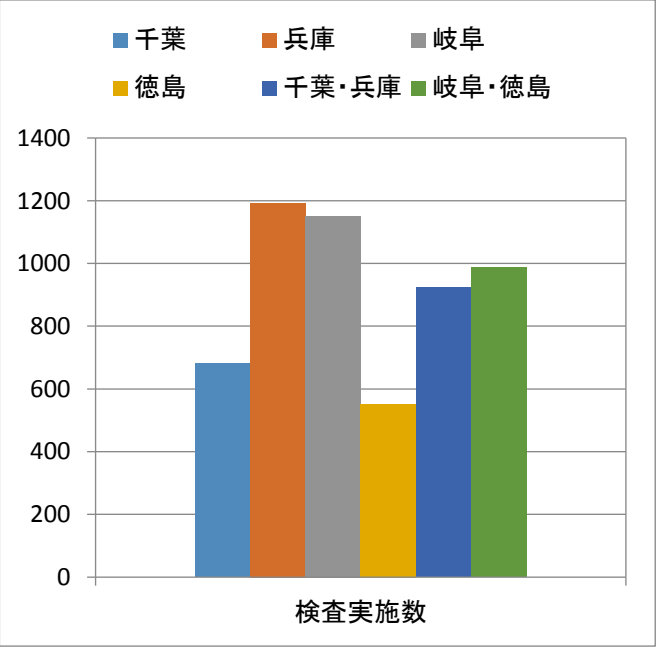


表5-3（縦軸:陽性率）

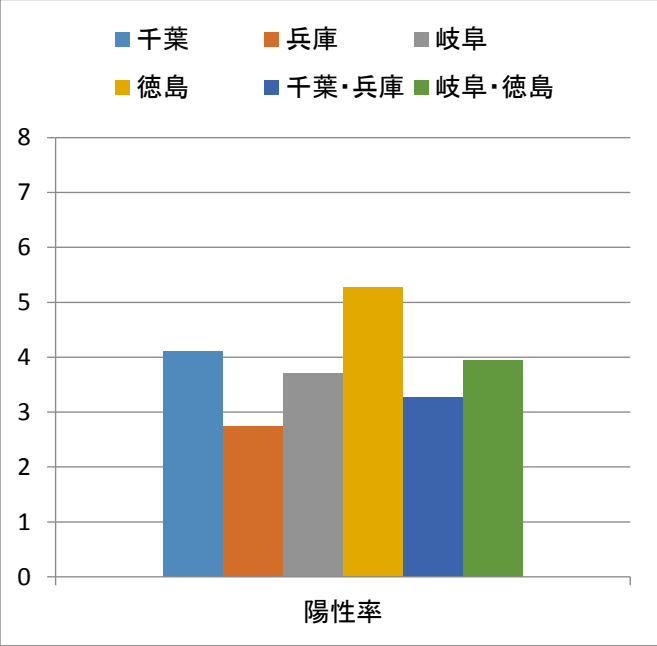


表5-4（縦軸:調整陽性率）

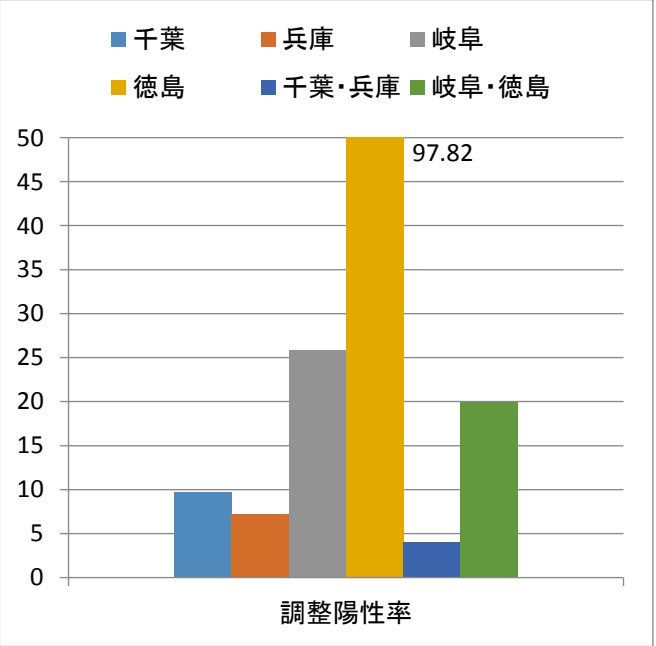


表6-1（縦軸:10万人年）

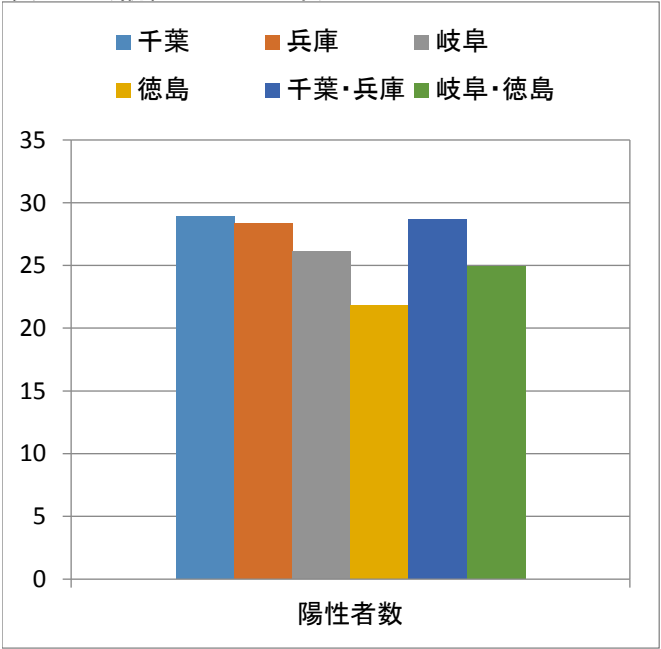


表6-2（縦軸:10万人年）

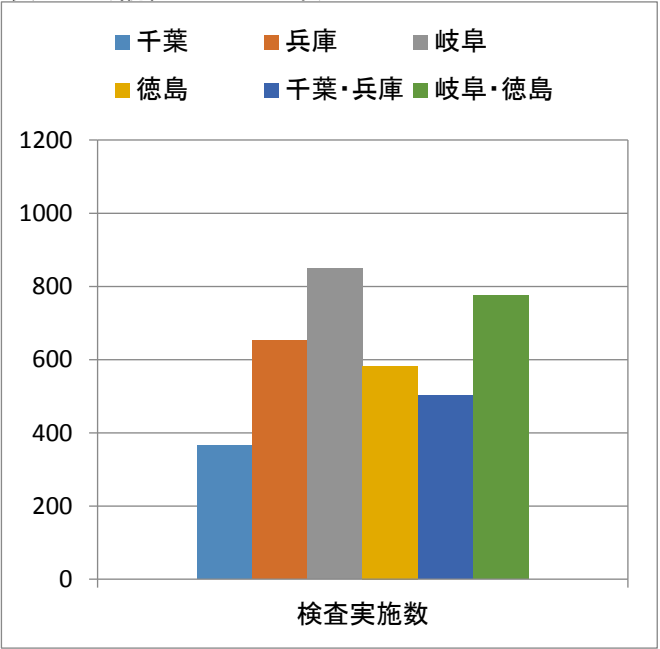


表6-3（縦軸:陽性率）

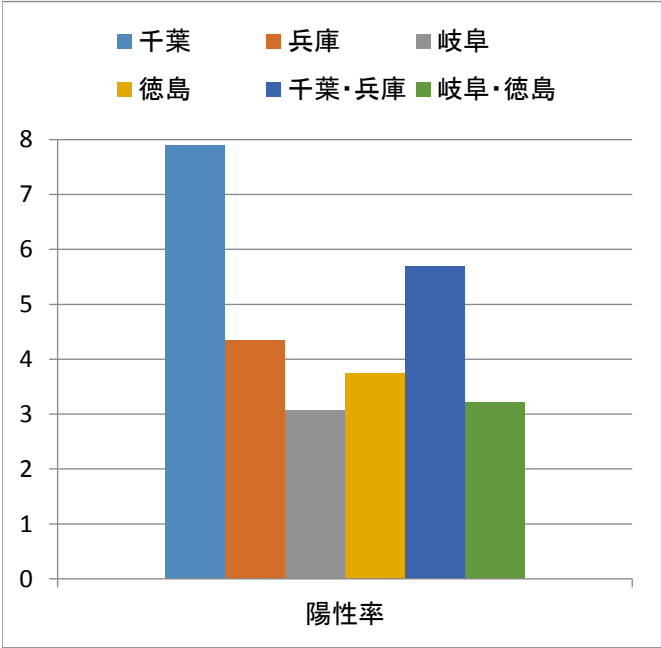


表6-4（縦軸:調整陽性率）

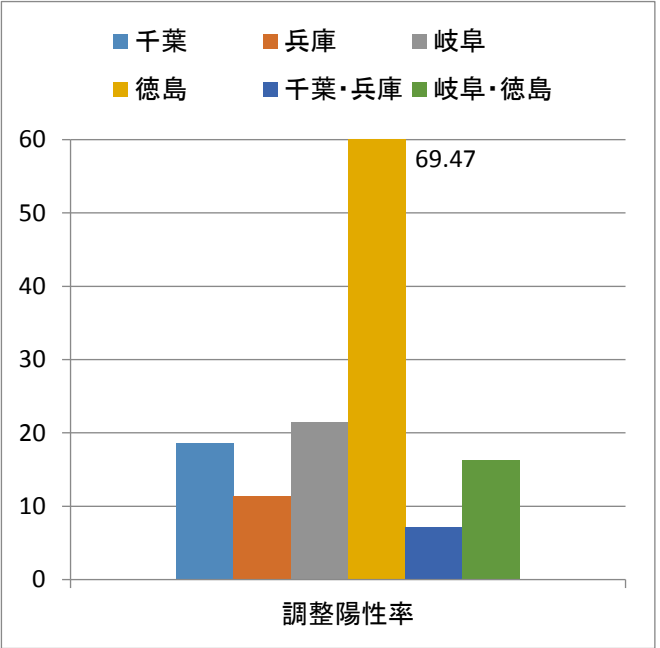


表7-1（縦軸:10万人年）

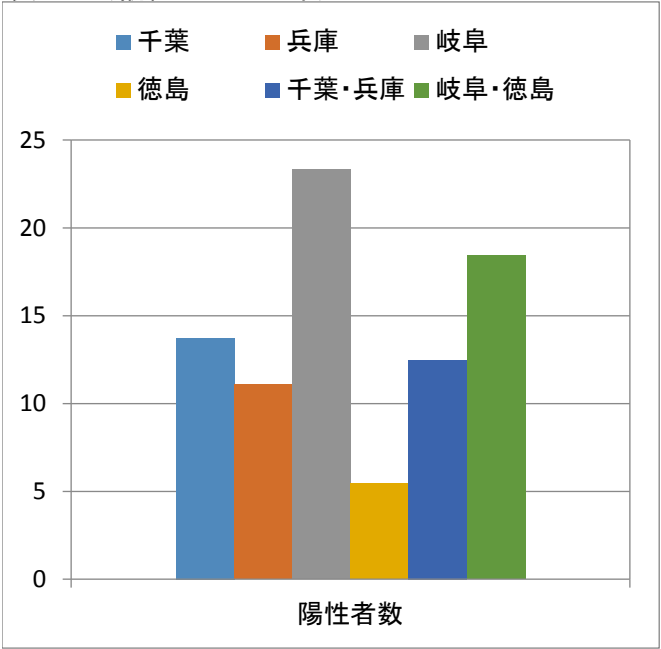


表7-2（縦軸:10万人年）

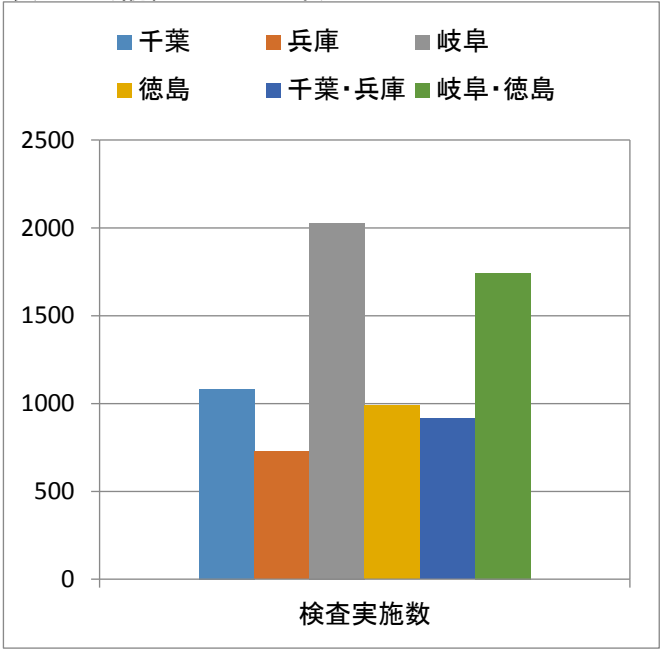


表7-3（縦軸:陽性率）

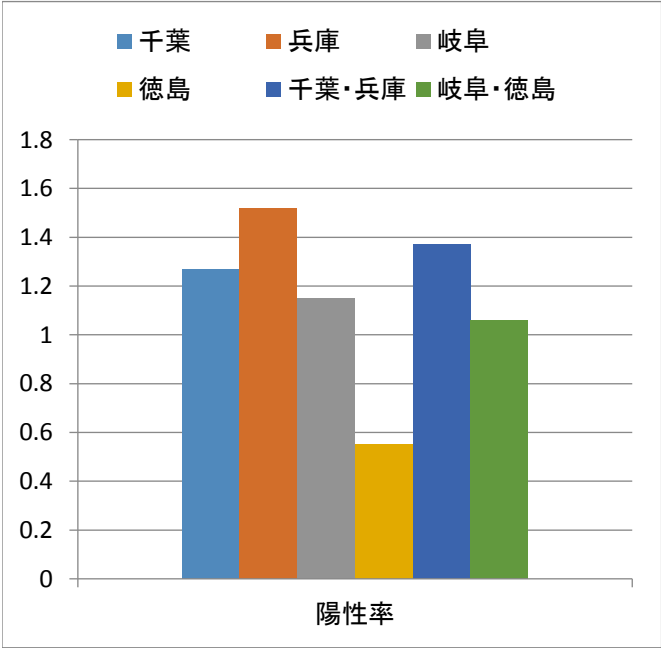


表7-4（縦軸:調整陽性率）

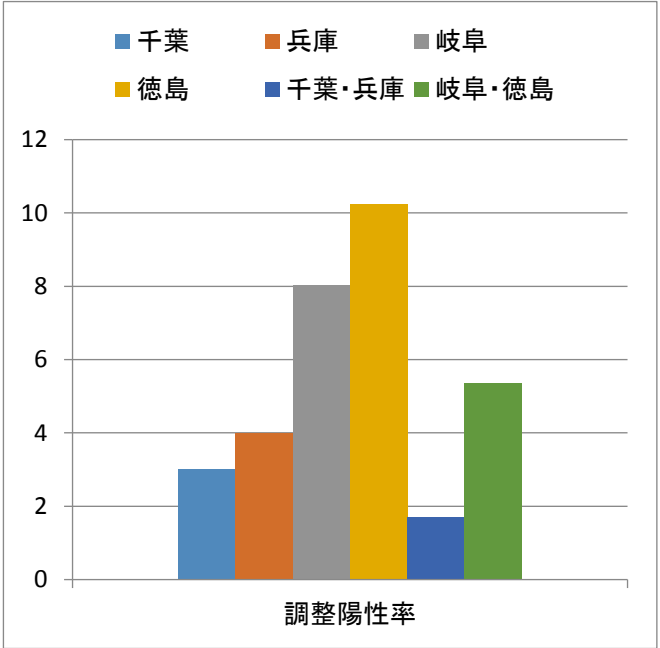


表8-1（縦軸:10万人年）

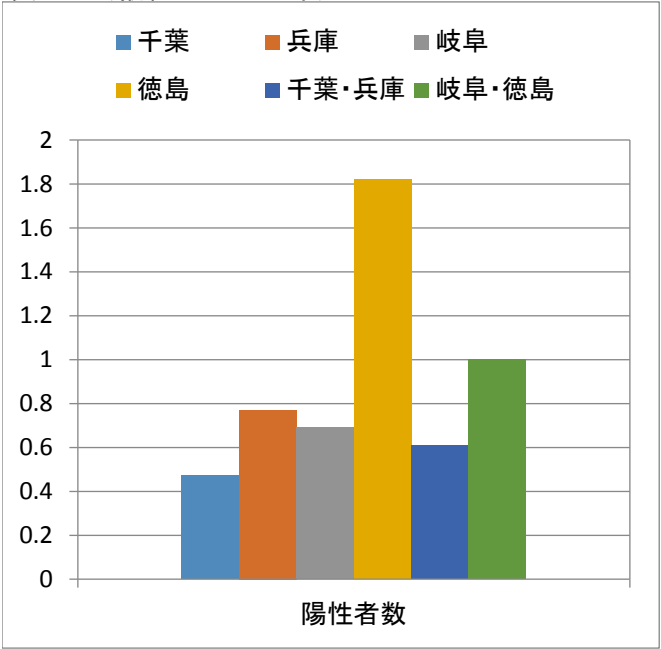


表8-2（縦軸:10万人年）

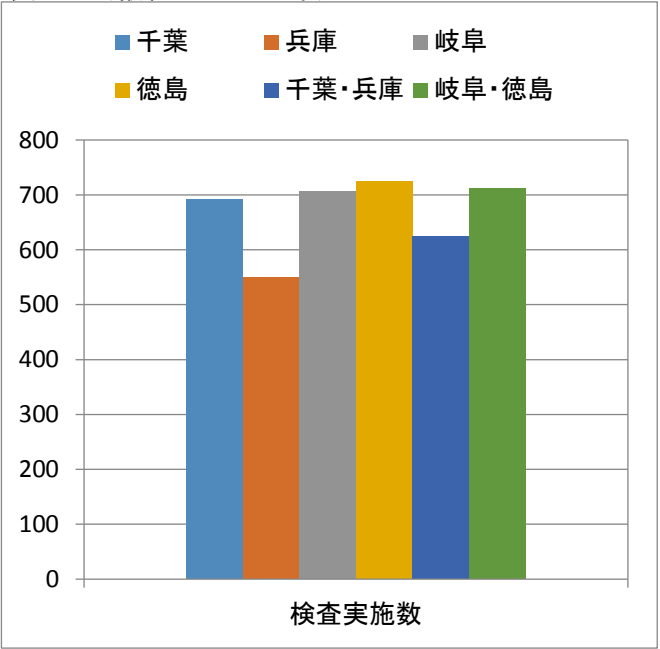


表8-3（縦軸:陽性率）

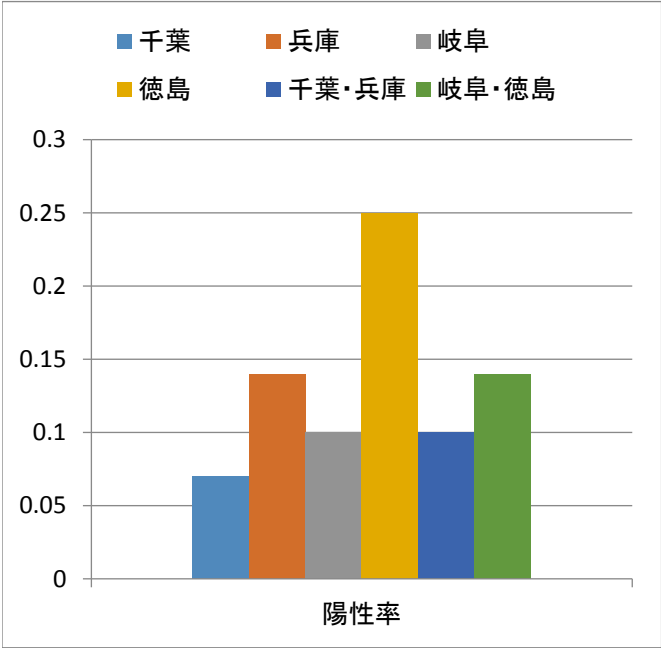


表8-4（縦軸:調整陽性率）

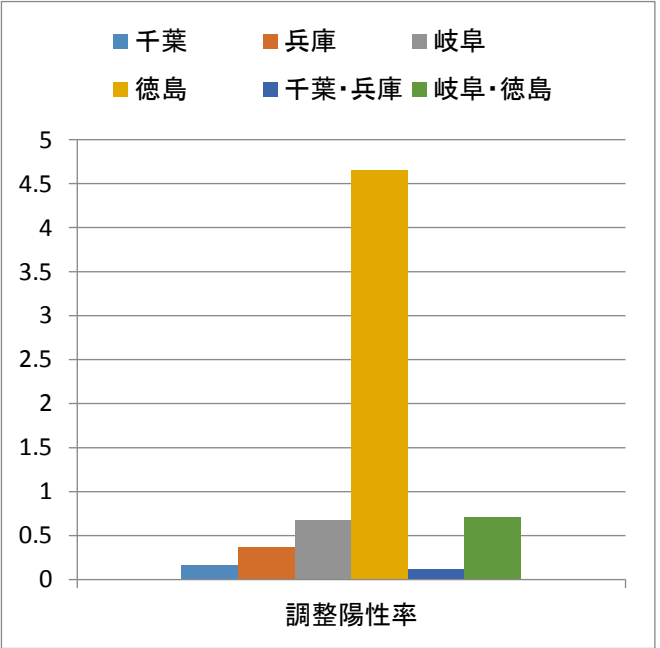


表9-1（縦軸:10万人年）

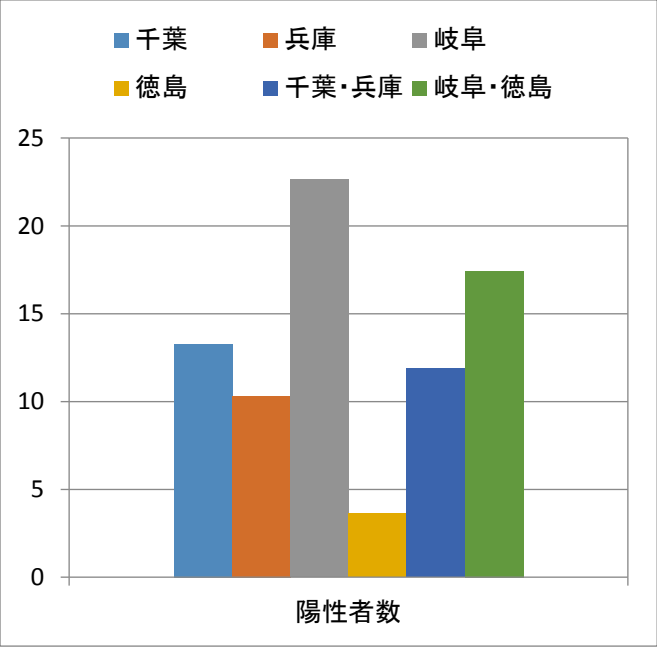


表9-2（縦軸:10万人年）

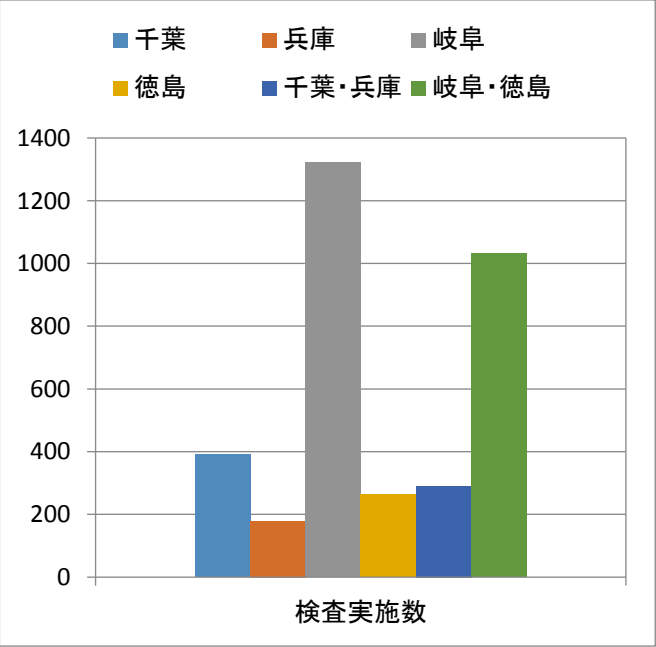


表9-3（縦軸:陽性率）

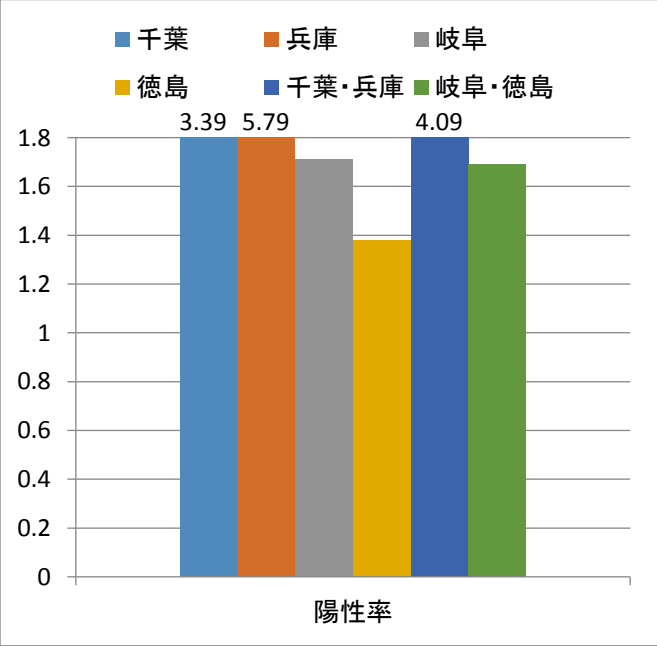


表9-4（縦軸:調整陽性率）

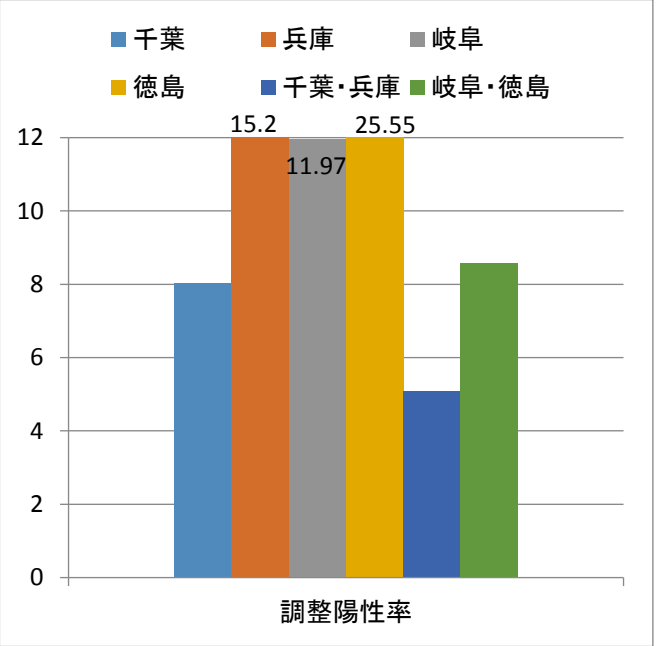


表1-1（縦軸：10万人年）

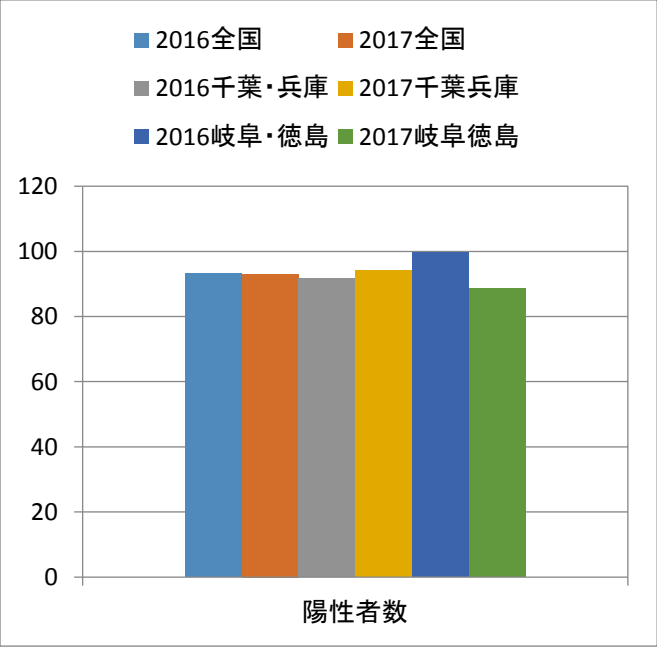


表1-2（縦軸：10万人年）

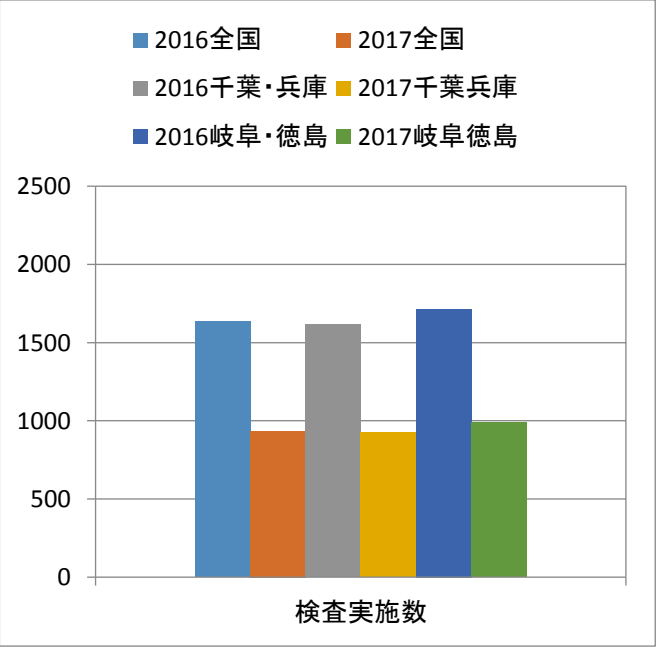


表1-3（縦軸：陽性率）

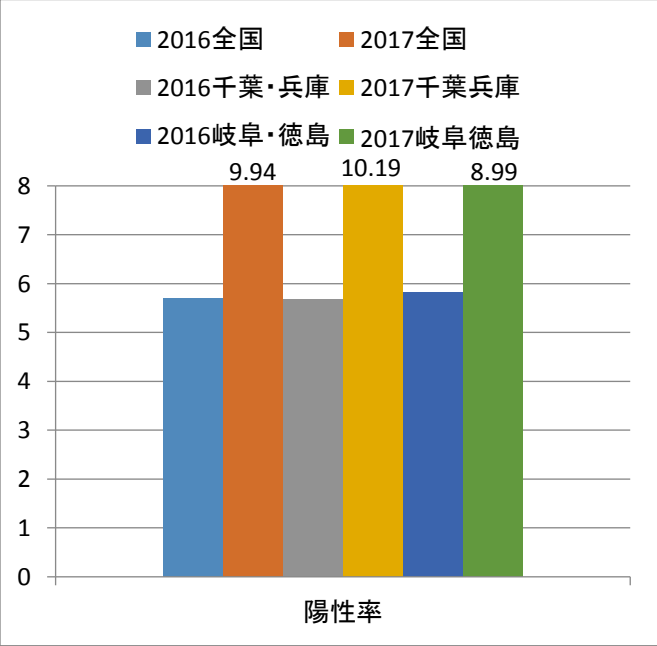


表1-4（縦軸：調整陽性率）

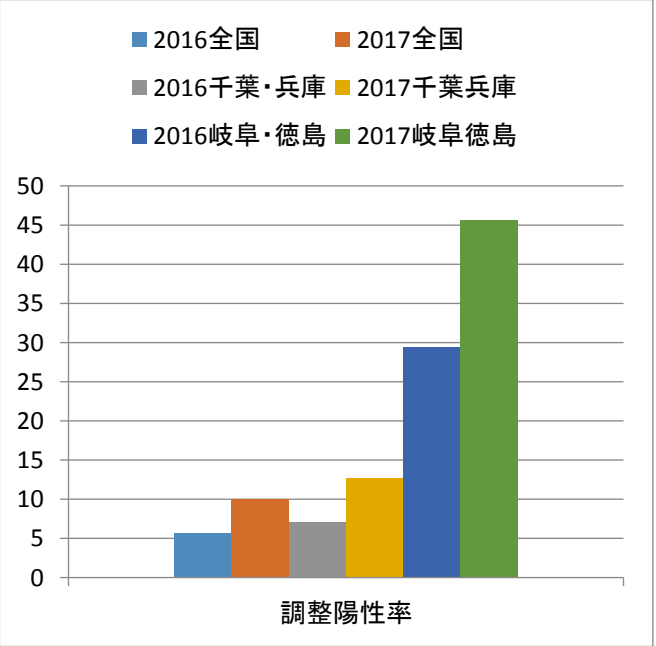


表2-1 (縦軸:10万人年)

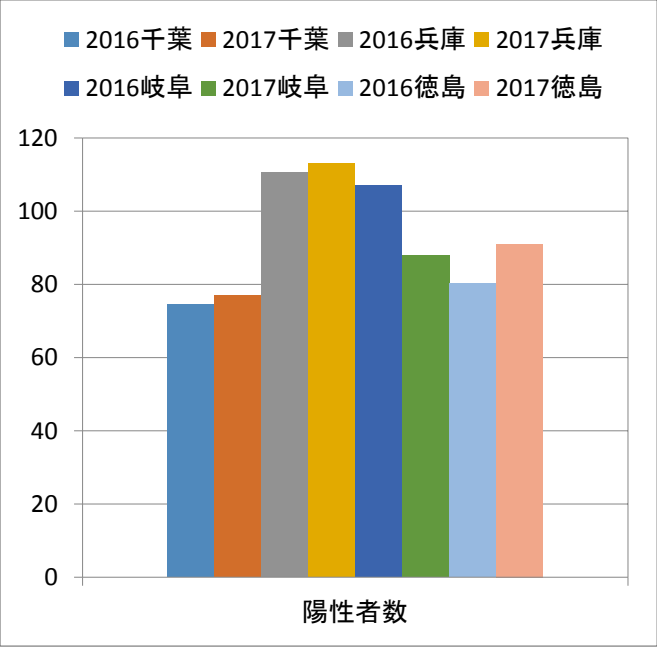


表2-2 (縦軸:10万人年)

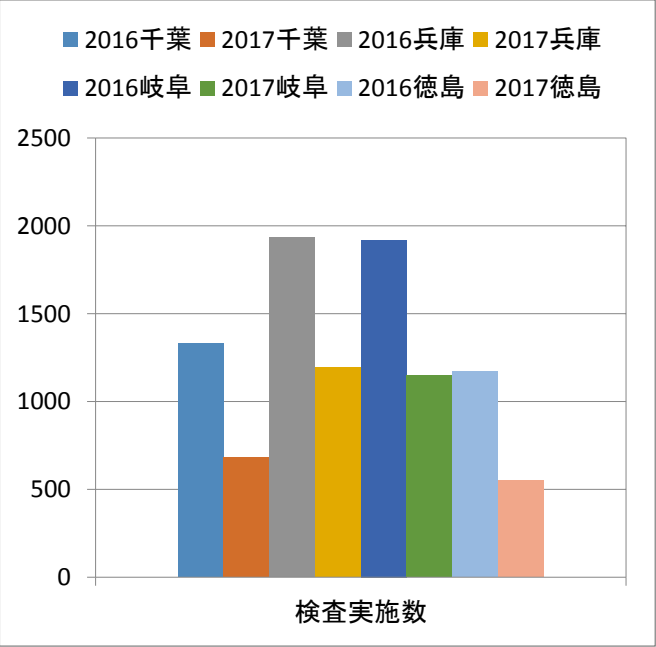


表2-3 (縦軸:陽性率)

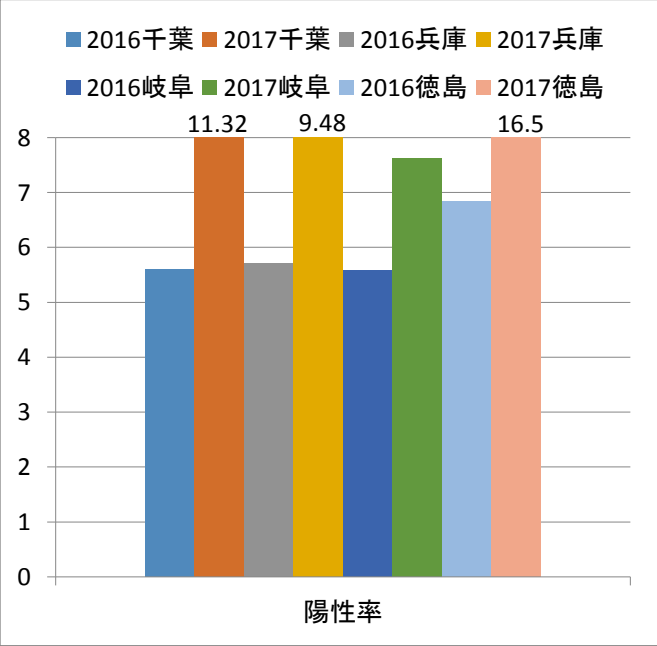


表2-4 (縦軸:調整陽性率)

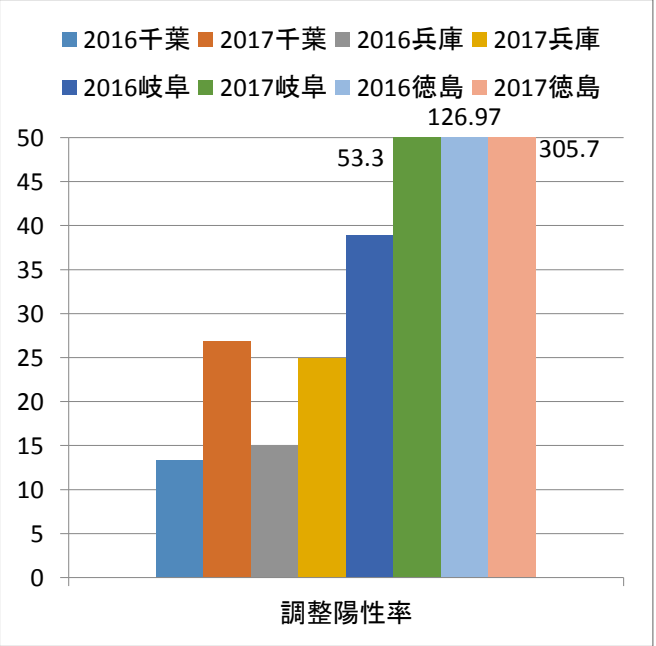


表3-1（縦軸：10万人年）

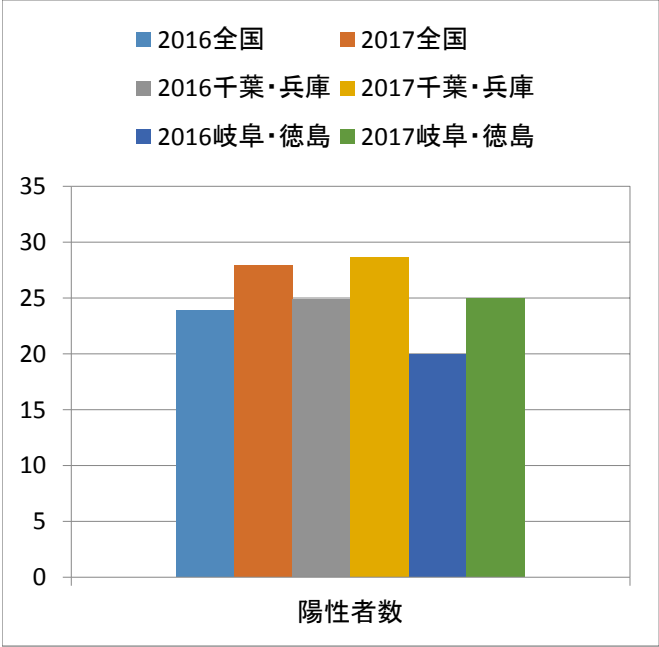


表3-2（縦軸：10万人年）

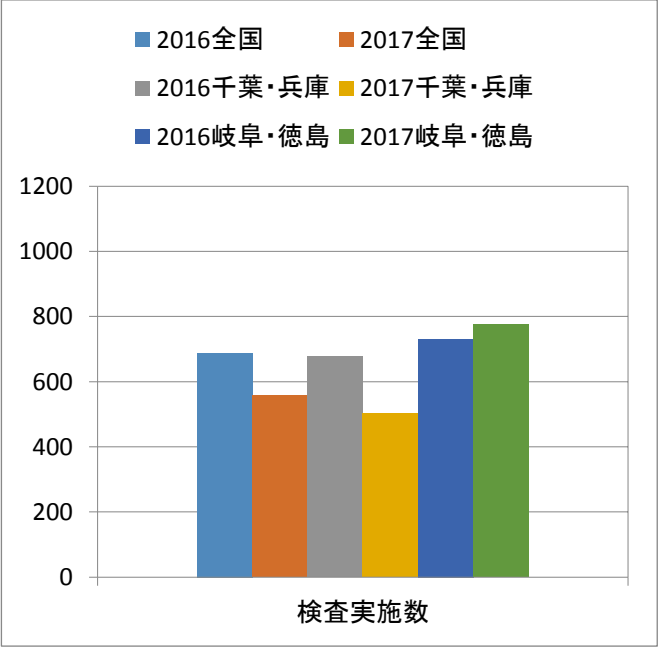


表3-3（縦軸：陽性率）

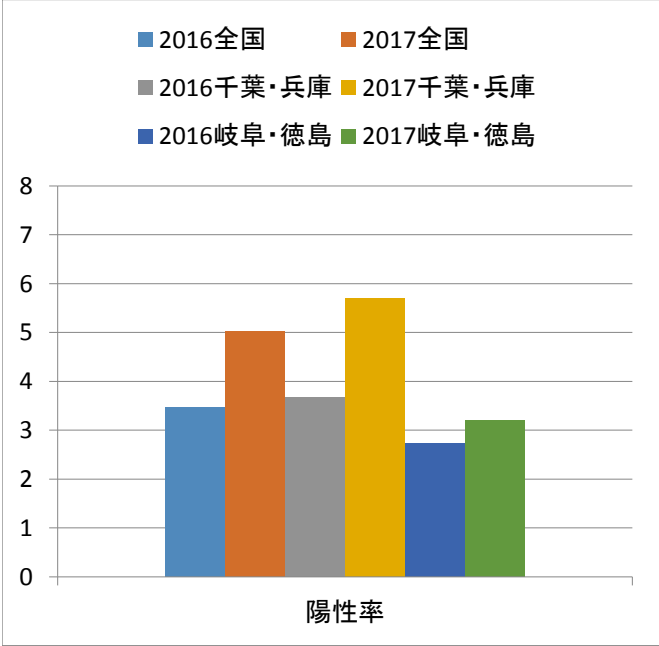


表3-4（縦軸：調整陽性率）

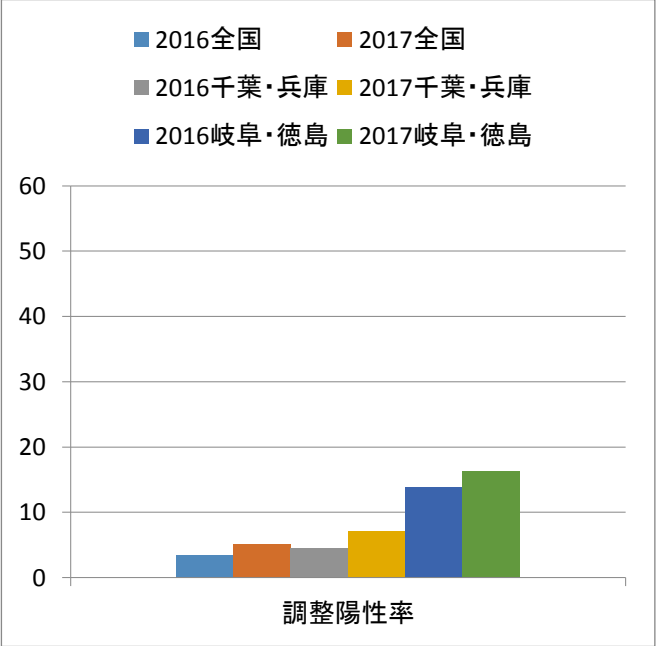


表4-1 (縦軸:10万人年)

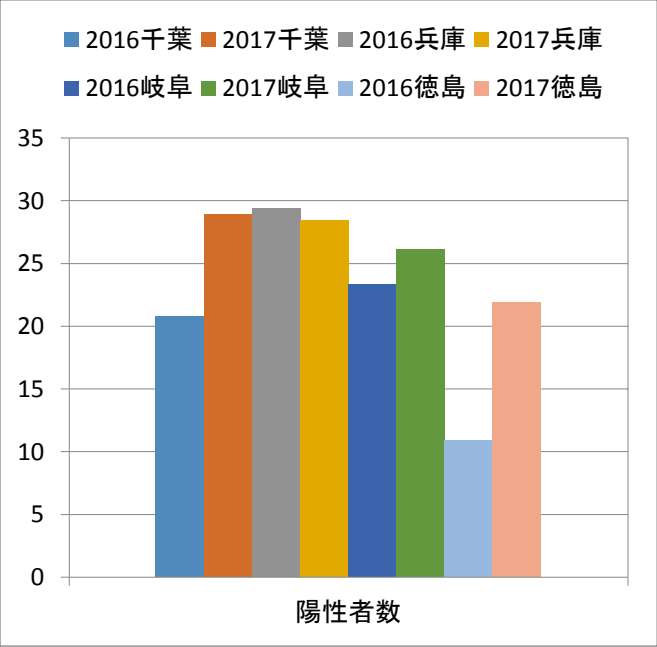


表4-2 (縦軸:10万人年)

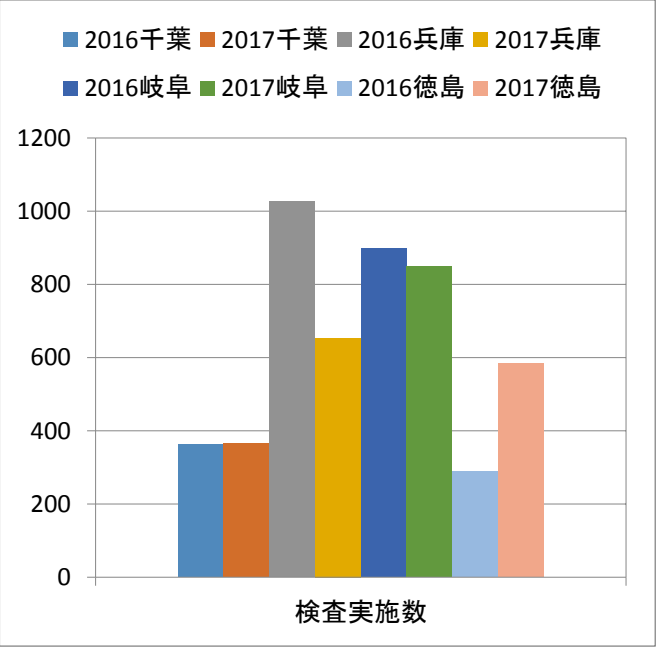


表4-3 (縦軸:陽性率)

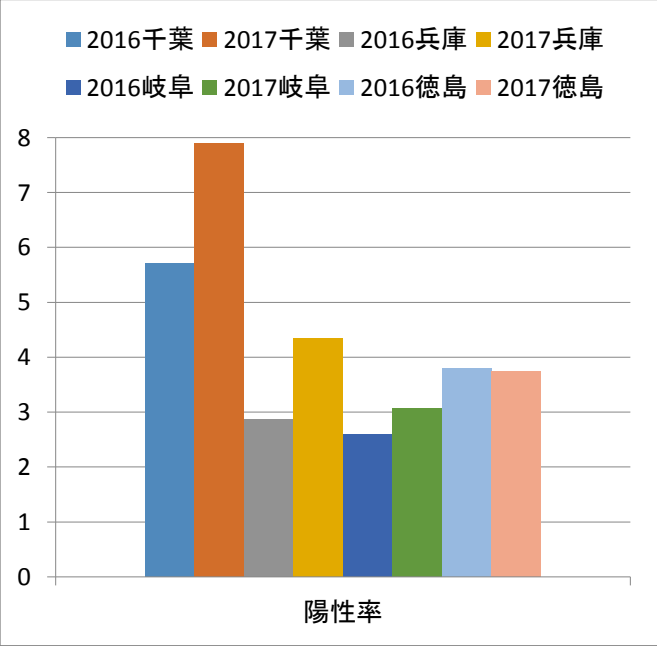


表4-4 (縦軸:調整陽性率)

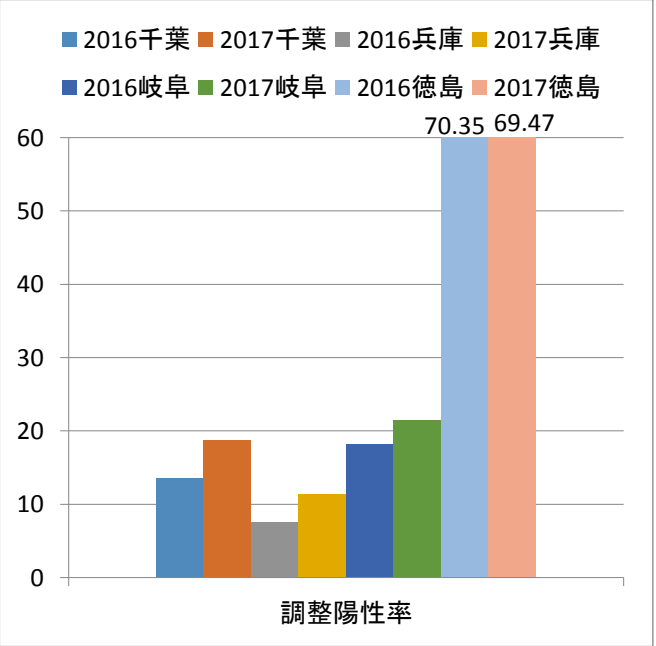


表5-1（縦軸：10万人年）

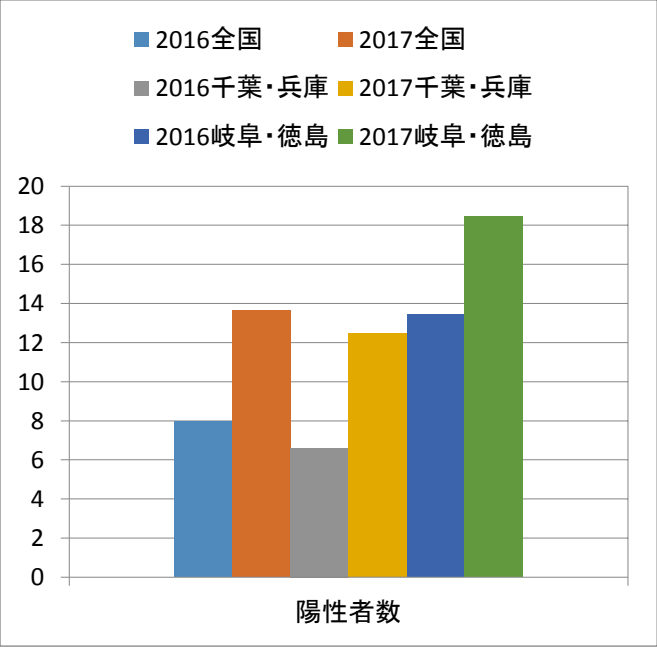


表5-2（縦軸：10万人年）

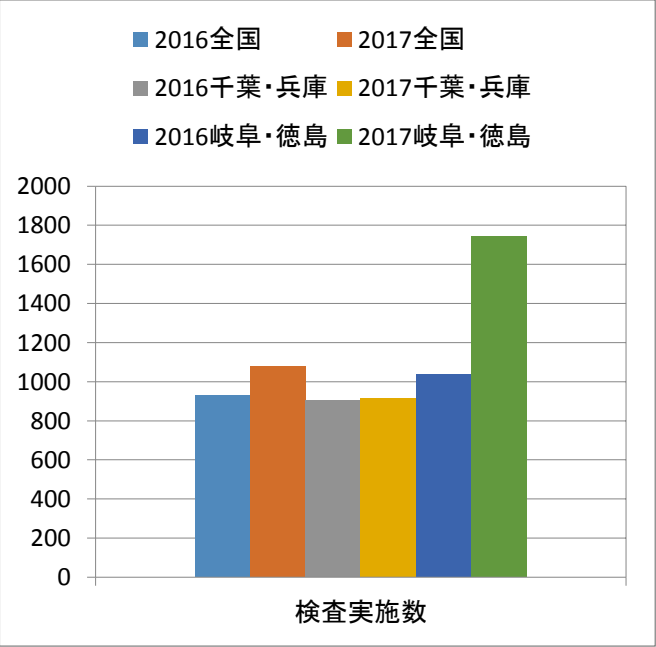


表5-3（縦軸：陽性率）

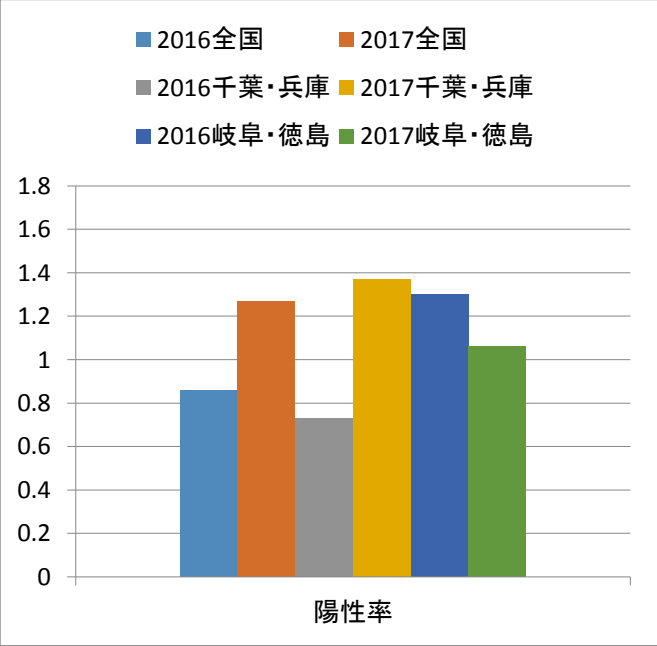
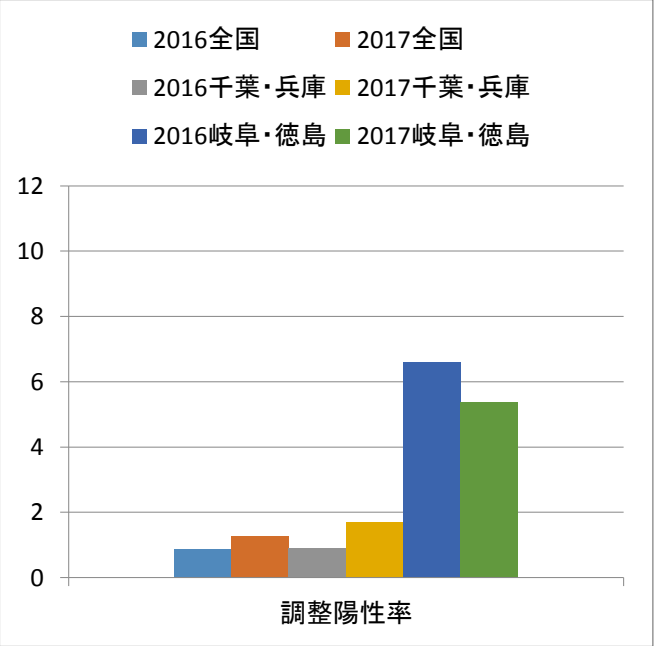


表5-4（縦軸：調整陽性率）



梅毒総数 (2)

表6-1 (縦軸:10万人年)

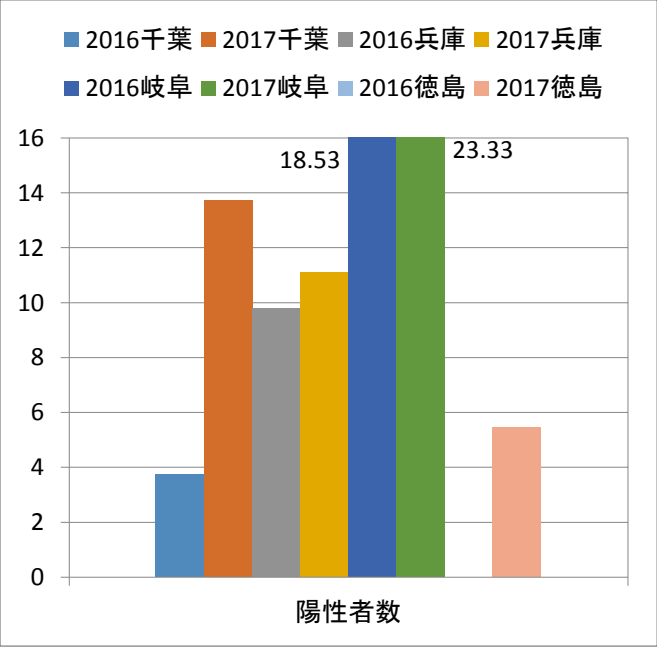


表6-2 (縦軸:10万人年)

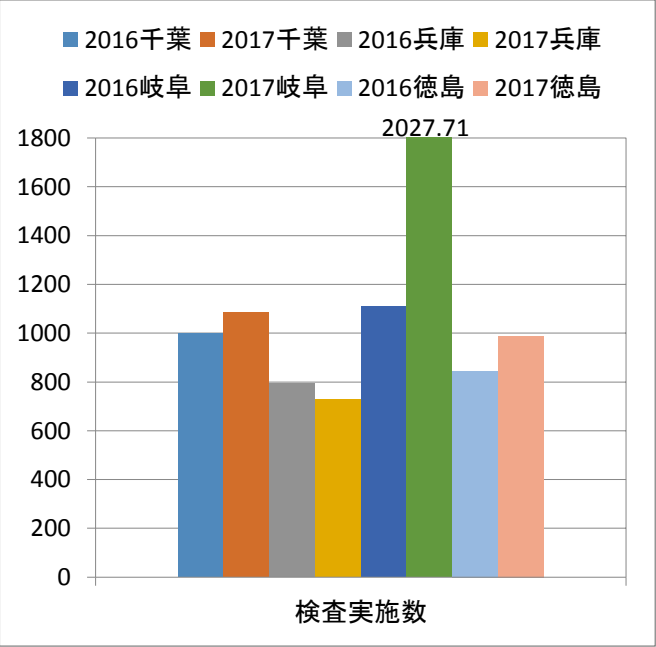


表6-3 (縦軸:陽性率)

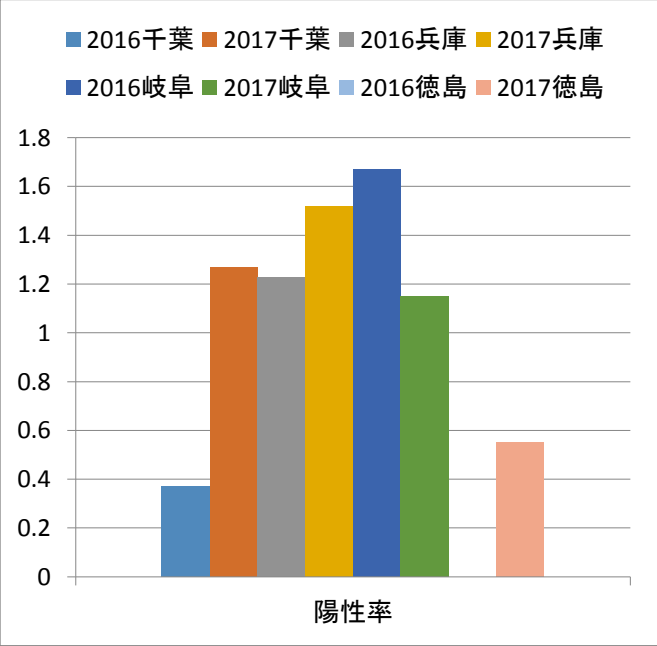
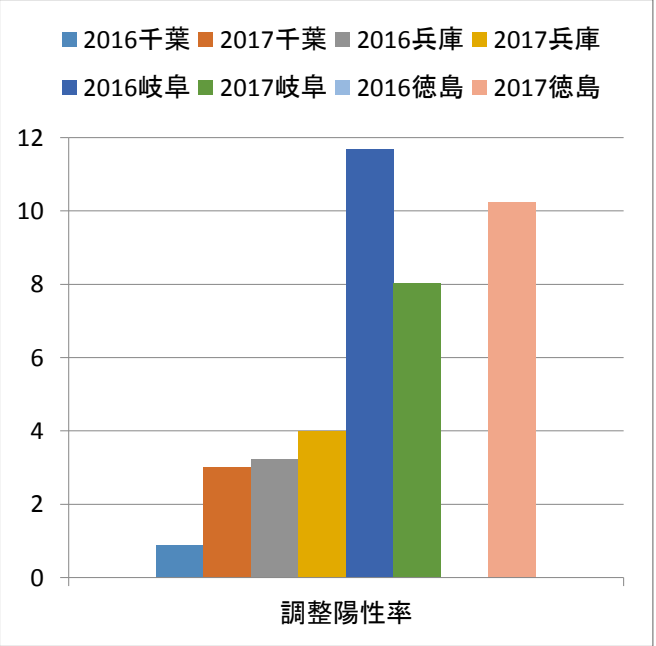


表6-4 (縦軸:調整陽性率)



県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)

地域	年齢	全STD(件数)				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 総計				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 症候性				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 無症候性							
		報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対							
		推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間						
99.4県 男 配偶あり	0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+								
		1022	0	0.0		0	0.0			0	0.0			0	0.0		0	0.0						
		19442	8	500.6	401.2	600.1	6	375.5	289.4	461.6	5	312.9	234.3	391.5	20	1	62.6	27.4	97.7					
		108312	32	359.5	323.8	395.2	14	157.3	133.6	180.9	7	78.6	61.9	95.3	25	7	78.6	61.9	95.3					
		237075	72	369.5	345.0	394.0	28	143.7	128.4	159.0	19	97.5	84.9	110.1	30	9	46.2	37.5	54.8					
		351873	79	273.2	255.9	290.4	34	117.6	106.2	128.9	21	72.6	63.7	81.5	35	13	44.9	37.9	52.0					
		342694	66	234.3	218.1	250.5	12	42.6	35.7	49.5	10	35.5	29.2	41.8	40	2	7.1	4.3	9.9					
		329232	60	221.7	205.6	237.8	15	55.4	47.4	63.5	13	48.0	40.6	55.5	45	2	7.4	4.5	10.3					
		320783	45	170.7	156.4	185.0	14	53.1	45.1	61.1	50	13	49.3	41.6	57.0	50	1	3.8	1.7	5.9				
		377088	40	129.1	117.6	140.5	55	10	32.3	26.5	38.0	55	8	25.8	20.7	30.9	55	2	6.5	3.9	9.0			
		470941	18	46.5	40.3	52.7	60	4	10.3	7.4	13.2	60	4	10.3	7.4	13.2	60	0	0.0					
		1176395	25	25.9	23.0	28.8	65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	0	0.0							
	計	3734857	445	145.0	141.1	148.8	計	137	44.6	42.5	46.8	計	100	32.6	30.7	34.4	計	37	12.1	10.9	13.2			
99.4県 男 配偶なし	0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+								
		349127	41	142.9	130.3	155.4	15	17	59.2	51.2	67.3	15	14	48.8	41.5	56.1	15	3	10.5	7.1	13.8			
		336939	176	635.5	608.6	662.4	20	75	270.8	253.3	288.4	20	58	209.4	194.0	224.9	20	17	61.4	53.0	69.8			
		288160	179	755.8	724.0	787.5	25	61	257.6	239.0	276.1	25	45	190.0	174.1	205.9	25	16	67.6	58.1	77.0			
		223719	93	505.8	476.3	535.2	30	37	201.2	182.6	219.8	30	30	163.2	146.4	179.9	30	7	38.1	30.0	46.2			
		212814	42	240.1	219.3	260.9	35	8	45.7	36.7	54.8	35	7	40.0	31.5	48.5	35	1	5.7	2.5	8.9			
		159246	35	267.4	242.0	292.8	40	12	91.7	76.8	106.6	40	10	76.4	62.8	90.0	40	2	15.3	9.2	21.4			
		120726	30	302.3	271.3	333.4	45	4	40.3	29.0	51.6	45	4	40.3	29.0	51.6	45	0	0.0					
		96081	15	189.9	162.4	217.5	50	4	50.7	36.4	64.9	50	4	50.7	36.4	64.9	50	0	0.0					
		98812	3	36.9	25.0	48.9	55	1	12.3	5.4	19.2	55	1	12.3	5.4	19.2	55	0	0.0					
		102523	2	23.7	14.3	33.2	60	0	0.0		60	0	0.0		60	0	0.0							
		247676	9	44.2	35.9	52.5	65+	1	4.9	2.2	7.7	65+	1	4.9	2.2	7.7	65+	0	0.0					
	計	2235823	625	340.1	332.5	347.7	計	220	119.7	115.2	124.3	計	174	94.7	90.7	98.7	計	46	25.0	23.0	27.1			
99.4県 男 計	0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+								
		350149	41	142.5	130.0	155.0	15	17	59.1	51.0	67.1	15	14	48.6	41.3	56.0	15	3	10.4	7.0	13.8			
		356381	184	628.2	602.2	654.2	20	81	276.5	259.3	293.8	20	63	215.1	199.9	230.3	20	18	61.5	53.3	69.6			
		396472	211	647.5	622.5	672.5	25	75	230.2	215.2	245.1	25	52	159.6	147.1	172.0	25	23	70.6	62.3	78.9			
		460794	165	435.7	416.6	454.7	30	65	171.6	159.7	183.6	30	49	129.4	119.0	139.8	30	16	42.2	36.3	48.2			
		564687	121	260.7	247.4	274.0	35	42	90.5	82.6	98.3	35	28	60.3	53.9	66.7	35	14	30.2	25.6	34.7			
		501940	101	244.8	231.1	258.5	40	24	58.2	51.5	64.8	40	20	48.5	42.4	54.6	40	4	9.7	7.0	12.4			
		449958	90	243.4	228.9	257.8	45	19	51.4	44.8	58.0	45	17	46.0	39.7	52.2	45	2	5.4	3.3	7.6			
		416864	60	175.1	162.4	187.8	50	18	52.5	45.6	59.5	50	17	49.6	42.9	56.4	50	1	2.9	1.3	4.6			
		475900	43	109.9	100.5	119.4	55	11	28.1	23.4	32.9	55	9	23.0	18.7	27.3	55	2	5.1	3.1	7.1			
		573464	20	42.4	37.1	47.8	60	4	8.5	6.1	10.9	60	4	8.5	6.1	10.9	60	0	0.0					
		1424071	34	29.0	26.2	31.8	65+	1	0.9	0.4	1.3	65+	1	0.9	0.4	1.3	65+	0	0.0					
	計	5970680	1070	218.0	214.3	221.8	計	357	72.7	70.6	74.9	計	274	55.8	53.9	57.7	計	83	16.9	15.9	18.0			
99.4県 女 配偶あり	0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+								
		1854	14	9187.3	7812.8	10561.9	15	11	7218.6	5999.3	8438.0	15	4	2625.0	1888.3	3361.7	15	7	4593.7	3619.9	5567.4			
		32357	53	1992.9	1839.2	2146.6	20	41	1541.7	1406.5	1676.9	20	11	413.6	343.6	483.7	20	30	1128.0	1012.4	1243.7			
		148366	97	795.4	750.1	840.8	25	55	451.0	416.9	485.2	25	13	106.6	90.0	123.2	25	42	344.4	314.6	374.3			
		286723	113	479.5	454.2	504.8	30	46	195.2	179.0	211.4	30	19	80.6	70.2	91.0	30	27	114.6	102.2	127.0			
		400822	73	221.6	207.0	236.2	35	23	69.8	61.6	78.0	35	7	21.2	16.7	25.8	35	16	48.6	41.7	55.4			
		374832	59	191.5	177.5	205.5	40	14	45.4	38.6	52.3	40	9	29.2	23.7	34.7	40	5	16.2	12.2	20.3			
		354366	42	144.2	131.7	156.7	45	8	27.5	22.0	32.9	45	7	24.0	18.9	29.1	45	1	3.4	1.5	5.4			
		347430	34	119.1	107.6	130.5	50	8	28.0	22.4	33.6	50	3	10.5	7.1	13.9	50	5	17.5	13.1	21.9			
		403877	22	66.3	58.3	74.2	55	2	6.0	3.6	8.4	55	0	0.0		55	2	6.0	3.6	8.4				
		471028	11	28.4	23.6	33.2	60	0	0.0		60	0	0.0		60	0	0.0							
		932906	27	35.2	31.4	39.0	65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	0	0.0							
	計	3754561	545	176.6	172.4	180.9	計	208	67.4	64.8	70.0	計	73	23.7	22.1	25.2	計	135	43.7	41.6	45.9			
99.4県 女 配偶なし	0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+								
		332608	114	417.0	395.1	438.9	15	81	296.3	277.8	314.8	15	42	153.6	140.3	167.0	15	39	142.7	129.8	155.5			
		321947	338	1277.3	1238.3	1316.4	20	197	744.5	714.7	774.3	20	101	381.7	360.4	403.0	20	96	362.8	342.0	383.6			
		249962	196	954.0	915.7	992.3	25	98	477.0	449.9	504.1	25	54	262.8	242.7	282.9	25	44	214.2	196.0	232.3			
		175860	85	588.1	552.2	623.9	30	39	269.8	245.5	294.1	30	16	110.7	95.1	126.2	30	23	159.1	140.5	177.8			
		160652	49	371.1	341.3	400.9	35	20	151.5	132.4	170.5	35	9	68.2	55.4	80.9	35	11	83.3	69.2	97.4			
		125132	27	262.5	234.1	290.9	40	8	77.8	62.3	93.2	40	2	19.4	11.7	27.2	40	6	58.3	45.0	71.7			
		99297	20	245.1	214.3	275.8	45	2	24.5	14.8	34.2													

地域	年齢	非淋菌性非クラミジア性尿道炎・咽				年齢	淋菌性尿道炎・咽管炎				年齢	性器ヘルペス				年齢	人口	尖圭コンジローマ			
		報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対						報告数 人口10万対			
		推定値		95%信頼区間			推定値		95%信頼区間			推定値		95%信頼区間				推定値		95%信頼区間	
99 4県 男 配偶あり	0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+				0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+					0-5-10-15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+						
	計	127	41.4	39.3	43.4	計	61	19.9	18.4	21.3	計	55	17.9	16.6	19.3	計	3734857	50	16.3	15.0	17.6
	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	0162.627.497.720-9101.182.2120.025-1892.480.1104.630-1862.254.070.535-2588.878.898.740-1866.557.775.345-1141.734.748.850-1445.238.452.055-820.716.624.860-55.23.96.565+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	0162.627.497.720-222.513.531.425-1051.342.260.430-1241.534.848.235-1346.239.053.340-933.327.039.545-622.817.528.050-722.617.827.455-00.060-11.00.51.665+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	300.00.00.011.49.413.365+11.49.413.365+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.012.35.419.255-00.00.010.011.49.413.365+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.012.35.419.255-00.00.010.011.49.413.365+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.012.35.419.255-00.00.010.011.49.413.365+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.012.35.419.255-00.00.010.011.49.413.365+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.012.35.419.255-00.00.010.011.49.413.365+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.012.35.419.255-00.00.010.011.49.413.365+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.012.35.419.255-00.00.010.011.49.413.365+	
	計	127	41.4	39.3	43.4	計	61	19.9	18.4	21.3	計	55	17.9	16.6	19.3	計	3734857	50	16.3	15.0	17.6
	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	1034.828.741.015-36130.0117.8142.220-58244.9226.8263.025-29157.7141.3174.230-1057.247.067.335-861.149.073.340-770.555.685.545-563.347.479.250-112.35.419.255-011.95.218.560-00.065+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	931.425.537.215-47169.7155.8183.620-29122.4109.7135.225-1687.074.899.230-1057.247.067.335-753.542.164.840-110.14.415.745-450.736.464.950-00.055-011.95.218.560-00.065+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.57.113.815-518.113.522.620-1354.946.363.425-527.220.434.030-317.211.622.735-322.915.530.440-770.555.685.545-00.055-012.35.419.255-00.060-14.92.27.765+24.7676	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.57.113.815-518.113.522.620-1354.946.363.425-527.220.434.030-317.211.622.735-322.915.530.440-770.555.685.545-00.055-012.35.419.255-00.060-14.92.27.765+24.7676	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.57.113.815-518.113.522.620-1354.946.363.425-527.220.434.030-317.211.622.735-322.915.530.440-770.555.685.545-00.055-012.35.419.255-00.060-14.92.27.765+24.7676	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.57.113.815-518.113.522.620-1354.946.363.425-527.220.434.030-317.211.622.735-322.915.530.440-770.555.685.545-00.055-012.35.419.255-00.060-14.92.27.765+24.7676	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.57.113.815-518.113.522.620-1354.946.363.425-527.220.434.030-317.211.622.735-322.915.530.440-770.555.685.545-00.055-012.35.419.255-00.060-14.92.27.765+24.7676	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.57.113.815-518.113.522.620-1354.946.363.425-527.220.434.030-317.211.622.735-322.915.530.440-770.555.685.545-00.055-012.35.419.255-00.060-14.92.27.765+24.7676	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.57.113.815-518.113.522.620-1354.946.363.425-527.220.434.030-317.211.622.735-322.915.530.440-770.555.685.545-00.055-012.35.419.255-00.060-14.92.27.765+24.7676			
	計	165	89.8	85.9	93.7	計	124	67.5	64.1	70.9	計	41	22.3	20.4	24.3	計	2235823	52	28.3	26.1	30.5
	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	1034.728.640.915-37126.3114.6138.020-67205.6191.5219.725-47124.1113.9134.330-2860.353.966.735-3380.072.287.840-2567.660.075.245-1646.740.153.350-1538.332.843.955-919.115.522.760-54.33.25.365+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	931.325.437.115-48163.9150.6177.220-3195.185.5104.725-2668.661.176.230-2247.441.753.135-2048.542.454.640-1027.022.231.845-1029.224.034.450-717.914.121.755-12.10.93.360-10.90.41.365+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.47.013.815-517.112.821.420-1546.039.452.725-1129.024.134.030-817.213.820.735-1024.219.928.540-1746.039.752.245-617.513.521.550-717.914.121.755-24.22.65.960-1210.38.611.965+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.47.013.815-517.112.821.420-1546.039.452.725-1129.024.134.030-817.213.820.735-1024.219.928.540-1746.039.752.245-617.513.521.550-717.914.121.755-24.22.65.960-1210.38.611.965+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.47.013.815-517.112.821.420-1546.039.452.725-1129.024.134.030-817.213.820.735-1024.219.928.540-1746.039.752.245-617.513.521.550-717.914.121.755-24.22.65.960-1210.38.611.965+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.47.013.815-517.112.821.420-1546.039.452.725-1129.024.134.030-817.213.820.735-1024.219.928.540-1746.039.752.245-617.513.521.550-717.914.121.755-24.22.65.960-1210.38.611.965+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.47.013.815-517.112.821.420-1546.039.452.725-1129.024.134.030-817.213.820.735-1024.219.928.540-1746.039.752.245-617.513.521.550-717.914.121.755-24.22.65.960-1210.38.611.965+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.47.013.815-517.112.821.420-1546.039.452.725-1129.024.134.030-817.213.820.735-1024.219.928.540-1746.039.752.245-617.513.521.550-717.914.121.755-24.22.65.960-1210.38.611.965+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	310.47.013.815-517.112.821.420-1546.039.452.725-1129.024.134.030-817.213.820.735-1024.219.928.540-1746.039.752.245-617.513.521.550-717.914.121.755-24.22.65.960-1210.38.611.965+			
	計	292	59.5	57.5	61.5	計	185	37.7	36.1	39.3	計	96	19.6	18.4	20.7	計	5970680	102	20.8	19.6	21.9
	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	21312.5791.31833.720-00.020-22180.4158.8202.025-2293.482.2104.530-2060.753.168.335-1135.729.741.840-1137.831.444.245-621.016.225.850-26.03.68.455-25.23.17.260-33.92.65.265+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.0112.876.2149.420-324.616.632.625-521.215.926.530-39.16.212.135-26.53.99.140-00.045-27.04.29.850-26.03.68.455-00.060-11.30.62.065+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.0150.4108.2192.720-4106.690.0123.225-26110.398.2122.530-1854.647.461.935-2890.981.2100.540-1861.853.670.045-1552.544.960.150-1545.238.651.755-923.218.927.660-2228.725.332.165+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.0150.4108.2192.720-4106.690.0123.225-26110.398.2122.530-1854.647.461.935-2890.981.2100.540-1861.853.670.045-1552.544.960.150-1545.238.651.755-923.218.927.660-2228.725.332.165+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.0150.4108.2192.720-4106.690.0123.225-26110.398.2122.530-1854.647.461.935-2890.981.2100.540-1861.853.670.045-1552.544.960.150-1545.238.651.755-923.218.927.660-2228.725.332.165+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.0150.4108.2192.720-4106.690.0123.225-26110.398.2122.530-1854.647.461.935-2890.981.2100.540-1861.853.670.045-1552.544.960.150-1545.238.651.755-923.218.927.660-2228.725.332.165+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.0150.4108.2192.720-4106.690.0123.225-26110.398.2122.530-1854.647.461.935-2890.981.2100.540-1861.853.670.045-1552.544.960.150-1545.238.651.755-923.218.927.660-2228.725.332.165+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.0150.4108.2192.720-4106.690.0123.225-26110.398.2122.530-1854.647.461.935-2890.981.2100.540-1861.853.670.045-1552.544.960.150-1545.238.651.755-923.218.927.660-2228.725.332.165+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	00.00.00.0150.4108.2192.720-4106.690.0123.225-26110.398.2122.530-1854.647.461.935-2890.981.2100.540-1861.853.670.045-1552.544.960.150-1545.238.651.755-923.218.927.660-2228.725.332.165+			
	計	101	32.7	30.9	34.6	計	21	6.8	6.0	7.6	計	168	54.4	52.1	56.8	計	3754581	32	10.4	9.3	11.4
	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	414.610.518.715-2594.583.9105.120-1573.062.483.625-1283.069.696.530-537.928.447.435-219.411.727.240-336.824.848.745-114.86.523.250-113.05.720.355-00.060-00.065+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	932.926.839.115-2386.976.797.120-1048.740.057.325-320.814.027.530-17.63.311.835-19.74.315.240-112.35.419.145-00.050-113.05.720.355-00.060-00.065+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	1347.640.155.015-52196.5181.2211.820-43209.3191.4227.225-19131.4114.5148.430-16121.2104.2138.235-11107.088.8125.140-898.078.5117.545-229.717.941.450-452.037.466.655-218.711.326.160-1115.112.617.765+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	1347.640.155.015-52196.5181.2211.820-43209.3191.4227.225-19131.4114.5148.430-16121.2104.2138.235-11107.088.8125.140-898.078.5117.545-229.717.941.450-452.037.466.655-218.711.326.160-1115.112.617.765+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	1347.640.155.015-52196.5181.2211.820-43209.3191.4227.225-19131.4114.5148.430-16121.2104.2138.235-11107.088.8125.140-898.078.5117.545-229.717.941.450-452.037.466.655-218.711.326.160-1115.112.617.765+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	1347.640.155.015-52196.5181.2211.820-43209.3191.4227.225-19131.4114.5148.430-16121.2104.2138.235-11107.088.8125.140-898.078.5117.545-229.717.941.450-452.037.466.655-218.711.326.160-1115.112.617.765+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	1347.640.155.015-52196.5181.2211.820-43209.3191.4227.225-19131.4114.5148.430-16121.2104.2138.235-11107.088.8125.140-898.078.5117.545-229.717.941.450-452.037.466.655-218.711.326.160-1115.112.617.765+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	1347.640.155.015-52196.5181.2211.820-43209.3191.4227.225-19131.4114.5148.430-16121.2104.2138.235-11107.088.8125.140-898.078.5117.545-229.717.941.450-452.037.466.655-218.711.326.160-1115.112.617.765+	15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65+	1347.640.155.015-52196.5181.2211.820-43209.3191.4227.225-19131.4114.5148.430-16121.2104.2138.235-11107.088.8125.140-898.078.5117.545-229.717.941.450-452.037.466.655-218.711.3			

146

県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)

地域	年齢	全STD(件数)				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 総計				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 症候性				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 無症候				
		報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対				
		推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間			
県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)																					
98 千葉兵庫 0-男 配偶あり	0-5					0-5					0-5					0-5					
	5-10					5-10					5-10					5-10					
	10-15	831	0	0.0	15-	0	0.0	15-	0	0.0	15-	0	0.0	15-	0	0.0	15-	0	0.0		
	15-20	15483	7	550.1	433.3	668.9	20-	6	471.5	363.3	579.6	20-	5	392.9	294.2	491.6	20-	1	78.6	34.4	122.7
	20-25	87023	25	349.5	310.2	388.5	25-	11	153.8	127.7	179.8	25-	6	83.9	64.6	103.1	25-	5	69.9	52.3	87.5
	25-30	191785	55	348.9	322.5	375.3	30-	22	139.6	122.8	156.3	30-	14	88.8	75.5	102.2	30-	8	50.8	40.7	60.8
	30-35	287418	66	279.4	260.1	298.7	35-	28	118.5	105.9	131.1	35-	16	67.7	58.2	77.2	35-	12	50.8	42.6	59.0
	35-40	281603	54	233.3	215.5	251.1	40-	9	38.9	31.6	46.2	40-	7	30.2	23.8	36.7	40-	2	8.6	5.2	12.1
	40-45	266118	40	182.9	166.6	199.1	45-	9	41.1	33.4	48.9	45-	7	32.0	25.2	38.8	45-	2	9.1	5.5	12.8
	45-50	254437	33	157.8	142.4	173.2	50-	9	43.0	35.0	51.1	50-	8	38.3	30.7	45.9	50-	1	4.8	2.1	7.5
	50-55	298045	34	138.8	125.4	152.2	55-	10	40.8	33.6	48.1	55-	8	32.7	26.2	39.1	55-	2	8.2	4.9	11.4
	55-60	373039	12	39.1	32.8	45.5	60-	4	13.0	9.4	16.7	60-	4	13.0	9.4	16.7	60-	0	0.0		
	60-65+	926520	17	22.3	19.3	25.4	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	2982302	343	139.9	135.7	144.2	計	108	44.1	41.7	46.4	計	75	30.6	28.6	32.6	計	33	13.5	12.1	14.8
	98 千葉兵庫 0-男 配偶なし	0-5					0-5					0-5					0-5				
5-10						5-10					5-10					5-10					
10-15		279923	34	147.8	133.5	162.0	15-	15	65.2	55.7	74.7	15-	12	52.2	43.7	60.6	15-	3	13.0	8.8	17.3
15-20		276466	142	624.9	595.5	654.2	20-	60	264.0	244.9	283.2	20-	47	206.8	189.9	223.5	20-	13	57.2	48.3	66.1
20-25		236330	130	669.3	636.3	702.2	25-	47	242.0	221.1	261.8	25-	33	169.9	153.3	186.8	25-	14	72.1	61.3	82.9
25-30		183774	75	496.5	464.3	528.7	30-	29	192.0	172.0	212.0	30-	24	158.9	140.7	177.1	30-	5	33.1	24.8	41.4
30-35		176668	31	213.5	191.9	235.0	35-	5	34.4	25.8	43.1	35-	5	34.4	25.8	43.1	35-	0	0.0		
35-40		132549	28	257.0	229.7	284.3	40-	9	82.6	67.1	98.1	40-	8	73.4	58.8	88.0	40-	1	9.2	4.0	14.3
40-45		99671	29	354.0	317.1	399.0	45-	4	48.8	35.1	62.5	45-	4	48.8	35.1	62.5	45-	0	0.0		
45-50		78384	11	170.7	141.8	199.7	50-	3	46.6	31.5	61.7	50-	3	46.6	31.5	61.7	50-	0	0.0		
50-55		80772	3	45.2	30.5	59.8	55-	1	15.1	6.6	23.5	55-	1	15.1	6.6	23.5	55-	0	0.0		
55-60		84505	2	28.8	17.4	40.2	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
60-65+		197661	8	49.2	39.5	59.0	65+	1	6.2	2.7	9.6	65+	1	6.2	2.7	9.6	65+	0	0.0		
計		1826703	493	328.4	320.1	336.7	計	174	115.9	111.0	120.8	計	138	91.9	87.5	96.3	計	36	24.0	21.7	26.2
98 千葉兵庫 0-男 計		0-5					0-5					0-5					0-5				
	5-10					5-10					5-10					5-10					
	10-15	280754	34	147.3	133.1	161.5	15-	15	65.0	55.6	74.4	15-	12	52.0	43.6	60.4	15-	3	13.0	8.8	17.2
	15-20	291949	149	620.9	592.4	649.5	20-	66	275.0	256.0	294.1	20-	52	216.7	199.8	233.6	20-	14	58.3	49.6	67.1
	20-25	323353	155	583.2	556.9	609.5	25-	58	218.2	202.1	234.3	25-	39	146.7	133.5	159.9	25-	19	71.5	62.3	80.7
	25-30	375559	130	421.1	400.4	441.9	30-	51	165.2	152.2	178.2	30-	38	123.1	111.9	134.3	30-	13	42.1	35.6	48.7
	30-35	464086	97	254.3	239.8	268.8	35-	33	86.5	78.1	95.0	35-	21	55.1	48.3	61.8	35-	12	31.5	26.4	36.6
	35-40	414152	82	240.9	225.9	255.8	40-	18	52.9	45.9	59.9	40-	15	44.1	37.7	50.5	40-	3	8.8	6.0	11.7
	40-45	365789	69	229.5	214.0	245.0	45-	13	43.2	36.5	50.0	45-	11	36.6	30.4	42.8	45-	2	6.7	4.0	9.3
	45-50	332821	44	160.8	147.2	174.5	50-	12	43.9	36.8	51.0	50-	11	40.2	33.4	47.0	50-	1	3.7	1.6	5.7
	50-55	378817	37	118.8	107.9	129.8	55-	11	35.3	29.3	41.3	55-	9	28.9	23.5	34.3	55-	2	6.4	3.9	9.0
	55-60	457544	14	37.2	31.6	42.8	60-	4	10.6	7.6	13.6	60-	4	10.6	7.6	13.6	60-	0	0.0		
	60-65+	1124181	25	27.1	24.0	30.1	65+	1	1.1	0.5	1.7	65+	1	1.1	0.5	1.7	65+	0	0.0		
	計	4809005	836	211.5	207.4	215.6	計	282	71.3	69.0	73.7	計	213	53.9	51.8	56.0	計	69	17.5	16.3	18.6
	98 千葉兵庫 0-女 配偶あり	0-5					0-5					0-5					0-5				
5-10						5-10					5-10					5-10					
10-15		1486	11	9006.3	7486.1	10526.5	15-	10	8187.5	6737.6	9637.5	15-	4	3275.0	2356.1	4193.9	15-	6	4912.5	3787.9	6037.2
15-20		25549	44	2095.3	1918.0	2272.7	20-	34	1619.1	1463.2	1775.0	20-	11	523.8	435.1	612.6	20-	23	1095.3	967.0	1223.6
20-25		118238	83	854.1	801.4	906.7	25-	45	463.0	424.3	501.8	25-	12	123.5	103.5	143.5	25-	33	339.6	306.4	372.8
25-30		232045	90	471.9	443.9	499.8	30-	37	194.0	176.1	211.9	30-	17	89.1	77.0	101.3	30-	20	104.9	91.7	118.0
30-35		326605	62	231.0	214.5	247.4	35-	20	74.5	65.1	83.9	35-	7	26.1	20.5	31.6	35-	13	48.4	40.9	56.0
35-40		305657	48	191.1	175.6	206.6	40-	11	43.8	36.4	51.2	40-	7	21.9	21.9	33.8	40-	4	15.9	11.4	20.4
40-45		283632	35	150.1	135.9	164.4	45-	6	25.7	19.8	31.6	45-	6	25.7	19.8	31.6	45-	0	0.0		
45-50		274034	30	133.2	119.5	146.9	50-	8	35.5	28.5	42.6	50-	3	13.3	9.0	17.6	50-	5	22.2	16.6	27.8
50-55		319449	19	72.4	63.0	81.7	55-	2	7.6	4.6	10.6	55-	0	0.0			55-	2	7.6	4.6	10.6
55-60		376938	7	22.6	17.8	27.4	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
60-65+		733140	23	38.2	33.7	42.6	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
計		2996773	452	183.5	178.7	188.4	計	173	70.2	67.2	73.2	計	67	27.2	25.3	29.1	計	106	43.0	40.7	45.4
98 千葉兵庫 0-女 配偶なし		0-5					0-5					0-5					0-5				
	5-10					5-10					5-10					5-10					
	10-15	265880	101	462.2	436.3	488.0	15-	72	329.5	307.7	351.3	15-	37	169.3	153.7	185.0	15-	35	160.2	144.9	175.4
	15-20	262313	277	1284.8	1241.4	1328.1	20-	154	714.3	682.0	746.6	20-	79	366.4	343.3	398.6	20-	75	347.9	325.3	370.4
	20-25	206653	160	942.0	900.2	983.8	25-	82	482.8	452.8	512.7	25-	47	276.7	254.0	299.4	25-	35	206.1	186.5	225.6
	25-30	146205	73	607.5	567.5	647.4	30-	33	274.6	247.8	301.5	30-	15	124.8	106.7	142.9	30-	18	149.8	130.0	169.6
	30-35	134219	36	326.3	295.8	356.9	35-	15	136.0	116.2	155.7	35-	9	81.6	66.3	96.9	35-	6	54.4	41.9	66.9
	35-40	104480	21	244.5	214.6	274.5	40-	4	46.6	33.5	59.7	40-	2	23.3	14.0	32.5	40-	2	23.3	14.0	32.5
	40-45	81973	18	267.2	231.8	302.5	45-	2	29.7	17.9	41.5	45-	0	0.0			45-	2	29.7	17.9	41.5
	45-50	67103	2	36.3	21.9	50.7	50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	0	0.0		
	50-55	75880	5	80.2	60.0	100.3	55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	55-60	105798	3	34.5	23.3	45.7	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	60-65+	683809	10	17.8	14.6	21.0	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	2134313	706	402.5	393.9	411.0	計	362	206.4	200.3	212.5	計	189	107.7	103.3	112.1	計	173	98.6	94.4	102.8
	98 千葉兵庫 0-女 計	0-5					0-5					0-5					0-5				
5-10						5-10					5-10					5-10					
10-15		267366	112	509.7	482.6	536.7	15-	82	373.1	350.0											

地域	年齢	非淋菌性非クラミジア性尿道炎・咽			年齢	淋菌性尿道炎・頸管炎			年齢	性器ヘルペス			年齢	人口 尖圭コンジローマ		
		報告数	人口10万対	95%信頼区間		報告数	人口10万対	95%信頼区間		報告数	人口10万対	95%信頼区間		報告数	人口10万対	95%信頼区間
県別STD報告数、罹患率（年間）および回収率調整罹患率（年間）																
98 千葉県 男 配偶あり	0-				0-				0-				0-			
	5-				5-				5-				5-			
	10-				10-				10-				10-			
	15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	831	0	0.0
	20-	0	0.0		20-	1	78.6	34.4 122.7	20-	0	0.0		20-	15483	0	0.0
	25-	8	111.8	89.6 134.1	25-	1	14.0	6.1 21.8	25-	2	28.0	16.9 39.1	25-	87023	3	41.9 28.3 55.5
	30-	17	107.8	93.1 122.5	30-	5	31.7	23.7 39.7	30-	3	19.0	12.9 25.2	30-	191785	6	38.1 29.3 46.8
	35-	18	76.2	66.1 86.3	35-	10	42.3	34.8 49.9	35-	4	16.9	12.2 21.7	35-	287418	3	12.7 8.6 16.8
	40-	23	99.4	87.7 111.0	40-	11	47.5	39.5 55.6	40-	5	21.6	16.2 27.0	40-	281603	5	21.6 16.2 27.0
	45-	14	64.0	54.4 73.6	45-	8	36.6	29.3 43.8	45-	7	32.0	25.2 38.8	45-	266118	2	9.1 5.5 12.8
	50-	9	43.0	35.0 51.1	50-	3	14.3	9.7 19.0	50-	6	28.7	22.1 35.3	50-	254437	5	23.9 17.9 29.9
	55-	11	44.9	37.3 52.5	55-	7	28.6	22.5 34.6	55-	5	20.4	15.3 25.5	55-	298045	0	0.0
	60-	6	19.6	15.1 24.1	60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	373039	2	6.5 3.9 9.9
65+	3	3.9	2.7 5.2	65+	0	0.0		65+	8	10.5	8.4 12.6	65+	926520	6	7.9 6.1 9.9	
計	109	44.5	42.1 46.9	計	46	18.8	17.2 20.3	計	40	16.3	14.9 17.8	計	2982302	32	13.1 11.8 14.4	
98 千葉県 男 配偶なし	0-				0-				0-				0-			
	5-				5-				5-				5-			
	10-				10-				10-				10-			
	15-	9	39.1	31.8 46.4	15-	7	30.4	24.0 36.9	15-	1	4.3	1.9 6.8	15-	279923	1	4.3 1.9 6.8
	20-	28	123.2	110.1 136.3	20-	40	176.0	160.4 191.7	20-	3	13.2	8.9 17.5	20-	276466	10	44.0 36.2 51.8
	25-	40	205.9	187.6 224.2	25-	20	103.0	90.0 115.9	25-	8	41.2	33.0 49.4	25-	236330	12	61.8 51.8 71.8
	30-	25	165.5	146.9 184.1	30-	14	92.7	78.8 106.6	30-	4	26.5	19.0 33.9	30-	183774	2	13.2 8.0 18.5
	35-	9	62.0	50.4 73.6	35-	7	48.2	38.0 58.4	35-	3	20.7	14.0 27.4	35-	176668	6	41.3 31.8 50.8
	40-	7	64.3	50.6 77.9	40-	5	45.9	34.4 57.4	40-	2	18.4	11.1 25.7	40-	132549	2	18.4 11.1 25.7
	45-	7	85.4	67.3 103.6	45-	1	12.2	5.3 19.1	45-	7	85.4	67.3 103.6	45-	99671	4	48.8 35.1 62.5
	50-	5	77.6	58.1 97.1	50-	2	31.0	18.7 43.4	50-	0	0.0		50-	78384	0	0.0
	55-	1	15.1	6.6 23.5	55-	0	0.0		55-	1	15.1	6.6 23.5	55-	80772	0	0.0
	60-	1	14.4	6.3 22.5	60-	1	14.4	6.3 22.5	60-	0	0.0		60-	84505	0	0.0
65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	197661	3	18.5 12.5 24.5	
計	132	87.9	83.6 92.2	計	97	64.6	60.9 68.3	計	29	19.3	17.3 21.3	計	1826703	40	26.6 24.3 29.0	
98 千葉県 男 計	0-				0-				0-				0-			
	5-				5-				5-				5-			
	10-				10-				10-				10-			
	15-	9	39.0	31.7 46.3	15-	7	30.3	23.9 36.8	15-	1	4.3	1.9 6.8	15-	280754	1	4.3 1.9 6.8
	20-	28	116.7	104.3 129.1	20-	41	170.9	155.9 185.9	20-	3	12.5	8.4 16.6	20-	291949	10	41.7 34.3 49.1
	25-	48	180.6	166.0 195.3	25-	21	79.0	69.3 88.7	25-	10	37.6	30.9 44.3	25-	323353	15	56.4 48.3 64.6
	30-	42	136.1	124.3 147.9	30-	19	61.6	53.6 69.5	30-	7	22.7	17.9 27.5	30-	375559	8	25.9 20.8 31.1
	35-	27	70.8	63.1 78.4	35-	17	44.6	38.5 50.6	35-	7	18.4	14.5 22.2	35-	464086	9	23.6 19.2 28.0
	40-	30	88.1	79.1 97.2	40-	16	47.0	40.4 53.6	40-	7	20.6	16.2 24.9	40-	414152	7	20.6 16.2 24.9
	45-	21	69.8	61.3 78.4	45-	9	29.9	24.3 35.5	45-	14	46.6	39.6 53.6	45-	365789	6	20.0 15.4 24.5
	50-	14	51.2	43.5 58.9	50-	5	18.3	13.7 22.9	50-	6	21.9	16.9 27.0	50-	332821	5	18.3 13.7 22.9
	55-	12	38.5	32.3 44.8	55-	7	22.5	17.7 27.3	55-	6	19.3	14.8 23.7	55-	378817	0	0.0
	60-	7	18.6	14.7 22.6	60-	1	2.7	1.2 4.2	60-	0	0.0		60-	457544	2	5.3 3.2 7.4
65+	3	3.2	2.2 4.3	65+	0	0.0		65+	8	8.7	6.9 10.4	65+	1124181	9	9.7 7.9 11.6	
計	241	61.0	58.8 63.2	計	143	36.2	34.5 37.9	計	69	17.5	16.3 18.6	計	4809005	72	18.2 17.0 19.4	
98 千葉県 女 配偶あり	0-				0-				0-				0-			
	5-				5-				5-				5-			
	10-				10-				10-				10-			
	15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	1486	1	818.8 358.8 1278.7
	20-	0	0.0		20-	3	142.9	96.5 189.2	20-	3	142.9	96.5 189.2	20-	25549	1	47.6 20.9 74.4
	25-	22	226.4	199.3 253.5	25-	3	30.9	20.9 40.9	25-	9	92.6	75.3 110.0	25-	118238	4	41.2 29.6 52.7
	30-	22	115.4	101.5 129.2	30-	3	15.7	10.6 20.8	30-	20	104.9	91.7 118.0	30-	232045	5	26.2 19.6 32.8
	35-	18	67.1	58.2 75.9	35-	3	11.2	7.5 14.8	35-	15	55.9	47.8 64.0	35-	326605	5	18.6 13.9 23.3
	40-	10	39.8	32.7 46.9	40-	2	8.0	4.8 11.1	40-	24	95.5	84.6 106.5	40-	305657	1	4.0 1.7 6.2
	45-	11	47.2	39.2 55.2	45-	0	0.0		45-	14	60.1	51.0 69.1	45-	283632	4	17.2 12.3 22.0
	50-	6	26.6	20.5 32.7	50-	2	8.9	5.4 12.4	50-	11	48.8	40.6 57.1	50-	274034	1	4.4 1.9 6.9
	55-	2	7.6	4.6 10.6	55-	2	7.6	4.6 10.6	55-	12	45.7	38.3 53.1	55-	319449	1	3.8 1.7 5.9
	60-	1	3.2	1.4 5.0	60-	0	0.0		60-	6	19.4	14.9 23.8	60-	376938	0	0.0
65+	2	3.3	2.0 4.6	65+	1	1.7	0.7 2.6	65+	20	33.2	29.0 37.4	65+	733140	0	0.0	
計	94	38.2	36.0 40.4	計	19	7.7	6.7 8.7	計	134	54.4	51.8 57.0	計	2996773	23	9.3 8.2 10.4	
98 千葉県 女 配偶なし	0-				0-				0-				0-			
	5-				5-				5-				5-			
	10-				10-				10-				10-			
	15-	4	18.3	13.2 23.4	15-	9	41.2	33.5 48.9	15-	12	54.9	46.0 63.8	15-	265880	2	9.2 5.5 12.8
	20-	23	106.7	94.2 119.2	20-	21	97.4	85.5 109.3	20-	45	208.7	191.2 226.2	20-	282313	25	116.0 102.9 129.0
	25-	15	88.3	75.5 101.1	25-	9	53.0	43.1 62.9	25-	34	200.2	180.9 219.5	25-	206653	17	100.1 86.4 113.7
	30-	12	99.9	83.7 116.1	30-	2	16.6	10.0 23.3	30-	17	141.5	122.2 160.7	30-	146205	8	66.6 53.3 79.8
	35-	5	45.3	33.9 56.7	35-	1	9.1	4.0 14.2	35-	11	99.7	82.8 116.6	35-	134219	3	27.2 18.4 36.0
	40-	2	23.3	14.0 32.5	40-	1	11.6	5.1 18.2	40-	11	128.1	106.4 149.8	40-	104480	1	11.6 5.1 18.2
	45-	3	44.5	30.1 59.0	45-	1	14.8	6.5 23.2	45-	6	89.1	68.6 109.5	45-	81973	4	59.4 42.7 76.0
	50-	1	18.1	7.9 28.3	50-	0	0.0		50-	1	18.1	7.9 28.3	50-	67103	0	0.0
	55-	1	16.0	7.0 25.0	55-	0	0.0		55-	3	48.1	32.5 63.7	55-	75880	1	16.0 7.0 25.0
	60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	2	23.0	13.9 32.1	60-	105798	1	11.5 5.0 18.0
65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	7	12.5	9.8 15.1	65+	683809	0	0.0	
計	66	37.6	35.0 40.2	計	44	25.1	23.0 27.2	計	149	84.9	81.0 88.8	計	2134313	62	35.3 32.8 3	

地域 年齢 梅毒 総計				年齢 梅毒 I, II 期				地域 年齢 人口 梅毒 無症状				年齢 梅毒 III 期以上						
報告数 人口10万対				報告数 人口10万対				報告数 人口10万対				報告数 人口10万対						
推定値 95%信頼区間				推定値 95%信頼区間				推定値 95%信頼区間				推定値 95%信頼区間						
県別STD報告数、罹患率（年間）および回収率調整罹患率（年間）								県別STD報告数、罹患率（年間）および回収率調整罹患率（年間）										
98 千葉県 0- 男 5- 配偶あり 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				98 千葉県 0- 男 5- 配偶あり 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計						
	0	0.0			0	0.0				831	0	0.0			0	0.0		
	0	0.0			0	0.0				15483	0	0.0			0	0.0		
	0	0.0			0	0.0				87023	0	0.0			0	0.0		
	2	12.7	7.6	17.7	1	6.3	2.8	9.9		191785	1	6.3	2.8	9.9	0	0.0		
	3	12.7	8.6	16.8	2	8.5	5.1	11.8		287418	1	4.2	1.9	6.6	0	0.0		
	1	4.3	1.9	6.7	1	4.3	1.9	6.7		281603	0	0.0			0	0.0		
	0	0.0			0	0.0				266118	0	0.0			0	0.0		
	1	4.8	2.1	7.5	1	4.8	2.1	7.5		254437	0	0.0			0	0.0		
	1	4.1	1.8	6.4	1	4.1	1.8	6.4		298045	0	0.0			0	0.0		
	0	0.0			0	0.0				373039	0	0.0			0	0.0		
	0	0.0			0	0.0				926520	0	0.0			0	0.0		
	8	3.3	2.6	3.9	計	6	2.4	1.9	3.0	計	2982302	2	0.8	0.5	1.1	計	0	0.0
98 千葉県 0- 男 5- 配偶なし 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				98 千葉県 0- 男 5- 配偶なし 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計						
	1	4.3	1.9	6.8	15-	0	0.0			279923	1	4.3	1.9	6.8	15-	0	0.0	
	1	4.4	1.9	6.9	20-	1	4.4	1.9	6.9	276466	0	0.0			20-	0	0.0	
	3	15.4	10.4	20.5	25-	2	10.3	6.2	14.4	236330	1	5.1	2.3	8.0	25-	0	0.0	
	3	6.6	2.9	10.3	30-	1	6.6	2.9	10.3	183774	0	0.0			30-	0	0.0	
	1	6.9	3.0	10.8	35-	1	6.9	3.0	10.8	176668	0	0.0			35-	0	0.0	
	3	27.5	18.6	36.5	40-	3	27.5	18.6	36.5	132549	0	0.0			40-	0	0.0	
	6	73.2	56.4	90.0	45-	6	73.2	56.4	90.0	99671	0	0.0			45-	0	0.0	
	1	15.5	6.8	24.2	50-	1	15.5	6.8	24.2	78384	0	0.0			50-	0	0.0	
	0	0.0			55-	0	0.0			80772	0	0.0			55-	0	0.0	
	0	0.0			60-	0	0.0			84505	0	0.0			60-	0	0.0	
	4	24.6	17.7	31.5	65+	4	24.6	17.7	31.5	197661	0	0.0			65+	0	0.0	
	21	14.0	12.3	15.7	計	19	12.7	11.0	14.3	計	1826703	2	1.3	0.8	1.9	計	0	0.0
98 千葉県 0- 男 5- 計 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				98 千葉県 0- 男 5- 計 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計						
	1	4.3	1.9	6.8	15-	0	0.0			280754	1	4.3	1.9	6.8	15-	0	0.0	
	1	4.2	1.8	6.5	20-	1	4.2	1.8	6.5	291949	0	0.0			20-	0	0.0	
	3	11.3	7.6	15.0	25-	2	7.5	4.5	10.5	323353	1	3.8	1.6	5.9	25-	0	0.0	
	3	9.7	6.6	12.9	30-	2	6.5	3.9	9.1	375559	1	3.2	1.4	5.1	30-	0	0.0	
	4	10.5	7.5	13.4	35-	3	7.9	5.3	10.4	464086	1	2.6	1.1	4.1	35-	0	0.0	
	4	11.8	8.4	15.1	40-	4	11.8	8.4	15.1	414152	0	0.0			40-	0	0.0	
	6	20.0	15.4	24.5	45-	6	20.0	15.4	24.5	365789	0	0.0			45-	0	0.0	
	2	7.3	4.4	10.2	50-	2	7.3	4.4	10.2	332821	0	0.0			50-	0	0.0	
	1	3.2	1.4	5.0	55-	1	3.2	1.4	5.0	378817	0	0.0			55-	0	0.0	
	0	0.0			60-	0	0.0			457544	0	0.0			60-	0	0.0	
	4	4.3	3.1	5.5	65+	4	4.3	3.1	5.5	1124181	0	0.0			65+	0	0.0	
	29	7.3	6.6	8.1	計	25	6.3	5.6	7.0	計	4809005	4	1.0	0.7	1.3	計	0	0.0
98 千葉県 0- 女 5- 配偶あり 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				98 千葉県 0- 女 5- 配偶あり 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計						
	0	0.0			0	0.0				1486	0	0.0			0	0.0		
	3	142.9	96.5	189.2	20-	0	0.0			25549	3	142.9	96.5	189.2	20-	0	0.0	
	0	0.0			25-	0	0.0			118238	0	0.0			25-	0	0.0	
	3	15.7	10.6	20.8	30-	0	0.0			232045	3	15.7	10.6	20.8	30-	0	0.0	
	1	3.7	1.6	5.8	35-	0	0.0			326605	1	3.7	1.6	5.8	35-	0	0.0	
	0	0.0			40-	0	0.0			305657	0	0.0			40-	0	0.0	
	0	0.0			45-	0	0.0			283632	0	0.0			45-	0	0.0	
	2	8.9	5.4	12.4	50-	1	4.4	1.9	6.9	274034	1	4.4	1.9	6.9	50-	0	0.0	
	0	0.0			55-	0	0.0			319449	0	0.0			55-	0	0.0	
	0	0.0			60-	0	0.0			376938	0	0.0			60-	0	0.0	
	0	0.0			65+	0	0.0			733140	0	0.0			65+	0	0.0	
	9	3.7	3.0	4.3	計	1	0.4	0.2	0.6	計	2996773	8	3.2	2.6	3.9	計	0	0.0
98 千葉県 0- 女 5- 配偶なし 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				98 千葉県 0- 女 5- 配偶なし 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計						
	2	9.2	5.5	12.8	15-	2	9.2	5.5	12.8	265880	0	0.0			15-	0	0.0	
	9	41.7	33.9	49.6	20-	6	27.8	21.4	34.2	262313	3	13.9	9.4	18.4	20-	0	0.0	
	3	17.7	11.9	23.4	25-	2	11.8	7.1	16.5	206653	1	5.9	2.6	9.2	25-	0	0.0	
	1	8.3	3.6	13.0	30-	1	8.3	3.6	13.0	146205	0	0.0			30-	0	0.0	
	1	9.1	4.0	14.2	35-	0	0.0			134219	1	9.1	4.0	14.2	35-	0	0.0	
	2	23.3	14.0	32.5	40-	0	0.0			104480	2	23.3	14.0	32.5	40-	0	0.0	
	2	29.7	17.9	41.5	45-	0	0.0			81973	2	29.7	17.9	41.5	45-	0	0.0	
	0	0.0			50-	0	0.0			67103	0	0.0			50-	0	0.0	
	0	0.0			55-	0	0.0			75880	0	0.0			55-	0	0.0	
	0	0.0			60-	0	0.0			105798	0	0.0			60-	0	0.0	
	3	5.3	3.6	7.1	65+	2	3.6	2.1	5.0	883809	1	1.8	0.8	2.8	65+	0	0.0	
	23	13.1	11.6	14.6	計	13	7.4	6.3	8.6	計	2134313	10	5.7	4.7	6.7	計	0	0.0
98 千葉県 0- 女 5- 計 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				98 千葉県 0- 女 5- 計 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計				0- 5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40- 45- 50- 55- 60- 65+ 計						
	2	9.1	5.5	12.7	15-	2	9.1	5.5	12.7	267366	0	0.0			15-	0	0.0	
	12	50.7	42.5	58.9	20-	6	25.4	19.5	31.2	287862	6	25.4	19.5	31.2	20-	0	0.0	
	3	11.2	7.6	14.9	25-	2	7.5	4.5	10.5	324891	1	3.7	1.6	5.8	25-	0	0.0	
	4	12.9	9.3	16.5	30-	1	3.2	1.4	5.0	378250	3	9.6	6.5	12.8	30-	0	0.0	
	2	5.3	3.2	7.4	35-	0	0.0			460824	2	5.3	3.2	7.4	35-	0	0.0	
	2	5.9	3.6	8.3	40-	0	0.0			410137	2	5.9	3.6	8.3	40-	0	0.0	
	2	6.7	4.0	9.3	45-	0	0.0			365605	2	6.7	4.0	9.3	45-	0	0.0	
	2	7.1	4.3	10.0	50-	1	3.6	1.6	5.6	341137	1	3.6	1.6	5.6	50-	0	0.0	
	0	0.0			55-	0	0.0			395329	0	0.0			55-	0	0.0	
	0	0.0			60-	0	0.0			482736	0	0.0			60-	0	0.0	
	3	2.6	1.7	3.4	65+	2	1.7	1.0	2.4	4116949	1	0.9	0.4	1.3	65+	0	0.0	
	32	7.6	6.8	8.3	計	14	3.3	2.8	3.8	計	5131086	18	4.3	3.7	4.8	計	0	0.0

県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)

地域	年齢	全STD(件数)				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 総計				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 症候性				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 無症候				
		報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対				
		推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間			
県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)																					
97 岐阜徳島0-男 配偶あり	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	191	0	0.0		15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	0	0.0			
	20-	3959	1	307.3	134.7	480.0	20-	0	0.0			20-	0	0.0			20-	0	0.0		
	25-	21289	7	400.1	315.1	485.0	25-	3	171.5	115.8	227.1	25-	1	57.2	25.0	89.3	25-	2	114.3	68.9	159.7
	30-	45290	17	456.7	394.5	518.9	30-	6	161.2	124.2	198.2	30-	5	134.3	100.6	168.1	30-	1	26.9	11.8	42.0
	35-	64455	13	245.4	207.2	283.6	35-	6	113.3	87.3	139.2	35-	5	94.4	70.7	118.1	35-	1	18.9	8.3	29.5
	40-	61091	12	239.0	200.2	277.8	40-	3	59.7	40.4	79.1	40-	3	59.7	40.4	79.1	40-	0	0.0		
	45-	63114	20	385.5	337.1	434.0	45-	6	115.7	89.1	142.2	45-	6	115.7	89.1	142.2	45-	0	0.0		
	50-	66346	12	220.1	184.4	255.8	50-	5	91.7	68.7	114.7	50-	5	91.7	68.7	114.7	50-	0	0.0		
	55-	79043	6	92.4	71.2	113.5	55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	60-	97902	6	74.6	57.5	91.7	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	65+	249875	8	39.0	31.2	46.7	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	752555	102	164.9	155.7	174.1	計	29	46.9	42.0	51.8	計	25	40.4	35.9	45.0	計	4	6.5	4.6	8.3
97 岐阜徳島0-男 配偶なし	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	69204	7	123.1	96.9	149.2	15-	2	35.2	21.2	49.1	15-	2	35.2	21.2	49.1	15-	0	0.0		
	20-	60473	34	684.1	618.1	750.0	20-	15	301.8	258.0	345.6	20-	11	221.3	183.8	258.8	20-	4	80.5	57.9	103.1
	25-	51830	49	1150.2	1057.9	1242.5	25-	14	328.6	279.3	378.0	25-	12	281.7	236.0	327.4	25-	2	46.9	28.3	65.6
	30-	39945	18	548.3	475.7	620.9	30-	8	243.7	195.3	292.1	30-	6	182.8	140.8	224.7	30-	2	60.9	36.7	85.1
	35-	36146	11	370.3	307.5	433.0	35-	3	101.0	68.2	133.7	35-	2	67.3	40.6	94.1	35-	1	33.7	14.7	52.6
	40-	26697	7	319.0	251.3	386.8	40-	3	136.7	92.4	181.1	40-	2	91.1	54.9	127.4	40-	1	45.6	20.0	71.2
	45-	21055	1	57.8	25.3	90.3	45-	0	0.0			45-	0	0.0			45-	0	0.0		
	50-	17697	4	275.0	197.7	352.3	50-	1	68.7	30.1	107.4	50-	1	68.7	30.1	107.4	50-	0	0.0		
	55-	18040	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	60-	18018	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	65+	50015	1	24.3	10.7	38.0	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	409120	132	392.5	373.4	411.7	計	46	136.8	125.5	148.1	計	36	107.1	97.0	117.1	計	10	29.7	24.5	35.0
97 岐阜徳島0-男 計	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	69395	7	122.7	96.7	148.8	15-	2	35.1	21.1	49.0	15-	2	35.1	21.1	49.0	15-	0	0.0		
	20-	64432	35	660.9	598.1	723.7	20-	15	283.2	242.2	324.3	20-	11	207.7	172.5	242.9	20-	4	75.5	54.3	96.8
	25-	73119	56	931.8	861.9	1001.8	25-	17	282.9	244.3	321.4	25-	13	216.3	182.6	250.0	25-	4	66.6	47.9	85.3
	30-	85235	35	499.6	452.2	547.0	30-	14	199.8	169.8	229.8	30-	11	157.0	130.4	183.6	30-	3	42.8	28.9	56.7
	35-	100601	24	290.3	257.0	323.5	35-	9	108.8	88.5	129.2	35-	7	84.7	66.7	102.6	35-	2	24.2	14.6	33.8
	40-	87788	19	263.3	229.4	297.3	40-	6	83.2	64.1	102.2	40-	5	69.3	51.9	86.7	40-	1	13.9	6.1	21.6
	45-	84169	21	303.6	266.3	340.8	45-	6	86.7	66.8	106.6	45-	6	86.7	66.8	106.6	45-	0	0.0		
	50-	84043	16	231.6	199.1	264.2	50-	6	86.9	66.9	106.8	50-	6	86.9	66.9	106.8	50-	0	0.0		
	55-	97083	6	75.2	57.9	92.4	55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	60-	115920	6	63.0	48.5	77.4	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	65+	299890	9	36.5	29.7	43.4	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	1161675	234	245.1	236.1	254.1	計	75	78.6	73.5	83.6	計	61	63.9	59.3	68.5	計	14	14.7	12.5	16.9
97 岐阜徳島0-女 配偶あり	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	368	3	9918.5	6713.9	13123.1	15-	1	3306.2	1450.9	5161.4	15-	0	0.0			15-	1	3306.2	1450.9	5161.4
	20-	6808	9	1608.4	1307.3	1909.5	20-	7	1251.0	985.4	1516.5	20-	0	0.0			20-	7	1251.0	985.4	1516.5
	25-	30128	14	565.4	480.5	650.3	25-	10	403.8	332.1	475.6	25-	1	40.4	17.7	63.1	25-	9	363.4	295.4	431.5
	30-	54678	23	511.8	451.8	571.7	30-	9	200.3	162.8	237.8	30-	2	44.5	26.8	62.2	30-	7	155.8	122.7	188.8
	35-	74217	11	180.3	149.8	210.9	35-	3	49.2	33.2	65.1	35-	0	0.0			35-	3	49.2	33.2	65.1
	40-	69175	11	193.5	160.7	226.2	40-	3	52.8	35.6	69.9	40-	2	35.2	21.2	49.2	40-	1	17.6	7.7	27.5
	45-	70734	7	120.4	94.8	146.0	45-	2	34.4	20.7	48.1	45-	1	17.2	7.5	26.9	45-	1	17.2	7.5	26.9
	50-	73396	4	66.3	47.7	84.9	50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	0	0.0		
	55-	84428	3	43.2	29.2	57.3	55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	60-	94090	4	51.7	37.2	66.3	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	65+	199766	4	24.4	17.5	31.2	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	757788	93	149.3	140.6	158.0	計	35	56.2	50.9	61.5	計	6	9.6	7.4	11.8	計	29	46.6	41.7	51.4
97 岐阜徳島0-女 配偶なし	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	66728	13	237.0	200.1	274.0	15-	9	164.1	133.4	194.8	15-	5	91.2	68.3	114.1	15-	4	72.9	52.4	93.4
	20-	59634	61	1244.5	1155.0	1334.0	20-	43	877.3	802.1	952.4	20-	22	448.8	395.1	502.6	20-	21	428.4	375.9	481.0
	25-	43309	36	1011.3	916.7	1106.0	25-	16	449.5	386.4	512.6	25-	7	196.6	154.9	238.4	25-	9	252.8	205.5	300.2
	30-	29655	12	492.3	412.5	572.2	30-	6	246.2	189.7	302.6	30-	1	41.0	18.0	64.1	30-	5	205.1	153.6	256.7
	35-	26433	13	598.4	505.1	691.6	35-	5	230.1	172.3	288.0	35-	0	0.0			35-	5	230.1	172.3	288.0
	40-	20652	6	353.5	272.4	434.6	40-	4	235.7	169.4	301.9	40-	0	0.0			40-	4	235.7	169.4	301.9
	45-	17324	2	140.5	84.7	196.3	45-	0	0.0			45-	0	0.0			45-	0	0.0		
	50-	14955	2	162.7	98.1	227.4	50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	0	0.0		
	55-	17679	2	137.6	83.0	192.3	55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	60-	24272	0	0.0																	

地域	年齢	非淋菌性非クラミジア性尿道炎・咽			年齢	淋菌性尿道炎・頸管炎			年齢	性器ヘルペス			年齢	人口	尖圭コンジローマ							
		報告数	人口10万対	95%信頼区間		報告数	人口10万対	95%信頼区間		報告数	人口10万対	95%信頼区間			報告数	人口10万対	95%信頼区間					
県別STD報告数、罹患率（年間）および回収率調整罹患率（年間）																						
97 岐阜県 男 配偶あり	0-				0-				0-													
	5-				5-				5-													
	10-				10-				10-													
	15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	0	0.0			191	0	0.0						
	20-	1	307.3	134.7	480.0	20-	0	0.0		20-	0	0.0			3959	0	0.0					
	25-	1	57.2	25.0	89.3	25-	1	57.2	25.0	89.3	25-	0	0.0			21289	1	57.2	25.0	89.3		
	30-	1	26.9	11.8	42.0	30-	5	134.3	100.6	168.1	30-	3	80.6	54.4	106.7	30-	45290	1	26.9	11.8	42.0	
	35-	0	0.0		35-	2	37.8	22.8	52.8	35-	1	18.9	8.3	29.5	35-	64455	4	75.5	54.3	96.7		
	40-	2	39.8	24.0	55.7	40-	2	39.8	24.0	55.7	40-	2	39.8	24.0	55.7	40-	61091	3	59.7	40.4	79.1	
	45-	4	77.1	55.4	98.8	45-	1	19.3	8.4	30.1	45-	3	57.8	39.1	76.6	45-	63114	4	77.1	55.4	98.8	
	50-	2	36.7	22.1	51.2	50-	3	55.0	37.2	72.9	50-	0	0.0		50-	66346	2	36.7	22.1	51.2		
	55-	3	46.2	31.2	61.2	55-	0	0.0		55-	1	15.4	6.7	24.0	55-	79043	1	15.4	6.7	24.0		
	60-	2	24.9	15.0	34.7	60-	0	0.0		60-	2	24.9	15.0	34.7	60-	97902	2	24.9	15.0	34.7		
	65+	2	9.7	5.9	13.6	65+	1	4.9	2.1	7.6	65+	3	14.6	9.9	19.3	65+	249875	0	0.0			
	計	18	29.1	25.2	33.0	計	15	24.3	20.7	27.8	計	15	24.3	20.7	27.8	計	752555	18	29.1	25.2	33.0	
97 岐阜県 男 配偶なし	0-				0-				0-													
	5-				5-				5-													
	10-				10-				10-													
	15-	1	17.6	7.7	27.5	15-	2	35.2	21.2	49.1	15-	2	35.2	21.2	49.1	15-	69204	0	0.0			
	20-	8	161.0	129.0	192.9	20-	7	140.8	110.9	170.7	20-	2	40.2	24.3	56.2	20-	60473	2	40.2	24.3	56.2	
	25-	18	422.5	366.6	478.5	25-	9	211.3	171.7	250.8	25-	5	117.4	87.9	146.9	25-	51830	3	70.4	47.6	93.3	
	30-	4	121.8	87.6	156.1	30-	2	60.9	36.7	85.1	30-	1	30.5	13.3	47.6	30-	39945	3	91.4	61.7	121.0	
	35-	1	33.7	14.7	52.6	35-	3	101.0	68.2	133.7	35-	0	0.0		35-	36146	3	101.0	68.2	133.7		
	40-	1	45.6	20.0	71.2	40-	2	91.1	54.9	127.4	40-	1	45.6	20.0	71.2	40-	26697	0	0.0			
	45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	21055	0	0.0		
	50-	0	0.0		50-	2	137.5	82.9	192.1	50-	0	0.0		50-	1	17697	1	68.7	30.1	107.4		
	55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	18040	0	0.0		
	60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	18018	0	0.0		
	65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	1	24.3	10.7	38.0	65+	50015	0	0.0					
	計	33	98.1	88.5	107.7	計	27	80.3	71.6	89.0	計	12	35.7	29.9	41.5	計	409120	12	35.7	29.9	41.5	
97 岐阜県 男 計	0-				0-				0-													
	5-				5-				5-													
	10-				10-				10-													
	15-	1	17.5	7.7	27.4	15-	2	35.1	21.1	49.0	15-	2	35.1	21.1	49.0	15-	69395	0	0.0			
	20-	9	169.9	138.1	201.8	20-	7	132.2	104.1	160.3	20-	2	37.8	22.8	52.8	20-	64432	2	37.8	22.8	52.8	
	25-	19	316.2	275.4	356.9	25-	10	166.4	136.8	196.0	25-	5	83.2	62.3	104.1	25-	73119	4	66.6	47.9	85.3	
	30-	5	71.4	53.4	89.3	30-	7	99.9	78.7	121.1	30-	4	57.1	41.1	73.1	30-	85235	4	57.1	41.1	73.1	
	35-	1	12.1	5.3	18.9	35-	5	60.5	45.3	75.7	35-	1	12.1	5.3	18.9	35-	100601	7	84.7	66.7	102.6	
	40-	3	41.6	28.1	55.1	40-	4	55.4	39.9	71.0	40-	3	41.6	28.1	55.1	40-	87788	3	41.6	28.1	55.1	
	45-	4	57.8	41.6	74.1	45-	1	14.5	6.3	22.6	45-	3	43.4	29.3	57.4	45-	84169	4	57.8	41.6	74.1	
	50-	2	29.0	17.4	40.5	50-	5	72.4	54.2	90.6	50-	0	0.0		50-	84043	3	43.4	29.3	57.5		
	55-	3	37.6	25.4	49.8	55-	0	0.0		55-	1	12.5	5.5	19.6	55-	97083	1	12.5	5.5	19.6		
	60-	2	21.0	12.7	29.3	60-	0	0.0		60-	2	21.0	12.7	29.3	60-	115920	2	21.0	12.7	29.3		
	65+	2	8.1	4.9	11.3	65+	1	4.1	1.8	6.3	65+	4	16.2	11.7	20.8	65+	299890	0	0.0			
	計	51	53.4	49.2	57.6	計	42	44.0	40.2	47.8	計	27	28.3	25.2	31.3	計	1161675	30	31.4	28.2	34.6	
97 岐阜県 女 配偶あり	0-				0-				0-													
	5-				5-				5-													
	10-				10-				10-													
	15-	2	6612.3	3992.2	9232.5	15-	0	0.0		15-	0	0.0			368	0	0.0					
	20-	0	0.0		20-	0	0.0		20-	1	178.7	78.3	279.1	20-	6808	0	0.0					
	25-	0	0.0		25-	0	0.0		25-	4	161.5	116.2	206.9	25-	30128	0	0.0					
	30-	0	0.0		30-	2	44.5	26.8	62.2	30-	6	133.5	102.9	164.1	30-	54678	4	89.0	64.0	114.0		
	35-	2	32.8	19.8	45.8	35-	0	0.0		35-	3	49.2	33.2	65.1	35-	74217	2	32.8	19.8	45.8		
	40-	1	17.6	7.7	27.5	40-	0	0.0		40-	4	70.4	50.6	90.1	40-	69175	2	35.2	21.2	49.2		
	45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	4	68.8	49.5	88.1	45-	70734	0	0.0					
	50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	4	66.3	47.7	84.9	50-	73396	0	0.0					
	55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	3	43.2	29.2	57.3	55-	84428	0	0.0					
	60-	1	12.9	5.7	20.2	60-	0	0.0		60-	3	38.8	26.2	51.4	60-	94090	0	0.0				
	65+	1	6.1	2.7	9.5	65+	0	0.0		65+	2	12.2	7.3	17.0	65+	199766	1	6.1	2.7	9.5		
	計	7	11.2	8.9	13.6	計	2	3.2	1.9	4.5	計	34	54.6	49.3	59.8	計	757788	9	14.4	11.7	17.2	
97 岐阜県 女 配偶なし	0-				0-				0-													
	5-				5-				5-													
	10-				10-				10-													
	15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	1	18.2	8.0	28.5	15-	66728	2	36.5	22.0	51.0			
	20-	2	40.8	24.6	57.0	20-	2	40.8	24.6	57.0	20-	7	142.8	112.5	173.1	20-	59634	6	122.4	94.3	150.5	
	25-	0	0.0		25-	1	28.1	12.3	43.9	25-	9	252.8	205.5	300.2	25-	43309	5	140.5	105.2	175.8		
	30-	0	0.0		30-	1	41.0	18.0	64.1	30-	2	82.1	49.5	114.7	30-	29655	2	82.1	49.5	114.7		
	35-	0	0.0		35-	0	0.0		35-	5	230.1	172.3	288.0	35-	26433	2	92.1	55.5	128.6			
	40-	0	0.0		40-	0	0.0		40-	0	0.0		40-	20652	0	0.0						
	45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	2	140.5	84.7	196.3	45-	17324	0	0.0					
	50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	1	81.4	35.6	127.1	50-	14955	0	0.0					
	55-	0	0.0		55-	1	68.8	30.2	107.5	55-	1	68.8	30.2	107.5	55-	17679	0	0.0				
	60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	24272	0	0.0						
	65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	4	24.2	17.4	31.0	65+	201308	0	0.0					
	計	2	4.7	2.8	6.5	計	5	11.7	8.7	14.6	計	32	74.6	67.2	82.0	計	521949	17	39.6	34.2	45.0	
9																						

地域		年齢 梅毒 総 計				年齢 梅毒 I、II期				地域 年齢 人口 梅毒 無症状				年齢 梅毒 III期以上					
		報告数 人口10万対				報告数 人口10万対				報告数 人口10万対				報告数 人口10万対					
		推定値 95%信頼区間				推定値 95%信頼区間				推定値 95%信頼区間				推定値 95%信頼区間					
県別STD報告数、罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)										県別STD報告数、罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)									
97岐阜県0-					0-					97岐阜県0-					0-				
男 5-					5-					男 5-					5-				
配偶あり 10-					10-					配偶あり 10-					10-				
15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	191	0	0.0		15-	0	0.0		
20-	0	0.0			20-	0	0.0			20-	3959	0	0.0		20-	0	0.0		
25-	1	57.2	25.0	89.3	25-	0	0.0			25-	21289	1	57.2	25.0	89.3	25-	0	0.0	
30-	1	26.9	11.8	42.0	30-	0	0.0			30-	45290	1	26.9	11.8	42.0	30-	0	0.0	
35-	0	0.0			35-	0	0.0			35-	64455	0	0.0		35-	0	0.0		
40-	0	0.0			40-	0	0.0			40-	61091	0	0.0		40-	0	0.0		
45-	2	38.6	23.2	53.9	45-	2	38.6	23.2	53.9	45-	63114	0	0.0		45-	0	0.0		
50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	66346	0	0.0		50-	0	0.0		
55-	1	15.4	6.7	24.0	55-	1	15.4	6.7	24.0	55-	79043	0	0.0		55-	0	0.0		
60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	97902	0	0.0		60-	0	0.0		
65+	2	9.7	5.9	13.6	65+	1	4.9	2.1	7.6	65+	249875	1	4.9	2.1	7.6	65+	0	0.0	
計	7	11.3	8.9	13.7	計	4	6.5	4.6	8.3	計	752555	3	4.9	3.3	6.4	計	0	0.0	
97岐阜県0-					0-					97岐阜県0-					0-				
男 5-					5-					男 5-					5-				
配偶なし 10-					10-					配偶なし 10-					10-				
15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	69204	0	0.0		15-	0	0.0		
20-	0	0.0			20-	0	0.0			20-	60473	0	0.0		20-	0	0.0		
25-	0	0.0			25-	0	0.0			25-	51830	0	0.0		25-	0	0.0		
30-	0	0.0			30-	0	0.0			30-	39945	0	0.0		30-	0	0.0		
35-	1	33.7	14.7	52.6	35-	1	33.7	14.7	52.6	35-	36146	0	0.0		35-	0	0.0		
40-	0	0.0			40-	0	0.0			40-	26697	0	0.0		40-	0	0.0		
45-	1	57.8	25.3	90.3	45-	1	57.8	25.3	90.3	45-	21055	0	0.0		45-	0	0.0		
50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	17697	0	0.0		50-	0	0.0		
55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	18040	0	0.0		55-	0	0.0		
60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	18018	0	0.0		60-	0	0.0		
65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	50015	0	0.0		65+	0	0.0		
計	2	5.9	3.6	8.3	計	2	5.9	3.6	8.3	計	409120	0	0.0		計	0	0.0		
97岐阜県0-					0-					97岐阜県0-					0-				
男 5-					5-					男 5-					5-				
計 10-					10-					計 10-					10-				
15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	69395	0	0.0		15-	0	0.0		
20-	0	0.0			20-	0	0.0			20-	64432	0	0.0		20-	0	0.0		
25-	1	16.6	7.3	26.0	25-	0	0.0			25-	73119	1	16.6	7.3	26.0	25-	0	0.0	
30-	1	14.3	6.3	22.3	30-	0	0.0			30-	85235	1	14.3	6.3	22.3	30-	0	0.0	
35-	1	12.1	5.3	18.9	35-	1	12.1	5.3	18.9	35-	100601	0	0.0		35-	0	0.0		
40-	0	0.0			40-	0	0.0			40-	87788	0	0.0		40-	0	0.0		
45-	3	43.4	29.3	57.4	45-	3	43.4	29.3	57.4	45-	84169	0	0.0		45-	0	0.0		
50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	84043	0	0.0		50-	0	0.0		
55-	1	12.5	5.5	19.6	55-	1	12.5	5.5	19.6	55-	97083	0	0.0		55-	0	0.0		
60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	115920	0	0.0		60-	0	0.0		
65+	2	8.1	4.9	11.3	65+	1	4.1	1.8	6.3	65+	299890	1	4.1	1.8	6.3	65+	0	0.0	
計	9	9.4	7.7	11.2	計	6	6.3	4.8	7.7	計	1161675	3	3.1	2.1	4.2	計	0	0.0	
97岐阜県0-					0-					97岐阜県0-					0-				
女 5-					5-					女 5-					5-				
配偶あり 10-					10-					配偶あり 10-					10-				
15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	368	0	0.0		15-	0	0.0		
20-	1	178.7	78.3	279.1	20-	0	0.0			20-	6808	1	178.7	78.3	279.1	20-	0	0.0	
25-	0	0.0			25-	0	0.0			25-	30128	0	0.0		25-	0	0.0		
30-	2	44.5	26.8	62.2	30-	2	44.5	26.8	62.2	30-	54678	0	0.0		30-	0	0.0		
35-	1	16.4	7.2	25.6	35-	1	16.4	7.2	25.6	35-	74217	0	0.0		35-	0	0.0		
40-	1	17.6	7.7	27.5	40-	1	17.6	7.7	27.5	40-	69175	0	0.0		40-	0	0.0		
45-	1	17.2	7.5	26.9	45-	0	0.0			45-	70734	1	17.2	7.5	26.9	45-	0	0.0	
50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	73396	0	0.0		50-	0	0.0		
55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	84428	0	0.0		55-	0	0.0		
60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	94090	0	0.0		60-	0	0.0		
65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	199766	0	0.0		65+	0	0.0		
計	6	9.6	7.4	11.8	計	4	6.4	4.6	8.2	計	757788	2	3.2	1.9	4.5	計	0	0.0	
97岐阜県0-					0-					97岐阜県0-					0-				
女 5-					5-					女 5-					5-				
配偶なし 10-					10-					配偶なし 10-					10-				
15-	1	18.2	8.0	28.5	15-	0	0.0			15-	66728	1	18.2	8.0	28.5	15-	0	0.0	
20-	1	20.4	8.9	31.9	20-	1	20.4	8.9	31.9	20-	59634	0	0.0		20-	0	0.0		
25-	5	140.5	105.2	175.8	25-	3	84.3	56.9	111.6	25-	43309	2	56.2	33.9	78.5	25-	0	0.0	
30-	1	41.0	18.0	64.1	30-	1	41.0	18.0	64.1	30-	29655	0	0.0		30-	0	0.0		
35-	1	46.0	20.2	71.9	35-	1	46.0	20.2	71.9	35-	26433	0	0.0		35-	0	0.0		
40-	2	117.8	71.0	164.6	40-	2	117.8	71.0	164.6	40-	20652	0	0.0		40-	0	0.0		
45-	0	0.0			45-	0	0.0			45-	17324	0	0.0		45-	0	0.0		
50-	1	81.4	35.6	127.1	50-	0	0.0			50-	14955	1	81.4	35.6	127.1	50-	0	0.0	
55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	17679	0	0.0		55-	0	0.0		
60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	24272	0	0.0		60-	0	0.0		
65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	201308	0	0.0		65+	0	0.0		
計	12	28.0	23.4	32.5	計	8	18.6	14.9	22.4	計	521949	4	9.3	6.7	11.9	計	0	0.0	
97岐阜県0-					0-					97岐阜県0-					0-				
女 5-					5-					女 5-					5-				
計 10-					10-					計 10-					10-				
15-	1	18.1	7.9	28.3	15-	0	0.0			15-	67096	1	18.1	7.9	28.3	15-	0	0.0	
20-	2	36.6	22.1	51.2	20-	1	18.3	8.0	28.6	20-	66442	1	18.3	8.0	28.6	20-	0	0.0	
25-	5	82.8	62.0	103.7	25-	3	49.7	33.6	65.8	25-	73437	2	33.1	20.0	46.3	25-	0	0.0	
30-	3	43.3	29.2	57.3	30-	3	43.3	29.2	57.3	30-	84333	0	0.0		30-	0	0.0		
35-	2	24.2	14.6	33.8	35-	2	24.2	14.6	33.8	35-	100650	0	0.0		35-	0	0.0		
40-	3	40.6	27.5	53.8	40-	3	40.6	27.5	53.8	40-	89827	0	0.0		40-	0	0.0		
45-	1	13.8	6.1	21.6	45-	0	0.0			45-	88058	1	13.8	6.1	21.6	45-	0	0.0	
50-	1	13.8	6.0	21.5	50-	0	0.0			50-	88351	1	13.8	6.0	21.5	50-	0	0.0	
55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	102107	0	0.0		55-	0	0.0		
60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	118362	0	0.0		60-	0	0.0		
65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	401074	0	0.0		65+	0	0.0		
計	18	17.1	14.8	19.4	計	12	11.4	9.6	13.3	計	1279737	6	5.7	4.4	7.0	計	0	0.0	

県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)

地域	年齢	人口	全STD(件数)	年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎	総計	年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎	症候性	年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎	無症候	
報告数 人口10万対				報告数 人口10万対				報告数 人口10万対				報告数 人口10万対	
		推定値	95%信頼区間			推定値	95%信頼区間			推定値	95%信頼区間		

県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)

12千歳 男 配偶あり	0-				0-				0-				
	5-				5-				5-				
	10-				10-				10-				
	15-	379	0	0.0	15-	0	0.0		15-	0	0.0		
	20-	7696	6	948.5 731.0 1166.1	20-	5	790.5 591.9 989.0		20-	0	0.0		
	25-	46248	16	420.9 361.8 480.0	25-	7	184.2 145.0 223.3		25-	4	105.2 75.7 134.8	25-	3 78.9 53.3 104.5
	30-	102706	28	331.7 296.5 366.9	30-	9	106.6 86.6 126.6		30-	7	82.9 65.3 100.5	30-	2 23.7 14.3 33.1
	35-	153017	33	262.4 236.7 288.1	35-	13	103.4 87.3 119.5		35-	7	55.7 43.8 67.5	35-	6 47.7 36.8 58.7
	40-	151634	22	176.5 155.4 197.7	40-	4	32.1 23.1 41.1		40-	3	24.1 16.3 31.9	40-	1 8.0 3.5 12.5
	45-	140704	13	112.4 94.9 129.9	45-	2	17.3 10.4 24.2		45-	2	17.3 10.4 24.2	45-	0 0.0
	50-	134317	11	99.6 82.8 116.5	50-	2	18.1 10.9 25.3		50-	1	9.1 4.0 14.1	50-	1 9.1 4.0 14.1
	55-	159008	16	122.4 105.2 139.6	55-	5	38.3 28.6 47.9		55-	3	23.0 15.5 30.4	55-	2 15.3 9.2 21.4
	60-	197980	5	30.7 23.0 38.4	60-	1	6.1 2.7 9.6		60-	1	6.1 2.7 9.6	60-	0 0.0
	65+	484537	8	20.1 16.1 24.1	65+	0	0.0		65+	0	0.0	65+	0 0.0
	計	1578226	158	121.8 116.4 127.2	計	48	37.0 34.0 40.0	計	33	25.4 23.0 27.9	計	15	11.6 9.9 13.2

12千歳 男 配偶なし	0-				0-				0-				
	5-				5-				5-				
	10-	141375			10-				10-				
	15-	145323	11	92.1 76.5 107.7	15-	5	41.9 31.3 52.4		15-	4	33.5 24.1 42.9	15-	1 8.4 3.7 13.1
	20-	152887	57	453.6 419.8 487.4	20-	24	191.0 169.1 212.9		20-	20	159.2 139.2 179.2	20-	4 31.8 22.9 40.8
	25-	133092	58	530.2 491.1 569.3	25-	25	228.5 202.9 254.2		25-	20	182.8 159.9 205.8	25-	5 45.7 34.2 57.2
	30-	105256	36	416.1 377.2 455.1	30-	14	161.8 137.5 186.1		30-	11	127.2 105.6 148.7	30-	3 34.7 23.4 45.9
	35-	102045	14	166.9 141.9 192.0	35-	1	11.9 5.2 18.6		35-	1	11.9 5.2 18.6	35-	0 0.0
	40-	76316	20	318.8 278.8 358.9	40-	7	111.6 87.9 135.3		40-	7	111.6 87.9 135.3	40-	0 0.0
	45-	56403	14	302.0 256.6 347.3	45-	2	43.1 26.0 60.3		45-	2	43.1 26.0 60.3	45-	0 0.0
	50-	43135	5	141.0 105.6 176.5	50-	1	28.2 12.4 44.1		50-	1	28.2 12.4 44.1	50-	0 0.0
	55-	43786	2	55.6 33.5 77.7	55-	0	0.0		55-	0	0.0	55-	0 0.0
	60-	45007	2	54.1 32.6 75.5	60-	0	0.0		60-	0	0.0	60-	0 0.0
	65+	100914	3	36.2 24.4 47.9	65+	0	0.0		65+	0	0.0	65+	0 0.0
	計	1004164	222	269.0 258.8 279.1	計	79	95.7 89.7 101.8	計	66	80.0 74.4 85.5	計	13	15.8 13.3 18.2

12千歳 男 計	0-				0-				0-				
	5-				5-				5-				
	10-	141375			10-				10-				
	15-	145702	11	91.9 76.3 107.4	15-	5	41.8 31.3 52.2		15-	4	33.4 24.0 42.8	15-	1 8.4 3.7 13.0
	20-	160583	63	477.3 443.5 511.1	20-	29	219.7 196.8 242.6		20-	25	189.4 168.1 210.7	20-	4 30.3 21.8 38.8
	25-	179340	74	502.0 469.2 534.8	25-	32	217.1 195.5 238.7		25-	24	162.8 144.1 181.5	25-	8 54.3 43.5 65.1
	30-	207962	64	374.4 348.1 400.7	30-	23	134.6 118.8 150.3		30-	18	105.3 91.4 119.3	30-	5 29.3 21.9 36.6
	35-	255062	47	224.2 205.8 242.6	35-	14	66.8 56.8 76.8		35-	8	38.2 30.6 45.7	35-	6 28.6 22.1 35.2
	40-	227950	42	224.2 204.7 243.6	40-	11	58.7 48.8 68.7		40-	10	53.4 43.9 62.9	40-	1 5.3 2.3 8.3
	45-	197107	27	166.7 148.6 184.7	45-	4	24.7 17.8 31.6		45-	4	24.7 17.8 31.6	45-	0 0.0
	50-	177452	16	109.7 94.3 125.1	50-	3	20.6 13.9 27.2		50-	2	13.7 8.3 19.2	50-	1 6.9 3.0 10.7
	55-	202794	18	108.0 93.7 122.3	55-	5	30.0 22.5 37.5		55-	3	18.0 12.2 23.8	55-	2 12.0 7.2 16.8
	60-	242987	7	35.0 27.6 42.5	60-	1	5.0 2.2 7.8		60-	1	5.0 2.2 7.8	60-	0 0.0
	65+	585451	11	22.9 19.0 26.7	65+	0	0.0		65+	0	0.0	65+	0 0.0
	計	2582390	380	179.0 173.9 184.2	計	127	59.8 56.9 62.8	計	99	46.6 44.0 49.3	計	28	13.2 11.8 14.6

12千歳 女 配偶あり	0-				0-				0-				
	5-				5-				5-				
	10-				10-				10-				
	15-	721	7	11812.3 9315.8 14308.8	15-	7	11812.3 9315.8 14308.8		15-	2	3374.9 2035.8 4714.1	15-	5 8437.4 6324.4 10550.3
	20-	13366	24	2184.6 1934.3 2435.0	20-	20	1820.5 1592.0 2049.1		20-	3	273.1 184.5 361.7	20-	17 1547.5 1336.7 1758.2
	25-	63667	47	898.2 824.6 971.8	25-	21	401.3 352.1 450.5		25-	5	95.5 71.5 119.6	25-	16 305.8 262.8 348.7
	30-	124245	49	479.8 441.3 518.3	30-	20	195.8 171.2 220.5		30-	9	88.1 71.6 104.6	30-	11 107.7 89.5 126.0
	35-	173679	35	245.2 221.9 268.5	35-	12	84.1 70.4 97.7		35-	2	14.0 8.4 19.6	35-	10 70.1 57.6 82.5
	40-	162914	24	179.2 158.7 199.8	40-	7	52.3 41.2 63.4		40-	3	22.4 15.1 29.7	40-	4 29.9 21.5 38.3
	45-	147678	20	164.8 144.1 185.5	45-	3	24.7 16.7 32.7		45-	3	24.7 16.7 32.7	45-	0 0.0
	50-	142726	17	144.9 125.2 164.7	50-	3	25.6 17.3 33.9		50-	0	0.0	50-	3 25.6 17.3 33.9
	55-	170069	7	50.1 39.4 60.7	55-	1	7.2 3.1 11.2		55-	0	0.0	55-	1 7.2 3.1 11.2
	60-	202077	3	18.1 12.2 23.9	60-	0	0.0		60-	0	0.0	60-	0 0.0
	65+	382600	11	35.0 29.1 40.9	65+	0	0.0		65+	0	0.0	65+	0 0.0
	計	1583742	244	187.4 180.7 194.2	計	94	72.2 68.0 76.4	計	27	20.7 18.5 23.0	計	67	51.5 47.9 55.0

12千歳 女 配偶なし	0-				0-				0-				
	5-				5-				5-				
	10-				10-				10-				
	15-	134739	42	379.3 346.4 412.1	15-	30	270.9 243.1 298.7		15-	15	135.4 115.8 155.1	15-	15 135.4 115.8 155.1
	20-	136296	143	1276.5 1216.5 1336.4	20-	71	633.8 591.5 676.0		20-	34	303.5 274.3 332.7	20-	37 330.3 299.8 360.8
	25-	109643	65	721.3 671.0 771.5	25-	28	310.7 277.7 343.7		25-	18	199.7 173.3 226.2	25-	10 111.0 91.2 130.7
	30-	76123	36	575.4 521.5 629.3	30-	12	191.8 160.7 222.9		30-	6	95.9 73.9 117.9	30-	6 95.9 73.9 117.9
	35-	69146	11	193.6 160.8 226.3	35-	3	52.8 35.7 69.9		35-	1	17.6 7.7 27.5	35-	2 35.2 21.2 49.2
	40-	52431	8	185.6 148.8 222.5	40-	0	0.0		40-	0	0.0	40-	0 0.0
	45-	39315	10	309.5 254.5 364.4	45-	1	30.9 13.6 48.3		45-	0	0.0	45-	1 30.9 13.6 48.3
	50-	31965	0	0.0	50-	0	0.0		50-	0	0.0	50-	0 0.0
	55-	37368	2	65.1 39.2 91.0	55-	0	0.0		55-	0	0.0	55-	0 0.0
	60-	51613	2	47.1 28.4 65.9	60-	0	0.0		60-	0	0.0	60-	0 0.0
	65+	319460	7	26.7 21.0 32.3	65+	0	0.0		65+	0	0.0	65+	0 0.0
	計	1058101	326	374.9 363.2 386.5	計	145	166.7 158.9 174.5	計	74	85.1 79.5 90.6	計	71	81.6 76.2 87.1

12千歳 女 計	0-				0-				0-				
	5-				5-				5-				
	10-				10-				10-				
	15-	135460	49	440.1 404.8 475.4	15-	37	332.3 301.6 363.0	15-	17	152.7 131.9 173.5	15-	20	179.6 157.1 202.2
	20-	149664	167	1357.6 1298.6 1416.6	20-	91	739.8 696.2 783.3	20-	37	300.8 273.0 328.6	20-	54	439.0 405.4 472.5
	25-	173310	112	786.3 744.5 828.0	25-	49	344.0 316.4 371.6	25-	23	161.5 142.5 180.4	25-	26	182.5 162.4 202.6
	30-	200368	85	516.1 484.7 547.6	30-	32	194.3 175.0 213.6	30-	15	91.1 77.9 104.3	30-	17	103.2 89.2 117.3
	35-	242825	46	230.5 211.4 249.6	35-	15	75.2 64.3 86.1	35-	3	15.0 10.2 19.9	35-	12	60.1 50.4 69.9
	40-	215345	32	180.8 162.8 198.8	40-	7	39.5 31.1 47.9	40-	3	16.9 11.5 22.4	40-	4	22.6 16.2 28.9
	45-	186993	30	195.2 175.2 215.2	45-	4	26.0 18.7 33.3	45-	3	19.5 13.2 25.9	45-	1	6.5 2.9 10.2
	50-	174691	17	118.4 102.3 134.5	50-	3	20.9 14.1 27.7	50-	0	0.0	50-	3	20.9 14.1 27.7
	55-	207437	9	52.8 42.9 62.7	55-	1	5.9 2.6 9.2	55-	0	0.0	55-	1	5.9 2.6 9.2
	60-	253690	5	24.0 18.0 30.0	60-	0	0.0	60-	0	0.0	60-	0	0.0
65+	702060	18	31.2 27.1 35.3	65+	0	0.0	65+	0	0.0	65+	0	0.0	
計	2641843	570	262.5 256.3 268.7	計	239	110.1 106.1 114.1	計	101	46.5 43.9 49.1	計	138	63.6 60.5 66.6	

地域	年齢	非淋菌性非クラミジア性尿道炎・咽			年齢	淋菌性尿道炎・咽管炎			年齢	性器ヘルペス			年齢	人口 尖圭コンジローマ							
		報告数	人口10万対	95%信頼区間		報告数	人口10万対	95%信頼区間		報告数	人口10万対	95%信頼区間		報告数	人口10万対	95%信頼区間					
県別STD報告数、罹患率（年間）および回収率調整罹患率（年間）																					
12千歳 男 配偶あり	0-				0-				0-				0-								
	5-				5-				5-				5-								
	10-				10-				10-				0								
	15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	0	0.0		379	0	0.0						
	20-	0	0.0		20-	1	158.1	69.3	246.9	20-	0	0.0		7696	0	0.0					
	25-	5	131.5	98.5	164.6	25-	1	26.3	11.5	41.1	25-	2	52.6	31.7	73.5	25-	1	26.3	11.5	41.1	
	30-	10	118.5	97.4	139.5	30-	4	47.4	34.1	60.7	30-	2	11.8	5.2	18.5	30-	2	23.7	14.3	33.1	
	35-	11	87.5	72.6	102.3	35-	6	47.7	36.8	58.7	35-	1	8.0	3.5	12.4	35-	1	8.0	3.5	12.4	
	40-	9	72.2	58.7	85.7	40-	5	40.1	30.0	50.2	40-	3	24.1	16.3	31.9	40-	1	8.0	3.5	12.5	
	45-	4	34.6	24.9	44.3	45-	3	25.9	17.5	34.4	45-	2	17.3	10.4	24.2	45-	2	17.3	10.4	24.2	
	50-	5	45.3	33.9	56.7	50-	1	9.1	4.0	14.1	50-	2	18.1	10.9	25.3	50-	1	9.1	4.0	14.1	
	55-	7	53.6	42.2	64.9	55-	3	23.0	15.5	30.4	55-	1	7.7	3.4	12.0	55-	0	0.0			
	60-	2	12.3	7.4	17.2	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	2	12.3	7.4	17.2	
65+	2	5.0	3.0	7.0	65+	0	0.0			65+	3	7.5	5.1	10.0	65+	3	7.5	5.1	10.0		
計	55	42.4	39.2	45.6	計	24	18.5	16.4	20.6	計	15	11.6	9.9	13.2	計	1578226	13	10.0	8.5	11.6	
12千歳 男 配偶なし	0-				0-				0-				0-								
	5-				5-				5-				5-								
	10-				10-				10-				141375								
	15-	5	41.9	31.3	52.4	15-	0	0.0			0	0.0		15-	0	0.0					
	20-	13	103.5	87.3	119.6	20-	16	127.3	109.4	145.2	20-	1	8.0	3.5	12.4	20-	3	23.9	16.1	31.6	
	25-	16	146.3	125.7	166.8	25-	9	82.3	66.9	97.7	25-	2	18.3	11.0	25.5	25-	3	27.4	18.5	36.3	
	30-	16	184.9	159.0	210.9	30-	3	34.7	23.4	45.9	30-	1	11.6	5.1	18.1	30-	1	11.6	5.1	18.1	
	35-	3	35.8	24.2	47.4	35-	5	59.6	44.6	74.6	35-	1	11.9	5.2	18.6	35-	3	35.8	24.2	47.4	
	40-	5	79.7	59.7	99.7	40-	5	79.7	59.7	99.7	40-	1	15.9	7.0	24.9	40-	2	31.9	19.2	44.6	
	45-	4	86.3	62.0	110.5	45-	1	21.6	9.5	33.7	45-	3	64.7	43.7	85.7	45-	2	43.1	26.0	60.3	
	50-	4	112.8	81.1	144.5	50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	0	0.0			
	55-	1	27.8	12.2	43.4	55-	0	0.0			55-	1	27.8	12.2	43.4	55-	43786	0	0.0		
	60-	1	27.0	11.8	42.2	60-	1	27.0	11.8	42.2	60-	0	0.0			60-	45007	0	0.0		
65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	100914	0	0.0			
計	68	82.4	76.8	88.0	計	40	48.5	44.2	52.8	計	10	12.1	10.0	14.3	計	1004164	14	17.0	14.4	19.5	
12千歳 男 計	0-				0-				0-				0-								
	5-				5-				5-				5-								
	10-				10-				10-				141375								
	15-	5	41.8	31.3	52.2	15-	0	0.0			0	0.0		15-	0	0.0					
	20-	13	98.5	83.1	113.8	20-	17	128.8	111.2	146.4	20-	1	7.6	3.3	11.8	20-	3	22.7	15.4	30.1	
	25-	21	142.5	125.0	159.9	25-	10	67.8	55.8	79.9	25-	4	27.1	19.5	34.8	25-	4	27.1	19.5	34.8	
	30-	26	152.1	135.3	168.9	30-	7	41.0	32.3	49.7	30-	2	11.7	7.1	16.3	30-	3	17.6	11.9	23.2	
	35-	14	66.8	56.8	76.8	35-	11	52.5	43.6	61.4	35-	2	9.5	5.7	13.3	35-	4	19.1	13.7	24.4	
	40-	14	74.7	63.5	85.9	40-	10	53.4	43.9	62.9	40-	4	21.3	15.4	27.3	40-	3	16.0	10.8	21.2	
	45-	8	49.4	39.6	59.2	45-	4	24.7	17.8	31.6	45-	5	30.9	23.1	38.6	45-	4	24.7	17.8	31.6	
	50-	9	61.7	50.1	73.3	50-	1	6.9	3.0	10.7	50-	2	13.7	8.3	19.2	50-	1	6.9	3.0	10.7	
	55-	8	48.0	38.5	57.5	55-	3	18.0	12.2	23.8	55-	2	12.0	7.2	16.8	55-	0	0.0			
	60-	3	15.0	10.1	19.9	60-	1	5.0	2.2	7.8	60-	0	0.0			60-	2	10.0	6.0	14.0	
65+	2	4.2	2.5	5.8	65+	0	0.0			65+	3	6.2	4.2	8.3	65+	585451	3	6.2	4.2	8.3	
計	123	58.0	55.0	60.9	計	64	30.2	28.0	32.3	計	25	11.8	10.5	13.1	計	2582390	27	12.7	11.3	14.1	
12千歳 女 配偶あり	0-				0-				0-				0-								
	5-				5-				5-				5-								
	10-				10-				10-				0								
	15-	0	0.0		15-	0	0.0			0	0.0		15-	0	0.0						
	20-	0	0.0		20-	2	182.1	109.7	254.4	20-	1	91.0	39.9	142.2	20-	0	0.0				
	25-	16	305.8	262.8	348.7	25-	3	57.3	38.7	75.9	25-	6	114.7	88.4	141.0	25-	0	0.0			
	30-	15	146.9	125.6	168.2	30-	1	9.8	4.3	15.3	30-	9	88.1	71.6	104.6	30-	1	19.1	8.4	29.8	
	35-	10	70.1	57.6	82.5	35-	2	14.0	8.4	19.6	35-	6	42.0	32.4	51.7	35-	2	19.6	11.8	27.4	
	40-	7	52.3	41.2	63.4	40-	0	0.0			40-	10	74.7	61.4	88.0	40-	5	35.0	26.2	43.8	
	45-	7	57.7	45.4	69.9	45-	0	0.0			45-	7	57.7	45.4	69.9	45-	0	0.0			
	50-	5	42.6	31.9	53.3	50-	0	0.0			50-	7	57.7	45.4	69.9	50-	3	24.7	16.7	32.7	
	55-	5	42.6	31.9	53.3	55-	0	0.0			55-	7	59.7	47.0	72.3	55-	1	8.5	3.7	13.3	
	60-	2	14.3	8.6	20.0	60-	1	7.2	3.1	11.2	60-	2	14.3	8.6	20.0	60-	1	7.2	3.1	11.2	
65+	1	6.0	2.6	9.4	65+	0	0.0			65+	2	12.0	7.3	16.8	65+	0	0.0				
計	2	6.4	3.8	8.9	計	1	3.2	1.4	5.0	計	8	25.4	20.4	30.5	計	382600	0	0.0			
計	65	49.9	46.5	53.4	計	10	7.7	6.3	9.0	計	58	44.6	41.3	47.8	計	1583742	13	10.0	8.4	11.5	
12千歳 女 配偶なし	0-				0-				0-				0-								
	5-				5-				5-				5-								
	10-				10-				10-				134668								
	15-	3	27.1	18.3	35.9	15-	5	45.1	33.8	56.5	15-	3	27.1	18.3	35.9	15-	1	9.0	4.0	14.1	
	20-	16	142.8	122.8	162.9	20-	12	107.1	89.7	124.5	20-	25	223.2	198.1	248.2	20-	14	125.0	106.2	143.7	
	25-	11	122.1	101.4	142.7	25-	5	55.5	41.5	69.4	25-	10	111.0	91.2	130.7	25-	11	122.1	101.4	142.7	
	30-	7	111.9	88.1	135.6	30-	2	32.0	19.3	44.7	30-	8	127.9	102.5	153.3	30-	6	95.9	73.9	117.9	
	35-	3	52.8	35.7	69.9	35-	0	0.0			35-	3	52.8	35.7	69.9	35-	2	35.2	21.2	49.2	
	40-	2	46.4	28.0	64.9	40-	0	0.0			40-	5	116.0	86.9	145.2	40-	0	0.0			
	45-	3	92.8	62.7	123.0	45-	1	30.9	13.6	48.3	45-	1	30.9	13.6	48.3	45-	2	61.9	37.3	86.5	
	50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	0	0.0			
	55-	1	32.6	14.3	50.9	55-	0	0.0													

地域		年齢 梅毒 総 計				年齢 梅毒 I, II 期				地域				年齢 人口 梅毒 無症状				年齢 梅毒 III期以上			
		報告数 人口10万対				報告数 人口10万対						報告数 人口10万対				報告数 人口10万対					
		推定値 95%信頼区間				推定値 95%信頼区間						推定値 95%信頼区間				推定値 95%信頼区間					
県別STD報告数、罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)										県別STD報告数、罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)											
12千歳	0-				0-					12千歳	0-				0-						
男	5-				5-					男	5-				5-						
配偶あり	10-				10-					配偶あり	10-				10-						
	15-	0	0.0		15-	0	0.0				15-	379	0	0.0	15-	0	0.0				
	20-	0	0.0		20-	0	0.0				20-	7696	0	0.0	20-	0	0.0				
	25-	0	0.0		25-	0	0.0				25-	46248	0	0.0	25-	0	0.0				
	30-	2	23.7	14.3	33.1	30-	1	11.8	5.2	18.5	30-	102706	1	11.8	5.2	18.5	30-	0	0.0		
	35-	1	8.0	3.5	12.4	35-	0	0.0			35-	153017	1	8.0	3.5	12.4	35-	0	0.0		
	40-	0	0.0		40-	0	0.0				40-	151634	0	0.0	40-	0	0.0				
	45-	0	0.0		45-	0	0.0				45-	140704	0	0.0	45-	0	0.0				
	50-	0	0.0		50-	0	0.0				50-	134317	0	0.0	50-	0	0.0				
	55-	0	0.0		55-	0	0.0				55-	159008	0	0.0	55-	0	0.0				
	60-	0	0.0		60-	0	0.0				60-	197980	0	0.0	60-	0	0.0				
	65+	0	0.0		65+	0	0.0				65+	484537	0	0.0	65+	0	0.0				
計	3	2.3	1.6	3.1	計	1	0.8	0.3	1.2	計	1578226	2	1.5	0.9	2.2	計	0	0.0			
12千歳	0-				0-					12千歳	0-				0-						
男	5-				5-					男	5-				5-						
配偶なし	10-				10-					配偶なし	10-	141375			10-						
	15-	1	8.4	3.7	13.1	15-	0	0.0			15-	145323	1	8.4	3.7	13.1	15-	0	0.0		
	20-	0	0.0		20-	0	0.0				20-	152887	0	0.0	20-	0	0.0				
	25-	3	27.4	18.5	36.3	25-	2	18.3	11.0	25.5	25-	133092	1	9.1	4.0	14.3	25-	0	0.0		
	30-	1	11.6	5.1	18.1	30-	1	11.6	5.1	18.1	30-	105256	0	0.0	30-	0	0.0				
	35-	1	11.9	5.2	18.6	35-	1	11.9	5.2	18.6	35-	102045	0	0.0	35-	0	0.0				
	40-	0	0.0		40-	0	0.0				40-	76316	0	0.0	40-	0	0.0				
	45-	2	43.1	26.0	60.3	45-	2	43.1	26.0	60.3	45-	56403	0	0.0	45-	0	0.0				
	50-	0	0.0		50-	0	0.0				50-	43135	0	0.0	50-	0	0.0				
	55-	0	0.0		55-	0	0.0				55-	43786	0	0.0	55-	0	0.0				
	60-	0	0.0		60-	0	0.0				60-	45007	0	0.0	60-	0	0.0				
	65+	3	36.2	24.4	47.9	65+	3	36.2	24.4	47.9	65+	100914	0	0.0	65+	0	0.0				
計	11	13.3	11.1	15.6	計	9	10.9	8.9	12.9	計	1004164	2	2.4	1.5	3.4	計	0	0.0			
12千歳	0-				0-					12千歳	0-				0-						
男	5-				5-					男	5-				5-						
計	10-				10-					計	10-	141375			10-						
	15-	1	8.4	3.7	13.0	15-	0	0.0			15-	145702	1	8.4	3.7	13.0	15-	0	0.0		
	20-	0	0.0		20-	0	0.0				20-	160583	0	0.0	20-	0	0.0				
	25-	3	20.4	13.7	27.0	25-	2	13.6	8.2	19.0	25-	179340	1	6.8	3.0	10.6	25-	0	0.0		
	30-	3	17.6	11.9	23.2	30-	2	11.7	7.1	16.3	30-	207962	1	5.9	2.6	9.1	30-	0	0.0		
	35-	2	9.5	5.7	13.3	35-	1	4.8	2.1	7.5	35-	255062	1	4.8	2.1	7.5	35-	0	0.0		
	40-	0	0.0		40-	0	0.0				40-	227950	0	0.0	40-	0	0.0				
	45-	2	12.3	7.4	17.3	45-	2	12.3	7.4	17.3	45-	197107	0	0.0	45-	0	0.0				
	50-	0	0.0		50-	0	0.0				50-	177452	0	0.0	50-	0	0.0				
	55-	0	0.0		55-	0	0.0				55-	202794	0	0.0	55-	0	0.0				
	60-	0	0.0		60-	0	0.0				60-	242987	0	0.0	60-	0	0.0				
	65+	3	6.2	4.2	8.3	65+	3	6.2	4.2	8.3	65+	585451	0	0.0	65+	0	0.0				
計	14	6.6	5.6	7.6	計	10	4.7	3.9	5.5	計	2582390	4	1.9	1.4	2.4	計	0	0.0			
12千歳	0-				0-					12千歳	0-				0-						
女	5-				5-					女	5-				5-						
配偶あり	10-				10-					配偶あり	10-	0			10-						
	15-	0	0.0		15-	0	0.0				15-	721	0	0.0	15-	0	0.0				
	20-	1	91.0	39.9	142.2	20-	0	0.0			20-	13366	1	91.0	39.9	142.2	20-	0	0.0		
	25-	0	0.0		25-	0	0.0				25-	63667	0	0.0	25-	0	0.0				
	30-	2	19.6	11.8	27.4	30-	0	0.0			30-	124245	2	19.6	11.8	27.4	30-	0	0.0		
	35-	0	0.0		35-	0	0.0				35-	173679	0	0.0	35-	0	0.0				
	40-	0	0.0		40-	0	0.0				40-	162914	0	0.0	40-	0	0.0				
	45-	0	0.0		45-	0	0.0				45-	147678	0	0.0	45-	0	0.0				
	50-	1	8.5	3.7	13.3	50-	0	0.0			50-	142726	1	8.5	3.7	13.3	50-	0	0.0		
	55-	0	0.0		55-	0	0.0				55-	170069	0	0.0	55-	0	0.0				
	60-	0	0.0		60-	0	0.0				60-	202077	0	0.0	60-	0	0.0				
	65+	0	0.0		65+	0	0.0				65+	382600	0	0.0	65+	0	0.0				
計	4	3.1	2.2	3.9	計	0	0.0			計	1583742	4	3.1	2.2	3.9	計	0	0.0			
12千歳	0-				0-					12千歳	0-				0-						
女	5-				5-					女	5-				5-						
配偶なし	10-				10-					配偶なし	10-	134668			10-						
	15-	0	0.0		15-	0	0.0				15-	134739	0	0.0	15-	0	0.0				
	20-	5	44.6	33.4	55.8	20-	4	35.7	25.7	45.7	20-	136298	1	8.9	3.9	13.9	20-	0	0.0		
	25-	0	0.0		25-	0	0.0				25-	109643	0	0.0	25-	0	0.0				
	30-	1	16.0	7.0	25.0	30-	1	16.0	7.0	25.0	30-	76123	0	0.0	30-	0	0.0				
	35-	0	0.0		35-	0	0.0				35-	69146	0	0.0	35-	0	0.0				
	40-	1	23.2	10.2	36.2	40-	0	0.0			40-	52431	1	23.2	10.2	36.2	40-	0	0.0		
	45-	2	61.9	37.3	86.5	45-	0	0.0			45-	39315	2	61.9	37.3	86.5	45-	0	0.0		
	50-	0	0.0		50-	0	0.0				50-	31965	0	0.0	50-	0	0.0				
	55-	0	0.0		55-	0	0.0				55-	37368	0	0.0	55-	0	0.0				
	60-	0	0.0		60-	0	0.0				60-	51613	0	0.0	60-	0	0.0				
	65+	2	7.6	4.6	10.6	65+	2	7.6	4.6	10.6	65+	319460	0	0.0	65+	0	0.0				
計	11	12.6	10.5	14.8	計	7	8.0	6.3	9.8	計	1058101	4	4.6	3.3	5.9	計	0	0.0			
12千歳	0-				0-					12千歳	0-				0-						
女	5-				5-					女	5-				5-						
計	10-				10-					計	10-	134668			10-						
	15-	0	0.0		15-	0	0.0				15-	135460	0	0.0	15-	0	0.0				
	20-	6	48.8	37.6	60.0	20-	4	32.5	23.4	41.7	20-	149664	2	16.3	9.8	22.7	20-	0	0.0		
	25-	0	0.0		25-	0	0.0				25-	173310	0	0.0	25-	0	0.0				
	30-	3	18.2	12.3	24.1	30-	1														

県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)

地域	年齢	全STD(件数)				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 総計				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 症候性				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 無症候性				
		報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対				
		推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間			
県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)																					
21岐阜 男 配偶あり	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	134	0	0.0		15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	0	0.0			
	20-	2877	1	422.9	185.3	660.5	20-	0	0.0			20-	0	0.0			20-	0	0.0		
	25-	15703	4	309.9	222.9	397.0	25-	2	155.0	93.4	216.5	25-	0	0.0			2	155.0	93.4	216.5	
	30-	33673	9	325.2	264.3	386.1	30-	3	108.4	73.2	143.6	30-	2	72.3	43.6	101.0	3	36.1	15.8	56.4	
	35-	48841	7	174.4	137.3	211.4	35-	4	99.6	71.6	127.6	35-	3	74.7	50.5	99.0	35-	1	24.9	10.9	38.9
	40-	46413	8	209.7	168.1	251.4	40-	1	26.2	11.5	40.9	40-	1	26.2	11.5	40.9	40-	0	0.0		
	45-	47341	14	359.8	305.8	413.8	45-	3	77.1	52.1	102.1	45-	3	77.1	52.1	102.1	45-	0	0.0		
	50-	47922	9	228.5	185.7	271.3	50-	3	76.2	51.5	100.9	50-	3	76.2	51.5	100.9	50-	0	0.0		
	55-	56386	3	64.7	43.7	85.7	55-	0	0.0			55-	0	0.0			0	0.0			
	60-	70852	4	68.7	49.4	88.0	60-	0	0.0			60-	0	0.0			0	0.0			
	65+	181113	7	47.0	37.0	57.0	65+	0	0.0			65+	0	0.0			0	0.0			
	計	551255	66	145.7	135.6	155.7	計	16	35.3	30.4	40.3	計	12	26.5	22.2	30.8	計	4	8.8	6.3	11.3
21岐阜 男 配偶なし	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	51389	5	118.4	88.6	148.1	15-	2	47.4	28.5	66.2	15-	2	47.4	28.5	66.2	15-	0	0.0		
	20-	45296	19	510.3	444.6	576.1	20-	9	241.7	196.5	287.0	20-	6	161.2	124.2	198.1	20-	3	80.6	54.4	106.7
	25-	38550	37	1167.7	1059.9	1275.6	25-	12	378.7	317.3	440.2	25-	11	347.2	288.4	406.0	25-	1	31.6	13.8	49.3
	30-	29660	11	451.2	374.8	527.7	30-	6	246.1	189.7	302.6	30-	5	205.1	153.6	256.6	30-	1	41.0	18.0	64.1
	35-	27052	6	269.9	208.0	331.7	35-	1	45.0	19.7	70.2	35-	1	45.0	19.7	70.2	35-	0	0.0		
	40-	19811	5	307.1	229.9	384.2	40-	2	122.8	74.0	171.6	40-	1	61.4	26.9	95.9	40-	1	61.4	26.9	95.9
	45-	15262	1	79.7	34.9	124.5	45-	0	0.0			45-	0	0.0			0	0.0			
	50-	12107	2	201.0	121.1	280.8	50-	0	0.0			50-	0	0.0			0	0.0			
	55-	11935	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0			0	0.0			
	60-	12134	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0			0	0.0			
	65+	34245	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0			0	0.0			
	計	297441	86	351.8	330.5	373.1	計	32	130.9	117.9	143.9	計	26	106.4	94.6	118.1	計	6	24.5	18.9	30.2
21岐阜 男 計	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	51523	5	118.1	88.4	147.7	15-	2	47.2	28.5	66.0	15-	2	47.2	28.5	66.0	15-	0	0.0		
	20-	48173	20	505.1	441.7	568.6	20-	9	227.3	184.7	269.9	20-	6	151.5	116.8	186.3	20-	3	75.8	51.2	100.3
	25-	54253	41	919.5	838.8	1000.1	25-	14	314.0	266.8	361.1	25-	11	246.7	204.9	288.5	25-	3	67.3	45.5	89.1
	30-	63333	20	384.2	335.9	432.5	30-	9	172.9	140.5	205.3	30-	7	134.5	105.9	163.0	30-	2	38.4	23.2	53.7
	35-	75893	13	208.4	175.9	240.9	35-	5	80.2	60.0	100.3	35-	4	64.1	46.1	82.1	35-	1	16.0	7.0	25.0
	40-	66224	13	238.8	201.6	276.1	40-	3	55.1	37.2	73.0	40-	2	36.7	22.1	51.3	40-	1	18.4	8.0	28.7
	45-	62603	15	291.5	249.2	333.8	45-	3	58.3	39.4	77.2	45-	3	58.3	39.4	77.2	45-	0	0.0		
	50-	60029	11	222.9	185.2	260.7	50-	3	60.8	41.1	80.5	50-	3	60.8	41.1	80.5	50-	0	0.0		
	55-	68321	3	53.4	36.1	70.8	55-	0	0.0			55-	0	0.0			0	0.0			
	60-	82986	4	58.6	42.2	75.1	60-	0	0.0			60-	0	0.0			0	0.0			
	65+	215358	7	39.5	31.1	47.9	65+	0	0.0			65+	0	0.0			0	0.0			
	計	848696	152	217.9	208.0	227.8	計	48	68.8	63.2	74.4	計	38	54.5	49.5	59.4	計	10	14.3	11.8	16.9
21岐阜 女 配偶あり	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	265	2	9182.4	5547.7	12817.1	15-	1	4591.2	2016.2	7166.2	15-	0	0.0			1	4591.2	2016.2	7166.2	
	20-	5086	5	1196.1	895.7	1496.5	20-	4	956.9	688.1	1225.6	20-	0	0.0			4	956.9	688.1	1225.6	
	25-	22587	9	484.8	394.0	575.6	25-	7	377.1	297.0	457.1	25-	1	53.9	23.6	84.1	25-	6	323.2	249.1	397.3
	30-	40977	13	386.0	325.8	446.1	30-	4	118.8	85.4	152.1	30-	1	29.7	13.0	46.4	30-	3	89.1	60.2	118.0
	35-	55942	6	130.5	100.6	160.4	35-	2	43.5	26.2	60.8	35-	0	0.0			35-	2	43.5	26.2	60.8
	40-	52306	5	116.3	87.1	145.5	40-	2	46.5	28.0	65.0	40-	1	23.3	10.2	36.3	40-	1	23.3	10.2	36.3
	45-	52622	4	92.5	66.5	118.5	45-	2	46.2	27.9	64.6	45-	1	23.1	10.1	36.1	45-	1	23.1	10.1	36.1
	50-	53023	2	45.9	27.7	64.1	50-	0	0.0			50-	0	0.0			0	0.0			
	55-	60722	1	20.0	8.8	31.3	55-	0	0.0			55-	0	0.0			0	0.0			
	60-	68847	3	53.0	35.8	70.2	60-	0	0.0			60-	0	0.0			0	0.0			
	65+	142904	2	17.0	10.3	23.8	65+	0	0.0			65+	0	0.0			0	0.0			
	計	555281	52	113.9	105.1	122.8	計	22	48.2	42.4	54.0	計	4	8.8	6.3	11.2	計	18	39.4	34.2	44.7
21岐阜 女 配偶なし	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	49770	11	268.9	223.4	314.5	15-	7	171.1	134.8	207.5	15-	3	73.3	49.5	97.1	15-	4	97.8	70.3	125.3
	20-	44695	45	1225.0	1122.4	1327.5	20-	30	816.6	732.9	900.4	20-	16	435.5	374.4	496.7	20-	14	381.1	323.9	438.3
	25-	31707	30	1151.2	1033.1	1269.2	25-	14	537.2	456.6	617.9	25-	5	191.9	143.7	240.1	25-	9	345.3	280.7	410.0
	30-	21211	11	631.0	524.1	737.8	30-	6	344.2	265.2	423.1	30-	1	57.4	25.1	89.6	30-	5	286.8	214.7	358.9
	35-	18762	8	518.8	415.7	621.8	35-	4	259.4	186.5	332.3	35-	0	0.0			35-	4	259.4	186.5	332.3
	40-	14586	6	500.5	385.7	615.3	40-	4	333.7	239.9	427.4	40-	0	0.0			4	333.7	239.9	427.4	
	45-	12078	1	100.7	44.1	157.3	45-	0	0.0			45-	0	0.0			0	0.0			
	50-	10042	1	121.2	53.1	189.2	50-	0	0.0			50-	0	0.0			0	0.0			
	55-	11730	2	207.4	125.0	289.9	55-	0	0.0			55-	0	0.0			0	0.0			
	60-	16541	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0			0	0.0			
	65+	137961	3	26.5	17.9	35.0	65+	0	0.0			65+	0	0.0			0	0.0			
	計	389083	118	389.0	368.9	409.1	計	65	214.3	19											

地域	年齢	非淋菌性非クラミジア性尿道炎・咽			年齢	淋菌性尿道炎・頸管炎			年齢	性器ヘルペス			年齢	人口	尖圭コンジローマ				
		報告数	人口10万対			報告数	人口10万対			報告数	人口10万対				報告数	人口10万対			
		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間		推定値	95%信頼区間				
県別STD報告数、罹患率（年間）および回収率調整罹患率（年間）																			
21岐阜 男 配偶あり	0-				0-				0-										
	5-				5-				5-										
	10-				10-				10-										
	15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	134	0	0.0			
	20-	1	422.9	185.3	20-	0	0.0		20-	0	0.0		20-	2877	0	0.0			
	25-	0	0.0		25-	1	77.5	33.9	25-	0	0.0		25-	15703	0	0.0			
	30-	1	36.1	15.8	30-	3	108.4	73.2	30-	1	36.1	15.8	30-	33673	0	0.0			
	35-	0	0.0		35-	1	24.9	10.9	35-	1	24.9	10.9	35-	48841	1	24.9			
	40-	2	52.4	31.6	40-	2	52.4	31.6	40-	1	26.2	11.5	40-	46413	2	52.4			
	45-	4	102.8	73.9	45-	0	0.0		45-	1	25.7	11.3	45-	47341	4	102.8			
	50-	2	50.8	30.6	50-	2	50.8	30.6	50-	0	0.0		50-	47922	2	50.8			
	55-	2	43.2	26.0	55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	56386	0	0.0			
	60-	2	34.3	20.7	60-	0	0.0		60-	1	17.2	7.5	60-	70852	1	17.2			
	65+	2	13.4	8.1	65+	1	6.7	2.9	65+	2	13.4	8.1	65+	181113	0	0.0			
計	16	35.3	30.4	40.3	計	10	22.1	18.1	26.0	計	7	15.4	12.2	18.7	計	551255	10	22.1	
21岐阜 男 配偶なし	0-				0-				0-										
	5-				5-				5-										
	10-				10-				10-					53590					
	15-	0	0.0		15-	1	23.7	10.4	37.0	15-	2	47.4	28.5	66.2	15-	51389	0	0.0	
	20-	4	107.4	77.3	20-	4	107.4	77.3	137.6	20-	0	0.0		20-	45296	2	53.7		
	25-	12	378.7	317.3	25-	7	220.9	174.0	267.8	25-	3	94.7	64.0	125.4	25-	38550	3	94.7	
	30-	1	41.0	18.0	30-	2	82.0	49.4	114.6	30-	1	41.0	18.0	64.1	30-	29660	1	41.0	
	35-	1	45.0	19.7	70.2	35-	2	90.0	54.2	125.7	35-	0	0.0		35-	27052	1	45.0	
	40-	1	61.4	26.9	95.9	40-	2	122.8	74.0	171.6	40-	0	0.0		40-	19811	0	0.0	
	45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	15262	0	0.0			
	50-	0	0.0		50-	2	201.0	121.1	280.8	50-	0	0.0		50-	12107	0	0.0		
	55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	11935	0	0.0			
	60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	12134	0	0.0			
	65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	34245	0	0.0			
計	19	77.7	67.7	87.7	計	20	81.8	71.5	92.1	計	6	24.5	18.9	30.2	計	297441	7	28.6	
21岐阜 男 計	0-				0-				0-										
	5-				5-				5-										
	10-				10-				10-					53590					
	15-	0	0.0		15-	1	23.6	10.3	36.9	15-	2	47.2	28.5	66.0	15-	51523	0	0.0	
	20-	5	126.3	94.5	158.0	20-	4	101.0	72.6	129.4	20-	0	0.0		20-	48173	2	50.5	
	25-	12	269.1	225.5	312.8	25-	8	179.4	143.8	215.0	25-	3	67.3	45.5	89.1	25-	54253	3	67.3
	30-	2	38.4	23.2	53.7	30-	5	96.1	71.9	120.2	30-	2	38.4	23.2	53.7	30-	63333	1	19.2
	35-	1	16.0	7.0	25.0	35-	3	48.1	32.5	63.7	35-	1	16.0	7.0	25.0	35-	75893	2	32.1
	40-	3	55.1	37.2	73.0	40-	4	73.5	52.8	94.1	40-	1	18.4	8.0	28.7	40-	66224	2	36.7
	45-	4	77.7	55.9	99.6	45-	0	0.0		45-	1	19.4	8.5	30.4	45-	62603	4	77.7	
	50-	2	40.5	24.4	56.6	50-	4	81.1	58.3	103.8	50-	0	0.0		50-	60029	2	40.5	
	55-	2	35.6	21.5	49.8	55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	68321	0	0.0		
	60-	2	29.3	17.7	41.0	60-	0	0.0		60-	1	14.7	6.4	22.9	60-	82986	1	14.7	
	65+	2	11.3	6.8	15.8	65+	1	5.6	2.5	8.8	65+	2	11.3	6.8	15.8	65+	215358	0	0.0
計	35	50.2	45.4	54.9	計	30	43.0	38.6	47.4	計	13	18.6	15.7	21.5	計	848696	17	24.4	
21岐阜 女 配偶あり	0-				0-				0-										
	5-				5-				5-										
	10-				10-				10-						0				
	15-	1	4591.2	2016.2	7166.2	15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	265	0	0.0		
	20-	0	0.0		20-	0	0.0		20-	0	0.0		20-	5086	0	0.0			
	25-	0	0.0		25-	0	0.0		25-	2	107.7	64.9	150.5	25-	22587	0	0.0		
	30-	0	0.0		30-	1	29.7	13.0	46.4	30-	3	89.1	60.2	118.0	30-	40977	3	89.1	
	35-	1	21.7	9.5	34.0	35-	0	0.0		35-	0	0.0		35-	55942	2	43.5		
	40-	0	0.0		40-	0	0.0		40-	2	46.5	28.0	65.0	40-	52306	1	23.3		
	45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	1	23.1	10.1	36.1	45-	52622	0	0.0		
	50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	2	45.9	27.7	64.1	50-	53023	0	0.0		
	55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	1	20.0	8.8	31.3	55-	60722	0	0.0		
	60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	3	53.0	35.8	70.2	60-	68847	0	0.0		
	65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	1	8.5	3.7	13.3	65+	142904	1	8.5		
計	2	4.4	2.6	6.1	計	1	2.2	1.0	3.4	計	15	32.9	28.1	37.6	計	555281	7	15.3	
21岐阜 女 配偶なし	0-				0-				0-										
	5-				5-				5-										
	10-				10-				10-						50980				
	15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	1	24.4	10.7	38.2	15-	49770	2	48.9		
	20-	2	54.4	32.8	76.1	20-	2	54.4	32.8	76.1	20-	4	108.9	78.3	139.5	20-	44695	6	163.3
	25-	0	0.0		25-	1	38.4	16.8	59.9	25-	7	268.6	211.6	325.6	25-	31707	4	153.5	
	30-	0	0.0		30-	1	57.4	25.1	89.6	30-	1	57.4	25.1	89.6	30-	21211	2	114.7	
	35-	0	0.0		35-	0	0.0		35-	3	194.5	131.4	257.7	35-	18762	0	0.0		
	40-	0	0.0		40-	0	0.0		40-	0	0.0		40-	14586	0	0.0			
	45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	1	100.7	44.1	157.3	45-	12078	0	0.0		
	50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	10042	0	0.0			
	55-	0	0.0		55-	1	103.7	45.4	162.0	55-	1	103.7	45.4	162.0	55-	11730	0	0.0	
	60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	16541	0	0.0			
	65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	3	26.5	17.9	35.0	65+	137961	0	0.0		
計	2	6.6	4.0	9.2	計	5	16.5	12.3	20.6	計	21	69.2	60.7	77.7	計	369083	14	46.2	
21岐阜 女 計	0-				0-				0-										
	5-				5-				5-										
	10-				10-				10-						50980				
	15-	1	24.3	10.7	38.0	15-	0	0.0		15-	1	24.3	10.7	38.0	15-	50035	2	48.6	
	20-	2	48.9	29.5	68.3	20-	2	48.9	29.5	68.3	20-	4	97.8	70.3	125.2	20-	49781	6	146.6
	25-	0	0.0		25-	1	22.4	9.8	35.0	25-	9	201.7	163.9	239.5	25-	54294	4	89.6	
	30-	0	0.0		30-	2	39.1	23.6	54.7	30-	4	78.3	56.3	100.2	30-	62188	5	97.8	
	35-	1	16.3	7.1	25.4	35-	0	0.0		35-	3	48.9	33.0	64.7	35-	74704	2	32.6	
	40-	0	0.0		40-	0	0.0		40-	2	36.4	21.9	50.8	40-	66892	1	18.2		
	45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	2	37.6	22.7	52.6	45-	64700	0	0.0		
	50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	2	38.6	23.3	53.9	50-	63065	0	0.0		
	55-	0	0.0		55-	1	16.8	7.4	26.2	55-	2	33.6	20.2	46.9	55-	72452	0	0.0	
	60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	3	42.7	28.9	56.6	60-	85388	0	0.0		
	65																		

地域	梅毒 総 計				地域	梅毒Ⅰ、Ⅱ期				地域	人口 梅毒 無症状				地域	梅毒Ⅲ期以上							
	報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対							
	推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間						
県別STD報告数、罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)										県別STD報告数、罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)													
21岐阜	0-				0-					21岐阜	0-				0-								
男	5-				5-					男	5-				5-								
配偶あり	10-				10-					配偶あり	10-				10-								
15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	134	0	0.0		15-	0	0.0						
20-	0	0.0			20-	0	0.0			20-	2877	0	0.0		20-	0	0.0						
25-	1	77.5	33.9	121.0	25-	0	0.0			25-	15703	1	77.5	33.9	121.0	25-	0	0.0					
30-	1	36.1	15.8	56.4	30-	0	0.0			30-	33673	1	36.1	15.8	56.4	30-	0	0.0					
35-	0	0.0			35-	0	0.0			35-	48841	0	0.0		35-	0	0.0						
40-	0	0.0			40-	0	0.0			40-	46413	0	0.0		40-	0	0.0						
45-	2	51.4	31.0	71.8	45-	2	51.4	31.0	71.8	45-	47341	0	0.0		45-	0	0.0						
50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	47922	0	0.0		50-	0	0.0						
55-	1	21.6	9.5	33.7	55-	1	21.6	9.5	33.7	55-	56386	0	0.0		55-	0	0.0						
60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	70852	0	0.0		60-	0	0.0						
65+	2	13.4	8.1	18.8	65+	1	6.7	2.9	10.5	65+	181113	1	6.7	2.9	10.5	65+	0	0.0					
計	7	15.4	12.2	18.7	計	4	8.8	6.3	11.3	計	551255	3	6.6	4.5	8.8	計	0	0.0					
21岐阜	0-				0-					21岐阜	0-				0-								
男	5-				5-					男	5-				5-								
配偶なし	10-				10-					配偶なし	10-	53590			10-								
15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	51389	0	0.0		15-	0	0.0						
20-	0	0.0			20-	0	0.0			20-	45296	0	0.0		20-	0	0.0						
25-	0	0.0			25-	0	0.0			25-	38550	0	0.0		25-	0	0.0						
30-	0	0.0			30-	0	0.0			30-	29660	0	0.0		30-	0	0.0						
35-	1	45.0	19.7	70.2	35-	1	45.0	19.7	70.2	35-	27052	0	0.0		35-	0	0.0						
40-	0	0.0			40-	0	0.0			40-	19811	0	0.0		40-	0	0.0						
45-	1	79.7	34.9	124.5	45-	1	79.7	34.9	124.5	45-	15262	0	0.0		45-	0	0.0						
50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	12107	0	0.0		50-	0	0.0						
55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	11935	0	0.0		55-	0	0.0						
60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	12134	0	0.0		60-	0	0.0						
65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	34245	0	0.0		65+	0	0.0						
計	2	8.2	4.9	11.4	計	2	8.2	4.9	11.4	計	297441	0	0.0		計	0	0.0						
21岐阜	0-				0-					21岐阜	0-				0-								
男	5-				5-					男	5-				5-								
計	10-				10-					計	10-	53590			10-								
15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	51523	0	0.0		15-	0	0.0						
20-	0	0.0			20-	0	0.0			20-	48173	0	0.0		20-	0	0.0						
25-	1	22.4	9.8	35.0	25-	0	0.0			25-	54253	1	22.4	9.8	35.0	25-	0	0.0					
30-	1	19.2	8.4	30.0	30-	0	0.0			30-	63333	1	19.2	8.4	30.0	30-	0	0.0					
35-	1	16.0	7.0	25.0	35-	1	16.0	7.0	25.0	35-	75893	0	0.0		35-	0	0.0						
40-	0	0.0			40-	0	0.0			40-	66224	0	0.0		40-	0	0.0						
45-	3	58.3	39.4	77.2	45-	3	58.3	39.4	77.2	45-	62603	0	0.0		45-	0	0.0						
50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	60029	0	0.0		50-	0	0.0						
55-	1	17.8	7.8	27.8	55-	1	17.8	7.8	27.8	55-	68321	0	0.0		55-	0	0.0						
60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	82986	0	0.0		60-	0	0.0						
65+	2	11.3	6.8	15.8	65+	1	5.6	2.5	8.8	65+	215358	1	5.6	2.5	8.8	65+	0	0.0					
計	9	12.9	10.5	15.3	計	6	8.6	6.6	10.6	計	848696	3	4.3	2.9	5.7	計	0	0.0					
21岐阜	0-				0-					21岐阜	0-				0-								
女	5-				5-					女	5-				5-								
配偶あり	10-				10-					配偶あり	10-	0			10-								
15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	265	0	0.0		15-	0	0.0						
20-	1	239.2	104.8	373.6	20-	0	0.0			20-	5086	1	239.2	104.8	373.6	20-	0	0.0					
25-	0	0.0			25-	0	0.0			25-	22587	0	0.0		25-	0	0.0						
30-	2	59.4	35.8	83.0	30-	2	59.4	35.8	83.0	30-	40977	0	0.0		30-	0	0.0						
35-	1	21.7	9.5	34.0	35-	1	21.7	9.5	34.0	35-	55942	0	0.0		35-	0	0.0						
40-	0	0.0			40-	0	0.0			40-	52306	0	0.0		40-	0	0.0						
45-	1	23.1	10.1	36.1	45-	0	0.0			45-	52622	1	23.1	10.1	36.1	45-	0	0.0					
50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	53023	0	0.0		50-	0	0.0						
55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	60722	0	0.0		55-	0	0.0						
60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	68847	0	0.0		60-	0	0.0						
65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	142904	0	0.0		65+	0	0.0						
計	5	11.0	8.2	13.7	計	3	6.6	4.4	8.7	計	555281	2	4.4	2.6	6.1	計	0	0.0					
21岐阜	0-				0-					21岐阜	0-				0-								
女	5-				5-					女	5-				5-								
配偶なし	10-				10-					配偶なし	10-	50980			10-								
15-	1	24.4	10.7	38.2	15-	0	0.0			15-	49770	1	24.4	10.7	38.2	15-	0	0.0					
20-	1	27.2	11.9	42.5	20-	1	27.2	11.9	42.5	20-	44695	0	0.0		20-	0	0.0						
25-	4	153.5	110.4	196.6	25-	2	76.7	46.3	107.2	25-	31707	2	76.7	46.3	107.2	25-	0	0.0					
30-	1	57.4	25.1	89.6	30-	1	57.4	25.1	89.6	30-	21211	0	0.0		30-	0	0.0						
35-	1	64.8	28.4	101.3	35-	1	64.8	28.4	101.3	35-	18762	0	0.0		35-	0	0.0						
40-	2	166.8	100.5	233.1	40-	2	166.8	100.5	233.1	40-	14586	0	0.0		40-	0	0.0						
45-	0	0.0			45-	0	0.0			45-	12078	0	0.0		45-	0	0.0						
50-	1	121.2	53.1	189.2	50-	0	0.0			50-	10042	1	121.2	53.1	189.2	50-	0	0.0					
55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	11730	0	0.0		55-	0	0.0						
60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	16541	0	0.0		60-	0	0.0						
65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	137981	0	0.0		65+	0	0.0						
計	11	36.3	30.1	42.4	計	7	23.1	18.2	28.0	計	369083	4	13.2	9.5	16.9	計	0	0.0					
21岐阜	0-				0-					21岐阜	0-				0-								
女	5-				5-					女	5-				5-								
計	10-				10-					計	10-	50980			10-								
15-	1	24.3	10.7	38.0	15-	0	0.0			15-	50035	1	24.3	10.7	38.0	15-	0	0.0					
20-	2	48.9	29.5	68.3	20-	1	24.4	10.7	38.2	20-	49781	1	24.4	10.7	38.2	20-	0	0.0					
25-	4	89.6	64.5																				

県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)

地域	年齢	全STD(件数)				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 総計				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 症候性				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 無症候			
		報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対			
		推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間		
県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)																				
28兵庫 男 配偶あり	0-					0-					0-					0-				
	5-					5-					5-					5-				
	10-					10-					10-					10-				
	15-	452	0	0.0		15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	0	0.0		
	20-	7787	1	156.2	68.5 244.0	20-	1	156.2	68.5 244.0	20-	0	0.0			20-	1	156.2	68.5 244.0		
	25-	40775	9	268.5	218.3 318.8	25-	4	119.4	85.8 152.9	25-	2	59.7	36.0 83.4	25-	2	59.7	36.0 83.4			
	30-	89079	27	368.8	328.9 408.6	30-	13	177.6	149.9 205.2	30-	7	95.6	75.3 115.9	30-	6	81.9	63.2 100.7			
	35-	134401	33	298.7	269.5 328.0	35-	15	135.8	116.1 155.5	35-	9	81.5	66.2 96.7	35-	6	54.3	41.9 66.8			
	40-	129969	32	299.6	269.8 329.3	40-	5	46.8	35.0 58.6	40-	4	37.4	26.9 48.0	40-	1	9.4	4.1 14.6			
	45-	125414	27	261.9	233.6 290.3	45-	7	67.9	53.5 82.3	45-	5	48.5	36.3 60.7	45-	2	19.4	11.7 27.1			
	50-	120120	22	222.8	196.1 249.5	50-	7	70.9	55.8 86.0	50-	7	70.9	55.8 86.0	50-	0	0.0				
	55-	139037	18	157.5	136.7 178.4	55-	5	43.8	32.8 54.7	55-	5	43.8	32.8 54.7	55-	0	0.0				
	60-	175059	7	48.7	38.3 59.0	60-	3	20.9	14.1 27.6	60-	3	20.9	14.1 27.6	60-	0	0.0				
	65+	441983	9	24.8	20.1 29.4	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	1404076	185	160.3	153.7 166.9	計	60	52.0	48.2 55.8	計	42	36.4	33.2 39.5	計	18	15.6	13.5 17.7			
28兵庫 男 配偶なし	0-					0-					0-					0-				
	5-					5-					5-					5-				
	10-					10-					10-					10-				
	15-	134600	23	207.9	183.5 232.3	15-	10	90.4	74.3 106.5	15-	8	72.3	57.9 86.7	15-	2	18.1	10.9 25.3			
	20-	123579	85	836.8	785.9 887.8	20-	36	354.4	321.2 387.6	20-	27	265.8	237.1 294.6	20-	9	88.6	72.0 105.2			
	25-	103238	72	848.5	792.4 904.7	25-	22	259.3	228.2 290.3	25-	13	153.2	129.3 177.1	25-	9	106.1	86.2 125.9			
	30-	78518	39	604.3	550.0 658.7	30-	15	232.4	198.7 266.1	30-	13	201.4	170.0 232.8	30-	2	31.0	18.7 43.3			
	35-	74623	17	277.2	239.4 314.9	35-	4	65.2	46.9 83.5	35-	4	65.2	46.9 83.5	35-	0	0.0				
	40-	56233	8	173.1	138.7 207.5	40-	2	43.3	26.1 60.5	40-	1	21.6	9.5 33.8	40-	1	21.6	9.5 33.8			
	45-	43268	15	421.8	360.6 483.0	45-	2	56.2	33.9 78.6	45-	2	56.2	33.9 78.6	45-	0	0.0				
	50-	35249	6	207.1	159.6 254.6	50-	2	69.0	41.6 96.5	50-	2	69.0	41.6 96.5	50-	0	0.0				
	55-	36986	1	32.9	14.4 51.4	55-	1	32.9	14.4 51.4	55-	1	32.9	14.4 51.4	55-	0	0.0				
	60-	39498	0	0.0		60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	65+	96747	5	62.9	47.1 78.7	65+	1	12.6	5.5 19.6	65+	1	12.6	5.5 19.6	65+	0	0.0				
	計	822539	271	400.9	387.2 414.5	計	95	140.5	132.4 148.6	計	72	106.5	99.4 113.6	計	23	34.0	30.0 38.0			
28兵庫 男 計	0-					0-					0-					0-				
	5-					5-					5-					5-				
	10-					10-					10-					10-				
	15-	135052	23	207.2	182.9 231.5	15-	10	90.1	74.1 106.1	15-	8	72.1	57.8 86.4	15-	2	18.0	10.9 25.2			
	20-	131366	86	796.5	748.3 844.7	20-	37	342.7	311.0 374.3	20-	27	250.1	223.0 277.1	20-	10	92.6	76.2 109.1			
	25-	144013	81	684.3	641.6 727.0	25-	26	219.7	195.5 243.9	25-	15	126.7	108.3 145.1	25-	11	92.9	77.2 108.7			
	30-	167597	66	479.1	446.0 512.3	30-	28	203.3	181.7 224.8	30-	20	145.2	126.9 163.4	30-	8	58.1	46.5 69.6			
	35-	209024	50	291.0	267.9 314.2	35-	19	110.6	96.3 124.8	35-	13	75.7	63.9 87.5	35-	6	34.9	26.9 42.9			
	40-	186202	40	261.4	238.1 284.6	40-	7	45.7	36.0 55.5	40-	5	32.7	24.5 40.9	40-	2	13.1	7.9 18.3			
	45-	168682	42	302.9	276.7 329.2	45-	9	64.9	52.8 77.1	45-	7	50.5	39.8 61.2	45-	2	14.4	8.7 20.2			
	50-	155369	28	219.3	196.0 242.5	50-	9	70.5	57.3 83.7	50-	9	70.5	57.3 83.7	50-	0	0.0				
	55-	176023	19	131.3	114.4 148.3	55-	6	41.5	32.0 51.0	55-	6	41.5	32.0 51.0	55-	0	0.0				
	60-	214557	7	39.7	31.3 48.1	60-	3	17.0	11.5 22.5	60-	3	17.0	11.5 22.5	60-	0	0.0				
	65+	538730	14	31.6	26.9 36.4	65+	1	2.3	1.0 3.5	65+	1	2.3	1.0 3.5	65+	0	0.0				
	計	2226615	456	249.2	242.6 255.7	計	155	84.7	80.9 88.5	計	114	62.3	59.0 65.6	計	41	22.4	20.4 24.4			
県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)																				
28兵庫 女 配偶あり	0-					0-					0-					0-				
	5-					5-					5-					5-				
	10-					10-					10-					10-				
	15-	765	4	6361.7	4579.0 8144.3	15-	3	4771.2	3226.4 6316.1	15-	2	3180.8	1918.6 4443.0	15-	1	1590.4	697.3 2483.5			
	20-	12183	20	1997.3	1746.6 2248.1	20-	14	1398.1	1188.3 1608.0	20-	8	798.9	640.3 957.6	20-	6	599.2	461.8 736.6			
	25-	54571	36	802.6	727.5 877.8	25-	24	535.1	473.7 596.4	25-	7	156.1	122.9 189.2	25-	17	379.0	327.4 430.7			
	30-	107800	41	462.7	422.1 503.3	30-	17	191.9	165.7 218.0	30-	8	90.3	72.4 108.2	30-	9	101.6	82.6 120.6			
	35-	152926	27	214.8	191.6 238.0	35-	8	63.6	51.0 76.3	35-	5	39.8	29.8 49.8	35-	3	23.9	16.1 31.6			
	40-	142743	24	204.6	181.1 228.0	40-	4	34.1	24.5 43.7	40-	4	34.1	24.5 43.7	40-	0	0.0				
	45-	135954	15	134.2	114.8 153.7	45-	3	26.8	18.1 35.6	45-	3	26.8	18.1 35.6	45-	0	0.0				
	50-	131308	13	120.5	101.7 139.2	50-	5	46.3	34.7 58.0	50-	3	27.8	18.8 36.8	50-	2	18.5	11.2 25.9			
	55-	149380	12	97.7	81.9 113.6	55-	1	8.1	3.6 12.7	55-	0	0.0			55-	1	8.1	3.6 12.7		
	60-	174861	4	27.8	20.0 35.7	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	65+	350540	12	41.7	34.9 48.4	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	1413031	208	179.1	172.1 186.1	計	79	68.0	63.7 72.3	計	40	34.4	31.4 37.5	計	39	33.6	30.6 36.6			
28兵庫 女 配偶なし	0-					0-					0-					0-				
	5-					5-					5-					5-				
	10-					10-					10-					10-				
	15-	131141	59	547.4	507.3 587.4	15-	42	389.7	355.9 423.4	15-	22	204.1	179.7 228.6	15-	20	185.6	162.2 208.9			
	20-	126015	134	1293.8	1231.0 1356.5	20-	83	801.4	751.9 850.8	20-	45	434.5	398.1 470.9	20-	38	366.9	333.4 400.3			
	25-	97010	95	1191.5	1122.8 1260.1	25-	54	677.2	625.5 729.0	25-	29	363.7	325.8 401.7	25-	25	313.5	278.3 348.8			
	30-	70082	37	642.3	583.0 701.7	30-	21	364.6	319.9 409.3	30-	9	156.2	127.0 185.5	30-	12	208.3	174.5 242.1			
	35-	65073	25	467.4	414.9 519.9	35-	12	224.4	188.0 260.8	35-	8	149.6	119.9 179.3	35-	4	74.8	53.8 95.8			
	40-	52049	13	303.9	256.5 351.2	40-	4	93.5	67.2 119.8	40-	2	46.8	28.2 65.3	40-	2	46.8	28.2 65.3			
	45-	42658	8	228.2	182.8 273.5	45-	1	28.5	12.5 44.5	45-	0	0.0			45-	1	28.5	12.5 44.5		
	50-	35138	2	69.3	41.7 96.8	50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	0	0.0		
	55-	38512	3	94.8	64.0 125.5	55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	60-	54185	1	22.5	9.8 35.1	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	</																			

地域	年齢	非淋菌性非クラミジア性尿道炎・咽				年齢	淋菌性尿道炎・頸管炎				年齢	性器ヘルペス	年齢	人口	尖圭コンジローマ			
		報告数 人口10万対					報告数 人口10万対								報告数 人口10万対			
		推定値 95%信頼区間						推定値 95%信頼区間						推定値 95%信頼区間				
県別STD報告数、罹患率（年間）および回収率調整罹患率（年間）																		
28兵庫 男 配偶あり	0-					0-					0-							
	5-					5-					5-							
	10-					10-					10-							
	15-					15-					15-							
	20-					20-					20-							
	25-					25-					25-							
	30-					30-					30-							
	35-					35-					35-							
	40-					40-					40-							
	45-					45-					45-							
	50-					50-					50-							
	55-					55-					55-							
	60-					60-					60-							
65+					65+					65+								
計					計					計								
28兵庫 男 配偶なし	0-					0-					0-							
	5-					5-					5-							
	10-					10-					10-							
	15-					15-					15-							
	20-					20-					20-							
	25-					25-					25-							
	30-					30-					30-							
	35-					35-					35-							
	40-					40-					40-							
	45-					45-					45-							
	50-					50-					50-							
	55-					55-					55-							
	60-					60-					60-							
65+					65+					65+								
計					計					計								
28兵庫 男 計	0-					0-					0-							
	5-					5-					5-							
	10-					10-					10-							
	15-					15-					15-							
	20-					20-					20-							
	25-					25-					25-							
	30-					30-					30-							
	35-					35-					35-							
	40-					40-					40-							
	45-					45-					45-							
	50-					50-					50-							
	55-					55-					55-							
	60-					60-					60-							
65+					65+					65+								
計					計					計								
県別STD報告数、罹患率（年間）および回収率調整罹患率（年間）																		
28兵庫 女 配偶あり	0-					0-					0-							
	5-					5-					5-							
	10-					10-					10-							
	15-					15-					15-							
	20-					20-					20-							
	25-					25-					25-							
	30-					30-					30-							
	35-					35-					35-							
	40-					40-					40-							
	45-					45-					45-							
	50-					50-					50-							
	55-					55-					55-							
	60-					60-					60-							
65+					65+					65+								
計					計					計								
28兵庫 女 配偶なし	0-					0-					0-							
	5-					5-					5-							
	10-					10-					10-							
	15-					15-					15-							
	20-					20-					20-							
	25-					25-					25-							
	30-					30-					30-							
	35-					35-					35-							
	40-					40-					40-							
	45-					45-					45-							
	50-					50-					50-							
	55-					55-					55-							
	60-					60-					60-							
65+					65+					65+								
計					計					計								
28兵庫 女 計	0-					0-					0-							
	5-					5-					5-							
	10-					10-					10-							
	15-					15-					15-							
	20-					20-					20-							
	25-					25-					25-							
	30-					30-					30-							
	35-					35-					35-							
	40-					40-					40-							
	45-					45-					45-							
	50-					50-					50-							
	55-					55-					55-							
	60-					60-					60-							
65+					65+					65+								
計					計					計								
28兵庫 女 計	0-					0-					0-							
	5-					5-					5-							
	10-					10-					10-							
	15-					15-					15-							
	20-					20-					20-							
	25-					25-					25-							
	30-					30-					30-							
	35-					35-					35-							
	40-					40-					40-							
	45-					45-					45-							
	50-					50-					50-							
	55-					55-					55-							
	60-					60-					60-							
65+					65+					65+								
計					計					計								

地域 年齢 梅毒 総計				年齢 梅毒 I, II 期				地域 年齢 人口 梅毒 無症状				年齢 梅毒 III期以上						
報告数 人口10万対				報告数 人口10万対				報告数 人口10万対				報告数 人口10万対						
推定値 95%信頼区間				推定値 95%信頼区間				推定値 95%信頼区間				推定値 95%信頼区間						
県別STD報告数、罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)								県別STD報告数、罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)										
28兵庫	0-			0-				28兵庫	0-				0-					
男	5-			5-				男	5-				5-					
配偶あり	10-			10-				配偶あり	10-				10-					
15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	452	0	0.0		15-	0	0.0			
20-	0	0.0		20-	0	0.0		20-	7787	0	0.0		20-	0	0.0			
25-	0	0.0		25-	0	0.0		25-	40775	0	0.0		25-	0	0.0			
30-	0	0.0		30-	0	0.0		30-	89079	0	0.0		30-	0	0.0			
35-	2	18.1	10.9	25.3	35-	2	18.1	10.9	25.3	35-	134401	0	0.0	35-	0	0.0		
40-	1	9.4	4.1	14.6	40-	1	9.4	4.1	14.6	40-	129969	0	0.0	40-	0	0.0		
45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	125414	0	0.0		45-	0	0.0			
50-	1	10.1	4.4	15.8	50-	1	10.1	4.4	15.8	50-	120120	0	0.0	50-	0	0.0		
55-	1	8.8	3.8	13.7	55-	1	8.8	3.8	13.7	55-	139037	0	0.0	55-	0	0.0		
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	175059	0	0.0		60-	0	0.0			
65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	441983	0	0.0		65+	0	0.0			
計	5	4.3	3.2	5.4	計	5	4.3	3.2	5.4	計	1404076	0	0.0	計	0	0.0		
28兵庫	0-			0-				28兵庫	0-				0-					
男	5-			5-				男	5-				5-					
配偶なし	10-			10-				配偶なし	10-				10-					
15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	134600	0	0.0		15-	0	0.0			
20-	1	9.8	4.3	15.4	20-	1	9.8	4.3	15.4	20-	123579	0	0.0	20-	0	0.0		
25-	0	0.0		25-	0	0.0		25-	103238	0	0.0		25-	0	0.0			
30-	0	0.0		30-	0	0.0		30-	78518	0	0.0		30-	0	0.0			
35-	0	0.0		35-	0	0.0		35-	74623	0	0.0		35-	0	0.0			
40-	3	64.9	43.9	86.0	40-	3	64.9	43.9	86.0	40-	56233	0	0.0	40-	0	0.0		
45-	4	112.5	80.9	144.1	45-	4	112.5	80.9	144.1	45-	43268	0	0.0	45-	0	0.0		
50-	1	34.5	15.1	53.9	50-	1	34.5	15.1	53.9	50-	35249	0	0.0	50-	0	0.0		
55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	36986	0	0.0		55-	0	0.0			
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	39498	0	0.0		60-	0	0.0			
65+	1	12.6	5.5	19.6	65+	1	12.6	5.5	19.6	65+	96747	0	0.0	65+	0	0.0		
計	10	14.8	12.2	17.4	計	10	14.8	12.2	17.4	計	822539	0	0.0	計	0	0.0		
28兵庫	0-			0-				28兵庫	0-				0-					
男	5-			5-				男	5-				5-					
計	10-			10-				計	10-				10-					
15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	135052	0	0.0		15-	0	0.0			
20-	1	9.3	4.1	14.5	20-	1	9.3	4.1	14.5	20-	131366	0	0.0	20-	0	0.0		
25-	0	0.0		25-	0	0.0		25-	144013	0	0.0		25-	0	0.0			
30-	0	0.0		30-	0	0.0		30-	167597	0	0.0		30-	0	0.0			
35-	2	11.6	7.0	16.3	35-	2	11.6	7.0	16.3	35-	209024	0	0.0	35-	0	0.0		
40-	4	26.1	18.8	33.5	40-	4	26.1	18.8	33.5	40-	186202	0	0.0	40-	0	0.0		
45-	4	28.9	20.7	37.0	45-	4	28.9	20.7	37.0	45-	168682	0	0.0	45-	0	0.0		
50-	2	15.7	9.4	21.9	50-	2	15.7	9.4	21.9	50-	155369	0	0.0	50-	0	0.0		
55-	1	6.9	3.0	10.8	55-	1	6.9	3.0	10.8	55-	176023	0	0.0	55-	0	0.0		
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	214557	0	0.0		60-	0	0.0			
65+	1	2.3	1.0	3.5	65+	1	2.3	1.0	3.5	65+	538730	0	0.0	65+	0	0.0		
計	15	8.2	7.0	9.4	計	15	8.2	7.0	9.4	計	2226615	0	0.0	計	0	0.0		
県別STD報告数、罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)								県別STD報告数、罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)										
28兵庫	0-			0-				28兵庫	0-				0-					
女	5-			5-				女	5-				5-					
配偶あり	10-			10-				配偶あり	10-				10-					
15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	765	0	0.0		15-	0	0.0			
20-	2	199.7	120.4	279.1	20-	0	0.0		20-	12183	2	199.7	120.4	279.1	20-	0	0.0	
25-	0	0.0		25-	0	0.0		25-	54571	0	0.0		25-	0	0.0			
30-	1	11.3	4.9	17.6	30-	0	0.0		30-	107800	1	11.3	4.9	17.6	30-	0	0.0	
35-	1	8.0	3.5	12.4	35-	0	0.0		35-	152926	1	8.0	3.5	12.4	35-	0	0.0	
40-	0	0.0		40-	0	0.0		40-	142743	0	0.0		40-	0	0.0			
45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	135954	0	0.0		45-	0	0.0			
50-	1	9.3	4.1	14.5	50-	1	9.3	4.1	14.5	50-	131308	0	0.0	50-	0	0.0		
55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	149380	0	0.0		55-	0	0.0			
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	174861	0	0.0		60-	0	0.0			
65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	350540	0	0.0		65+	0	0.0			
計	5	4.3	3.2	5.4	計	1	0.9	0.4	1.3	計	1413031	4	3.4	2.5	4.4	計	0	0.0
28兵庫	0-			0-				28兵庫	0-				0-					
女	5-			5-				女	5-				5-					
配偶なし	10-			10-				配偶なし	10-				10-					
15-	2	18.6	11.2	25.9	15-	2	18.6	11.2	25.9	15-	131141	0	0.0	15-	0	0.0		
20-	4	38.6	27.8	49.5	20-	2	19.3	11.6	27.0	20-	126015	2	19.3	11.6	27.0	20-	0	0.0
25-	3	37.6	25.4	49.8	25-	2	25.1	15.1	35.0	25-	97010	1	12.5	5.5	19.6	25-	0	0.0
30-	0	0.0		30-	0	0.0		30-	70082	0	0.0		30-	0	0.0			
35-	1	18.7	8.2	29.2	35-	0	0.0		35-	65073	1	18.7	8.2	29.2	35-	0	0.0	
40-	1	23.4	10.2	36.5	40-	0	0.0		40-	52049	1	23.4	10.2	36.5	40-	0	0.0	
45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	42658	0	0.0		45-	0	0.0			
50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	35138	0	0.0		50-	0	0.0			
55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	38512	0	0.0		55-	0	0.0			
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	54185	0	0.0		60-	0	0.0			
65+	1	3.3	1.5	5.2	65+	0	0.0		65+	364349	1	3.3	1.5	5.2	65+	0	0.0	
計	12	13.6	11.4	15.8	計	6	6.8	5.2	8.3	計	1076212	6	6.8	5.2	8.3	計	0	0.0
28兵庫	0-			0-				28兵庫	0-				0-					
女	5-			5-				女	5-				5-					
計	10-			10-				計	10-				10-					
15-	2	18.4	11.1	25.8	15-	2	18.4	11.1	25.8	15-	131906	0	0.0	15-	0	0.0		
20-	6	52.8	40.7	64.9	20-	2	17.6	10.6	24.6	20-	138198	4	35.2	25.3	45.1	20-	0	0.0
25-	3	24.1	16.3	31.9	25-	2	16.1	9.7	22.4	25-	151581	1	8.0	3.5	12.5	25-	0	0.0
30-	1	6.8	3.0	10.7	30-	0	0.0		30-	177882	1	6.8	3.0	10.7	30-	0	0.0	
35-	2	11.2	6.7	15.6	35-	0	0.0		35-	217999	2	11.2	6.7	15.6	35-	0	0.0	
40-	1	6.2	2.7	9.8	40-	0	0.0		40-	194792	1	6.2	2.7	9.8	40-	0	0.0	
45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	178612	0	0.0		45-	0	0.0			
50-	1	7.3	3.2	11.4	50-	1	7.3	3.2	11.4	50-	166446	0	0.0	50-	0	0.0		
55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	187892	0	0.0		55-	0	0.0			
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	229046	0	0.0		60-	0	0.0			
65+	1	1.7	0.7	2.7	65+	0	0.0		65+	714889	1	1.7	0.7	2.7	65+	0	0.0	
計	17	8.3	7.2	9.4	計	7	3.4	2.7	4.1	計	2489243	10	4.9	4.0	5.8	計	0	0.0

県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)

地域	年齢	全STD(件数)				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 総計				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 症候性				年齢	クラミジア性尿道炎・頸管炎 無症候				
		報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対					報告数 人口10万対				
		推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間			
県別STD報告数・罹患率(年間)および回収率調整罹患率(年間)																					
36 徳島 男 配偶あり	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	57	0	0.0		15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	0	0.0			
	20-	1082	0	0.0		20-	0	0.0			20-	0	0.0			20-	0	0.0			
	25-	5586	3	653.4	441.5	865.3	25-	1	217.8	95.4	340.2	25-	1	217.8	95.4	340.2	25-	0	0.0		
	30-	11617	8	837.9	671.5	1004.2	30-	3	314.2	212.3	416.1	30-	3	314.2	212.3	416.1	30-	0	0.0		
	35-	15614	6	467.5	360.3	574.8	35-	2	155.8	93.9	217.8	35-	2	155.8	93.9	217.8	35-	0	0.0		
	40-	14678	4	331.6	238.4	424.7	40-	2	165.8	99.9	231.6	40-	2	165.8	99.9	231.6	40-	0	0.0		
	45-	15773	6	462.8	356.7	569.0	45-	3	231.4	156.3	306.5	45-	3	231.4	156.3	306.5	45-	0	0.0		
	50-	18424	3	198.1	133.8	262.4	50-	2	132.1	79.6	184.5	50-	2	132.1	79.6	184.5	50-	0	0.0		
	55-	22657	3	161.1	108.8	213.4	55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	60-	27050	2	90.0	54.2	125.7	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	65+	68762	1	17.7	7.8	27.6	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	201300	36	217.6	197.2	238.0	計	13	78.6	66.3	90.8	計	13	78.6	66.3	90.8	計	0	0.0		
36徳島 男 配偶なし	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	17815	2	136.6	82.3	190.9	15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	0	0.0		
	20-	15177	15	1202.5	1028.1	1376.9	20-	6	481.0	370.7	591.3	20-	5	400.8	300.1	501.5	20-	1	80.2	35.1	125.2
	25-	13280	12	1099.4	921.1	1277.7	25-	2	183.2	110.4	256.0	25-	1	91.6	40.1	143.1	25-	1	91.6	40.1	143.1
	30-	10285	7	828.1	652.3	1003.9	30-	2	236.6	142.6	330.6	30-	1	118.3	51.8	184.8	30-	1	118.3	51.8	184.8
	35-	9094	5	668.9	500.9	837.0	35-	2	267.6	161.3	373.9	35-	1	133.8	58.6	209.0	35-	1	133.8	58.6	209.0
	40-	6886	2	353.4	213.0	493.8	40-	1	176.7	77.4	276.0	40-	1	176.7	77.4	276.0	40-	0	0.0		
	45-	5793	0	0.0			45-	0	0.0			45-	0	0.0			45-	0	0.0		
	50-	5590	2	435.3	262.4	608.2	50-	1	217.7	95.4	339.9	50-	1	217.7	95.4	339.9	50-	0	0.0		
	55-	6105	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	60-	5884	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	65+	15770	1	77.2	33.8	120.5	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	111679	46	501.1	459.6	542.6	計	14	152.5	129.6	175.4	計	10	108.9	89.6	128.3	計	4	43.6	31.3	55.8
36徳島 男 計	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	17872	2	136.2	82.1	190.2	15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	0	0.0		
	20-	16259	15	1122.5	959.7	1285.2	20-	6	449.0	346.0	552.0	20-	5	374.2	280.1	468.2	20-	1	74.8	32.8	116.9
	25-	18866	15	967.3	827.1	1107.6	25-	3	193.5	130.7	256.2	25-	2	129.0	77.7	180.2	25-	1	64.5	28.3	100.7
	30-	21902	15	833.3	712.4	954.1	30-	5	277.8	208.0	347.5	30-	4	222.2	159.8	284.6	30-	1	55.6	24.3	86.8
	35-	24708	11	541.7	449.9	633.4	35-	4	197.0	141.6	252.3	35-	3	147.7	99.8	195.6	35-	1	49.2	21.6	76.9
	40-	21564	6	338.5	260.9	416.2	40-	3	169.3	114.4	224.2	40-	3	169.3	114.4	224.2	40-	0	0.0		
	45-	21566	6	338.5	260.9	416.1	45-	3	169.2	114.3	224.2	45-	3	169.2	114.3	224.2	45-	0	0.0		
	50-	24014	5	253.3	189.7	317.0	50-	3	152.0	102.7	201.3	50-	3	152.0	102.7	201.3	50-	0	0.0		
	55-	28762	3	126.9	85.7	168.1	55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	60-	32934	2	73.9	44.5	103.2	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	65+	84532	2	28.8	17.3	40.2	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	312979	82	318.8	299.0	338.5	計	27	105.0	93.6	116.3	計	23	89.4	78.9	99.9	計	4	15.5	11.2	19.9
36徳島 女 配偶あり	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	103	1	11812.3	5207.1	18417.5	15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	0	0.0		
	20-	1722	4	2826.2	2033.1	3619.3	20-	3	2119.6	1432.6	2806.7	20-	0	0.0			20-	3	2119.6	1432.6	2806.7
	25-	7541	5	806.7	604.0	1009.4	25-	3	484.0	327.0	641.0	25-	0	0.0			25-	3	484.0	327.0	641.0
	30-	13701	10	888.0	730.3	1045.7	30-	5	444.0	332.4	555.6	30-	1	88.8	38.9	138.7	30-	4	355.2	255.4	455.0
	35-	18275	5	332.9	249.2	416.5	35-	1	66.6	29.2	104.0	35-	0	0.0			35-	1	66.6	29.2	104.0
	40-	16869	6	432.7	333.5	532.0	40-	1	72.1	31.6	112.7	40-	1	72.1	31.6	112.7	40-	0	0.0		
	45-	18112	3	201.5	136.2	266.9	45-	0	0.0			45-	0	0.0			45-	0	0.0		
	50-	20373	2	119.4	72.0	166.9	50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	0	0.0		
	55-	23706	2	102.6	61.9	143.4	55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	60-	25243	1	48.2	21.1	75.3	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	65+	56862	2	42.8	25.8	59.8	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	202507	41	246.3	224.7	267.9	計	13	78.1	65.9	90.3	計	2	12.0	7.2	16.8	計	11	66.1	54.9	77.3
36徳島 女 配偶なし	0-					0-					0-					0-					
	5-					5-					5-					5-					
	10-					10-					10-					10-					
	15-	16958	2	143.5	86.5	200.5	15-	2	143.5	86.5	200.5	15-	2	143.5	86.5	200.5	15-	0	0.0		
	20-	14939	16	1303.1	1120.1	1486.0	20-	13	1058.8	893.8	1223.7	20-	6	488.7	376.6	600.7	20-	7	570.1	449.0	691.1
	25-	11602	6	629.2	484.9	773.5	25-	2	209.7	126.4	293.1	25-	2	209.7	126.4	293.1	25-	0	0.0		
	30-	8444	1	144.1	63.1	225.0	30-	0	0.0			30-	0	0.0			30-	0	0.0		
	35-	7671	5	793.0	593.8	992.3	35-	1	158.6	69.5	247.7	35-	0	0.0			35-	1	158.6	69.5	247.7
	40-	6066	0	0.0			40-	0	0.0			40-	0	0.0			40-	0	0.0		
	45-	5246	1	231.9	101.6	362.2	45-	0	0.0			45-	0	0.0			45-	0	0.0		
	50-	4913	1	247.6	108.5	386.8	50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	0	0.0		
	55-	5949	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	0	0.0		
	60-	7731	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	0	0.0		
	65+	63347	1	19.2	8.4	30.0	65+	0	0.0			65+	0	0.0			65+	0	0.0		
	計	152866	33	262.6	237.0	288.3	計	18</													

地域	年齢	非淋菌性非クラミジア性尿道炎・咽				年齢	淋菌性尿道炎・頸管炎				年齢	性器ヘルペス				年齢	人口	尖圭コンジローマ			
	報告数	人口10万対				報告数	人口10万対				報告数	人口10万対				報告数	人口10万対				
		推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間				推定値	95%信頼区間			
県別STD報告数、罹患率（年間）および回収率調整罹患率（年間）																					
36 徳島 男 配偶あり	0-				0-					0-					0-						
	5-				5-					5-					5-						
	10-				10-					10-					10-						
	15-				15-					15-					15-	57	0	0.0			
	20-	0	0.0		20-	0	0.0			20-	0	0.0			20-	1082	0	0.0			
	25-	1	217.8	95.4	340.2	25-	0	0.0			25-	0	0.0			25-	5586	1	217.8	95.4	340.2
	30-	0	0.0		30-	2	209.5	126.2	292.7	30-	2	209.5	126.2	292.7	30-	11617	1	104.7	45.9	163.6	
	35-	0	0.0		35-	1	77.9	34.1	121.7	35-	0	0.0			35-	15614	3	233.8	157.9	309.6	
	40-	0	0.0		40-	0	0.0			40-	1	82.9	36.3	129.5	40-	14678	1	82.9	36.3	129.5	
	45-	0	0.0		45-	1	77.1	33.8	120.5	45-	2	154.3	93.0	215.6	45-	15773	0	0.0			
	50-	0	0.0		50-	1	66.0	28.9	103.1	50-	0	0.0			50-	18424	0	0.0			
	55-	1	53.7	23.5	83.9	55-	0	0.0			1	53.7	23.5	83.9	55-	22657	1	53.7	23.5	83.9	
60-	0	0.0		60-	0	0.0			60-	1	45.0	19.7	70.3	60-	27050	1	45.0	19.7	70.3		
65+	0	0.0		65+	0	0.0			65+	1	17.7	7.8	27.6	65+	68762	0	0.0				
計	2	12.1	7.3	16.9	計	5	30.2	22.6	37.8	計	8	48.4	38.7	58.0	計	201300	8	48.4	38.7	58.0	
36 徳島 男 配偶なし	0-				0-					0-					0-						
	5-				5-					5-					5-						
	10-				10-					10-					10-						
	15-	1	68.3	29.9	106.7	15-	1	68.3	29.9	106.7	15-	0	0.0			15-	17815	0	0.0		
	20-	4	320.7	230.6	410.7	20-	3	240.5	162.5	318.5	20-	2	160.3	96.6	224.0	20-	15177	0	0.0		
	25-	6	549.7	423.6	675.8	25-	2	183.2	110.4	256.0	25-	2	183.2	110.4	256.0	25-	13280	0	0.0		
	30-	3	354.9	239.8	470.0	30-	0	0.0			30-	0	0.0			30-	10285	2	236.6	142.6	330.6
	35-	0	0.0		35-	1	133.8	58.6	209.0	35-	0	0.0			35-	9094	2	267.6	161.3	373.9	
	40-	0	0.0		40-	0	0.0			40-	1	176.7	77.4	276.0	40-	6886	0	0.0			
	45-	0	0.0		45-	0	0.0			45-	0	0.0			45-	5793	0	0.0			
	50-	0	0.0		50-	0	0.0			50-	0	0.0			50-	5590	1	217.7	95.4	339.9	
	55-	0	0.0		55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	6105	0	0.0			
60-	0	0.0		60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	5884	0	0.0				
65+	0	0.0		65+	0	0.0			65+	1	77.2	33.8	120.5	65+	15770	0	0.0				
計	14	152.5	129.6	175.4	計	7	76.3	60.1	92.5	計	6	65.4	50.4	80.4	計	111679	5	54.5	40.8	68.2	
36 徳島 男 計	0-				0-					0-					0-						
	5-				5-					5-					5-						
	10-				10-					10-					10-						
	15-	1	68.1	29.8	106.3	15-	3	224.5	151.7	297.3	15-	0	0.0			15-	16259	0	0.0		
	20-	4	299.3	215.2	383.4	20-	2	129.0	77.7	180.2	20-	2	129.0	77.7	180.2	20-	18866	1	64.5	28.3	100.7
	25-	7	451.4	355.6	547.3	25-	2	111.1	67.0	155.2	25-	2	111.1	67.0	155.2	25-	21902	3	166.7	112.6	220.7
	30-	3	166.7	112.6	220.7	30-	2	98.5	59.4	137.6	30-	0	0.0			30-	24708	5	246.2	184.3	308.1
	35-	0	0.0		35-	0	0.0			35-	2	112.8	68.0	157.7	35-	21564	1	56.4	24.7	88.1	
	40-	0	0.0		40-	1	56.4	24.7	88.1	40-	2	112.8	68.0	157.7	40-	21566	0	0.0			
	45-	0	0.0		45-	1	50.7	22.2	79.1	45-	0	0.0			45-	24014	1	50.7	22.2	79.1	
	50-	1	42.3	18.5	66.1	50-	0	0.0			50-	1	42.3	18.5	66.1	50-	28762	1	42.3	18.5	66.1
	55-	0	0.0		55-	0	0.0			55-	1	36.9	16.2	57.7	55-	32934	1	36.9	16.2	57.7	
60-	0	0.0		60-	0	0.0			60-	2	28.8	17.3	40.2	60-	84532	0	0.0				
65+	0	0.0		65+	0	0.0			65+	2	28.8	17.3	40.2	65+	84532	0	0.0				
計	16	62.2	53.5	70.9	計	12	46.6	39.1	54.2	計	14	54.4	46.3	62.6	計	312979	13	50.5	42.7	58.4	
36 徳島 女 配偶あり	0-				0-					0-					0-						
	5-				5-					5-					5-						
	10-				10-					10-					10-						
	15-	1	11812.3	5207.1	18417.5	15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	103	0	0.0		
	20-	0	0.0		20-	0	0.0			20-	1	706.5	309.6	1103.4	20-	1722	0	0.0			
	25-	0	0.0		25-	0	0.0			25-	2	322.7	194.5	450.9	25-	7541	0	0.0			
	30-	0	0.0		30-	1	88.8	38.9	138.7	30-	3	266.4	180.0	352.8	30-	13701	1	88.8	38.9	138.7	
	35-	1	66.6	29.2	104.0	35-	0	0.0			35-	3	199.7	134.9	264.5	35-	18275	0	0.0		
	40-	1	72.1	31.6	112.7	40-	0	0.0			40-	2	144.2	86.9	201.6	40-	16869	1	72.1	31.6	112.7
	45-	0	0.0		45-	0	0.0			45-	3	201.5	136.2	266.9	45-	18112	0	0.0			
	50-	0	0.0		50-	0	0.0			50-	2	119.4	72.0	166.9	50-	20373	0	0.0			
	55-	0	0.0		55-	0	0.0			55-	2	102.6	61.9	143.4	55-	23706	0	0.0			
60-	1	48.2	21.1	75.3	60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	25243	0	0.0			
65+	1	21.4	9.4	33.4	65+	0	0.0			65+	1	21.4	9.4	33.4	65+	56862	0	0.0			
計	5	30.0	22.5	37.6	計	1	6.0	2.6	9.4	計	19	114.2	99.4	128.9	計	202507	2	12.0	7.2	16.8	
36 徳島 女 配偶なし	0-				0-					0-					0-						
	5-				5-					5-					5-						
	10-				10-					10-					10-						
	15-	0	0.0		15-	0	0.0			15-	0	0.0			15-	16958	0	0.0			
	20-	0	0.0		20-	0	0.0			20-	3	244.3	165.1	323.6	20-	14939	0	0.0			
	25-	0	0.0		25-	0	0.0			25-	2	209.7	126.4	293.1	25-	11602	1	104.9	45.9	163.8	
	30-	0	0.0		30-	0	0.0			30-	1	144.1	63.1	225.0	30-	8444	0	0.0			
	35-	0	0.0		35-	0	0.0			35-	2	317.2	191.2	443.2	35-	7671	2	317.2	191.2	443.2	
	40-	0	0.0		40-	0	0.0			40-	0	0.0			40-	6066	0	0.0			
	45-	0	0.0		45-	0	0.0			45-	1	231.9	101.6	362.2	45-	5246	0	0.0			
	50-	0	0.0		50-	0	0.0			50-	1	247.6	108.5	386.8	50-	4913	0	0.0			
	55-	0	0.0		55-	0	0.0			55-	0	0.0			55-	5949	0	0.0			
60-	0	0.0		60-	0	0.0			60-	0	0.0			60-	7731	0	0.0				
65+	0	0.0		65+	0	0.0			65+	1	19.2	8.4	30.0	65+	63347	0	0.0				
計	0	0.0		計	0	0.0															

地域 年齢 梅毒 総 計				地域 年齢 梅毒 I, II 期				地域 年齢 人口 梅毒 無症状				地域 年齢 梅毒 Ⅲ期以上				
報告数 人口10万対				報告数 人口10万対				報告数 人口10万対				報告数 人口10万対				
推定値		95%信頼区間		推定値		95%信頼区間		推定値		95%信頼区間		推定値		95%信頼区間		
県別STD報告数、罹患率（年間）および回収率調整罹患率（年間）								県別STD報告数、罹患率（年間）および回収率調整罹患率（年間）								
36 徳島	0-			0-				36 徳島	0-			0-				
男	5-			5-				男	5-			5-				
配偶あり	10-			10-				配偶あり	10-			10-				
15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	57	0	0.0	15-	0	0.0		
20-	0	0.0		20-	0	0.0		20-	1082	0	0.0	20-	0	0.0		
25-	0	0.0		25-	0	0.0		25-	5586	0	0.0	25-	0	0.0		
30-	0	0.0		30-	0	0.0		30-	11617	0	0.0	30-	0	0.0		
35-	0	0.0		35-	0	0.0		35-	15614	0	0.0	35-	0	0.0		
40-	0	0.0		40-	0	0.0		40-	14678	0	0.0	40-	0	0.0		
45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	15773	0	0.0	45-	0	0.0		
50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	18424	0	0.0	50-	0	0.0		
55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	22657	0	0.0	55-	0	0.0		
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	27050	0	0.0	60-	0	0.0		
65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	68762	0	0.0	65+	0	0.0		
計	0	0.0		計	0	0.0		計	201300	0	0.0	計	0	0.0		
36 徳島	0-			0-				36 徳島	0-			0-				
男	5-			5-				男	5-			5-				
配偶なし	10-			10-				配偶なし	10-			10-				
15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	17815	0	0.0	15-	0	0.0		
20-	0	0.0		20-	0	0.0		20-	15177	0	0.0	20-	0	0.0		
25-	0	0.0		25-	0	0.0		25-	13280	0	0.0	25-	0	0.0		
30-	0	0.0		30-	0	0.0		30-	10285	0	0.0	30-	0	0.0		
35-	0	0.0		35-	0	0.0		35-	9094	0	0.0	35-	0	0.0		
40-	0	0.0		40-	0	0.0		40-	6886	0	0.0	40-	0	0.0		
45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	5793	0	0.0	45-	0	0.0		
50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	5590	0	0.0	50-	0	0.0		
55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	6105	0	0.0	55-	0	0.0		
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	5884	0	0.0	60-	0	0.0		
65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	15770	0	0.0	65+	0	0.0		
計	0	0.0		計	0	0.0		計	111679	0	0.0	計	0	0.0		
36 徳島	0-			0-				36 徳島	0-			0-				
男	5-			5-				男	5-			5-				
計	10-			10-				計	10-			10-				
15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	17872	0	0.0	15-	0	0.0		
20-	0	0.0		20-	0	0.0		20-	16259	0	0.0	20-	0	0.0		
25-	0	0.0		25-	0	0.0		25-	18866	0	0.0	25-	0	0.0		
30-	0	0.0		30-	0	0.0		30-	21902	0	0.0	30-	0	0.0		
35-	0	0.0		35-	0	0.0		35-	24708	0	0.0	35-	0	0.0		
40-	0	0.0		40-	0	0.0		40-	21564	0	0.0	40-	0	0.0		
45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	21566	0	0.0	45-	0	0.0		
50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	24014	0	0.0	50-	0	0.0		
55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	28762	0	0.0	55-	0	0.0		
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	32934	0	0.0	60-	0	0.0		
65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	84532	0	0.0	65+	0	0.0		
計	0	0.0		計	0	0.0		計	312979	0	0.0	計	0	0.0		
36 徳島	0-			0-				36 徳島	0-			0-				
女	5-			5-				女	5-			5-				
配偶あり	10-			10-				配偶あり	10-			10-				
15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	103	0	0.0	15-	0	0.0		
20-	0	0.0		20-	0	0.0		20-	1722	0	0.0	20-	0	0.0		
25-	0	0.0		25-	0	0.0		25-	7541	0	0.0	25-	0	0.0		
30-	0	0.0		30-	0	0.0		30-	13701	0	0.0	30-	0	0.0		
35-	0	0.0		35-	0	0.0		35-	18275	0	0.0	35-	0	0.0		
40-	1	72.1	31.6	112.7	40-	1	72.1	31.6	112.7	40-	16869	0	0.0	40-	0	0.0
45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	18112	0	0.0	45-	0	0.0		
50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	20373	0	0.0	50-	0	0.0		
55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	23706	0	0.0	55-	0	0.0		
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	25243	0	0.0	60-	0	0.0		
65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	56862	0	0.0	65+	0	0.0		
計	1	6.0	2.6	9.4	計	1	6.0	2.6	9.4	計	202507	0	0.0	計	0	0.0
36 徳島	0-			0-				36 徳島	0-			0-				
女	5-			5-				女	5-			5-				
配偶なし	10-			10-				配偶なし	10-			10-				
15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	16958	0	0.0	15-	0	0.0		
20-	0	0.0		20-	0	0.0		20-	14939	0	0.0	20-	0	0.0		
25-	1	104.9	45.9	163.8	25-	1	104.9	45.9	163.8	25-	11602	0	0.0	25-	0	0.0
30-	0	0.0		30-	0	0.0		30-	8444	0	0.0	30-	0	0.0		
35-	0	0.0		35-	0	0.0		35-	7671	0	0.0	35-	0	0.0		
40-	0	0.0		40-	0	0.0		40-	6066	0	0.0	40-	0	0.0		
45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	5246	0	0.0	45-	0	0.0		
50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	4913	0	0.0	50-	0	0.0		
55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	5949	0	0.0	55-	0	0.0		
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	7731	0	0.0	60-	0	0.0		
65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	63347	0	0.0	65+	0	0.0		
計	1	8.0	3.5	12.4	計	1	8.0	3.5	12.4	計	152866	0	0.0	計	0	0.0
36 徳島	0-			0-				36 徳島	0-			0-				
女	5-			5-				女	5-			5-				
計	10-			10-				計	10-			10-				
15-	0	0.0		15-	0	0.0		15-	17061	0	0.0	15-	0	0.0		
20-	0	0.0		20-	0	0.0		20-	16661	0	0.0	20-	0	0.0		
25-	1	63.6	27.8	99.3	25-	1	63.6	27.8	99.3	25-	19143	0	0.0	25-	0	0.0
30-	0	0.0		30-	0	0.0		30-	22145	0	0.0	30-	0	0.0		
35-	0	0.0		35-	0	0.0		35-	25946	0	0.0	35-	0	0.0		
40-	1	53.0	23.2	82.9	40-	1	53.0	23.2	82.9	40-	22935	0	0.0	40-	0	0.0
45-	0	0.0		45-	0	0.0		45-	23358	0	0.0	45-	0	0.0		
50-	0	0.0		50-	0	0.0		50-	25286	0	0.0	50-	0	0.0		
55-	0	0.0		55-	0	0.0		55-	29655	0	0.0	55-	0	0.0		
60-	0	0.0		60-	0	0.0		60-	32974	0	0.0	60-	0	0.0		
65+	0	0.0		65+	0	0.0		65+	120209	0	0.0	65+	0	0.0		
計	2	6.8	4.1	9.6	計	2	6.8	4.1	9.6	計	355373	0	0.0	計	0	0.0

梅毒病態の研究

【研究分担者】 三嶋廣繁（愛知医科大学感染症科）
【研究協力者】 山岸由佳（愛知医科大学感染症科）

研究要旨

梅毒血清学的検査からみた梅毒流行状況
梅毒が増加傾向にあるためスクリーニング検査を実施している施設等ではその結果を確実に評価する診療体制の構築が重要であると考えられる。

A. 研究目的

梅毒血清学的検査からみた梅毒流行状況
近年、国内において梅毒は急増しているが、無症状者における抗体保有状況に関する十分なデータはない。当院では術前検査の項目に梅毒血清学的検査を含めており年間相当数の梅毒血清学的検査を施行している。今回、梅毒血清学的検査結果を後方視的に実態調査した

B. 研究方法

梅毒血清学的検査からみた梅毒流行状況
2014年から2016年の間に愛知医科大学病院で梅毒 RPR 定性・TPLA 定性検査が実施された症例を後方視的に調査した。定性検査が実施された症例のうち定量検査も実施された症例についてはその値も調査した。本研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会の審査を経て実施した。

C. 研究結果

梅毒血清学的検査からみた梅毒流行状況
検討期間中のべ 49,352 例の測定が実施され、2014 年 15,512 例、2015 年 16,768 例、2016 年 17,072 例であった。診療科内訳は外来 43280 件（87.7%）、一般病棟 5695 件（11.5%）、重症系 377（0.8%）件で、診療科は多岐にわたっていた。RPR 陽性率は 2014 年 0.7%、2015 年 1.1%、2016 年 1.5% と年々増加傾向であり、TPLA 陽性率は 2014 年 0.9%、2015 年 1.1%、2016 年 1.6% であった。RPR 陽性者に占める TPLA 陽性者の割合は 2014 年 44.6%、2015 年 43.9%、2016 年 49.6% であった。一方、RPR 陰性者に占める TPLA 陽性者の割合は 2014 年、2015 年とも 0.6% であったが、2016 年は

0.9% と増加傾向であった。RPR16.0 以上は 79 例（0.2%）でそのうち 65 例（82.2%）が TPLA 陽性であった。

D. 考察

全体の梅毒検査実施件数が過去 3 年間で増加傾向にあり、RPR・TPLA とともに陽性の割合が増加傾向にあることが判明した。

E. 結論

梅毒が増加傾向にあるためスクリーニング検査を実施している施設等ではその結果を確実に評価する診療体制の構築が重要であると考えられる。

G. 研究発表

1. 論文発表

- (1) Koizumi Y, Watabe T, Ota Y, Nakayama SI, Asai N, Hagihara M, Yamagishi Y, Suematsu H, Tsuzuki T, Takayasu M, Ohnishi M, Mikamo H. Cerebral syphilitic gumma can arise within months of re-infection: A case of histologically proved *Treponema pallidum* strain type 14b/f infection with HIV positivity. Sex Transm Dis 45(2): e1-e4, 2018.
- (2) 山岸由佳、三嶋廣繁. 母子感染で問題となる細菌感染症 梅毒. 臨床検査 61: 1411-1417, 2017.
- (3) Hagihara M, Yamagishi Y, Kato H, Shibata Y, Shiota A, Sakanashi D, Suematsu H, Watanabe H, Asai N, Koizumi Y, Furui T,

Takahashi S, Izumi K, Mikamo H.
Frequency of *Treponema pallidum* invasion
into cerebrospinal fluid in primary or
secondary early-stage syphilis. J Infect
Chemother. 2017 Dec 8 [Epub ahead of
print]

2. 学会発表

- (1) 山岸由佳、三嶋廣繁. 当院における梅毒血清学的検査の現状. 日本性感染症学会第30回学術集会 一般演題 0-02、札幌、2017. 12. 2

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
なし

当院における梅毒血清学的 検査状況

2018年3月3日
荒川班全体会議

愛知医科大学病院 感染症科
愛知医科大学病院 感染制御部
三鴨廣繁

緒言

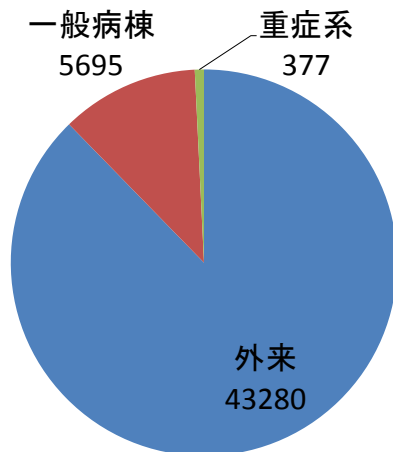
- 近年国内において梅毒は急増しているが、無症状者における抗体保有状況に関する十分なデータはない。
- 当院では術前検査の項目に梅毒血清学的検査を含めており年間相当数の梅毒血清学的検査を施行している。
- 今回、梅毒血清学的検査結果を後方視的に実態調査した。

- 2014年から2016年の間に当院で梅毒RPR定性・TPLA定性検査が実施された症例を後方視的に調査した。
- 定性検査が実施された症例のうち定量検査も実施された症例についてはその値も調査した。

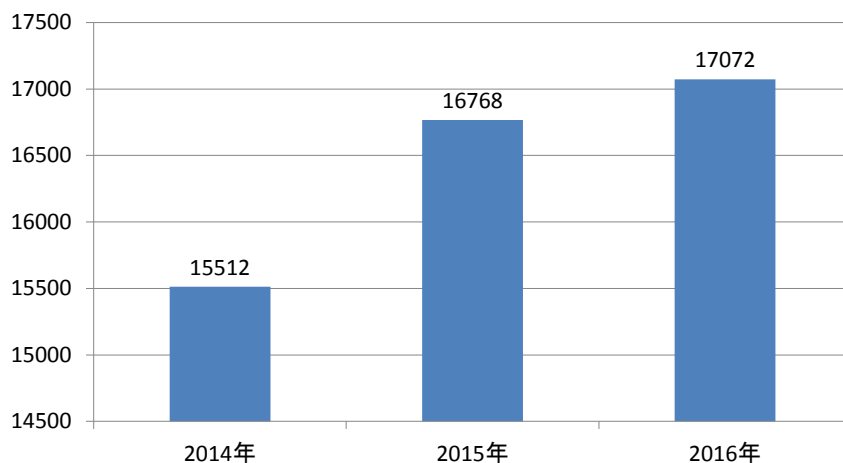
測定法

	脂質抗原 (STS) 法	Treponema pallidum (TP) 抗原法
検査原理	凝集法	凝集法
抗原担体	ラテックス粒子	ラテックス粒子
検査手法	自動測定 光学判定	自動測定 光学判定
測定時間	10分間	10分間
検体前処理	血清	血清
単位	R.U.	T.U.
陽性閾値	1.0	10.0
試薬	メディエース (セキスイメディカル®)	メディエース (セキスイメディカル®)

RPR定性・TPLA定性 診療科内訳(外来・病棟・重症系)

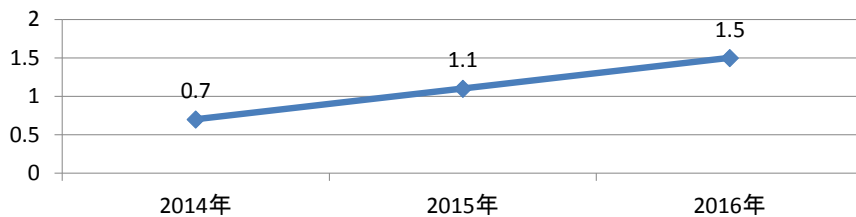


RPR定性・TPLA定性 検査数の年次推移



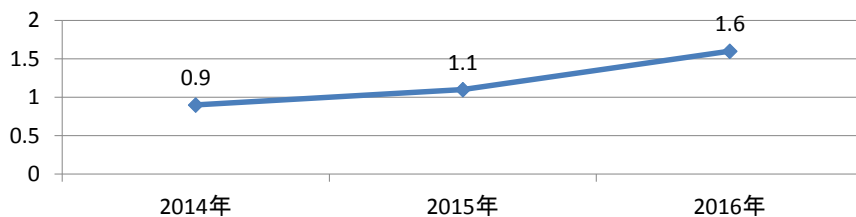
RPR陽性率の割合 年次推移

	(n)	RPR陽性	RPR陰性
2014年	(15512)	112 (0.7)	15400 (99.3)
2015年	(16768)	180 (1.1)	16588 (98.9)
2016年	(17072)	254 (1.5)	16818 (98.5)

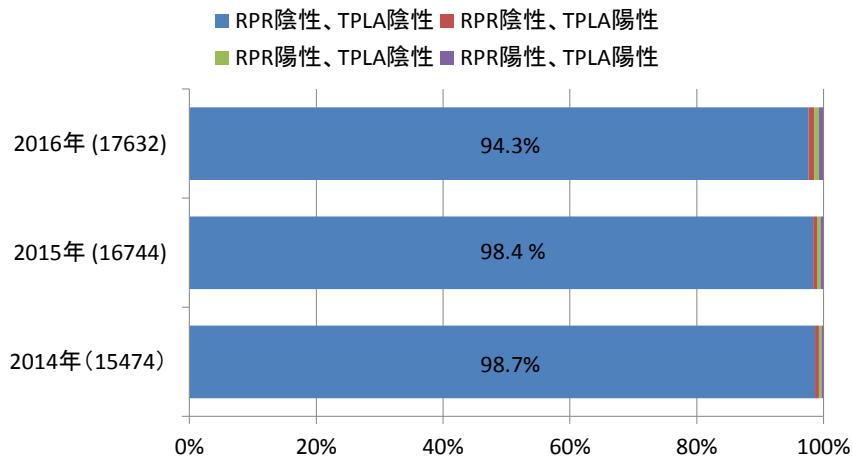


TPLA陽性率の割合 年次推移

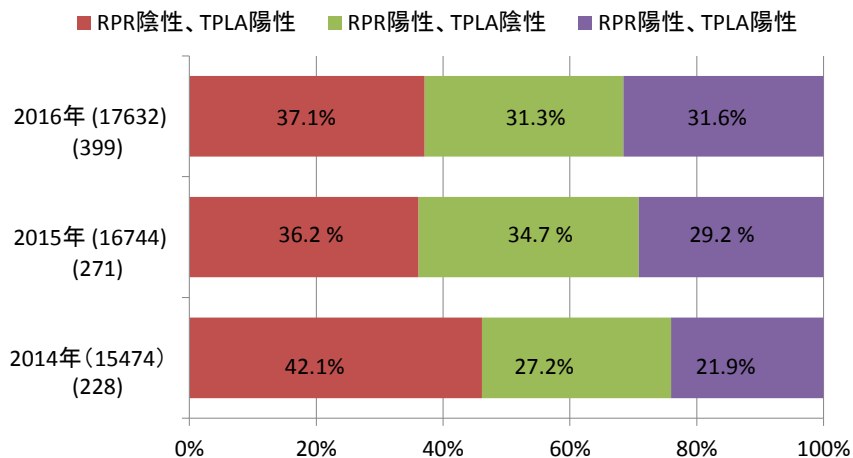
	(n)	TPLA陽性	TPLA陰性
2014年	(15512)	146 (0.9)	15366
2015年	(16768)	177 (1.1)	16591
2016年	(17072)	274 (1.6)	16798



RPR, TPLAの年次推移 (判定保留は除外)



RPR, TPLAの年次推移 (判定保留は除外)



RPR陽性者におけるTPLAの内訳 年次推移

		2014年	2015年	2016年
TPLA	陰性	62 (55.4%)	94 (52.2%)	125 (49.2%)
	判定保留	0 (0%)	7 (3.9%)	3 (1.2%)
	陽性	50 (44.6)	79 (43.9)	126 (49.6)
	計	112	180	254

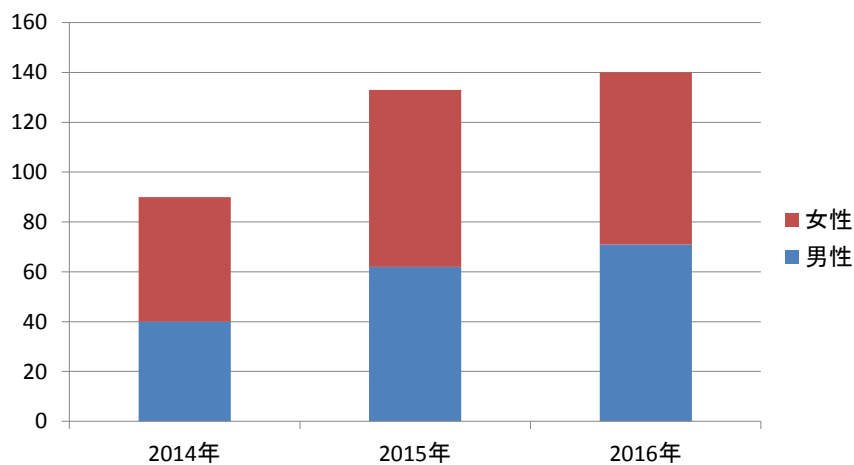
RPR陰性者におけるTPLAの内訳 年次推移

		2014年	2015年	2016年
TPLA	陰性	15266 (99.1%)	16473 (99.3%)	16633 (98.9%)
	判定保留	38 (0.3%)	17 (0.1%)	37 (0.2%)
	陽性	96 (0.6%)	98 (0.6%)	148 (0.9%)
	計	15400	16588	16818

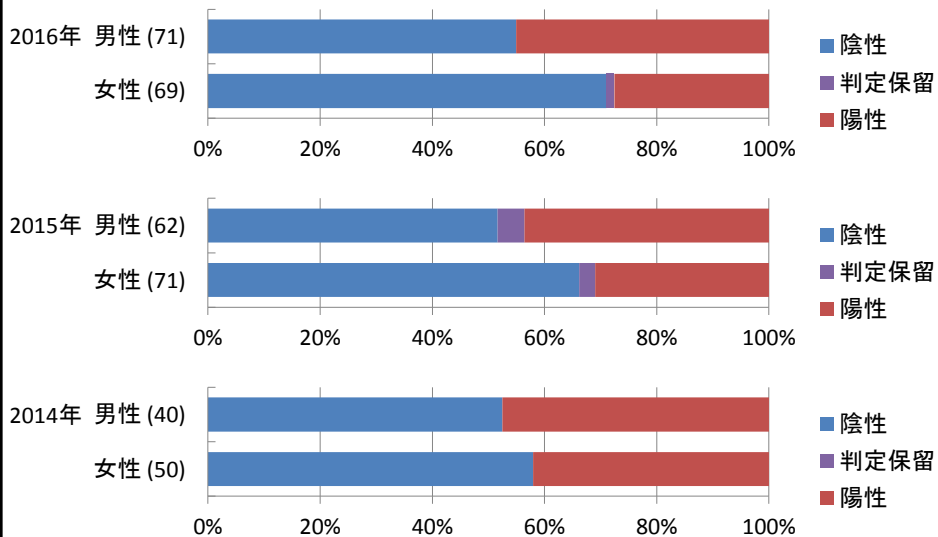
TPLA陽性者におけるRPRの内訳 年次推移

		2014年	2015年	2016年
RPR	陰性	96 (65.8%)	98 (55.4%)	148 (54.0%)
	陽性	50 (34.2%)	79 (44.6%)	126 (46.0%)
	計	146	177	274

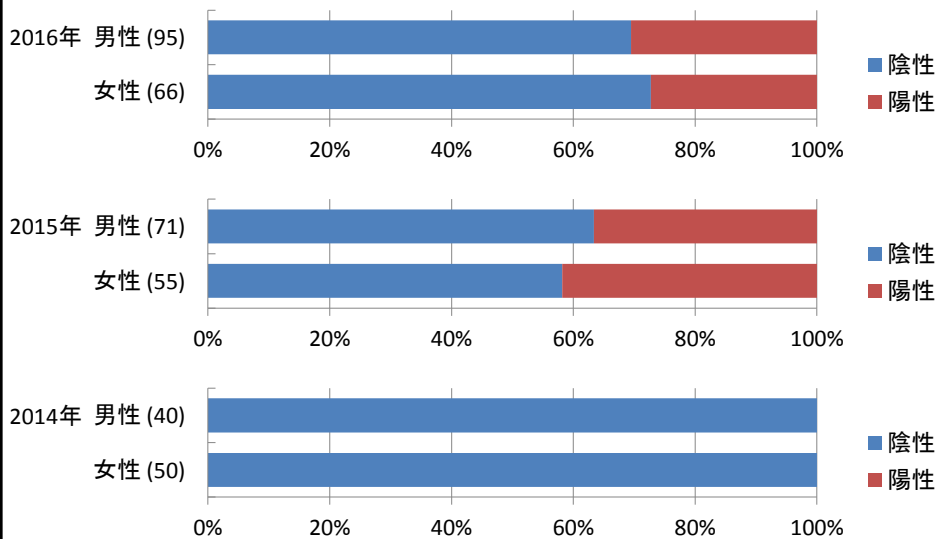
RPR陽性者の性別年次推移



RPR陽性者における年別男女別TPLAの内訳



TPLA陽性者における年別男女別RPRの内訳



まとめ

- 全体の梅毒検査実施件数が過去3年間で増加傾向にあり、RPR・TPLAともに陽性の割合が増加傾向にあることが判明した。

HPV ワクチンの適切な勧奨への提言・子宮がん撲滅作戦 に関する研究

【研究分担者】 川名 敬（日本大学医学部）

研究要旨

HPV ワクチン接種の積極的勧奨が中止されれば 5 年が経過した。その間、HPV ワクチン定期接種学年（12-16 歳）が無料接種できるにも関わらず、接種者はほぼ存在しない。このような状態になっている国は世界的にも日本だけである。本研究では、HPV ワクチン接種を希望しない親子の実態把握と HPV ワクチン接種の啓発を目的とした。また、近年社会問題となっている梅毒の流行から、妊婦における梅毒感染者の実態調査も合わせて実施し、その解析をまとめた。性行為感染における若年女性の意識と社会的背景の実情から、女性のリプロダクティブヘルスと性感染症の間に存在する 1 つの課題が浮き彫りとなった。

A. 研究目的

ヒトパピローマウイルス (HPV) に注目し、感染症として発症する尖圭コンジローマと子宮頸癌の必要条件であるハイリスク型 HPV 感染 (HR-HPV) について検討し、さらに産婦人科医を対象として、全国規模のアンケート調査を用いて、尖圭コンジローマ（以下、コンジローマ）とコンジローマ合併妊娠の頻度、管理について全国実態調査を行った。これによって、コンジローマが生殖可能年齢に与える影響について産科、婦人科の立場として現状を把握した。本実態調査では、近年の社会問題となっている梅毒流行にも注目し、同じ調査において妊婦に注目した梅毒の実態を調べることにした。産婦人科医を対象とした調査研究であることから、厚労省・国立感染症研究所の全数把握や定点調査とは異なる切り口の実態が把握できると期待される。昨今の国内の梅毒流行を考えると本研究は急務であり、性感染症の実態把握を目的とする本研究班と、日本産科婦人科学会の性感染症の実態調査小委員会の共通する目的と考えた。

一方、HPV ワクチン接種は定期接種ワクチンでありながら、接種の積極的勧奨が 2013 年 6 月に中止されて既に 5 年が経過した。ワクチン接種後の健康被害が報道され、因果関係は不明であるにも関わらず、イメージ先行の安全性に対する不安感から、子宮頸癌の予防という大きな有効性を凌駕する形で、一般市民からは危険なワクチンとして偏見が持たれている。しかし、HPV ワクチンの危険性を問題にした国は世界になく定期接種と

なっている国が 71 カ国であり、3 億回接種されている。フィンランドからは、子宮頸癌、外陰癌、咽頭癌が減少しているとの報告もある。健康被害の因果関係は不明で、かつ開腹しない健康被害は 10 万人対 5 名である。これらの情報が一般市民に周知されていないために子宮頸がんを予防したいと考え HPV ワクチン接種を希望する親子が、実質的に接種の判断ができない状態である。本研究では、これらの現状を踏まえ、集積された情報を一般市民（高校生）に提供した場合の高校生 3 年生の判断とその意識を調べることにした。

B. 研究方法

（1）日本産科婦人科学会の女性ヘルスケア委員会内にある、本邦における産婦人科感染症実態調査小委員会（小委員長：深澤一雄、委員：岩破一博、川名 敬、大槻克文、野口靖之）によって企画、立案され、日本産科婦人科学会によって実施された「性感染症による母子感染と周産期異常に関する実態調査」である。

目的としては、性感染症のなかで、性器クラミジア感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマ、性器ヘルペス、梅毒に関して、母子感染と周産期異常に着目し、新生児管理も含めた実態調査を行った。

日本産科婦人科学会の研修施設（研修基幹施設）628 施設を対象として、「性感染症による母子感染と周産期異常に関する実態調査」と題するアンケート調査を送付依頼した。2015 年 1～12 月の 1 年間のデータを回収集積し各感染症の診断法、

治療法等を解析した。アンケート調査および回答は web 上で行った。

梅毒についての調査では、妊婦、非妊婦について 2011～2015 年の発生数のトレンドを調べた。また、梅毒合併妊婦についての発見の契機、進行期、治療の有無、治療時期、先天梅毒の有無、児の予後について調査した。

(2) 高校生への HPV ワクチンに関する意識調査として、都内 A 高校の高校 3 年生の授業において女性の健康教育の授業を行っている。その授業内での無記名アンケートを回収し、解析した。

(倫理面への配慮) 日本産科婦人科学会の研究倫理委員会の承認のもとで、本実態調査は施行された。アンケートは研修基幹施設の産婦人科責任者に対して行われ、個人情報扱っていない。また、高校生へのアンケートは、授業終了時の感想文として、無記名で回収した。

C. 研究結果

(1) 研修施設 628 施設中、257 施設 (回収率 41%) より回答を得た。これらの施設からの分娩総数は 144,427 件 (施設別 0～3403 件/年、年間 400 件台が 38 施設で最多) となった。梅毒合併妊婦は、2011～2015 の 5 年間で 166 名抽出された。166 名のうち、妊婦健診を未受診もしくは不定期受診であった妊婦が 25% を占めていた。これらの妊婦では、梅毒スクリーニング検査が妊娠初期に実施されず、診断時期が妊娠中期以降もしくは産褥となっていた。そのため、治療介入も妊娠後期や産褥となり、遅かった。その結果、166 名のうち、20 名の先天梅毒が発生していた。梅毒合併妊婦も、その後に発生した先天梅毒も、2014、2015 年に集中しているおり、近年の梅毒流行が妊婦まで及んできていることが浮き彫りとなった。先天梅毒 20 例のうち、6 例は死亡か後遺症が残っている。次世代にまで影響し始めていることが判明した。同時に、未受診、不定期受診妊婦といういわゆる社会的ハイリスク妊婦と梅毒合併妊婦がオーバーラップしていることがわかり、妊婦スクリーニング検査を摺り抜けた結果の先天梅毒発症であることが判明した。

(2) HPV ワクチンについて、平易な表現で高校生に授業を行った。子宮頸がんが 30 歳前後で発症すること、誰でも発症しうること、ウイルスが原因のがんであること、ウイルス感染は女性の約 80% に起こっていること、ウイルス感染を予防する方法としてワクチンがあること、ワクチン接種

によって海外では子宮頸がんがなくなってきたこと、ワクチン接種後の健康被害は 100 学年で 1 名程度の極めて稀な現象であること、1 学年で 3 名が子宮頸がんになり、そのうちの 1 名はがんで亡くなってしまうこと、を説明した。その結果、高校 3 年生の 90% が HPV ワクチンを接種するべきと考えていた。10% はそれでも安全性に不安があるから接種したくない、と考えている。

D. 考察

(1) 今回の実態調査は、専門医機構の基幹病院に対して実施されており、一般診療所の症例は含まれていない。そのために、厚労省・感染研からの全数報告数とは数字がずれている。しかし、妊婦に特定した梅毒報告数は過去には報告がない点で有用な情報である。妊婦まで梅毒が蔓延してきている実態を把握できたことから、次世代への影響も懸念され始めていることが窺える。先天梅毒の発症には、社会的ハイリスク妊婦の問題がある。これは医療行政や医療機関の努力では解決することが難しい問題である。梅毒の流行自体を終息させることが肝要であると考えられる。

(2) HPV ワクチンによる子宮頸がん減少効果が証明されてきている。その中で、日本だけが世界で唯一接種を事実上中止している状態である。定期接種ワクチンであるため、接種は国民の努力義務であるにも関わらず、接種できないでいる最大の理由は情報不足と考えられる。厚労省はリーフレットを 2018.1.18 に発行しているが、難解な文章で一般市民にはその意味が理解しにくい。また、アクセスもしにくい。HPV ワクチン普及のためには情報を一般市民がわかりやすく目の留まるべき場所に掲示することが望まれる。高校生でも、HPV ワクチンの必要性や重要性を理解し、接種するべきと考えている。一般市民への情報提供の手段が重要である。

E. 結論

梅毒については、妊婦、胎児 (新生児) へその蔓延が波及していることが分かった。次世代への影響も明らかになっていることから、社会として梅毒流行を終息させることが急務である。

HPV ワクチンの普及には、一般市民自身の判断が求められるシステムになっている。そのためには正しい情報を提供し、イメージ先行の世論を改善させる必要がある。啓発は、ツールとともにわかりやすい内容で、できれば公的機関からの発信が必要である。

G. 研究発表

1. 論文発表

- (1) ○Iwata S, Okada K, Kawana K, on behalf of the Expert Council on Promotion of Vaccination, Consensus statement from 17 relevant Japanese academic societies on the promotion of the human papillomavirus vaccine, *Vaccine*, 35(18):2291-2292, 2017
- (2) Sato M, Kawana K, Adachi K, Fujimoto A, Yoshida M, Nakamura H, Nishida H, Inoue T, Taguchi A, Ogishima J, Eguchi S, Yamashita A, Tomio K, Wada-Hiraike O, Oda K, Nagamatsu T, Osuga Y, Fujii T. Intracellular signaling entropy can be a biomarker for predicting the development of cervical intraepithelial neoplasia. *PLOS One*, 2017
- (3) Sato M, Kawana K, Adachi K, Fujimoto A, Yoshida M, Nakamura H, Nishida H, Inoue T, Taguchi A, Ogishima J, Eguchi S, Yamashita A, Tomio K, Wada-Hiraike O, Oda K, Nagamatsu T, Osuga Y, Fujii T, Regeneration of cervical reserve cell-like cells from human induced pluripotent stem cells (iPSCs): A new approach to finding targets for cervical cancer stem cell treatment, *Oncotarget*, doi: 10.18632/oncotarget.16783, 2017
- (4) Sato M, Kawana K, Adachi K, Fujimoto A, Yoshida M, Nakamura H, Nishida H, Inoue T, Taguchi A, Ogishima J, Eguchi S, Yamashita A, Tomio K, Wada-Hiraike O, Oda K, Nagamatsu T, Osuga Y, Fujii T, Targeting glutamine metabolism and focal adhesion kinase additively inhibits the mammalian target of the rapamycin pathway in spheroid cancer stem-like properties of ovarian clear cell carcinoma *in vitro*. *Int J Oncol*, 2017
- (5) Sato M, Kawana K, Adachi K, Fujimoto A, Taguchi A, Fujikawa T, Yoshida M,

Nakamura H, Nishida H, Inoue T, Ogishima J, Eguchi S, Yamashita A, Tomio K, Arimoto T, Wada-Hiraike Osamu, Oda K, Nagamatsu T, Osuga Y, Fujii T, Low uptake of fluorodeoxyglucose in positron emission tomography/computed tomography in ovarian clear cell carcinoma may reflect glutaminolysis of its cancer stem cell-like properties, *Oncol Reports*, 2017

- (6) 川名 敬、国内で話題の感染症—診断と治療、ヒトパピローマウイルス、小児内科、49: 1671-1676, 2017
- (7) 川名 敬、感染症フォーカス、妊婦と感染症、INFECTION FRONT, 39: 8-10, 2017
- (8) 川名 敬、胎盤感染が問題となるウイルス、臨床とウイルス、45: 197-202, 2017

2. 学会発表

- (1) 川名 敬、産科領域と関連のある性感染症～次世代へ影響する性感染症～、日本性感染症学会関東甲信越支部会、2017. 9. 2、東京
- (2) 川名 敬、産婦人科感染症とその随伴疾患～その予防をめざして～、第17回岡山県西部地区産婦人科研究会、2017. 9. 21、岡山
- (3) 川名 敬、産婦人科に関連する感染症と最新知識、大分感染症研究会、2018. 2. 22、大分

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

無し

2. 実用新案登録

無し

3. その他

無し

新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業研究
性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に
関する研究（荒川班） 班会議 2018.3.3

女性における性感染症の実態把握とその対策・啓発に関する研究

川名 敬

日本大学医学部
産婦人科学系産婦人科学分野主任教授

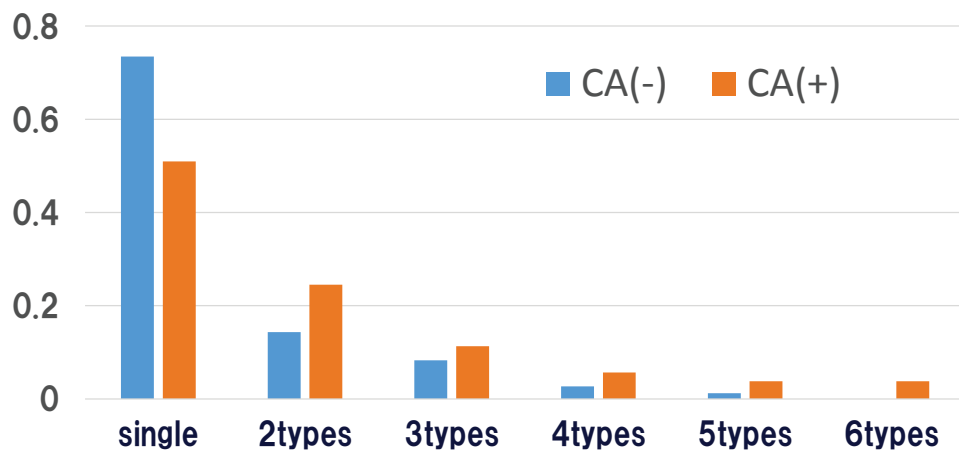


HPV感染症とHPVワクチンの啓発

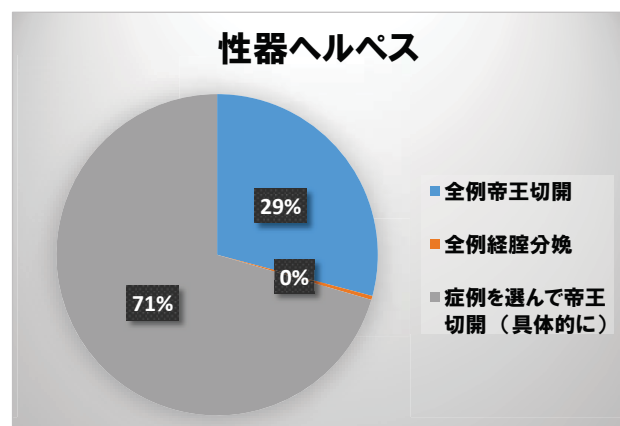
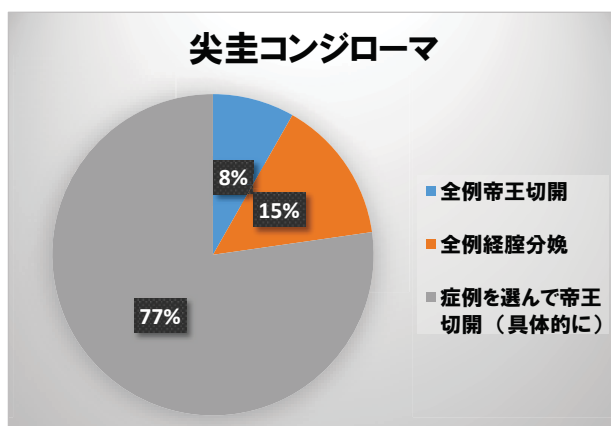
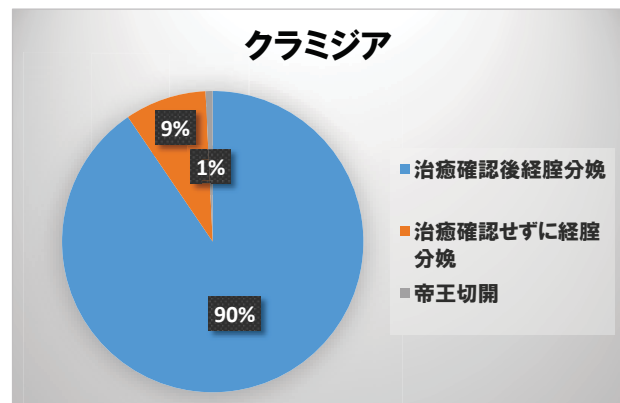
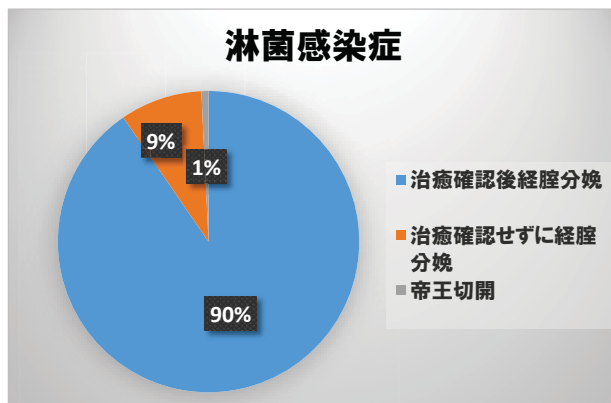
CAの有無とHPV陽性率

	コンジローマ (-)	コンジローマ (+)
HPV-positive	297例/411 (72.3%)	51例/53 (96.2%)
HPV-negative	114例/411 (27.7%)	2例/53 (3.8%)
コンジローマタイプ	68 例/411 (16.5%)	49 例/53 (92.5%)

CAの有無と重複感染率



4大性感染症合併妊娠における分娩様式



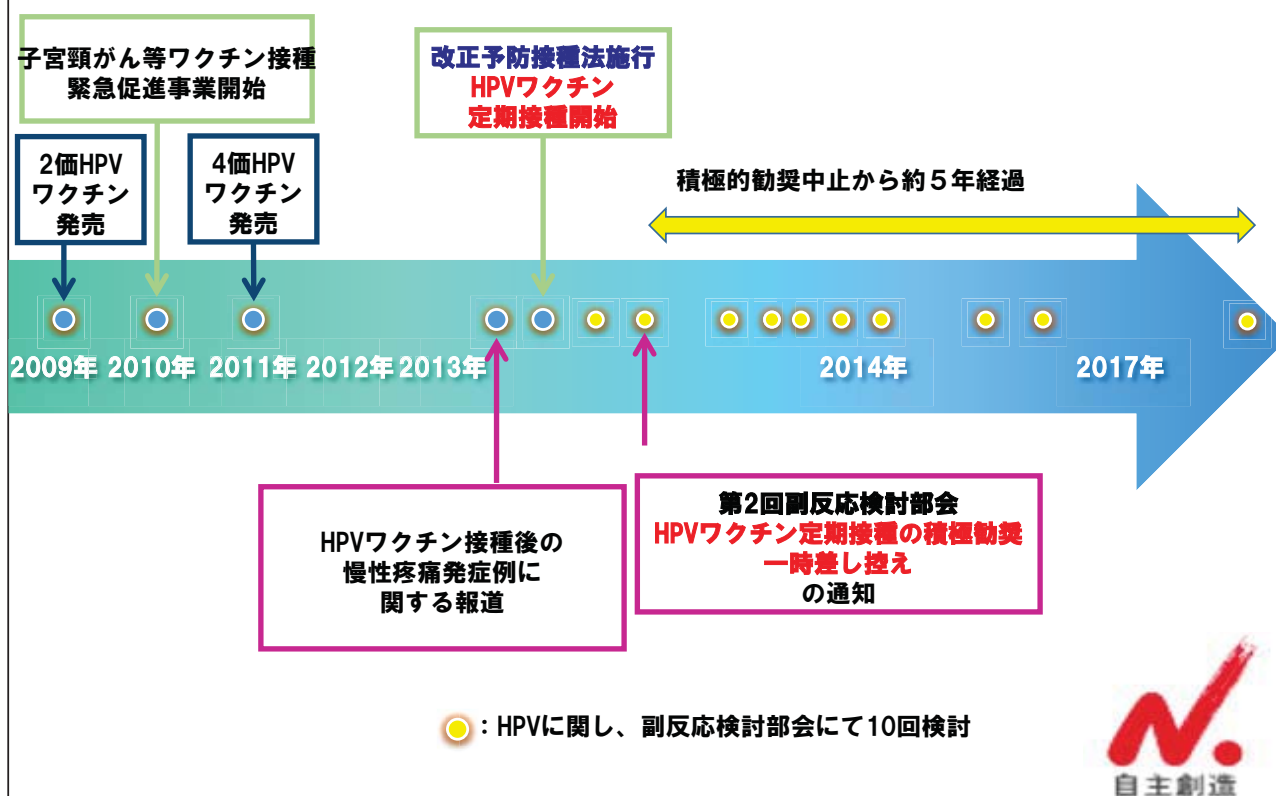
HPVワクチンによって癌の発生率が減少！

2007-2015の7年間における癌登録数(フィンランド)

癌腫	HPVワクチン接種群			HPVワクチン非接種群		
	人年	例数	発生率 (10万対・年)	人年	例数	発生率 (10万対・年)
子宮頸癌	65,656	0	-	124,245	8	6.4
外陰癌	65,656	0	-	124,245	1	0.8
咽頭癌	65,656	0	-	124,245	1	0.8
全HPV関 連癌	65,656	0	-	124,245	10	8.0

(Luostarinen T et al, Int J Cancer,2018)

HPVワクチンに関する政策の推移



厚生労働省の対応・・・

子宮頸がん予防ワクチンの接種を受ける皆さまへ (平成25年6月版)

現在、子宮頸がん予防ワクチンの接種を
積極的にはお勧めしていません。
接種に当たっては、有効性とリスクを
理解した上で受けてください。

子宮頸がん予防ワクチンの有効性とリスクについて、お知らせします。
ワクチンの接種は、その有効性と接種による副作用（専門的には「副反応」といいます）
が起こるリスクを十分に理解した上で受けるようにしてください。

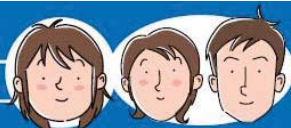
（厚生労働省のリーフレット：H25年6月）

➡ 本人も、保護者も、学校の先生も、有効性や
リスクについて、説明されていないのでは・・・。

厚生労働省の最新の対応・・・(リーフレット)

HPV ワクチンの接種を検討している

お子様と保護者の方へ



ワクチンの「意義・効果」と
「接種後に起こりえる症状」について
確認し、検討してください。

- 現在使用されている HPV ワクチンは、子宮けいがんの原因の50～70%¹⁾を占める2つのタイプ(HPV16型と18型)のウイルスの感染を防ぎます。
- HPVに感染しても多くの場合は自然に排除されますが、感染が続くと、その一部が前がん病変になり、さらにその一部ががんになります。また、HPVの感染は、一生のうち何度も起こります。
- HPVは広くまん延しているウイルスであり、我が国では年間約10,000人が子宮けいがんにかかり、それにより約2,700人がなくなれるなど重大な疾患となっています。
- わが国における、HPV ワクチンの効果推計(生涯累積リスクによる推計)
HPV ワクチンの接種により、10万人あたり859～595人が子宮けいがんになることを回避でき、また、10万人あたり209～144人が子宮けいがんによる死亡を回避できる、と期待されます。

1) ヒトパピローマウイルス(HPV) ワクチンに関するファクトシート(平成22(2010)年7月7日版)国立感染症研究所

HPVワクチンは、積極的におすすめすることを一時的にやめています

厚労省からのリーフレット(2018.1.18)では

副反応^{ふくはんのう}疑い報告の数と救済制度の対象となった方の数

● 副反応^{ふくはんのう}疑い報告

接種が原因と証明されていなくても、接種後に起こった健康状態^{けんこうじょうたい}の異常^{いじょう}について副反応^{ふくはんのう}疑いとして報告された場合は、審議会^{しんぎかい}(ワクチンに関する専門家の会議)において一定期間ごとに、報告された方の概要をもとに頻度等を確認し、安全性に関する定期的な評価を継続して実施しています。

平成 29(2017)年 8 月末までに報告^{ほうこく}*1された副反応^{ふくはんのう}疑いの総報告数は 3,130 人(10 万人あたり 92.1 人^{*2}) で、うち医師又は企業が重篤と判断した報告数は 1,784 人(10 万人あたり 52.5 人) です。ただし、接種後短期間で回復した失神等も含んだ数です。

*1 企業報告は販売開始から、医療機関報告は平成 22(2010)年 11 月 26 日からの報告

*2 接種スケジュールを勘案し、これまでの 1 人あたりの平均接種回数を 2.7 回と仮定して出荷数量より推計した接種者数 340 万人(サーバリックス[®]259 万人、ガーダシル[®]81 万人)を分母として 10 万人あたりの頻度を算出

● 救済^{きゅうさい}制度^{せいど}

我が国の従来からの救済制度^{きゅうさいせいど}の基本的な考え方「厳密な医学的な因果関係までは必要とせず、接種後の症状が予防接種によって起こることを否定できない場合も救済の対象とする」にそって、救済の審査を実施しています。平成 29 (2017) 年 9 月末までに HPV ワクチン接種との因果関係が否定できないとして救済制度の対象となった方^{かた}*1は、予防接種法に基づく救済の対象者が、審査した計36人中、21人、PMDA 法^{*2}に基づく救済の対象者が、審査した計 436 人中、274 人となっています。合計すると 472 人中、295 人(10 万人あたり 8.68 人^{*3})です。

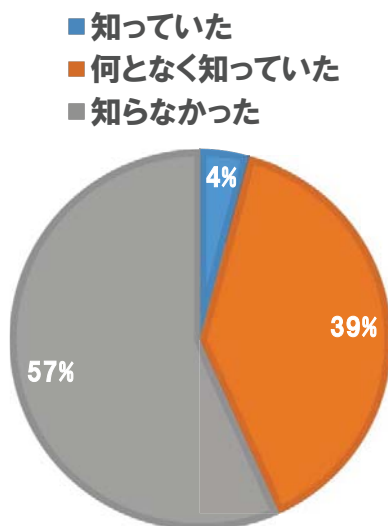
HPV ワクチン接種後の機能性身体症状

- 10万人に約50人くらいが、重い症状。
 - ➡ 2000人に1人・・・
 - 1学年200人の女子高で、**10学年に1人**
- 10万人に約5人くらいが、回復していない。
 - ➡ 20000人に1人・・・
 - 1学年200人の女子高で、100学年に1人**
- HPV ワクチン接種しなくても、同様の症状が起こりうる。

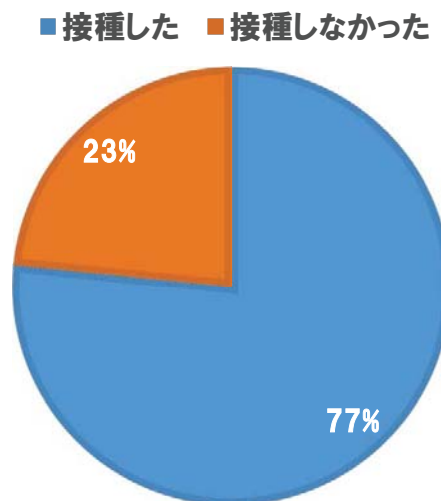
- ✓ 世界で3億回接種されている。
- ✓ 世界で安全性に問題と判断。
- ✓ 中止した国はない。

HPVワクチンに対する高校3年生の意識調査 (都内A女子高校 n=171)

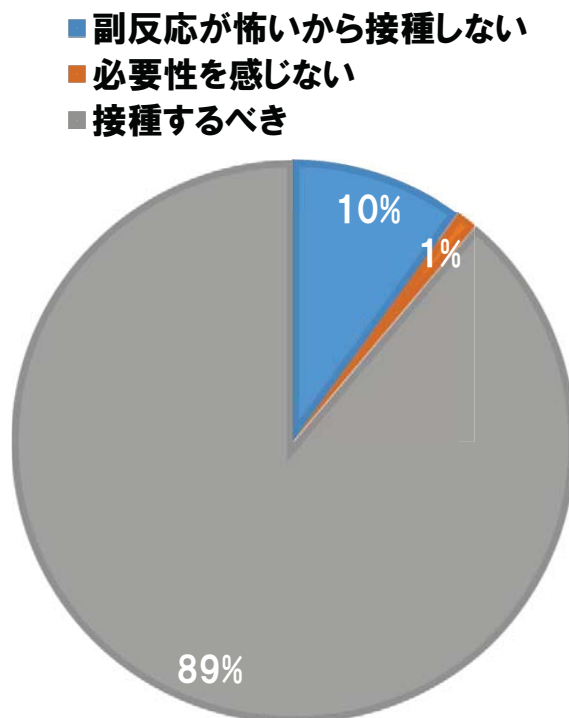
子宮頸がんの原因を知っているか？



HPVワクチンを接種したか？



子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)の話を聞いてみて、どう思いますか？



まとめ

- ◆ 厚労省からのリーフレットは、一般市民には理解しにくい。
- ◆ HPVワクチンに関する正しい情報を、わかりやすく、全国民に伝えて、接種者が適切な判断をできるように、努力する必要がある。
- ◆ 女子高校3年生の意識として、
 - ①子宮頸がんの原因がHPVであることを理解せずに、HPVワクチンを接種されている。
 - ②適切な情報を提供すると、“接種するべき”と考える高校生が90%を占めている。
 - ③有害事象が怖い(10%)、必要性を感じない(1%)と考えている高校生もいる。



産婦人科から見た先天梅毒の統計

先天梅毒の発生頻度の急上昇

中日新聞2017.8.8付

生感染症の梅毒患者の増加が止まらず、妊婦から赤ちゃんに母子感染する「先天梅毒」の報告も増えている。赤ちゃんが死にたり後遺症が出たりした例も報告されている。梅毒はかつては「不治の病」と呼ばれたが、現在は適切な治療で完治できる。しかし、妊婦が感染すると、赤ちゃんに感染するリスクが高くなる。妊婦が感染すると、赤ちゃんに感染するリスクが高くなる。妊婦が感染すると、赤ちゃんに感染するリスクが高くなる。

広がる梅毒、母子感染も

梅毒の感染報告数は、2016年に42年ぶりに4000人突破した。妊婦からの報告も増加している。妊婦が感染すると、赤ちゃんに感染するリスクが高くなる。妊婦が感染すると、赤ちゃんに感染するリスクが高くなる。妊婦が感染すると、赤ちゃんに感染するリスクが高くなる。

妊婦健診、必ず受けて

妊婦が感染すると、赤ちゃんに感染するリスクが高くなる。妊婦が感染すると、赤ちゃんに感染するリスクが高くなる。妊婦が感染すると、赤ちゃんに感染するリスクが高くなる。妊婦が感染すると、赤ちゃんに感染するリスクが高くなる。妊婦が感染すると、赤ちゃんに感染するリスクが高くなる。



日本産科婦人科学会 女性ヘルスケア委員会 「本邦における産婦人科感染症実態調査」小委員会

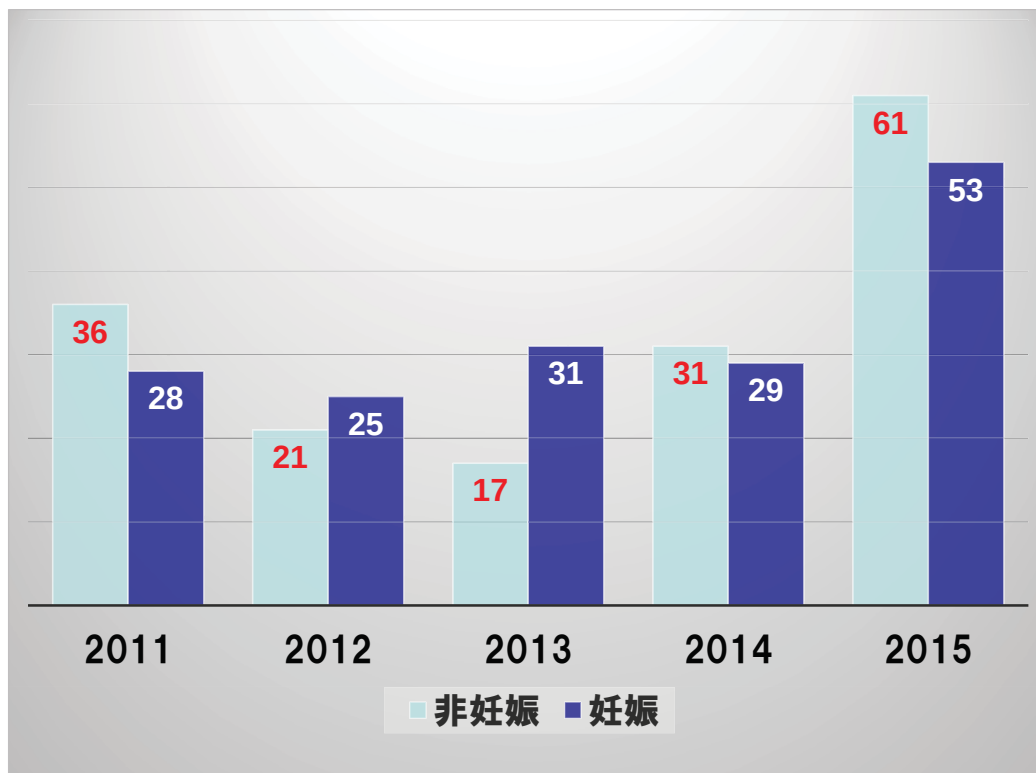
性感染症による母子感染と周産期異常に関する 実態調査

調査対象： 全国の産婦人科基幹施設
対象数： 628 施設

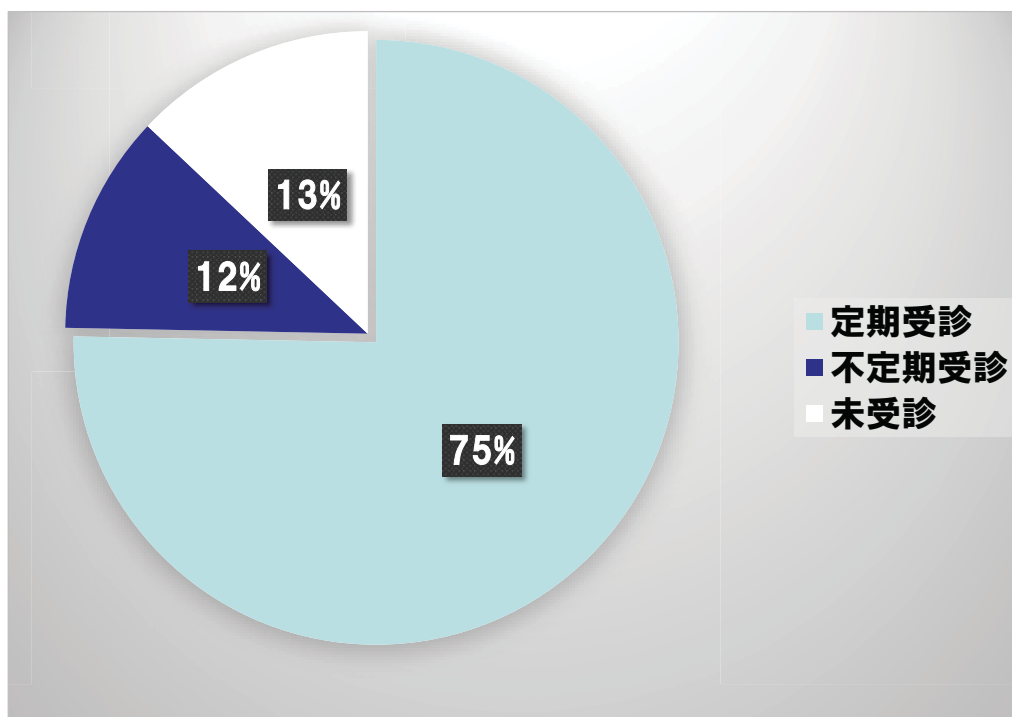
回答施設： 257 施設（回収率 41%）

分娩総数： 144,427 件

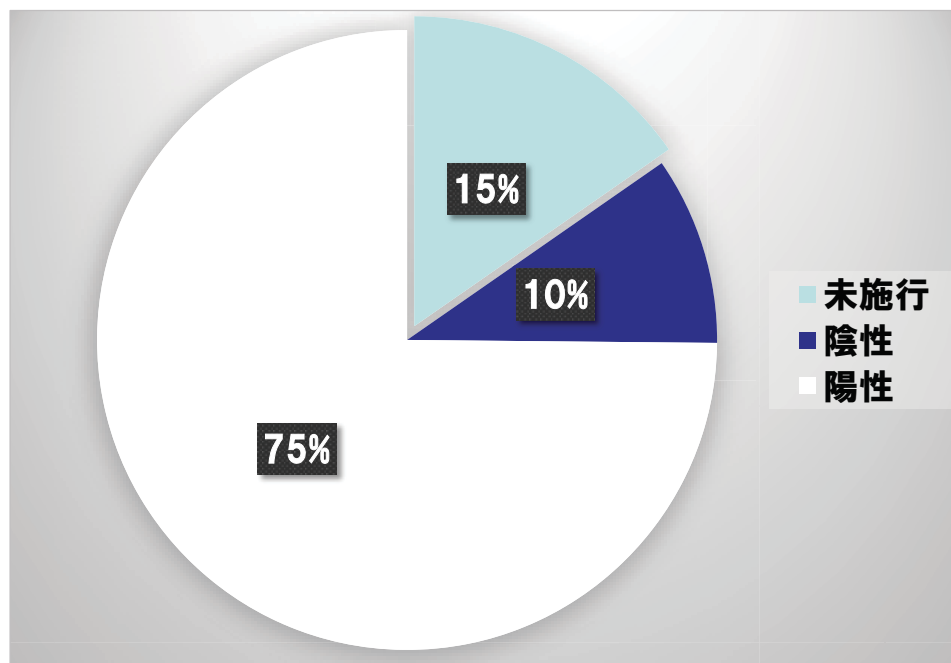
梅毒発生数の年次推移 非妊娠女性 vs 妊婦



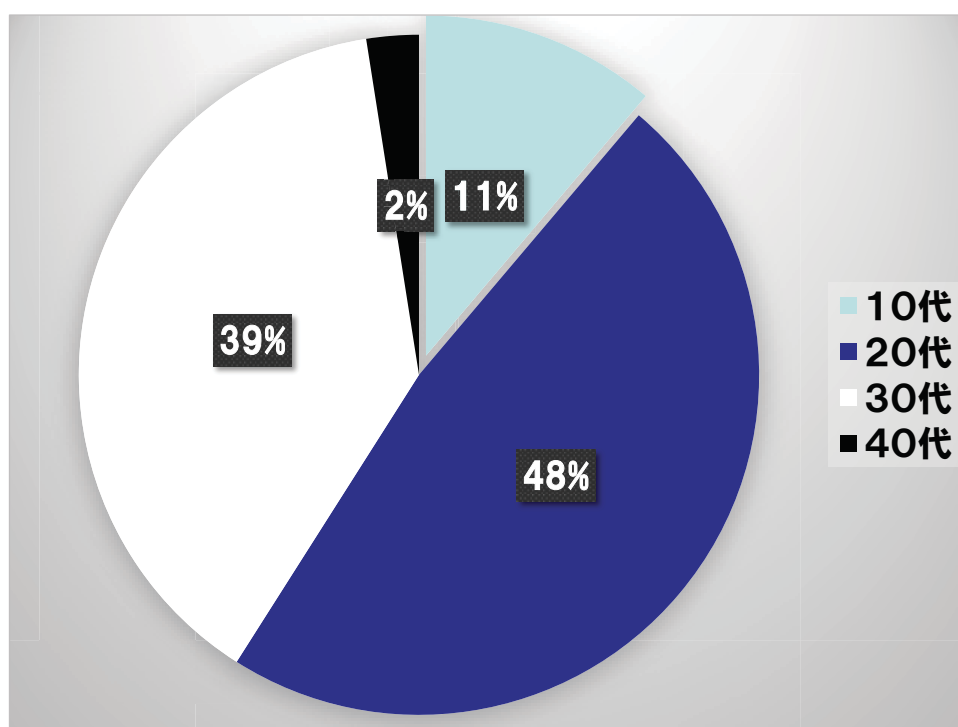
妊娠梅毒と未受診妊婦



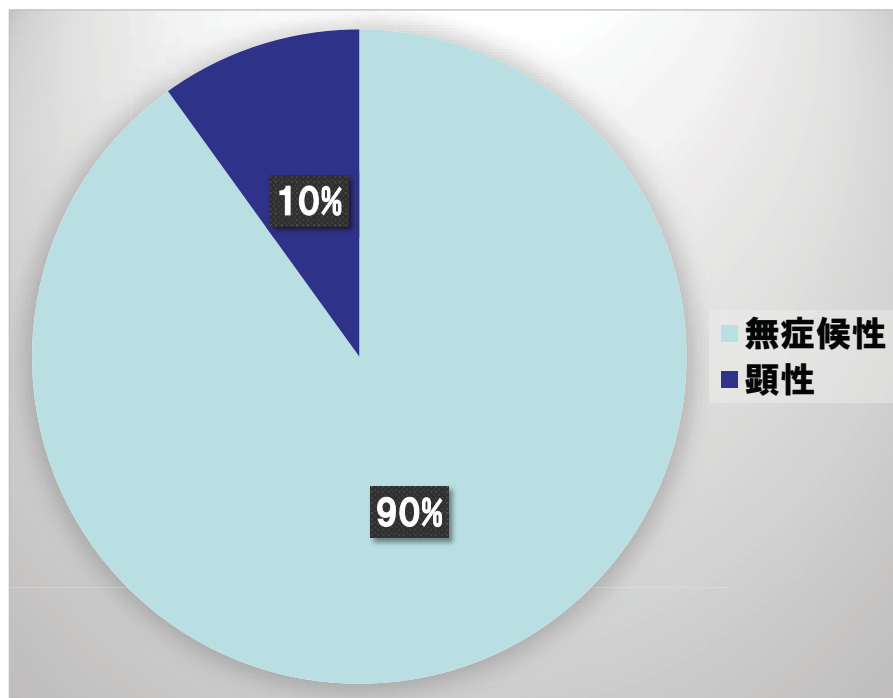
妊娠初期スクリーニングの有無



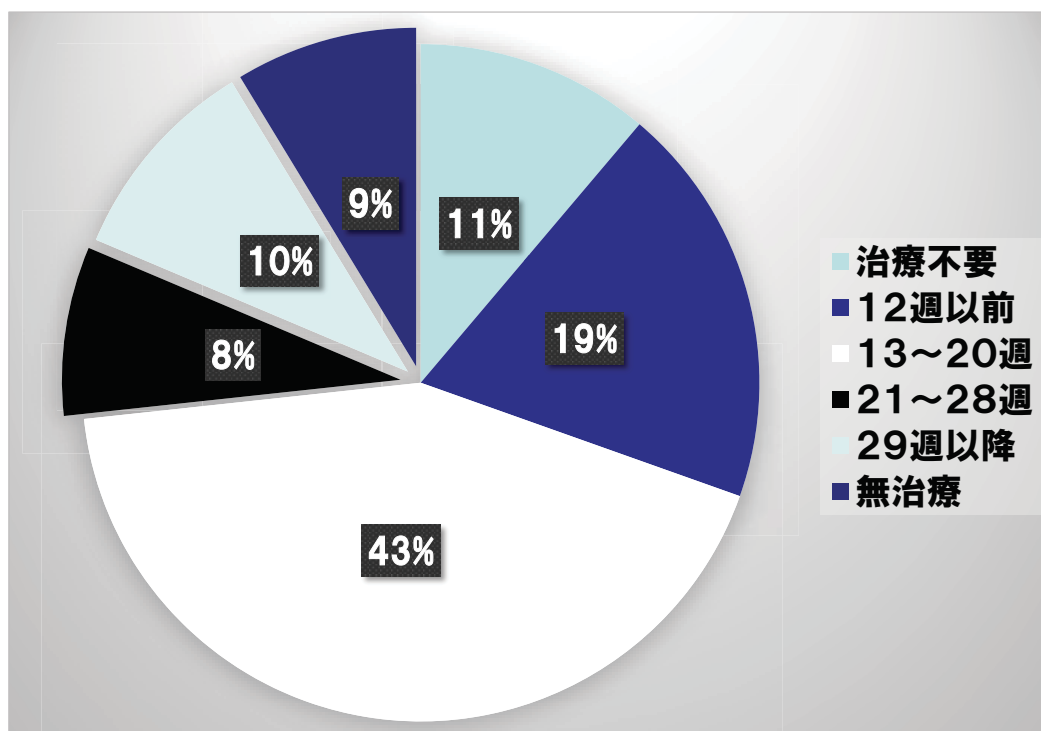
妊娠梅毒の年齢分布 60%は10-20歳代



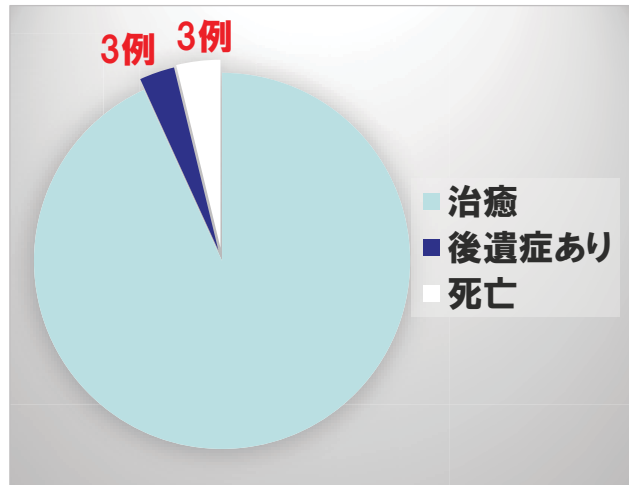
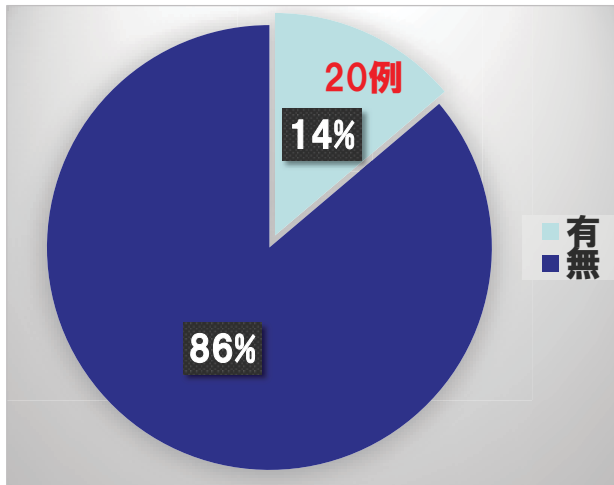
妊娠梅毒の症候性 vs 無症候性



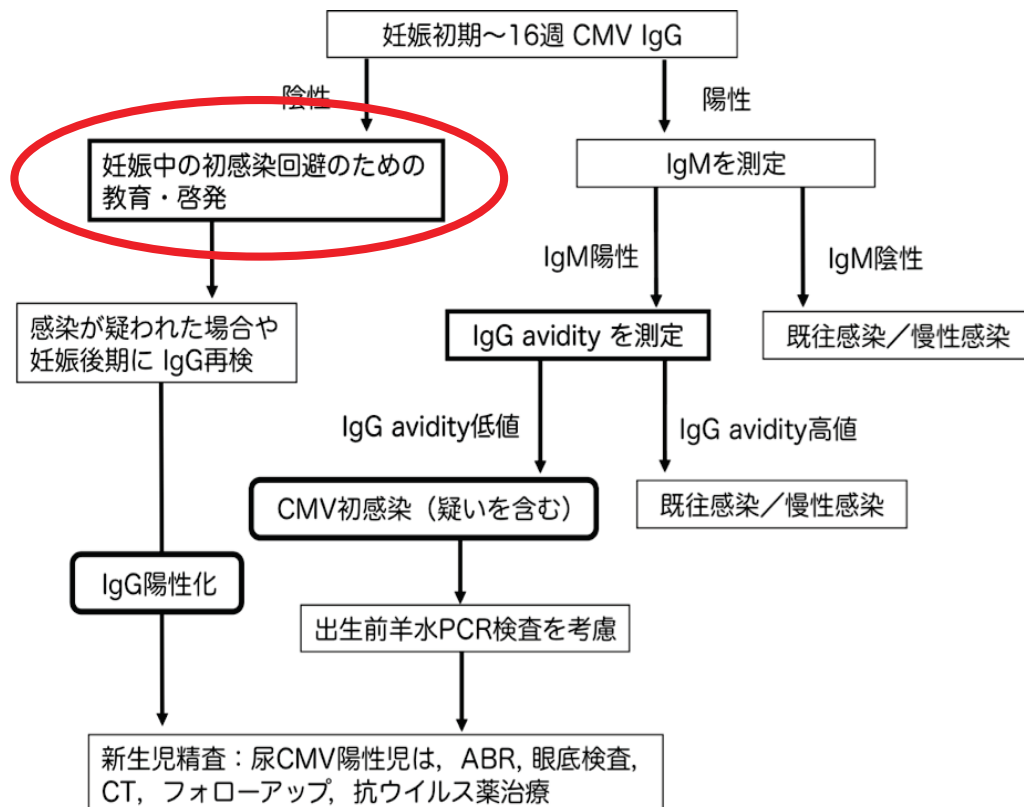
妊娠梅毒に対する治療開始時期



先天梅毒症例の予後



先天性CMV感染症の診断



日本における母子感染率

①妊婦のおよそ7割がIgG陽性

□IgG陽性者の4～5%がIgM陽性で初感染が疑われる：
全妊婦の3～4%

- その約3割が IgG avidity 低値(≦35～45%)で初感染が強く疑われる：
- 全妊婦の1～1.5%

② 妊婦のおよそ3割がIgG陰性

□IgG陰性者の1.5%は妊娠後期に抗体陽性化で初感染が確定：
全妊婦の約0.5%

①+②により

- 妊娠中のCMV初感染が確定ないし強く疑われるのは： 全妊婦の1.5～2%

CMV初感染予防の啓発

- 多くの妊婦はCMVについて、また妊娠中の初感染によって胎児に影響が出ることについて認識が乏しい。
- 妊娠が診断されたら早期に感染予防について説明する。症状、感染経路、児への影響を説明した上で、CMVを含んでいる可能性のある小児の唾液や尿との接触を妊娠中はなるべく避けるように教育・啓発する。
- 米国CDC、産婦人科学会、英国National Health Service (NHS) では、妊婦に対する教育・啓発を推奨している。
- 妊娠12週以降の母体初感染(抗体陰性者の陽性化)率は1～2%とされるが、妊婦CMV抗体スクリーニングおよび抗体陰性者に対する感染予防教育・啓発によって、0.19%に低下したとの報告がある。

妊娠中の
妊娠中のみなさんに知って欲しい

サイトメガロウイルス 母子感染 に注意しましょう

妊娠中のお母さんがサイトメガロウイルスに感染すると、赤ちゃんが何らかの障がいを持って生まれてくる可能性があります。今のところ国が認めた治療薬、感染を防ぐためのワクチンがありません。ですから、お母さんが妊娠中に感染しないことがとても大切です。

「妊娠中」感染しないために！
手洗いなどの日常生活のちょっとした気配りによって感染のリスクを $\frac{1}{5} \sim \frac{1}{10}$ まで減らすことができます。

「サイトメガロウイルス」ってなに？
サイトメガロウイルスは、世界中のいたるところにいる、ありふれたウイルスです。母乳、唾液や尿や血液を通して主に子供のうちに感染します。その他、性行為を通して感染するなどし、日本では成人女性の70%程度がすでに感染し、抗体（免疫）を持っています。
感染したときの症状はほとんどないが、風疹症状に似ることが多く、サイトメガロウイルス感染と気づくことはまずありません。無事な子供や大人が感染しても全く問題ないのですが、妊娠中が初めて感染した場合や、既に感染している妊婦さんの免疫がひたひたになった場合は、赤ちゃんにまで感染が及ぶことがあり、胎内で生まれる赤ちゃんのおよそ300人に1人が感染をうけて生まれてきます。

予防法など詳しい内容はホームページをご覧ください
<http://cmvtoxou.umin.jp/>

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
産科医療連携研究センター
「母子感染の予防・検査・治療に関する研究」班

まとめ

- ◆ 梅毒合併妊婦(166人)の1/4が未受診か不定期受診妊婦である。いわゆる社会的ハイリスク妊婦が梅毒、先天梅毒のリスク因子とも言える。若年妊婦の比率が高い。
- ◆ 顕性梅毒は10%のみであることから、妊娠中のスクリーニングが発見のためのキーであり、妊婦健診の励行が必須である。
- ◆ 先天梅毒は、2011-2015年の間に20例発生しており、梅毒合併妊婦の約15%であった。そのうち75%(15例)は、未受診、不定期受診妊婦であった。
- ◆ 死亡例・後遺症児は10%弱(6例)であり、**全例が未受診・不定期受診のため**に適切な治療を施されていなかった。
- ◆ 妊婦の梅毒に対する治療法として、AMPCもしくはABPCが先天梅毒発症予防に有効である可能性が示唆された。
(WHO、日産婦学会 との共同研究を予定している。)

咽頭梅毒に関する研究

【研究分担者】 余田 敬子（東京女子医科大学東医療センター耳鼻咽喉科）

研究要旨

梅毒は患者報告数が 2013 年より急増中で、わが国の性感染症のなかで唯一再興感染症の体をなしている。一方、近年急増する前の 1993 年から 2013 年の 20 年間の年間梅毒患者報告数は 448～897 人と少なく推移していたため、梅毒患者の診療を経験したことがない臨床医が少なくない。よって最新の梅毒に関する情報を医療関係者に広く周知することはもちろん、梅毒患者を適切に診断・治療できるための臨床医の啓発も必須である。

咽頭梅毒は梅毒第 2 期の粘膜病変の一つで、咽頭痛や発熱といった一見咽頭炎のような症状で発症するが粘膜斑や butterfly appearance といった他の疾患ではみられない特徴的な所見を呈するため、その知識さえあれば診断は決して難しくない。2013 年 4 月から現在までに当科で診断した咽頭梅毒 4 症例の臨床経過、当科初診時の咽頭所見等について後ろ向きに検討したところ、ペニシリン系でなくとも一旦経口抗菌薬を投与されると、咽頭梅毒の病変の特徴が失われ梅毒の診断を逸する可能性があることが示唆された。

咽頭梅毒は感染力の高い第 2 期病変であることから、咽頭梅毒患者のすべてが適切に診断・治療されるべく咽頭梅毒に関する情報を広く臨床医に発信して啓発することは、有効な梅毒蔓延防止対策の一つとなりうる。

A. 研究目的

梅毒は、梅毒トレポネーマ (*Treponema pallidum*) を病原体とする慢性感染症で、感染経路から先天梅毒と後天梅毒とに分けられる。後者の後天梅毒は梅毒患者全体の 99%以上を占め、そのほとんどが性行為で感染する性感染症である。梅毒は患者報告数が 2013 年より急増中で、わが国の性感染症のなかで唯一再興感染症の体をなしている。一方、近年急増する前の 1993 年から 2013 年の 20 年間の年間梅毒患者報告数は 448～897 人と少なく推移していたため、梅毒患者の診療を経験したことがない臨床医が少なくない。よって最新の梅毒に関する情報を医療関係者に広く周知することはもちろん、梅毒患者を適切に診断・治療できる臨床医を増やすための啓発活動も必須となっている。

後天梅毒は感染してから約 2～3 年間の第 1 期～第 2 期は他者への感染性が高く、この期間の梅毒患者の全身または体の一部の皮膚や粘膜に、バラ疹、丘疹、扁平コンジロームなど、さまざまな病変が生じることはよく知られている。一方、この後天梅毒の第 1 期～第 2 期の間には口腔・咽頭

粘膜に症状や病変が現れる場合がある。これを口腔・咽頭梅毒というが、この口腔・咽頭梅毒について症例の経験はおろかその存在すら知らない臨床医が少なくない。

梅毒患者の急増が始まった 2013 年以後、現在までに当科で経験した咽頭梅毒患者 4 症例について、とくに臨床経過と咽頭所見に焦点を当てて検討することにより、今後発信する梅毒に関する啓発情報に加えるべき咽頭梅毒の診断・治療上の注意点について考察する。

B. 研究方法

2013 年 4 月から現在までに当科で診断した咽頭梅毒 4 症例の臨床経過、受診時の主訴、当科初診時の咽頭所見、性器及び皮膚病変の有無、病期、感染経路について後ろ向きに検討し、咽頭顕症梅毒の診断のポイント、診療におけるピットフォールに関して考察する。

倫理面への配慮 症例の咽頭病変の記録写真については、診察時に院内形式の説明文書（個人情報保護する、個人が特定されない形での臨床研究への使用を承諾する、旨の内容を含む）を用

いて口頭および文書にて同意を得ている。

C. 研究結果

1) 症例 1 28 歳男性、2013 年当科初診

【主訴】難治性の咽頭痛

【現病歴】2 年前から咽頭痛が続き徐々に悪化、1 前年には扁桃炎と診断され治療を受けた。しかしこの後も咽頭痛がつづき、3 ヶ月前から咽頭痛がさらに悪化し食事はとれるものの時々体がだるく、2 週間前からは下痢も生じ、2013 年に当科の関連病院を受診、特殊感染症が疑われ抗菌薬未投与のまま精査目的に当科へ紹介された。

【当科初診時咽頭所見】両扁桃から口蓋弓にかけての口峽部と咽頭後壁に若干扁平に隆起した白色病変を、上咽頭と舌扁桃の表面には境界不明瞭で隆起のない白色変化を認めた (図 1)。

【検査・診断】咽頭所見から梅毒 2 期の粘膜斑を疑い、扁桃の白色病変部からスワブを採取し鏡検へ提出、梅毒血清反応、HIV 抗体検査、咽頭の淋菌・クラミジア検査を実施した。鏡検では、梅毒トレポネーマと思われる多数のらせん菌が観察され (図 2)、梅毒血清反応は RPR 64 倍・TPHA 20460 倍 (用手倍希釈法)、HIV 抗体と咽頭の淋菌・クラミジア検査はいずれも陰性で、梅毒第 2 期と診断した。

【診断後の経過、感染経路ほか】皮膚や性器の症状や病変は認めず、不特定多数の男性との性交渉歴のある男性同性愛者であった。ベンジルペニシリンベンザチン (バイシリン G 顆粒) 1 回 40 万単位 1 日 3 回、28 日間処方したが、その後は来院しなかった。

2) 症例 2 20 歳女性、2014 年当科初診

【主訴】咽頭痛、発熱、皮疹、目の充血

【現病歴】1 ヶ月前から咽頭痛と微熱が続くため A 内科を受診し処方薬を服用中、数日後から皮疹が出現し、咽頭痛と微熱も軽快しないため 1 週間前に B 耳鼻科を受診、扁桃炎と診断され抗菌薬と NSAID 等を処方された。その翌日から皮疹が全身に拡大したため B 耳鼻科を受診、口蓋のびらんと結膜炎も指摘され、抗菌薬を変更された。その後も症状の改善がなく、発熱が 39℃となったため C 内科を受診、インフルエンザ迅速検査は陰性で、血液検査では発熱・白血球数と CRP の上昇を認め扁桃炎による炎症所見と判断されたが、悪化する皮疹に対して B 耳鼻科初診から 8 日目に当院皮膚科へ紹介された。皮膚科では病巣感染による皮疹、または薬疹の診断で、扁桃炎の入院治療目的で当科へ依頼となった。

【当科初診時咽頭所見】両側口蓋扁桃とその周囲の粘膜、咽頭後壁と側索に隆起のない白色病変を認めた (図 3)、全身に散発する丘疹を認めた (図 4)。

【検査・診断】咽頭と皮膚の所見から梅毒 2 期を疑い、扁桃の病変部からスワブを採取し鏡検へ提出、梅毒血清反応検査を実施した。鏡検ではらせん菌は観察されなかったが、梅毒血清反応は RPR 111.0 R.U. TPHA 量 368.0 COI (自動化法) で、梅毒第 2 期と診断した。

【診断後の経過、感染経路ほか】皮膚や性器の症状や病変は認めず、感染源は交際中の男性 (キャバクラ勤務) であった。ベンジルペニシリンベンザチン (バイシリン G 顆粒) 1 回 40 万単位 1 日 3 回、65 日間処方した。

3) 症例 3 19 歳女性、2015 年当科初診

【主訴】咽頭痛、発熱

【現病歴】咽頭痛があったが未治療で様子をみていたところ、2 週間後に発熱したため内科を受診、処方された薬を服用したが改善しないため、2 日後に耳鼻咽喉科を受診した。この時、咽頭に左右対称のびらんと多発性の口内炎を認めたため、一般血液検査に加えて梅毒血清反応、ASLO、咽頭の淋菌・クラミジア検査を実施し、抗菌薬・ステロイド・NSAIDs の内服と抗菌薬 2 剤の点滴を開始された。翌日報告された検査結果で梅毒定性反応が RPR、TPHA とともに陽性であったため、前医初診から 3 日後に当科へ紹介された。

【当科初診時咽頭所見】両側口蓋扁桃から口蓋弓に連続するやや陥凹した白色病変と、上咽頭・中咽頭・下咽頭・喉頭粘膜に散在する白色病変を認めた (図 5)。

【検査・診断】抗菌薬投与後であったため病変のスワブの鏡検は実施しなかった。当科での梅毒血清反応は RPR 177.0 R.U. TPHA 量 456.0 COI (自動化法) で、問い合わせた前医初診時の梅毒血清反応定量値は RPR 64 倍・TPHA 5120 倍以上 (用手倍希釈法) で、梅毒第 2 期と診断した。

【診断後の経過、感染経路ほか】感染源は交際中の男性 (カフェの店長) で、皮膚および性器の症状や病変は認めなかった。ベンジルペニシリンベンザチン (バイシリン G 顆粒) 1 回 40 万単位 1 日 4 回、56 日間処方した。

4) 症例 4 28 歳男性、2016 年当科初診

【主訴】咽頭痛、発熱、皮疹、目の充血

【現病歴】1 ヶ月前から咽頭痛あり。3 日前から 38℃の発熱とともに咽頭痛が悪化し左顎下部

のしこりにも気づき、夜間に当院救急外来を受診、扁桃炎の診断にて当科へ依頼となる。

【当科初診時の咽頭所見】両側口蓋弓から口蓋扁桃に連続するやや蝶形の白色病変を認めた（図6）。

【検査・診断】局所所見から咽頭梅毒を疑い、扁桃の病変部からスワブを採取し鏡検へ提出、梅毒血清反応、HIV抗体検査を実施した。鏡検ではらせん菌は観察されなかったが、梅毒血清反応はRPR 460.0 R.U. TPHA 量 1380.0 COI（自動化法）で、梅毒第2期と診断した。

【診断後の経過、感染経路ほか】特定の男性と交際中の男性同性愛者であった。皮膚および性器の症状や病変は認めなかった。ベンジルペニシリンベンザチン（バイシリンG顆粒）1回40万単位1日4回、56日間処方した。

D. 考察

梅毒に対する治療の第1選択薬はペニシリン系経口抗菌薬であるが、梅毒トレポネーマ

(*Treponema pallidum*) に関する薬剤耐性の報告はごくわずかで、一般的に使用されている経口抗菌薬のほぼすべてに感受性を有するといえる。細菌性扁桃炎に限らず、普通感冒としての咽頭炎にも安易に経口抗菌薬を処方する臨床医が多いわが国においては、咽頭痛で発症する咽頭梅毒患者にも梅毒の診断に至らないまま抗菌薬が投与されている場合が多いと考えられる。

当科では本4症例も含めて、1982年から現在まで28例の口腔・咽頭梅毒患者の経験がある。この28症例の臨床所見を後ろ向きに検討したところ、当科紹介前に抗菌薬投与されていた症例のほとんどで、当科初診時に前医で指摘されていた口腔・咽頭の病変が軽快または消失し、病変が残っていてもそこから採取したスワブの鏡検で梅毒トレポネーマを検出できた例はなかった。今回提示した症例のうち、症例1、4では当科受診前に抗菌薬投与がなかった例で、症例1は梅毒第2期の咽頭梅毒の所見である扁平に隆起した粘膜斑の特徴があり、症例4は扁平に隆起した所見はないが、両症例とも梅毒第2期の咽頭梅毒の最も特徴的なbutterfly appearanceの形態を呈していた。一方、当科受診前に前医からすでに抗菌薬投与されていた症例2、3の当科初診時の咽頭所見では、どちらも粘膜斑の特徴である扁平に隆起する病変はなく、症例3ではかろうじてbutterfly appearanceの形態が残っているが、症例2ではbutterfly appearanceの所見もみられない（図7）。また症例1と2で病変スワブの鏡検が行われ、症

例1では多数の梅毒トレポネーマが観察されたが、症例2では梅毒トレポネーマ検出されなかった。とくに症例1は2年前から咽頭痛が続いており、当科初診時の血清TPHA定量値が20460と極めて高値であったことから、2年前から梅毒と診断されないまま抗菌薬を投与され無症候梅毒となり、また咽頭梅毒を再発する、といった経過を繰り返していた可能性がある。

咽頭梅毒には、粘膜斑やbutterfly appearanceといった他の疾患ではみられない特徴的な病変があるため、この所見を多くの臨床医にむけて啓発することは、咽頭痛や発熱といった一見咽頭炎のように発症する咽頭梅毒患者が、安易な抗菌薬投与により梅毒の診断・治療の機会を逸して新しい感染源になることを防ぐことにつながると考える。

E. 結論

後天梅毒の第2期には、皮膚や性器の症状や病変に欠き、咽頭痛や発熱といった咽頭炎症状で発症する咽頭梅毒がある。咽頭梅毒には、粘膜斑やbutterfly appearanceといった他の疾患ではみられない特徴的な病変があるが、安易に抗菌薬を投与すると、たとえペニシリン系抗菌薬でなくとも、症状や病変が消退して無症候梅毒となり、梅毒の診断を逸する可能性がある。咽頭梅毒は感染力の高い第2期病変であることから、咽頭梅毒患者のすべてが適切に診断・治療されるべく咽頭梅毒に関する情報を広く臨床医に発信して啓発することは、有効な梅毒蔓延防止対策の一つとなる。

G. 研究発表

1. 論文発表

- (1) 余田敬子：性感染症—今、何が問題か— 口腔・咽頭に関連する性感染症の問題点 日本医師会雑誌 146(12):2510-2511, 2018.
- (2) 余田敬子：特集 各科で見る性感染症 耳鼻咽喉科 口やのどにあらわれる性感染症と口やのどを介してうつる性感染症 性の健康 16(3):24-27, 2017.
- (3) 余田敬子：特集 みみ・はな・のどの入口部病変 口：粘膜 口唇ヘルペス、性感染症 JOHNS 31(12):1708-11, 2017.
- (4) 余田敬子：特集 抗菌薬を使いこなす 咽喉頭・頭頸部領域 性感染症 耳鼻・頭頸外科 89:437-444, 2017.

2. 学会発表

- (1) 余田敬子:教育講演 耳鼻咽喉科領域における性感染症 第 69 回日本気管・食道科学会総会・学術講演会 2017 年 11 月 9 日 大阪
- (2) 余田敬子:シンポジウム 日常的に遭遇する性感染症 淋菌・クラミジアの咽頭感染の臨床像 第 66 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 64 回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会 2017 年 11 月 1 日 東京

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

- 1. 特許取得
なし
- 2. 実用新案登録
なし
- 3. その他
なし

図1 症例1 初診時咽頭所見

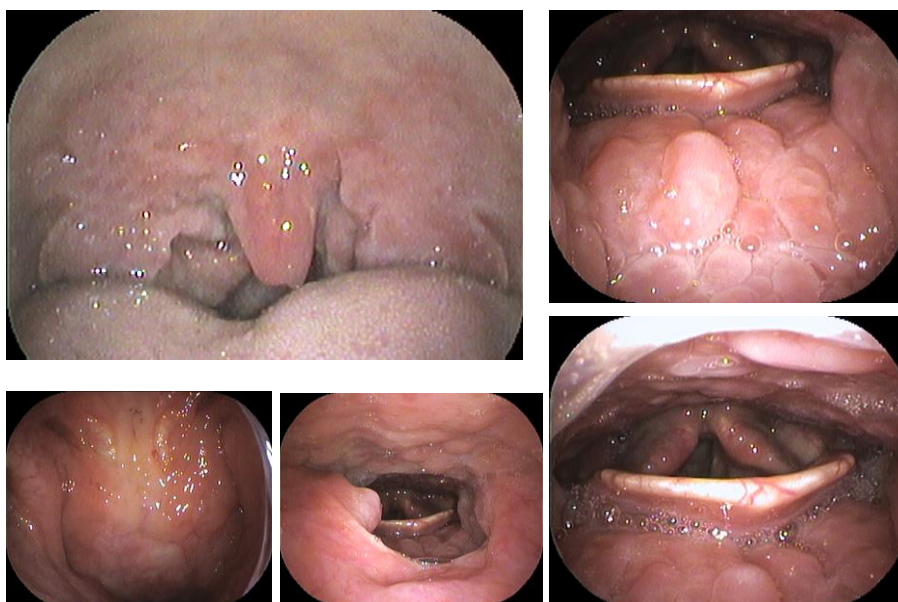
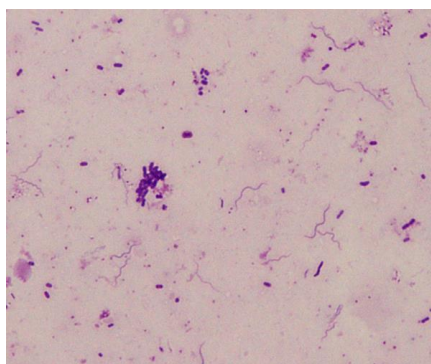


図2 症例1 初診時検査所見

咽頭スワブ 鏡検
ライト・ギムザ染色



血清梅毒反応 定量

RPR **64倍**

TPHA **20460倍**

HIV抗体検査: 陰性

咽頭スワブ 核酸増幅法

淋菌: 陰性

クラミジア トラコマティス: 陰性

図3 症例2 初診時咽頭所見

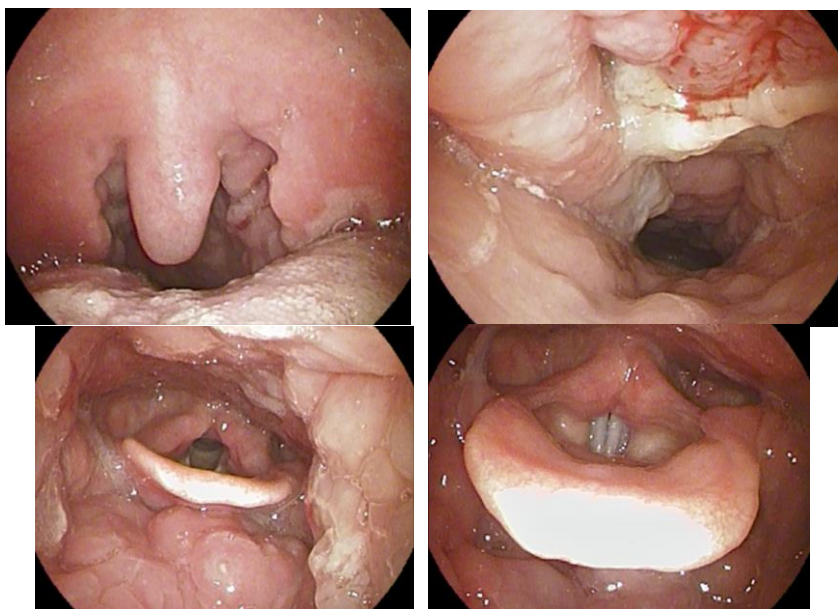


図4 症例2 初診時皮膚所見

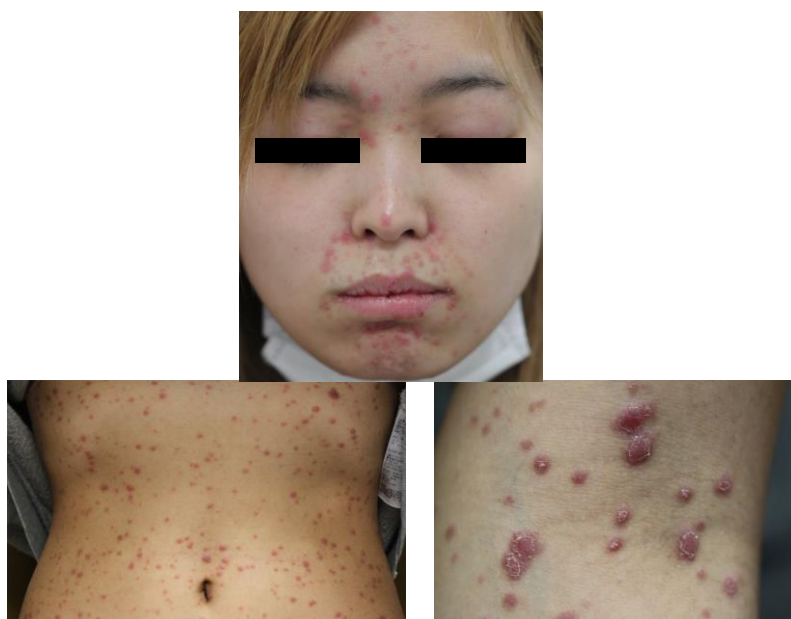


図5 症例3 初診時咽頭所見

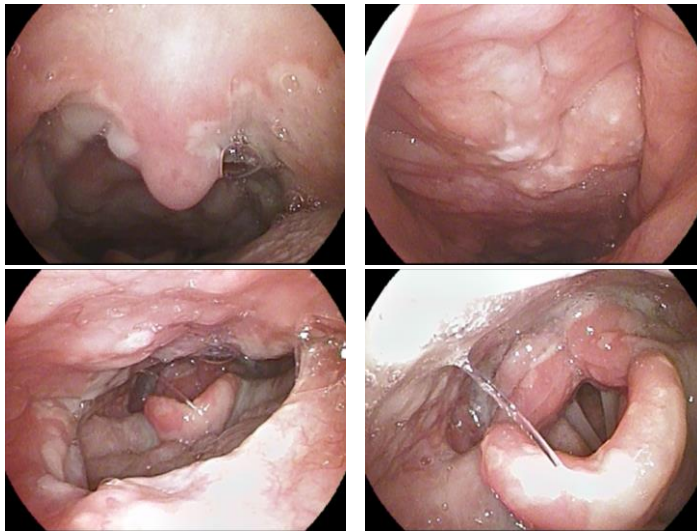


図6 症例4 初診時咽頭所見



図7 4症例の咽頭所見、経過、血清梅毒反応定量値の比較

症例 1  2年前から 咽頭痛あり、 3ヶ月前から 悪化 RPR 64 TPHA 20460 抗菌薬未投与	症例 4  1ヶ月前 から 咽頭痛 RPR 460 TPHA 1380 抗菌薬未投与
症例 2  1ヶ月前から 咽頭痛・ 微熱・皮疹、 5日前から 39℃ RPR 111 TPHA 368 抗菌薬投与有	症例 3  2週間前 から 咽頭痛・ 発熱 RPR 177 TPHA 456 抗菌薬投与有

マイコプラズマ・ジェニタリウムの薬剤耐性遺伝子解析

【研究分担者】 濱砂良一（産業医科大学・医学部泌尿器科）

研究要旨

Mycoplasma genitalium の薬剤耐性と遺伝子変異の検討を、臨床検体から分離培養した *M. genitalium* 株を用いて検討した。分離培養した *M. genitalium* 23 株のうち 4 株に 23S rRNA の遺伝子変異を認めた（2 株が A2058G, 2 株が A2059G）。この 4 株に対する azithromycin、clarithromycin の MIC は $>16\text{mg/L}$ であり、高度マクロライド耐性であった。ニューキノロンのうち、ciprofloxacin と levofloxacin の MIC range は、 $0.25\sim >16\text{mg/L}$ であり、ほとんどの株がこの 2 剤には耐性である可能性が高かった。moxifloxacin の MIC が 2mg/L 以上の株が 3 株分離され、ParC 遺伝子の quinolone-resistance determining region (QRDR) に Ser83 のアミノ酸変異を伴う遺伝子変異を認めた (Ser83→Ile)。GyrA の QRDR にもアミノ酸変異を伴う遺伝子変異を有したが、3 株とも異なる遺伝子変異であった。これら 3 株の sitafloxacin の MIC は 1mg/L および 0.25mg/L であり、sitafloxacin は moxifloxacin に耐性を示す株にも有効である可能性があると考えられた。moxifloxacin に耐性を示す株はすべてマクロライド耐性であり、多剤耐性となっていた。

臨床検体から検出された *M. genitalium* 遺伝子の検討では、23S rRNA の domain V に変異のあるものをマクロライド耐性、ParC 遺伝子の Ser83 のアミノ酸変異を伴う変異をもつものをキノロン耐性と仮定して検討した。マクロライド耐性は 2005-2009 年では 4.8% であったが、2010-2016 年には 42.3% に増加していた。キノロン耐性は 2005-2009 年では 9.5% であったが、2010-2016 年には 26.9% に増加していた。さらに、マクロライド、キノロンに耐性を示すものは、2010-2016 年には 19.4% となっていた。

A. 研究目的

男子尿道炎のうち、淋菌、クラミジアとも分離されない尿道炎を非クラミジア性非淋菌性尿道炎とよぶ。非クラミジア性非淋菌性尿道炎の原因と考えられる微生物は多数あるが、我が国ではこれらの微生物に対する検査は保険適用がない。従って、臨床医は原因微生物が不明のまま治療を行っているが、近年、抗菌薬による治療失敗例が増加している。非クラミジア性非淋菌性尿道炎の原因微生物なかで最も頻度の高く、薬剤耐性が進行している *Mycoplasma genitalium* について、その薬剤耐性の頻度、薬剤耐性の機序について検討した。

B. 研究方法

M. genitalium の臨床検体からの分離培養は極めて困難である。このなかで、研究分担者が保有する *M. genitalium* 株 20 株に、近年我々が尿道炎患者の尿から分離培養した 3 株の計 23 株の薬

剤感受性およびマクロライド耐性関連遺伝子変異（23S rRNA の domain V における変異）、ニューキノロン耐性関連遺伝子変異（gyrA および parC における quinolone-resistance determining region; QRDR における変異）を検討した。薬剤感受性を検討した抗菌薬はマクロライドでは azithromycin (AZM)、clarithromycin (CAM)、テトラサイクリンでは doxycycline (DOXY)、minocycline (MINO)、キノロン系では ciprofloxacin (CPFX)、levofloxacin (LVFX)、moxifloxacin (MFLX)、sitafloxacin (STFX) である。

さらに、我々が保存している臨床検体から検出した *M. genitalium* 遺伝子を用いて、マクロライド耐性関連遺伝子変異とニューキノロン耐性関連遺伝子変異を検討し、その変異の割合を検討した。2005-2009 年に検出された 84 遺伝子と、2010-2016 年に検出された 64 遺伝子を検討対象とした。

(倫理面への配慮) M. genitalium 株はすべて、株として保存されており、そのもととなる臨床検体の個人情報をも有しない。

M. genitalium 遺伝子が検出された臨床検体は、匿名化されており、個人を特定する情報は有しない。

C. 研究結果

分離培養した M. genitalium 23 株のうち 4 株に 23S rRNA の遺伝子変異があった。これらは 2 株が A2058G, 2 株が A2059G であり、すべてマクロライドである AZM、CAM の MIC は >16mg/L とマクロライドに高度耐性を示した。ニューキノロンでは CPRX と LVFX の MIC は、0.25~>16mg/L を示し、多くの株が 1mg/L 以上と耐性と考えられた。MFLX の MIC が 2mg/L 以上の株が 3 株あり、これらはすべて ParC 遺伝子の QRDR に変異があり、Ser83 が Ile へのアミノ酸変異を伴っていた。さらにこれらの 3 株は GyrA の QRDR にもアミノ酸変異を伴う遺伝子変異を有したが、3 株とも異なる遺伝子変異であった。これら 3 株の STFX の MIC は 1mg/L および 0.25mg/L であり、STFX は MFLX に耐性を示す株にも有効である可能性があった。また、MFLX に耐性を示す株はすべてマクロライド耐性であり、多剤耐性となっていた。

臨床検体から検出された M. genitalium 遺伝子の検討を行った。23S rRNA の domain V に変異のあるものをマクロライド耐性、ParC 遺伝子の Ser83 のアミノ酸変異を伴う変異をもつものをキノロン耐性と仮定すると、マクロライド耐性は 2005-2009 年では 4.8%であったが、2010-2016 年には 42.3%に増加していた。キノロン耐性は 2005-2009 年では 9.5%であったが、2010-2016 年には 26.9%に増加していた。さらに、マクロライド、キノロンに耐性を示すものは、2010-2016 年には 19.4%となっていた。

D. 考察

M. genitalium 株において、マクロライド耐性と 23S rRNA の domain V における変異は関連が高く、これまでの検討と一致していた。MFLX に高い MIC を示す株は、ParC 遺伝子の QRDR における Ser83 のアミノ酸変異が認められ、この変異が MFLX 耐性と関連があると考えられた。さらに、MFLX 耐性と考えられる株はマクロライド耐性であり、M. genitalium は多剤耐性化している可能性が示唆された。

臨床株ではマクロライド耐性、MFLX 耐性株の割合は、2010 年以降、著明に増加しており、多剤耐性化が認められた。

E. 結論

M. genitalium のマクロライド耐性は 23S rRNA の domain V の遺伝子変異と関連が深いことを再認識した。MFLX 耐性には ParC 遺伝子の QRDR における変異、特に Ser83 のアミノ酸変異を伴う遺伝子変異が重要であることが分かった。

我が国で検出される M. genitalium 遺伝子は、マクロライド耐性、MFLX 耐性が増加し、さらに滞在耐性化していることが明らかとなった。

G. 研究発表

1. 論文発表

- (1) 濱砂良一、性器クラミジア感染症・非クラミジア性非淋菌性尿道炎、泌尿器 Care & Cure URO-Lo 22(4): 79-84, 2017

2. 学会発表

- (1) R. Hamasuna, Symposium 10 Treatment strategies for M. genitalium infection-resistant status and new treatment. Multidrug-resistant M. genitalium strains. 19th Asian-Pacific IUSTI conference, 2016/12/1-3 Okayama, Japan
- (2) Hamasuna R, Matsumoto M, PT Le, Fujimoto N, Matsumoto T, The mutations on genes related to macrolide or fluoroquinolone resistance on M. genitalium in Japan, STI&HIV World Congress 2017, 2017/7/9-12, Rio de Janeiro, Brazil

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

まとめスライド

産業医科大学 泌尿器科
(現 国家公務員共済組合 新小倉病院 泌尿器科)
濱砂良一

1年目

*M. genitalium*の検査法の検討

2年目

*M. genitalium*の薬剤感受性と耐性

臨床検体からの耐性遺伝子の検出

3年目

*M. genitalium*の薬剤感受性と耐性

耐性株の分離

M. genitaliumの検査

- *M. genitalium*は男性の非淋菌性尿道炎の20-30%から分離される細菌である(尿道炎全体の10-15%程度)
- 我が国では検査法、治療法に保険適用なし
- 我が国ではLSI メディエンスから他種のマイコプラズマとのmultiplex PCRが発売されている。

M. genitaliumの検査法の検討

旭化成ファーマ社 マイコプラズマ抗原キット「リボテスト[®] マイコプラズマ」の
*M. genitalium*検出のための基礎的研究

リボゾーム蛋白 L7/L12の検出キット

*Mycoplasma pneumoniae*検出用に開発された

咽頭ぬぐい液を用いて、約15分で検出可能

交差反応性試験の結果

下記に示すマイコプラズマ属及び他の細菌類に対して本キットを使用したところ、肺炎マイコプラズマ
(*Mycoplasma pneumoniae*)以外に反応性を示したのは *Mycoplasma genitalium*のみでした。

マイコプラズマ属	他の細菌類		
<i>Mycoplasma fermentans</i>	<i>Bacillus subtilis</i>	<i>Moraxella catarrhalis</i>	<i>Staphylococcus epidermidis</i>
<i>Mycoplasma genitalium</i>	<i>Chlamydia pneumoniae</i>	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	<i>Streptococcus agalactiae</i>
<i>Mycoplasma hominis</i>	<i>Chlamydia trachomatis</i>	<i>Neisseria lactamica</i>	<i>Streptococcus mitior</i>
<i>Mycoplasma laidlawii</i>	<i>Enterococcus faecalis</i>	<i>Neisseria meningitidis</i>	<i>Streptococcus mitis</i>
<i>Mycoplasma orale</i>	<i>Escherichia coli</i>	<i>Propionibacterium acnes</i>	<i>Streptococcus mutans</i>
<i>Mycoplasma penetrans</i>	<i>Haemophilus influenzae</i>	<i>Proteus mirabilis</i>	<i>Streptococcus pneumoniae</i>
<i>Mycoplasma salivarium</i>	<i>Haemophilus parahaemolyticus</i>	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	<i>Streptococcus pyogenes</i>
	<i>Haemophilus parainfluenzae</i>	<i>Serratia marcescens</i>	<i>Streptococcus salivarius</i>
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	<i>Staphylococcus aureus</i>	<i>Streptococcus sanguis</i>
	<i>Legionella pneumophila</i>		

マイコプラズマ属の菌種は 1.5×10^4 cfu/mL以上、他の細菌類は 1.0×10^4 cfu/mLで測定しました。(社内資料)

*M. genitalium*と交差反応あり→ *M. genitalium*の検出が可能か？

結果と結論（１）

菌株	リポテスト結果			菌液中のDNAコピー数			抽出チューブ中のDNAコピー数		
	1倍	10倍	100倍	1倍	10倍	100倍	1倍	10倍	100倍
G37（標準株）	濃い線	陰性	陰性	362980	40901	4058	28126	1780	291
M2282	濃い線	陰性	陰性	118732	15233	1200	144463	549	72
M2300	濃い線	陰性	陰性	243312	23336	5047	8136	1114	98
M2321	濃い線	陰性	陰性	281078	24730	1870	11142	2112	160
M2341	判定不能	陰性	陰性	248401	27409	2365	14611	1220	225
M6257	濃い線	陰性	陰性	156210	13940	945	5471	1112	48
M6280	濃い線	陰性	陰性	258044	20088	1210	13539	1584	247
M6285	比較的濃い線	陰性	陰性	304320	28557	3457	22623	2147	120
M6286	濃い線	陰性	陰性	242903	12069	1208	15678	745	88
M6328	極めて薄い	陰性	陰性	199244	13991	1145	17567	734	107
M6489	極めて薄い	陰性	陰性	102323	6393	656	7955	790	196
M6090	濃い線	陰性	陰性	467403	34197	2474	29632	2448	183
M6151	極めて薄い	陰性	陰性	27846	3009	217	841	147	35
M6282	極めて薄い	陰性	陰性	64160	6789	508	5157	469	73
M6283	濃い線	陰性	陰性	97803	9789	534	13514	1885	102
M6284	濃い線	陰性	陰性	125172	8387	663	5176	340	20
M6287	濃い線	陰性	陰性	131579	1073	800	9737	1668	112

17株中16株で、原液では陽性

感度 $2.0 \times 10^5 \pm 1.1 \times 10^5$ DNAコピー

臨床検体の*M. genitalium*のコピー数は $10 \sim 2 \times 10^7$ コピーであり、主は $10^3 \sim 10^4$ コピーであり、尿検体では使用できない

対象

当科が保存する男性尿道炎患者から分離された*M. genitalium* 23株

- 基準株G37
- 1983年に報告された早期保存株M30
- デンマーク由来株(DK): 4株
- フランス由来株(FR): 3株
- スウェーデン由来株(SE): 7株
- 日本由来株(JP): 7株

*M. genitalium*の薬剤感受性と耐性 耐性株の分離

背景・目的

- *M. genitalium*の薬剤耐性は著しく、マクロライドおよびフルオロキノロンによる治療失敗尿道炎症例が増加している。
- しかし本細菌の分離培養は非常に困難であり、薬剤感受性が測定できる株は限られている。
- 特にモキシフロキサシン（欧州ではマクロライド耐性時の第一選択薬¹⁾、日本では適応外）やシタフロキサシンに耐性を示す株の耐性機序は明らかになっていない。
- 保存している*M. genitalium*株の薬剤感受性と遺伝子変異を比較検討した。

1) Sethi S., et al. Infection and drug resistance. 2017;10:283-292.

遺伝子変異を認めなかった*M. genitalium*株

Strains	Mutations of DNA/amino acid			Antimicrobials (mg/L)							
	QRDR		23S rRNA	Fluoroquinolone				Tetracycline		Macrolide	
	GyrA	ParC		CPEX	LVFX	MFLX	STFX	DOXY	MINO	AZM	CAM
G37 ^T	-	-	-	8	2	0.06	0.125	0.5	0.5	0.002	0.004
M30	-	-	-	4	1	0.06	0.125	0.5	0.25	0.002	0.008
M2282 DK	-	-	-	4	1	0.06	0.125	0.5	0.25	0.002	0.008
M2300 DK	-	-	-	8	2	0.125	0.25	0.125	0.25	0.001	0.004
M2321 DK	-	-	-	4	2	0.125	0.125	0.5	0.25	0.0005	0.001
M6281 SE	-	-	-	0.5	0.25	0.125	0.03	NT	NT	NT	NT
M6282 JP	-	-	-	1	0.5	0.03	0.03	0.5	0.5	0.001	0.004
M6284 JP	-	-	-	2	1	0.06	0.06	0.125	0.125	0.001	0.004
M6285 SE	-	-	-	0.25	0.25	0.06	0.02	0.25	0.125	0.0005	0.002
M6286 SE	-	-	-	2	1	0.06	0.06	0.25	0.125	0.002	0.008
M6312 FR	-	-	-	8	2	0.125	0.125	NT	NT	NT	NT
M6328 SE	-	-	-	8	2	0.125	0.25	0.5	0.5	0.002	0.008
JMPP4 JP	-	-	-	4	1	0.25	0.06	0.25	0.125	0.002	0.03

DK; Denmark, FR; France, SE; Sweden, JP; Japan

NT; not tested

遺伝子変異を認めた*M. genitalium*株

Strains	Mutations of DNA/amino acid			Antimicrobials (mg/L)							
	QRDR		23S rRNA	Fluoroquinolone				Tetracycline		Macrolide	
	GyrA	ParC		CPEX	LVFX	MFLX	STFX	DOXY	MINO	AZM	CAM
M2341 DK	T378C	Pro62→Ser, C234T		0.25	0.25	0.06	0.02	0.5	0.25	0.002	0.008
M6090 FR	A288G			4	2	0.125	0.03	0.06	0.06	0.002	0.008
M6151 FR	A288G			4	1	0.06	0.125	0.5	0.25	0.001	0.008
M6257 SE		-	A2058G	0.25	0.5	0.03	0.016	1	0.5	>16	>16
M6280 SE		Pro62→Ser, C234T		0.5	0.25	0.03	0.03	0.125	0.06	0.0005	0.002
M6283 JP		Ala69→Thr		1	1	0.125	0.06	1	0.5	0.002	0.002
M6287 JP		Asp87→Tyr		4	4	0.5	0.125	0.25	0.125	0.002	0.004
M6489 SE	Asp99→Asn	Ser83→Ile	A2059G	>16	>16	16	1	0.5	0.25	>16	>16
IMC-1 JP	Gly93→Cys	Ser83→Ile	A2059G	>16	>16	4	1	1	0.125	>16	>16
OSSP35-2 JP	Met95→Ile	Ser83→Ile	A2058G	16	8	2	0.25	0.5	0.125	>16	>16

DK; Denmark, FR; France, SE; Sweden, JP; Japan

遺伝子変異を認めた *M. genitalium* 株

Strains	Mutations of DNA/amino acid			Antimicrobials (mg/L)							
	QRDR		23S rRNA	Fluoroquinolone				Tetracycline		Macrolide	
	GyrA	ParC		CPEX	LVFX	MFLX	STFX	DOXY	MINO	AZM	CAM
M2341 DK	T378C	Pro62→Ser, C234T		0.25	0.25	0.06	0.02	0.5	0.25	0.002	0.008
M6090 FR	A288G			4	2	0.125	0.03	0.06	0.06	0.002	0.008
M6151 FR	A288G			4	1	0.06	0.125	0.5	0.25	0.001	0.008
M6257 SE		-	A2058G	0.25	0.5	0.03	0.016	1	0.5	>16	>16
M6280 SE		Pro62→Ser, C234T		0.5	0.25	0.03	0.03	0.125	0.06	0.0005	0.002
M6283 JP		Ala69→Thr		1	1	0.125	0.06	1	0.5	0.002	0.002
M6287 JP		Asp87→Tyr		4	4	0.5	0.125	0.25	0.125	0.002	0.004
M6489 SE	Asp99→Asn	Ser83→Ile	A2059G	>16	>16	16	1	0.5	0.25	>16	>16
IMC-1 JP	Gly93→Cys	Ser83→Ile	A2059G	>16	>16	4	1	1	0.125	>16	>16
OSSP35-2 JP	Met95→Ile	Ser83→Ile	A2058G	16	8	2	0.25	0.5	0.125	>16	>16

マクロライド耐性→23S rRNAの変異と関連(A2058G, A2059G)

遺伝子変異を認めた *M. genitalium* 株

Strains	Mutations of DNA/amino acid			Antimicrobials (mg/L)							
	QRDR		23S rRNA	Fluoroquinolone				Tetracycline		Macrolide	
	GyrA	ParC		CPEX	LVFX	MFLX	STFX	DOXY	MINO	AZM	CAM
M2341 DK	T378C	Pro62→Ser, C234T		0.25	0.25	0.06	0.02	0.5	0.25	0.002	0.008
M6090 FR	A288G			4	2	0.125	0.03	0.06	0.06	0.002	0.008
M6151 FR	A288G			4	1	0.06	0.125	0.5	0.25	0.001	0.008
M6257 SE		-	A2058G	0.25	0.5	0.03	0.016	1	0.5	>16	>16
M6280 SE		Pro62→Ser, C234T		0.5	0.25	0.03	0.03	0.125	0.06	0.0005	0.002
M6283 JP		Ala69→Thr		1	1	0.125	0.06	1	0.5	0.002	0.002
M6287 JP		Asp87→Tyr		4	4	0.5	0.125	0.25	0.125	0.002	0.004
M6489 SE	Asp99→Asn	Ser83→Ile	A2059G	>16	>16	16	1	0.5	0.25	>16	>16
IMC-1 JP	Gly93→Cys	Ser83→Ile	A2059G	>16	>16	4	1	1	0.125	>16	>16
OSSP35-2 JP	Met95→Ile	Ser83→Ile	A2058G	16	8	2	0.25	0.5	0.125	>16	>16

Moxifloxacin耐性とParCのSer83→Ile変異は関連がありそう
GyrAの変異との関連は、現時点では不明

結論（２）

- 23S rRNAのdomainVにおけるA2058GまたはA2059G変異はマクロライド耐性に関連している（これまでの報告通り）。
- 男性尿道炎患者から分離された*M. genitalium*において、*ParC*のquinolone-resistance determining regionのSer83→Ile変異はmoxifloxacin耐性に関連がありそうである。

***M. genitalium*の薬剤感受性と耐性**

臨床検体からの耐性遺伝子の検出

臨床検体からの*M. genitalium*耐性遺伝子の検討

マクロライド耐性

23S rRNAのA2058, A2059に変異を認めるもの
A2058G, A2059G

キノロン耐性

ParC のキノロン耐性決定遺伝子に変異があり
Ser83にアミノ酸変異を伴うもの
Ser83→Ile, Asn, Arg

多剤耐性

マクロライド耐性、キノロン耐性を同時に持つもの

尿検体から検出された*M. genitalium*遺伝子のうち、マクロライド、キノロン耐性関連の遺伝子変異をもつ頻度 (産業医大保有遺伝子の検討)

	2005-2009 (84)	2010-2016 (64)
23S rRNA	4/87 (4.8%)	27/67 (42.3%)
A2058G, A2059G		
gyrA	0/87 (0%)	3/67 (4.8%)
Gly93→Cys		1
Met95→Ile		2
parC	8/87 (9.5%)	18/67 (26.9%)
Ser83→Ile	3	10
Asn	5	6
Arg	0	1
Multi-drug resistance	0	13/67 (19.4%)

結論 (3)

男性尿道炎患者から分離された*M. genitalium*遺伝子の検討で、マクロライド耐性関連遺伝子を持つ頻度は、2005-2009年の4.6%から2010-2016年には42.3%に明らかに増加した。

キノロン、特にmoxifloxacin耐性の関連遺伝子は決定していないが、83番目のSerineの変異が関連がありそうである。この部位に変異を持つものをキノロン耐性とする、2005-2009年の9.5%から2010-2016年には26.9%に増加した。

マクロライドとキノロン耐性関連遺伝子を共に持つものは、2010-2016年には19.4%であった。

梅毒の診断治療に関する全般的研究 梅毒の治療に関するアンケート調査

【研究分担者】 石地尚興（東京慈恵会医科大学皮膚科）

研究要旨

梅毒の治療は世界的には持続型ベンザチンペニシリン G 筋注製剤の一回注射が主流であるが、わが国ではショック死の事例があったため、使用できない。現在行われている内服療法についてはさまざまな問題点が指摘されているため、今後の梅毒治療の標準化に当たりわが国における梅毒治療の現状を把握する目的で医療者を対象にアンケート調査を行った。その結果多くの医師がガイドラインに則ったペニシリン内服療法を行っているが、内服療法の成否が患者のアドヒアランスに左右されるため治療不成功例もみられた。筋注製剤の 1 回注射を希望する意見が多く、急増している梅毒の拡散に歯止めをかけるためにも治療が確実である筋注製剤の導入が望ましいと考えられた。

A. 研究目的

梅毒の治療は世界的には持続型ベンザチンペニシリン G 筋注製剤の一回注射が主流であるが、わが国ではショック死の事例があったため、使用できない。筋注療法に替わるものとして行われているペニシリン内服療法は海外ではほとんど行われておらず、以下の問題点が指摘されている。

1. エビデンスが乏しい。
2. 1 期であっても最低 2 週間、2 期では最長 8 週間という長期内服が必要とされる。
3. きちんと内服しているかどうかは確認困難であり、治療の成否が患者のアドヒアランスに左右される。

今後の梅毒治療の標準化に当たりわが国における梅毒治療の現状を把握する。

B. 研究方法

梅毒の治療にあたっている日本性感染症学会員に対しアンケート調査を行い、現在行われている治療の内容と問題点を明らかにする。

（倫理面への配慮）医療者に対する任意のアンケート調査であり、倫理上の問題は特になし。

C. 研究結果

日本性感染症学会の会員名簿にメールアドレスの登録がある会員 1283 名のうち回答者数は 177 名、回答率 13.8%であった。

91.5%が日本性感染症学会のガイドラインに沿った治療を行っていた。19.2%が治療不成功例

を経験しており、その要因としては患者がきちんと内服しなかったことが最も多かった。88.7%がペニシリン筋注製剤の導入を希望した。

D. 考察

多くの医師がガイドラインに則ったペニシリン内服療法を行っているが、内服療法の成否が患者のアドヒアランスに左右されるため治療不成功例があると考えられた。筋注製剤の 1 回注射を希望する意見が多かった。

E. 結論

急増している梅毒の拡散に歯止めをかけるためにも治療が確実である筋注製剤の導入が望まれる。

G. 研究発表

1. 論文発表

- (1) 石地尚興、急増する梅毒を見逃さないためのポイント、日本医師会雑誌、146、2475-2479、2018

2. 学会発表

- (1) 石地尚興、急増する梅毒-診療のポイント-、第 22 回 SRL 感染症フォーラム、2017 年 12 月 16 日、JP タワーホール東京

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

- なし
- 2. 実用新案登録
なし
- 3. その他
なし

梅毒の治療に関するアンケート

梅毒の治療は世界的には持続型ベンザチンペニシリン6筋注射剤の一回注射が主流ですが、わが国ではショック死の事例があったため、使用できない状態です。筋注療法に替わるものとして現在わが国で行われているペニシリン内服療法は海外ではほとんど行われておらず、以下の問題点が指摘されています。

1. エビデンスが乏しい。
2. 1期であっても最低2週間、2期では最長8週間という長期内服が必要とされる。
3. きちんと内服しているかどうかは確認困難であり、治療の成否が患者のアドヒアランスに左右される。

今後の梅毒治療の標準化に当たり、梅毒の治療をされている先生方の現在の状況と治療についてのご意見を伺いたく以下のアンケートを企画いたしました。3分程度の内容ですので是非ご協力ください。
アンケート結果は日本性感染症学会梅毒委員会としての活動やガイドライン作成の際の参考資料とさせていただきます。

参考：日本性感染症学会ガイドライン2016

バイシリンG1 日120万単位/分 またはアモキシシリン1日1,500 mg/分 3を内服させる。

投与期間は、第1期は2～4週間、第2期では4～8週間、第3期以降では8～12週間を必要とする。

無症候梅毒では、カルジオリピンを抗原とする検査で 抗体価が16倍以上を示す症例は、治療することが望ましい。

投与期間は、感染時期を推定し、その期の梅毒に準じるが、感染後1年以上経過している場合や、感染時期の不明な場合には、8～12週間とする。

実施期間 2018年2月5日(月)～2018年2月14日(水)

回答方法 GoogleフォームによるWeb上でのアンケート

対象者 一社) 日本性感染症学会の会員名簿にメールアドレスの登録がある会員1283名

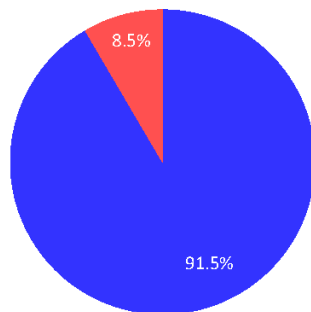
回答者数 177名

回答率 13.8%

問1. 梅毒の治療は上記のガイドライン通りに行っていますか。(ペニシリンアレルギーがない場合)

N=177

(91.5%)	162	はい、ほぼ完全に従っている
(8.5%)	15	いいえ、一部異なる治療を行っている

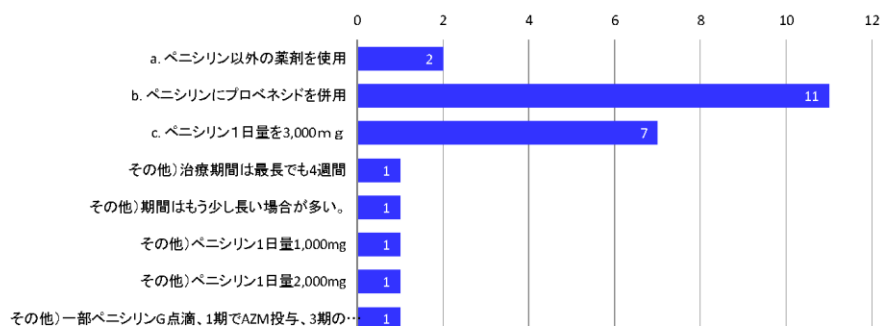


- はい、ほぼ完全に従っている
- いいえ、一部異なる治療を行っている

問2. 問1で「いいえ」を回答した場合どのような治療を行っていますか。
 (「その他」をチェックした場合は内容を記入してください) (複数回答可)

N=15

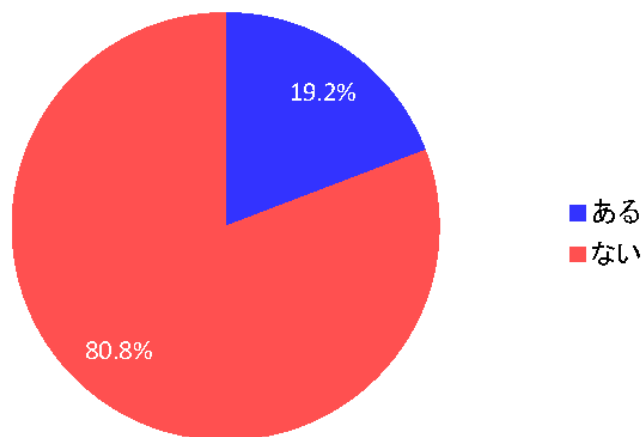
(13.3%)	2	a. ペニシリン以外の薬剤を使用
(73.3%)	11	b. ペニシリンにプロベネシドを併用
(46.7%)	7	c. ペニシリン1日量を3,000mg
		以下「その他」を選択した回答者
(6.7%)	1	治療期間は最長でも4週間
(6.7%)	1	期間はもう少し長い場合が多い。
(6.7%)	1	ペニシリン1日量1,000mg
(6.7%)	1	ペニシリン1日量2,000mg
(6.7%)	1	一部ペニシリン6点滴、1期でAZM投与、3期の投与期間で髄液所見あればペニシリン6点滴



問3. 治療が不成功だった経験がありますか。 (再感染は除く)

N=177

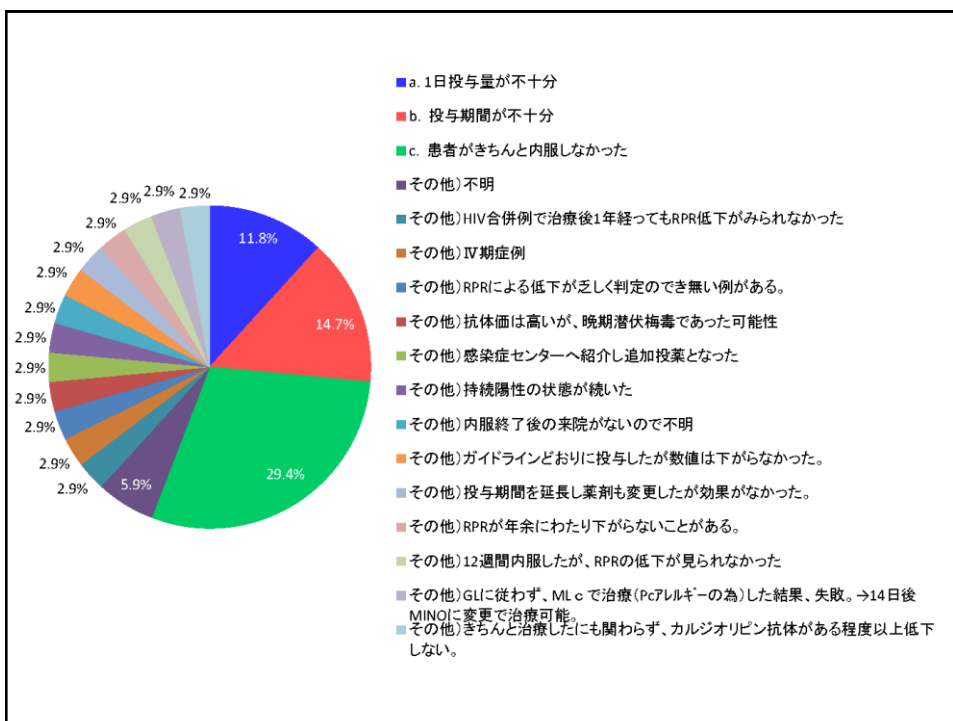
(19.2%)	34	ある
(80.8%)	143	ない



問4. 問3で「ある」と回答した方にお聞きします。
(「その他」を選択した方は内容を記入してください)

N=34

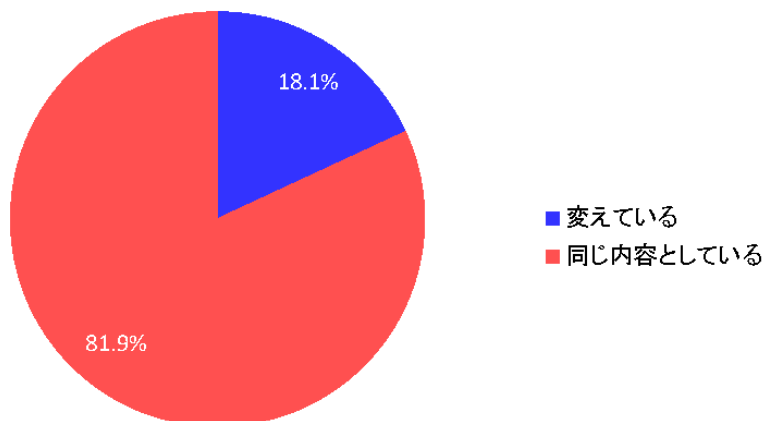
(11.8%)	4	a. 1日投与量が不十分
(14.7%)	5	b. 投与期間が不十分
(29.4%)	10	c. 患者がきちんと内服しなかった
		以下「その他」を選択した回答者
(5.9%)	2	不明
(2.9%)	1	HIV合併例で治療後1年経ってもRPR低下がみられなかった
(2.9%)	1	IV期症例
(2.9%)	1	RPRによる低下が乏しく判定のできない例がある。
(2.9%)	1	抗体価は高いが、晩期潜伏梅毒であった可能性
(2.9%)	1	感染症センターへ紹介し追加投薬となった
(2.9%)	1	持続陽性の状態が続いた
(2.9%)	1	内服終了後の来院がないので不明
(2.9%)	1	ガイドラインどおりに投与したが数値は下がらなかった。
(2.9%)	1	投与期間を延長し薬剤も変更したが効果がなかった。
(2.9%)	1	RPRが年余にわたり下がらないことがある。
(2.9%)	1	12週間内服したが、RPRの低下が見られなかった
(2.9%)	1	GLIに従わず、MLcで治療（Pc7ルギー-の為）した結果、失敗。→14日後MINOに変更で治療可能。
(2.9%)	1	きちんと治療したにも関わらず、カルジオリピン抗体がある程度以上低下しない。



問5. HIV感染者と非感染者で治療内容を変えていますか.

N=177

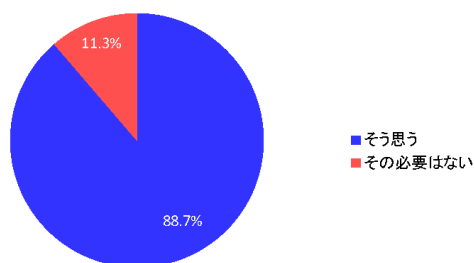
(18.1%)	32	変えている
(81.9%)	145	同じ内容としている



問6. 内服療法は一定期間の内服が必要で治療の成否が患者のアドヒアランスに左右されます。わが国でも海外と同じように1回注射で治療が終了するベンザチンペニシリンGの筋注製剤を使えるようにすべきだと思いますか.

N=177

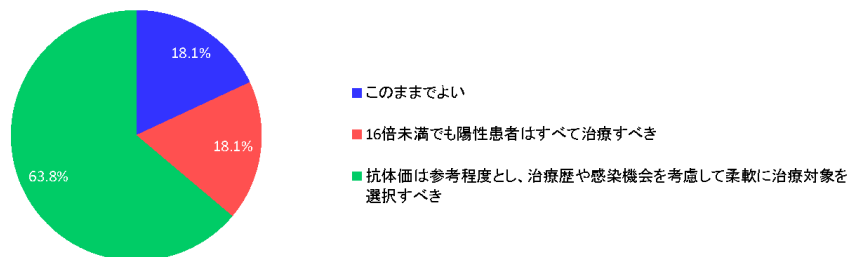
(88.7%)	157	そう思う
(11.3%)	20	その必要はない



問7. 現在のガイドラインでは無症候性梅毒に関して脂質抗体16倍以上を治療対象としています。
新規患者数が年々増加している現在、このままでよいでしょうか。

N=177

(18.1%)	32	このままでよい
(18.1%)	32	16倍未満でも陽性患者はすべて治療すべき
(63.8%)	113	抗体価は参考程度とし、治療歴や感染機会を考慮して柔軟に治療対象を選択すべき



性感染症全般の診断・治療の適正化に関する研究

【研究協力者】 高橋 聡（札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座）

研究要旨

迅速診断法の開発により原因微生物を早期に検出し、適切な治療に導くことを目的として、90分程度でクラミジア・トラコマティスと淋菌の検出が可能な迅速核酸増幅法の臨床研究を行った。研究により、従来の核酸増幅法に劣らない結果が得られ、今後の改良された診断法に寄与すると考えられた。

淋菌は、世界的に多剤耐性化が問題となっている。従来は、一般的な方法での測定が困難であったファロペネム、カルバペネムの抗菌薬感受性を測定し、新規治療法の開発の可能性を探った。カルバペネム系のメロペネムの感受性は良好であり、今後の治療の可能性が期待された。

A. 研究目的

①迅速診断法の開発により原因微生物を早期に検出し、適切な治療に導くことを目的として、90分程度でクラミジア・トラコマティスと淋菌の検出が可能な迅速核酸増幅法の臨床研究を行った。研究により、従来の核酸増幅法に劣らない結果が得られ、今後の改良された診断法に寄与すると考えられた。

②淋菌は、世界的に多剤耐性化が問題となっている。従来は、一般的な方法での測定が困難であったファロペネム（FRPM）、カルバペネムの抗菌薬感受性を測定し、新規治療法の開発の可能性を探った。カルバペネム系のメロペネム（MEPM）の感受性は良好であり、今後の治療の可能性が期待された。

B. 研究方法

①対象；

男性尿道炎患者と女性子宮頸管炎患者（いずれも18歳以上）を対象にする。研究は、泌尿器科として、札幌医科大学附属病院泌尿器科、あいクリニック（仙台）、ていね泌尿器科クリニック（札幌）、元町泌尿器科（札幌）、苫小牧泌尿器科・循環器内科（苫小牧）、にっしん泌尿器科クリニック（苫小牧）、及び、婦人科として、札幌東豊病院（札幌）、きたのはら女性クリニック（仙台）にて検体を収集し、株式会社ビー・エム・エル（以下BML）において、男性では尿検体の、女性では子宮頸管スミア検体及び尿検体の検査を行う。

方法；

尿道炎、もしくは、子宮頸管炎の診断と治療のために、初診時に初尿（男性）あるいは初尿及び

子宮頸管スミア（女性）を検体として Xpert CT/NG[®] と核酸増幅法（TaqMan PCR 法、TMA 法）で淋菌、クラミジア・トラコマティスの検出を行う。本来、Xpert CT/NG[®]は、外来での検査が可能であるが、本研究では検体の条件を統一するため、核酸増幅法検査は、全て BML にて行う。また、付録に添付したようなアンケート調査を行う。なお、核酸増幅法（TaqMan PCR 法、TMA 法）にて淋菌、クラミジア・トラコマティスが検出された場合には、その結果を再診時に通知するとともに最新の「性感染症 診断・治療ガイドライン」もしくは、「JAID/JSC 感染症治療ガイド 2011」に沿った治療を原則として行う。検査結果は、既に保険適用である核酸増幅法（TaqMan PCR 法、TMA 法）により判定し、Xpert CT/NG[®]の結果は臨床目的で使用しない。

分析としては、Xpert CT/NG[®]と TaqMan PCR 法及び TMA 法の間で感度・特異度（陽性・陰性検体の一致率）、患者背景の相違がないかどうかを明らかにするための既往歴と性交様式との比較である。

男女共に Xpert CT/NG と TaqMan PCR 法及び TMA 法の淋菌とクラミジア・トラコマティスの陽性 50 検体を目標とする。症例数設定の根拠は、非劣性試験であり、いずれの検査法も極めて高感度であることから、最低 20 例での一致・不一致の比較で判定可能であるが、さらに精度を上げるために陽性 50 例での比較とした。現在、淋菌性尿道炎とクラミジア性尿道炎の罹患率はほぼ同数と考えられ、尿道炎として受診した患者の 30%程度が淋菌性尿道炎、同様に 30%程度がクラミジア性尿

道炎であると推測される。女性の尿道炎及び子宮頸管炎でも同様であると推測される。したがって、男女それぞれ計 300 例を研究に組み入れると設定とした。

臨床検査審査委員会の承認

本研究は、札幌医科大学附属病院に設けられた臨床研究審査委員会の承認を得た上で実施する。

②対象；3 学会合同サーベイランスで分離された淋菌を対象とする。

方法

CLSIM100-S27 に従い、システインを含まない 1% サプリメントを加えた GC 寒天培地を用い、寒天平板希釈法で MIC を測定する。

感受性培地の作製

滅菌精製水を用い FRPM、MEPM の 160、80、40、20、10、5、2.5、1.25、0.6、0.3 $\mu\text{g/mL}$ 濃度液を作製する。

209mL に調整した GC 寒天培地に調整した薬剤液 11mL、サプリメント A 液 0.55mL、サプリメント B 液 1.65mL を加え、シャーレに分注する。

菌液調整

チョコレート寒天培地で前培養した菌株を、Muller-Hinton broth で McFarland 0.5 (10^8CFU/mL) に調整する。⇒菌液①

菌液①を 1/10 倍希釈する。⇒菌液②

培養

作製した感受性培地上に、菌液②を 1~2 μL スポットする。

36 $\pm$ 1 $^{\circ}\text{C}$ 、5%CO₂、20-24 時間培養する。

判定

菌の発育がみられない最小濃度を MIC とする。

単一コロニー及び薄い発育は無視する。

C. 研究結果

①Xpert CT/NG と従来の方法との結果の一致率は男性尿と女性尿ではほぼ 100%、女性スメアでも 98%程度であった。

②MEPM の MIC₉₀ は 0.12 $\mu\text{g/mL}$ と良好であったが、他のカルバペネム、FRPM では MIC₉₀ は、1~2 $\mu\text{g/mL}$ と高めであった。

D. 考察

①90 分程度で検査結果を得ることができる迅速核酸増幅法検査においても、従来の核酸増幅法の検査と同等の結果が得られたことから、初診時での原因微生物の判明が可能となる。このことにより、適切な患者への説明、患者の性的パートナーへの正しい情報提供、適切な治療

②FRPM、カルバペネム系の淋菌への感受性は MEPM 以外は、良好ではなく、MEPM のみ良好であった。ただし、臨床的な投与量や投与期間については研究がないこと、また、MEPM 以外の抗菌薬の感受性が良好ではないことのさらなる研究が必要であると考えられた。

E. 結論

①迅速核酸増幅法による検出においても、従来の核酸増幅法に劣らない結果が得られ、今後の改良された診断法に寄与すると考えられた。

②淋菌に対するカルバペネム系のメロペネムの感受性は良好であり、今後の治療の可能性が期待された。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

(1) 桧山佳樹、高橋 聡、舛森直哉、淋菌に対する faropenem と carbapenem の薬剤感受性の検討、日本性感染症学会第 30 回学術大会

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

性感染症全般の診断・治療の 適正化に関する研究

札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座

高橋 聡

平成29年3月3日@東京

概要

- 迅速診断法の開発
 - ✓ 原因微生物に対する適切な治療

- 治療薬の評価
 - ✓ 淋菌に有効な抗菌薬の開発

迅速診断法の開発

➤試験法

- ✓相関性試験

➤対象

- ✓18歳以上
- ✓(男性)尿道炎患者
- ✓(女性)子宮頸管炎患者

迅速診断法の開発

➤試験法

- ✓新規迅速核酸増幅法

➤比較対照検査法

- ✓Cobas 4800 System CT/NG (real-time PCR)
- ✓Aptima Combo 2 Chlamydia/Gonorrhoeae (TMA)

迅速診断法の開発

➤結果

●新規検査法 vs TMA

◆*Chlamydia trachomatis*

- ✓陽性一致率；97.7% (172/176)
- ✓陰性一致率；97.4% (152/156)
- ✓総一致率；97.6% (324/332)

迅速診断法の開発

➤結果

●新規検査法 vs PCR

◆*Chlamydia trachomatis*

- ✓陽性一致率；98.9% (172/174)
- ✓陰性一致率；97.5% (154/158)
- ✓総一致率；98.2% (326/332)

迅速診断法の開発

➤結果

●新規検査法 vs TMA

◆*Neisseria gonorrhoeae*

- ✓陽性一致率；100% (50/50)
- ✓陰性一致率；98.9% (279/282)
- ✓総一致率；99.1% (329/332)

迅速診断法の開発

➤結果

●新規検査法 vs PCR

◆*Neisseria gonorrhoeae*

- ✓陽性一致率；98.1% (51/52)
- ✓陰性一致率；99.3% (278/280)
- ✓総一致率；99.1% (329/332)

迅速診断法の開発

➤ 結論

- ✓ 迅速診断法は、従来法に劣らない

治療薬の評価

➤ 淋菌の治療法

- CTRX, SPCMが有効

- ✓ 多剤耐性化

- ✓ 治療薬開発の必要性

治療薬の評価

➤ CTRX以外の抗菌薬の有効性は？

✓ カルバペネム系抗菌薬＋FRPM

● 通常は感受性が測定されない

- ・ シス테인を含まないサプリメントが必要なため

治療薬の評価

➤ カルバペネム系抗菌薬＋FRPM

● 淋菌23株

- ・ 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランスの収集株を
購入

✓ FRPM, MEPM, BIPM, DRPM, IPM

✓ MIC測定 (CLSI; M100-S27)

治療薬の評価

抗菌薬	MIC (μg/mL)	MIC50	MIC90
FRPM	$\leq 0.06 \sim 1$	0.06	1
MEPM	$\leq 0.06 \sim 0.12$	0.06	0.12
BIPM	$\leq 0.06 \sim 2$	1	1
DRPM	$\leq 0.06 \sim 1$	0.5	1
IPM	$\leq 0.06 \sim 1$	1	2

治療薬の評価

➤ 結論

✓MEPM以外では低感受性株が存在

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
荒川創一、白井千香	思春期男子への性教育	小児科	59(4月臨時増刊)	801-808	2018
荒川創一	健康 ZOOM UP 性感染症②	神戸市医師会だより 健康と笑顔	第 33 号	2017.5 月 4-5 頁	2017
清田浩、荒川創一、余田敬子	性感染症の最近の問題点—淋菌の薬剤耐性と梅毒の蔓延—	感染症	47 (3)	12-19	2017
荒川創一	特集 中・高生の性 子どもたちの性にかかわる Q&A 中・高生の性感染症の悩みについて	性の健康	16 (2)	22-25	2017
荒川創一、石川清仁、清田 浩、坂田 宏、重村克巳、高橋 聡、濱砂良一、速見浩士、三嶋廣繁、村谷哲郎、安田 満、山本新吾、渡邊豊彦	尿路性器感染症に関する臨床試験実施のためのガイドライン—第 2 版—	日本化学療法学会雑誌	64(3)	479-49	2016
Osawa K, Shigemura K, Nukata Y, Kitagawa K, Yamamichi F, Yoshida H, Shirakawa T, Arakawa S, Fujisawa M	penA, ponA, porB1, and mtrR Mutations and Molecular Epidemiological Typing of Neisseria gonorrhoeae with Decreased Susceptibility to Cephalosporins	Antimicrob Agents Chemother	2017 Jul 25;61(8)	pii: e01174-17. doi: 10.1128/AA C.01174-17	2017
中瀬克己、高野つる代、細井舞子、白井千香	全国自治体における性感染症発生動向調査の運営と活用	日本性感染症学会誌	28(1)	125-130	2017
高野つる代、中瀬克己、細井舞子、尾本由美子、白井千香	地方感染症情報センターにおける性感染症発生動向調査の現状と課題	日本性感染症学会誌	28(1)	131-132	2017
細井舞子、奥町彰礼、中瀬克己	大阪市における梅毒の発生状況 (2007～2016 年)	日本性感染症学会誌	28(1)	111-117	2017
白井千香	性感染症予防啓発の現状と課題	日本医師会雑誌	146 (12)	2515～2518	2018
Koizumi Y, Watabe T, Ota Y, Nakayama SI, Asai N, Hagihara M, Yamagishi Y, Suematsu H, Tsuzuki T, Takayasu M, Ohnishi M, Mikamo H	Cerebral syphilitic gumma can arise within months of re-infection: A case of histologically proved <i>Treponema pallidum</i> strain type 14b/f infection with HIV positivity.	Sex Transm Dis	45(2)	E1-e4	2018
山岸由佳、三嶋廣繁	母子感染で問題となる細菌感染症 梅毒	臨床検査	61	1411-1417	2017

Hagihara M, Yamagishi Y, Kato H, Shibata Y, Shiota A, Sakanashi D, Suematsu H, Watanabe H, Asai N, Koizumi Y, Furui T, Takahashi S, Izumi K, <u>Mikamo H</u>	Frequency of <i>Treponema pallidum</i> invasion into cerebrospinal fluid in primary or secondary early-stage syphilis. 2017 Dec 8 [Epub ahead of print]	J Infect Chemother.	Epub2017		2017
Iwata S, Okada K, <u>Kawana K</u>	Consensus statement from 17 relevant Japanese academic societies on the promotion of the human papillomavirus vaccine	Vaccine	35(18)	2291-2292	2017
Sato M, <u>Kawana K</u> , Adachi K, Fujimoto A, Yoshida M, Nakamura H, Nishida H, Inoue T, Taguchi A, Ogishima J, Eguchi S, Yamashita A, Tomio K, Wada-Hiraike O, Oda K, Nagamatsu T, Osuga Y, Fujii T.	Intracellular signaling entropy can be a biomarker for predicting the development of cervical intraepithelial neoplasia	PLoS One	12(4)	e0176353	2017
Sato M, <u>Kawana K</u> , Adachi K, Fujimoto A, Yoshida M, Nakamura H, Nishida H, Inoue T, Taguchi A, Ogishima J, Eguchi S, Yamashita A, Tomio K, Wada-Hiraike O, Oda K, Nagamatsu T, Osuga Y, Fujii T	Regeneration of cervical reserve cell-like cells from human induced pluripotent stem cells (iPSCs): A new approach to finding targets for cervical cancer stem cell treatment,	Oncotarget	8(25)	40935-40945	2017
Sato M, <u>Kawana K</u> , Adachi K, Fujimoto A, Yoshida M, Nakamura H, Nishida H, Inoue T, Taguchi A, Ogishima J, Eguchi S, Yamashita A, Tomio K, Wada-Hiraike O, Oda K, Nagamatsu T, Osuga Y, Fujii T	Targeting glutamine metabolism and focal adhesion kinase additively inhibits the mammalian target of the rapamycin pathway in spheroid cancer stem-like properties of ovarian clear cell carcinoma in vitro.	Int J Oncol	50(4)	1431-1438	2017

Sato M, Kawana K, Adachi K, Fujimoto A, Taguchi A, Fujikawa T, Yoshida M, Nakamura H, Nishida H, Inoue T, Ogishima J, Eguchi S, Yamashita A, Tomio K, Arimoto T, Wada-Hiraike Osamu, Oda K, Nagamatsu T, Osuga Y, Fujii T	Low uptake of fluorodeoxyglucose in positron emission tomography/computed tomography in ovarian clear cell carcinoma may reflect glutaminolysis of its cancer stem cell-like properties	Oncol Reports	37(3)	1883-1888	2017
川名 敬	国内で話題の感染症—診断と治療、ヒトパピローマウイルス	小児内科	49	1671-1676	2017
川名 敬	感染症フォーカス、妊婦と感染症	INFECTION FRONT	39	8-10	2017
川名 敬	胎盤感染が問題となるウイルス	臨床とウイルス	45	197-202	2017
余田敬子	性感染症—今、何が問題か 口腔・咽頭に関連する性感染症の問題点	日本医師会雑誌	146(12)	2510-2511	2018
余田敬子	特集 各科で見る性感染症 耳鼻咽喉科 口やのどにあらわれる性感染症と口やのどを介してうつる性感染症	性の健康	16(3)	24-27	2017
余田敬子	特集 みみ・はな・のどの入口部病変 口:粘膜 口唇ヘルペス、性感染	JOHNS	31(12)	1708-1711	2017
余田敬子	特集 抗菌薬を使いこなす 咽喉頭・頭頸部領域 性感染症	耳鼻・頭頸外科	89	437-444	2017
濱砂良一	性器クラミジア感染症・非クラミジア性非淋菌性尿道炎	泌尿器 Care & Cure URO-Lo	22(4)	79-84	2017
石地尚興	急増する梅毒を見逃さないためのポイント	日本医師会雑誌	146(12)	2475-2479	2018